

## はじめに

本書は、酒井雅史氏が滋賀県長浜市内で収集してきた会話の文字化データを、方言資料として広く活用できるように刊行するものである。平成 26 (2014) 年度～平成 30 (2018) 年度科学研究費補助金基盤研究 (A)「日本語の時空間変異対照研究のための『全国方言文法辞典』の作成と方法論の構築」(課題番号: 26244024・研究代表者: 日高水穂) の研究成果報告書として刊行するため、当科研課題の研究母体である方言文法研究会の編としたが、本書の実質的な編者は酒井氏である。

ここでまず、上述の科研課題について概要を示す。

本研究は、日本語諸方言の文法を総合的に記述する『全国方言文法辞典』の編纂を目的として、要地方言を統一的に調査するための共通調査項目を策定し、各地方言(標準語を含む)の文法的側面に関する対照研究を行うものである。

本研究の母体である方言文法研究会は、2001 年に以下の方針のもとに活動を開始した。

- ・方言の文法に関する記述をより精密なものにする。
- ・全国方言の文法形式、文法現象をできる限り網羅する。
- ・言語の対照研究に興味を持つ人全般に向けて情報発信する。

本研究会のこれまでの研究成果は、以下のウェブページにおいて公開している。

<http://hougen.sakura.ne.jp/>

本書は、これまで『全国方言文法辞典資料集』(以下『資料集』)として刊行してきた、『資料集(1)原因・理由表現』(2010 年)、『資料集(2)活用体系』(2014 年)、『資料集(3)活用体系(2)』(2017 年)、『資料集(4)活用体系(3)』(2018 年)、『資料集(5)活用体系(4)』(2019 年)に続くものである。本研究では、方言の文法形式の記述のために、各種方言テキスト(方言談話資料や方言昔話資料など)を活用しているが、本書も方言文法形式の実用例の観察におおいに活かされるだろう。

当科研の研究分担者であり、方言文法研究会のメンバーでもある酒井氏は、本書に収録した滋賀県長浜市における調査データにもとづき、博士学位論文「滋賀県長浜市方言の素材待遇形式に関する記述的研究」(大阪大学、2015 年)を完成させた。一方、『全国方言文法辞典』構想において、待遇表現の記述は、日本語諸方言の文法を総合的にとらえるために不可欠であると同時に、いわゆる助詞・助動詞のような「文法形式」の記述にとどまらない困難さをともなうものである。本書に収録する方言談話資料は、待遇表現の多様な現れ方を観察する資料としても、活用することができよう。

2019 年 3 月

日高水穂



本資料は、滋賀県長浜市内にて 2011 年 9 月から 2013 年 3 月にかけて収集した会話の文字化資料である。会話資料として刊行する会話は、すべて同じ町内または近くに住む親しい者同士（2 名または 3 名）によるくだけた場面でのものである。合計で 11 組の会話を収録している。それぞれの会話に関する詳細は各会話資料冒頭に示している。

## 文字化にあたって

表記は、漢字・かな混じりを基本としている。カタカナは、外来語のみに用い、擬声語・擬態語についてはひらがなを用いた。数字はアラビア数字としたが、「一石二鳥」「七転び八起き」などの熟語・慣用句には漢数字を使用した。また、助詞の「は」「を」「へ」は、読みやすさを考慮して「は」「を」「へ」と表記している。長音については以下の基準で用いている。

- a. 副詞「ああ」「そう」「こう」「どう」、動詞「言う」「いう」、方言形容詞「ええ（良い）」などは、「あ・い・う・え・お」を添え書きする。
- b. 応答詞、フィラー、あいづちは長音符「ー」で表記する。
- c. ウ音便、曲用、方言語彙、音韻変化形に現れる長音は長音符「ー」で表記し、必要に応じて共通語訳を《 》に示す。
- d. 感嘆を表わす語は長音符「ー」で表記する。
- e. 文節・文末の母音を伸ばしているものは「ー」を付す。
- f. 漢字・数字で書かれた語の末尾が長音化している場合は、以下のようにする。

（例）しんじゅくー《新宿》だったかな。

いちーばん《一番》よかった。

なお、長音記号のうち b・d・e・f のものはその長さに応じて、おおよその拍数分「ー」を付した。

発話は、「発話番号＋発話者記号：発話」の形で示す。それぞれの発話は、会話参加者のターンごとに改行し、あいづちなど他者の発話が重なる箇所についても改行している。ただし、あいづちで改行する際は、談話資料の読みやすさを考慮し、必ずしも厳密にあいづちを行なっているところでは改行せず、元の発話者による発話の文節ごとのまとまりの後に改行した。各資料で用いた話者記号の「D」は談話収録者を示す話者記号として用いてる。

また、発話は文節ごとの分かち書きとした。文節と文節の間は全角 1 字分の空白で示しているが、あいづちの繰り返し（「うんうん」「ほうやほうや」など）などは区切っていない。

## 会話資料で使用する記号

会話資料で用いる記号は以下のとおり。

- ， : 文中でポーズのある箇所につける。「，」のあとに発話が続く場合、全角 1 字分の空白を入れる。
- 。 : 発話文末につける。「。」のあとに発話が続く場合、全角 1 字分の空白を入れる。
- ↑ : 上昇イントネーションと判断した箇所につける。
- … : 語尾が言いよどみ、文が途中で終了した場合につける。
- # : 聞き取り不能であった部分を示す。推測される拍数分だけ「#」をつける。
- : 固有名詞など、話者のプライバシーにかかわる箇所につける。実際の拍数分だけ「○」で示す。
- 「 」 : 発話中に、話者以外の人物の発話が引用された場合、その引用された部分を「 」でくくる。
- 『 』 : 視覚上、区別した方が分かりやすいと思われる部分（漢字の読み方を説明する箇所や本の題名など）を『 』でくくる。
- ‘ ’ : 複数の読み方があるもの（日本‘にほん’‘につぼん’、言う‘ゆ’う‘い’う）を漢字で表す場合と、大都市や県名以外の地名（市町村、山、川、場所名）など読み方が難しい者及び必要と思われるものは、読み方をひらがなで‘ ’に入れて示す。
- (+ ) : 文が途中で終わっているが、文脈から話者の意図する発話が分かり、補う必要がある場合は(+ )に示す。
- { } : 笑いながら発話したものや、笑いなどの非言語行動は{ }の中に{笑いながら}{ささやくように}{息を吸い込んで}{咳}などのように説明を付す。これらは発話と独立して現れた場合は、あいづちと同様に改行を行なうが、基本的にはこれらを含む発話の最後に示す。
- /少し間/ : 話の流れの中で 3 秒以上の間があった場合は、/少し間/のように示す。基本的には、沈黙が生じた個所に示し、沈黙自体が何かの返答になっているような場合には改行を行ない独立した行に示す。
- 《 》 : 方言形や音韻変化形、有声音化形など、共通語訳が必要な場合は《 》で示す。方言形が音韻変化している場合には、《方言形;共通語訳》の順に示し、意味の説明や意識なども《共通語訳;説明 or 意識》の形で示す。
- 〈 〉 : 文脈を理解するうえで必要な情報があれば〈 〉内に示す。

談話 1

会話参加者：女性 3 名（A：1948 年生（63），B：1948 生（62），C：1953 生（58））

参加者同士の関係：友人

文字化時間：57 分 06 秒

会話収録日：2011 年 9 月

1A：私も ここに 顔を 突っ込んだばかりに いろいろ {笑} 今は

2B：こ 湖北観光情報茶屋

3A：うんうん。

4B：よ これは 四居家

5A：四居家。 四居家ってのは 長浜で 一番 古い あの

6C：町屋っていうか あれか

7A：町屋。うん 町屋。 んでもう ほれもう あれやで 市のほうに あのー

8B：あげてもた

9A：うん。 寄付しはったさかいに。

10B：うんうん。

11A：んで そこで してんねんけど。 んで 今 ほこが 博覧会の 実行 あのー 委員会の事務局に なったある。

12C：あーあーあー どの辺にあるー

13B：水琴窟 水琴窟の ある

14C：前から 名前は 聞くんやけど

15A：博覧 あ ほんな

16B：水琴窟の ある家とは また 違うん↑

17A：あっ あれはー 水琴窟の あるんは 安藤家

18C：安藤家や

19A：んで これはな あのーほんなら 曳 曳博

20C：曳山博物館↑

21A：曳山博物館。 あれ知ってる↑

22C：うん 知ってる。

23A：あれの すぐ北

24C：北。

25A：北。

26C：道挟んで 反対側じゃなくて

27A：いやー 反対側じゃなくて うん。

28B：長沢さんで ない ほうやな

29A：うん。 んで もう ○○○○さんの向かい。

30B：向かいぐらい

31C：あっ ○○○○さんて 今でもまだ あれなん

32B：居やってや。

33A：居やる。 居やる。

談話 1

34C : ふーん。

35A : してやる。 してやる。

36B : げなん。

37C : うん。 あ ほーか。

38A : うんうん してやる。 ほこなん。

39C : あーん。 最近 私 ほんまに 町の中 行った

40A : ## 来て また {笑}

41C : 歩いたことない

42B : 結構 変わってるんや お店が####

43A : うん。 ほんで ほの あの 曳博の向かい側で

44C : うーん

45A : 今その あの一

46B : あー。

47A : 黒壁ドラマ 50 作館ていうの あのパブ な あそこで してある。

48C : ふーん。

49A : ほんでもう あの一 ちょうど 向かい側です。 向かい側ですよっちゅーて

50C : あー ほっか ほっか。

51A : ほんで あそこへ ##### 去年 あの一 先月まではな あの一 特別展もしてあった 曳山博物館の中でも もちろん 長浜城の あの一 お城の中でも してあったんやけど

52C : してあった。 31 日までとかいうて

53A : 一つだけ #りられ あの一 宮殿ちゅうのがなー ほれだけ 曳山博物館に 持って行っとかあったさかい んで ほれをな

54C : ふーん 宮殿って何↑

55B : 私も {笑} ふん ふんって言いながら

56 {3 人とも笑い}

57A : あのなー あのなー 宮 宮って お宮さんの宮と 殿と 書くんやけど

58C : うんうんうん。

59A : ほんで 私も ほらまあ 見に行って たんやけど

60C : うん。

61A : まあー なあー いわゆるなー 仏壇さん みたいな ものかなあーってゆうような 感じなんやけど

62B : 殿って どんな字で

63A : あー 殿 うんうん。

64C : 殿さまや

65A : うんうん。 宮殿って。ほんで んー ほーかといって この中に 仏さんが 居やったようにでもないんやけど まあ ちょっと 説明するのに これは あんた まあ ほら 仏壇さんのようなもの でいいでしょうって {笑}

66C : どこにあったん↑

67B : 四居家は##

68A：ほれが うん。これ 借りてきあったんや。ど ど##

69C：どこから##

70A：どこや 忘れたんだけど{笑} 忘れてもたけど。まあ ほんでも 私が あのー 行ったん 長  
浜城 特別展 行ってない↑

71C：いやー 行ってないんよ ほれ 結局。

72A：あー 行ってない。 ほこで 私が 一番 良かったなあって 思うのは

73C：ふん。

74A：あのー すごい あのー 大きなな えー とよと（+豊臣） ちゃう 徳川家康と ほれから  
あのー 子ども 二人あるやろ 今。

75C：うん。うん。

76A：秀忠と それから 結城ヒデヤツ

77B：保科マサユキか なんか

78A：うーん。 してあった。 うーん まあ もうじき ド라마の中に 出てくるでな。 ほの人の

79B：隠し子や。秀忠。

80A：うん。 まあな。 ちゃう。

81C：えっ。 違ううん。

82B：わたし わからん。

83A：いえや ごめん {笑}。 家康の 子供なんや

84C：家康の 子供なん。

85A：子供なんやって。

86B：役者さんの 名前で いうって もらって {笑}

87A：あっ ごめん {笑}

88C：あっあっ わかった わかった。あのー

89A：養子に

90C：豊臣に 養子に 行って

91A：あー そうそうそう

92C：あー 結城家に また ほっから 養子に出され

93A：そうそうそうそう。

94C：長男か 二男やけど。

95A：長男や あっちの 結城の方が 長男なんやけど

96C：うん。

97A：ほの人らのな あのー 木造なんやけど

98C：ふーん。

99A：それが 大きくて 立派やったん。

100C：ふーん。

101A：ほれは 福井の方から 借りて とかって やけど

102C：はあー ほうなん

103A：ほれを 入れるだけ 入れて ここへ この 展示しはったやろ。

104C：うんうん。

談話 1

105A : ほれだけ だけでも すごい お金 かかった。

106B : あー そうなん。

107A : ほで ほれを 入れるの だってもう階段やんか。

108C : うーん。

109B : あー そうそうそう。

110A : な。 ほんで もう宮殿は 入らんかったちゅうて ほれだけ こっちに 曳博にな あったんやけどな。

111C : ふーん。

112A : あれは一 ほんでも 見事やなーって。

113C : うーんう んうん。

114A : うん。 東京展が あって 福井展が あって 今 長浜展が あったんや

115C : あー そう やったんか。

116A : もう これで 終わりなんやけど

117C : あー ほうかー。

118A : ほんで ほんときは ちょっと 入場料も 高かったんやけど

119C : あー ほや ほや。 ほんで

120A : ほやろ。

121C : 招待券が 来た##やけど

122A : あー ほやろ ほやろ。

123C : 行こう 行こうと 思いながら 行けんかった。

124A : 惜しかったな 一ヵ月間。{笑}

125C : なかなか 行けんのや。

126A : ほーやな。 近い人の方が 余計 やっぱ 行けんみたい。

127B : ねー。

128C : そうそう。 遠いとこの 人は わざわざな やっぱ

129A : そうそう。

130C : これ 目当てに 来やって

131A : そうなん。 私も これに 入って 何が 良かったか いうたら ほんまに 何回でも たとえば 竹生島な

132C : うーん。

133A : あそこ 往復するだけでも そこへ あの一 要るやん ほの ぱっと 行けんやん ほの 船を 使わんならんで。

134B : 見えてても なかなかねー。

135C : ねー

136A : 行けんやろ。 行けてないろ。 私はでも あれ 見て 育ったのに 行けんやんか。

137C : そうやなー。

138A : ほんで ほれがなー まあ ちょっと あの一 {笑} 研修やとか なんとかいうて ###とか いうて 向こうへ 行けるさかいに これは一 ありがたいなー って思うことと んで今 言うてた みたいに 私も 全然 知らなんだん こころへんの こと。 な。



- 139C : うーん。
- 140B : うーん。
- 141A : ほんまに 知らんかったん。ほんでもう いっぱい 自分で ほの 勉強 できた ゆうこ  
とが
- 142C : あー。
- 143B : あー。
- 144A : すごい 自分に とっては 面白いかなって ほんで これからやん。こほあん でもな{笑}  
よう 行くようにも なったし。
- 145C : こほあん うん きれいに なった。
- 146B : うーん。きれいに なったなー。
- 147A : 実西院でも ほうやろ。
- 148C : うーん。
- 149B : うーん。
- 150A : もう こんなに
- 151B : 実西院も きれいに なったん。
- 152A : きれいに なった っていうよりも あそこの こと ちゃう 今 まさか 住んで
- 153C : そうそうそう。
- 154A : みたいに 言うてるけど あそこの ことは もうほんまに 知らなんだやもん。
- 155B : ###に あのー あの人の 浅井長政の あの お姉さん##やろ。
- 156C : お姉さんやな 見久尼
- 157B : ほんまに
- 158A : 昌安見久尼っていう ニさん なんやけど ほんなんでも たとえば 今回の ドラマに 全然  
出てきてない やんか。
- 159C : うーん。
- 160B : うーん。 出てきてないな。
- 161A : ほんでも もう みんな もう あそこのなー 和尚さんなんか もう もう あの まあ 第一  
話で終わってもたでなー
- 162C : うーん。
- 163B : うーん。
- 164A : ほんでー あれなんやけど あのー もう うちのこと 全然 NHK は 取り上げなんだ っ  
ちゅうてー {笑}
- 165B : {笑}
- 166A : 言うてあるくらいやけど あー ほんで あそこも 何回かなー
- 167B : うーん。
- 168A : ほんまに あたし ここ通ってっても 全然 知らなんだよ
- 169C : なあー。
- 170A : もうー {笑} ほやけど。 今回
- 171B : うーん。 あの人 同級生なんや。
- 172C : あー ほやな。

談話 1

173A : ほー らしいな。

174B : え 下の人 ○○ちゃん

175C : ちがう。 私より 2 級上

176B : 上か。 ほんで あの人の お父さんが 宝珠院か。

177C : あー そう そう そう。

178B : 宝珠院

179A : 宝珠院ってのは どの↑

180B : あのー 余呉の方の

181C : 余呉の方の お寺。あの 禅宗やろ

182B : あれは禅宗

183A : あー そう そう 禅宗 禅宗

184C : ほんで あのー ##### 管理してやって

185B : ##### のおもりして でも あのー 今の お子さん。

186C : 今

187B : たまに 行かあるんかな。

188C : あー ほーか。今は ほんでも なんか どうじゅいんに 居やあるみたいなこと

189B : 居やある人も 居やあるん。あー ほーか。

190C : うん。 とは 聞ってるけど

191A : 弟さん。

192C : ちゃう。 弟さんは しっ あの人はー

193B : 弟さんー

194C : お坊さん ならはったか どうかは 知らんけど。

195A : あっ ほんなら 今の 住職が あっちも 行ってあってゆうこと↑

196C : ちょっと ちょっとは 行かあったんちがう。

197C : 今まではー あのー 学校の 先生 してあったんやし。

198A : なー。 うん 先生 やってって。

199C : もう 退職しあったでな

200A : うーんうーんうーん。なあー。まあ でも 予約しとかんと なかなか 説明してもらねやけど あのー 予約しとくと 説明してくれやんねんな。

201C : うん 行ったらー

202A : うーん。

203C : なんか 対応してくれやるみたいやな。

204A : うーん そうそうそう。

205B : 私も ○○のおばさんとな

206C : あっ ほやなー。

207B : 一応 親戚なってるし 法事があると あの人も 来てくれやる

208C : あー。

209B : 全然 あそこは にっさんやけど あのー #####↑

210A : うんうん。

- 211C：うんうん。
- 212B：でもー あのー んー 実西さんも 来てくれはる。
- 213C：あそこは 何宗になるんや。 永平寺かなんか
- 214B：そう 曹洞宗やろか。
- 215C：曹洞宗か
- 216A：いや。 曹洞。
- 217C：えい 永平寺やわ。 修行に
- 218A：あー ほうか。 曹洞宗かも 知れんな
- 219B：うん。
- 220A：あのー 禅宗でも 違う ちごーたな。
- 221C：大徳寺やさ 大徳寺派やで
- 222A：ちごーたな。
- 223B：なに なにや 禅宗やけど。
- 224C：臨済宗。
- 225B：臨済宗。
- 226A：あ な ちょっと違う こっちと こっちと おんなじ 禅宗でも 違うなどは 思って
- 227C：違ううんや うーん
- 228A：曹洞宗か。
- 229A：あれ ここらでは そうどうしゅうって 言うな。
- 230B：って言うけど そうとう
- 231C：そうとうやろ。
- 232B：ほんとは そうとう
- 233C：って 私は 曹洞宗って 聞いてるけど 違う↑
- 234B：そうとうしゅうって
- 235A：どっち↑ そうどうしゅう↑ そうとうしゅう↑
- 236D：そう そうとうで 習いましたけど。
- 237C：ねー。
- 238B：三水辺に あのー
- 239A：ほやけど ここら あたりでは よう そうどうしゅうとか
- 240C：あっ ほんま。 私 そうとうしゅう そうとうしゅうって。
- 241A：あのー 普通 曹洞宗だけやけど ほんでも ちゃう 確か 濁るで てゆうて
- 242C：あっ ほんまか。
- 243A：て ゆうて たんやけど 曹洞宗が ほんまやっちゅうて
- 244C：あー ほんま。
- 245A：うん。
- 246B：みょう みょう### 行ってた子が 亡くならあって お葬式に 行ったら
- 247C：うーん。
- 248B：みんな あのー みんな こんな
- 249A：あーあー。

談話 1

250C : あーあー。

251B : おおきな ##### じゃーん じゃーんて

252C : ほいて なんか 叩かあるやろ

253B : シンバルみたいな おっきな音が 賑やかな

254C : そう そう そう

255A : この間 私も ほんでだから こうほうあん 行って 初めてあのな おっとめを《お勤めを》

256C : うーん

257A : 聞いてたけど。 はあーって

258C : 歌うみたいな感じ

259A : {笑}

260B : あーあーあー。

261A : へーと 思って。

262C : ほんでも あのー 短いで

263A : ほやのー。

264C : な

265A : 短いのー ほら こっちの方 来たら #####

266B : ##### しょうがいんい ちゃう じょ あのー こっちの 何 私らの 一番

267C : 浄土真宗は 長い。

268B : 長いね。

269C : うーん。

270A : なー。

271B : ゆっくりやし

272C : うーん。

273A : なんかも う すごいなー。

274C : なー。

275A : うーん。

276C : あっさり してあるもん。えっ もう 終わり↑って

277B : {笑}

278A : {笑} なん なんか 変わったなー ほんで いろんなこと ほーやってして 歩かしてもらう  
とよ

279C : うーん。

280A : 変わった あれもなー。うーん 見れるなと 思って。

281D : {咳払い}

282B : うーんうーん うん。ほな 三和土ずしも これもしたし

283A : なにを↑

284B : やったやんな。

285A : あー あー 三和土↑

286C : 三和土↑

287B : ね 三和土を。 三和土 三和土ずし 三和土って

- 288C : だいぶ また あれ #####。 三和土した 私も。
- 289B : なんで Cちゃん なんか してんの↑
- 290C : 行った。 だって もう ○○○会入ってるで ボランティアで 二日ほど行った。
- 291B : あ そう。 五先賢 関係あんの
- 292C : うん。
- 293A : でも ○○○会のな
- 294C : ○○○会の事務局
- 295A : うん。 ○○○会は ○○○会でも 違うんやで。
- 296B : ふーん 仕事行ってからか。
- 297C : 仕事行ってからやん。
- 298A : な ほうやな うん。 四つの 酔う
- 299B : 酔う↑
- 300A : うん。 ちゃう ○○○会 いうと その この あれかって わんすやろ
- 301B : あーあーあー。
- 302C : あーあーあー。
- 303A : あっちは しすいかい
- 304C : 全然 字が 違う。
- 305A : うーん。
- 306B : 四つ## 四つ##の
- 307A : ほんで いつやったか しすいかい えっ ほんま。 違うん。 こっちの ○○○会やって うちはって {笑}
- 308C : #####。
- 309B : すごいな。
- 310A : うん。 なー。 ほいで もう これを 個々の さくらばんばに #####で
- 311C : あー もう しゃったな
- 312B : 三和土↑
- 313A : うーん。 ###
- 314C : うーん。 玄関のとこ
- 315A : たたきで ### 個々に
- 316C : さくらばんばの 方の 今 デイサービスのとこの
- 317B : あー ほー
- 318C : んで 小学生の子が あのー しゃってん
- 319A : なー。
- 320C : 田根のな 田根小の 子が。
- 321B : 石灰とか いろいろ 入れやんねんな。
- 322A : うーん。 なんかで 混ぜてって 聞いたな。
- 323C : 赤土と なんか 混ぜて。
- 324A : なー 混ぜて。
- 325B : ほんな一 雨とか もっそつい 降ったら こう なんとなく こう 濡れる↑ 濡れたで。

談話 1

326A : っていうかなー。 ##

327B : 昔の家 ほうやったやん

328C : うーん ほや ほや。 んで よっぽど 叩いとかんと はがれてくるんや。

329B : あー そっか。

330A : うん。 な。 なんか こう 皮が こう めくれる ##かに。 ほんなん。 あそこ ###。

331D : また 時間 大体で 戻ってくるんで

332A : あーあー。

333D : 一応 {笑} ちょっと 盛り上がりすぎて タイミングを 失ってたんで、あの一 その調子で

334B : その調子 {笑}

335A : はい。 何 しゃべってても ええんやろ。

336D : 何 しゃべってても 大丈夫です。 困ったら まあ それ。 はい。 お願いします。

337A : でも なかなか こうやってして しゃべる機会もないで これは 今日は 持って行って し  
やべろうって

338C : あーあーあー。

339B : ##### {笑}

340A : ほうやて ほんで 私が 話の たねに なるように これを 買うてきて

341C : ありがとう。

342A : そやけ 食べる 食べる 煮干↑

343C : うーんうーん。

344A : あれを 私もな

345B : #####。

346A : まあ あの一 もろてから

347C : うん。

348A : ほれから もう 毎日な こうやって 食べるように なって まあ

349C : うん

350A : いつも こんな アーモンド入りの 上等では ないねんけど。

351C : うんうんうん。 わかる わかる。 食べる煮干も 私も 買うたこと あんねやけどな。

352A : もうずっと 続けてる

353B : ## ## なかなか すぐに 食べられへん

354C : なかなか 食べきれんのよー。 ほんで 湿ってもて {笑}

355A : ほんで ほら 大体 あの一 5匹か も これくらいやで。 朝 食べる。まあ 朝って 決  
めと# 薬 飲んだら これも 食べるって

356C : あーあーあー。

357A : わたしも #あんまり 牛乳###

358C : ほやけどなー 気ー つけんと あかんで

359A : なに↑

360C : あのなー

361B : 食べすぎか。

362C : そう。 私 今 健康推進委員 去年 受けたやんか

363A : うーん うんうん。

364C : 講習をな

365A : うん。

366C : 講習をな 受けた時にな あのー 保健士さんが 言わあるように 年寄りの人らが 健康診断  
に 来はると

367A : うん

368C : やっぱり 血圧が 高かったりとか コレステロールが 高かったり 中性脂肪 高かったり  
すんねやて

369A : うん。

370C : んで もう 私は 体に 悪いもんは 一切食べてない。 気ー つけてるって 言わんね。 ん  
で 朝から 煮干は 食べる

371A : うんうん。

372C : ヨーグルトは 食べる

373A : うんうん。

374C : ほして 目に ええさかいて ブルーベリーは 食べるとかって してると やっぱりね 摂り  
過ぎるん

375B : あっ。 極端に そればっか。 ほんでもう

376C : うんうん。 ほんで 体に ええさかい 思て 三食 たとえば ちりめんじゃことか ほうい  
うもんも こうやって 摂ってるのにつて いうたら あのー 塩分表ちゅうのをな あのー  
見せてくれやってんけどな

377A : うん。

378C : ちりめんじゃこって こんな細かいのでも

379A : うん。

380C : 一応 一匹の 魚やんか。

381B : {笑}

382A : うん。 おー おおー。

383C : な。 ちっちゃくても。 丸ごとやん

384A : うん。

385C : 魚丸ごと 目も あるし 内臓も 入ったるし ほいで どうしても 加工したるって あのー  
やっぱ 塩が

386B : うんうんうん。

387C : やっぱりこう したるやんや。

388A : うん うん したる したる。

389C : ほんで つい 摂り過ぎるんや。

390B : あー。

391C : んで 塩分 摂り過ぎるで 気ー つけなあかんでって 言わあった。

392A : あー ほんまー。

393C : うん。 ほんで これらか あらー

394A : {笑}

## 談話 1

395C：じゃこも 結構 考えもんやなとか

396B：あの一 ちょっと 意識しながら 適当に 食べてたら いいねんな いろんなもの

397C：そう。 ほんで カルシウム

398A：うん。

399C：あっ ひとつ やっぱ 体に ええとかって カルシウム カルシウムが ええと 思って 摂  
ってると やっぱ 他のものも 気を つけな あかんでって 言わあって

400B：あー そうか。

401C：なんやった 食事 バランスを 考えると

402A：うん。

403C：やっぱ その一 エネルギーと

404A：うん。

405C：それから一 あの一やっぱ 脂肪 脂分と ほして 残りは やっぱ 塩分と それと 砂糖  
糖分 これも やっぱり こう 気にしながら 摂らなあかん

406B：今の 時代やのにな

407A：うん。

408B：あの一 あれやで お年寄りの 人も 今の 時代やのに

409A：うん。

410B：栄養失調にならあるん。

411C：あっ そうそうそう。 脂分。

412B：これは もう 脂分を 摂らあれんから 肉とか

413C：極端に。

414B：うん。

415C：うん。 もう 年いったら 野菜だけで ええわ ては。

416A：ふーん

417B：ほんで こないだあの 栄養失調ならあ

418C：脂肪も たんぱく質も 摂らなあかんねん。

419A：ふーん。

420B：ほんで

421C：特に タンパク質は 摂らなあかんねん。

422B：ほんで 私的な 仕事してる 子もな その 運動にも 通ったり いろんなことしてやるん

423A：うん。

424C：うん。

425B：そしたら もう ここが 痛い 痛い 膝が 痛い ゆうて お医者さん 行かはったら どん  
な食事していますか いやー 私 魚が 好きで お肉なんか 食べてませんで ゆったんや。

426A：うん うん。

427B：あんた もう あかんで

428C：骨粗鬆症や。

429B：うん。 こういう。 うん。 骨粗鬆症って ゆうよりも やっぱその一 栄養の バランス と  
れてないで もっと そういう 牛肉とか お肉とか ほういうの タンパク 摂らなあかん



て ゆわれたん。

430A : ほんまー。

431C : うーん。

432B : 魚だけの タンパク また違うねん。

433C : らしいなー。 なんか

434B : ほう 言われたて。

435A : ふーん。 私も この頃 もう 魚 摂ってたら 大丈夫や

436C : うん。 そう。 そう 思うやろ。

437B : うん。

438C : こんでも やっぱね ぎゅう 私も 牛乳が あんまり 好きで ないもんやで あかんねやけど

439A : うん。

440C : そしたら やっぱ ほれに 代わるもんで チーズやとか あのー ヨーグルトとか なんか それに 代わるもんを 摂らなあかんて 言わった。

441B : うんうんうん。

442C : 牛乳があかんかったら

443A : ほやて 私も あんまり 牛乳が 得手でないさかいな ちょっと 小魚を 得ようと思っ

444C : んで 摂り過ぎさえ 気— つけたら ええんやて。やっぱ どうしても 味が— どうしても したるやろ

445A : うん。したるよ ほらー。

446B : んで 夏 暑いさかいに 水分に お茶とか ばっか 飲んでたら テレビで 牛乳 飲むんが

447C : うんうんうん。

448B : 一番 ええんやてな。

449C : そうそうそう。

450B : えーと 思っ。 私 こんな こってりしてるね

451C : あの 熱中症の

452B : なんと 思っ 牛乳が いいて 言わあッて えーて 思っ。

453C : うんうんうん。 疲れが 取れるんやて。 ほして

454A : ふーん。 ほーなん。

455C : 熱中症の 特集でね。 ためしてガッテン 観てたんよ。

456B : ほーなんよ。 #####。

457C : 思っ。 これからな。 えー 牛乳かと 思っけど

458A : うーん。

459C : ほんで もう 牛乳が あかんで

460A : うん。

461C : ほいから 飲むヨーグルトに したん。

462A : {笑}

463B : #####。

464A : ほやでなー。 もう だんだん ほんで 摂り過ぎると あかん。 ほんで 誰かがな こない

談話 1

だ私 行きやってんけどな あのー お寺参りを ぐるっと あのー 観音 ほや こないだ  
高月の観音 祭りがあったやんか。 あれ

465C : ふんふんふん。

466A : 夏やったかな

467C : ふんふん。

468A : ほ###に 行ったらな まあ どこで ご飯 なる わからんで 自分で おにぎり 持っ  
てきてくださいって 言うてあったでな

469C : うーん うん。

470A : ほんで 行ったらな あのー 男の人がな みんな まあ 大体 手作りの おにぎり 持って  
食べようと したら

471C : うん。

472A : いらんて 言わあん。 なん 食べんて えっ どうしてですかて 言うたら ほしたら まあ  
年代が まあ もうみんな リタイアしたもんやさかい

473C : うん。

474A : こんなん 今はなあ ちょっとな みんな 食べすぎやさかいに

475C : うん。

476A : んで 一日 2食で ええんやって いって

477C : ふーん。

478A : 僕は ずっと 2食を してるんやって

479C : ほしたら 朝と 夜ちゅうこと

480A : みた####

481C : 逆やんな。 夜 抜いたら ええのになー。

482A : なーと 思っ。 あ そーですかーつつて なんか 私らだけ こんな 食べて一つて いう  
てたんやけど ほーか ほんでから また 私も やっぱな 食べすぎかなーとか 思っ {笑}

483B : 力が 出んな 食べんかったら

484C : ねー。

485A : なー。

486B : 私も 畑しよると もう このまま 続きに お昼 やめて ちょっと 頑張ろと 思うと も  
う 2時くらいになったら へたばるもん。

487C : うーん。 ほら あかんわ。 よう ほんな 頑張るわ。

488A : #####

489B : #####。 邪魔くさいやん。

490C : ほーや。

491B : 汗## どろどろなるし。 今 入ったら また もういっぺん

492A : そう そう そう。

493B : シャワー 浴びんならん このまま 頑張ろーと 思っ。 昔の人 お城を 築かあった人  
石を 運んであったんや かわいそうにとか いろいろ思うが

494A : {笑}

495C : {笑}

- 496B : ね。 思うが
- 497A : うん。
- 498B : あの人の もう
- 499A : な。
- 500B : ほんなん もうな一 とばされて 頑張ろう 私も 春ぐらい {笑}
- 501C : {笑}
- 502B : もう あかん 力 出ん。
- 503C : 2食は 2食は ええと 思うけど
- 504A : うん。
- 505C : ほら一 夜は もう 食べんでも どっちか 言うと 寝るだけやで 夜は 食べんでも ええ  
とか 言わあるやん
- 506A : もう やっぱ 夕方から さびしくなって もう ほやろ
- 507B : 胃の 検診前に 食べんかったら なんか やっぱ あかん #####でな
- 508A : ほやろ
- 509C : いや ほんで うちらでもな やっぱ 夕御飯が どうしても 豪華###
- 510B : ###
- 511C : ほんでな ゆう 夕ご飯は もう 粗食で ええんやとか 言いながらも うちの お父さん  
なんかでも えっ 今日は なんや これかとか なたんぱく質がない {笑}
- 512A : {笑}
- 513C : まあ 肉とか 魚とか ほういう 野菜 中心になると もう メインがないやん
- 514A : {笑}
- 515C : メインディッシュが {笑} ほーすっと 言わんすやんか もう 夜は 粗食で ええんやてと  
か いうて {笑}
- 516B : 泣けるわ {笑} 朝も 粗食 {笑} いつ いつ ええもんが 出てくるんやてな {笑}
- 517C : {笑} ほやて いうねんけど。 なかなか あかん。
- 518B : ほやな。 うーん。 やっぱり 一番 よく 呼ばれるし
- 519A : ほーや。
- 520B : おいしいな これ。
- 521C : うーん。 おいしかった。
- 522A : おいしかった。 ほーか。 どれくらいの じゃこに しようかな。 いや 私も 毎日 ほん  
で 摂るって してるさかいにな
- 523C : そーや。 量はな一 ちょっと
- 524B : ほんでも ほんな 毎日 そんなん 一袋も 食べへんやろ
- 525A : ど###
- 526B : 違うやろ。
- 527A : 食べへん。 食べへん。 ほんで もっと 私の あのー 煮干は
- 528C : 大きいやつやろ
- 529B : ちっちゃいの あるやん。
- 530A : おおきい おおきい

談話 1

531C : うんうん。 ある。 ある。

532A : 5匹くらいと 思って 食べてるんやけど。 うーん。

533B : あのー 煮干でも。 私 おつゆにな 結婚した頃 お母さんが 煮干の ほら 出汁を とら  
あるやろ。

534C : うんうんうん。

535A : うん。

536B : ## これも 食べなあかんで 言わあったん。 ほんで 私 ふやけたのは 私は もう い  
や

537C : なんか 余計 気持ち悪いな あれ

538B : 食べなあかん 言われたけど こないしてな 食べたふりして ときどき 捨ててたんや。

539C : うーん。

540B : でも ほた お客さんが お酒 飲みに 来はるやろ。

541A : うん。

542C : うん。

543B : その人が 煮干を ## 必ず 持って来はんねん。

544C : ふーん。

545B : ほいて くうーと かりかりっと 食べはったん。

546C : ふーん。

547B : そしたらな これの方が おいしい

548A : ふーん。

549C : うんうん。

550B : そんな ふやけぢゃない。 ほんで ほー こっちの方が ええわと 思って 食べたこと あ  
る##

551C : あのー フライパンで 炒って ほって ちょっと 醤油を ちょこっと たらして

552A : うん。 煮干をか。

553C : うん うん。 ほいで なんかね あのー 子どもの ときに おやつや言うて うちの お母  
さんが

554B : いわしや。 いわしの 種類やんな

555C : ほんだから あれと一緒によ。

556B : ごまめー

557C : ごまめ。

558B : みたいな

559C : うんうん。

560B : 砂糖や ###

561A : うんうん。

562C : あれー。

563A : うん。

564C : な。

565A : お正月に 食べる

- 566C：うん。 田作り。
- 567B：ごまめは 何。 ごまめいう 名前の 魚かな↑
- 568C：違うやろ。 知らん。
- 569B：違うん↑
- 570C：ふん。
- 571A：ほんでも 売ったるのは ごまめとして 袋 に書いたる。
- 572C：でも 田作りとか 書いたる。
- 573A：ほやほや。
- 574C：なー。
- 575B：田作りは んー まあ あれは あのー あの 縁起を 担いでの 名前やろ。
- 576C：あー
- 577A：あっ ほうなんか
- 578B：数の子とか 田を作る えー意味で
- 579C：あー
- 580B：数の子も 子どもが たくさん 生まれるとか
- 581A：うん。
- 582B：昆布は よろこんぶとか
- 583A：うんうん。
- 584C：うんうん。
- 585B：そのー 縁起担いでの 田作りと 違うやろか。 ほんで
- 586C：やっぱ い いわしの子やろか。いわ いわ なんか 名前が 変わるんやもんな。
- 587B：あー でも
- 588A：いわしがか
- 589B：出世魚 {笑}
- 590C：出世魚。 あれーは なんや。
- 591A：知らんけど。 私は まあ ほんでも ほの 煮干の売ったところ 行くと
- 592B：いわし
- 593A：いーっぱい あるやんか ほんで
- 594C：ほーや。
- 595A：食べ 食べられるのは もっと ちっちゃいのよ ほんで。 あのー 出汁のは
- 596C：うん。
- 597A：お 大きい けど
- 598B：結構 大きい。
- 599A：食べられる 煮干 つんで《というので》 書いてあるところは ちっちゃいんよ
- 600C：うん。 ある。 このくらいよ。 な。
- 601A：ほんで
- 602B：生協で 食べる#####
- 603C：生協で もうな 買うてん 私。 一袋。
- 604A：うん。

談話 1

605C : こんな 大きいん。 まあ 言うたら こういう 袋にはって《入って》

606A : うん。

607C : 食べるいわしって 買うたんや。 ほで もう 何回か 食べて あと もう 湿ってもて も  
うびちゃーて {笑}

608A : えー ほーなん。

609B : こういう 筒の

610C : ## ちゃんにやろか。 猫ちゃんに

611A : うーん。 いや ほんで ちっちゃい こんな袋で 結構 したるで。 あんた わたし いつ  
も ほれ

612C : うん。

613A : これくらいの 袋やで。

614C : あー ほんで ほーやって 小分けしたると 余計 高いんかも

615A : ふーん いつも ほんで ほいで しまいと あのー 買うてきてはな 初めに ほーやってし  
て もろたんや。 な どーやってして 食べたらいいんや 思って ##

616B : こういうの ほんでも 小分けで こういうの あるんや。

617C : ある ある。 ####

618B : ##### こんなに

619C : あの 給食の なんか

620A : あーあー。

621B : あーいうのか

622A : ねー。 学校給食に ようこんなん 出たんや

623A : そう。 ほいで これは 食べやすいで 煮干のよりか ちっちゃいして もう

624B : ぱりっとしてるしな。

625A : ほいでも また 話 戻るけど ごまめも 渋いんや。

626B : 苦いん↑

627C : 苦い↑

628A : 苦いやろ。 あー## 今の 煮干は 全然 どうもないで。 あれ

629C : うーん。

630B : うーん。

631A : やっぱ ほんで 種類が

632C : はらわたは 取ったるんか。

633A : そら 取ったる。 取ったるんやで

634B : {笑}

635A : あの 渋さが 違うもん。 ほんでも あのー ごまめの あのー

636B : 苦いっちゃうんか あれが また いいんやろ。

637A : うーん。

638C : ほーや。 ほんでも よう 炒ったら 別に ほんなに 苦味って 感じんで。

639A : ほーかな。

640C : 炒るんや。 空炒りするやろ。

641A : うん。する する。

642C : ぱりっぱりに なるまで

643A : するけど ほんでも なんとなく あれは 渋い。でも まあ 自分が 先に 先入観が ある  
んねやろか。

644C : うーん。うん。うん。

645B : ##は ####。

646A : なあ。 ほか ほか 摂り過ぎに まあ 注意する

647C : あっ そう そう そう。 それはな 気ー つけんと あかん。

648B : なに あー 特に これって いうと

649C : 摂り過ぎに 気ー つけな あかんねんて。 ほいでー なんやったつけ

650 /少し間/

651C : 糖分

652A : うん。

653C : は とう おんなじ 糖分でも

654A : うん。

655C : あの一 まあ 砂糖は もちろんやけど とか くだもの 糖分とか あーゆうなんは もの  
すごー 吸収が 早いんやて

656A : うーん。

657C : ほやけど あの一 炭水化物の どっち えーっと ご飯とか まあ パンは まあ また 別  
の意味で 加工したるとか ほーいうなんが あるけど

658A : うん。

659C : あの一 ご飯とか ほれとか あの一 そういう なんちゅうの 炭水 いもとか いも系とか  
あーゆー 炭水化物の 糖分ていうのは じっくり 吸収されるんやて あの一 血液の中に  
ほんで その吸収が 早いと

660A : うん。

661C : 早いと インシュリンが すごい わっと 一気に 出るんやて

662A : ふーん。

663C : で あの一 人間の あの一 インシュリンていうのは

664A : うん。

665C : 決まってもたるんやて 量が

666B : うーん。

667C : 生まれたときに もう 死ぬまで こんだけっていうのが 決まってもたるんやて

668A : うん。

669C : もう 出る量 あの

670A : あ 自分の 体から

671C : 新しく 体に 作られるのが

672A : うん。

673C : もう ある程度

674B : うん。

## 談話 1

675C : まあ ほら 個人差は あるかも わからんけど

676A : ##### うん。

677C : あの一 ある程度 まあ 100 やとしたら あの一 100 とか 190 とか ま 多少は 違いがあるかもわからんけど

678A : うん。

679C : もう おぎゃーて 生まれたときに もう 私の インシュリンは こんだけちゅうのが 決まってもたるんやて

680A : うん。

681C : ほれを やっぱ 糖분을 摂り過ぎると 血液の中に 糖分が いっぱい 溜り過ぎると

682A : うん。

683C : インシュリンが 出てきて

684A : うん。

685C : ま 糖분을減らして 血糖値が 高くならんように するのが インシュリンの 働きなんやけど

686A : うん。

687C : ほんで ほれが たとえば こういう もんとか

688A : うん。

689C : じゅ 甘い ジュースとか

690A : うん。

691C : ほれとか あの一 あの一 くだもんとか

692A : うん。

693C : 甘い ま お砂糖の入った ケーキとか

694A : うん。

695C : あーゆうもんは

696A : うん。

697C : ほの 血液の中に しみこむ あの一 スピードが

698A : うん。

699C : 早いんやて

700A : うん。

701C : あの一 けっ 糖 糖が しみこむ スピードが

702A : うんうん。

703C : ほうすると スピードが 早いと

704A : うん。

705C : あっ もう 入ってきた もう 入ってきたていうので インシュリンが ぱっぱか ぱっぱか 出てまううんやて。 ほーすると

706A : うん。

707C : もう インシュリンが ほんま もう 出てこなあかんのに もう 体の中に 溜まったる インシュリンが

708A : うん。



709C : 無くなってくると

710A : うん。

711C : ほで ある程度 年配になってくると たとえば 太ってやあれん人でも

712A : うん。

713C : あの一 糖尿病に なったりとか するんやって。

714A : ほやけど あんまり 太ってん人でも 確かに

715B : んー ほーやね。 んー

716A : 糖尿病に ならあるやろ ほんで 私 ほれがな えー ### 糖尿病って 普通 太った人が なるんかと 思ってたら ほーではないやろ

717C : うーんうーん。

718A : ちゅうのがなー ちょっと あの一 不思議やってんけど

719C : そうそうそう。 ほんでー

720A : うん。

721C : あの一 かの一 体にええ ビタミンCとかが あって あの一 くだもんは 体に ええとかで いうけど

722A : うん。

723C : ほれでも あの一 摂り過ぎは ものすごい 良くないんやて

724B : うんうんうん。

725C : ほして

726A : うん。

727C : これを なんか あまり はいっ いっ たくさん 一気に 食べるちゅうのも 良くないんやて

728A : ふーん。

729C : うん。

730B : ほやからな にん うちら 日本人 ご飯を こーんだけ 毎日 朝昼晩 ### 食べてるのに #####

731C : うんうんうん。

732B : やっぱ ゆっくり こうまわってきたら

733C : そーなやて。 ご飯は ええんやて 体には

734A : ふーん。

735C : ご飯は なんか ダイエットす とかいうと なんか

736B : うんうん。

737C : か タンパク 炭水化物を 減らして

738A : うんうん。 言わあるやろ

739C : ご飯抜きで おかずだけとかって いうのあるけど

740A : うん。 そうそうそう。

741C : あれ 逆なんやて。

742A : ふーん。

743C : これと あとは ご飯を 食べる前に

談話 1

744A：うん。

745C：たとえば お味噌汁とか

746A：うん。

747C：あー うん もちろん 具の入ったみそ汁やけど

748A：うん。

749C：お味噌汁とか そういうなんを 摂りながら ご飯 を食べる方が ええんやて

750A：へー。

751C：ほんで あの とくに あの わかめとか 海草の 入ったのん ほれとか きのこ

752A：うーん。 きのこも ええとは 聞くけどね。

753C：きのことか そういうものと 一緒に ご飯を 摂るのが いいんやて。

754B：あー そう。

755A：うーん。 昔から 比べたら うちも ほんま おみそ汁 食べんように なってきたんよ。

756B：そーか。 うちも さん 3度でも おみそ汁 ないとあかん。 すまじみたいなん

757A：夏でも。

758B：うん。 すまじみたいなん したかて おい 味噌汁ないかって 言わあんねん

759C：うーん うん。

760B：3度 3度。ほんで 私は もう 2しょ 2回で いいんや。味噌汁 夜までいらん。

761A：もう

762B：んで 一緒に ### 朝昼 うちの人 3

763A：絶対 おみそ汁 食べやるん

764B：うん 食べやる。 んで 夏場 ほんなん 朝昼晩って んなん作れんやろ

765A：うん。

766C：うん。

767B：朝昼 作って また 夜んとき しょーがない 作る

768A：うわー すごい。

769C：うーん。そーう。

770B：食べやるもん。

771A：ほんま。 ほんなら あんた 今まで 中国 行ってあったの

772B：ほんで もう ほの ほの度に もう そんなん 作れんで。 向こうは はじめ わかめやら  
乾燥## 持って行きはったけど ほんなん しやるやろ

773A：うん。

774C：うん。

775B：ほんで また もうー セットに なったの あるやろ

776C：あー あるある。

777B：あの一 わかめとなになに ねぎとか ほんで 麴と なになにとか ほういうの 30 袋とか  
ほういうの も こ 持って行かはるんや。 みそは むこうで

778C：やっぱ みそは

779A：ほこにも みそ うん。 ほれを 聞いたかった {笑}

780B：出張を しやる人が 持って来てくれやるんや

781C : あー。 なるほど。

782B : やっぱ ほういうなん 欲しいやろ 思て のりとか 味噌汁のセットとか ほういうのを や  
って

783A : 中国には ほの一 みそを 作る 文化って いうのは

784B : ある。

785A : あー あるん。

786B : で あの一 みその 文化 違う 味噌やろな。

787C : え 知らんな

788B : 同じ テンメンジャンでも 豆板醤でも

789C : あー とか コチュジャンとか 豆板醤とか あんなんも あれやろけど

790B : みその あれは あるやろけど

791A : うん うん うん。

792B : ちょっと このへんの 麴みそのとは また 違うやろ

793C : ほら 違うわな

794A : ふーん。

795B : 今年 私 もっすごい ええかげんな 味噌作り したんや。

796C : ふん。

797A : ほいでも みそ 作ったん。

798B : {笑} 二升だけ

799A : ふん。

800C : ふん。

801B : もう 間に合わなんだで ほれもな もっ 豆を ざーと あの 圧力で 炊いて

802A : ふん。

803C : ふん。

804B : ほんで ほのまま 今度 つくのはな

805A : ふん。

806C : ふん。

807B : こやって ざあざあざって ちゃう はじめつくのは 今度 あの一 あれ 餅つき機

808C : あーあーあー。

809A : うん

810B : あれでな コツンコツン してたとき まだ ほいでも 十分でない また これを すり鉢で  
また潰して

811A : ふん。

812C : ふん。

813B : もう ほんまに あんまり よく 潰れてない。 氷 ばばばあ 入れて 塩入れて しといた  
ん。ほたら この間 も一 生協でも ときどき 味噌を 買うけど あれ もう 買わんとこ  
えーか思って。 夏な 越えたし

814C : あー すんません。

815B : 土用 越えたら ええって 言わはるやろ。 いっぺん 使こてみよ 思ったら おいしいで。

談話 1

816C : あー ほんま。

817B : うーん。 塩気も

818A : へー

819C : へー。 麴は わかしてもろてか。

820B : 麴は うん。 あのー 平和堂で 買ってきたんや。

821C : ふーん。 ふん↑

822B : 平和堂やったかな。 あの 子袋。

823C : あっ ほんな 子袋で 売ったるん。

824B : うん。 確か うん 普通のお店やで。 うん。

825C : あー ほんま。

826B : うん。

827C : ふーん。

828A : いやー まめなな。

829C : 私 もう 味噌 最近 作ったことない

830B : #####

831A : ほんで ##### うんか。

832C : いーえ。 もう ほんで 生協で 麴みそて いうて こう あの 出来上がるー おっきいの

833B : 5 キロぐらい

834C : ううん にき 2 キロかな。 あっ 10 キロか あれ。

835A : 10 キロ くらいあるやろ。

836B : 10 キロ くらい

837C : こんな 段ボールの箱に入って このまま 寝かしといて

838A : うん。

839B : うん。

840C : 時期になったら 出してくるっていうの これはもう ここ 2 年ほど もう ほればっかりで。  
麴みそやさかいに

841A : うん。

842B : うん。

843C : 手作りやし と思て

844A : ふーん。 ほんで もう 豆は もう 作ってへんの

845C : 豆 作ってんやろ。 もう ほんでー

846B : ちがう。 豆もらったで もったいない

847C : うーん。 うん。

848A : ふーん。

849A : #####

850A : あー ほんま。

851B : えーかげんな 作り方やけど 前は うちら もう ほんまに お姉さんのと うちの分を

852A : うん。

853C : うん。

- 854B : 4 升を
- 855A : うん。
- 856C : うん。
- 857B : もう 2 年分 しやんねん。 4 升を ほんで 2 回。 8 升分。 お姉さんとこと うちのん。
- 858C : そー。
- 859B : 2 年分やで。
- 860C : 自分とこで 作ってたん。
- 861B : ほんで お母さんが にし 豆をかうんや。
- 862A : ふん。
- 863C : ふん。
- 864B : ほんで ほの 4 升釜に 前の日に お母さん 豆を 炊かあるん 外で 釜で
- 865A : ふん。
- 866C : ふん。
- 867B : ほーっと 次の 朝に あれは #####。
- 868C : ふん。
- 869B : 私らが また ほの 蔵の中で ## ##### この
- 870A : ##↑
- 871B : うん。
- 872C : ほー ほんなことして 手作りで してたん。
- 873B : うん。 ##で しやると ほんであと 4 つ こうあつて 子供らと 一緒###
- 874C : へー
- 875B : やった。 ほの間 お父さん もっぺん 4 升 炊きはるん。
- 876A : ふん。うん。うん。いやー
- 877B : 8 升 作った。 ほんで こんな木の こんな 樽の 中に 入れて
- 878A : ふーん。 うんうんうん。
- 879C : ひえー
- 880B : ほんで ほの後 塩 お母さん ようけ入れあつたんや。 なんかな ごんごうじお《5 合塩》とかいうて びっくりしてね みんな 聞いたら
- 881C : 昔は ほんでもな一 #んごうじおとかて ##たで
- 882B : ほやろ。
- 883C : うんうん。
- 884B : #####なん もっと 使ったんかな。 ほんで みんなの 聞いてたら ##### お母さん 見極めで 計とかへん 見極めで ようけで ひゃー と入れてたん
- 885C : うん。
- 886B : ほんで ほん次 ###を ぐわぁーと 敷き詰めあるやろ
- 887C : あーあー。
- 888B : そんなに ### ずあーと 入れてあつたん。ほんで あの一 とんがらしと
- 889C : 唐辛子とな
- 890B : ほんで ほんあとは お母さん。### 炒って

談話 1

891C : あー そうそう。 炒って。うん。それは した。うん

892B : 塩 したみして

893A : 私 したことない {笑}

894B : 私なんか ほんで 私 ほんなもん 蓋みたいなん いた# すぐ 買うて 来て ばーん 乗せて

895A : ふんふん。

896B : ほんで ほの上に ビニール だーんと張って ほの 上に あの一 お皿にな 重しに ちょっと 重し していてあんねんけど お皿に あの一 深い こんなン ボールに 水入れて ほいで ぎゅーと 重しして

897C : 水 入れて。

898B : 重し しただけ やけどな {笑} なんか 重しが いいかなと 思って。

899C : うん 水って。

900A : {笑}

901B : ちゃんと どけたで。 ちゃう ほんで 重しな お皿に わーと ほいで ひ 置いて お皿 置いて ほんで なんか 水を ばーとな ボールに 入れて 重しに なんか 重しが 要るんかなと 思って

902C : いや 重しは 要らん。

903B : 要らんな。

904C : 重しは 要らんけど 水みたいなん 入れといたら 余計 湿気があれやん

905B : んー でも なんか はじめだけしてたよ。

906C : あー 取ってもたん。

907B : 取ってもたで。

908C : あー ほやろな。

909B : なんか ぴしゃと せな あかんのかなあーって

910C : あー あー ほん なんもせんね

911B : あれは 空気が 入らんように するためだけやな

912C : そう そう そう。 ほんでな 逆やで うちが 塩を あの一 こぬか《米糠》も 要るけど 塩を ベターっと 上

913A : なー

914C : 敷き詰めるん

915A : これは #####

916B : 塩### ものっすごい ##

917C : あれは ほんで 湿気を こうなあ

918A : うーん。

919B : そうか。

920C : 吸うん。

921B : あー そうか。

922C : 塩は 吸うんやで

923A : うん ほんで 水と 思って 一瞬 {笑}

- 924C：ほんなら ど カビるやんとか おもっ {笑}
- 925B：なんも なかった
- 926C：どうも なかったん
- 927B：うん。
- 928C：ふーん。
- 929A：ほいで あんた 子どもに 手伝わした ゆうことは 結構 おっきい ならんて
- 930B：うーん。 お母さん 居やあったけども 子ども ###は 小学校
- 931C：へー ほんなこと してたんや
- 932A：して うん。してやった#。
- 933C：昔は こー あの と
- 934A：もう みんなち##
- 935C：みんなの
- 936A：まわってきたやんか 順番にな
- 937C：まわってきた なあ 組が 決まってあって
- 938B：みんなが あったけど ほいでしてた。 うちな なかったで。
- 939C：うーん うちらの方は まわってあった。
- 940A：まわってあったでなあ
- 941C：うん。 まわってあって。
- 942A：んで まあ あれ 組長になると いつもあれ 預かってんならんかったが。
- 943C：んで 今な ほれから どこいったんか 知らんけど うちが 最後やって うちで 預かって  
たら 酒屋さんが ないかーって言うて 来やあって ほんで 私 酒屋さんそこへ 渡した  
のは 記憶があるん
- 944C：もう みんな
- 945B：#####も ほれで してあったの
- 946C：うん。 みんな
- 947A：なんかなあ
- 948C：もうなあ
- 949A：あれは もう 必ず {笑} 来たな
- 950C：さあれん うーん。
- 951B：そのあと ### 私も あそこで あのー 改善センター
- 952C：のう 農村の↑
- 953B：うん。 改善センター
- 954C：うーん。 うちも あそこへ 何年かは あのー 持って行って
- 955A：なあ。 私も あのー 豆 持って
- 956C：豆 ###
- 957B：一緒にするかー って言うて
- 958A：持って行ったことは あるけど
- 959B：##さん## 一緒に するかーとか 言われて いや もう 一緒に せーへんて 言うてな  
そしたら 塩は 好きなだけ 入れてもええでって 言わあったん あ もし#どこい# あ

談話 1

れが良かったら 好きなだけ 入れないって ###ろ

960C : うん。

961B : お任せで

962A : みんな# 未だに 持って行ってるんかなって 思ったん。 あそこ

963C : あー もう ほんで ここ 豆を もう 作らんように なってから 持ってたん。

964A : なんや ほんなら 減反を すること 要らんようになってきた#か

965C : うーうん。 減反は せんならんで。

966A : ほーやけども 豆とか あの もうー 何にも

967C : うん。 作ら## 捨てんねん。 捨てんだけの 話や。{笑}

968A : あー {笑}

969C : でも 減反はせんならん。

970B : でも だい 大豆って 結構 食べる あのー 何 あのー 食べる大豆 枝豆。

971C : うん。 枝豆↑

972B : 体に ええけどな。

973C : あー あれは 体に ええけど

974B : びっくりしたわ 私 今まで そんなん 植えたことなかったん

975A : うん。

976C : うん。

977B : ほな ほな おばあさん 亡くなる そんなん したことなかったんや

978A : うん。

979C : うん。

980B : ちょっと 枝豆 そのへん 植えよう 思って 食べたいし 思って はーと 播いとったら  
出来るな

981C : おいしいんか

982B : なったよ おいしいで。 全然 あのー

983C : 畑

984B : うん。

985C : ものすごいやん。

986B : うちは 畑でも 荒地みたいなん

987C : あーん ほんでや 畑は 出来んで 豆は。

988B : ほんま↑

989C : うん。

990B : わたし ほんで 水も なんも やってないのにな 出来たん。

991C : 水##な 結構な あのー

992B : 要るんかな

993C : 一時 要るんやわ

994B : やっぱ あそこ 田んぼやで

995C : 田んぼやで ほんで良かったん

996A : ふーん。 あのー み#なべのほうか ずーと



997C：うーん。

998A：ふーん。

999B：夏の間は 一切 草むしり せんなんだ

1000A：{笑}

1001C：{笑}

1002B：ものっすごい こんなん なる

1003A：うん。 なるもんな。もう。

1004B：ほんまに せんかった。

1005A：いやや もう

1006B：今 ちょっとだけ 頑張ってる。

1007A：もう なあ もう すぐ あの ○○○○○さんの 後も 生えてきて はじめは きれいな  
 と思って

1008B：ほーなんや。

1009C：そーやなあー。

1010B：咲いてきたん 花

1011C：もう 咲いてきた

1012A：コスモス みたいなん

1013B：うん。 普段草。 普段草じゃない だんだん菊

1014C：だんだん菊。うん。

1015B：#####

1016C：うん。

1017A：なんや 種 播いたん。

1018B：#####

1019C：いや 苗はな 去年の こぼれ種が いっぱい 苗が 芽が 出てあって うちも 今 咲い  
 たる。

1020B：あー ほんま。 ほんで あれをなー がらがらづつ あわさんと

1021A：うん。

1022C：うん。

1023B：おっきいなんだけ ほこに 植えて

1024A：うん。

1025C：うん。

1026B：ちっちゃい きゅーとひつついたのは こっちの 柔らかい土に こう がらがらと 半生し  
 て

1027A：うん。

1028C：うん。

1029B：ほれが また これくらいなってきたら ほんで また

1030C：いや 今年 は あれ また 咲かんかも わからんけどな

1031B：あー ほか。

1032C：わからん。

談話 1

1033C : うん。

1034B : ほんで また ちょっと経ったら こっちに 植えたら

1035C : ほんで また ほれの 種が こぼれて また 増えてくると 思う。

1036B : あー ほんま。

1037A : ほーやって ほんなんすると もう 除草剤は やったり し 出来んやろ

1038C : あっ ほれは 出来ひんけど

1039A : ほうやろ

1040B : んー そっか 端っこ ちょっと やって見たん もう かなわんで もう 手に負えんもん

1041A : ほうやろ もう うちも あの 東 ほっこりしてるさかい {笑}

1042C : うーん。

1043A : もう なん なんなん {息を吸って} なあ お父さんは この##で してくれやるさかい ええって 言うものの じきにあんなも 生えてくるで あんなもん こやし## # # してもうたとき

1044C : ほーや。ほーや。

1045B : こわいんや あれ。草刈り機 こわい。よーせんわ。

1046A : ほーやろ。

1047C : 私も かなわん 触らんようにしてる

1048B : どうしても どうしても みんな してやるがな 言わあるけど

1049C : ほーや。あの一 みんな しやるで 恵子ちゃんも いろいろ してやんす

1050A : なあ。

1051C : うーん。 よう 触る####。

1052A : もーう。 なあ。

1053B : 徳永さんか。 あの子か。

1054A : 恵子ちゃん。うん。

1055B : 聖子さんも しやる 言うてあったし。

1056C : ほや。ほや。 結構してある。うちら おばさん ###のおばさんなんて 耕運機は 使わ  
るし いやあの一

1057A : あー ほんま。

1058C : しやあるで。

1059A : 恵美子さん

1060C : うん。

1061A : いやー。

1062B : ふーん。

1063C : こー 黙ってるん 私は {笑}

1064B : {笑}

1065A : {笑} ほーやね。 私ら もう 触ったら やなあ

1066B : 私 なーんかこう なえ

1067C : うーん。 かなわん なんか あったら。

1068A : へやけど 手入れしてても なかなか ちょこっとしか 出来んよ ほんなん

1069B : ほやね {笑} 狭いで

1070C : 違うで。 私な あの 結構 気が 散るさかいな

1071A : うん。

1072B : うん。

1073C : ○○さん すぐ笑われねん もう 奥さんは ここで してたか 思ったら すぐ あっち  
行くなーとかって とかって

1074A : {笑}

1075B : {笑}

1076C : あれ さっき ここで きばってた 思ったら もう いんがな。あと うちの人 あのー お  
前の 仕方は ほれ やっぱ くたびれんように 出来たるけど 言われた なんでって 言  
うたら

1077A : うん。

1078C : うちの人 もう ##### してあるやろ

1079A : あー してあるんか ###。 すごいやん。

1080C : すごいほどの #####で ないでな。

1081A : いやいや すごい #####。

1082B : ほしたら やっぱ おんなじことしてると 疲れるちゅ言わあるん。お前みたいな あそこで  
草むしり してると 思うと 今度 立って 違う こう なんか 植えてみたり ほんな  
また かがんで これしたり いろんなことしてるで 動作を 変えることは 疲れが こん  
かしげん 言われた

1083C : うーん うん。 ほら ほうや。

1084B : #####もせんし

1085A : ほやけど {笑} みんな ちゃ## 家ん中に 居てても わたし 今 これしてたと思っ  
たら こっちする。

1086C : ほんで ねずみやろかってな。

1087A : ほんと 物忘れが

1088B : ほやほやほや。

1089A : もうな

1090C : ねずみ年や ##

1091A : あかんで

1092B : {笑}

1093A : あっ 気が付いたら あっあれ しとかなとか

1094C : ほーなんや。

1095A : もう ほん うち だんだん ひどなってきたと 思うわ ほれが もっと ほの 集中力が  
前は あったと思うんやけど なくなってきた ちょこちょこっ ちょこちょこっ {笑}

1096B : {笑} ## 朝日新聞の 天声人語な

1097C : うん。

1098A : うん。

1099B : あれを 書くノートっていうのな

談話 1

1100C：うん。

1101A：うん。

1102B：この間から 天声人語の方に 書きとりノートっちゅうの

1103A：うん。

1104B：出来たんや

1105C：あー ほうなん

1106B：前から あっ 私も もらお もらお と思いながら 本屋さん 行ったら いや こういう  
のは 本屋さんに ありませんよって

1107C：うん。

1108A：うん。

1109B：どこに あるん やそれ 文房具屋さんや 言わはったけど そんなん

1110C：ふーん。

1111B：朝日新聞虎姫 電話して そしたら 取り寄せます 言うて も一て来やはったん

1112C：うん。

1113A：うん。

1114B：とりあえず 1 か月は やってみます 言うたら あっ いや 3 カ月分入ってますゆう

1115C：うん。

1116A：うん。

1117B：ほんで それを なんか 貼ってするんやけど

1118A：うん

1119C：あっ 貼るん↑

1120A：あれは

1121C：切り取って

1122B：あのね

1123C：切り抜いて 貼るんか

1124B：ううん。 まあ 切り抜いて

1125A：うん。

1126B：ほんで 初めの ページの 上に これぐらい 天声人語って こんなもんやろ

1127C：うんうん。

1128A：うんうん。

1129B：貼って この下にな チョンと

1130A：写すんか また

1131B：ずっと 写せるように こう 両開きで

1132C：うん。

1133A：うん。

1134B：こっち面と こっち面に ずうーと 書けるだけに ちゃんと なってあるん

1135C：へー。

1136A：へー。

1137B：ほんで こう 段を写す## ほの 印が あんねけど

1138C：うんうん。

1139B：ほんで さらに 上に また こう 枠があって ほこには 自分の 感想文とか 今日はこんな 新しい 漢字を この 天声人語で 発見しましたとか

1140C：ふーん。

1141A：ふーん。

1142B：自分は どんなことでも いい 書けるようになったある。

1143C：すごいな。

1144B：もろてから 1週間 何にも

1145C：{笑}

1146A：{笑}

1147B：あなたが これまで ##しましょう

1148A：うんうんうん。

1149B：もう ねろなってきて《眠くなってきた》

1150A：ほーか。

1151C：なんか 写経みたいな 感じやな

1152A：ほーやな ほんな 感じやけど 私 もう あかん 本でも

1153B：なんか せなあかん 続けな

1154A：もう なあ 夜ごと ##けど もう もう 半ページくらい 読んだら もう ねろなってくるんやで 私 もう 夜は

1155B：でも 居やあれんときは 本 読めたわ

1156C：うーん。

1157B：私 もう 居やあれんときな あんまり 私 読書 好きでなかったけど

1158C：うん。

1159A：うん。

1160B：今の 東野圭吾でもな

1161C：うん。

1162A：うん。

1163B：読みかけたら ずーと あの人の シリーズ 読んでたん

1164C：うん。

1165A：うん。

1166B：こわ 怖いんや あの人の だんだん

1167C：うんうんうん。 そうそうそう。

1168B：この人の 怖いと思って

1169A：ふーん。

1170B：けどもう 居やあったら もう読めん

1171A：ほーか。 ふーん。 #まわってな あかんわ 私

1172C：##

1173B：邪魔 何にも 邪魔してへんて 言わあるけど

1174C：えっ ほら やっぱ 気にするもんな。

談話 1

1175B : ほーや。

1176A : ほーや。

1177C : ねえ。 ほら やっぱ 気にするわ。

1178B : 寝んと まだ 寝んのかとか いろいろ 言わあるし なあ

1179C : うん。

1180A : うん。

1181B : 夜は だんだん この 字が 見えんく なったやろ。 ほんで

1182B : うん。 ほれは 夜は 見にくいな

1183A : ものすごい 見にくいやろ いくらな メガネして してても まあ もう ##ちゅうて  
いつの間にか ほいで なんべん 読んでも 頭 入らんねや わたし

1184B : 入らん。

1185A : もう ほんまに

1186B : よう ほんでも 勉強してる##

1187A : ほんなことない。 ほんなことない けど ほら せんならんと 思って んけどもう 一生  
懸命 見ても ほんまに 歴史上の 人物も もう ほんまに おんなじような 名前が  
いっぱい出てくると もう なあ

1188C : あー。 なあ。 歴史の人は 名前 変えとかあるで ##やわなあ。

1189A : 一人の人でも 何回でも 変わっていくし

1190C : なあ。

1191A : よう 似た 名前 もう うちも 今 もう 秀のつく名前が いっぱい {笑}

1192C : {笑} 幼少の ときの 名前とか

1193A : ほうや もうね ほんまに これ ##なあ

1194B : 成人してから ## 大変や## ##

1195A : うーん。 ほんでも まあ こうやってして わたし 歩けるのが 面白いなつつのが ある  
さかいに

1196C : うーん。

1197B : うーん。 ほとんど ほの 竹生島 行くのは 長浜から出るん

1198A : うん。 長浜から。

1199B : 普通の 観光船で 出るん

1200A : うん。 あのー 来てる あれで。

1201B : あれで 行かあるん。

1202A : うん。

1203B : あっ ほっか。

1204A : あれで。 行ってるさかいに ほな

1205C : ふーん。

1206B : いっぺんだけ あれ 乗せてもらたな あの人の ちくくぶ 竹生島神社の あの人の

1207A : あー ○○○○さん

1208B : ○○○○さん。 ほの ここの ○○○産婦人科の 役員してあるんよ 事務長

1209C : うん。

- 1210A：うん。
- 1211B：ねえ。
- 1212A：あっ ほーやったか
- 1213B：初めて 竹生島行ったん。 あんとき ほんで ○○○○さんが 直接 あの ウォーターボートみたいなん びやーと あれに 乗せてくれやった。
- 1214A：あー ほやったっけ。
- 1215C：へー
- 1216A：あっ ほやったっけ。 あの ほんで 竹生島 あの ○○○○さんだったら はらだから 船持って あそこから 行けるさかいに。
- 1217B：あっ ###ほんらい
- 1218A：ううん。＃ち
- 1219B：あの人は ご縁さん。 ご縁さん## {笑}
- 1220A：ううん 。ちがう。 神主さんは
- 1221C：あっ 神主さんか。 あそこは ほんでも 神社と お寺が あるやろ
- 1222B：神社とお寺。 うん。
- 1223A：うん。 そうそう。
- 1224C：ほんで やっぱ 違うか
- 1225A：違う 違う。 あのー 神社の方は あのー ずっと 代々 生え抜きの人なんや。
- 1226C：あーん。
- 1227A：ほんで 同級生の お兄さんなん あの人は。
- 1228B：あーん。 あっ ほうなんか。
- 1229A：ほんで あのー 宝厳寺は
- 1230C：うん。
- 1231A：うん。
- 1232A：あのー みねさんてゆって 宮氏くらいの
- 1233C：ほや。 あー ほや。ほや。
- 1234A：だい 代々あっち ###なあ
- 1235B：宮氏
- 1236A：ほんで あのー あの人は んー 南浜から いっつもな あのー あそこは いっぱいこの 雇われてやる人はな 結構な やっぱ 宝厳寺の お寺の人が 多いんや。
- 1237C：ふーん。
- 1238A：あそこらへん 居やある人は あの人は 南浜からやって ほんで
- 1239B：ほっから 乗らあるん↑ 通ってやあるん↑
- 1240A：通ってやあるん。
- 1241C：あそこ 住めんもんな
- 1242A：住めん。
- 1243C：うん。
- 1244A：一応 あのー 宿直は あるらしいんやけど
- 1245C：うん。

談話 1

1246B：うん。

1247A：一応 あそこは 無人なって なあー

1248C：ほうやな。

1249A：だって あそこ 自家発電。 でも 9時に なったら 消灯

1250C：あっ ほーなんや。

1251A：ほういうと 電線 ないやろ {笑}

1252B：あー 無いわね

1253C：あー

1254A：電線 無いやろ。

1255B：無い

1256A：自家発電なんや

1257C：あー ほうか。

1258A：ほんで 9時に 消灯って 言わあんな

1259C：ふーん。

1260A：ほ＃っと あのー ながいて ほら もう みんな 消えてもうさかいな

1261C：うんうんうん。

1262A：んで 不気味やって 言わあるし

1263C：うん。

1264A：んで ほやけど こう 私らでも行って あの 定点ガイドって いって ほこだけ この間  
も 特別展 また 今 10月から また しゃあるんやけど

1265B：うーん。

1266C：うーん。

1267A：こういうときがあると

1268C：うん。

1269A：私らも ちょっと 要請されてな

1270C：うん。

1271A：行くんや。＃て ほこの 人に あのー こう しゃべってると

1272C：うん。

1273A：そうすると あのー 大体 あのー まあ 元びわの人やらも 多いんやけど

1274C：うん。

1275A：ほこの この あんた 若いのに よう ここで してあんな って言うた どこの人って言  
ったら 青名って言わあるさかいな

1276C：あー あー。

1277A：うん。 ほっか どうしてるって言うたら あのー 南浜から 通勤 あー ほーかつうて

1278B：へー 大変やな

1279C：ふーん。

1280A：うん。 でも 思ったんやけど あそこらでも ほんまに あのー なんちゅうの 9時から5  
時くらいまでやし

1281C：うん。



- 1282B：うん。
- 1283A：ほれと ほんでも 私ら 帰りたいと思ったら 車やったら 普通は ぱーっと どこでもこ  
う なあ 早引きしよっと思ったら
- 1284C：あーん。 ほうやな。
- 1285B：あーん。
- 1286A：あんたら あかんな いちいち この 船でないと とにかく
- 1287C：そうやな
- 1288A：あかんねやでな
- 1289B：うん。
- 1290A：ほいで 言ってたかて あれやで あのー 結構な ほんな 琵琶湖って ほんなに あのー  
波がとか 思わんやろ
- 1291C：うん。
- 1292A：うん。 でもな 竹生島の そばはな
- 1293B：うん。
- 1294A：すごい こう 接岸出来んの 船が
- 1295C：あー。
- 1296B：あーほうか。
- 1297A：ほんでな よう 欠航するんやんか
- 1298C：あー。
- 1299B：あー。
- 1300A：ほんで 途中で もう 帰らな 帰りの 船が ない とかいうて
- 1301B：うん。
- 1302A：えー とかいうて 足が 無くなったら かなわんわとか
- 1303B：もし 観光で 来ててな 観光って いうんか ほの まあ 団体の 観光やったら 人数の  
点呼も あるやろけど
- 1304C：うんうんうん。
- 1305B：個人的に 行って ほんで うっかり乗り遅れたら
- 1306C：うん。
- 1307A：うん。 まあ あのー
- 1308B：どうさあるん なんか 大きい声で 呼んでてくれはるん
- 1309A：ちゃう 一応 次の 船が 出ますよとかゆうのは 言うてあるけど
- 1310B：## さい 最終便に 乗り遅れたら
- 1311A：ほんな 最終便に乗り遅れたら
- 1312B：そんなん ないん。 ちゃう ほんで 知らんと なんか だらだらとして
- 1313A：一応 言うてくれあるやろけど もう みんな やっぱ 最終 だって あそこの お店
- 1314B：うん。
- 1315C：うんうん。 ある ある。
- 1316A：お店かて もう みんな 通てあるんやさかいに
- 1317B：あーあーあー。

談話 1

1318C : あーあーあー。

1319A : あの人も 終いかけて ほんで もう さっと 乗らあるさかいに

1320C : うん。 うん。

1321A : 乗り遅れることは そない

1322C : {笑}

1323B : もし 乗り遅れたらな 大変やな

1324A : 大変やで うん。

1325C : でも あの なんか あのー なんやったつけ 水上タクシーかなんか ほんなん あるやんな。 どっか やま 山本か どっか

1326A : ほれは おの 尾上のほうから

1327C : 尾上のほうから ね

1328A : あっちの ほうからは あの ほら 桜の時期とか #いらの時期は ほの ほっちからでも 行かあるし

1329B : うーん。

1330A : ほんでも 普通はほんなに

1331C : 普通は 無いんか。 いつもは 無いんか。

1332A : # # うーん。知らんで

1333C : ふーん。ほーか。 ふーん。

1334A : うーん。

1335B : 今 もう 寒い。 大丈夫。

1336A : ちょっと いっぺん

1337B : うん。 寒いことはないけど

1338A : 大丈夫か。

1339B : うん。 大丈夫や。

1340C : 大丈夫や。

1341A : C ちゃん 寒いんかなあ

1342C : ちゃうちゃうちゃう。 この頃な あせもでな かゆいんや わたし

1343A : あせもでか

1344C : あせもが できてん あせ できたらへんねけど

1345A : うん。

1346C : かゆくない↑ あなた いたく 痛いんじゃないくて

1347A : うん。

1348C : もうな

1349B : ちゃう あせ あせもで

1350C : 私 ちゃう ほんでね 見たら なんにも 出来てないんやけど

1351A : うん。

1352C : まあー ゆうたら 日焼けして こう なんていうの かゆ

1353B : 肌が 負けてる

1354C : そう。 もう このへんがな もう

- 1355B：あの一 着物 着た 後ね
- 1356A：うん うん。 ここが こう
- 1357B：久しぶり 私ら 久しぶりに 着物 着ると こう 帯
- 1358A：うん。 帯の下 もう 真っ赤っか
- 1359B：## ## ###
- 1360C：あれがな一 もう このごろ ほんで一 あっ 汗 やっぱ 汗かくんやろな
- 1361A：うん。 ほんで やっぱ 弱ってくるんやで
- 1362C：うん。 うん。
- 1363A：私な 前な
- 1364C：かゆーて かゆーて いらんねや
- 1365A：あの一 うん。 来たときくらいに ほら ほれから しばらくしてからな
- 1366C：うん うん。
- 1367A：ばあちゃんがな うちに この 背中に なん なんやら かいてて ようけできたとかっゆ  
って 言うてはってん
- 1368C：うーん。
- 1369A：あー ほうかとか 思ってたら
- 1370C：うーん。
- 1371A：この頃 おとうさんが やっぱ ぼろぼろぼろ こうな
- 1372C：うんうん。
- 1373A：できたりとかな。
- 1374C：うん。
- 1375A：んで まあ かいとかある
- 1376C：うん。
- 1377A：あー 私らも ほんな年に なってきた {笑}
- 1378B：うーん。 うんうん。
- 1379C：ほんでもな
- 1380A：うん。
- 1381C：見ても かゆいところ み あっ かゆいなと思って こう ぽりぽりってするやん
- 1382A：うん。
- 1383C：ほんで 見ても なーんにも できたらへん
- 1384A：けど
- 1385C：ほやけど なんか かゆいん
- 1386A：絶対な やっぱ ほら やっぱ だんだん 年いってきたんやで
- 1387C：うん。 そう そう そう。
- 1388A：ほんで 私も おも一た。 私 ##のとき おばあちゃん 56 やったんや
- 1389C：うんうんうん。
- 1390A：うんうんうん。
- 1391A：はるかに 超えたわ {笑}
- 1392B：{笑}

談話 1

1393C : {笑} ほんでな あのときによ なあ ほんで このばあちゃん ### 思ってたけど

1394C : うーん。

1395A : 私 もう 越えてるやん

1396B : もっと しっかりしてやった### {笑}

1397A : {笑} ほうやが もう 越えてもたが ほんなんな

1398B : うーん。

1399A : ほら一な ○○さんの年は もうずいぶん 私も 越えてもてあるさかいよ

1400C : ほんまや。 うーん。

1401A : ほんでなーと 思って 思うと やっぱり ほの肌とかな

1402C : なあー

1403A : ほんなんでも 見ても

1404C : 乾燥するんかな

1405A : ほーやろ 私も なんで あの ばあちゃんの背中

1406B : ねーやったら たちまち やっぱり 皮膚の これが 悪なるさかいにな

1407C : あー

1408B : 血液の 流れ も悪い かびかびなってまう。老人で 乾皮症ってのがな

1409C : ある ある ある。

1410B : あるやろ。 ほんで ぼろぼろっと 水中にこぼれたある ## 掃除しな## やったし

1411C : あー ほーか。

1412B : こっちの お母さんも 寝やあったら もう なんで こんな

1413C : 白い なんか 粉が 浮くみたいとか 言わあるもんね

1414B : うん。 ほんなん。

1415A : うん。

1416C : お風呂とかでも

1417B : この間 ぱーっ と掃除 ぶわーと あれして もう## シラミひどかったもん

1418A : あー ほうやな

1419C : あー ほんま

1420B : ほんで 頭も あのなんか 顔も 全部 つける薬 病院で 全部 ちごうたん

1421C : えー。

1422B : 頭に 塗る薬 顔に塗るの 体 足の爪 全部 分けてくれやはったん。

1423C : ほーんま。

1424B : うん。 ほれくらい ひどかったで

1425A : ほやな。 ほいでも

1426B : 通わんねんな。

1427A : うーん。 まだ ほこまで いかんけど お父さん でも まあ 頭もなんやら じき できる  
とかな

1428B : うん。

1429C : うん。

1430A : ほやど ほんで えーと 思ったんやけど ここに つける薬が

1431C：うん。

1432A：ちょっ ちょっと違うだけで 違う薬やなと思って

1433B：わたしもな もう 5・6年前な ほんまに お日さんに あたったら ぶわあーって 赤こな  
ってん

1434C：うん。

1435A：うん。

1436B：ほんで もう耳のなん たちまちに じゅくじゅくになって

1437A：うえー。 なっ なったことある。

1438B：なったこと##

1439A：うん。 なったことある。

1440B：ほんで これを一

1441C：耳の裏が↑

1442A：裏つつか なんか ここらへんが じゅくじゅくになって

1443B：耳の裏が じゅくじゅくになって

1444C：あー ほんま

1445B：ほんで かゆいん 痛い ほんで 出口さん

1446C：うんうん。

1447B：〇〇〇さん行って ほんで 薬 くれはって でも 〇〇〇さん こっちのほう

1448C：うん。

1449B：〇〇〇〇〇〈診療所の名前〉 木曜日が 診察してあんねや

1450C：うん。

1451B：あそこの 皮膚科 行って

1452A：うん。

1453C：うん。

1454B：でも だんだん やっぱ こう 年いくと

1455C：うん。

1456A：うん。

1457B：こう お茶の これにも 弱くなるし アレルギー体質に なるって 言わはったん

1458C：うん。

1459A：うん。

1460B：ほんでも ほんまにな

1461C：うん。

1462B：あの一 洗顔石鹸みたいなん 使こうたら きーて もう ものっすごい 痛かったん。 ほ  
んで ほれからな あの 使ってみんしゃい良か石鹸ってあるやろ

1463A：{笑} 知らん {笑}

1464C：{笑}

1465B：あの あの火山灰が 鹿児島 の 火山灰の 使ってみんしゃい良か石鹸って

1466C：あーほんま。 ほれがええの。

1467B：こういう 入れもんには あったあんや

談話 1

1468C : ふんふん。

1469B : かざ 火山灰が 石鹼に 混じったんやけど。 これがな 全然な あのー あのー 今の い  
ろんな ほら 洗顔石鹼あるけど

1470C : ふんふん。

1471B : 石鹼の ちくちく感が 全然 ないん

1472C : 粉か 石鹼か

1473A : せっかい###

1474B : 火山灰の しらす なんや

1475C : クリームみたいなん感じ

1476B : しらすー 火山灰と 石鹼の 何か 成分が 混じったんねんけど

1477C : うんうん。

1478B : とろっと 取ってな

1479C : うん。

1480B : ネットに ちょっと入れてな

1481C : うん。うん。んで 泡立てるん

1482B : ぶわあーって 泡立つんや

1483C : うん。

1484B : ほんで ふわあーとすると ほれからな 治った。

1485C : あーほんま。 良かったやん。

1486B : わたし

1487C : ふーん。

1488A : ふーん。

1489B : ほうよ ほんで ほのあと

1490A : なあ ほんでも 時期も あるかも 知れんがっちゅうのも あたしらでも

1491A : うん。

1492B : ほればっかり ほんで してるん。 んで 茶のしずくも 言うてやったやろ。

1493C : 茶のしずく ほんでも 今 発がん性やったか なんかで

1494B : 今 言うてあんな

1495C : なあ。 問題なったんやろ

1496B : ○○○〈B の娘〉は これがええって 茶のしずくを 買わんって いっぺん なんか 私に  
も くれやったけど それ これでも 私は まだ きききー って 痛い

1497C : あー やっぱり くるんや。ふーん。

1498A : ふーん。

1499B : ほんで ほの 使ってみんしゃい良か石鹼

1500C : あー {笑}

1501A : {笑}

1502B : ほれにしてる。 ほんまやで

1503C : えー

1504A : 今でもか。 ほんで。

- 1505C：ほんで ほれは なんや あのー 最初は あれか テレビの コマーシャルか なんかで  
見てか
- 1506B：テレビの 生で 見て うん
- 1507C：ふーん。
- 1508B：ほれで
- 1509A：あほんと
- 1510B：高いんや 結構
- 1511C：あ ほうなんや
- 1512B：でも 長いこと 使えるで
- 1513C：ふーん。
- 1514A：ふーん。
- 1515B：こんなんで せん
- 1516C：まあ 泡は ええって 言わあるもんね
- 1517A：うーん。
- 1518B：泡で うん。
- 1519C：ね。 泡で あれやって 言わあるもんな
- 1520A：ふーん。
- 1521B：もう ほんまに 私 泡で きっきっ きっき 痛い
- 1522C：ふーん。
- 1523A：ふーん。
- 1524B：ほんで ここに 塗る薬も
- 1525C：うん。
- 1526A：うん。
- 1527B：顔に 塗るのと
- 1528C：うん。
- 1529B：やっぱ ここのん 別の 薬やけど
- 1530C：うん。
- 1531B：あのー 塗って 治ったら すぐ やめて下さい 言われたん もう あれが 入ってあるん  
ステロイド
- 1532C：あー
- 1533B：ほんでもう
- 1534C：んで 長いことは あかんちゅうこと
- 1535A：ふーん。
- 1536B：うん。 もう ぬ そしたら 塗っただけで あっという間に 治ってまうん
- 1537C：ふーん。
- 1538A：ふーん。
- 1539B：絶対 塗って 治ったら 絶対 続けんといてっちゅ 言わあるん
- 1540C：あー そうなんや。
- 1541B：ほれは うん。 きついんいうか。 うん。

談話 1

1542A : ふーん。

1543B : ## 負けやさか ぶわあーと 赤くなるし お日さんあたったら

1544C : あー ほんま。

1545B : 赤こなった

1546C : ふーん。 B ちゃん あれやろ 普段 化粧も 全然 してへんねやろ

1547B : ちょっとだけしてる。

1548C : ちょっと してやんの。

1549A : うん。

1550B : あと もう ## ##

1551C : うん。

1552A : うん。 ###でも 顔によくなあ

1553B : うーん。

1554C : うーん。

1555A : ##さかいに 一応 するけど

1556C : うん。 ほーや。

1557A : #####

1558B : #####っぱなし

1559C : ほーや。 ほら ほーや。

1560A : そうそう。

1561C : 朝したら ずっと寝るまで {笑}

1562A : ほーや しゃある人も あるけど {笑}

1563C : 持ってへん {笑}

1564B : 持っていない {笑}

1565A : んー ほんで もう ほんなもん 私は 今 店 行ってっても あんた うちよか 一回り  
上の人でも お昼ご飯 食べると こうやって 直してあんねん。

1566B : {笑}

1567C : あーあーあー。

1568A : あー やっぱな せなあかんね {笑}

1569C : {笑}



談話 2

会話参加者：男性 2 名（A：1942 年生（69），B：1930 年生（81））

女性 1 名（C：1942 年生（77））

参加者同士の関係：友人

文字化時間：1 時間 3 分 43 秒

会話収録日：2011 年 10 月

1A：B さん このメモは 面白いわ {笑} うまいこと 書いててくれやある。

2B：{笑}

3C：ほんまや 上手に 上手に 書とかある。

4A：えー あー 久しぶりに おうた（会った）ひとの会話『おい 久しぶりやな まあ 上がらんせ お前 どうしてやんす。 どうも こうも あろうかいね もう さ え あかん こっちや もう はへ 仕事どころか たまで あかせんのや 仕事の 間に一服するのでなしに 一服の間に ちょっと 仕事をする程度や みんなマメな かいね おかげさんで 家のもんは みんなマメなわいね 東での おじやんは ど うしてやんす ほうやわいなー 5 年前に なるかなー 秋じまいの シビレ天気（で んき）の日の日の暮れに ぽっくりと 参らしてもらわんした おまへどこの 孫は いこならんしたかいな ボンチは今年で 5 つや ジョウは 3 つになったわいね わ しは』 あっ『わしの あの時分は とっても ドロサク やったらしい』んー とっ てもちゅうのは ちょっと 上品すぎるかもわからん {笑}『わしの あの時分は あ ー ドロサク やったらしい よその人が ゆうていやあるのに あんな ナッタボ ーズは 西でにも よけおらなんだ。 だれ だれやら 来たらしい ほれ 隣のオ バヤンや あっ ええとこへ ゴンシタ まあまあ 上がらんせ』まあまあ ほんま に 情景が浮かぶような {笑}

5C：ほんまや ええ会話や

6A：会話を うまいこと うまいことメモしといてくれやある {笑}

7B：いやいやいや

8C：なあ ほんまや ### ##したか

9A：うーん さっきの おいはぎの話を B さん もっぺん 聞かしてな {笑}

10B：{笑} ほか

11C：{笑}

12B：うーん

13A：お あ おいはぎの は 話と あのー 大雪の あの話とは ちが 違いますんか いな。そのー ○○○○さんのおじさんが 銀行へ 勤めてやあって 米がない 米 持ってこいっちゅう と ときと一緒に##

14B：いやー おんなしときや。

15A：あー おんなしとき。

16B：おんなしときやってんけども

17A：ふんふんふん。

18B：ほんで あの一 ほん ほんで ほの一 米が あ 足らんようになったのは ほん  
で 雪が ちょっとマシになってからかな 汽車が 動くようになってから

19A：ふんふんふん。

20B：やと思うんやわ。

21A：ふんふんふん。

22B：米が 足らんようになる ほんで ある程度は 持っててたんやと 思うんや

23A：ふん ふん ふん

24B：けれども まあ 米が足らんようのなつたはけ 持ってってくれ ということで一  
ほんで ちょうど ほれが 終戦の あくる年やったと思う

25A：うん。

26C：うん。

27B：ほんで 年号で言うと にじゅう一いちねん になるんかな

28A：ふん ふん ふん

29B：あーん。ほの一 21 年になるんか 2 年になるんか

30A：うん。

31B：どっちかやけども

32A：ふんふんふん。

33 はっきした覚えは ないねけども

34A：うん うん うん。

35B：まあ とりあえず まあ 持って来いっちゅうねやで

36A：うんうんうん。

37B：ほんで一 行った

38A：うんうんうん。

39B：ほんで 行くのに えー一 まあ こっちから 米持って ほして 虎姫の駅まで  
歩いて

40A：うんうんうん。

41B：行って 自転車も 十分あらへなんだし

42A：うんうんうん。

43C：うーん。

44B：ほんで まあ 歩いて行って ほして 虎姫の駅から ほんで 木ノ本へ 汽車に乗  
って 行って ほんで 木ノ本で 降りて 木ノ本から また あの一 駅から一  
まあ 歩いて あっこはどうかいの もう 10 分も あるなしやなあ

45A：うんうん。

46B：うーん。 ほんで 銀行で 会って 銀行で まあ 渡して ほして一 {息を吸う}

お茶 一杯だけ 呼ばれてきたかな

47A：ふんふんふんふん。

48B：ほして えー あのー もどりしなの まあ 汽車乗って もんできて 虎姫の  
駅で まあ 降りた

49A：うーん。

50B：ほっから また 歩いてもんでこんならんねやけども

51A：うーん。

52B：あのー 前から出て 大井まで 来て で 大井から 北大井から ほんで  
堤防 上 上がって ほして 堤防 東へ もんできたんやけども ものつくり橋  
ちゅうのがあって

53A：うんうんうん。

54B：ほれは 宮部の人が あのー 桑を あのー 桑森に来るための はしやったはかい  
割合に 簡単な 橋やった

55A：あのー かのう寺あたりは もう桑畑やったんやけな 当時は

56B：ほやほや も もっと 北の方やさけど 今の 保っちゃんこの

57A：うんうんうん。

58B：あのー 田 があるやろ

59A：うんうんうん。

60B：あそっから 北へが ずーと畑やった 桑畑 やった

61A：今 竹やぶに なったあるとこか

62B：竹やぶに なったあるとこ

63A：あーあーあー。

64B：あそこに 結構 いけー 畑が あったんよ

65A：うんうん。ふーん。

66B：ほこへ 来るための 橋が 架かったあって ほの橋を 知ってたで ほこを渡って  
ほのー ほったら ほからは 藪ん中が ずーと 200 メートルくらいは 続くかな  
あの時分は せんざい##て きれいな藪やったし もっと あのー 物がない時  
分やけ あーゆうところも きれいに しとかあったで

67A：ほや うちにも うちの畑にも あったんやわ

68B：あー。

69A：あのー 桑畑が あって ほして ほこへ 堤防と あのー かす## とー 畑の  
間も 深いもんに 掘とったわ あのー

70B：あー そうそうそう。

71A：姉川の水を

72B：はい。

73A：とらんならんで

74B：はいはいはい ほい 今 あのー ほんで おれが あのー

75A：まだ ###あるん

76B：###のゆうの 川なったあるもんなー

77A：うん。

78B：ほんで ほこを 歩いて もんできたら

79A：うーん。

80B：ほしたら ほのー おいはぎが でよったんや {笑}

81A：何人くらいや。

82B：ほんで はじめー 出会ったのは ほんで 5人ほど 居よったと思うな

83C：ほー ほらようけ

84A：ほうほうほう。

85B：5人ほどが 出て ほして あー こら おかしなやつら 出よったな と思って  
歩いてたら また 前の方に 3人か 4人 ぽっと 出よって ほんで 俺が 両  
方から ずーと 歩いて 迫って来よるもんやで こらあー 弱ったなあ と思っ  
て

86A：おえはぎっちゅうんのは まあ まあ 子どもを 襲うんやで ほんな 若い あれ  
ですか ほん 年よりですか。

87B：いや いや 割合 わ みんな若い

88A：ま まあ チンピラみたいなもん

89B：ほーやほーや。 ほやほやほや。

90A：{笑}

91B：ほれが ほんで

92C：まあ 物の無い 時分やでな そな

93A：うーん。 うん。

94B：何しろ 物の無い 時分やったで

95C：うーん。

96A：うーん。 うん。

97B：ちょうど ほの 私の いとこの 古着を もろといたもんやで

98A：うん。

99C：うん。

100B：ほれを 着てたら ほの あの時分な ラクダの オーバーてなもんはな

101A：うん うん。

102B：めずらしかったんやろな

103C：うんうん。

104A：うんうんうん。

105B：うん。 ほんで これは もう ええの 着とるっちゅうので あのー まあ ほ

うやって 迫って 来よったんやと思うけど けろけろっと こら しもた 思  
って けろけろっと 見たら ほいたら ○○○○○さんが 畑に あのー 田  
の ほのー みに 肥持ち してやったで ほんで だぁーと ほこへ 走って逃  
げて おっさん 頼む 今 追われてるんやちゅっていうてて ほん ほれやった  
ら あのー わしが 止めるで お前 こっから まっすぐ 南へ出よ ほーと  
あのー 下の方の 宮さんのところへ 出られるさかいちゅって 言わはって ほー  
か 頼むでーって だぁーと 逃げた 覚えがある ほのときに 南の方の 堤防  
へ上がったときに けろっと 見たら お前ら あのボーズに 何の んー 用が  
あるんやーちゅって 言うてやあった のは 聞こえたった。もう ほのあと  
は もう わしは 逃げる一方で とりあえず 逃げてもうてきたけども。

106C : {笑}

107A : ほんで Bさんが 15・6 言わあったけな

108B : あー 16やなー。 あー。 ほんで 満 16やなー あー。

109A : あー。 あーあーあー。 ほの 5人組も そ そこそこ ちょっと 上ぐらいの

110B : ほやほや。 ほやほや。 もう あのー うーーん 見たところ やっぱり 25・  
6の人 ばっかやったな。

111A : ほー 25・6か。 ふーん。

112B : うん。

113A : ふーん。

114B : まぁー ほんなもんでな けども それくらいで あのー まぁまぁ あのー 今  
の子供らに 言うたら おいはぎっちゅうのも なんやっちゅうて {笑} なんやっち  
ゅうて {笑} 聞きよったぐらいで ほら まぁ めずらしいことやったろうと思う  
けどな。

115A : おいはぎは 今の ことばでは どうゆう説明したら ええんやろ。

116B : どうやろ。 どういうとええやろな。 あらあー

117A : おいはぎ どや

118C : おいはぎ

119B : 強盗でもないしなー

120C : ない わな。 強盗ではないわな。

121B : 強盗ではないねやわ。

122A : うーん。

123B : 通りすがりに 着てるもんは

124C : ひったくりでもないわ。 ひったくり

125A : ひったくりでもないやな。

126B : 着てるもんは はぎとり なに。

127C : ひったくりでもない。

128A : ひったくりでもない。

129B : ひったくりには 似たあるけどもな一。

130A : うんうんうん。

131C : ひったくりに

132B : ほの一 着てるもんを

133A : うん。

134B : はぎとりよんねやはかい

135A : {笑}

136B : {笑}

137C : ほ一や ほやな。 ###。ものないときは ほらなあ

138A : まあ ひったくりの一ー もっと きついやつ やろな。ほら。

139C : ほ一やな。

140B : うーん。持ってるもん くらいでない 着てるもんも ぬ 脱がしてまいよんねや  
で

141A : {笑}

142B : {笑}

143A : うー一ーん。

144B : うーん。 まあ なあ ほら ほんで よつぼど まあ 昔の話やったな ほれで  
も。うーん。

145A : ほら 江戸時代でも あったんやで。 明治 大正 昭和と あったんやで。うー  
ん。ほ一か {笑}

146C : {笑}

147B : ほら ほれと ほんで なるほど 未だに やっぱり これは おかしいんかなあ  
と思うのは いつかも言うた と思うけども あの一 初めて わし 車をな

148A : うんうん。

149B : こうた《買った》 ときに あの一 日産サニーの #とまを こうたんや。 ○○  
○○君 まあ 隣やけ ○○○○君から こうて ほして 車 あろうて《洗って》  
たらな ほしたら一 あの一 ○○○さんが ごんしたんや。 ○○○○○○さん  
が。

150A : あ一 ○○○○○○さん。

151B : ほんで おっ お前 なんや 車 こうたんかい 言うてやんして んー まあ  
中古のな ええのではないけど まあ あの一 こうたんやっちゅうて 言うてた。  
ほしたら お前 いま《暇》やったら 今日 どっか行っところかって 言わんして  
ほら よかるね ほいたら 行こか 言うて 言うてたら ほこへ あの一 ##  
の方から ○○ちゃんが んで おー ○○ちゃんが 来よった ほんだら もう  
○○ちゃん お前も 忙しいんか 言うたら いや 忙しくて あらへん ほんな

んやったら あの一 行こ どっかへ ちょっと行ってこ お前なんや 車 こう  
たんかい 言う まあまあええがな っちゅて ほして 出たやろ ほしたら ど  
こ行こ言うたら どこでも ええて言わんしたんや ほら みー 西とか東とかや  
な なんとか 言わんことには どこでも ええっちゅうなのは あかんがな

152A : B さん 車 買わあったのは 早い時期でしたやろ 昭和 40 年代

153B : ほ ほ一やろか。よ 40 ごろかな一。 覚えがないけどな一。

154A : うんうんうん。

155B : うーん。 ほれから まあ ほんじゃ まあ 北向いて 行くわちゅうて ほん ど  
こでもええ どこでもええんなら もう 北向いて 行こ ほいで ちょうど ほ  
れを 出たの 家を 出たのが 3 時ごろやったかな

156A : うんうんうん。

157B : 午後 3 時ごろやったん ほして あの一 栃ノ木峠を越えて

158A : うんうん。

159B : ほして あの一 東孫谷 西孫谷っちゅうて あの一 孫谷を 下りて そして  
あの一 鯖江へ 出たんです

160A : うんうんうん。

161B : ほして 鯖江へ 行くまでくらいかな あの一 今庄の 今庄まで 出て ほんで  
今庄の 農協の倉庫のところで 聞いたんや あの一 夜叉ヶ池へ 池へ 行く道は  
どれやねん て聞いたら

162A : ほんな 時間からか {笑}

163B : そしたら もー おいさん だいぶ さがってあんねや

164A : うんうんうん。

165B : そしたら 他でも 8 月のなんかの日か そこらやでな

166A : うんうんうん。

167B : ほんで一 あの一 これや この道を まーすぐ 上がったら あの一 行けるっ  
つて だけ 言わあったで ほれを ずーと 上がって だいぶ 行ってから だ  
んだん だんだん 山の中へ 入ってきたし ほしたら 一人の年寄りが 歩いて  
やったで あの一 おっさん これー どのへんから あの一 夜叉ヶ池へ 行く  
道は あるんやね って聞いたら ほしたら あの一 あれやな うん もうちょ  
っと 行くと もう こっから 2 町ほど 行くと ほーと 右へ入る 橋が 架  
かったある ほんで この橋を 渡ると あの一 もう 一本道やはけ 行けるっ  
て こう 言わあったんや。

168A : {笑}

169B : ほれから ほこを 渡って ちょっと 行ったら もう

170C : あっ もう はいはいはい。

171B : 背丈以上もあるうよな わざわざ 藁ん中へ はって《入って》もたんや

172A : {笑}

173B : ほん中を ごそごそ ごそごそ 歩いてる間に ほしたら ほの一 やっぱり 山道ちゅのは あのー 山のねを 歩いたあるさかい そこんとこの 川のそこへ出たんや ほしたら 2・3 日前に ほの一 大雨が 降って 濁流が 流れてあったんや ほんで 結構 いけー 川やったけどな 濁流が 流れてあって ほの流れたある うーん 真中に ほの ちょーど どのくらいやろな 人 人なら三抱えほどあるような ほの一 岩が そぞ##あったん。

174A : あーあーあー。

175B : ほしたら ほの上に すっぽんぽんの 女の人が むこう向いて 立ってやったん。

176C : おーおー。

177B : ほんで おー と 見るなり 止まって 3 人とも ほれは 見たんや

178A : はーはーはー。

179B : おー 見てみ おい 観音さんが 出あったぞちゅうて

180C : {笑}

181A : とま とまってちゅうのは もう あの 歩いてるときでない

182B : いや いや

183B : く 車で

184B : うん。 車で

185A : あっ 車でか

186B : うん。 止まって

187A : うんうんうん。

188B : おー 観音さん 出あったでよ

189A : {笑}

190B : ほら 髪の毛が ざらあーとして 腰のへんまで あったもんな

191A : はーはーはー。

192C : ふーん。

193B : ほしたら ほれは 日の暮れやわいな

194A : ふんふんふん。

195B : もうな。 はいだら ほの一 年寄りの人に 道を 尋ねた時に もう 今から 上がったら 山の車は みんな 降りてまいよったで なーんにも おらへんさかい もう大丈夫や もう だーれも 車にも 会わんさかい だーれも おらせん ほんで どうもないって 言わあったはかい 行ったんやけど

196A : はーはーはー。

197B : ほしたら ほの ほれに おうて《会って》 ほしたら 初め わしは じいーと見てたら ほしたら ○○○さんが もう 気持ちが 悪なってきたんやなー

198A : うん。



- 199B : おい ええかいね 行け。
- 200C : {笑}
- 201B : 何を 言うてんねや。
- 202A : ど 轢けってか
- 203B : 行けって
- 204A : あっ ま まあ 直進せー ちゅうこと {笑}
- 205B : 行け ちゅうことや。
- 206C : {笑}
- 207B : いーかいね 行け こう 言わあって ほれから 何を言うてんねや これをな  
山城の温泉で 見たら 金が 要るんやぞって わし 言うたんや {笑}
- 208C : {笑}
- 209A : {笑}
- 210B : ほんまの ほん むこう 向いてある わけやな
- 211A : うん。
- 212C : うーん。
- 213B : 何も わからんねやわ 女の人の顔も わからんしな はっきり ほら 女の人や  
って わかったけど ほれから まあ 行けていうんやから まあ 行って 行っ  
た そのまま ほしたら 山の道やで くるくる くるくり 回ったあるさかいな  
えーと思ったら むこうへ 行ったら また ほの岩 今度は 下の方に見えるん  
や。
- 214A : あー。
- 215B : ったら もう 次には 立ってやあれなんだわ。あ もう 立ってやあれんね も  
う やあれんね こっちからやと 前が見えるのにつて わし 言うたら {笑}
- 216A : {笑}
- 217C : {笑}
- 218B : ほしたら あの一 あれや もう 立ってやあれなんだや ほんで ほのまま あ  
一 不思議やねーちゅうて ほのまま わしは なんともなしに 行ってもたんや  
ほしたらな おれはな なんで なんともなしちゅうのは ほのとき すでに  
あの子らはもう 青なってやんした /少し間/ 顔が 真っ青やった ほやけど  
も わしは なんともなかってん というのは ほの 山にな 炭焼き に来てや  
る人が ようけ 居やるやろ ほんで 炭焼きの人が 頭を あろうて《洗って》  
髪の毛を はろうて《払って》 乾かしてやんねやと 思ったんや わしは ほんで  
なんともないねん わしは ほして まあ むこうへ 着いたら あの一 もう  
どーんと 大きな岩があって もう ほっから 行けんようになってもて ほっから  
丸太の橋が 渡ったあって ほんで もう むこう 行けん ちょっと ほこ 広  
かったはけ ほんで 3人が かやって《こうやって》動かして

219A : な 何を

220B : 車を

221C : 車を

222A : あっ 車をか {笑}

223B : うん ほして 反対向けたんや

224C : はーあー。

225A : はーはー。

226B : 半分 かやって 動かしたかな。

227C : はーあー。

228A : はーはー。

229B : ほいで まあ こっち 向けといて わしちょっと あのー この橋 渡って こ  
こにな あのー 無人の 部落があるはずなんや 地図で見ると 無人の部落が  
あるさかい んで ほこを ちょっと 見てくるわちゅって ほしたら もう み  
ん 二人とも 下向いて じいーと こうやってやんしたんや

230C : {笑} 怖いもんや。

231A : はーはーはー。

232B : ほいで だあーと 行ったんやけども もう 日の暮やし あのー

233A : あのー ま 丸太橋のような 橋を 渡って

234B : はい。

235A : ふんふんふん。

236B : もう あのー 丸太橋を 渡って 行ったんやけども

237A : ほんで ほ ほれはー さっきの 岩の上に 立ってやった とことは また 上  
流やろ。

238B : だいぶ 上や。 だいぶ 上の方や ほれは。

239A : ふんふんふん。

240B : ほんでー あのー まあ ほれを 行ったんやけども。 やっぱり ひとりやしも  
あのー こやい《怖い》ことはない。 なんしろ ほ#てやる こんな時分から わ  
しは ものを こやいと 思ったことがないもんやで ほんでー こやいことはな  
いやけども あの子らも やんすし こら くらなる《暗くなる》とあかんさかい  
もう やっぱ 引きかやして《引き返して》 去のうと思って もんできたら いつ  
まで 行ってんねや せいでもんでこんかい

241C : {笑}

242B : せいで 去のうっちゅうて 言わあんさかい ほんでー ほうかい もう 去のう  
っちゅうて ほんで まあ 車は むこう向けてあるで ほんで だあーと 帰っ  
てきたん。

243A : ふーん。

244B：ほして まあ ほー 帰って ほして 結局 あのー 今庄へ 出て 今庄から  
あのー また 栃ノ木峠を越えて もんできた。 つまびらか〈椿坂〉のどこまで  
もんできたら 今の つまびらかの道と違うさかい あのー もっと山手の道を  
通ってたで ほしたら 2メートルのようや 2メートルくらいでなかったかな 9  
尺 3メートルくらい あったかな 石垣が積んであるん。 山の淵に ずーと 石  
垣が積んであるとこあったんや。

245A：どこ。 椿坂。

246B：うん。 椿坂の 椿坂から もうちょっと 下ってった とこに

247A：ふーん。

248B：こっち側にな。

249A：ふん ふん ふん。

250B：ほいたら ほこまで もんできたら きつねが だやあーと この ほれを 飛び  
上がろうとんねや

251C：ほーん。

252A：ほ 石垣を

253B：うん。石垣を

254A：ほん。

255B：ほんで ほー 今度は キツネが 出よったっちゅうて

256C：{笑}

257B：ほんなもん 見てんと せいで いねっちゅうて おこる###

258C：{笑}

259A：{笑}

260B：こわーて かなわんねや あの子ら もう。

261A：うーん。

262 ほんで もう もんできてから

263A：うーん。

264B：ほして 木ノ本で

265A：もう ほの キツネが あっ あの 出よった時分は もう くらなってたん

266B：うん。 もう くらなってた。 もう 電気 灯してたもん。 ほして 木ノ本まで  
もんで 木ノ本の駅前の あのー 元気のええ おっさんがやあったん。 うど  
うどん屋 やってあったんや。 ほんで ほこで うどん 食べて ほして もん  
できたけども ほしたら ○○○さんが もう ほのあと もう あいつとは も  
う 行かん

267C：{笑}

268B：どんな目に 合わさ###ちゅうて ほれは 人に 言うてやあったらしいわ あ  
とから 聞いたんや わし。

269A：ほの一 すっぽんぽんの 女の人が 後ろ向きに立ってあった ほれが

270B：ほれが

271A：怖かったん。

272B：ほれが 怖かったらしいわ。

273A：まあ ほの なんちゅうかな 身投げするような ひさ##ような

274B：いやいや。 ほ一でないんや。

275A：うんうん。

276B：ほんの一 ちょん一 立ってやったんや。

277A：うんうんうん。

278C：ふ一ん。

279B：ほしたら ほの後 ちょ一ど 1週間ほど後に

280A：うんうん。

281B：ほの一 盆の 13 日の日にな 盆前の 13 日の日に

282A：うんうん。

283B：ここの ほんで ○○やんと ○○ちゃんと ほんでから ○○やんと ○○やんと  
こは 子どもも 連れて来よったけん ほしたら 始めな ○○やん ○○やん  
が あの一 うちの前通らあって ○○やん どっか行ってくっかって言ったら  
お一 お一いいね ちゅうて 言わあって ほしたら ほこえ 幸いに ほの ○  
○ちゃんが また ござったんや。 なんや お前ら どっか行くんかい。 おいお  
い 行ってこちゅうて ほいで一 言うたら ほしたら 夜叉ケ池へ 今日は 早  
いで もう 午前中やったはかい ほんで一 あの一 夜叉ケ池へ 行ってこよと  
思うんや この間 ちょっと 下見に ま 行ってきたんや わし。ちゅうてたら  
ほしたら お一 ほら 行くっちゃ ほしたら あの一 ○○ちゃん わい みん  
で ほしたら 弁当こしらえてくるって言うて 去なあったんや

284A：ふんふんふん。

285B：ほんで ○○やんも 弁当こしらえに もどあったと思うんや ほんで わしも  
まあ 弁当こしらえて ほいで 行こうとしたら ほったら ○○ちゃんが 去な  
あるときに ○○やんところで ○○ちゃん お前 去んだら ○○やんところで 双  
眼鏡 借りてきて一な て言うたんや

286A：{笑} うんうんうん。

287C：{笑}

288B：ほしたら 行ってくらあったんやな 借りに。 ほんなもん 貸すくらいなら わ  
しも 行ってくて こういうことになったんや {笑}

289C：{笑}

290A：{笑} ふん。ふん。

291B：ほんで 2 台で 行ったんや。

292A : うんうんうん。

293C : うんうんうん。

294B : ほんで 夜叉ヶ池まで 行ったんや。 ほしたら 今は もう 広野ダムちゅうのが ダムが 出来たあるけどな もう ダムが出来るまでやでな ほら 丸太の橋 渡って まだ この写真 残ったあるけどな 丸太の橋 渡って 行ったんや。 んで 歩いて だぁーと もう こう 歩いてたんや。 ほして あの ほれもー ほんで また 雨が 降った後やで ほの川も濁流で 流れてあったんや ほのときも。 ほんでー ○○やんに あのー ○○やん あの あの岩の上に この間 立ってあったんやど 観音さんがって わし 言うたら ほしたら ○○ちゃんが ほら おまえ 観音さんてね ほら 出よったんやんて

295C : {笑}

296A : {笑} ふん。

297B : 夜叉ヶ池のが 出よったんやて こう 言わあったんや。 きの一##ない 出よるかいて わしは 思ってたんやけども まぁ あの人は 覚えてあったん。 ほーたら やっぱり ○○○さんらは ほんで いきなりは ほー思ってもたんやろな あのー 怖かったちゅうのは もう かなわんちゅて 言われたもん {笑}

298A : ふーん。 まぁ 幽霊が で 出たくらいに 思わあったんやろな

299B : そうそうそう。

300A : ほらぁ。

301B : ほして まぁ 向こうへ 上がって で 昼飯を ちょうど 1時半くらいになったけどな おんなし あのー 弁当 食べるんなら 頂上へ 上がってから 食べようまいかいなちゅうて ほしてー あの 頂上へ 上がって あのー 上がる ちょっと 前に もう 頂上が 近くやろなちゅうて 言うて まぁ ちょっと 一服しよって 一服してたら 上から 二人かな 降りて来あったんや。 ほしたら ほのひとが 赤マムシを 掴んでやんねや 手で 口をうやーとこっち 向けてとんねやで こうやって 手で 掴んどんねや ほして 今歩いてたら 出て来よったで 掴んできたちゅうて ほんで きりーと 巻いとんねやわな 手に。 うん。 ほして ほしたら もう頂上は 近いけ うん。もう 頂上はもう ほん すぐ そこやちゅうて言うて 言うてやったんや。 ほんで おい こら 気つけんと マムシも 出とるかわからんねやね ちゅうて 言いもって まぁ 行って ほして 13 日の日に 行ったら あのー ほこの 夜叉ヶ神社の祭りが 近くに あったんやろな。

302B : ふんふんふん。

303B : ほの一 お線香は 無論あったしな。 地蔵さんの前 地蔵さんやろな あらぁ 地蔵さんの前に。 ほして あのー 紅やとかな 白粉やとかな クリームやとかな ほういうもんが あの 飾ったあんね ほこに。 ほしたら ○○ちゃんが これ

は あんまり 見ると ようないねって こう言ってあったんや {笑}

304C : {笑}

305A : {笑}

306B : なんや なんや おっさん おっさんも 怖いのかって 言うてたんや {笑} ほしたら ○○やんは ほんで 前 来とかあるんやな あのー 青年会時分に ほしたら こっちの 峰から 渡って来たんやちゅうて 言うてあったんや。

307A : うーん。

308B : ほーっちは もーのすごい険しいんよ。

309A : うん。

310C : ふーん。

311B : もう 片っぽは 絶壁の ものすごい 絶壁で うん ほこで 写真も 撮っとけどな わしも あのー かた 片っぽの足を 伸ばして 片っぽの膝ついて ほれで 体がまっすぐ 立ったあるくらい。 ほのくらい 険しいんよ。 うん ほこで 写真も 撮っとけどな ほいたら ほのときに あのー ○○○○○○さんが 帽子を カンカン帽を 飛ばさあったらしいわ。

312A : あー。うんうん。

313C : あー。

314B : うーん。 ほんで ひらいに〈拾いに〉行くのも 行けなんだんやで。 んー ほしたら ほんな 風が 吹いてくるのは 誰か ゆうべ あのー ### ゆうべでない今 弁当かなんかに 金のもんを 持ってるやろって ほのー 先達が 言わあったんや。

315A : ふんふん。

316B : ということを 聞いてた。 ほんで ほれは あのー 龍神さんがやな ほのー バチを当てやったんねや 帽子が 飛んで行ってもたちゅうのは ほんで 先達が ほう 言わあったっていう 話は きい ほのときに 聞いた。 ほんで ほんな ことで まあ あのー こうやって していったんやけども この岩 あのー 後先になるけども この岩を 岩を 見たときに ヒデやんに あの岩に この間 立ってあったんぞって言うたら ほだら ほれは 出よったんや ほんもん こん なもん お前 あんなもん 見たかて 登れそうにないがなて どっこも 登れる ようなとこ ないねやわ 梯子でも掛けなな登れんがな あんなどこちゅう 言わあったんや。 ほいで 濁流が流れてあるさかい 梯子さすわけにいかんねやし ほんなもんは 出よったんや ○○ちゃんが {笑}

317A : {笑}

318B : 言わあって

319C : 不思議 不思議なことやな。

320B : うん。

321A：まあ 夜叉ヶ池の話は 僕も 子供時分 親父から よう聞いたわ。

322B：あっ ほーか。

323A：ほして もうひとつは 静岡県の桜が池って ありますんかいな。

324B：うーん。 どや 知らんねや。

325A：おーん。あの一 お櫃を 浮かべると 池の真中まで ずーと 流れて しぼーんと あの一 ひっくり返って ご飯だけ 空んなくなって ずーと また もんでくるちゅう そんな話しとったことあるけど {笑}

326B：ほんでね ちょうど ほの一 ○○やんらと 一緒に 行ったときも ほの ほんまに じーと まあ あの一 まあ 腰かけて 腰おろして ご飯 食べてたら すーと 1メートルほど の幅で すーと 波立つん

327A：ふんふん。

328C：ほー。

329A：ほの 夜叉ヶ池が

330B：うん。 夜叉ヶ池が。

331A：ほーほー。

332B：ほれは 見てきた わしも。 けども はーん あれを ○○やん あれをね 神さんが 通らあった とか なんとか 言うんやろかちゅうてたら

333A：うーん。

334B：ほしたら まあね 昔の人はね ほういう風に 言うたもんやろねちゅうて 言うてあったけど ほれは 山岳気象やと思う わしは。 わしの 思いは。 山岳気象で あの一 まだ 高い山が いくつかあるさかい。 ほの一 ほして もう 言ってる間にも 雲がすーと 降りてきて 水面まで 雲が 降りてきて さぁーと 上がるん。

335C：ほー。

336B：ほんで あれが ほんで ああいうことが ほんで じゃ《蛇》が 降りよったんやとか 龍が 降りよったんやとか ゆうんやろちゅうて あの ○○ちゃんと 喋ってたんやけど うん けども 確かに ほれは ええ天気やったんやで ええ天気やったけども 雲がさぁーっ 降りてきた。 うん。 俺は 見てた。 うん。 けれども ほんで ほういうこと で なんや 三本の上に なんやら あの一くしを 乗せてやると なんやら あの一 三本が 向こうへ 行って ひっくり返ってくれたらゆう 話でない##たらしい {笑} まあ いろんな話 してあったけども うーん 確かに あれは ほんで わしは 今風に 考えると 山岳気象やで あの一 ほれはしょうがないやろなと思って 思ってたけど うーん。 けども まあまあ そういう 面白い えー 経験というか

337C：うーん。ほんまやな。 なかなか ほういう

338B：こういう目にも おうてきた#な。

339C : なあ。 ふーん。

340A : ふーん。 まあまあ いろんな いろんなのが 居てあるやん。

341C : なあ ほんまやな。{笑}

342A : あー ##らは。

343B : ほんまやな。

344A : 案外 その 年配 年上の人との 付き合いが 多かったですよん。

345B : うん。ほうです。 あの時分は あのー やっぱりなー 親父が ほの つきおうて  
た人が あー やっぱ ずっと 俺に 引き続いて ほして あのー 親父が 自  
治会長やってたときに ○○ちゃん副やってあったし ほんで ほういう関係やら  
で ○○○○○やんらに 初めて わしは あれ あれー まだ 学校行ってる時  
分やろな

346A : ○○○○○やんちゅうのは ○○○○○さん

347B : いやいや。

348A : いや ほら あー えーと ○○やんて なん

349B : ○○○さんとの

350A : うんうん。なん なんちゅう人やったんやな まごー

351B : ○○○○。

352A : あー ○○○○さんか。ふんふん。 ふんふん。

353B : うん。 あのひとーが あの 小さい時分から うちと あのー 糺摺りを 結し  
てたんや。 ほんで あのー 糺摺りっちゅうと うち 来てくれあったし ほし  
てー あのー うちの 親父も #まー そこへも 行ってたし ほんで ほんな  
んで 糺摺りーを 教えてくだあった 糺摺りのやり方を 教えてくだあったのは  
○○やんに教えてもろった 親父は ずっと もう 一言も

354C : {笑}

355B : 親父が 教えてもら#なんだ。 あの時分は

356C : 昔は 結があったわな ほら

357A : ほーや。あー。

358B : ヤンマのな。

359C : お互いに。

360B : ヤンマーの 折り返し万石 ちゅうて 万石が こうゆうなったあるやつ やった  
でな。 ほんで 朝鮮

361A : C ちゃんは ま 街の人やで 街では 結ちゅうのも あ わ あ ほ ほ 娘時  
分は ないやろ。

362C : ほれは 知らんな。

363A : なあ。 こっちへ 来やってからやんな。

364C : やっぱ こっちに 寄せてもろてからやな 結は。



- 365A：うーん。 やっぱ 街では ないわな。 あーゆう 結ちゅうのは
- 366B：まあ ほーゆうこと ないやろな。
- 367C：ほーやろな。
- 368A：ほの一 手間の 貸し借りですよな。
- 369B：ふん。 そうそうそうそうそうそうそう。
- 370A：うーん。
- 371B：うーん。 ほんで
- 372A：手伝い合いちゅうんか。
- 373B：ほんで なんか 仕事をしてん限り ないやろな。
- 374C：ほうやな。
- 375B：みんな 勤めてあったり よそへ 仕事に 出てあったり あと うーん まあ  
昔は 結ばっかやったもんな。
- 376A：ほーや。
- 377B：うーん。
- 378A：ほらあ 田植えでも ほうやわな。 あー 田植えで {笑} 稲刈りは 大概 家で  
やったけど 田植えは 結を よう さわった。
- 379B：ほーや 田植えは うーん。
- 380A：うーん。
- 381B：特に わしは あの一 これな 4年生のときにな 米つきの機械にの あの ベル  
トに 挟んどくねや これ
- 382A：あー。
- 383C：あー。
- 384B：これ2本が。
- 385A：うんうん。
- 386B：ほんで ぐっと曲がったあるやろ。 ほんで これも まあ い 今では曲がった  
あるけど これ これはもうまっすぐやけど ほんで 田植えが 下手やったん。  
ここへ 苗が もれてまう
- 387A：あーあーあー。
- 388C：あー。
- 389B：ほんで 田植えが 下手やって 田植えの機械が 出来たら 一番に こうたろ思  
うちゅうて {笑}
- 390C：{笑}
- 391B：わしは 言うてたんや
- 392A：ふんふんふん。
- 393B：ほれくらい 田植えは 下手やったんや。 ほんで 田植えは よう来てもろたし。  
ほんで 親父が いんようになってからも あの一 山東町からよ 来てもろた。

- 394A : あー 僕 僕も 田植えだけは 機械が 出来まいかなと思ったな {笑}
- 395B : うーん {笑}
- 396A : うーん。
- 397B : うーん。 けども 田植えには 弱った。
- 398A : うーん。
- 399B : うーん。
- 400C : ## 私も牛を つこて《使って》やったわな
- 401B : ほうや。
- 402A : ほうや ほや 牛を つこてやった。
- 403C : なあ うち あの
- 404B : 牛。
- 405C : 私も 思い出してん。 あの クボ クボタのところでな 牛を 置いとかあんねや。  
この横 通るな こーて《恐くて》{笑} こーてやら クボタの
- 406A : もう 国友では B さんとこと と ○○○ちゃんとこ
- 407C : ○○○○さんとも
- 408B : ほーや
- 409A : あっ ○○○○さんも こうて《飼って》やるん。
- 410B : ○○○○さんは 牛乳 あー 乳牛やったけど
- 411C : あっ あー そうか そうか。
- 412A : あー ほうか。
- 413B : ほして あのー ○○やんが こうてあったん。
- 414A : あっ ○○○○○○やん。
- 415B : うん。 ほしてー ちょっと 遅れて ○○あんとこに おったしな。
- 416A : ふーん。 あのー まあ もう 小さい時分かな うちの親父やら あー ○○ちゃんやら 3・4 が 仲間で 豚こうたんやな。
- 417B : 豚 こうてやった。 あそこの
- 418A : どっか そえどの 今の あっこらへんでなかつたか#
- 419B : うん。 そえどのとこや。
- 420C : うーん。
- 421A : なあ。
- 422B : うん。
- 423A : うんうん。
- 424B : そえどのとこに ○○ちゃんこの畑や あれ ○○ちゃんこの畑や。
- 425A : ふーん。
- 426C : ほーや ほや。あそ
- 427B : あ そえどのなあ

428C : ○○ちゃんが あ そう ## ## 売らあったんやで

429A : うんうんうん。

430B : あそこで 豚 こうてあったんや。 よう ## しな。 ほんで わしら あのー  
カモの宮のそこから ずーと あのー もんで来て あの細い道を ほんで 今の  
殿屋敷の中の あの細い道を もんでたんやでな。 うん。 ほんで あのー 学校  
道ってよ ほらあ あったんやけど 戻るときは みんな別々やな。

431C : ほら ほうやわな。

432A : {笑} ふんふんふん。

433B : ほんで ほこばっか もんでたけどな。 よう あの 戻りしな 豚 見てた

434C : ほーほっか。

435A : {笑} ふーん。

436B : ようけおったで 豚。

437C : あっ ほうか。

438B : うん。

439A : わしら 子ども時分は 家で あのー あれ 山羊 こうてたしな。

440B : うーん。

441A : 山羊も あれ 子ども うもった《産んだ》あとちゅうのは もう バケツ 1 杯く  
らい あの 乳が 出たで。

442C : あー ## そうやな。

443B : えー ほうか。

444A : ようけ出て もう初め 1 週間くらいは もう あの バター溶かしたような 黄  
色い ドロドロで あの 飲んだら 下痢するちゅうことで みんな捨ててもてな。

445B : あ ほうか。

446A : うん。

447B : ほな やっぱ ほんで 乳牛でも 一緒なんやな。 あのー 牛でもやわな。

448A : あー ほい ほーか。

449B : 1 週間くらいは あのー 飲まさんのです。 もう 捨ててまわんのや。 ほんで  
生まれた 子どもにも 飲まさんねやわ 俺は。

450A : あっ ほうか。

451B : うん。 なんか やっぱり あのー 酸がきついかな なんかきついんやろな。

452A : うんうんうん。

453C : ふーん。

454B : ほーや。 ○○○○さんところにな あのー 綿羊のな オスを こうとかあったん  
やわ

455A : あー 綿羊のオスは 臭いが きついんちゃうん。

456B : ## # して いかい いかいがな。

457A : 山羊でも もう

458B : もう ほらあ 子牛くらい おるで 子牛で 中くらいの牛くらいおるで。

459A : もう 山羊でも オスは 臭い 臭い。{笑}

460B : あっ ほうか。 ほんで あのー ○○○○さんは ほんで い うん 家の中や  
ろ たち##ん中で 飼うと かなわんさかいやろな

461A : うんうん。

462B : あのー 今のー 古い家の前にな セン#イの西のほうに あのー もーその竹が  
あったんや。 今 コバタとかんところに。

463A : ふんふんふん。

464C : うーん。

465B : もーその竹があったんや。

466C : うん。

467B : ほの 竹に 括ってあったんや。

468A : ふんふんふん。{笑}

469C : ほー

470B : うーん。 ほんで 藪ん中に おったんや はよ言うたら。 ほしたら 俺を ○○  
やんところに 晩 遊びに行つてな ほして まあ 12 時近くやったんやろな。 も  
う 去のうちゅうて もんできたら まっつくらな晩やったんや

471A : ふん。

472B : ほしたら ほのー 今みたいに 舗装してないやろ

473C : うん。

474B : 地道やな

475A : うんうん。

476B : ほれを ばあーんと 後ろから どつかれたんや。

477A : ふん。

478B : 腰のへんをな。

479C : うーん。

480B : ほんで ぶーんと 飛ばされてな 前の道 ベターと 倒れたんや。 {舌打ちをし  
て} だあれが どつきよったんやろなと 初め 倒れた時に おもたんやけど  
{息を吸って} こら おかしいなとおもて ひゅーいと 立って ほして とー  
っと こう 歩こと思って ひゅーと 立ったら また どかーんと きたん ほ  
のときに 耳に どかーんと 来よった時には トコトコって 音が したんや  
ほんで はあーん こらあ 何かやな と思って ほんで わいも 牛 こうてる  
し

481A : あーあーあー。

482B : ほんで ほんなことは あのー どうもないやさかい びゅーと 手を 出したら

ペロペロって 舐りよったんや。

483C : {笑}

484A : {笑}

485B : 手を あー こらあ ○○○○さんこの こらあ あの あれ 綿羊やなと思っ  
て ほれから また ○○○○さんところへ ちょうど 俺が やられたのが  
○○○○さんこの 寝間口やったんや ほんで また こう 元へ 戻ってな。

486A : あっ 括っとかれなんだんか。

487B : 括っとかれん きた#やったんやな。

488A : {笑} あー きた# {笑}

489B : 元へ 戻って ほして 裏口を ドンドンと 叩いてな

490A : うんうん。

491B : ほいで ○○○○さーん お前んこの 綿羊が 逃げとるらしいでよ

492C : {笑}

493B : ほしたら ほうかちゅうて 起きて来さった。 ほいで 括らあったか どう さ  
あったかは もう あとは知らん もんできたけど ばあーんと 飛ばされて ほ  
らあ あの時には {舌打ちをして} あー 誰かが どつきよったんかな {笑}

494A : もう 暗闇の状態やろ

495B : 真っ暗な 真っ暗な状態やったんや

496A : 綿羊は くろーても 目が効くんかな。

497B : あー あのー あーゆう 動物は もー ほとんど あのー 夜でも

498A : ほー。 うんうん。

499B : うん。

500A : ふーん。

501B : ほな あのー わし あのー 牛連れてな

502A : うん。

503B : あのー ジョウギに おばやんが 居やあったんや ほんで ジョウギの おばや  
んのところへ おっさんが は 狩りしてあって 打ちあって 田んぼも 出来なん  
で 牛連れて あのー 田んぼしに 行ったことが あんねやわ 耕作しに

504C : ふーん。

505A : うーん。

506B : ほんで もう もう 夕ご飯 呼ばれて ほして もんで もんでくるんや あれ  
3日 4日 向こうで 泊って いたん ほんで もんでくるんやけども もどりし  
な 夕ご飯 呼ばれて もんでくるもんやで 真っ暗やな 真っ暗で もう 道は  
わからんけども ほな もう 牛は ちゃんと 来た道を 知つとるさかえ ほな  
もう わしは ほんで あのー 鞍につかまって もんできたん。 真っ暗でも  
ほら ちゃんと もんで来よる。

507A：あー ほーか。

508B：うん {笑} これは ほんで 結構なもんな。 うん。 今の永久寺 昔 金勝寺ってゆうたけど まあ あの 永久寺の中 通って 室 通って 宮司通って ほんで ずっと もんできたがな 山科からこっち うん ほなもう 真っ暗で 鞍に 掴まってんねや まだ トットトットと 歩いてくる なあ 勝手に

509A：うーん。

510B：ほんなもんで あのー あいつらは ほな もう 3年前に 行った道でも 知ってるで。

511C：ほー。

512A：ほーか。 牛がか。

513B：うん 牛が。

514A：はあー

515B：〇〇〇はんとごのな

516A：うーん。

517B：あのー 芝をな いっぺん あそこ 新庄にな 新庄に しんじゅ屋が あるんやわ。

518A：近江町の新庄。

519B：うん。

520A：ほー ほー。

521B：ほんで どっか あれ 多賀へ 行ったんか どこ行ったんや 知らんが ほしたら あっちなんやらで 行ったときに 勝手に ほの 新庄の え あのー 〇〇〇はんとこの しんじゅのほうへ いっぺん 〇〇〇はんとこのしんじゅにも 行ったことがあるんやわ

522A：うんうんうん。

523B：ほしたら しんじゅの方へ 勝手に 新庄の道を ずーと あのー 堤防へ ほう 上がって行って 堤防へ 上がる ほのー 上がって行ったら 勝手に すーっと 新庄の方へ 行ってまいよんやもんな。

524C：あー。

525A：ほーほーほー {笑}

526B：あの時分 あのー コンパンちゅって あのー あのー ほうゆう コンパンもやってたで 車引かして 勝手に すすすーっとし {笑} ほこの 〇〇〇はんとこの しんじゅへ 行ってまいよるさかい ほんで こうと 引っ張って やらさんかったけど このまもうち 行ってまうさかえ んー ほんで やらさんんだけど あー こらあ 3年ほど前に 来た道でも 知つとんねやな と思って 思ってた。

527C：ふーん。

528A：ふーん。

529B : あれも一 日の暮になったら 放っといったら もう 田に居たかて 放っとい  
たあったら もんできよんで

530C : ほーん。

531A : 家へ。

532B : うん。

533A : ほーか。

534B : 今のな ○○○○○さんの 裏に あの一 ○○○○君の 田があるやろ

535A : あー ある ある。 あーあーあー。

536B : あれ ○○○○君が 作ってるんか。 通ったんか。

537A : いや ○○○○君の 田ではないな。

538B : 田 ではないやろ あれ。

539A : うん。 なえ

540B : あの一 なにやと思うわ あの一

541A : ##と ○○○○さんの 田んぼやと思う。

542B : うん。 ○○○○さんと##

543A : ○○○○さんのと ほして 買った おっちゃんが 買ったで

544B : そうそうそう。 ○○○○○○さんの

545A : ふんふんふん。

546B : あれと うん。 あれは ほんで 昔 と耕そうって ゆうたんや あそこ

547C : うんうんうん。

548B : うん。 あそこの田やったんや。 ほんで あそこに 菜種を やったかあってな  
ほんで 菜種あと ほの一 菜種は ほんで 手で掘ってやったかあったんや ほ  
んで ほれを 潰して 田に してくれって ゆわあって ほして ほこへ 牛で  
やってたら あそこ 地が深いんや 上の方はな もう ずぶーと 沈んでもて  
どうにもこうにも 動けんようなるで ほんでもう あの一 後ろのまんまやら  
外してもてな なん時 立ちよっても どうもないようにして もう 外して 鞍  
の上に ちゃんと あげてもうてたったんや 日の暮になったら ちゃんと 戻っ  
たん。

549A : ふーん。

550C : ふーん。

551B : うん。 上がって

552A : ほうか {笑}

553B : ほんで やっぱ あいつらも 腹が 減るんやろな あらあ {笑}

554C : あー {笑}

555B : うーん。 なんともう あの鞍つけたなりで どろどろなりで もんどったんな う  
ん 牛小屋へ ちゃんと 放っといったんや しょうがないで。

556A : あれ 牛は 何年ごろまで こうてあったん。

557B : 何年ごろまで こうてたやろ。

558A : 終戦後も しばらく こうてあったんやろ。

559B : もう 終戦後も だいぶ経ってからや。

560C : こうてあった ほら 私が さん

561A : あー。

562B : さんじゅうー

563C : あのー 5 年 ご さん 4 年ぐらいは ここで会った。

564B : ほうやろな あのー

565C : うーん。

566B : みんななー あのー ほれは あのー テイラー を買わある時分まで 飼うてたわ。

567A : ふーん。

568C : 一番 遅いくらいやったよな なんか

569B : ほんで テイラーを 買わあるときに

570C : うん。

571A : うん。

572B : ほんで あれでは うまいこと いかんかもわからん

573C : あー あー。

574B : と思って

575C : うん。

576B : ほんで まだ あんときは 親父が まだ いたもんな ほんで 牛を売ってまうと あのー うまいこといかなんだ場合に 牛で やらなあかんで ほんで おいとかなちゅうて ほんでー 牛を 飼うてて ほして テイラーを 買うて ホンダのテイラーを 買うて やりかけたん。

577A : ふーん。

578B : ほして 3 年ほどは 飼うといたからな 牛を ほして あのー テイラーで や 鋤いてると 牛と 一緒や ほのー 土が 偏るやろ こっち向きに こうやっていると こっちに 偏り 来年は こっち ほんで ほうやってたんやけど こらあー 耕運機がいいと思ってな ロータリーの耕運機が。

579A : うんうんうん。

580B : ほんで あのー だあーれも ##とこれを 買うてやなんだ まだ。

581C : はー

582B : ほんでー あのー い なになに 中山にな わしと 同級生の あの ○○○○  
○○○○くんが 買いよったんや スクリュー式の耕運機を

583A : ふーん。



584B : こう 回りよるやつや ほんで あれは どうやって 聞きに行ったんや ほしたら もう ほらあ 楽なぞちゅうて あの子らは 手で やってやんしたんやで ほな ほんで ほら 楽なんな ほんで わしも ほれを 買おうかなと おも おもてたんやけども ほしたら どっかよそで あんなもんよりも 普通のロータリーの こう 爪が動く ほういうやつの方が ええ思うちゅ 言わあって ほんで ヤンマーの ○○○○さんちゅうのが 居やあったで ほんでー あれ ## ## ## ## もんの もうこれ大丈夫やっちゅうことになったはけ あれ 3 年目かそこらで 牛を 売ってもたんやと思う 牛を売った金を そのまま 持って行ったんや んで ほれを 持って ほないして あの一 耕運機を 2 尺の耕運機を くれちゅうて 言ったら あー ヤンマーに あ の ヤンマーの直売所に だあれも 相手になろうとさあれんねや。

585A : うんうん。

586C : うーん。

587B : ほんでー こうゆうんはないやかいな ったら 小さいのよりないんやわ ほんでもっといきやい 2 尺くらいのは ないやかいな たら だあーれも 相手にしようとしよらんで もう あかん あかんなら もう わしは あの一 なに 朝日商社 行ってこ 朝日商社は 知ってるさかいちゅうて ほんで 出ようと思 たら ○○○○さんが 出て来さったんや。

588A : うんうんうん。{笑}

589B : ちょ ちょっと ちょっと おまん どこやな って言われて 国友やって 言うたんや ほしたら もう ほの時分は ○○○○## さんやら みんな この ころの人はみんな テイラーを 買うとかあったん。 ほんで {息を吸って} いやあなあ あかん こんな 相手にもなってくれよらんようなどこあかんさかい もう わしは クボタへ行って なに行くわ 朝日商社行ってくるわちゅうて 言うて 出ようとしたら まあまあ まあ 待ちねな ほして あの一 相手にならんわけやではないねやけども あんた どこやなちゅ言わあって 国友やちゅ ゆうたら ほしたら ○○○○○○やらのこと言われて うーん ほら おんなしにしでの人やはかい よう知ってる 言うてたら ほしたら 2 尺の耕運機は ほんで ここには ないのかいな 言うたら ほんな 小さいのよりないがな つうて言うから

590A : 2 尺#と いきやいな {笑}

591B : はい。 ほんで あの一 なにも エンジンも 10 馬力かな。

592A : うんうんうん。

593B : うん。 おっきい。 ほしたら ほんな いかいもんをな 国友で 動くかっていう 心配があるんやって こう 言わあったんやわ。 ほら 動かんことないやろ。 ほな おまんこのは なんや 動かんのかいなちゅうて 言うたったら {笑}

594C : {笑}

595B : いや ほういうことでねーねや 使えるかていうことや 使えるやろ あのー わしは ずーと 長い間 もう 牛でやってきたで 元懇できたあるで ほんで ほれは心配ない思う 言うたら ほして ほんなな 深い田は うちは 人んところないもん ほんなもう ##みたいな浅いとこばっかやでな あの どうもあらせん ゆうたら ほしたら ほんじゃあ 説明しよかちゅうて ほして あのー説明してくだあって ほんで ○○○さんの 耕運機に ヤンマーのエンジンが乗ったんや ほんで これは車輪が 動くんやっていう

596A : ほー。

597C : ほー。

598B : ##やん 幅が 変わるやん

599C : ほーほー。

600A : ほーほー。

601B : ほんで もう あのー 前 動きながらな ほのレバーを ぴゅってやると 左なら左を ぴゅーっと 出せる

602A : はーん。

603B : ほして あの 縮めるのは縮まる。

604A : あっ そんな 耕運機あったんか。

605B : うん。 あったんや。

606C : はーん。

607A : はーん。

608B : ○○○さんちのやけどな

609A : うん。

610B : 右なら右 両方とも出せんねんで びゃー ほんで あのー 狭いところは 狭いところでない 柔らかいところは 両方へ びゃーと 出すと 広がるさかい ほうっと あのー 沈まん ほんで こういうことも 出来るちゅうて 言わあって こらーおもしろいなって わし言うてて 面白いて おっさん ほんまに 使えるかい まあ とりあえず あのー とりあえず われは ほんで あのー 金は 持って持って来たんや ほんで 金払てやるさかいちゅうたら いや まあ なあ あのー とりあえず おまんとか 持って行って これを試運転して これは いけるなあと思ったら 金を もらうわ って言わあったんや。 ほんで まあ 今日は まあ 持って去んどくねって

611C : {笑}

612B : ん ほんじゃまあ うちに 一回 来てくなくなるかゆうて 祭りの日に 来てもろたんかな 4月の祭りの日に 来てもろて ほして 初め ジョークで 今の あのー 酒屋が 建ったあるとこな あそこでやったんや ほんだら ほなー あん

なとこ 硬いしな 二毛作も きくところやはかい ほら 楽に いくやな。 あこれなら やれるなと ほんで やらかいとこは あるかいなって やらかい しとどこあるけども ほこも 下は石やで どぼーんとも入ってもたら もう 石 石まで つかえてしまったら ほんで しまいや。 言うてら ほんじゃ あの 車輪も この車輪でええなちゅうて 車輪も おんなじ車輪を まあ もらって 今の V字型の車輪で んで ほれで やってたんや うん ほして ほれで やりかけたら ったら ○○○さんが おい お前 ええの 買うたねちゅうて ## ## あの人も 牛を飼うてやんしたはけい

613A : ○○○さん。

614B : ○○○さん。

615A : ほうか。 牛 飼うてやったんか。

616B : 牛 飼うてやったんや。

617A : はあー。

618B : ほんで お前 ええの 買うたねちゅうて ほんで お前 どこで 買うたんやって ヤンマーの ヤンマーちゅうのは ヒロシさんが 行っとったはけい おんなし買うなら ヤンマーで買え ほいで わしも 買おうゆうたら たとえ あのーちっとでも まけてくれよるもんで ほう 言わんしたで んで まあ あのーほういうことで ヤンマー行ったんやけど ほして あの時分 よう 国友に ようけヤンマー党が あったはけい。

619A : うーん。 うち うちらも ほうやったし {笑}

620B : なあ。

621A : うんうんうん。

622B : ほんで まあ ほうして あのー ヤンマーを 買うたんやけど ほしたら わしは ほいたら オーユリで 買うてこよちゅうて オーユリ あのー ○○○さんは オーユリで 買うもうたんや ほしたら また今度は ○○ちゃんが 出てきたんや。

623C : {笑}

624A : うんうんうん。

625B : お前 ええの買うたね ほしたら ○○○さんも 買いよったらしいぞちゅうて わし 言うてたら わしも 買うてこよちゅうて あの子は ほんで 朝日商社へ行かあったんや

626A : ほんで まあ みんなで トラクター組合を 作る前やな。

627B : もう 前や。 ほれの 3年も 4年も前やと思うで

628A : うんうんうん。

629B : ほして ほれで 3・4年やってたら ほしたら 今度は ○○やんがな

630A : うん。

631B : あの一 わしも ○○やんも 親類やったはかい ほんで お前 ええの ###  
ええの買いよった わしも あれを 買おうかな けどもな おっさん これはな  
おっさんでは 無理や ほいうことやで 回ったりするときに おぼや 無理やで  
ほんで おっさんは 乗るのを 買わんぜって 言うたんや

632A : 乗るの

633B : うん。

634A : トラクター。 乗用。

635B : うん。 乗用トラクターや。 ほん 乗るのも あるんかい。 うん。 乗るのも  
あるで。 今は 乗るのもある。 んで一 もう 乗るのん 買わんぜっちゅうんで  
わしは 買うてから だいぶしてからやはかいな。 うん。

636C : ほーや。 あの人の

637B : なあ。

638C : 年いってからでも 一人で やってあった。うーん。

639A : うーん。

640B : ほして あの一 トラクターを 買わって。 自分の 町で 初めて 卸してな や  
らあったんや。 んで まっすぐに 行ったら もう ばんざーいって やってあっ  
たもん。

641C : あー ほうかほうか。 ほら

642A : {笑}

643B : {笑} なにを なにを いきやい声で 唸って わしは #####の町に 居たん  
や。

644A : まあ 賑やかなひとやったはけ。 うーん。

645B : {笑} なにを いきやい声で 唸っとんねやなと思ったら ほしたら ○○やんや  
な あらあ

646A : うーん。

647B : うーん。 まっすぐに まっすぐに 行く

648A : まあ ○○やら ○○ちゃんこの おとつあんやら おい よう似た人やった

649B : ほーや。 ばんざーいちゅうて 言うてあったわいな。

650C : {笑}

651A : うーん。

652B : ほんで {笑} これは 面白い人 居やあるわいって 思ってたんやけど。 ほんで  
なんやけども あの時分に あーゆう 小型の ちっさいな あの トラクターは  
出とったんやわ。

653C : はー。

654A : ふーん。

655B : ほれから ほんで ○○やん 買わってからやな。 買わって しばらくしてから

や おい ○○○つあん トラクターでやるね。 って ○○○さんと おうたときになら いっぺんな ほしたら どっか このへんで やっとるかいね いや ダイナカにやっどる ダイナカにやっどるで ダイナカ いっぺん 見に行ってこか ほして 3人が いっぺん ダイナカ 行ったんよ。 ほいでー んー ダイナカで 見てきて ほしたら 向こうは また 短いな あの時分でも ハドソンでいうたと思う あのー 80 馬力のな おーきなもんやわ ほらあ ダイナカあたりは 広いさけ 80 馬力 いっきやいねや もう ほんで ほれで やってあって いっぺん 乗らしてくだあったんや あっ こら おもしろい やっぱ もう これや おい ○○○さん これにしよ もう ほして はあい もう 戻りしなに朝日商社へ 寄って ○○○つあん 朝日商社 よう知つとるかえ 朝日商社へ寄って ほして あのー トラクターを えー 仲間で 買おうと 思うんや どうやろ ほしたら 芝浦の これが 使いやすいんやっていうことで 芝浦のトラクターを ほんだら まあ とりあえず 去んで いっぺん 話しようまいか て言うたら ほんだら 言うたら みんなが 15人か知らんがな 寄ってこさった。

656A : あれ フォードの トラクターで なかったかいな 買ったの。

657B : いや あのー 芝浦や。

658A : ほうか。

659B : 芝浦や。 ほんで 15 人がな 寄らあって ほんで ほのとき もう すでになには 断ったんか 耕運機で やってあったんかな ○○○さんは

660A : ふーん。

661B : ○○○さんは 入らんなんだんや。 まあ 息子さんは 入らあったけども。まあここやら もう なあ ○○○○さんやら もう みな 入らあって 15 人がな居あったわいな。 ほして そのあくる年か知らんに ○○○○さんが わしも入れてくれってちゅうて言わあって 16 人になったやろ。 ほいで あれで 4・5 年 やってたかな。 まだ 痛みが くるまでやったわ。 うん。 ほして 4・5 年 やって。

662A : 僕も 作業に 出てな あの 畦並を 壊してもたら まあ ○○ちゃんが 目剥くように 怒らあった {笑}

663C : {笑}

664B : {笑}

665A : もう じゃまくさいもんやで。 つ 地ついたら だめやし。

666B : ほーやほーや。 ほら ほーや。

667A : なあ あとの人が 直してくれやあるで {笑}

668B : {笑}

669C : {笑}

670A : んー 降りてまん まんかいて {笑}

671B : ほしてー ○○○さんが 市議員に 出やんした年に あのー こらぁ おい  
田植え機を 買おうか 田植えは どうやろって ほの ほの前から 前もって  
もはや ぜに あのー ○○さんに ほうゆうてたら ほしたら 関西電力に ど  
っか いないに あのー やってあるで いっぺん か あのー ###くん連れ  
て行こちゅうて 関西電力に 連れて行ってくれよったんや ほして 視察に 行  
って ほしてー {息を吸って} こんなこと しかし やれるかなと思ってたら  
まァ そんな自分には あのー 大寺のな あのー 普及員やってやんす子に  
ちこーしてたもんやで

672A : 虎姫の大寺の うんうんうん。

673B : ほんで あのー ほれが ほれに ちょっと 相談したら うん お前なら

674A : きみちゃん こ こ ## うん うん

675C : あ うーん。 もう あのー なんや はい おおきに。 はい おおきに。

676B : いやぁ お前なら あんだけな

677C : 40 年前やな。

678B : ほうやな。

679C : ちょうど ○○○さん なく

680B : ほら ほうやろ。

681C : うん。 亡くならあったときにな あのー あそこの子と うちの○○○《C の娘》  
と一緒にやって 同級生で

682B : あー

683C : ほんで あそこの あれや 葬式に 先生と 行かあって ちょうど 40 年くらいか。  
40 年

684B : ほれが ほんで まァ あのー あれや ほういうのやって ほんじゃ あのー

685A : こ こ これ 開けてくれ

686C : はいはい。 はいはい。

687B : ほうゆうたら ほしたら お前なら やれるん おれ 前から わしは 苗代も  
ほんで 苗でやらんと 畑で 苗代してたりな。

688C : うーん。

689A : うんうんうん。

690B : ほういうことやってたもんやで。 ほんで お前なら やれるんて わしも時々 見  
に来たあるさかえ ほんでー ちゅうて あのー 言わんして ほんじゃ やろか  
って 踏み切って ほんで もう あれ あのとくに ひやく ひやくなんじゅっ  
たん にひやくたんちょっとやで

691C : ほー。

692B : 一人して なえ 苗 見てたんやで。 あのー 鍛冶屋の あのー ○○○○○○  
○○んとこの 家の北の方の ○○やんとこの 北の方の

693A : うん。

694B : あのー 西松の田んぼでな 今 駐車場に 組寄の駐車場に しとかあんたやろ。

695C : あー。

696A : あーあーあー。

697B : あそこで ほんで 苗代したんや。

698A : 200 反分↑

699B : ふあい。 いっぺん いっぺんに ほんで みんなに 畝 あれ に 2 か 3 べんっくらいにしたかな。

700A : あれは この この ビニ ビニールトンネルでかいな。

701B : はいはい。

702A : あーあーあー。

703B : トンネルで。

704A : ほー 折衷苗代ちゅうやつか。 あーあー。

705B : ほーやほーや はい。

706A : はーはー は。

707B : ほんで ほんで 種まきの機械も みな買うて ほんで あのー こうやってするんや 種まきは こうやってするんやで まあー 朝日商社からも 来てくれよったけど みんなに してもろて ほして あのー あれー ##### 25 人ほど あったんや ほんで ほの田 全部 ほのー 苗を 作ったん ほしたら ほの年はな うみゃーこと《うまいこと》いったん。 ほの年は 割合の太かったんかな ほのかわり もう 夜中にもう たいがい 2 人ずつくらいは 見に行ったら ほしたら ○○○さんとこの ○○○さんちゅ おっさんがな やっぱり 気づけてあったんやろな わし 自転車で あの時分は 自転車で 行ったはかい ほんでー 夜中に 自転車で 行ったら ほったら おまん ちゃんと 夜中にも 来てとくんなはるねやな 毎晩ちゅうて 言うてあった 電気を 見に 温度を 見にいったんやけど。 ほんで まあ なんとか ほの年は ###ー ちょっと一床だけ あのーたち枯れが出たけども ##### きれーにいったもんー ほんで まあ ほうやってして あのー やってたけど

708A : うんうんうん。

709B : うん。 ほんで まあ ほうやってして あのー やってたけど ほんで ほれも 3・4 年やったかな うん。 ほやけども 今 やるやり方なんかとは あのー 中に入れる薬なんかでも 10 分の 1 やったでな 2 グラムでええて い なんや 一つの箱に 2 グラムにええて 今 20 グラムくらい 作っとるがな。

710A : 何を 薬をか。

711B : うん。 たち枯れの薬。

712A : あー ほうか。

713B : 今 ようけ 使こうとるがな うん たち枯れって まあ あれ 栄養剤やろと  
思うけどな 寒さに やられるんやわ 今は もうハウスン中でやるし

714A : ほうや ほやほや。

715B : 農協あたりも あのー カントリーあたりも 温度かけよるしな ほういう 心配  
は ないけども ほら あのー トンネルでやってるんやでな ほれも ほらあ  
うまいもんや。

716A : うんうん うーん。

717C : まあ 思うと ほら 極楽やな 今。

718B : {笑}

719A : なあ 昔のこと 思うと。

720B : ほんで ほのときに 12 割をな 引いたんやわ 12 割を 引いて 高さを 揃える  
ように 12 割を 田 中に 引いたんや。

721A : あー ほうやな ほうやったな。

722B : ほのー ほのー 12 割を ここをな 5・6 年前まで ○○○さんここに 預かって  
てくだあってん ほしたら ○○○さんそこ 普請せんならんもんやで ほいで  
○○ちゃんに 放り出してもてやな ○○ちゃんに燃やしてもてちゅうて ほんで  
○○ちゃん 秋まで 放り出しとったんや あそこへ ったら お前 なんや っ  
たら これ お前 あのー あれやな あのー 育苗に 使こうてた あのー 12  
割やで。

723A : うちも 作業場 始末したら ようけ出てきた ほれと このー あー トンネル  
に使こうた。

724B : ゆみ↑

725A : うーん。 うん。 あれと。{笑}

726C : ほうやな。

727B : ほんだら ほんなもなら わい お前 ほんまに 燃やしてまうんかい ###さ  
ん燃やしてくれっちゅて 言わあったんかいって言ったら おー ほんなもん こ  
んなもん お前 ##ただけやで ほんで ○○○さんの 市議員に 出あった  
ときの あのー 看板を ひつつけたな あの時は あの 市から来た あのい  
きやい看板でなかったはかい んで なあ みんな あの こんな あのー こし  
らえあったな プラカードみたいなんを ほれを ひつつけた あのー ほれも  
12 割を 二つに切ってな 一気に切って こしらえたはかい ほんで ほれも よ  
うけ捨てあったんや わしは ようけ拾うて 持って来たんや また

728C : {笑}

729A : {笑}

730B : んで わしも ほんなに よくに 要らんさかいって あと あのー なにー 妹  
んここに おい 今あそこに ようけ捨ててあんぞ 欲しかったら 取ってこいち



ゆうて言うたら わしも 行ってこーっちゆうて あれを ## 取って 持って  
来よったけども んー ほんで 俺 未だに 使こてんで わし まだ。

731A : B さんとは あの あっこ まあ さんよ場 改装さあって 誰が 住んである  
んやろ あれ。

732B : あの一

733A : 娘さんらか。

734B : 結局 ほんで あの一 息子が もんでくるやろうという つもりやろ ほんで一  
あの一 娘さんやら ほして あの一 今の ##さんやかも こっち 住めるよ  
うに 準備しとかあるらしいけど。

735C : 安生さあったはな。

736B : うん。 あんじょう きれいに さあった らしいで。あそこ もと 牛 牛小屋や  
ったんやもんな。

737A : あっ ほ一か。

738C : あー ほ一か。

739B : うん。 牛小屋のあとへ

740C : あー ほうか ほうか。

741B : #####でやったんや。

742B : 牛小屋やってんや あそこ

743A : あー ほうか ほ一。

744B : まあ うちらも あの一 姉んところが 近くやでな 裏から こそこそっと あの  
##さいんところから こそこそっと 行くと 裏から 行けるさかい #####  
もう あそこ 通ってたで うん。

745A : ふーん。

746B : いや いや ほらあ まあ 時代が変わるとな もう {笑}



談話 3

会話参加者：男性 1 名（A：1942 年生（71））

女性 2 名（B：1938 年生（73），C：1948 年生（64））

収録者（D：1984 年生（26））

参加者同士の関係：友人（A-B），夫婦（A-C）

文字化時間：1 時間 15 分 29 秒

会話収録日：2011 年 10 月

1B：評判は 良くないんや。

2C：えー ##の先生。

3A：いや もう 自分も ちょっと ほーやて ほら 評判て どうやわからんけどな。

4B：評判て 見やあれん 見やあるとか あの そういう あの お医者さんの あの  
あれよりも あのー その 接しあられや あのー 患者の 顔を見ない 全然  
患者さんの顔を 見やあれ

5C：見やあれんのですか

6B：絶対 見やあれん

7C：えー ほんなん あかん 目を 見て 喋って もらわんとねー。信用がないよねー。{笑}

8A：ほんで ## ほんで

9C：お医者さん 信頼するんやから

10A：ほんで 今 ほら インフォームドコンセントって やっぱ 患者さんの 気持ちにな  
って あ 納得する 説明せなあかんて 医者さんも 義務付けられてあんねんけ  
ど ほれが 出来てない医者さん ようけ居やあるわな

11B：うん。

12A：もう ほんなん 行っても 僕が 行つてるとこ み ところみたいなん ほんなん  
体温も測らあらへんな なにもな どうですか おかわりございませんか はい ほ  
んな おんなし薬 出しときますって言うて

13B：あっ あっ そうそうそう。

14C：あんた違うやろ 着やへん ○○○○〈A と C の娘〉 着やへんやろ なにも

15D：あっ こんちわ。

16C：いや 違う 違う 今 来たで ○○○○〈A と C の娘〉 呼んだかと 思った お父  
さんが {笑}

17A：入っても ええん。

18D：あー もう 入っても 大丈夫ですけど

19C：あんた すぐ 帰る

20A 孫：○○○ちゃん ちょっと来るって 言わあつて ちょっと 用事が あつて 来  
たんやけど。

### 談話 3

21C：あー ほんま あー 知らんねん 二人が 場所に してあんねん うちんところ。

22B：私だけ なんか。

23C：ちゃう むす 娘の あの 寄り場所に してあるさかいに。

24B：あー いいですね。

25C：し 知らんてる間に 集まって来はるん 私が 知らんでも 二人で なんか ここへ寄る とか いうて。

26B：あー いいですね。

27C：今度 結婚式が あるんや。

28B：どなたの↑

29C：私の 妹の あの 長女が

30A：こ これ のん のん

31B：あ いただきます。

32A：ほんで もう 足 崩してくれ。

33B：あ はい。

34C：足 もう 崩してもう。

35A：#####

36C：あの一 ここでも いいんやで ここ ここはね 足が 痛い人の ために してある {笑}

37B：あー そうですか。

38D：あっ ケーキも いただきます。

39B：いただきます。

40D：僕 これで いいんですか。

41C：どーぞ。 あの一 持ってきてもうて わたしら {笑}

42A：持ってきてもうた {笑}

43D：あっ じゃ Aさん いいんですか。

44A：いや いや どうぞ どうぞ。

45B：いえ いえ いーです。

46D：じゃあ 僕 これで 大丈夫です。

47B：○○○○さん 来やあれん 残念やね。 あの人やったら

48A：うん。

49B：私は あの人 頼りやったのに

50D：{笑} /少し間/あれ えっ

51B：あっ いただきます。

52A：##### テレビでも 放射線てなんや 世田谷で見つかったって あれ 言うてあんな 高い 高濃度の 放射線が 見つかったゆうて 言うてあって 大騒動 してあったけど。

53B：家ん中に あたんやな。

54A：家ん中に あったんや。 ほんで ラジウムいうんかいな ほんで あれが セシウムとか ほんなんでなしに ラジウムいうやつや。

55B：うん。

56A：で ほれかて まあ あれ 1600 年くらい なんか 消滅しよらん らしいで

57B：地下に 埋めても あれ あかんの

58A：うん ほん ほれで ほれは ほの 長いこと 浴びてるか まあ あの ラジウムは 温泉やか なんかで ほいうとこで 出たる あの 要素かな

59B：うんうんうん。

60A：ほんで たこても《高くても》 あの 人体には ほんな めちゃくちゃ 影響ない ほんな 普通の放射線 セシウムとか ほんなもんよりも 何十倍か 何百倍か 知らんけど 薄いやつなんやけど んで 放射能 機械ですと あ まあ ほんなようけ 出てまいよるさかいに びっくりさあってんけど 測らあったら 成分が 違うんやて。

61B：あー そう。 セシウムっていうのが 怖いん。

62A：怖い。

63B：なかなか 消滅しない。

64A：でも 僕は いちじは なんや 僕は 誰かが ほの 瓶に 入れ か なんか入れて ここの家 嫌がらせみたいに

65B：あーあーあー。

66A：放りよったん みたいに 思ってたんや ほな ほうでは なかったみたいやね。

67B：もっと オウ 前は サリンのねえ 事件が

68D：あー。

69B：まつ 最初 松本。

70D：松本で あって

71B：ほかか ち 小さかったで あんまり 記憶

72D：記憶に ないですね。 松本は はっきり 覚えてるんですけど。

73B：あの 事件は すごかったですね。

74A：あの当時 公園で よう 結構 もうて## 4・50 万もうて### 奥さんは

75A 娘 2：こんにちはー

76B：あっ こんにちは おじゃましています。

77A 娘 2：すんませーん。

78 /少し間/

79C：私 入っても いいんでしょうか。{笑}

80B：入ってください。 私も 心細いです。{笑}

81D：お お願いします {笑}

82C：私も ちょっと

83B：あのー

84C：お昼 お昼ぐらいに お仕事に 行くので 途中 すいません{笑} 抜けますけど。

85 /少し間/

86A：別に そのー かしこばって 喋ら もらわんでも

87B：あっ はい はい はい。

88A：んで あの 今みたいな 調子で もう 世間話してくれあったら ええんやて

89B：あっ はいはい

90C：あの ほの あれやろ あのー 方言 してあんねやね。

91B：あっ 方言

92D：あっ そう そうです。 そうなんです。

93B：でしたら もう こ この地方の方言で 喋るのが 一番

94D：あっ もう そうなんですよ。

95C：私ら もう 方言丸出し{笑} あの子ら もう 方言 {笑} 長浜弁 丸出しって  
言われてあるん。

96D：あー。

97C：長浜弁。

98B：長浜弁 独特の この 長浜弁てか 湖北の

99D：はい。

100B：独特のことばっていう

101D：まあ そうですね。 なんか え まあ ことばも そうですし お 音っていう  
か も

102C：音

103D：音

104B：やんす ごんす や{笑}

105D：やんす ごんす{笑} とかも あるし

106C：きゃんた とかな。

107B：きゃんたとか やんす ごんす

108D：なんか 発声の 仕方というか

109C：あーあー。

110D：あれが やっぱ

111C：独特なんや。

112D：そうですね。 滋賀の中でも ちょっと

113B：独特。

114D：独特ですね。

115C：でもここから 北の方がもっと すごいね

- 116B : そうですね。 向こうの人 呼んできたら
- 117C : 余呉 余呉とかね
- 118D : 余呉とか
- 119C : うん。 あっ あの イントネーションが ちょっと違うね。
- 120D : あー そうですね。
- 121C : アクセントが
- 122A : ほら ほんなん 方言も ほら 今まで 長浜市だけやったんや 12 町が ほら  
合併なってもたさかいに 全然 違うん
- 123D : すごい ひろなってますよね {笑}
- 124B : そうなんですよね
- 125D : 長浜って 言ってまうと 地図 見たらね すごい 広くなるから 今までの 長  
浜とは
- 126C : おおゆ 大雪が 降る所からね
- 127B : そうそうそうそう。
- 128C : もう 福井の堺のどこなんか すごい 雪 降りますからね。 長浜 あのー な  
んていうんか 大雪とか言うたら 観光客 全然 来はらへんかったりしてね {笑}
- 129A : ごん ごんせって 知ってるか ごんせ。
- 130D : えっ 来て 来て下さいっていう。
- 131A : よう 知ってある。
- 132C : よう 知ってある。 {笑}
- 133B : ごんせ。
- 134D : えっ よう知ってる えっ A さんが 教えてくれたんじゃ なかったでしたっけ  
{笑}
- 135A : ほうかな {笑}
- 136C : おとうさん
- 137D : ですよ {笑}
- 138C : おとうさん この間も 会った 会わあったんやで。
- 139B : あっ
- 140C : この間 なんか ねえ
- 141D : あー はい。 えーっと
- 142C : あそこ ホテルのところで。
- 143B : あー そうですか
- 144C : 私が 勤めてる 隣のホテル。
- 145B : あっ ○○○○○○○○ 〈ホテル名〉
- 146C : うん。 ○○○○○○○○ 〈ホテル名〉 あそのね 喫茶で おうてはんねん。
- 147D : 9 月の中旬くらいに

- 148C : あっ ねえー 確か ほんで 結構ね
- 149D : あんときは すごい 長い 時間を {笑} A さんに。
- 150C : あー あー あー この人は もう 自由に つこたって下さい {笑}
- 151B : {笑}
- 152D : いや いや {笑} そんな 使うだなんて 無理。
- 153C : いや いや もう リタイヤして あの 気楽に家に 遊んである 身分ですので  
{笑} ね 若い人に あれしても一たら うれしいな。
- 154A : {笑}
- 155C : うち 息子が 一人も いないんで。
- 156D : あー そうですか。
- 157B : あー そっか。
- 158C : 娘 3 人
- 159B : でも 娘さんの お嬢さんが 息子とおんなじやから そらあ
- 160C : あー そうそうそう。 そらあ ほれは そうやけど 育ててないから あんまり  
接するのがね まあ わからないことは ないですけど。
- 161B : 娘さんの方が いいですよ 3 人。
- 162C : あ きら {笑} 気楽 ほんでも とど一っと 来ては 自分とこの ように
- 163B : あー。
- 164C : もう 嫁いで 10 年もなるのに ほんでー {笑} 二人が ちょっと こう 合  
わして なんか来て ほんで ここで ちょっと 喋ったり あのー 子どもが  
幼稚園とか 行ってる 間に ちょこちょこっと 話したり 勝手に もう ここ  
ら あのー {笑} 自分の家のように 使ってやるで 探しもんとか 自分が 置い  
とくところ まだ あるんでしょうね
- 165B : あーあー 自分の部屋とか
- 166C : 服 とかね ほんで まー まー やっぱ 置いとくあるでな 着物なんかでも  
着て ちょっと 帰った ほこに 放ったあるで 私が ちょんとした 片したも  
んとか 気楽なもんなんやろ ほんまに {笑}
- 167B : えー でも 幸せですね
- 168C : んー 気楽は 気楽。 もう 普段 昨日 おとついでまで 三輪車が ありました  
やろ。
- 169B : うーん うん。
- 170C : 二人
- 171B : この間 可愛らしい 道であつたら 可愛らしい 女の子 連れてはったから
- 172C : お父さんが↑ あっ 私や 私が 会ったんや B さんと。
- 173A : わし
- 174B : いや ちが



- 175A : なんで おうたわいな
- 176B : おうたね
- 177C : あー ほんまに。
- 178B : おうたね。 あのー そこの 八百屋さんとかの 近くのところで
- 179C : あー 御坊さん 行かはったんや。
- 180B : 可愛らしい。
- 181C : よ よかったな。 あの 会わしてもーて。 偶然に 滅多に 行かはれんねんけど。 この人 滅多に 行かはれん。
- 182B : あー 三輪車に 乗せ。
- 183C : うん。 うん。 滅多に 孫とは
- 184B : あー そうなん。
- 185C : ちゃう 家では 遊ばはるけど 外は 連れってってやはらへん
- 186B : 恥ずかしいの 恥ずかしい {笑}
- 187C : {笑} どうなんやろね。 ここの までは 行かんねんな。 家で こう 絵 描いたり なんか あっせすることは 好きなんやけど あんま 外 行くのは 嫌やな
- 188A : ほうやな。
- 189B : あー そうなん。 でも この前 あ あの 武蔵さんときも お孫さん 連れて来てくれやった
- 190A : まあ あいつも ほら 後学の ためで ないやけど ちょっと もう
- 191B : あのー
- 192A : 絵 絵 絵を
- 193B : 個展を見にきて #
- 194C : あっ テオリア。
- 195B : テオリアさんじゃなくて ギャラリー繩
- 196C : あっ ほんまにー 誰と 行ったん
- 197A : シンや。
- 198C : あっ あー あの子や {部屋に飾ってある写真の指して} {笑}
- 199B : あー あー そうや そうや。
- 200C : 山にね
- 201B : うん。
- 202C : 今年 二人 出たんですよ。 あの 男なんですよ 二人とも。
- 203D : えっ
- 204C : 今 後で 挨拶したやろ 娘が。
- 205D : あっ はい。
- 206C : あの子の 子供なん。 今年 あのー 曳山祭りに 二人が 出たん

207D : はい。 あーあー。

208C : 女役で。

209B : なんか すごい 色っぽいって 言うてあったんて どっち

210C : あっ 右の子が 色っぽいんや。 5 年生の子が。

211D : すごい

212B : 色っぽいでって 男の人が 言って #

213C : そう あれで あのー 夕渡り したときに あの 赤い着物 着て 出たやろ  
あれが すごい 色っぽかって

214B : あー。

215C : 写真は いっぱい あんねんけど

216 {C が孫の写真の撮りに行く。} /少し間/

217C : なんか ここに 一枚 ぱっと 出たんで これ こういう 着物 着て 歩かん  
たで。

218B : あー うわあ 色っぽいわ

219C : ちゃう もっといっぱい あるんやで 写真は 写真は いっぱい あるんやけど。

220A : ○○ B さん 見やったんでないん。

221C : B さん 見てくれやった。

222B : あー あ はい。

223C : はいはい。見てくれやった。 ほんで あの これが あっ これでなかったんやろ  
か なんか どうしゅうに入ったのが あるんやわ あの 写真家の ぜんごくの

224B : あっ そーですか。

225C : うーん。 ま あの 写真の人が 上手なんやで。 で この子 はっ あのー 桂  
姫っていう あれで いったんや。 これやったかも 知れん。

226B : あー そうなんか。

227C : もっと いっぱい。 これは ただただ なんか 知らんけど 入れと 入れとか  
あんたさかいに これ ぱっと 今 こういうなんを着て 歩かんたんやな 二人  
が。 ほんで 途中で こうなんか #####するんやな ほれが ほれが 入っ  
たみたい。

228B : あー。

229C : ひきや

230B : しゃし 写真は そのまま ぱっちりやで ええですね。 絵は そういうわけに  
は {笑}

231C : いやいや 絵 してやるから {笑}

232A : おまん ほんで 16 日 どっか出るんちゃうんか。 あの あそこの 文芸会館で  
発表

233B : いえ いえ。 私は 出ないです。

- 234A：## 琴と 三味と なんや 書いてあった。
- 235B：あー。
- 236C：三味線してはるで な
- 237B：いえ それは あの あれは 芸能協会に 入ってある人が
- 238C：あっ あれは 詩吟
- 239B：市の ぎょ 昔 出たことはありますよ
- 240C：詩吟 じゅうごに じゅうろくにち 詩吟
- 241B：昔 昔 何回も あそこで 三味線 弾かして もらったこと あるんです。 あ  
の その 芸能協会で その時は 私の師匠が その 芸能協会に 入ってあった  
ので 出さしてもらったんですけど
- 242C：今は あの ○○○○さんは 入ってあれんの
- 243B：入ってあれ ○○○○さん やってあっても 私ら
- 244C：あー
- 245B：○○○○さんの じゃなくて ○○○の会っていう 会なんで
- 246C：あーーー そうなんですか。
- 247B：その ○○○の会を ○○○○先生が 教えに来てくれてやるだけで
- 248C：あっ そーなんですか。 ふーん。
- 249B：あの 私は
- 250C：個人的に 習ってあるわけではない
- 251B：そうなんです。 そうなんです。 そうなんです。
- 252C：あっ あっ あっ わかりました。 ふーん。
- 253B：だから 昔は もう 何回も あのー
- 254C：今回は あの 16日は なんか 詩吟ですわ。
- 255B：あー そうですか。
- 256C：5年目に 5年に 一回だけあるっていう 詩吟の 回が あるんで。
- 257B：なんか き パン あのー プログラム 見してもらったら 津軽三味線
- 258A：うんうんうん。
- 259C：も 書いてたん。
- 260B：書いてましたね。
- 261C：あっ ほんで ちょっと
- 262A：##ってあるんやろ あれは
- 263C：入れはるんやな ちょっと こう あれに
- 264B：ゲスト ゲストで
- 265C：ゲストでね 入れはる
- 266B：○○○って 書いてあったかな
- 267C：あー ほうなんや。

268A : うん。

269C : なんか 見に 来てって 私も い 言っててくれはるんやけど

270B : 私も 知り合いの その ○○○の会の 踊りの し お師匠さんが 踊らあるさ  
かい 来て 言わあるんやけど 私 もう ほんとに 16 日は いくつも いくつ  
も 重なってしもて

271C : 重なってしもてね

272B : どれにしようかって いう くらい 重なって 重なってしもたんで

273C : そうなんや

274B : で まあ ど ほんとに 今でも どこい どこ行こうかって {笑}

275C : {笑}

276A : よく ありますね

277B : よく あるんです。

278C : いろいろと あるうちね

279B : ほんで一 今は まあ 今日 決めたのは 米原市展ってゆうのが あるんです。  
んで 米原市展を 出すとね 公開審査なんですよ 自分の 絵を その 目の前  
で 審査してくれるので 目の前で落とされるかも わからんし 目の前で 賞  
もらえるか わからんし それって すごい スリルがあって 面白いので それ  
に

280C : わあー。すごいな。

281B : それに 行こうか んで この間言っていました あの 狭き門 狭き門に入ったっ  
て言っていましたね 湖国を 描く ##展 あれも 公開 こう なんていうんか  
批評会っていうか ひとつひとつ 審査員が あのー 評価してくれる んです  
16 日

282A : うんうん。

283B : だから 自分の絵を どんな風に 評価してくれるんか 聞きたいので そっちも  
行きたいし もう ほんとに {笑}

284A : この人 もう 絵 絵 絵 絵

285B : いや いや。 今 いえ いえ もう もう ほんま もう ほんとに 裾の方で  
裾の方で。 {笑}

286D : いえいえ。 そんな いろんなとこで {笑}

287A : 三味線も さはるんや。

288B : いえいえ もう 裾の方で ほんとに してるんですけど

289A : この人 裾の方で ほんなもん 市展賞て 長浜で一番の 市展賞て あれも 取  
ってある。

290B : そんな 大昔のことなんですよ

291A : ちゃうちゃう 大昔でも ほら なかなか

292B : ちゃう ほんとにね 大昔はね 市展賞 もろて ずーと 特賞 もろてて 勘定したら たくさん あるんです。 で 今の 湖国の 風景っていうのも ぎょーさん 賞 もらってるんですけど それが ある 時期から ぱたっと ダメになって もたんです。{笑} こう なんていうの うまい人が わあーっていうか あっちこっちに 教室が出来て

293D : うん。

294B : 私は 早くからやってるので その時分には その一 教室が あんまり こう 無かったのが あーゆー ○○○○さんとか あーゆー人が ぶわあーと とか いろんな人が 出てきはったんで 私 もう 全然 お呼びでなくなったんです。ただ 私 人と違うのは 絵描くのを もう テーマを決めて あの 母の 遺言で この 曳山祭りを ずーと 描いてるんです。 それ テーマにしてるんで 人と また ちょっと 違うんです。

295A : ## 山のは 描いてやる人 居やあるかもわからんけど あーゆーところには 出てんねんな 市展やら あーゆーところにはな。

296B : だって こんな こんな難しいの 誰も 描けん 描かあれん 描かないです。

297D : あー もう 曳山を そのまま あっ 全部 えっ 見ながら 描くんですか。

298B : いや 見ながらって なかなか 描けないので

299D : ですよ。{笑}

300B : ですから 祭りになったら そんな いいカメラでない ただの デジカメ を持って あっち 行って もう いっぱい いっぱい 写真 撮るんで なんでも いいから 写真 撮っとくんです。 写真 撮っという それから あのー ちょっと イメ その イメージ だってね その 山を 撮って来て そのままの 写真で 描いたって 絶対 ダメなので ちょっと やっぱ 自分で イメージ作るんです。 こうゆう はいてる こうゆう だから その つくっ 山を 描いた 絵を 見たら 山組の人は こんなん 嘘ばかり 描いてあるがなって この山は あの 青海山やのに なに 孔雀山の はっぴ着た人が おるとか あのー 提灯が 違うやんかって

301A : うんうんうん。

302B : 言われるんですけども 絵は もう 絶対 嘘八百 描かな あかんです。 もう まったく 嘘を描かないと あの 説明に なって まうんですよ。 ただ しゃし それやったら 写真で いいわけでしょ。 そのまんま 写したまま ここに 描けば 今 これ こうゆ こゆう このまま きれ きれーに 描けば これ いくら描いたって 写真には 勝てないわけでしょ。

303D : まあ そのまんまを 描い

304B : 絵に 描いたらね。

305D : うん。

306B : だから そ そういうのを 絵に 描いても ちっとも これでは 面白くなく  
誰も 提出しても 落とされるに 決まってるので 嘘を 描かな いかん {笑}

307D : 嘘をって {笑}

308B : 嘘ばかり。

309A : わしら この人ら 言うてあることを わし 自分ら もう ありのままいうか  
もう ほのまをを み 見たこと ように描かあると おもうてあるさかいに ほ  
れを この人に ちょっと ちょっと おかしいがなて ちょっと言うたら 絵の  
道に {笑}

310B : {笑}

311A : 志さんもんは わからん。 わし ショックや 何を 言うんやろ あの人は

312B : いや この

313D : いや もう そんだけ ずっと やってきてるからこそ {笑}

314B : ちゃうちゃうちゃう。 しゃべ 喋っていいですか。

315D : あー どうぞ

316B : 今回 すみません。

317A : この人 ほんで 絵でも 曳山 こーやって 引いてあるのがあるやろ。 ほ一っ  
と みんな力 入れてやるがな。 ほの顔が 僕らの 素人としたら 全部が も  
う ま 8 人ほど 人物 描いとかあったら ほの人が 力強い顔 みんなしてや  
れなあかんと思うんやけど そんなんでないやって 言わあるんや。

318B : いや あのねー あのー しゅ 主役を 引き立てさすためには 主役を 生きた  
ように 描こう 思ったら 周りの人は 殺していかなと あかんわけなんですよ。

319A : {笑}

320B : ね 周りの人って いうのは 抑えて 抑えて

321A : ちゃう それを 聞こうと思とったんや

322B : 抑えて あのー 主役が 主体なんで その くう まあ 周りに いるってのは  
ものすごい 抑えて 人が 居るか 居る 居るような 感じやっていう まあ  
バックとして とら 捉えなあかんわけね これが 一つが 主役やったら あと  
人 いっぱい 描いても そんな しっかり その人たちを はっきり 描いてし  
もたら その 主役は 死んでしまうので 主役を 引き立てさすためには もう  
そら もう 一つの もう ばーと 色塗った バックとして 捉えてしまわな  
あかんから その 隅から 隅まで しっかり 描いたら ダメなん。

323A : あかんの。

324B : 省略 ってゆうのが もう 一番 あの 絵の この 一つの 構図の中には 省  
略するとこを いっぱい 作らないと あのー 消すところ 消すところっていうか  
ぼやかすっていうか もう グラデーションで して もう 人 人 あー ここ  
に 人が居るな ここにも 群像が 居るな ゆうのは 見せないかんけど それ

を こう 一人ひとり はっきり はっきり 描いてったら やっぱり 絵に ならない。 私ね 私 全然 その なんてゆうんか 力とか 力量とか 全く無いけど あのー 理屈だけ 理屈だけ

325D : いやー {笑}

326B : 私 ものすごい 先行してしまうんですよ。 ほやけど ほの 理屈を いっぱい 踏まえても その 理屈通りは

327D : まあ いかない。

328B : 表現 出来ないんですけど。 そうなんですよ。

329A : ほやけど あのー この間も 福本君の あのー 絵画と 陶芸か 見に行っただけ あの テオリアに 場所的に ほの 街づくりって 市内 あの ぜん あの このごろ 発展されてあって あーゆー 街中で あーゆー 展示会を の場所さえあった方が もっと 引き立つな

330B : 今 #

331A : ほんで あんま 見にいかれんやろ テオリアって ほんなもん まあ

332B : コーヒー 飲まんならんし

333A : なんや

334B : コーヒー券 もらわあったんやろ

335A : もろた もろた。

336B : あー ほんなら いい。 ほんで それが あそのの テオリアさんの あのー 貸す

337A : うん。

338B : メリットになる

339A : うん。 1 万円だないん ##。 借りるの

340B : 1 日

341A : うん。

342B : あー それくらい 取らあるやろね

343A : ほんで 安い ほんな 1 万円て ほんなもん

344B : えっ

345A : 借りるの

346B : 1 日でっせ 1 万円て

347A : うん

348B : ほんま ほら 都会のこと 思ったら

349D : いや 全然 そういうの な いくら かかるか わからないですけど {笑}

350B : あの ギャラリーも 1 万円や

351A : あっ ほーか。

352B : だから やっぱ 都会のこと 思ったら 安いけど まあ ○○○○さんなんか

まあ プロでない 素人 まあ ね だから ほれを 売るとかって思っはれへんでしょ だから 発表の場に してはるわけやから いいけど あれが そのプロで食べてやる人やったら 5 万円かけて 経費つくて もう 全然 売れへんかったら 何してるか わからん みたいなとこ あるわね。

353A : あの 壺ったら わし 見てても なんぼする#けど 普通は あの人が 商売で食べてやんねやて ゆうことを 聞いたんやけど 見た目が 10 万円ぐらいの つ壺の 自分では 見た ほしか 欲しいと思ったら もう これ 10 万円ぐらい まあ 名の通ってある 売ってある 人やと ゆうことやで ちょっと かまかけ ちょっと 言うたら ほな 3 万円ゆうた# 3 万円やったら 値打ちやなと おも思ったけど

354B : ふん ふん ふん ふん。 まあ ○○○○さんの 壺はすごい。 私も 陶芸 やってたのでわかる。

355A : いやいや 先生の壺と こ あの ○○○○くんの壺と 見たら こうゆう あの壺のところに あのー 花かなんや だぁーと こうやってなった 付いたやつがあったけど おんなし こと さんても やっぱ ○○○○君のは れつあ あのー壺全体に こう 模様が 小さい模様が だぁーと こう 輪になって こうあるけど あの あの子のは もう 離れてもたり ほれやけ やっぱ 均等でないな。

356B : うーん。 そらあ もう ほんとのプロの人と ほら 比べたら あのー 結局 あのー なんていうの 素人が作った壺と あの 陶器屋さんで 売ってある かわじ かわじりさんの 壺と ほら 比べたら もう 全然違うけど その 素人は素人なり 素朴なっていうか ひとつしか まあ あーゆうとこで 売ってやるのは 大量生産みたいに 作った 商品とか あるので ほら もう 作家もんみたい に 一品もんで デパートで 何十万で 売ってあるのは また 別やけど あれでも あの 何十万で 売ってやるっちゅうのは もう 一窯 一窯 登り窯で 焼いても 何十万 何百万で 売ると ほの中の 一個か 二個で ほんで あとは 全部 ねえ 処分してしまうわけでしょ。ほの 一窯 焼くのに か あのーなんちゅうんか そのー 手間 何日も かかって 人も 雇わなあかんわけでしょ で 焚きもんだって すごいし あのー だから その中の もう 一窯 焼いた中の 幾つぐらいしか そのー ねえ

357D : あー 売れない

358B : う 売れないというか もう 作品に

359D : 売れないというか 作品にならない

360B : 出来るものは ないもんね あのー ほんで 火の あたり具合とか 灰かぶりと か 良く言わはるでしょ あのー で この ここに 入れて ここに 火があたって こっち側に うまく 灰かぶりしよゆうたら これは 犠牲者を 作ったり



とかして

361A : うーん。

362B : してやるので

363A : ## ようするわ 感心や ほんま

364B : 私は 全然 あの もう 陶芸は もう {笑}

365A : なかなか とつつきが むつかしいな。

366B : でも あの 絵よりは 無心に なれるので ね あの 土 こねてるって ゆう  
のは もう なんにも 考えずに 無心に 子どもみたいな 子どもが なぶ 遊  
んでると 全く 自分も おんなじ 感じで やってられるので

367A : ほやけど いっぺん これ 作ったのは もう 1 週間あと とか ほの土は 使  
えんのか どっか 保存 しといたら 何べんでも 使えるんか

368B : あの一 その 作るでしょ ったら もう ビニールか ごぼーっと かぶしとい  
たら

369A : 湿気を

370B : あっ どうもないんで また 潰すことも出来るし その 作ったやつを けず  
削る 削る 形に 削るやん

371A : うんうん。

372B : だから どうにでも なるっていうか 最初から こういう コーヒー茶碗とか  
そんなもん 作る ってゆうよりは やっぱり

373A : そら 出来ひんで そんなもん

374B : ほんなもんは 出来ないから その つぼ 壺とか

375A : あーゆうなんは 簡単に出来るんか あーゆうなん。{部屋にある壺を指して}

376B : あんなん 簡単や。

377A : か うん。 紙 紙や

378B : あれは なん これ 紙で 作ってあんね

379B : ほんな も どぼーんとしたの 作ったら あの一 あれなんですよ 丁寧に

380A : あれは 焼いてあるんでないやろ ただ 乾かすだけやろ あれは ニス塗って

381B : そうやと思います。 水 入れとかある どうも

382A : うん。 水は 入ったある。 水 瓶か なんかちゃうんかな しん

383B : でも これ 造花やで 水 入れんでも 造花ってゆうか ねえ

384A : 造花や

385B : あの一 あれなんですよ あの一 土 こねますですよ

386A : うん。

387B : 最初は こうやって あの一 棒を 作るんですよ。 こうやって こう 棒状に  
そして この一 下に 台を 作っという それを こう くるうーと まぜて  
こーして それを 積み上げていくんですよ ただ それだけのことなん。 で

積み上げて

388D : わっかを どんどん 上につてことですか。

389B : そうそう その一

390A : ほして ほれ ほいで どうやって 繋ぐのは どうして

391B : ちゃう ほんで

392A : 繋ぐんや。 なんか ほら ちょっと ほうして せんならん

393B : やらかいでしょ。 これ こうやって こうやって ぐーっと あの 棒 棒を 一本ずつ 作るでしょ

394A : うんうん。

395B : で こうゆうの 下に 台を作つとくので それに こう 乗せていくんですよ ずーっと 棒を ほんで ちぎって で ここと ここと こう あの 繋ぐんです やらかいから こうやって 繋いでいって また 棒を 作って どんどん どんどん 乗せていく

396A : ほいで ほな 次 乗せるときに ほいで どーして 繋がるんや ほんな もう

397B : やらかいから つな

398A : 繋がってまうん。 あれ 置くだけで

399B : 置いて ほの 代わり あのー こう し

400A : せなあかんのか

401B : あのー なんてゆうか あのー やわらかいから こう 上へ 上へ こう 乗せて いくとか

402A : ほして 筆かなんかで ほの

403B : いやいや もう。

404A : 継ぎ目をやな 継ぎ目 この こうやってした

405B : 継ぎ目 もう 手で触ったら 平らになるので

406A : どうもないん

407B : それを一 ど まあ とりあえず どんどん どんどん どんどん

408A : してい うんうん。 それは わかる わかる。

409B : 積み上げていって ある程度 大きくなるでしょ。 ほしたら そこで あのー 少し こう 曲げよ 思ったら あのー ほ 上の方は 細くして 今度 開けよ おもったら 開けるように したりして ほして 一つの形を 作ったら あのー もう ほの ひも状が ごついで だから あの この 下の 轆轤を 回して 削るんですよ

410A : ふーん。

411B : 削って 中をこー のば 伸ばしていくとかね あのー 初めは ごつつう 切つてあるけど こう だぁーと のばし 手で 上へ あげて 伸ばしていって で 上の方は き 切るとか ほんで 轆轤を 回しながら こうゆうもんで だぁー

っと けず 削ったりして 形を 作って

412D : 良く 見るん こー やってるところなんで

413B : そうそうそう。

414D : 塊から あの形を 作っていったんかと思ってきました。

415B : いや もう 棒状 最初は

416D : 最初は そう

417B : あっ ほんで もっと むずかしくなったら でん 電動の あのー 轆轤がある  
んで それはもう こうやってして こー あの 足踏みなら こうやってはるで  
しょ あれは なかなか 大変やと 思います。 あれの方が

418A : ちゃう ほんで

419B : 出来上がんのは きれいに

420A : 棒 棒状のな いっかい ほんでも 薄いやつで あれやと 思う ほやけど こ  
うなって こうなって こんなくらいの壺## く 口があんねけど どう すぼ  
めていかあんのやろな こんなもん

421B : ## こう ずーと すぼめてて このへんから もう ちょっと ま しよう  
と思ったら この 棒状を きつくしたら いいわけでしょ あの 一番広いとこ  
は こうしといて いくつも こうしてったら 上の方 細くしたら その 円形  
が ちっそ ちっさくなっていく いくから ほんで ある程度

422A : あれ ほだら 棒状にしてやるんか 棒状に

423B : 全部 棒状 棒状

424A : 一つの こうゆう べらーんとした 粘土 こうやって があーっ がってして  
こうやってして

425B : いやいや。 もう 違います。 この あれを 作って か 棒状で

426A : あっ 棒状に したあるんか

427B : 棒状を 繋いであるんです。 あの 今

428A : ほ

429B : 作ってやるのは 全部 そうやと思います

430A : ほな みな 見ても わかるん ほんな 棒状で 出来たるゆうのは わかるん  
わからんやろ。

431B : いや ものすごく きれいな あのー

432A : 信楽やったら

433B : きれいなのと きれいなをやったら あのー あれです 電動で こう やって  
ありますやん こう 手で びゃあーと 手で こう ね あれは あれは あの  
ほんと すかーっと きれいやけど

434A : いや ほんでも ほら あの あれやろ この 棒状では ないやろ ほれは

435B : それは 棒状でないです。 あ あの 良く テレビで 見はったら わかるけど

電動で足 踏んでて びゃあーと こう こうしたりして やってはるでしょ あれの方が ほら きれいにできます。 で 中も 手で だあーと 電動で ほら あれは きれいに 出来ますけど ほやけど かなり 大きいもん 作ろと 思ったら その やっぱり 棒状で 積み重ねていって 私も 傘立てをね いくつも いくつも 作って 人にあげたんですけど あれは やっぱり 棒状で

436A : あの一 話題は どうゆう話題にしたら

437B : 話題

438D : あー ってゆうか あの一 今みたいな 感じでいいんで また あの一 ゆった通り 僕あれなんですよ 長浜の人たちで 喋ってるのが あれなんで 僕ちょっと 会話に 入れないから その間 ちょっと 抜けようと 思ってた

439A : ふーん。

440D : あっ はい なんで ま もう 今みたいな 感じで {笑}

441B : {笑}

442D : 全然そんな 話題は あの一

443A : 別に 話題は ないんやな

444D : ない なんでも いいです もう 普段の 世間話で {笑} とか 今みたいに こうー

445B : いや 今 あの一 Aさんがちょっと あの一 陶芸に ちょっと 興味を持って

446A : 持ってへんで {笑}

447B : ちゃう いや あの一 ○○○さんに誘われて やんで まあ 長浜弁で 弁でなか あの ちょっと 喋らしてもうたほうが

448D : いや もう だから その

449B : だから そう どうして その 陶芸が あの ねえ 今 個展を 見に行ってるられて すごい感動しておられるので あれがどうやって 作っているのかと 思われるので あの一

450A : ほいで もう 話題 変えても いいんか

451D : あっ もう 別に 自由に やっていただいて

452B : いや いや まあ あの一 Aさんの 興味が あることを 喋らして

453A : ほー ほんで しんじゅうを うん。

454B : もらったら

455D : なんで ちょっと 抜けます はい。

456A : うん。

457D : すいません。

458A : うん。 まあ ええやん。

459B : 抜けますって 言われたら これ

460D : あっ

461A : ちゃうちゃう。 ほんで ほんで ええんやて

462D : あっ はい。 すんません。

463A : ちゃう ほんで わしらも ほんで セや この間 いうたけど まあまあ 反論して どころが どうなんやて なん いおうと おもたけども

464B : いや いや いや ちゃう ほんでね あっ 絵のことですか

465A : 絵のこと

466B : 絵の ことは だから 今 言うたみたいに 隅から 隅まで しっかり描くのは あの一 違うと 思うんですよ ほんで あの一 死んだ人みたいに おもてはりましたでしょ

467A : うん。

468B : あの一 その一

469A : うんうんうん。

470B : 全部の人が しっかり 描いてないって 言うてはるで あれは もう しっかり描いてあ まあ 私の 自論で あの一 他の方は 知りませんが 私が 自分で 絵を 描くのに 頭の 中には もうとにかく あの一 消すこと 消すっていう

471A : うん。

472B : その一 いったん しっかり描いても それを 消してくってゆうことが もう ひとつの 絶対の作業やと 思ってるんです。

473A : ほやけど 絵の 厚さいうのも わかって ちゅーと ちょっと 触ってても ○○○○君では ほんでも ごてごてした 絵でない すら一っと 油が その上のってある その上のってあるような 絵でないがな

474B : あっ ほれは

475A : わ ##しゅーっと この間 見たけど

476B : それは ほの人 ほの人の やっぱり あの一 絵っていうのも みな 個性なので その人 その人の なんてゆうん あの一 持ち味ってゆうかね もう 絶対 十人が十人 同じ 絵 描いてたんでは おもしろくないので もう やっぱり 個性なんですよ。 私は 今 もしも 絵に 興味があってやったら ちょっと 遠いんですけど 今 言うてるのは これなんですけど これ だってこれが 50 万もらわった グランプリの 絵なんですけど 私らが 見ても なんやって 言わんなら 絵でしょ。

477A : どっか はい 廃墟に 見えるけどな

478B : 違う これはね 信楽の 登り窯なんです。

479A : あー これ 平板か ほんで こうゆうの

480B : 違う あのね あの一 登り窯ってゆうね こうゆうなんね 土で こんな こう なんてゆうんか 山 作って

481A：うんうんうん。

482B：洞穴みたいなん

483A：うんうんうん。

484B：作ってあるんです。

485A：ほいで ずーっと ある 知ってる。

486B：うん。これが ほんで この 洞穴で ここに あ 丸太 作ってますでしょ。

487A：あーあーあー ほこの 風景か

488B：はい。でも 実際に こんなところは ないという 話なんです。だから これ  
つくりものなんです。嘘八百 描いてある。それで ええ いいんです。

489A：ふーん。

490 /少し間/

491A：ビバシティ し 滋賀銀行

492B：これ

493A：し 滋賀県民 滋賀県民 芸術 これ 大津か これ

494B：これ これは あのー 草津なんですけど こんな 遠い 遠いから 一番 近い  
ところ うーん 昔は 長浜へ 来てたんですけど つ ちょっと あのー 主催者  
が 変わってしまったので すいません 奥さん すいません

495C：うーうん。なんか 二人の 会話をつて 言うてはった

496A：二人つて ほんな はい 入っても ええんや 別に

497B：ちゃう 二人 その 二人の 会話 聞いて

498C：なんか 録音しとかあるん。

499B：えっ

500A：ちゃう あのー お前も 入っても ええんや 輪ん中に

501B：そう 入って下さいな 私

502C：違う ちゃう 私は ええんやけど あのー 今 なんか 30 分くらい 外へ 出  
てきますからって 言わあってんけど

503A：ほんで 自由に 居てて 固まらんとあかんさかい

504C：あー ほうゆうことなん

505A：うーん かとなると あかんさかい ほんで あの 自由につてゆう

506C：喋ってて

507B：{笑}

508A：ほれ ほんで

509C：ほんで 録音しとかあるん

510A：ほんで 世間話を あのー 喋ってたなら ええんや

511B：{笑} なんか 意味が ちょっと 私には わからん

512C：意味が わからんな {笑} ほんな みんな 子ども 呼んで来たらええねん うち

の子も

513A：ちゃうちゃう おー 呼んで しゃべ

514C：呼んだろか 呼ぽか

515B：うん。

516C：わーって 喋ってるのが ええんやろ

517A：な 何を 喋ってんねや わからへんと あかんけんど

518B：{笑}

519C：{笑} なにを しゃべ {笑} 話が ちょっとね

520B：私も 最初 話が 読めんので

521C：ほんとや 私も 読めんわ おとうさん ほって 今日になって 私に 言わはる  
しな

522B：あー。

523C：なんか 来はるさかいって

524B：あー そうなんですか。

525C：ちゃんと 言わはらへんもん いつも

526B：あー。

527C：言うてたやろ 前も

528B：あー そうなん

529C：ほんで ちゃんと 説明を ほんで あの 私も 入ってとか 言われといたら  
あの 休みもろとくしな

530B：ふんふんふん。

531C：別に ええやんか もう ほやのに 言わはらへんさかい 今日 何時から 行く  
ねやっちゅ 言わあるだけでな {笑}

532B：常日頃 夫婦の 会話がないうんですか。

533A：{笑}

534C：せーへんな あんまり

535A：ふんふん。

536C：ほんなに 普通に

537A：ふん。

538C：なんかあったら 喋るだけで ほんなに 話すことないて 強張って

539B：そーなの 私 わからん わかりませんけど

540C：わかりませんやろね。 ほんな あれやろけど ほんなもんやで もう 空気みた  
いな存在やさかいに もう 別に ご飯 ちご

541B：なくてはならん もう なくてはならん あれやろけどね

542C：空気や まあ 言うたら {笑} ほんで 別に 私ら ケンカするわけもないし こ  
の人も どっちかゆうたら あの 気楽に ねえ してはるさかいに 束縛は し

ないで 二人ともが

543B : あっ あー

544C : もう 自由にしてますで。

545B : いい いい関係ですね。

546C : うん。 そうゆうなんの 方が 気楽でしょ。

547B : うーん。

548C : もう 年いったら 今までは 子どもと やっぱ 接しんならんら ほんで 相談  
することは しますけど。

549B : ふんふんふん。

550C : もう あの そんな あの やっぱ 女の子ばっかやから 私 娘が ほんで お  
とうさんに 用事があると おとうさんと 娘は 仲ええよ すごい

551B : ふんふんふん。

552C : 私は 友達感覚みたい 感じ 22 のときもらった子と 25 のときと

553B : わぁー 若い時に

554C : 30 一番下が ほんで ちょっと 離れてるん ほんで 今の子やったら 30 の子  
で 真ん中なんか 30 歳で あのー 上の子もらったから 私の 一番 下の と  
きの 子と 同じくらいやろ。

555B : うんうんうん。 ほんでも 女の子が 3 人て いいですね。

556C : まあ ねえ まあ まあ あのー 嬉しい あのー お母さんに とったら 嬉し  
いかな お父さんも 優しい うちが 案外と お父さんを みんな 嫌がるとか  
しゃあるけど 私んところは ほんなこと ないんで お父さん 大事にして もら  
あつてあるで 案外と。

557B : うんうん。

558C : ほんで お父さん 嫌いでないから みんな 3 人とも

559B : ほの 今 あの 違う生活 考えて おと 息子さんやったとしますでしょ。

560C : うんうん。

561B : ほんで ここ お嫁さん 来てやる 来て一緒に 暮らしてやったら 大変ですよ

562C : ほら もう 大変や。 ほれは もう みんな 言うてはる。 私の 友達も。

563B : どんな いい お嫁さんでも どんな いい お嫁さんでも

564C : ほれは もう ほれは 全然 違う。

565B : 100 の お嫁さんでも やっぱり やっぱ

566C : 嫁 姑は 違いますんで。

567B : 違いますので そん

568C : ほんで この 隣に 暮してやっても 気遣うって ものすごく あの 家は ベ  
っこでも ご飯は別に しはるんやけど やっぱ 気遣う 言わはりますわ。 ほ  
んで なんにも 言わへんでって 昔やったら 逆に あのー お母さんの方が



ばあーって 言わはったけど ゆえんでって 言ってやる。

569B : うーん。

570C : 黙ってるって もう なんにも 言わへんでって 向こうが してっちゅ 言わあ  
 ったら するし こっちからは もう 言わんように してるって 言わはる う  
 ん。 ほれが ええ環境を 築く {笑}

571B : 私ら 実家が 最近

572C : は

573B : やっぱり あのー なんてゆうんか あのー 別所帯で

574C : は

575B : あのー マンション 借りてると 家賃も払わないかんので

576C : あっ そうやー。

577B : ほんで 子どもが 増えていくと あのー マンションでは 狭いし

578C : みんな 帰って来はるんやろ。

579B : うん。 だから 最近 あのー 一緒になったんですよ。

580C : はー あーあー。

581B : 一緒に もう 途中からですよ。 暮らすようになって うわあー うまいこと  
 いてあるんかなってすごい 思います。

582A : あー ほうなんですか。

583B : だから 私の母と だから あのー 今 今 お嫁さん あの 嫁がですよ

584C : うん。

585B : うちの母と う あのー 父 あのー 両親と 暮らしてましたでしょ。 あの 最  
 初。

586C : あー 最初は

587B : そのときは もう 母が もう 嫁さんの 立場じゃなくて 母が もう 私を  
 呼び倒して もう 泣くように そのー あの こんな風に 言われた こうや  
 あーやって もう 私 それが 聞くのが ものすごい 嫌やったん。

588C : あー ねえ わかりますわ。

589B : 嫌やったんです。

590C : うーんうーん うん。

591B : 最後 もう 死ぬまで もう

592C : 見てて あげやあったんでしょ

593B : まあ まあ 私が まあ ちゃう でも 一緒に 暮らしてたのは あのー

594C : ちょっとの間

595B : えっ いやいや。 ずーっと 一緒に

596C : あっ 向こうに 居はって

597B : うん。 あのー 向こうに 居はって

598C : で 病院入っらあって 看てはったん。

599B : もう 病院入ってから ずーっと看たり そして あの 家に 居たときでも のう ほんとに 家に 寝てると もう しょうがない 私が もう 勤め先に 申し訳ない つつと 帰らしてもらえませんかゆうて 帰ってきて お昼御飯 食べさして ほんで あのー ちゃんと 面倒 見て 昼休みの間 面倒 見て また 行っって ほんで また 電話が かかってくると 病院 連れて行ってくれって言われると もう 勤め先には もう あれやったですけど また 帰ってきて 勤めに行ったり もう 悪いで ちょっと 帰ってきてって 言われたら また 帰ってくる ほうゆうことを しましたし。

600C : ねえ ほんまや やっぱり 女の人だね。

601B : ほして一 夜中まで ほんで 帰って来てから 夜中の そうや 12 時 1 時まで 面倒 見て 一緒に

602C : はいて また 仕事 い

603B : はいで 夜中まで 12 時ごろに

604C : 帰って来た。

605B : 帰ってきて 寝て

606C : 大変やったね でも。

607B : そういう こととか

608C : ほんで お嫁さんも て あのー 交代してくれはったんですか

609B : ほんで 12 時から 私は 1 時まで まあ 母親に ついてて ほれから 交代して 毎日ですよ で ほれから 私は 帰って 寝て 仕事に 行き

610C : ほんな 大変なんね。

611B : それ ちょっと

612C : ほれが 何年も。

613B : いや ほんなことないです ほれは もう

614C : 最後の こう 悪くならはって。

615B : 最後の 最後ですから あれは

616C : ほんなんやったら 体 悪してまうね やっぱ 勤めして ちょっと 休む間もないと。

617B : で 病院に 長浜病院 10 か月 入院した時は 朝 6 時に起きて 病院 あの

618C : よう してあげやあった。

619B : なんていうんか 出勤まで居て ほして あのー 昼休みにも のぞき で 病院から ちゃう 勤め先から 病院 直行して 前の 古い 病院やったから

620C : あー

621B : あのー あそこに あのー スーパー スーパーってゆうか

622C : あー 前に

- 623B : あって あそこで お弁当買って 病院で 弁当 食べて 消灯まで 居て 帰ってきて
- 624C : もう 今は 置いてくれはれんもんね 病院が
- 625B : うん。 あの時はね 10 ヶ月くらい
- 626C : セやわ うちの おじいさん入院してあったときかて 日赤やったけど あのー もう あのー そこに 昼は 交代で 私らも 行ってましたけど ご飯食べさしに行ったり 手伝いに 看護婦さんが ほんだけ かから かかれませんか でも 夜は帰ってください 言わはるし あのー 完全看護やもんな ほとんどが 私らのとき
- 627A : うん ほうやって 基本的には ほうやって なってあるけど
- 628C : ほんでも ねえ
- 629A : 今でも ほうけど 泊ってやる人 ようけ 居やある。
- 630C : あっ 居やあるん。
- 631A : 居やある
- 632B : 私は 泊るのはね 泊ら
- 633A : ### ## #####
- 634C : ほんな 泊るって 寝れへんで
- 635B : 寝れへん で # ろ 私ら 個室には い いなかったの で 6人部屋に いたんで そやけど 私は もー なんか すごい 親孝行のって
- 636C : ほーんとや
- 637B : 評判なって {笑}
- 638A : {笑}
- 639C : ほら そんだけ してあげやあったらね
- 640B : 10 ヶ月に いちに いちにかい かぜ
- 641C : だって 妹さんは 遠か 遠かったから しゃあれなんだん
- 642B : はい たまに たまにって 大津
- 643C : ほんで わからんねんな ありがたみが ちょっとね ゆうてあったの 聞いてたら こないだ ね
- 644B : そうそうそうそうそう
- 645C : わがママが ちょっと こう ゆうてはったんやね
- 646B : そう
- 647C : わがママって
- 648A : ほら 世話したもんと せんもんとでは ほら
- 649B : ほんで まあ 評判な
- 650C : うーん。 そら そんだけ しゃあったら もうね
- 651B : うーん。

652C：よう 病気ってゆうか 悪くならあれなんだね

653B：えっ

654C：よう 疲れて やっぱり

655B：そう ほんで 1回 風邪 熱 風邪 引いて もう とても 行けなかった

656C：勤めながらって ゆうのが 大変

657B：だから 私なんかね やめ 辞めたら うち お嫁さんの方が 辞めてほしいと  
思ったんですよ だって 私 辞めたら

658C：一人でね

659B：どうやって 生活する んやし ほいで ある程度まで しないと 厚生年金もね  
かけとかな

660C：そうそう もらえへんしね

661B：もらえへんし

662C：ほんまやー ほれを わかってや くれやれなんだろかな

663B：だから あれー ごじゅう＃

664C：ほら もう やっぱり お嫁さんの方が 優先 なん あの や 優先的に 辞め  
やれなね

665B：ちゃう ほんで もう 最後の 亡くなるときには これは もう どうしても  
ほの 私 昼 帰ってきて お世話して ずっとやってたで 辞めてくれや よう  
言わなかったけど ほしたら あの一 お母さんの犠牲には ようならんわって  
言わあってん

666C：えー。

667B：だけでも あの一 お嫁さん勤められたのは お母さんが

668C：うーん 見ててくれや

669B：あの一 子どもを

670C：そうそうそう。

671B：幼稚園の 送り迎えから 何から 全部してたので 出来た

672C：そうや うちの母でも ほうなんや いい いいかけるたな

673B：うーん。

674C：それは あるんやけど あかんの ほれが 大体みんな

675B：だから わたしは 今 ここでも ここに いつでも ふあっと 思い出すと お  
かあさんの犠牲には よう

676C：ならんわ。

677B：私は ならんわって ゆうて やあったのが そしたら つとめ 後になってから  
お母さん 亡くなった あとに なってから なんか そこは 介護で 休めると  
こ らしいんや。

678C：あっ ほんまに

- 679B : 県職員 やったで なんか 知らんけど
- 680C : あっ ほー。
- 681B : 休めたん 休めたんよ。
- 682C : ほやけど したくなかったんや。
- 683B : したくなかったん 聞いた 話によると 母親の介護休暇ってゆうの
- 684C : ほの人も ほしたら あとから 亡くならあってから やっぱ こう 思ってはらへん
- 685B : 知らんけど ほんで もう 私が ある時 聞いたら もう あのー はいは なんかで 休めんわ 介護休暇で 休んでやあるさかいて えっ 介護休暇で 休めるんやったら なんで お母さんのときに 介護休暇取ってくれやあれんかったんやと 私は そのとき
- 686C : 自分のね やっぱ 子どもさん ほんだけね してくれはったら 恩返しせなあかんやんね。
- 687B : ほして 自分 そのあと お母さん 亡くなって しばらくしてから なんか 腰を悪しはったんで 定年まで いかんと 辞めたんや {笑} ほれやったら もう 1・2年のことやったらってすごい 思ったんですけど
- 688C : ねえ や やっぱり 嫁姑となると うちの 母なんでも そんなんやで
- 689B : うーん。
- 690C : あのー 私らが ある時 先祖は 要らんねやって 言わはったん すごいこと言わはったな
- 691A : もう ほやけど もう 本人 本人って も こっちの 気持ちひとつやわ ほんなん はたが言うても 変わらへんねん
- 692C : こうゆうことなんやろ 先祖さんは 要らんねんやて 私らには って言わはったで 長男のところに お嫁に来はったのに 先祖さんが 要らんかったら 誰が かみんな 生まれてくるかって 言いたいけど よう 言わへんねん 私らも やっぱ い やっぱ ゆえへんもんは 弱いでな
- 693B : うんうんうんうん。
- 694C : ええで ほう ゆわはった ほれも 私らも もう 心の 中に 残ってる 一緒やわ {笑}
- 695B : 私ら そうゆうこととかは ものすごい 残ってるけど まあ
- 696C : ほんとやな。
- 697B : あのー そのー 母親とか 父親の きちっと その 法事とか そうゆうことは
- 698C : してくれやあるでな
- 699B : いん ちゃんと してくれやあるさかいに あのー
- 700C : あっ ほれはー 世間体もあるしね
- 701B : うん。 あのー ちゃんと

- 702C : ほて 旦那さんも 居やはるさかいに ほら 旦那さんが しはるわな 奥さんは  
ついていかな あかんし
- 703B : あのー ちゃんと それは あのー 母親も
- 704C : ほらー 当たり前やな
- 705B : うん。 きちっとしてくれて んで あのー 毎日 仏さんにもね やっぱり 御  
縁さんにも 月参りしてもらって まあ
- 706C : しててくれやで
- 707B : そのことは してくれてるので
- 708C : うんうん。
- 709A : あんたんとこの ## あのー 門徒って どこなん
- 710B : 真願さん
- 711A : 真願って どこや
- 712B : あのー ゴウドマチの
- 713A : あーあー ゴウドマチ ○○○さんの
- 714B : ○○○さん
- 715C : ○○○○○さん ○○○○○○○○○さん
- 716B : うん。 あそこの お寺
- 717C : ほーですか。 いろいろ みんな いろいろ ある#ねえ
- 718B : あっ だから 私 ときどき 自分が わる なんか しんどかったり 悪かった  
りしたとき あのー わ 私みたいな 娘が いたら どんな 幸せやろなと 思  
いますよ。
- 719C : あー うーん ねー ほれは
- 720B : ちゃう 私が 母親に し あのー してきたことから 考えたら
- 721C : ほんとや よう してあげやはったでな
- 722B : んで そのー 私みたいな 娘が ねえ 今 居たら すごい あれやな
- 723C : ほやね 私は もう 3人 まあ 居ててくれるさかいに まあ 悪くなったら
- 724A : ほんなん わからへんで。
- 725C : ほら わからん。
- 726B : {笑}
- 727A : ほんなん わからん {笑}
- 728B : いや いや そんなことないやん 娘って うーん だから それは ほんで す  
ごい 3人も 居てやあんの どんな 幸せかつと 思います
- 729C : {笑} 強情 今は あのー 10年間で すごく あれやったけどね 大変やったけ  
ど。
- 730B : うーん。
- 731C : もう 交代で 帰ってきて あれやし 私も ちょっと 勤めたりしてたし 全部

じゃないけどね もう あのー

732B : お舅さん 居やあるん。

733C : おじいちゃんが 居やあった。

734B : あっ おかあさんは

735C : お母さんはね 52 歳で 亡くなってやって お父さんの兄弟が 弟が 2 人 居てはったで 親代わり 私らが 弟の おじいちゃんは もう 結婚した時 65 歳やったで もう 結婚したときに おまんら あとは頼むぞって 言わあったな。

736A : うーん。 ほんでも 遊んで 遊んでばっかで 旅行ばっか 行っとったで。

737C : ほれは もうな ようして来はったで ほれから じゅう何年 あんま 長く一緒には 居なかったけど。

738B : ほんで お母さんとは 全然。

739C : お母さん 私は おうてないんですけど

740A : じぶんが ほれ じゅうくか

741C : はたち。

742B : あー ほうかほうか。

743C : ほれくらいで 亡くなつてはるから もう とにかく 私は あのー 22 歳 にじゅう うん んで 来て ねえ おさんどん ### 男の人ばっか {笑} ほんで もう ほの 今の子やったら 絶対 勤まらあれんと思う。 昔 私らは従順して おじいさんに 仕えんなくてゆう 思いがあったで。

744B : うん。

745C : おじいさんかて 結構きつい人やったで ぼんぼんって 言わはったけど ほんやっぱ つとめなあかんねや ってゆう思いがありましたやん 私らの時代は

746A : ほんで お前も きつかったさかい 言い返したん ぼんぼん。

747C : ほんなことないで {笑}

748B : {笑}

749C : ほんなこと よっぽどになると {笑} この人は 何にも 言うてくれやれんし 喋らあれんさかいに おじいさんと もう なんかゆうたら 絶対 喋らあれんねん 二人が

750B : あー。

751C : 話さんかったな。

752A : 忘れてもた もう ほんな 昔のこと。

753C : {笑} ほーなんやて ほんで あのー 私は ほんな 言い返しも 出来んかったで わか 若かったさかいに でも だいぶ してからは な ほら あのー やっぱな おじいさんは 一人やから 子どものこと ちょっと お父さんと 喋ってても 一人 やはるやろ お母さん やはれんから あのー わしの あのー 聞こえるように もっとおつきい声で 喋ってくれって 言わはったもん。

754B : うーん。

755C : 何もかも わかるように みな ゆうてくれって ほやけど おじいさんに ゆうてもわからんことが ある ね

756B : うんうん。

757C : ななじゅう いくつにもなってある。

758A : ちゃう 耳が遠いさかい ほんで すぐ ほういうこと 感じ取るやん。

759B : あー。

760C : ほんで 子どものこととか 話をしても ほーやって とらあるん やっぱ

761B : ふーん。

762A : ほんで 子どもでも ほんな もう ほんまに 一つしまいたら 一つあてがう 一つしまいたら 一つあてがう ゆうみたいなん 子ども 教育ゆうか わしらもしてたし あの一 し してたで あの一 ほうゆう 育て ##たし ほ ほの 親父も ほうやって おもとうさかい #####かい なんでも 菓子でも あてがいゆうか もう あっち こっち いくつも や やって まあ 喜んでやある んで こっちは もう 一つしまいたら 一つあてがい ゆう まあ。

763C : おじいさんがな やっぱ まあ 昔の人 明治さんじゅう

764A : 8 年や。

765C : 8 年 生まれか。

766B : あー。

767C : 私と 43 歳ぐらい ちごたんや 孫ほど ちごんや。

768B : うちも 父親も ぎりぎり ぎりぎり 明治 よんじゅう

769A : さっ

770C : 5 年か 4 年

771A : 45 年は 今 ほんで 大阪のおっさんが ほうやな 103 今 103 か。

772B : 居やあるん。

773C : 居やある。 おじさん 居やあるんやで。

774A : ほんなん 2・3 年前まで す#### やったん。

775C : 2・3 年では ないけど。

776B : 父 父親が 生きてたら 100 歳くらいかなと 思うけど。

777C : 私は 父でも ほう ほうなん 大正 きゅうじゅういくつか。

778B : 74 歳で 亡くなっ 亡くなったけど。

779C : 私の 父も うちの 母が 今 89 歳なんや。 そこへ 10 歳ぐらい上やけど 99 か 98 やから んー まあ 生きてたら それぐらい あの人は 大正 2 年

780B : あっ うちらも あの 母親は 大正 生まれやったんですけど。

781C : 元年で 15 年 大正

782B : あっ そうやね うーん。



783C : ねえ 15 年しかなかったから 足 崩してください。

784B : いや ありがとう あっ すいません。

785A : 気にせんでええねん。

786C : 崩してください。

787A : 気にせんでええねん。

788B : あ ありがとうございます。

789C : ほんと あっ ほーや なんか 甘いもん 持ってきますわ 私 甘いもん 置いてあるん 甘いもん。

790B : いや もう もう もう もう かまわんといて下さい。ほんとに うちの 父親は おとなしい人やったで もの 一つも 言わあれんし ほんま ほんでも 旅行は よう 行ってあったな うちの父親も 友達と

791 /少し間/

792C : お茶の あれに ひとつ

793B : あっ ありがとうございます。 いただきます。

794 /少し間/

795C : まあ みんな いろいろと 一緒

796B : うんうんうん。

797C : 一生はね でも

798B : もう 一生は ほんとにね

799C : うん。

800B : 大変や

801C : 今 やっぱ もう ちょっとね 10 年間は ほんと えらかった。私も もう 孫が 次から 次から 6 ねん 6 人 生まれたから もう 交代で お世話せんならんし としごやったで 二組が ほーっと なんか 悪くなって 入院したりとかあるでしょ 早めに こど やっぱ 孫 見んなんで 2 階で 二人が ずーっと 寝てた {笑} ちびちゃんと

802B : ほでも それも 楽しみやんね。

803C : 楽しみやけどね ちょっと やっぱ 仕事 行ったりすると もう 家に じいーっと 居てると ええんやけど 行ってきましたやん ずーっと ほんで あのー やっぱ 午前 行ったり 午後 行ったり せんならんから ご飯の用意は したかんなんし こう フル回転で 動いてんなんから あのー まあ しんどいつて いったら しんどいけど まあまあ 楽しみ半分 {笑} 両方とでしたね 今 は ちょっと ありがたいことに やっぱ 年々 年いってくし 体も えろなってくる ねえ ほんな 動けんと思う。 やっぱ 50 代はね まだまだ もう わあーっと 動けたで 別にどっこも 悪なかったけどね やっぱ 疲れてまうんですよ もう この年になってくると

804B : あー まだ 若いで {笑} ほして 今の お仕事って

805C : まあ 楽しいんです。

806B : あっ いーねー。

807C : いろんなことを まあ あの は 覚えなんけど あそこ 何から 何まで あるから 結構 奥深いんですよ 着物のことってゆうのは。

808B : 呉服屋さんって 大変でしょ。

809C : うーん なんか いろんなこと 着物 ちょっと あれ してもねえ あれ たたんだりするのもあるし 営業と 営業っちゅうんか 販売と やっぱ 中の 仕事と いろいろあるから 結構 普通 ちょっと こう お饅頭屋さんで こう お饅頭 焼いたりしてあるのや あのー ほれだけ してたらええで ええけど まあ 頭の回転はね こう あのー ボケんは せんと思うねんけど {笑}

810B : {笑}

811C : レジ せんなんし お金の 勘定も せんなんし ほいて 何割引きとか せんなんし ほいういうんが あるから ちょっと あれやけど やっぱり あのー 単純ではないで

812B : 私らも あの 着物あるけど 着る機会 全くない

813C : ほんでも 三味線やら しゃはったら

814B : いえ 昔は あの 着たんですけど 今は

815C : あんま 着はりません。

816B : きょう なんていうんか

817C : 紫の なんか

818B : 制服 制服ですん

819C : 紫の 着物 着はるな。

820A : あっ 統一のか。

821B : 制服。

822A : ユニフォームゆうか。

823B : うん。 ユニフォームやから

824C : あー。

825B : 全然 要らないん。

826C : そら 楽ですよ。 ほいで なかったら まあ 呉服屋さんも 儲かりませんけど

827B : 儲かりませんね。

828C : あのー そらあ

829A : ほ ほいで なんか 発表会しても あんなん どっか行っても ほら あの お礼っていつて 1 万円しかないの ほんな みんな 頭やか なんかしてったら ほんなん 大変やな ほんなん ほんま。

830C : ちゃう ほれは 趣味の段階は あれやもんね。

831B : そうそうそう。

832C : 結構 ほらあ しゃあないと思うんやで

833A : 琴 琴って ちゃう 三味線って 発表の場ゆうのは ほんな ようけ あらへん  
ねやろ。

834B : ないですよ。 ほんで

835C : やっぱ 趣味やもんで あれもね ひとつの

836B : 前 あのー 昔 私が 昔 やってたときは 浴衣会とか 新年会とか っけゆう  
のがあるんです。

837A : ほの 会でやろ。

838B : 会 会で んで 誰も 見てもらうっちゅうわけでは ないんですけど 浴衣会は  
8000 円出して おそろいの 浴衣を 買わなあかんのですよ そして 2 万 5000 円  
会費が要るんです ほんで そこで まあ 料理屋さんとかで 三味線弾くんです。  
ものすごい お金かかるんです。

839C : ねー ほんとや。

840B : ほんで あのー 新年会は 自前の着物を 着て行かなあかんので はあー 去年  
着てった 着物では 覚えてあるかなあ と思うと やっぱ どうしても たまに  
は 作らなあかん っけゆうか そうゆうことが

841C : ほうやな。 なんか 言うてはる みんな 詩吟の人でも。 今度 16 日 出るのに  
この間も 知ってる子が 着物 昔の あー 見てくれんかって 言わあつたで  
見に行つてあげたんやけど やっぱ もう 昔のは もう 色も変わったるし 明  
るい色とかで 娘の時代やから もう 着られそうでないわ これは っけゆうたら  
ら ほんなら 作つてちゅうて ひとつ 1 枚 作つてもろてって 言わはつて  
きれいに してくれはつてんけど やっぱ 高くつきますんね。

842B : あのー 着物の 着物そのものは あれやけど 裏とか 八掛とか 仕立て代とか  
が

843C : 全部 入れるとな。

844B : ねー。

845C : やっぱり 大変や 昔はね うちの お店も あの くれたみたい ちゃんと出来  
たので 安くしてやつて もう あの 今でも 安いのは 安いんやけど。

846B : あー。

847C : 安いのもあるんやで ほやけど やっぱ ええのを 1 枚しよーと思うと やっぱ  
高くついてまうな。

848B : うーん。

849C : ほんで 大変やなって 趣味の だ あの あれは 大変

850B : そうやね。

851C : みんな 大変やと思うわ。

852B : 私も あのー

853C : いろいろ 作らある人も 居やある。

854B : そのー なんてゆうんか 縮緬とか 綸子とか あれ 嫌いなんや 私。

855C : あーあーあー。

856B : やっぱ 自分が もし 欲しいと 思うのは やっぱり 大島とか

857C : 紬とか

858B : 紬とか 毛糸が 欲しいん。

859C : そーすつと やっぱり お洒落着に なりますわね ほれはね。

860B : 多分 そうやろ そうゆうなんを 着て行くところ 着て行く 場所がない。

861C : あっ ほんで どこか こう 行かあるときに ほら あの お友達と 会食会とかに 着て行かあったら いいねん。 私らも あるけど。

862B : でも 浮き上がってまうもんね

863A : {笑}

864B : そんなときに 着物 着て行ったら。

865C : 楽でないしね

866B : 楽でないし 汚したら かなわんしてて 思うし。

867C : あのー みんな ほんでも 好きな人がね 案外 あのー たくさん この頃は あのー 着物の集いとか 長浜も 今度 しはるけど ほんなんに みんな 着て来はるで。

868B : 同窓会 あっ 同窓会で 一人 着物 着て来はったら もう 目立ってもて {笑}

869C : みんなが あっ {笑} 自信が なんか ある人でないと うーん そうなるさかいに ちょっと こう ひと ひとつ ねえ 構えてしまうから みなさん なんか あれやけど 好きな人は もう しょっちゅう 着てやはる。

870B : あー だから 私ら もう 最近 よう 着んわ 着物。

871C : んでな 着物のな 着付け教室 結構 行かはる人 多 なってきた。

872B : あー ほんでもあれ 行っても 着ーひと もう また 忘れてまう。

873C : そうなんやて ほんで あのー なんか あのー ちょっと ちょっと 1週間ぐらい 習って ちょっと もう 学校入らはる人は 特別 もう まあ あのー 自分が ずーっと 進んで 着付けを ちょっと しょーって言わはる人は 京都まで 行かはるけど お金が すごいかかるって。

874B : ほーらしいね。

875C : ほんで そんなとこまで せんでも ちょこちょこつと 自分が 着られるくらいを 習いたいゆう 若い子も 多なってきて ほんで この頃 着物の集いとかに たくさん 出はるよ。

876B : あっ そうですか。

877C : もう すぐ いっぱいになってしもて。

878B：ふんふんふん。

879C：ほんで 紬とか やっぱり 紬で よう 着はるで まあ 大島は 高いから よ  
っぽど 結構 お金 出さな あれやでね 今度も 売り出しがあるんですよ ま  
た。

880B：あっ そうですか。

881C：21 日から

882B：あー そうですか。

883C：ほんで ちょっとでも ねえ やっぱ 人 来てくださいゆうて ハガキも 出さ  
あるんやけどな ほやって ほうゆう 旅行も 前行ってくれはった みたいなの  
も 企画して しゃあるん。

884B：いや 私も 一回 頼むって 言われて い い 行きましたやろ

885C：うーん うん。

886B：言ったように 去年も 言わはってんけど いくらなんでも 着物も 買わへんの  
に。

887C：別に ええんやで 別に。

888B：ちゃう ほんで

889C：楽しんでくれやあったら ええちゅうので してはるだけやで 別に ええんです

890B：ほんで 断ったんや 断ったんやけど 行かある 場所は あー い 行ってみた  
いとこやなあと 思ってたんです。

891C：良かったですよ 去年の。

892B：うーん。

893C：うーん。 私も あ あのーいろんなとこ こー 1 年だけは よう寄せてもらわな  
んだけど うん。 次から こう 回らして も一たで 結構 ええとこ 選んで  
してくれはるで そしたら なかなか 行かんところで ね。

894B：あー そうですね。

895C：良かったですよ みな お雛様とか あーゆうなんね。

896B：あー そうやね。

897C：＃＃＃巡りとか

898B：でも なんにも 着物も よう買わしてもらわへんで。

899C：ほんなんは 気にしゃあれんでも ええんやで 別に うちはお友達と 誰か  
一緒にとかな。

900B：うんうんうん。

901C：ほんでー ○○○さんが 結構 いろんな人 やっぱ お着物の関係してやはるで

902B：うーん。

903C：んで 誘ったってくれやはるん。

904B：去年は ほんで あたし 行きたいんやけど 断ったら

905C : あー。

906B : ほしたら あの一 他の ○○○ 〈B が所属する会〉の人 誘ってはったん。

907C : あー 来てくれはったら よろしいやん。

908B : あ ありがとうございます。

909C : 一緒に あの 乗らせてもらいます。 今度

910B : あー {笑} ありがとうございます。 でも ほんまに 着物を ね 買えんなんで

911C : うーん。 ほんなん 別に

912B : あの一

913C : 別に ほんな 気つこてくれやあれんでも よろしんや。

914B : まだ しつけかかったのも {笑} あるんで

915C : ほんまや ほんまや ほんまや ほんまに 私らでもね

916B : うん。

917C : やっぱ あそこ 行くようになってから 子どもらには 1枚ずつは ん ほんなに  
何枚も 要らんから あれですし。

918B : うん。

919C : ちょちょこと 高いもんは 私も もう 作つといたし 買ってないけど やっ  
ぱ 小物類とか ちょっと お草履とか ほうゆうなもんで 結構 ちょっと 楽  
な お草履とか あるさかいに ほれを ずーっと あの一 結婚式とかにも ひ  
とつでね 安い 安いとないけど 普通の 買つといてもね

920B : うん。

921C : 使わんとね ペっペっペっと いってまうんです 皮が。

922B : あっ そーなんですか。 ふーん。

923C : ほんで あの一 この間も 前に買つといたの 今度は ほの結婚式に ほの 草  
履を 履こ思っ

924B : あーあーあー。

925C : ちょっと 探してたんやけどね 子どもらも 今も 2階で 何してるんうゆたら  
やっぱ 結婚式 招待しても一たけど 服を やっぱね

926B : あっ

927C : 着物は もう 子ども 連れて行かんなんから 大変やから なんか ファッショ  
ンショー してやある {笑}

928B : あー。

929C : あるので。

930B : 私も 一回だけ もう 姪の結婚式に たっかい服 買ったんや 鳥居ユキの服を

931C : うんうんうん。

932B : ほんなもん 今 あの一

933C : もったいないな ほんなん

- 934B：もったいない 着られへん ほんで そのあと 姪や甥が ぎょーさんあるので  
ほんで 色留袖を つくつ
- 935C：もう 着物がな 色留袖が ええですよ。
- 936B：色留袖を 作ったんですよ。
- 937C：うん。
- 938B：ほんで その 色留袖を ほんで ま 結局 3人 着せさせてもらったん。
- 939C：あー ほらあ 良かったですよん。
- 940B：もう 全部 行ってもあったから もう 着るときないし あんな 紋 紋の付いた着物みたい もう 着るとき あら
- 941C：格がね やっぱ あるさかいに
- 942B：あれも たとえば お友達の息子さんが 結婚しあって 呼ばれたゆうたて そんな 服 着て 着ませんもんね。
- 943C：ちょっと 訪問着に なり やっぱ なりますね 紋があるさかい。
- 944B：紋 紋を
- 945C：色留袖って ないと やっぱ 身内とかになるから
- 946B：そうですね。
- 947C：あーゆうなんは むつかしいんですよええ 案外 気にかけてる。
- 948B：だから もう もう着ることがない ゆうたら もったいないなと 思うんで。
- 949C：ほんま もったいないわ だれか ほら 妹さんにでも 貸したげるとか あげて  
しまうのは あれやから 貸してあげるとか しあったら
- 950B：ちがう でも
- 951C：妹さんも
- 952B：妹の方も
- 953C：作っとかあるん。
- 954B：もう 私と 一緒 一緒やから
- 955C：あー。
- 956B：あの子らは 黒の留袖を
- 957C：ほんで
- 958B：ずっと 今まで 着てたから
- 959C：うんうんうん。
- 960B：で 私は まあ あの 最初 嫁に 行くと 思っ お母さんが 作ってくれた  
のは もう もう 妹に回し 回し
- 961C：私も ほうやで 黒留袖を あのー 持って来たけど 私の兄弟とか お父さんの  
兄弟とかに ご 5 回くらい 着て もう 置いといたら もう 着られませんか  
なあ やっぱ
- 962B：若い。

963C: 若いで うん。 やっぱ 色が 明るいのやし ほいで もう 娘らたちのには また 幸一さんで ちょっと あのー ほんまに お値打ちなのを あのー ちょっと 行ったときは ほんまに やすう《安く》 してはったん。

964B: あ そうですか。

965C: もう 今はね 普通になったけど 前のときは ぷれたみたいに したのがあって あのー やすうーしてあった 今も 卸しで しはるで 結構 値打ちなんも あるんやで。

966B: あー そうですか。

967C: うーん。 また 誰か あの 欲しい人があったら ゆうたって下さい。

968B: はい はい はい あの わかりました。

969C: あのー ほら ○○○さんに 言わはったら あれやけど ○○○さんよりも 私 ーの方が 行ってるさかいに

970B: あー ほうやね。

971C: 頼みやすいんや こうしてあげてちゅうのが。

972B: そーや ほんで それ

973C: ほんで 安く 結構 お値打ちやとか 喜んでくれやはるん みんな 普通のお店 で から おもたら すごい 安いって。

974B: ほしたら だいぶ おおむ あの その 三味線 やってたときに 大昔に あのー なんてゆうんか 袋帯を あの ○○○さんで 買ったんですよ

975C: ほうーほうー。

976B: ほんで 確かあれー なんか 私としては すごい お金出したと おも 思ったのに

977C: そら そうや。

978B: いつや 知らんけど それを ほんで

979C: もって 行かはったら

980B: ちゃう 色留か なんかのー にも しょうがない それ 着ようと思って 締めたら ある人が あんた 色留 着てやあるけど 帯は だいぶ お粗末やなって 言わあったさかい。

981C: あーれー ほんなこと 言わはったんですか。

982B: 言わはったんや。 一応 あのー 袋帯なんですよ。

983C: うーん。 ほら そうや。

984B: 袋帯として 買って 確か 月賦で 私 確か 高かったような 気がするのになと 思ったんで これは ええねや 思って そのー 色留に あの 着てた あのー

985C: 締めてあったんや。

986B: 結婚式に 締めてたんですよ。 ほしたら あんた ええ 着物のは 色留は す



- ごく いいけど 帯が もったいない おち 格落ちるは その 帯は あんまり
- 987C: ほんで よう わかる人が 言わはったん。
- 988B: らしい。
- 989C: あー。
- 990B: えー たし ほうなんかな ほうゆうと ちょっと 薄っぺらいなどは 思ったんやけど。
- 991C: やっぱ 帯の方が 着物よりは あの ええのを さある ふ どちかゆうと うん 高くなるって 言わはるけど そんなこと ばっかりでも ないし ほの着物に おうたの しはったら ええけど まあ よう わかる人が 言わはったんかな。
- 992B: で えっ ええ これ ほんな 安くなかったのにと おも
- 993C: ほんでもね 値段は 案外 あのー まあ たか ほら 高いもんは いいもんなんやけど 結構 お店によってはね 高くしはるのもあるんやで。
- 994A: あれ あれ ○○○の○○屋のこっちか。
- 995B: ○○○さん。
- 996C: ○○○ 染め屋さんやな。
- 997B: そしたら そのー その 袋帯で ほて 普通 ほったら ほれから 気になって 他の人の 袋帯 見るんですけど 結構 その 袋帯 分厚いんですよ やっぱ 折りになったるで 私は なんや 薄っぺらーいでしょ やっぱそうなんかなとおも
- 998C: いやー ほんなことないと 思いますけどね。 あのー あんまり ごついのは この頃 ないですよ おも 重たいのは
- 999B: やっぱり
- 1000C: うん。 重たいのは ないよ。
- 1001B: 私の も ペんぺらぺんなんで
- 1002C: あっ 薄いですよ 今のは ほんで 昔の人が 言わあったん 違うん この頃は 軽い 帯が
- 1003B: 軽い
- 1004C: すごく
- 1005B: うん。
- 1006C: 帯がね んで いろいろ あるん いろいろ あるんですよ。 ほら また あのあれや あのー 私らでも ちょっとは ちょっと ちょっと もう 値が わかるようになってきたんやけど。
- 1007B: あー。
- 1008C: あのー 専門ではないさかいに あの 社長やかも どお どおって ゆって 持って来はったりすつと あー これは ええ帯やって 言うてあるで 大体 私ら

も ええ帯やなって わかるんです。 ほっと 言わはるし あのー ほら いろんなもんが 染めおきと うーん あのー お 織りと いろいろ ありますのでね ほんで 浜縮緬の帯なんか すごい 高いですよ。

1009B : あっ そうなんですか。

1010C : 染め帯 高い 長浜縮緬 結構 案外 ぱらぱらっと 柔らかい あのー 名古屋帯なんやけど ほんなん 見てても 高いなあーと 思うのがあるわ やっぱ 染めがええんか。

1011B : あのー なんか 紬の着物に 染め帯したら ええって 言わあるね。

1012C : そうそうそう。

1013B : ほしたらね 私が もう 民謡やってある人に 若い時の着物 みんな あげるって 言ったら 羽織が ほら 昔 着ましたやん 私ら その羽織で

1014C : しやあるんやな。

1015C : 帯 作ったら ええんや 言われたで やっぱ 羽織だけ 返してゆ 返してもうたけど {笑}

1016C : {笑} 結局

1017B : だからって ゆうて

1018C : なかなか 作らんもん ほんと 高くつきますやん また。

1019B : うん。 だからな 聞いたら 2 万 5000 円って 言わあったんや。

1020C : あー ほうなんや。

1021B : ほんな もう とてもやないけど もう ええわ 捨てたほうが マシやって

1022C : あっ {笑}

1023B : 2 万 5000 円も 出すんやったらつって

1024C : ほら 名古屋帯でね 結構 ええ帯でも 私んところ {息を吸う} 2 万 1000 円でお仕立て あがりを しはるでな。

1025B : あ そうですか。

1026C : お仕立てして 結構 ええのがね ほんで まあ あのー ほの 生地に よりますけどね ほれは 織りやで 織り 織りの あのー 染めでは ないけどな

1027B : うーん。

1028C : やわらかーいもんは ちょっと ねえ うまいこと 染め

1029B : 染め帯っちゅうのは 高いんですか。

1030C : いや ほんなこと ばっかでないんです。 やっぱ ものにもあるし 博多帯なんかでも 今 ええのが 出てきてる。

1031B : あー。

1032C : 博多は やっぱいいわ ばしっとして

1033B : あ 歩く よう 母親のを もらったりしてますやん。

1034C : あー あー やっぱね きゅっきゅつてのが ええって 言わはる みな やっぱ

締めても 崩れませんで 絶対 博多は で いろんな 形のが 出てきてるさかい 今

1035B: 私 もう 派手になって あの 出来んの 出来んですけど もったいな あの 綴れの帯が あるんです。

1036C: あー 綴れのな ええわな 白っぽい色

1037B: いや もう オレンジなん

1038C: あれ えか こう 曲げると やっぱ こう かかっと 綴れが あの 傷が つきますやろ。

1039B: あっ そうですか。

1040C: また 戻りますけど 案外と

1041B: んとか 派手や 派手やし もったいないな。

1042C: あー みんな ほうや 持ってやる人は もったいない もったいない ゆうてやる。

1043B: あんなもん 染めること 出来ないんですか。

1044C: どぼん染めが 出来る 場合もあるで いっぺん 見てもらわあったら。

1045B: あー。

1046C: どぼん染めちゅうのが

1047B: あの 綴れの 帯を

1048C: ちゃう 綴れの帯が 染まるかどうかは ちょっと わからんのやけど 織りもんやとね ちょっと わからんけど きし 着物やと どぼん染めしゃある 帯は あんま 聞かんのですけど。

1049A: 帯も ほんで 染める ゆうたら ほどかなあかんやん

1050B: えっ。

1051C: ほどかな

1052A: ほのまま ほのまま 染めてまうんか。

1053B: 帯

1054C: 帯は もう 仕立てしたあるでね ほのまま どぼん 染めやと どぼんと 着物は全部 ほどかな あかんから でも 今は どぼん染めちゅうのを しゃあるん ほのままの状態 で どぼんっと 染めやあるん。

1055B: ふんふんふん。

1056C: で いろいろ あるんやで 今は

1057B: あっ で でも あのー

1058C: 大体 もう みな

1059B: 派手な 派手な 昔の 着物を 染めてもらうわ どぼんと 染めてもらうわけすね。

1060C: うん。 ん うん。 ほれは もう 賭けやで。

1061B：ほんで 博多も 一緒やね。

1062C：賭けやで やっぱ {笑}

1063B：賭けか どう 染まってくるか わからへんもんね

1064C：うーん やっぱり こうゆう色ってゆうてはると ほの色に 絶対 染まるとは  
限ってないから まあ あかーい色が つ こう あるさかいに ちょっと こう  
おし おし おとなしい色に しょーってゆうんやった 出来るけどね むつかし  
いん んで ほいで やっぱ ほどいて 仕立て変えを すると 結局 さらに  
買った方が やすつくってゆう か

1065B：やすつく つきます もっと その もっと かつと き#

1066C：そう そう ほんで 昔の お母さんのを どうしても 使いたいゆうやら やは  
るんやわ ほんで ほういう人は お金が かかっても ええから しますゆう人  
も やはるしね。

1067B：あーあーあー。

1068C：あっ お父さん なんか 頼んどこ

1069B：いや もう 私

1070A：も も も ちゃう ちゃう もう あの これ

1071C：あかん

1072A：あかんねん。 もうちょっと あかんねん。

1073C：もうちょっと もうちょっと あかんねんて あのー 前 ちょっと 居ててあげ  
て下さい 私は ちょっとね あのー 行かんなんので。

1074A：### ええやん。

1075C：うんうん。 ちょっと お父さん ほのまま ほっといてな

1076A：うんうん。

1077C：とで 帰ってからするで。

1078B：いや どうしよ。

1079C：ちょっと Bさん 気楽に 居ててくださいね。

1080A：うん。うん。 気楽に 居たらええやん。

1081B：いや いや なんか {笑}

1082A：もう もう {笑}

1083B：{笑}

1084A：ええやん

1085B：○○○さん やあれんと どうしたらええんか わからへん。

1086A：ちゃう ちゃう ほんで あの りょ 旅行の話を もう しようと思って。

1087B：あっ 持ってくるの忘れた。

1088A：お おまん おまん なんや ゆうゆう館か なんや

1089B：あのね

1090A：ゆかいリゾート。

1091B：ゆかいリゾート も 本を持って ああー

1092A：あれの 別館が なんや ええんやわ 別館が 別館が ええゆうとったわ。

1093B：私ね あのー 今も あれやったけど この間 あの 恵那峡 行って来たんです。  
えな 恵那峡の あのー ゆかいリゾート で そこ 前には げら温泉行ったん  
です。 別館

1094A：うん。 別館がええ ゆうとったな。

1095B：うん。 で 7800 円なんですけど あのー もう なんか 私 その 2 3 回 そ  
れ 行って あのー バイキングでしょ あれ もう 嫌になったなという 感じ  
がするのよ。

1096A：ほんで バイキング ちょっと 足したらえんやで。

1097B：ちゃう ほんで あのー

1098A：ちゃう ここに わし これも あのー い いろんなの 持って やすーいので  
も もう あのー あるんや これ。

1099B：あー。

1100A：これ いっぱい ## も 北陸でも なんでも

1101B：あっ ほんまや 私 持ってこと思った はあー。

1102A：まあ まあ 行くところが どの あの どっち あい あい 愛知方面へ 行くか  
あの 北陸の方へ 行くかで ちごてくるけど。

1103B：ふんふんふんふん。 これ これは 値段 書いてないの。

1104A：ちゃう ずーと 書いたある。

1105B：あー。

1106A：あと あとの方に

1107B：あー。

1108A：地域別に ずーっと あるさかい 値段もいろいろやけど ## こうと思ったら  
いくらでも こつあるけど。

1109B：あー 8000 円 これ あのー ほんまにね 2 3 回 行った

1110A：安いのは バイキングが ほと ほとんどやけど あの 日本料理もある ほうや  
って あの

1111B：あのー 宴会プランってゆうの たてたら プラス 2000 円ぐらい。

1112A：ふん。 ほんなぐらいで 行ける。

1113B：うん。 で 私な もう ほれの 方が ええわ 思たんです。 /少し間/ #  
## ### ## ## はったわ。 /少し間/

1114A：ほん 1 万円ぐらいは 要るで

1115B：そうやって /少し間/ あ はい これ ようけ ええとこ 書いてあるね。  
私の 持ってたのは ほんまに ほんで 行かある場所

1116A: めんどくさいやんか ほんな もう まあ ゆうてても あの人の どこ どこでも 連れてもうたら ええみたいな 思い持って してやるやん。

1117B: あっ そう そうやね。 うーん。

1118 /少し間/

1119A: ほいで 宴会プラン したら ええんやな。

1120B: 宴会プランに したら え うーん。 /少し間/ で 日にちやなー 私は 11 月 /少し間/

1121A: 12 月は もう 15 日までぐらい ま 10 日か 15 日までぐらい いってくれやっ  
た方が

1122B: あーあー。

1123A: ちゃう 去年 役員会で なんやか

1124B: あーあー。

1125A: ちゃう まあ あっ 平日行ったらええんや 平日行ったらええんや

1126B: 私はね

1127A: まあ 水曜日あかんはけ 木金か

1128B: 水曜日て い い 木曜日が あれやけど 私も ほんで 12 月 4 日 4 日か  
知らんは あのー 小浜へ あれを 食べに行くんです。

1129A: 蟹か。

1130B: 蟹じゃなくて ふぐを。 ふぐ 食べに 行く 話が あるんです。 ほのあと

1131A: ## ほん ほんなんやったら 1 万円 みといたら ちゃう 1 万円ぐらいかな

1132B: うーん そのあと うーん だから そ そのあ

1133A: ### どこ 行くんや。

1134B: ちゃう 小浜です。

1135A: あっ 小浜 あっちのが 安いわ 越前 よりは

1136B: うん。 だから 私は あっ 越前で 蟹の方が ええのになって 思ったけど  
なんか 幹事が ほうやって 言わはるから そっち行く。

1137A: 蟹やと ほうやけど 2 万円 泊ってやったら 2 万 5000 円 出さなあかんけどな

1138B: ね だから あのー

1139A: いくら 安いのんでも

1140B: その そのあとが そのあとが いれ やったら 嬉しいな 中頃まで 12 月中頃  
まで

1141A: え ええで {笑}

1142B: じゅ じゅうい 忘年会とずっと じゅう {くしゃみ} 1 月では ちょっと あ  
れや

1143A: ほら 忘年会すったら あかんわ じゅ じゅ 12 月やで

1144B: とゆうことなら 12 月の ほれ ほれこそ 中頃までに

1145A : 10 日前後 10 日ぐらいか

1146B : 10 日前後 か /少し間/ えっと





談話 4

会話参加者：女性 2 名（A：1945 年生（68），B：1940 生（72））

参加者同士の関係：友人

文字化時間：32 分 1 秒

会話収録日：2013 年 2 月

1A：あの一、この頃 テレビとかでね

2B：うん。

3A：あの一、ほら、あの、ちょっと、なんての、こう 気持ちが ふわんとなつたとゆか、はあーやれんとか、思ったこと ほっこりするて 言‘ゆ’わあるや（＋ろ）。

4B：ほっこりしたって 言うてた。

5A：ほんで、ほの ほっこり 言うたらね

6B：うん。

7A：あの一、なんてゆの。 んー

8B：困ったゆうこと、ほっこりするって 言うちゃ

9A：言‘ゆ’わへん。

10B：言うたて。

11A：この辺 ほいやんね。

12B：うん。こ、あの、

13A：そーそー。

14B：困った一、困った一、もう はー これしてもたー ちゅうてー

15A：うん。

16B：思って。

17A：困った事 ほっこりして

18B：ほっこりじゃ。 うん。

19A：もー、ぎょうさん せんだらんさかいに もー

20B：もー、ほっこりしてもうた一、ゆて

21A：ほっこりしてもたわー、言うて。

22B：ほうや。

23A：ねー。

24B：うん。

25A：で、今は もー テレビとかではね、ほっこり言うたら やれやれってな感じのこと ゆわあるでしよ。

26B：うち ##### つけてねえで。

27A：あ ほんと。

28B：うん。

29A：なんやら。

30B：見るテレビが ちょっと 違うで。

31A：あー なんやら， ほっこりとか あれっ， わたし あのー 前 聞いたは (+なし)，のよりはね， ちょっと 違うなーと思って。 もー

32B：うちらへんは もー もー もー ももももー

33A：うんーざりしてもたーって 言う。

34B：ほんつまに も し どうしょうもない 困ってもたようごとは， もー ほっこりするこたながー

35A：うん。

36B：って言う， よう 言うて

37A：うん。

38B：あったが それは。

39A：うん。 んでー そーゆ ちょっと ん まー なんやら 感じがする。

40B：うちも この頃 ほっこりするんばい。 {笑い}

41A：{笑い}

42B：ほっこりするだ も (+う)。

43A：{笑い}

44B：も こっちの こっち んー この 自分の一 なんえ， 親しいしと《人》，

45A：うん。

46B：目上のしと《人》， で，

47A：うん

48B：親しくないしと《人》には どういう， この おんなじ

49A：うん。

50B：情景で 言葉入ってる。

51A：うん。

52B：で， 今度は めし し ちゃ なんえ， 親しくないー したんがしと《人》... {笑い}

53A：{笑い}

54B：幾多 なんじゅつ通りも出てくつど， 終いに 頭ん中

55A：うーん， あ ほんだこと。 ほんで， ほえ 今 あたしが， ほんだことて そんなこと ほんなこととか， も， 「そー」を「ほー」に この辺は 言「い」ったりしてー ねー。

56B：おー ほんだことね。 ほんだこと 言うてる。 おーおー。

57A：ほんだことあるねー とか， そーそー。

58B：うん そーそーそーそー。

59A：まあー 「ほっかー」とかね。 そうかねー 「えー あー ほいかた」みたいに

- 60B：あー ほうか。 ほで、 こちらーの 面白かったのはなー、
- 61A：うん
- 62B：あの ○○○のな、 今のお寺のごしんぞ《親族》さんで、 東‘ひがし’幼稚園で  
一緒やったんや。
- 63A：うん。
- 64B：○○○さんがな。
- 65A：うん。
- 66B：この あの でんわーするたんびにな、
- 67A：うん。
- 68B：「あっ ほーですか。 あっ ほーですかー」。
- 69A：うん。
- 70B：おまえ、 あほですかって 聞くるって。
- 71A：{笑い}
- 72B：「あっ ほーですか。 あっ ほーですか。 {笑い} 「あっ ほーですか」 って  
あんまり 言‘い’わっさかいに、 うち しめーにな《終いにな》、
- 73A：{笑い}
- 74B：「まー あほですか あほですか」 って、 「あほですか」 って、
- 75A：うん。
- 76B：きーこえた《聞こえた》でって、 {笑い} 言うたことがある。
- 77A：そーそーそー。 ほやって。
- 78B：ほやで《そうやで》、 うん。
- 79A：ほんめや。
- 80B：うん。
- 81A：うん。
- 82B：面白かったわ。 保育所 ほれだけ 覚えてるんよ。
- 83A：ねー。 ほう言う
- 84B：うん。
- 85A：このへ、 辺は、 「そー」 ってゆの 「ほー」 ってゆ...
- 86B：「ほー ほーですか」 って、 言うやろ↑
- 87A：「ほーなんです」。 そー。 「ほーですかー」
- 88B：うん、 うん。
- 89A：言‘ゆ’ってね。
- 90B：ほんで、 「あっ ほーですか」 は、 「あっ ほーですか」 ちゆのは、
- 91A：そーそーそ。
- 92B：も 電話で もけすけーに 向こう向かって 言‘ゆ’ってやんすで、
- 93A：うん。

94B : おまあ 「あほです (+か),

95A : {笑い}

96B : あほですか」って, {笑いながら} 聞きこめんなるで, 「あほですか, あほで  
すか」って 言‘ゆ’ってるんで一って 言うたら, ほの子 びっくりして 笑って  
やったけど。

97A : へー。

98B : うん。

99A : そーそーそー, ほういうことも あるし ねー。

100B : うん, そーそーそーそー。

101A : なんかー うん。

102B : {笑い} 方言 考えてみると, ほら, 面白いわ。 今 自分

103A : そーそーそー。

104B : でも。 あの な

105A : けど, なんての この頃 あんまりーねー,

106B : うん。

107A : その なん... あ どうゆうのかな, ほら...

108B : うん。

109A : 使いますけどー,

110B : うん。

111A : 使うけど,

112B : うん。

113A : やっぱりー でもー, 若いしと《人》やかったって そんなに

114B : うん。

115A : 「ごおんせ」とかね, ほんなことは あんまり 言‘ゆ’われんの違う。

116B : 「きゃんせ」って, 「きゃんせ」は

117A : 「きゃんせ」は

118B : ゆわっせな ##がっこのしと《人》は, 「こっち きゃんせ」。 ちゃうやん, 「き  
ゃんせ↑」

119A : あ, 「ごんした」とかー,

120B : 「ごうん ごんした」もある。

121A : ねー。

122B : うん。

123A : けど, この頃 あんまり 言‘ゆ’われんと思う 若い人は。 違う↑。

124B : ちょっと あのー テレビやらで

125A : うん。

126B : ヨコオ弁が あのー うちら わたしら ほどは 出してんとも,

- 127A : そーそー。
- 128B : ほんでも 何気なしに 聞いてやんすん ちゃうんか あれ。
- 129A : あー, んー。
- 130B : 何気なしに 聞いてやんすで, で 出たんとは思うけどな。
- 131A : うん。 うん。
- 132B : ほんだ, 今の子は もちよっと 言葉が 綺麗なったとど。 あの 標準語に。
- 133A : ん ねー。 今は一, そーそー。
- 134B : わたしらは ほうゆう時代に 育ってんさかいに一,
- 135A : そーそー。
- 136B : 何気なしに ぼこぼこ, ぼこぼこっと 「あー ごんたな一」「やい... やったわー」とか,
- 137A : うん。
- 138B : 「んなー ごん ゆ...」 ちゃうん, 「こん ゆうてやったわー」とか,
- 139A : うん。
- 140B : あー,
- 141A : そーそーそー。
- 142B : うん, 「きゃん...」「きゃんせんわー んなもん あくかいなー」とか,
- 143A : うん。
- 144B : なんか ほえな言い方で一, あの一 育ってきてるさかいな,
- 145A : うん。
- 146B : 平気で こう あれしてるけど, 今のこーら もうちょっと 違うと思う。
- 147A : ねー。
- 148B : うん うん。
- 149A : やっぱりー ほして なんての あの一,
- 150B : うん。
- 151A : 外へ 勤めたり してやるさかいに,
- 152B : だ, そーそーそーそーそーそー。
- 153A : ね。 えー
- 154B : {笑い}
- 155A : なんとは もー んー。
- 156B : うちも 今日 もえ, あー こんな え い... あの一, えりやー事 今日 行  
‘ゆ’く 言うてもた。 {笑い}
- 157A : {笑い} んで, そんな あの一 なに,
- 158B : うん。
- 159 「ぎょうさん」 って, この あ の 「ぎょうさん」 って
- 160B : 「ぎょうさん」 や。

161A : ほれは 辞書にも 載ったーるしね。

162B : 載ったるんかい。

163A : 載ったるよ。

164B : ぎょー ぎょーさんやったで、 ほって、 いい いき 大きいの 「いきゃーーいの」 っていう。

165A : あー そやそや、 「いっかいー」 っていう。

166B : 「いきゃーいの いきゃーいの」、 でっかいのを「いっかい」、 「でかいー」とか言うの 「いきゃーいの」とか

167A : んーんー。

168B : 言うてやろ。

169A : んー。

170B : んー。 妙な言葉 つこてたなーって 考えてみると 妙やね。

171A : 今は みなー んーなん 自然

172B : うん。

173A : でも あろ あのー なんての、 ○○○の老人会は終わりましたん。

174B : な ほれ、 3月の2日‘ふつか’なんよ。

175A : あっ 総会が。

176B : うん、 総会が 2日‘ふつか’やでー、 も あ 班長さんは わたしが 受け持つてる班の 班長さんは

177A : うん。

178B : 決まったる ゆた。 よその班の班長さんは こっちのほど じゅんばーん

179A : うん。

180B : 知ってあるこーは 今度 言‘い’わすと思うけど。

181A : うん。

182B : ほんでー ないねーでー《内々で》 あのー ここら辺 男の人ら同士で、 あのこの辺が あの あれ 次のあれやなー、

183A : あー、 はい。

184B : この順番で いくと この辺やなっとかゆって おせーてやったで、

185A : うん。

186B : わたしら 見てるだけで も 大体は、

187A : あーあー。

188B : あざん中では、 うん

189A : ほだ、 そうしとかん事‘ごと’には、 あんなもん まとまらんで。

190B : ほって、 あざの中はな、 でいてい《大体》 言うてやるん。 こんどー じゅぶん《自分》やとか 言うてやるしと《人》がある。

191A : はっ、 あー

- 192B：うん。
- 193A：ほりや 楽ですやん。
- 194B：ほれは一， 難‘なん’くないん。
- 195A：うん。
- 196B：もー あの え 言うてやったって きー 聞いてやらんと さかいに，
- 197A：うん。
- 198B：ほゆのは 楽なんやけど。
- 199A：うん。
- 200B：毎年 あんま もめたこと ねーで。
- 201A：わたしやはね，
- 202B：うん。
- 203A：あの一， 副会長を
- 204B：うん。
- 205A：しはった人がね
- 206B：え， 次 会長に ならあなか。
- 207A：やつ， 1年おいて
- 208B：あー ほら いいわ。
- 209A：1年 お い あ ほや 1年おいてー
- 210B：うん。
- 211A：会長 なに， さん... してくれやつ (+た)
- 212B：あ， そーか そーか。
- 213A：うん。
- 214B：んで， あの一 えーえ あれんなった 流れんなったっていう
- 215A：そ。 ところがね，
- 216B：うん。
- 217A：わたしらの方は あの一 男のしと《人》が 少ないんよ。
- 218B：うちらは 男の人 ものすご 多いんよ。 も 今の あの 団塊の世代で一，
- 219A：あー。
- 220B：〇〇〇〇〇〇〇さんとかー，
- 221A：うん。
- 222B：あの年齢の子が どーすーんと入ってん。
- 223A：んない あるん。
- 224B：いーっぱい いやんす。
- 225A：あつ， ほんで 〇〇〇は一， もー みんな 入ろーって， あの な 何歳以上  
は 入るて なってるの。
- 226B：あ ほんで この こん この前も 〇〇〇先生， 「うちも入っちーみー 言うて

みて」っちゅわんで、

227A：うん。

228B：で、言‘ゆ’いに歩いてったけど、あの一 「いや、僕は 59 歳やで」って 言‘ゆ’わった子があったんや。

229A：うん。

230B：あの一、もっとん《もうとおに》 定年退職してやんすと思うんやけど。ほして、  
○○○せんせに言うたら 「いや、年金もろてからや」

231A：うん。

232B：て、言‘ゆ’わんすやろ。

233A：うん。

234B：ほしてから一 あの一 /少し間/ で、嫁さんは「入らん」って言‘ゆ’わんす《言  
う》から。

235A：うん。

236B：「わし、65 からしかへーらん」て言‘ゆ’わんすこがおんすのや。で も一 わたち  
わたしの 次の年には 8 人ぐらい入らあった。

237A：あー、あー。

238B：ほんで あの一、うちのほーん 上になってまう。

239A：んー。

240B：んー。でも ほうか言うて、あの一 なんや ほの 世話役が 待ったるで、  
ほんで せんなんと思っでやんす《いる》こー《子》も

241A：うん。

242B：あの一 うち 早いこと さしてくれんと 80 になってまうて言う人

243A：あーあーあー。

244B：{笑い} 順番は。

245A：わたしわ《わたしら》はね

246B：男の人が やられんて言う

247A：も一 男の人が ええ。入ってくりやーれんの。

248B：あつ、「入らん」て言‘ゆ’わあるか。

249A：そーそーそー。

250B：も一。

251A：んも一 あの なんて まー もーちょっと、あ の きばららんなんさかいに、

252B：うん。

253A：なーんか...

254B：あ、ほれ ある。

255A：うん。

256B：うちも あるが ん...。「考えてくれ、子供が 高校生やさかいに、



- 257A : うん。
- 258B : まだ 入りたくない」て、 あれ 高校の先生してやんた子やけど。
- 259A : うん。
- 260B : ○○○ ○○ ○○○○さん でない、
- 261A : うん。
- 262B : ○○... あのね、 うん 嫁さんは 学校の先生してやるわ。
- 263A : うーん。
- 264B : 小学校かな。
- 265A : うん。
- 266B : ○○○, あの子 {息を吸い込む} う あのあの一 双子
- 267A : ○○○○さん↑。
- 268B : 双子ちゃん, ○○○
- 269A : 双子ちゃん..., あっ, ○○さん, うん。
- 270B : ○○, 双子ちゃんやつやろ。
- 271A : はいはい, うん。
- 272B : あの子ら 子供が あーん まだ こうこ《高校》やもん, ちょっと もーちょっと 待ってーなって,
- 273A : うーん。
- 274B : こないだ 言うてあった。
- 275A : うん。
- 276B : うん。
- 277A : うん。
- 278B : で ほういう弁もあるしな。
- 279A : うん。
- 280B : ほうゆ子ら また 2, 3 年後‘ご’に へえらん。
- 281A : あー。
- 282B : うちらは もー なんか 「入る」っていう考え方でー やあるしと《人》。 「はえらん」っていうしと《人》, たまにある。
- 283A : はー あーあー うん。
- 284B : うちも一人だけ いま あの一 ほの 8 人なかで, ほれ ずっと めーから へーらん言うてやんす, その一人だけや。
- 285A : うーん。
- 286B : へら へーりゃへんやろ《入らへんやろ》 も うん。
- 287A : んー。 わんたしやは 中々 あの一 男の
- 288B : うーん。
- 289A : しと《人》がね, はって《入って》くれやへんにや。

290B : うん。

291A : ほんで一,

292B : ほんと, 会長やら 難‘むつか’しなってきた。

293A : んで, い 今のところは も うんまいからやんけど一,

294B : う うまいこと いったるん {笑}

295A : うまい事 いったるんやけど一,

296B : うん, うん, うん。

297A : あの ほんで まー あのー 女の方‘ほう’はね,

298B : うん。

299A : もー 半年ごとに 替わっても えーくらやー いるわけよ。 ほの な 係りを。

{笑い}

300B : {笑い}

301A : ほやけど,

302B : うん, うん。

303A : あの 男のしと《人》はね,

304B : うん。

305A : なかなか

306B : あー。

307A : 大変になってくるなー 言‘ゆ’って。

308B : そーか。

309A : こないだも, あの しゃべってやった。

310B : あ, そか。 うちらへんは もー 待ってやるさかいに一,

311A : あー, んー。

312B : あのー どーゆんかな,

313A : うん。

314B : で 女の うち わたしらの班でなー, わたしの 70 超えたら かなあんで《かな  
わんで》, も 今年 男のしと《人》が, お 班長として 出やれんならーねーけ  
ど,

315A : うん。

316B : 男の子が 60 さーいの まだ 真ん中へんくらいに ウロウロやんすで,

317A : うん。

318B : 先 女のしと《人》 先 わたしの年齢のしと《人》が, もう 二人あんの。

319A : はー。

320B : で, 先 通したってー ちゅうて

321A : えーえ。

322B : 向こうの班に 男の子を取ってもろて行って,

323A：うん。

324B：こっちの わたしの班も###みんなを通したって ちゅって。

325A：あーあーあーあー。

326B：融通してもろたんや。 4班‘よんぱん’あるんや。 のほら、 にきやー《2回》回  
ったら はんと。

327A：うん。

328B：あの こう これは あの一 役員さん、中々 出来んよな

329A：うん。

330B：あの 班があるんや。

331A：うん。

332B：にきやー《2回》回ってく班。 で、 わたしらみたいに 20何人、

333A：あ、

334B：次の年は 30人ぐらいなる班と、 4班‘よんぱん’あるんや、 とにかく。

335A：ほー。

336B：で、 1班も だいて《大体》 30人ぐりゃい やーるんや、

337A：うん。

338B：男‘おとこ’、 女‘おんな’。 これも わっかい 60歳で。

339A：うん。

340B：わたしの あの この 歳が 2人ほど抜けると、 も 60さえてー《歳代》で ど  
ーんと ご も 全部 若手になってま(+う)。 ○○○先生、

341A：うん。

342B：○○○せん、 うん、 ○○○先生らは はって《入って》やんすねんけどー、

343A：んー。

344B：もー ほれ この辺のしと《人》が 上んなってくる。

345A：んー。

346B：も 2年もしたら、

347A：うん。

348B：も 女のしと《人》の わたしらの ろう ろうきゅうせい《同級生》ぐらい、 も  
2人ほど... こう 回らんとあかんねん。 ほいで こくら辺が らやーねーん《来  
年》 1班だけ ど 30人。

349A：うわー。

350B：で、 向こうの方が 20何人やんて。 で、 ぐるぐるまーり《回り》のときや 10  
何人しか。

351A：うーん。

352B：よ 四つで 割つとこ あるでな。

353A：おー、いよ...。

354B : あるだわ

355A : は一, そうもある。

356B : うん。 80 何人やで 4 班。

357A : 全部で↑。

358B : うん。

359A : わたしらは も 80 人近い

360B : 80 何人あるやろ↑。

361A : はいはい。

362B : うーん。

363A : えー,

364B : ほんで

365A : ほんで わたしら 組で ほの一 え 自治会‘じちかい’の 組で 分けたり,

366B : あ, 組でか。

367A : うん, うん。

368B : うちらは こ 道を こういうふに 割っともたるでー《割ってしまってるので》,

369A : うん, うん。

370B : んで, うちのどこ《所》でー,

371A : うん。

372B : ま に 今 21 人。 こから班で, に 25, 6 個あるんや。

373A : うん。

374B : で, ここの班で 10 何人,

375A : うん。

376B : ちゃうちゃう, ここの班で 10 何人, ここの班でも 15, 6 人かな。

377A : うーん。

378B : ○○○○○○っさんで こういうふな。

379A : あ, ほんまですか。

380B : ほん ほんで ほうかゆうて, にかやー《2 回》まーる《回る》さけーに, こっ  
ちい ひっつけるとか あっち

381A : えーえー。

382B : ひっつけるとかは しゃーないんや。

383A : あー, んー。

384B : うん。 にきやー《2 回》まーる《回る》とこは ほのまま にかやー《2 回》回っ  
たら, 80 くらいから {笑いながら} して してやはんねや。

385A : んー,

386B : うん。

387A : んー,

- 388B : うん。
- 389A : ほうですか。
- 390B : そーそーそーそー。
- 391A : んー,
- 392B : {鼻をすする}
- 393A : やっぱし そやってね, んー 地域地域によって 違うから。
- 394B : 違う 違う。
- 395A : んね。
- 396B : 絶対に ちるく, あのー ○○○さんらに 喋ってみるとよー,
- 397A : うん。
- 398B : あのー うちらは もうな一, にかやい《2回》回るの かなんて いわれん《言われる》。 とっしより《年寄り》ばかり もー みな あの 儲けんもん《者》ばっかりやで一,
- 399A : うん。
- 400B : う うちもな一, あそこの ○○○さんでない, ○○○, なんや ほこの《そこの》○○○○さんか,
- 401A : あ一, ん。
- 402B : も ほこで《そこで》 ご飯食べて, 「終わりや, どっこも 行‘い’けんで, B さん。 歳いったもんばかりの 会長に なってきて,
- 403A : うん。
- 404B : も どっこも 元気で 動かれんよになる
- 405A : うん。
- 406B : さかいに, も うちらは
- 407A : うん。
- 408B : この ○○○○さんぐらいで
- 409A : うん。
- 410B : 終わりやで B さん。」
- 411A : うん。
- 412B : も まやは《前は》, バスん 乗って どっかへ ぐーっと行くちゅやのことも
- 413A : あー。
- 414B : しやったけど, も ○○○○は ほれん出来ん ちゅ##。
- 415A : あ,
- 416B : うん。
- 417A : わたしやは《わたしらは》, ま ようけ い いてくれあるさかいね,
- 418B : そーそーそーそー。
- 419A : ようけ いやあるさかいに, ほんで あのー 毎年1回, 希望から あのー 日

帰り、

420B : そーそーそーそー。

421A : 日帰り ゆん...

422B : バスが。

423A : あ...

424B : うちらもバスで一、 も に 2 だえー《2 台》は なかったけど、

425A : あっ、ん、うん

426B : まー、 お 大型バスで。 2 だえ《2 台》で 行「い」かんどき《時》も あるんや。

427A : うん。

428B : ほって、 ○○○○○が 今年 も一 脱退します言うて。

429A : あ、 ほんて《ほんで・それで》 ○○○はね、

430B : うん。

431A : あのー 入ってある 連合に。

432B : れんご《連合》に 入ってある。

433A : うーん、

434B : うん。

435A : わたしらも 入ってあるんや。

436B : んだ、 ○○○○○が、 ○○○○○でねーわ、 あの あすこ《あそこ》の ○○  
○○○は 脱退します。

437A : あっ、

438B : で、 脱退してやるとこが一 わ あのー ん ○○○○○が 脱退しやったで、  
○○○○○と○○が 今まで 脱退してやったんや。

439A : そーや、 ○○ーが なんか 1 番 はよー《早く》 抜けやったんとか 聞いた。

440B : 脱退しやったんや。 で、 ○○○○○は 今年や。

441A : あー。

442B : で、 も一 多いとこだけが 残るんや。

443A : そー。

444B : ○○○○○ーと

445A : うん。

446B : ○○○○と

447A : うん。

448B : ○○○と ○○○○が、 ま、 大きいんや。

449A : あ、

450B : うん。

451A : うーーん。

452B : だったら、 あのー、

453A : そやそや。

454B : さんがあろーなってくる。 うちらは、 もー 団塊の世代の子が ついんついん  
いる。 ドサー ドサっと 増えるけどよ、 うん。

455A : うーん。

456B : {笑い}

457A : なかなかね、 あのー そゆー 会が むずかしなってきたねー。

458B : むずかしら もー。 で、 会長するの 嫌がらある具合あるやろ。

459A : そー。

460B : ○○○は まだ 待ってやんすで まだ ええよ。

461A : はーら まー。

462B : なー。

463A : 会長 待ってやるって すごいな。

464B : 待ってやる 待ってやる。 {笑い}

465A : {笑い} んー。

466B : ほん も サロンなんかしてると、 わたしらの次にー あの サロンで あのノ  
ムラのしと《人》 こー 年寄りのしと《人》集めてよー↑, あの, おっ, ち  
ゃー飲んで,

467A : うん。

468B : こやって お茶菓子

469A : うん。

470B : 出して, 食べるー ん なー↑, まー こ 今月は まー ほんなら あのー ぜ  
んざいにしよかとか,

471A : うん。

472B : 何‘なん’とかゆて, ちょっとした事で 喋りかや《喋り会》してるけどよ。

473A : うん。

474B : 次のしと《人》 も ほんでも ないが。

475A : あー。

476B : ほんな ニッセキ ##もんなー,

477A : うん。

478B : やーれんし。

479A : うん。

480B : やーれんて 今 ちょっと

481A : うん。

482B : すくのなつたと 思うんやけど。

483A : ほんやねー。

484B : うん。 ニッセキ, ほいじゃもねー しよって, 次 え 次に こー このー

応援しよーかつちゅ

485A：うん。

486B：ねんでやー《年代》のしと《人》は、もー 婦人けやー《会》も 家から 出やれんしと《人》が

487A：うーん。

488B：ほとんどやの。 うちらーの年齢は まだ ワーワワーやって、 畑やら

489A：うん。

490B：ほかやけ《他の所》やら 出歩いてるけど、 も 家ん中に 「あれっ、 あー あ そこの嫁さん 家に いやーるな いやーるな」ってゆう、 5, 60代, 60... 初め頃‘ごろ’のしとん《人》 も 出てきやーれんで。 ほーゆー あの一 なんちゅーかな

491A：うん。

492B：で、

493A：んでー やっぱりー

494B：そゆ活動。

495A：そーそー。

496B：これ わだし 今 見てるけど、 あれっ、 5年ごーに 誰が 騒ぐやろ。 わたし、 わたしは まだや、 行ったりして、

497A：うん。

498B：い 今 老人かや《会》で 今年 は 支えて来たけど、 こ もー 今度は ちょっとスタッフには 今年 は ならんわーと思って、

499A：うん。

500B：まー 参加は するけどーっと

501A：うん。

502B：思っては いんねんやけど。 でも ほのスタッフに なるっちゅーしと《人》が むつかしいわ。

503A：{囁くように} だって それも だって も んな そんな ない。

504B：なんでーや、

505A：うん、 ない。

506B：出来るがの。 わたし

507A：いやいや。

508B：あの「猫塚‘ねこつか’」やら こないだ話‘はなし’したら、 喜んでやったの。

509A：あー。

510B：あの サロンでな。

511A：あー、 うん。

512B：あの一 みんな おばさんらにな。



- 513A：うん。 また そーゆのも ちょっと ###すぶっと ええな っとは思ってる  
んやけど。
- 514B：ミタムラの一 てら一《寺》の話や ゆ ゆって、 ゆってた。 {息を吸う} ほか、  
「猫塚」っちゅのは 聞いているけど、 あのー 内容は 知られん
- 515A：うん。
- 516B：わな。
- 517A：うん。
- 518B：ほんで、 こないだ もー、 みな 覚えさんでー ちゅう。
- 519A：うん。
- 520B：あのー 「わたしーの話で 分かったんかー 分からんのかー」 って 聞いたら、  
「よーお 分かったでー」 って。
- 521A：お、 んー。
- 522B：静かやったのは 静かやったんやけどー、
- 523A：おー。
- 524B：耳に はったるか《入ってあるか》 はってないか《入ってないか》， わたしは じ  
ゅぶんが《自分が》 じゅぶんに
- 525A：うん。
- 526B：よがれて 喋るんやんかね、
- 527A：うん。
- 528B：こう。 一所懸命 声を 出さんならんと
- 529A：うん。
- 530B：思っ 喋ってんねけど。 この受け取り手が 上手いこと 受け取ってて くれ  
やんのかどうかは
- 531A：うん。
- 532B：「どや」 っ 聞いたら 「よう分かったでー」 ちゅうてやったんやー。
- 533A：うーん。
- 534B：ミヤマ デンショウジは知ってるしー、 んで ん まー あったいう事は 知っ  
てるしー、
- 535A：あー。
- 536B：な 寺が 栄えたった ん どうゆ事で 栄ったったかーゆう事は 分からん。
- 537A：うーん。
- 538B：むかーし《昔》の話な。 あの あそこには ねー ええ米が とれるさかいに 有  
名やって、
- 539A：うん。
- 540B：あの あの話ではー ほれで
- 541A：うん。

談話 4

542B：あの 米を 買いにきゃーんねやろ↑。

543A：うん。

544B：んと お墓が出来たるさかいに一， ほれによって しと《人》の出入り‘ではいり’  
が

545A：そーそーそーそー。

546B：多かって一， 行き行き《行き来》が あったっちゅーのは

547A：いやー。

548B：あれで分かるやん。

549A：えー。

550B：わたしらも {笑いながら} ミタムラは 知ってるけど， 内容は 知らんかったけ  
ど

551A：うん。

552B：ああゆう話するとな

553A：うん。

554B：よーお あの みんな喜ぶあるわ， も。

555A：うん。

556B：で， フクラノモリかって あの ノムラからー どっか こっちー 嫁入りして  
やーるしと《人》が

557A：うん。

558B：たす 狼に 助けられてん。

559A：あーあ。

560B：ノ ノムラから どっか ソンシュジか どっか 行ったんや。

561A：うん。

562B：で， 昔 このフクラノモリ 通ったとき《時》に， 「ほんまに 狼かどうか 分  
かんけど，

563A：んーんー。

564B：話として こゆうなん 残ったるんでー」言うたら， おば あるお婆さんが， う  
ちんどこの ん おばあさんかな，

565A：うん。

566B：うん， 今 おばあさんなんやけどー，

567A：はい， はい。

568B：ほの

569A：{笑い}

570B：{笑い} おばあさんやでー，

571A：うん。

572B：もーちょっと まー 50 年か 60 年まー《前》の話やなー↑。 ここが ワーっと

なっとった時分、

573A：うん。

574B：あ 朝市もなかった

575A：そーそー。

576B：時分の話や。 ほやって あの 思い出しーが

577A：あー。

578B：ポコ ポコッと出てくるわ。

579A：また そゆのねー，

580B：うん。

581A：あの もー あそこの なんかに言うの↑， あの紙芝居ん中の も フクラノモリの  
ごと《事》についての話がね，

582B：うん。

583A：あの一 あるさかいに， ん

584B：フクラノモリの話 ある↑。

585A：うん， あります。

586B：あー， そー。

587A：「フクラノモリの狼」とかね， ほれ...

588B：「フクラノモリの狼」や。 あ ほや， ノムラの

589A：んや。

590B：しと《人》やって，

591A：あつ。

592B：こないだ ゆってやった。 ノ ノムラ

593A：助け

594B：この， わだ， 「確か ノムラのしと《人》やと思うで」って言うてたらー，

595A：あー。

596B：「うちんどこの《うちの所の》先祖の話や」とか言うて

597A：うん。

598B：言うてやんなったしな。 あった。

599A：うん， あります。

600B：あー， ほれ持ってって 話するといいわ。

601A：はい。 分からない。

602B：うん。

603A：うん， そういうのは ねー。

604B：うん。

605A：ほやって やっぱり，

606B：うん。

607A：そういうとこで 済むと ええかなーと思うんやけど。

608B：うん。

609A：なんかね、 もど...

610B：んだ わだしもー ほ あのー、 もー 何年前やってや、 「姉川と妹川‘あねがわといもうとがわ’」の話を

611A：うん。

612B：したことあるん。 ほれも いっしょけんめ 「姉川」っちゅうのが あのー 頭ん中にあるさかえーにな、

613A：うん。

614B：ほの話したら、 結構 喜んでやあってんけど、 だいざえ《題材》として どっから借りて来てん わたし も。 ○○○○先生 から借りたんかな。

615A：はー。

616B：あすこ《あそこ》のこー《子》が ○○○で借りたんか {息を吸う} どこで借りたやろ。 あの

617A：紙芝居↑。

618B：おーっきな 紙芝居。

619A：はー んー。

620B：あれ 何処で借りたやろ。 ○○○○せんせ《先生》んどころなー、 誰か子供のこー《子》が 昔 話を ○○○で知ってるんや。

621A：んー。

622B：ほら 知ってるん。 ほっから《そこから》借りたんかー、

623A：うん。

624B：何処で 借りたんは 分からんけど、

625A：うん。

626B：もーのすご このくらいの 大きな。

627A：ほんだけ大きいと よろしわね。

628B：かみしばや《紙芝居》。 あったんや。

629A：あー。

630B：ほれをー《それを》 あのー、 サロンで1回したことある。

631A：んー。

632B：うんうん。

633A：うん。 あー あたしらどこ んー なんての、 の キタカップの

634B：うん。

635A：あの 昔からの話でもね、

636B：うん。

637A：あのー、 知らん一話が やっぱ ありますもん。

- 638B : まー、 ほ、「大きな石」やろ。 石の話やでやろ。
- 639A : うん。
- 640B : ネウシか。
- 641A : 「ネウシのお祝い」の
- 642B : うんうんうんうん。
- 643A : 話もね。 ほんなもんも、 知らなかったし。
- 644B : うん。
- 645A : えー
- 646B : {笑い}
- 647A : っと、 やっぱり あの一、 どこやらで しはった一、 「ほんなん 知ってる 知ってる」言うて、 やっぱりね、
- 648B : うん。
- 649A : あの一、 言うてあるて さかいに、 んーで
- 650B : 昔のしとー《人》に ほーゆ話するとー 喜ばあるさかいに、 ほれが やっぱ 伝承なんやなーと思て。
- 651A : うん。
- 652B : んで あれ ひつつよ《必要》やなーって思うわ。
- 653A : うん。
- 654B : うん。
- 655A : あん でも あの
- 656B : うん。
- 657A : あれでも もっとー
- 658B : うん。
- 659A : ん おーっきーなーのに すると ええけど、 ほんなもん よう んなも 書けん、 よう書かんしー。
- 660B : しやー《そうや》。 ほっで せんせのえー《絵》 見てるとな、 「ええわー、 あー けれど よう伝わるな。 このしと《人》のえー《絵》は ええなー」って思うわ。
- 661A : {笑い} んで、 ###
- 662B : 人の表情もなー、
- 663A : あー。
- 664B : あんたなんかは そっくりやけどなー、
- 665A : {笑い} なーんも、 なんも ###
- 666B : はっきり 出たあんやわ。
- 667A : そんなことない。
- 668B : あまりに一、 あの おっさんや おばわん《おばはん・おばさん》の顔は、 あー

うん、

669A : {笑い}

670B : こないだ見てて 思う 思ってたん。

671A : いやー。

672B : いやー、 このしと《人》 上手かが《上手やわ》。 わたしは も えー《絵》以外には 書いたらいいわと思って、

673A : うん。

674B : 書いてるけど。

675A : いやいや。

676B : ほんなもん、 様‘さま’になるんかな。 かみしばえ《紙芝居》にならんないと思いつつながら、

677A : うん。

678B : まー、 どこまで出来る 分からんけど、

679A : うん。

680B : してくる。

681A : いーよいーよ。

682B : あの 先生 あのー ○○○さんらのは あの話よ。 あの「七曲がり‘ななまがり’の狐」の話な。 狐

683A : 七曲がり↑。 あーん。

684B : おーん あれ。

685A : うん。

686B : ええなーと思て。 あの表情がええなーと思て 見てたん。

687A : 七曲がりー あれ どやったやろ。 誰が 書いたか 分からんで それでも ほんま。

688B : ほんまー。

689A : うん。

690B : あのー せんせ《先生》の顔に よう 似たるなーと思うねん

691A : {笑い}

692B : 見てて。 顔、 表情が はっきりしたるし、 こら あだし《わたし》 書くん嫌やなーと思っ... [笑い]

693A : いやいや。 やっぱね わたしはね、

694B : うん。

695A : なんての、 も 手が とにかく遅い。 ああでもない こうでもない。

696B : うん。

697A : ん とか言うて ほやって 思うだけで

698B : ほれが いいっちゃん《いいん違う・良いのと違うか》。

- 699A : んで、 また こやって 消し 消して、 わー あかんわー とかねー。
- 700B : おん。
- 701A : こやって してるんや。
- 702B : ほ 思うのは ええんちゃうん《良いのと違う》, ほやって。
- 703A : うん でも わたしはー あの みんな 手が早いさかいねー, ###
- 704B : うん, うん。
- 705A : ##やったけども, やーえい, シャッシャッシャーって しゃーれるけど わ  
たしは も こってり こってり こってり やってるさかいに
- 706B : こまんで《急がんで・急がないで》 えーやん。
- 707A : あかんねよ。
- 708B : ちゃう。 ほれはー 自分流にー 自分が
- 709A : うん。
- 710B : 納得いくまでー してーやるでよ。 わたしらは
- 711A : うん。
- 712B : も 嫌やけ,
- 713A : {笑い}
- 714B : はよ {笑いながら} 帰ってまお
- 715A : いやいや ほんなこと ん...
- 716B : {笑い} 真似してまおって, ほこら辺にある, うん。
- 717A : ほんなことないわ。
- 718B : すごいな一っと思うよ。
- 719A : B さんやったら
- 720B : いやいや。
- 721A : ほんっまに
- 722B : いやいや。
- 723A : す はっやいなーと思って。 そやって
- 724B : わたしは みんなが あのー それぞれー な, って あの こないだの話して,  
あのしと《人》。 あー そうやってしてる 物語は, 考え かみしばえ《紙芝居》  
の
- 725A : あー。
- 726B : つなぎ目は, ひとつことば《一つ言葉》によって 出来るばー《場合》と 出来ん  
ばやー《場合》のつなぎ目がな,
- 727A : うん。
- 728B : いや, こ, いや, 言葉で なかなかむつかしいな一っと思って, ふたりー  
喋っていたん。
- 729A : うーんうん。

730B : で、聞いてるとな、こっちが 勉強に なんにやん《なんねやん・なるんや》。  
あー

731A : {笑い} もう 1 枚いるなー、 ゆうとこ↑。{笑い}

732B : あー、 そーそーそーそーそ。 ほんで、 「あー ええとこへ来たなー」 っていう  
わある。

733A : {笑い} いーえ いえいえ。

734B : いや わたしも 言葉 失いかけてるさかい、 いんなーと思って。 うん、 う  
ん、 ほんま。

735A : 何を言うてあり... まー ほやって B さん、 入ってくれやあって

736B : なーんて なん...

737A : まーま、 活気が 出てきたし。

738B : んなこと あらへんで。

739A : んもー。

740B : わだしは ただあ、

741A : うん。

742B : あの {笑い} ん ゴミみたいに {笑いながら} 隅に いるだけに...

743A : よう言‘ゆ’ってあるわー。

744B : ほんま。

745A : んな。 {笑}

746B : ほんま い あのー サロンなんかに してても、 あのー なんやちゃ たえそ  
う《体操》 適当にな、 「あい みんな あい この歌に合わせて くっでやって  
ひゃーひゃーひゃーひゃー」 っす..., こやってやって、 ひゃーひゃーひゃーや  
って、

747A : あー。

748B : 腰に何とか言‘ゆ’って、 歌に合わせて、 こやって 肩上げて

749A : {笑い}

750B : も こなん しとったけやで《しとるだけやで》。

751A : いやー。

752B : うん。

753A : もー やってー、

754B : もー 簡単な事してるけど、 ほやってしてー 「猫塚‘ねこつか’」 の話とかな、

755A : うん。

756B : で ノムラの話进行をなー、 もー 「3 月のー あるんするわー」 言うたけど、 3 月  
はな、 あの 公会堂が うまこと 取れんよになっててー、

757A : あーあ。

758B : 2 月に ほんでー あげーてまったつきやーに、



759A : うん。

760B : 「猫塚」の話は 2 月にしょー思ってたけど、

761A : うん。

762B : 3 月は どーにか 「ノムラン話をするでー」 っとは言‘ゆ’ったけど、

763A : うん。

764B : もー 「あの話はー」 ってゆわったら、 「あの話は らやーねん《来年》に考えとくわー」 っ。 「今 ちょっと す ちょっとだけ まだ これから掛かる {笑いながら} んやー」 って言‘ゆ’って、 言‘ゆ’ってたんや。

765A : ほら、 いまー なんての、 代わり目やさかいね、 そのー

766B : そーそーそーそー。

767A : まー

768B : で、 3 月っちゅーのはな、 会場も うまい事

769A : そーや、 そや。

770B : いかんの。 うん。

771A : あっち

772B : うん。

773A : こっち 会議しゃーるしねー。

774B : そーそーそ、 色んな会議がー

775A : うん。

776B : あのー ほれ あんー 代わり目がー、 ちょっと アザはー えー 4 月からやろ  
↑。

777A : うん。

778B : あの 老人きやい《会》とか

779A : ほ、 そーい。

780B : 言うのは 4 月、 3 月に終わって、 4 月からやけど。 も くーの《区の》行事  
なんかは、 も 2 月に終わって もたるやん《もうたるやん・しまっている》。

781A : うん。

782B : ほんで ほっから 始まったら、 で...

783A : もー すでん《既に》 わたしらは、 もー

784B : うん。

785A : アザの方は、

786B : うん。

787A : あの 町‘ちょう’の方は もー

788B : うん。

789A : 1 月で 終わりや。

790B : うんうん。

791A：んでもー， 初総会ってのは こないだ もー 2月に あってもた。

792B：うーん。

793A：ほんでー 老人会は 2月の初めやで， それ 終わったら もー 次の人に 引き継ぐんやし。

794B：う うちら ほんで さん

795A：会計， なんやら おっかしな ぐる， ずれたるんやわ。

796B：あ ほっか。 3月の ふ 2日‘ふつか’に 総会が あって， ほして 次のしと《人》の4月から， ほんで 新しいしと《人》が 活動しやるな，

797A：うん， うん。

798B：老人きやー《会》は うん。

799A：うん。

800B：4月に 引き継ぎかやー《会》やと思ったけど。

801A：あー。

802B：あの 新旧の役員の。

803A：うん。

804B：今は 総会で やって

805A：うん。

806B：いる。 うん。

807A：うーん， わたしや《わたしら》は もー そやって 選挙が 終わって

808B：うん。

809A：多分， 段階で， も 代わる。

810B：あ， そーなんか。

811A：はい。 ほやって なったーる。

812B：{笑い} かつか《各会》 その流れが ある

813A：えー， えー， ん。

814B：さけーに なー， うん。

815A：ほんで， Bさんに あの なんての，

816B：うん。

817A：七尾 行ってありますやん。

818B：うん。

819A：だ， そこは 毎週って あるん。 毎週 3日‘みつか’あるん。

820B：ん， なに。

821A：#曜日に。

822B：いやいやいや， 2回。 七尾小学校へ にけー《2回》。

823A：あ， 七尾は 2回なん。

824B：月2回。

825A：あーんー。

826B：にかえー《2回》の一，　ほんで　月曜日に　決まったーる。

827A：あー　うん，　そえて，　すごいのは，　1年から　6年まで　6人が　パーッて  
入られえね。

828B：ほやほや，　6人が　長浜から　あの　ドン，　ドンブラコでない，　ジーバ。

829A：うん。

830B：長浜から　ジーバーさんが　2人　おいっでやんすし，

831A：うん。

832B：こっちは　あの　前からしてやる〇〇〇〇さんとか，　も...

833A：あ，　も　ん　〇〇〇〇さん，　元気にならはったん。

834B：うん，　この頃，　###見えはる。

835A：あー，　はー。

836B：で，　〇〇〇〇さん，　〇〇〇〇先生，

837A：うん。

838B：ほってー　わたしやろ，　ほんで　〇〇〇〇さんやろー，　ほんで　これが　あのー  
わたし　始まった時はなー，　〇〇〇さんやろ，

839A：あーあー。

840B：で，　〇〇〇せんせがな，「ほらも　Bさん，　も　幼稚園の話でえ（+え），むつか  
し話はせんでもえ（+え）ってな，　来て　来て」って言う。　あのしと《人》が初  
めやって。

841A：んー。

842B：〇〇〇校長が　初めやってん。

843A：うん，　うん。

844B：ほんで，「あー　ほーか，　ほんな　むつかしこと　考えること　いらんな」。

845A：うん。

846B：「うん　いんやで　Bさん。　んなもんなー　幼稚園の話でい（+い）。　むずかし話  
を考えんといて。　も　えーんや　ある話で　ええさかいなー」言う，

847A：うん。

848B：言わあったのが　あれ　5，6年前や。

849A：あー。

850B：6年前かなー。

851A：うん。

852B：んで，　ほれから　言いかけたんや。

853A：あー　ほーですか。

854B：で　ほの時分，　ジーバーもなんも　わたし　なやーもん《ないもん》。

855A：ふーん，　んで　ジーバーへ　行ってはったん。

- 856B：えっ、ジーバーは つい さーきん《最近》， 2 年ほどまえに。
- 857A：あー。
- 858B：講習 受けたんやけどー。
- 859A：うん。
- 860B：でも ジーバー， もー なんか 制約が ありそやで， ちょっと もー こっち  
ドンプラコへ流れていったさけー， やめとこかなーと思っは いるんやけど。
- 861A：んー。
- 862B：ただ 続けるのは続けるで。
- 863A：あーあ， んーんー。
- 864B：あの ○○○○先生もー，
- 865A：うん。
- 866B：あのしと《人》はジーバー。
- 867A：うん。
- 868B：去年は ほんで ジーバーとニッセキをしたんか。 {笑} 結構 あの先生 よう  
さわるなーと思っ。
- 869A：んー↑んー↓， よう知ってはる。
- 870B：ジーバーのあれも さわってんで。 あのー ん なのー あの あ あれを。 ん  
で， 今度 トウビョウがないよなっ， 「いや， うちは もー出来ん， 病気  
やし も 出来んし，
- 871A：うん。
- 872B：で， あの 昔 幼稚園の 園長してやーよ， 保育園の 園長さんやったやっ  
てニシカワさんに してもらえんね」 とか言‘ゆ’って...。
- 873A：あー うん， ○○○○さんも もー 元気， あれ 元気ならあつたんやったか  
な。 ね， あれ ○○○○さんて， 悪いことなかった↑。 あれ 私の思ってる  
人と違うんかな。
- 874B：わりーんや。 老人クラブの旅行に 行っ， 悪ならあつたんがやろ。
- 875A：あーん。
- 876B：あれが ○○○○さんやろ。
- 877A：あのね， 目のクルッとした人で
- 878B：うん， ほーや。 あのしと《人》は ほーゆー役は されへん。
- 879A：ふーん。
- 880B：老人かやー《会》の役も 来ると思っやんたのに， ### のが， あん人にとっ  
ては 残念やったんちゃうん かもしれん。
- 881A：へー， あの人...
- 882B：なんでもしますっ 言わあつた。
- 883A：んー。

884B: ほんでも もーちょっと わたしらは しっくりいかんところがあるん。 あざー《字》  
の人とも しっくりいってない。

885A: あー、んー。

886 うん。

887A: なや 知らんけど。

888B: あるんや。

889A: あ、ほんで、この人、んー...

890B: あのしと《人》

891A: な わたしらは なんや もー その、あ ほんで、ジーバーの 講習受けや  
ったのはー、誰やろ。 あー あのー

892B: わたしら...

893A: ○○○さん 受けてあるわ、ドンブラコで。

894B: あ、そー。

895A: ○○○さん 受けて

896B: うん。

897A: あるしー、

898B: うん。

899A: ○○○ッさん どうやろー。 ○○○○さん どうやったっけー。

900B: ○○○ッさん ジーバー 来てはった。

901A: ジーバーねー。

902B: うんうん。 東側 来る人は ジーバー 多い。

903A: うん。

904B: あのー ○○さんとかな。

905A: んー。

906B: ○○さんと 誰やったやろ。 ジーバ。 あのしと《人》 なーんも 分からん。  
なんとか言うこーに 聞きゃんたけど《聞いたけど》、あの子 悪ならはったん  
ちゃうんかな。

907A: んー。

908B: あの「カイコの物語」の あの なんか 紙芝居 作らあった子が いやんすに。

909A: あー、んー。

910B: ほの子 こころ頃 1年ほど見んね。

911A: んー。

912B: うん うん。

913A: わたしゃ ま ン なんの講習も 受けてねーの、ほやって。 ###でも...

914B: 別に 受けんでも ええんや。

915A: {笑い}

916B：ちゃう， わたしは ただ 面白い話が あるかなーっと思って。

917A：あーあー， はい。

918B：5年生 6年生になってくると もー， センセーは 分かってるやろ， でえー  
て《大体》。

919A：いや いよ いよ。

920B：だえーてー《大体》 こういう話が ええやろーと 分かってやりやるけど， わた  
しのばわ《場合は》， 5年生 6年生んなってくると， やっぱ ちょっと だい  
ざyai《題材》が 欲しいなーと思って 行ったら，

921A：うん。

922B：ほこの 今 今 来てある館長さんが，

923A：うん。

924B：あの どこやらーの 豚の話やら 教えてくれやったんや。 なーんちゅう

925A：んー。

926B：豚の話やったやろ。 {息を吸う} うー ちょっと あ 行くと 刺激になる場合  
が

927A：んーんー。

928B：あるさかいに 行ったんやけど，

929A：うん。

930B：うん。 まーまー ほれは ほんで ええん (+や)。

931A：うん。

932B：たら《そうしたら》 ノムラーのー オカダイの あのせんせも 来てやんてんやけ  
ど， もっと やっぱ 体 わるーしたんたかな。 オカダイの〇〇〇さん。

933A：〇〇〇さん↑。

934B：うん。 〇〇〇〇〇ツつあんどこも あの 前 用務のせんせかなんか しよった。

935A：あーあーあー， あの 人 体 わるさはったん。

936B：わるー， んー， ドンブラコに ドンブラコでない， ジーバーの講習会で 一緒  
やったとき《時》が

937A：んー。

938B：1回か ほこら あるんやけど，

939A：んー。

940B：ほれから おーてんわ《会っていないわ》，

941A：んー。

942B：うん。

943A：ほや 一緒に やったし

944B：うん。

945A：ほらー まー そやってー 刺激 受け 受けに 行かんと あかんと思ひながら

- 946B：あかんことは ないわ。
- 947A：ぜーんぜん。
- 948B：分かってるんやよ。 わたしなんか もー ええ加減 5 年生 6 年生んなるとな、  
ちっと 嫌なんやて 行くのが。
- 949A：選ぶのがね、 難‘むずか’しいしね。 その
- 950B：難‘むつか’しいし。
- 951A：あ この話もね、
- 952B：うん。
- 953A：したいと思っても 長い 長かったりね。
- 954B：そーそーそーそーそ。 んで、 ま たまに あのー なんとか言うのは、 あのー  
なに 「がばいばあちゃん」の この 話で、 1 章節ずつ あんねや。 あれを持  
ってって 話‘はなし’した
- 955A：あー。
- 956B：時も あるんや。
- 957A：んー、うん。
- 958B：あの 頭は ぼー あほても《あほやっても》， 70 んなったら みんな 5, 60 人  
なったら 一緒やって。
- 959A：うん。
- 960B：あの わかえ《若い》時は みんな 大学やら なんやかんや ゆって
- 961A：あれに なれやった。 なんとか ゆう...
- 962B：ま、 70 んなったら も
- 963A：うん。
- 964B：一緒やーちゅって、
- 965A：はい。
- 966B：あのー そうゆ話やら
- 967A：そー。
- 968B：載ったる中の ほう 1 章
- 969A：はい。
- 970B：節をー
- 971A：うんうん。
- 972B：おばあちゃんが 教えた
- 973A：うん。
- 974B：いうことを 言うてあげる。 ほれ 6 ねんせ (+い) の子に した時も しーんと  
聞いてやったけど、 えんか《いいのか》悪いんか 分がらん。
- 975A：うーん。
- 976B：うん。

977A：ながなが《なかなか》ねー、

978B：うん。

979A：そゆ あのー ちっちゃい子はね、

980B：うん。

981A：「らー《そら》 知ってるー」とかねー、

982B：うん。

983A：あの なんやら 「あー、なんとかー」とか、

984B：うんうん。

985A：ゆわはるんや。

986B：うん。

987A：ほんでー、 あ やけども、 ほや やっぱりね 高学年となると もー

988B：もー めー《目》が けっこ《結構》やて。 キョロー キョローツとして 動かせ  
やんさけ《動かさないから》やろ。

989A：うん。

990B：5年生 6年生。

991A：え、そーそーそーそー。

992B：い いーんかなー、 わりー

993A：うん。

994B：面白くないのかな、 面白いのかなーって。

995A：うん。

996B：もー 5ねんせ（+い） 6ねんせ（+い）に なってくると わたし 苦手 も。

997A：うん。

998 {笑い}

999B：で まー ほんまに あの なんての、

1000A：うん。

1001B：だって 選ぶのがね わたしは 大変やなっと思う。

1002A：うん。

1003B：うん。 ほんで 「猫塚‘ねこつか’」の話を こないだ ほんで 5, 6年に

1004A：あー。

1005B：して来たの。

1006A：うん。

1007B：あのー 昔 おはかー《お墓》ってなー ほんまー うちの ちっちゃい時分は  
こうやって きー《木》て 立ってるだけやったって。 石でや... 今でこそ 石  
で 綺麗に やったら ええ事が あるやろーけどな。 昔なー わたしらの 小  
さい頃は こんな きー《木》で あってんやで。 ほれが とろけてまうんやな。

1008A：うん。



1009B：て 言うてたんや。

1010A：うん。

1011B：で ほれの 前はー あのー 「つかえ《塚》」ゆうてな、 ほやっしてやんの。

「刀塚‘かたなづか’」とか あの お墓は「つかー《塚》」いうて こやっして 土

1012A：あー。

1013B：盛ったるだけやってんでーって。

1014A：うん。

1015B：確か ほやった {笑いながら} 思て 話 してたんやけど。

1016A：うんうん。 ほや あの 今 ほら ニュースで 言うてあるよーな ほら

1017B：うん。

1018A：あの... だれだれの

1019B：古墳

1020A：古墳ねー。

1021B：あーあーあー。

1022A：前方後円墳、

1023B：うん。

1024A：これー

1025B：うん。

1026A：て いうか ほれを

1027B：うん。

1028A：ん も あんな 昔か (+ら) やっぱり こやっして こ 盛ったたんやさかい

1029B：盛ってあん《盛ってある》。 塚 塚やもんな。

1030A：塚やな

1031B：韓国へ 行くと みな これで みんな 「ねー」言わあるやん。

1032A：そーそーそーそー そーそー。

1033B：塚を こしらえやあるんでー。 あの

1034A：こやっして コボン コボンと さいね。

1035B：コボン コボン ほの

1036A：はい。

1037B：塚が 「土地がねー」言わあるやん。

1038A：うーん。

1039B：なー。 うーん 今 今でこそ 日本は こやっして 一緒ん並んだーるけどなー  
いうて 言‘ゆ’った。 ほった え 喜んでー。 あの話は 5年生

1040A：うん。

1041B：6年生には 重たったわ《重かったわ》。

1042A：うん。

1043B：うんうん。

1044A：んでー わたしは もー あの あんの一 作ったのが 数少ないけどー，

1045B：うん。

1046A：ほんで これ 今度は いくら一の優しい話でもね，

1047B：うん。

1048A：あの一 今度ば これは んで こ《こう》回して，

1049B：うんうん。

1050A：「低・中・高」へ。 わたしは「低・中・高」やさかいね。 んで

1051B：あ そーか。

1052A：はい。

1053B：あっ 2 学年ずつか。

1054A：2 学年ずつ。

1055B：あー そーなんや。

1056A：はい。 ほんでー あの一「猫塚‘ねこづか’」やったら 1 年生にも 1, 2 年にも読み， 3, 4 年にも

1057B：うん。

1058A：読み， って こう回していったら もー 全部 聞いてもらえるさかい言うて。

1059B：あー。

1060A：ところが， もー 回したらね，

1061B：うん。

1062A：数がん《数が》 少のなってもて，

1063B：うん。

1064A：なかなか も 回せんよんなってきた。{笑い}

1065B：あ そーなんか。

1066A：うん。 んで 何処でも

1067B：んー。

1068A：ほやって し...

1069B：うん。

1070 うん。 誰でもが こ 聞いてくれやあるように，

1071B：うん， うん。

1072A：ほやって してる。

1073B：うん， うん。

1074A：はい

1075B：でも あれは サロンにもあるやろ。 昔話は。

1076A：うん。

1077B：で スマエギワには あの一 あの「弘法さんの水」も。

1078A : はい。 うん。

1079B : あの一…。 わたしも ある程度 ん そういう話を み 見てから一, 「あ こ  
のな『お伊勢街道』 ええ。」

1080A : うん。

1081B : こー ス 行く所に 「スマエギワ一っていうのは 今 こっちにあるけどな, 山  
の方にあったんやで」

1082A : は一。

1083B : って言うててん。

1084A : うん。

1085B : で, 「あそこの い 伊勢街道には も一 やっぱ 『旅籠』いうて 泊まらん  
《泊まる》とこが スマエギワに ようさん《ぎょうさん・沢山》あったんやで」  
って, 「も一そ《ものすご・ものすごく》 栄えたんやで」 って言‘ゆ’って も,

1086A : うん, うん。

1087B : 「ほんじこ《本当》の話やで一」 っちゅって 言‘ゆ’って,

1088A : え一, え一。

1089B : 喋ってたんや。

1090A : はい。

1091B : ったら おばあさんの ほうゆ 喜んで ゆ

1092A : うん。

1093B : あの 4 年生のこ一《子》でもな,

1094A : うん。



談話 5

会話参加者：男性 2 名（A：1926 年生（86），B：1939 生（73））

参加者同士の関係：友人

文字化時間：45 分 53 秒

会話収録日：2013 年 2 月

1A：ほじゃ あの B さん

2B：うん。

3A：あの今日は ごくろはんで。

4B：ほんまや、 ごくろうはん。

5A：おおきに おー すまん

6B：おー。

7A：あの突然 こんなこと 言うて。

8B：いやいや。

9A：んー。

10B：あの一

11A：ほやけど ほらねー

12B：んー。

13A：この一、 面白い話やけど

14B：うん。

15A：あの一、 わしはね たーんじょうび《誕生日》が 2 つあんにや。

16B：はー。

17A：ほー。 {笑い}

18B：はー。

19A：ほんでねー

20B：うん。

21A：それが あの一、 ま あの一 ちょっと 10 日違うんやけんどー

22B：うん。

23A：あの 昔は まー 子だくさんで ようけの子供で、 わしも 6 人兄弟や。

24B：うーん。

25A：ほんで まー 親父が一

26B：んー。

27A：あーの一、 生まれたひー《日》を一

28B：うん。

29A：あーの一、 から おそーう《遅う》 こら 届けやあったんで なえかなーと 思  
うんやけんどもー

30B：あー。

談話 5

31A：あの一， 実の母親は一

32B：うーん。

33A：あの 産んだ日は こうやしー

34B：あー ほっか。

35A：そしてー， 届いたる日は これ ほんで おまえは 2つ誕生日 あんねって

36B：{笑い}

37A：そういう話。

38B：あー ほうか。

39A：面白い話やけど。

40B：はー。

41A：うん。

42B：うん。

43A：ほやか ところが

44B：うーん。

45A：生まれたのは

46B：んー。

47A：あの一， 3月のー 2日‘ふつか’

48B：は一。

49A：こら， あの一 産まあった親が

50B：うーん。

51A：あの一， 言うてやあんねけど

52B：は一。

53A：だが こが， 役場は 3月の 11 んち《日》に なったる。

54B：あー ほうか。

55A：届けは。

56B：は一。

57A：ほんでまー， 学校は

58B：んー。

59A：3月の 11 んち。 ほいて

60B：んー。

61A：どこ行っても 3月の 11 んちで 出たーる。

62B：あー ほっか。

63A：うん。 ほの代わりに あの一 誕生日を 家‘うち’でしてもらう時‘どき’は， 3月  
の 2 日や。

64B：あー。

65A：生まれたひー《日》や。 ほんまな

66B：あ、 あー。

67A：ほんで まー ほうゆ事でー

68B：うーん。

69A：なーんでや ちゅうと、 おれが んで 3月の11日、 あ 3月の2日を 「にー」  
と書いて

70B：うーん。

71A：ちょっと 離らかして 書いとかあったんで なえかなーと 思うんねやけど。

72B：あー ほうか。

73A：で、 役場の人 が 読み違えて、 11 んちに なったんかー

74B：んー。

75A：んー。

76B：昔

77A：で なえかなと 思うんねけど。

78B：昔は ほういうの あったわな。

79A：{笑い}

80B：あの一、 んー わしらの どうきゅせい《同級生》でも

81A：うん。

82B：あの一、 4月の 初めに 生まれた し

83A：おー。

84B：こー《子》は、 あ の 3月の30日に

85A：は一。

86B：届けとかあった。 多い子は 2人ほど いやんした。

87A：あー あれ 昔は

88B：うん。

89A：あの一、 案外 ほういう事が

90B：んー。

91A：ルーズなっちゅうんか、

92B：あー。

93A：都合の 考え方で やらはったんやね。

94B：ほうやなー。

95A：うーん。

96B：うーん。

97A：もう ほんで、 あの一

98B：んー。

99A：今はー ほんな事は なかなか出来んけど、 まー ほいて 病院やら

100B：うん。

101A : ま あのー

102B : ほやな。

103A : あのー, 産院の 関係が ほれ, あるし

104B : うーん。

105A : そいて ま, しっかり ほういう事は ほれ, 届けは さあるでー

106B : ほや。

107A : んー。

108B : あー ほや。 何時に生まれて

109A : {笑い}

110B : ほれもー どうなったっちゅー事がな, きちっと

111A : ほでまー, ほういうよな事で

112B : んー。

113A : あーのー, ふつかー《2 日》 わしは うんでー, あのー 表と裏とちゅうんで  
は なえーけど {笑い}

114B : {笑い} うーん

115A : おもしれー。

116B : あーん。

117A : ほんで, あのー, あの たんじょびの話すつと, みんな 大笑い。

118B : あー ほっか。

119A : {笑い} おもしれー。 ん どこへ行っても 「なーにー」ちゅよな話や, おも  
しー, おーん。 あー

120B : あー。

121A : ほんで

122B : んー。

123A : まー

124B : んー。

125A : とりあえず, まー 10 日くらい, どっち行っただって こっち行っただー

126B : うーん

127A : ほら だんないで。

128B : ほやなー。

129A : まー, 学校のー 順番くらいは ほんで あーの だえーぶん《大分》違うわね  
ー。

130B : あーあーあーあー。

131A : ##### よろ... んー

132B : ほのあいだに 生まれてる こーがあるとな。

133A : わしら ようけ いたで。



134B：うん。

135A：ほら もー， お... 遅う 生まれん なってくる。 10 日ぐらいと だえーぶん  
あわーいに《あわいさに》人が 入らあるでなー， んー

136B：あー ほうか， あー

137A：ほー。

138B：んー。

139A：あの一， わしらの 組だけでも， 男だけでも 47‘よんじゅうしち’人いたんや。

140B：あ ほうか。

141A：んー。

142B：ほら すげーな。 やっぱり ユタは大きいな。

143A：うち 女の子も 47 人やで。

144B：おー。

145A：ほー。

146B：ほうか。

147A：ほら ほんでー， あ一の 昔は 学校の生徒が すらふ， ま 今の 3 倍の よ  
うけ いやあんねやな， あー。

148B：おー， ほやなー。

149A：今は も ちょっとしか いやーへんに。

150B：わしら えー， え しと わしら 少ない 組やったで， 27‘にじゅうなな’人や  
ったかな。

151A：ほうか。

152B：うーん。

153A：あー。

154B：まあ ほんでも なんやな。 今年は 今では 雪も 少なえし， もー 「イカナ  
イ」は済んだんか。

155A：なに。

156B：「イカナイ」は済んだんか。 あの

157A：「イカナイ」は済んだ。

158B：な ん ん， 1 月

159A：うちやー 15 日や， 1 月の。

160B：あ ほうか。 ほっと

161A：うん。

162B：うちらと か あ 変わらんねんな。

163A：思う。 あ ほんで， 1 月の 15 日やけど

164B：うん。

165A：だいたい ほの一 決まってあんねやけど

166B : うん。

167A : あの一、 も一 ほんな あの一 今の なんてゆは 日にちみたいなもん 構わんとね、 あの一 1月の あの一 あれも、 第2日曜で

168B : {笑いながら} あ一 ほうか。 うちらも ほうなつたる。

169A : {笑いながら} ほ一。

170B : にっちよう《日曜》や。

171A : お一。

172B : あれ カワニシでも も だいぶ 変わってきたらしいで。

173A : も一 にっちようでなけな、 具合悪いんや。

174B : うん。

175A : うちらも、 あんな

176B : うちらは あの一 3組‘みくみ’に分かれたって

177A : うん。

178B : で ほこに一 あの一 獅子と天狗と一 みな 3組あるんや。 で 昔は 3組に分かれて お それで あの一 宿を 順番に一 個人の 家で 回ってたんやけど、 もう 何年か 前からは 3組 一緒になつてもて、

179A : あ一。

180B : 公会堂で するようになったんや。

181A : あ一。

182B : うん。

183A : あ一 ほいて うちらも 今 セーちゅうて 言うてはいんねやけど

184B : うん。

185A : まだ ほの一 そこまでは いかんねや。

186B : あ おまんどころ い いく組かに 分かれたあんの。

187A : ほいで一、 あ一 手前んどこの一

188B : うん。

189A : 家の 使え一ん人は一

190B : うん。

191A : ほこ 行かあんねや。

192B : あ一

193A : ほいて一、 やっぱり 家がいい、 立派な家やと 威張つてある人は、 やっぱ ###けどさ一

194B : {笑い}

195A : ほ一ん、 やっぱ こんなどつきや、 家 見てもうとかんと、 あかんちゅうて。

196B : あ一 ほうか。

197A : ほいて、 「行ない」さんが ほれよ、 寝間までは 開けんで

- 198B : あー ほうか。
- 199A : んー。
- 200B : 2 間‘ふたま’で 済むんねや。
- 201A : あー。
- 202B : な↑。
- 203A : あの一, 寝間は 開けんなんとね
- 204B : うんー。
- 205A : あの 春の あの 彼岸の 「おこう」 やったら
- 206B : うん。
- 207A : あの一 ああゆどきは 寝間あけて ほれ, ##やイカや 頼まんと いけんで,  
あれは ほれ, 大変やけど
- 208B : ん。
- 209A : 寝間さえ 1 つ間だけ イカ 入らんなんからな 別に。
- 210B : ほや, 今は一 なんやろやな, あの一 電気製品やんか 大きい物があるで,  
かんわ。
- 211A : ほうや ほうや,
- 212B : み ほら一, 4 間‘よま’ 開げようと思うと, 大変や。 うん な。
- 213A : ほいて ま, 物で 物で そら, んーなもん どこへ 行っても けつまづく  
事あるでな一,
- 214B : {笑い}
- 215A : ほんなー
- 216B : ほんまやなー。
- 217A : あー
- 218B : あー
- 219A : あら一 あの一 今の一 昔は, 買おうにも よう 銭がのうて, 買えなんだ  
んやでね。
- 220B : あーあー。
- 221A : んー, 今ほ もう 物は 安いし
- 222B : ん。
- 223A : 食う物は 安いし
- 224B : ほら ほや。
- 225A : うーん。
- 226B : うーん。
- 227A : 今ほ 贅沢な時代に なってきたでな一。 んー。
- 228B : そうや, あの え, あ 酒でもー ビールでも んーな, ケ ケースで 買う  
てるんやで。

229A : はえ,

230B : {笑い} 缶ビールや。

231A : {笑い}

232B : な, 昔は 酒屋さんや。 おまー 徳利...あの さか さ あのー 徳利 持って  
買いに 行ってあったんやろ。

233A : んーんー。

234B : みんな, うちらも ほうや, ほの 徳利がや あ あるんや。 んー。

235A : 昔 あの あーの お くそくたいのを わしらは 子供んどきは 買うて来たん  
や。

236B : ほー。 {笑い}

237A : 親父が 飲まあるんや。

238B : んー。

239A : 今は ほれ ケースで

240B : ほんまや。

241A : んー。

242B : 今は ケースで 買うんやで一。

243A : ほうや ほや。

244B : んー。

245A : ほら 悪なる人が 出来る。 {笑い}

246B : ほーや, ほんまや。

247A : おー

248B : 昔は 酒がたかえ《高い》で

249A : おー

250B : あのー, し しんしょう し回った人が

251A : おる おる。

252B : あるっちゅうけどもー, 今は しんしょう し回るどころか, い ほれまでに  
体を みんなが 壊してもうてるわ。

253A : しんしょうでない, 体 いわしてまう。

254B : 体 いわしてまうわな, ほんまや。

255A : あれ あのー, 酒は あのー 飲めたらのーは ええけど, 飲み過ぎたら ち  
よっと 弱いんや。

256B : {笑い} ほうや。 {笑い} ほや

257A : まー ほれは

258B : うん。

259A : 年は いってみんと 分からん。

260B : うーん。

- 261A : あかん、 若いうちにな、 止めよったって あかん。
- 262B : {笑い}
- 263A : あー うちの 子供らーも あのー 酒が すっき《好き》やけん
- 264B : んー。
- 265A : や、 わるなりよるでよー。 ちゃんけっと ちゃーんと 風邪 ひっこる。。
- 266B : うーん {笑い}
- 267A : ほの辺で、 やあら飲みすぎるで、 もう ええ加減 加減せーよっちゅうて、 わ  
しゃー やかまし言うて、 んー。
- 268B : うーん。 や 酒はな、 あのー ご飯みたいに 腹ふくれたって ん ちゃんと  
止められんで。 {笑い}
- 269A : ほんで、 わしら もー あのー しにちょうに一
- 270B : うーん。
- 271A : おくのん 1 番や。
- 272B : あー ほうか。
- 273A : もー いちんち《1 日》 挿むのや あれ や ん...
- 274B : あー。
- 275A : 2 日‘ふつか’挿むんなら、 2 日挿むんや。
- 276B : んー。
- 277A : あれが 1 番 いいんや。
- 278B : あー ほうか、 やっぱ
- 279A : はいとー 無理にならん。
- 280B : うーん。
- 281A : ほれと、 ほして、 まー だえーたえー《大体》， あー ちゃー あの コップ  
に 半分の半分
- 282B : うん。
- 283A : ん、 どうしょうも しょうがないんなら 1 杯とかに、 決めて飲まん。
- 284B : うん。
- 285A : あれをの、 ちいよっと ほの もうちよっと もうちよっとや あるかけっと あ  
かん。
- 286B : ほうや ほうや。 {笑い}
- 287A : 酒が 酒飲ましよる。
- 288B : ほうやほうや {笑い}
- 289A : んー
- 290B : んー ほんや ほん
- 291A : どんどこ どんどこ よけ 飲むよん
- 292B : んー

293A : なってまうでな一。

294B : かなわんで、 と 年にとって も一 ほら、 はんなに一 無理して 気張らんでも  
ええけど、 なにかは せなあかんねやろ↑。

295A : ほやほや。

296B : なにも せ..., なにもせんと 趣味やなやーと《趣味がないと》, 酒の 好きな  
しと《人》は つい昼間からやってまうと よけ あかんやろ↑。

297A : ほや。 ほってね,

298B : うん。

299A : だえーたえー《大体》ね, あのー はちじゅーー《80》 から, もー 85 以上  
んなってきて

300B : ん。

301A : あ一の, 90 ちこー ならある人はね

302B : うん。

303A : なまずけのない, 人間が。

304B : あーあーあー ほか。

305A : おーら やっぱり よう動いたしと《人》や。

306B : あー ほうか。

307A : あ, なまずけない, おら 早よ 行っまうって。

308B : あーあーあー。

309A : うん。

310B : うんうん。

311A : ほら も 見ててみやい。 じーっと ##してても

312B : うんうん。

313A : もー なまずけない子は これや。

314B : あー ほうか。

315A : ほう これや ##。

316B : あー なるほど, うーん。

317A : たいがい ほうや。

318B : やっぱ こまめに 動かなあかん。

319A : んー。

320B : うーん。 んー, ほや。

321A : ほいっと 動くとなー

322B : うーん。

323A : あの 食べもんも うまーしー

324B : ほや。

325A : ほって, 体も この やっぱ あのー 筋力が 落ちんにやわ。

326B : んーんーんー。

327A : ほら 筋肉の 筋力が 落ちるとなー

328B : うん。

329A : ま だんだん, ほいて ずるいもんやはかい

330B : うん。

331A : う ごかん《動かん》。 人にばっか 命令して。 やってるとー

332B : うん。

333A : 手前が 動くんやな。

334B : うーん。

335A : ん, みな ほうや。

336B : あー

337A : うん。

338B : ほらー ほんでー なんやな, な なにか 運動しょーかー 体操しょーかって  
ー, で なかなか 出来んで,

339A : ほうや。

340B : 普段 な なにかな, 自分のー なにかでー 動かなあかん。 まー ご グラン  
ドゴルフでも

341A : あー。

342B : 週 2 回か,

343A : あ, 週 2 回や

344B : あーん

345A : もー ほんでもねー, わしも まー あの グランドゴルフに あー みんな 4  
回さあるけど, もー わしゃ 2 回ほか せん。

346B : あー ほうか。

347A : あー もー ほなー あのー

348B : おれ ん ん...

349A : 年がいつてからねー

350B : うーん。

351A : あのー えらえーことしたら あかん, 体が。

352B : あーあー。

353A : うん。

354B : 無理したら あかんねや。

355A : 無理したら あかん。 もー 無理は 禁物や。

356B : ほや ほや。

357A : ほんで

358B : 怠けても あかんけどー, {笑い}

359A : なに,

360B : 怠けても

361A : {笑いながら} ほういう訳には

362B : 怠けるのも あかんけどー

363A : ほー。

364B : 無理も あかん あかん。

365A : あの一, 怠けるんでなしに一, 「あ, こんで ええなー」とや, だえーたえー  
《大体》 程らいをねー

366B : うん。

367A : ほしとかんとー, あくるひー《日》, えらい 足がいたえー《痛い》, 腰が い  
たえーなー とは せんほがええ。

368B : うーん。

369A : んー。 もーな, 無理したら 値打ちが ねーんや。

370B : うーん。

371A : うーん。

372B : ほら, わしらもな, わしらの一 年ぐらいで, ん も あー 70‘しちじゅう’,  
80 ん人が たんぼしてやあるで, わし も たんぼってねえし, なんにも せ  
んのも 悪いで,

373A : ほうや。

374B : で, シルバーで, 月に 10 日ほど, ちょっと 仕事に 行ってるんや。

375A : あー, ほら ほんで

376B : うん。

377A : あの一 今 無理んならん程度やったら, ええが。

378B : うーん。 いちん...

379A : ほいで 今 あの一 あの一 心が 休まるがね。

380B : ほうや ほや。

381A : へいって《入って》くると。

382B : ほや。

383A : いっかっつと《5 日ほど》 仕事しに 行ったいーんや《行ったらいい》。

384B : ほうや ほや。 {笑い}

385A : {笑い}

386B : ほんで 1 んち《日》 7 時間がえん 決まりなん。 8 時間 びっちりもないんや  
でな。

387A : あーん。

388B : ちょうど 7 時間で まー まー##

389A : ほれが 1 番いいんや, ほや。



- 390B : うーん。 まー
- 391A : ほらー あのー 銭はいらん, あのー いろやまやけども,
- 392B : おー。
- 393A : やっぱ ちょっと 儲けて来たっちゅ 気持ちだけが ええ。
- 394B : ほうやー, ほんなー
- 395A : 気分だけでー 人間ちゅものは
- 396B : おー。
- 397A : おら 気分で 生きんのやで, 人間。
- 398B : あ ほやな,
- 399A : おー, もー...
- 400B : ほな, よけいに よけ くだあれんでもな。
- 401A : うーん
- 402B : {笑い}
- 403A : 「もー わしゃー あかーん」ちゅなこと ったら もー ほんで 終いや。
- 404B : ほや。
- 405A : うん。 「あかん」は あかん。
- 406B : うーん。
- 407A : うーん。
- 408B : ほいや。 「あかーん」ちゅって, 自分からー んー あのー 老け込んでまわん  
ならんことは ない。 え
- 409A : 「わしゃー もー あかんねやー」て やりかけたら, もー あかん。
- 410B : ほうやな。
- 411A : んー。
- 412B : うん。 まだまだと思って
- 413A : うん。
- 414B : {笑い} きますで↑。
- 415A : やっぱ いつまででも あのー いっきよい《勢い》を うしの一たら《失ったら》  
あかんねん。
- 416B : あーん。
- 417A : んー。 {笑い}
- 418B : ほんまやなー, まー
- 419A : ほら ほんで ほこに ほのー, おんなしー あのー 同級生でも, 差が つ  
いて きよんねや。
- 420B : あー ほや。
- 421A : うん。
- 422B : ほやな。

423A : うん。

424B : おん。 あの一 同級かやい《会》してもな、

425A : うん。

426B : おんなじ い い 歳やのに、 ほの ものすげい 老け込んでいやす子もあるし、

427A : んー

428B : あーん。 まだー わ 若々しいしな。 わしら あの一 イマジの 葡萄園やってるこー《子》が

429A : うん。

430B : ○○○くんが 同級生や。 あの子は やっぱり しと《人》も 使うてやすし、ほして ん なんやら 新しい品種も 考えてやすで、

431A : おーおー

432B : や んまー み き 気持ちの張りが あるで、

433A : ほんまや。

434B : 違うわ。

435A : ほいで ほれに 取りつかれてやあるしな。

436B : ほや。

437A : うーん。

438B : うーん、 あの子 ようやってる、 んも。

439A : ほうかー。

440B : うん うん。

441A : ほら あれも えらえ仕事やね。

442B : ほや、 えらいと思うわ。

443A : んー ほいて もー

444B : もー

445A : 消毒 しー倒さんなんで。

446B : ほやほや。 ほしてー あの一 今は、 あの一 猿も来ようしな。

447A : おー ほやほやほや。

448B : う... 去年の年末なー、 うちら辺も 猿が 来よってん。 1 軍団な、 うちの村へー 来よったもんやで、 ○○○○...が、 「わっ 猿やー」って 追いてやったんやな。 で、 1 匹来よったで、 ほれ 追わなあかんゆて、 ○○○○ 一匹 追いてやあったんや。 わしの家の 西の方に おったもんやで、 おれ 1 匹 追うてったんやで。 ほれ 追うてって ずーっと 佐野の川 見たら、 なーんの、 い 1 軍団。

449A : おー。

450B : バーッと...

451A : ん と ほ...

452B : うん 30 匹ぐらい おったよな。 あんなも 初めて見る。 ほーで なんやら ま  
なんか 音のするもんで ただかん《叩かん》ならん わし, 追いかけなあかんから  
{笑い} んで, 追いでったら, ビーッて 山へ 行きよったけどなー。 あー  
あんなもん 来よると かなわんなーと思った。

453A : あれねー あの うちらーの きー####。

454B : あー。

455A : ほたら, 獵友会へ 頼んどいたんで。

456B : あー。

457A : バッバーンと やって, もー 来よらんね。

458B : あー ほうか。

459A : もー #### もー こない ちょいと 見えるけどー

460B : あん。

461A : もー 下りて来よらん, ほうやて。

462B : あー ほうか。 あれ やっぱ あの ん 昔みたいに, あの一 焚き火でも す  
ると, 怖がりよったら ええんやけど。 ほや

463A : いやー あかん。

464B : あかんか, 焚き火では。

465A : いや

466B : や, やっぱ ほの一 な なにか

467A : あ

468B : あの 獵師の一 鉄砲の方が

469A : あー 獵師の やっぱ 獵銃が 1 番 よう効く。

470B : あー ほうか。

471A : うん。

472B : ははーん。

473A : あー やっぱ あの一 てっぱ《鉄砲》には かなわん。

474B : あー ほうか。

475A : あいつら やっぱ よー し 知つとんやに一。

476B : あー ほうか。

477A : うーん, あ ほんでー 追いでもしよーないでー, あ りよ りよ 獵友会で  
たんで《頼んで》 撃ってもらえーやーって, 誰か 鉄砲 かって《借りて》来い,  
わしゃ 撃ったるどー 言うて,

478B : {笑い}

479A : もー わしゃ これで 撃ったるどー ちゅうて

480B : ほー。

- 481A：もー みんな あの 猿， こんなんの おめー 獺友会やろ おめー
- 482B：んー。
- 483A：ほんなことゆって 言わあるけど， 猿 1匹 獲ると #### 言わある。
- 484B：あー ほうか。
- 485A：当たり
- 486B：あー ほうか。
- 487A：うん。 早い方は ほれ なかったんやで， 今 当たるんやで。
- 488B：今は あの 今年 は あ の この頃， あの 鹿も よーお
- 489A：ほうよ。
- 490B：出るらしいな。
- 491A：うん，
- 492B：んー
- 493A：ああゆやつーねー， 獲るとね，
- 494B：んー
- 495A：いのし《猪》や 獲るとね， 補助金が つくんやで。
- 496B：あー ほうか。
- 497A：あーの 国が 補助しとるで。
- 498B：あー ほうか。
- 499A：うーん。
- 500B：ほーーん。
- 501A：ほんで， 全般的に 補助でなしに こういう人に ぱっと， ほら ほいで この人らも 手間があるやろ↑。
- 502B：うーん。
- 503A：ほいてー ほれ， あのー 今のー 思わんどこへ 行かんならんし，
- 504B：うん。
- 505A：で， やっぱ 危険な仕事やでな，
- 506B：あー ほうか。
- 507A：やっぱ ほれくらいの 補償したらなあかん。
- 508B：あー。
- 509A：うん。
- 510B：うーん。
- 511A：うん， ほんで みんなが ほれ， あのー ようせんがに。
- 512B：うん。 ほら ほや。
- 513A：あれ ほやって あの てっぱ《鉄砲》 持ってるど， うるさいでー，
- 514B：あー ほうか。
- 515A：うん。

516B：ほら ほうやわなー。

517A：うーん， わしらも あのー もー てっぽ 持ってっても， ほう もー ん あ  
れー 戦争から もんで《戻って》来た一言うて， 面白がって 買うといたんや。

518B：あー。

519A：ほいで， 結構 ええ銃や あれ， あの ミゲンのねー， 水兵ミゲンの。

520B：あー。

521A：あれー， 2万円かそこら出して。 あの時分で 2万円で 結構なもんや。

522B：ほー。

523A：もー はや ほいたら， ほー 他の 仕事が 忙しなってもてー，

524B：はー

525A：ほーら ま， てっぽみたいな， なんと具合やねん。

526B：{笑い}

527A：はー あ 押入れの隅に ボーン ほり込んでたある。

528B：はーん。

529A：えとね， なんか 事件あったら， 警察が 来よんねん。

530B：あー なるほど。

531A：あんたんどこ。 ほいてね，

532B：うん。

533A：毎年 ほの 届け 出さんならんで。

534B：あー ほうか。

535A：警察 持ってかんと あかん。

536B：んー。

537A：んー， ほいてな， ### 終い， もー 今朝 言うとした， なんやら 言うと  
ったなーて， ゆ

538B：うん。

539A：ほれも 行かなん《行かなあかん》。

540B：んー。

541A：ほした 今度 罰金や。

542B：あー ほうか。

543A：うん。 みんな やられてん。

544B：うん うーん。

545A：こら あかん ちゅうて。

546B：うーん。

547A：3べん《3回》 罰金して，

548B：うん。

549A：罰金 出して， ほいて 鉄砲を やるどこがないんや。

550B : ほーん。

551A : 今は あんな まー あのー 昔のええ鉄砲ちいうて, ###の パーンと撃って, うーと カチンと持ったら バーンと撃てる, あ 米つきを こんな おおごしな あの 鉄砲でないんやけどねー

552B : うーん。

553A : おなし 引くのは 一緒やけど。

554B : うーん。

555A : ほえと, 鉄砲やあたりに そら イージの元が ちゃーんと 向こうへ##, おんなもの おまえ, ほら なん 10 万とするけどやねー

556B : うーん。

557A : こんな 昔の銃みたいなの だーれも 買いよるやつ あらへん。

558B : あー ほうか。

559A : うん。

560B : あー。

561A : ほんで ほんなもん いらーんて, どこなっても わし, まえ 警察 持ってた。

562B : はー んー

563A : おまえどこ 取っといてくれ。 どっか やるところが 無いん。

564B : {笑い}

565A : ほや, こんなてっぽ 売ってこいっちゃ, 売れん。

566B : {笑い} ほー

567A : ほん, もろてもくれんわ あんなもん。

568B : {笑い}

569A : ほーかー, ちゅうとったんや。

570B : はー。

571A : で, もー 弾帯から 弾‘たま’から, みな やっぱ 警察やと。

572B : あー ほうか。

573A : ほやって ま, 罰金 納めんさけー ちゅって。{笑い}

574B : んー。

575A : ほいで, 代わりに 罰金 納めんさけー

576B : ほー。

577A : おまえんどこ 取っといてくれ。

578B : あー。

579A : ほらー あのー わしらの 時代には ほんで ええ鉄砲やったんや。

580B : あー。

581A : よそへ うつ, 持って歩いたって, ういことないんやけどねー,

582B : はーん。

583A : うーん。

584B : うん。 ほらまた あのー 違う 値打ちのあるもんやと, 「鑑定団」にでも 出すと いいんかも知れんけど, {笑い}

585A : あー, やなー, ほやなー 今 はや あんなもん, 出したって 笑い##。

586B : あー なー, あのー あの 「鑑定団」で

587A : もっと 古いもんなら ええけど,

588B : あー, あの 「鑑定団」でも, こーんなもんが ちゅう ほしいと 値打ちのある ええ値がつくのもあるし,

589A : おえ おえ おえ, おー

590B : ほしいで, 騙されて 買うてやある人もあるし,

591A : おー ほや

592B : {笑いながら} なんちゅんかな

593A : あーれ あのー お前も見てるんか。

594B : おー, 見てるんや。 {笑い}

595A : また うちの奴は あれが好きなんや。

596B : ほうか。

597A : へー, ゆんべ《タベ》かやで やっとったんや。

598B : ほや ほや, ゆんべや。

599A : あー なんやろ,

600B : うん。

601A : んー, 龍‘りゅう’のなんやらやて。 ええのやて, これ だいぶん

602B : うん

603A : するやろ ちゅうて,

604B : おー

605A : なにが なんだか,

606B : ほうや ほや, 2 千円やったがな あれは, ほうや。

607A : {笑い}

608B : おーん。 ほしてっとかから, 川原で 拾ってき 拾ってきやーあつた石が 何 10 万やってな あれ

609A : うーん。

610B : 70 万やった。

611A : ほうや ほやほやほやほや。

612B : あー なんやらいう 石でな, うん。

613A : あの, この ○○ ○○○はんの

614B : {咳払い}

615A：あの 化石て あの 火山灰の石なっとちゃうかー 言うとなったら、 {笑い} ほ  
　　ったら 買ったんや、 結構やった。

616B：あー。

617A：あら あんな こう かつこ《格好》がね、

618B：かつこが ええて な、 ほや。 やっぱ かつこやら

619A：ほら やっぱ

620B：んー。

621A：あのー

622B：まー

623A：おー、 見せもんには ああゆのもんでねえが

624B：んー。

625A：ほいて、 笑ろてあったに

626B：うん。

627A：あの なんやら ほこら辺のもん 掛けてー

628B：うん。

629A：おー ほえて 干してあるんや。

630B：{笑い}

631A：ほいで、 いば

632B：{咳払い}

633A：ほいで 威張ってやあるんやで

634B：ほうや。 もー

635A：おー、 ##や

636B：もー あ 明日から 大事にしてくれ、 言‘ゆ’ってあった。 {笑い}

637A：{笑い}

638B：{咳払い}

639A：もー 面白いこと...

640B：んー。

641A：んー。

642B：／少し間／{ため息} あ ほんでも、 だあーぶん《大分》 日が なごなって《長  
　　くなって》きたで

643A：あー。

644B：なー。 今日らは

645A：もー 雪は こうないわ。

646B：なっ。

647A：おん。 も 日が なごなった。

648B：ほうや、 よっぽどー 降っても 早う 溶けるし、



- 649A：ほいてー，　こんだけ　お日さん　当たらあったら，　地熱が　ぐっと上がってま  
うで
- 650B：あー
- 651A：うん。
- 652B：はやわな。
- 653A：{笑い} 関東あたりは　ほんまに　面白い
- 654B：んー。
- 655A：雪になるやら　なん...
- 656B：ほうや，　{笑い}　降らんどこに　降るとー
- 657A：あー。
- 658B：大騒ぎ　してやある。
- 659A：ほうや。　{笑い}
- 660B：{咳払い}
- 661A：わしらは　昔から　大雪に　慣れてるさかいに
- 662B：うーん。
- 663A：昔ってや，　昔は　もっと降ったもん。
- 664B：ほうやなー。
- 665A：ほーん。
- 666B：昔は　降ったで。
- 667A：んー。
- 668B：なーんー　じ　地面まで　みな　開‘あ’け，　開けやへんで
- 669A：んー。
- 670B：踏みつけ道やもん。　なー。
- 671A：ほのー　うちらは　この学校道は，　まー　も　ほっそい　細い道やわ。
- 672B：あー　ほうか。
- 673A：あのー　ソウで
- 674B：うん。
- 675A：あの　みのー《蓑を》　着て
- 676B：うん。
- 677A：あのー　今の　ようけ降るとー，　ソウがな　使われんし
- 678B：うーん。
- 679A：ほいて　あ　後は　ほの　学校も###で　でやあるんや。
- 680B：あー。
- 681A：ほいて　拭いてかあるんや。
- 682B：あー。
- 683A：ほいて　尻い付いてって　学校へ行くねや。

684B : あー んー。

685A : んー。 ほいてな、 道切りちゅうたら おまえ、 弁当持って 切ってあったんや。

686B : あー。

687A : あーん、 ナガヤとこ みな。 これ も 細い 細い道やもん。

688B : うーん。

689A : うーん。 ほんでも じ じゃー 地面の上 歩くの 楽なでねー。

690B : うーん。

691A : 雪の上 歩くの えらかったー。

692B : ほやな。

693A : あの 学校行きはねー。 うーん

694B : あれ ほいて、 踏みつけ道は あかなんだんや。

695A : うん。

696B : 真ん中は 固まったるけど

697A : ほうやー。

698B : ちょっと 端い行くと、 ボカーンと 入ってく。 {笑い}

699A : みんな コロンコロン コンゴロ こけて《転んで》。

700B : ほーうやん。 うちらも あれ まえ、 「イカナイ」の なんやら、 豆腐か なんやらを どっかへ また 買いに 行っござったんや。 ほて、 こけて 戻ったに、 もんで い ござったら、 豆腐が ちゃんちゃんぎれに なってもたんねや。 {笑い}

701A : 豆腐は あかんわ。

702B : ほうや ほや、 こけ こけたら あかんわ。 {咳払い} んー、 あー

703A : あー 昔は ほゆこと あった。

704B : あー、 今はな、 ちょっと 車で 走れば、 なんでも あるで ええけど。 {咳払い}

705A : ほら わいら おめー あの一 あれ 14 年時分や

706B : んー。

707A : 12 年、 戦争が 始まったんや。

708B : あー ほうか。

709A : 14 年に 学校 あがったんや。

710B : うん。

711A : で、 あしやー 届かんうち、 虎姫郵便局へ 行ったんや。

712B : あーん。

713A : あー 弱ったがやね、 そら 雪降りには。

714B : あー ほうか。

- 715A : あ だーれも、 前はねー、 あのー お みんな 通らあったしと《人》ん、 も  
通らあらへんでなー ほの、 ほいて また あの時は 自動車がなかったやろ、
- 716B : んー。
- 717A : わしゃ サラ##で ダーッと 虎姫まで 行かん。
- 718B : んー。
- 719A : ちーっと ウチボウからここへ 誰かが 歩いとっこ、
- 720B : うーん。
- 721A : ほやけども、 踏みつけ道やで、
- 722B : あー。
- 723A : あー おかんに、 いーかいごと ####へ この 飯入れてもろて、 坂から下  
りて
- 724B : はー。
- 725A : おーん、 ほいで 行って 泊まって、 ほいて 行くんやで。
- 726B : はーん。
- 727A : あ ほいてから まーた 行ったら おまえ、 ほこで 郵便 みな仕分けしてー、
- 728B : うーん。
- 729A : で、 背中に ##にてー、
- 730B : うーん。
- 731A : ほて、 こいつまで 持ってやんね。
- 732B : うん。
- 733A : ほいで、 よいところ よいところ よいところ よいこと おまえ、 あのー タナ  
グラ辺り 行くのは、 ミカワから も 入って行ったんやがな。
- 734B : はー。
- 735A : ほーんなの おまえ、 あのー 1日歩いて も タニグチまでを 越えて行く。
- 736B : あー ほうか。
- 737A : ほんでも タニグまで 行ったんやで。
- 738B : 行ってみたら、 くたびれるやろ ほんでも。
- 739A : ほーのー くたびれんで。 えらいもくそも 言うてられるかな。 初めから 地  
下足袋や。
- 740B : はー ほうか。
- 741A : うーん、 ####, ###向いて。
- 742B : あー ほうか。
- 743A : んー、 ほんなもん ちべたいなんて 言うてられるか。
- 744B : ほーん
- 745A : ほんでも まー あのー 上がらーへん家‘うち’は あるんや。 上がらしてもらえ  
んねん。

746B : ん。

747A : ほんで 庭で ひー《火》 焚いて下ある《下さる》ん, 親切なもんや。

748B : ほー。

749A : すいば 焚いてねえんや。

750B : ほー。

751A : 「当たらんへ」 ちゅうて。

752B : ほー。

753A : ほいて ちゃ 熱いちゃー《茶》沸かして,

754B : ほー。

755A : えい よーお, よ あの 世話んなったんねー,

756B : {笑い}

757A : はー, タニグチは ええわいね 人が。

758B : あー。

759A : おーん, 「当たたれ 当たたれー」て言う。 「うちい来い うちい来い」 っちゅうて

760B : あー ほうか。

761A : あ おー, ほいて ほの時分はな, あの 軍事郵便のを 待ってあったん,

762B : あー ほうか。

763A : 軍事郵便を。

764B : はーん。

765A : ほんで もー ほのー あの 今でも 忘れんけどー

766B : んー。

767A : あのー 人をのんねん。

768B : うん。

769A : 垣部隊ちゅてねー

770B : んー。

771A : 大垣の「垣」や。

772B : あー。

773A : あの てへんに ほれ

774B : あー。

775A : い いち ひーして いちやわ。

776B : あーん。

777A : 垣部隊ちゅのが あんねや。 ちょうど わしらや じゅー, 2つくらいの上の子  
が みな ほれ 行かんさんや。

778B : はーん。

779A : で も わしの いとこも 行こったんや《行きよったんや》。

780B：あーん。

781A：ほったらー， 1 遍か 2 遍は 来た， 手紙がね。

782B：んー。

783A：もうこに。

784B：{咳払い} あー ほうか。

785A：みな やられてまうねん。

786B：あー。

787A：おーん。 んで 垣部隊で 誰か もんでこた人ないかなーと思て， わし 思て  
んねやけどー

788B：ほっ

789A：だつれも 聞かん。

790B：ほっ， 普通の一 へ 兵隊さん ちゃうん《違うん》か↑。

791A：おっ↑。

792B：普通の一 せん 戦争の兵隊さんと 違うんか。

793A：普通の兵隊やで。

794B：ほー。

795A：ほいでー ほれがねー， たんねんちゃった《尋ねて行つた》のが， あそこの #  
#の あの 裏の あの ○○○○さんとも， いーい男やつたーん。

796B：んー。

797A：ほの一， 行かんした。

798B：んー。

799A：ほいて， あそこの爺さん， まえーにち《毎日》 手紙 待ってあんねけど。

800B：んー。

801A：「よってけやー よってけや」って， 手紙が 来てない 言‘ゆ’わんなんもんやけ，  
「よってけ よってけ」て ゆわある。 あ， 待ってやあんねんけど，

802B：あー あ ほうか。

803A：「おっさん あかん， 来てないでー」ちゅって。

804B：はー。

805A：ほいたら， だーれも 来んでええちゅった。

806B：はー。

807A：で， わしらの す あの 郵便局の先輩も ふたり ほれに 行かんしたんや。

808B：んー。

809A：3 人 行かんしたんや，

810B：んー。

811A：現役で。

812B：んー。

- 813A : ほっで一、 ひとりの子は 鯖江へ 行かあんたんや。
- 814B : んー。
- 815A : で一、 ふたーりは 敦賀へ 行かあんたんや。
- 816B : んー。
- 817A : あー 可哀そうに、 あのー 3 人行かある、 3 人共 おんなしとこへ ### え  
えのに、 ひとりの子は 鯖江やし、 可哀そうにと わしゃー 思ってたんやで。
- 818B : あーん。
- 819A : ほいたら、 敦賀へ 行かあんた子が 死んでまあんたんや。
- 820B : あー ほっか。
- 821A : ず、 鯖江へ 行かあんた子が 助かってん。
- 822B : あー ほっか。
- 823A : 行くところが 違うで。
- 824B : あー。
- 825A : あーん。
- 826B : ちょっとの こ お 事でな、
- 827A : おーん。
- 828B : 運命でな。
- 829A : ほいたら あのー、 わしの いとこの コウダコの あのー うちの あの 妹  
のこー《子》や。
- 830B : うーん。
- 831A : あの ○○○○○ちゅうんやけど、
- 832B : んー。
- 833A : あれ いーい ずくずくした男やったんや。
- 834B : んー。
- 835A : あー い 「おばあ 行ってくるわー、 おばあ 行ってくるー」ちゅて 行きおっ  
たんやー。
- 836B : んー。
- 837A : で、 みんなー わしら ちょこって、 兄貴や いおら行ってもうとったし、
- 838B : んー。
- 839A : いなかって、 「おかー」ちゅうて、 あらー いとこやでねー、
- 840B : んー
- 841A : 寄って みんな んと 困あるねん。 「きー《気》つけて 行っとくれー」ちゅて  
話して、 や もー はや 鉄砲の弾や。
- 842B : ん。
- 843A : 行ったもんでかい。
- 844B : んー。

- 845A：あーん、　ほいで　あれ　あの一　おとと《弟》が　あの一　フィリピン
- 846B：うん。
- 847A：遺骨収集団ちゅって、
- 848B：うーん。
- 849A：いぞっかい《遺族会》で　行くんやて。
- 850B：ほーーん。
- 851A：んーなも　行ったて　おまえ、　いきてーしーい　ところなんや　おまえ。
- 852B：あー　ほうか。
- 853A：こんなもの、　ひらう《拾う》のは　いっくらでも　ひらえるで。　誰の骨や分からん。
- 854B：はーーん。
- 855A：んで、　今度は　拾うてこう《こよう》と思て　行くねやけどね、　まー　あの　人の骨やて　みんなが、　こ　見やあんねやけど、　よう　ひらわあれへんねや。
- 856B：うんー。
- 857A：ほれ　はんで、　ここで　うちの　兄貴が　死んだーっちゅのが　分かるんなら、　ほら　拾てきてやるけど
- 858B：あーー　なるほど。
- 859A：どこの　なにがし、　どういう人が一ってや、　全然分からへんねん。
- 860B：は、　せ...
- 861A：ほんで、　「もう　行かーん」ちゅうて、　「3 遍行って来た」ちゅーた。
- 862B：せん...
- 863A：「もう　行かーん」ちゅうて、　怒っとったんや。　{笑い}
- 864B：せん　戦争は　可哀そうなもんやなー、　ほんで。
- 865A：ほーん。
- 866B：戦争に行かあった人は、　まー
- 867A：あーん。
- 868B：可哀そうや　ほんま。　んー
- 869A：ほんで、　可哀そうに　写真だけやの。　ほれ　写真も
- 870B：んー。
- 871A：ほのどきの　手前んどこから、　いっこったーるだけの写真や。
- 872B：んーんーんーんー。
- 873A：あーーん。
- 874B：なー。
- 875A：あーーん。
- 876B：戦争はなー。
- 877A：ほんで　今　あの一　あ　「箱遣い‘はこづかい’」ででも　言うてんのは、　あの一

878B：んー。

879A：白木‘しらき’の箱が 来ても

880B：んー。

881A：中に ひと掴みの砂と

882B：うーん。

883A：ほいて、 カトウタツなら カトウタツ、 札が 1枚貼ったったるだけやで、

884B：あー ほうか。

885A：おーん、 ほんで 嫁はんは、

886B：んー。

887A：あの一 今の ほうれ 覗いては 泣かあったんやわねー。

888B：うんうんうん。

889A：うん。 ほんで、 あの一 戦後の 映画の一 シン《シーン》見ても、 戦争の  
シンが出て来ると

890B：ん。

891A：あー うちのお父さんも また 南の島で 日本兵が 見つかあると、 また あ  
ー 泣いて。 ほれを ちゃーんと ほの一 お 子供は 覚えとったんやなー。

892B：うーん。

893A：あー ほんで その一 こどもー お... ぞうしや部隊に 編成されて行ったちゅ  
うのね。

894B：ん。

895A：あの ほの また、 {笑い} 68年間も ここに 持ってあったんや。

896B：あーーー。

897A：てまえ 山で置き去りいして

898B：あー。

899A：ほいて、 もー 連れて もだれ《戻られ》なんだしー

900B：んー。

901A：ほんで一、 あーの ちいとの なけなしの米ちゅうて

902B：あーん。

903A：みんなの はえ《灰》の中 さらえて、

904B：うーん。

905A：ちべつとの米を 炊いて、

906B：うーん。

907A：で、 これを 食って、 ほえてー もいっぺん 元気だしてー、「あと 追って  
こいやー」ちゅうて、 ほれを 最後で

908B：うーん。

909A：こう 持ってたことは やっぱ ある。 なーんで もうちっと 見てあれんだっ



ちゅう、ここにあんねやね。

910B：あー ほうか。

911A：んで ほれを 68 年間、 去年の 6 月 24 日の新聞に

912B：うん。

913A：ほえっと 新聞記者に 喋らあったんや。

914B：あー ほっか。

915A：うーん。

916B：うん。

917A：ほいたら ほれが 喋らはったで、

918B：うーん。

919A：ほのー ほれが 新聞記事に 載ったったもんやさか (+い)、 えらい 「じどう  
しゃ部隊」で 書いとったかね。 ほんで ほの、 またー そのー 子供をね

920B：うーん。

921A：あのー ちょうどー あのー 嫁さんが あの カトウさんちゅうのとー、 あの  
なにを 送ってかあったんやねや、 あのー

922B：んー。

923A：名古屋駅から 面会に来て

924B：ん ーん。

925A：おん。 ほいたら ほのー、 ○○○ちゅうじょうと兵《上等兵》 ○○○ちゅじょ  
うと兵も 同年兵やで、

926B：うーん、

927A：でー、 ○○○さんの嫁さんが 「どうか ふたりが 仲よう助け合うて やって  
くれえんか」て ほの時に 覚えておった あかんわー、 あの 首もまだ すわ  
ってない子やて。

928B：うーん。

929A：ほんで もー ### あの、 あの 名古屋の駅を 汽車が ポーッと出るとき  
に、

930B：んー。

931A：も 火が 点いたように、 泣いたって。

932B：んー。

933A：うん、 ほれ 覚えてやあらへんねや。

934B：あー。

935A：だ どころが、 ほのー 新聞 載ったら、 新聞記者へ、 「これは うちのお父  
さんでねえや」て 問い合わせが きたんやねん。

936B：はー。

937A：68 年ぶりに ひよっと 喋らあったのが、

938B : あー ほうか。

939A : 手前も 90 からになるし

940B : あ あー。

941A : もう こらで ちょっと と とお... 新聞記者が 捜しあることが ええねん

942B : はー。

943A : あの なにか 兵隊に行って、 長いことに 行ってあったん、 なんか ゆ ゆ  
聞かしてくれって、 い い 行かあったんやね。

944B : はー。

945A : あー うちらも ん... 終わった。

946B : はーん。

947A : ##### った。 で、 わしも 2, 3 言うたったんや。 だーれも 喋らあれへ  
ん。

948B : んー。

949A : うん。 ほいたら、 ほれが あのー 元で

950B : うーん。

951A : ほう言って 問い合わせが きたもんで。 新聞記者が 責任あらあんねん。

952B : んー。

953A : もー ほいたら おまえ、 おれ もー、 今に あのー おー 新聞社が 言う  
てくったら、 「ほれ だれーんて言えん」て。 で、 ○○○っちゅうじょうと兵  
《上等兵》が 名古屋の 中川区の人に、

954B : うん。

955A : で、 ○○○○○ち、 ○○○さんて、 「ほんな兵隊 おらん」ちゅって、

956B : んー。

957A : ほいたらな、 嫁入りしてあんさかーね、 元の カトウちゅうのが。

958B : あーあー ほうか。

959A : 親の名は なんちゅー なー《名》やて、

960B : あーん。

961A : ほーら ほの ちゃーんと ほの 90 からになっても ほれ、 ほういう事は 覚  
えてあるがねー。

962B : んー。

963A : ほいたら 調べやあったら、 ○○○○○やね。

964B : んー。

965A : で、 まさしく ほの 手前 置いてきた人やってん。

966B : はー ほうか。

967A : おーん。

968B : ほーん。

- 969A : ほしたところが、 7 月の 10 日の新聞に一、 /少し間/ 一家しんれいが 分かったもんやで
- 970B : ふーん。
- 971A : 新聞記者が こう聞かあったら
- 972B : あー。
- 973A : どう思う。 ほ ほ ほの くさやでー
- 974B : うーん
- 975A : ほんで、 一家しんれいやねー、
- 976B : うん。
- 977A : え、 ほんで 一家ちゅうのは あの、 婿さんと
- 978B : んー。
- 979A : ほて 息子さんと
- 980B : んー。
- 981A : ほて あと しんれい ふたーりが
- 982B : んー。
- 983A : 5 人が ずーーと あの カトウ、 あの アキタっちゅう じょうと兵の 名古屋の中川区に
- 984B : うん。
- 985A : あのー やあるんや。
- 986B : うーん。
- 987A : ほこへ 行かあったんやで。
- 988B : ほー。
- 989A : ほいたら ほのー えー 行かあった時の写真が 載ったんねやけど、 ほの お祖父さん この 鼻の先に 老眼鏡を かけて、 スポーンってやって、 ここには ギローツとした目の 婿はんや、 頭の禿げた人や じろー見て
- 990B : {笑い}
- 991A : ほっちには ほの 娘はんの スマコさんが ちゃんと やある。 ほの後ろへ 息子がね、
- 992B : うん。
- 993A : ひょーと こう 立っとる。
- 994B : はー。
- 995A : ほー、 ほ ほこで 初めて↑。
- 996B : うーん。
- 997A : あのー 色々なこと言うて、 ほて あのー 山から下‘お’りしなに 倒れてもてん。
- 998B : んー。
- 999A : んで、 アラカワ山脈ちゅうのは、 伊吹山の 3 倍の山や。

1000B：はー。

1001A：3300 メートル。

1002B：はー。

1003A：ほーんな山をね、一気に 乗り越えて、あの一 いっぱいある も。 んー 占領せーちゅうて 命令やねん。

1004B：うん。

1005A：ろ 6 万人 攻めやあったんや。

1006B：ふーん

1007A：うん。 ほの 6 万人ちゅうもの、 なにを あの一 あの一 列 したあるねんやちゅって。

1008B：んー。

1009A：ほれは 2 万人や。

1010B：うーん。

1011A：で あんな 暗号で言うたって 分からんねやん。

1012B：んー。

1013A：んと 祭りしたーん、 ほらー 15 し 5 師団 あの、 うちら辺は 9 師団ちゅって。

1014B：うん。

1015A：金沢のね、 兼六園に あの あの一 城があるやろ。

1016B：うーん。

1017A：あそこに 師団司令部があってん。

1018B：はー。

1019A：ほいて 神奈川には ### 隊やちゅうてね、

1020B：うーん。

1021A：ま 野砲隊やね。

1022B：うん。

1023A：いかい 砲、

1024B：うん。

1025A：ほ、 騎兵隊に

1026B：うーん。

1027A：ほいて シチョウ隊やね。

1028B：うーん。

1029A：ほん。 ほいて、 工兵隊に

1030B：うーん。

1031A：ほれ、 いくつも 連隊があるに。

1032B：あー ほうか。

- 1033A：馬を 使わある兵隊がね。
- 1034B：はー。
- 1035A：でー， 敦賀辺りは 歩兵連隊や。
- 1036B：んー。
- 1037A：あーのー 馬の あーのー く 9 師団管轄けど あ 鯖江やぼ ほうや。
- 1038B：んー。
- 1039A：ほんでー あそこ 9 師団から どんだけ 兵隊 やっちゅうと， 敦賀なんぼー， 鯖江からなんぼー， ほいで あーのー 今の あーのー 騎兵隊がなんぼー， 野砲隊がなんぼて， 命令しよった。 ほれで ダーッと 召集 出しよんねやろねー。
- 1040B：んー。
- 1041A：あそこが 本部や。
- 1042B：あー ほうか。
- 1043A：ほー。 ほれで ほんで まー あーのー 9 師団 管轄は ### 団ちゅのやがね， まん中の師団に 行ってあったらしい。
- 1044B：んー。
- 1045A：ほいて もひとつはー， あーのー ユミ師団ちゅうと。
- 1046B：んー。
- 1047A：で， 2 万人 人‘にん’ ずつ， 6 万人が ダーッと 攻めやあって，
- 1048B：ん。
- 1049A：ほーら あ あの あとの新聞に 書いたーるで， 「あーあーあー こういうにして攻めやあったんやなー」 ちゅうて 分かるがねー
- 1050B：んーんー。
- 1051A：んー ほいで， あーのー 今 あーのー あーのー 途中行つたて， も アラガワ山 脈みたいなもの， とても あの あんなのは これの 3 倍の山やて。 こんな山や。
- 1052B：んー。
- 1053A：インドの山も ほれ， 険しい山が 多いがね。
- 1054B：あー ほうか。
- 1055A：いかやーい山が。
- 1056B：あーん。
- 1057A：ほんで ほれへ 行って， もうちょっとでー あの トウメへ掛かってー，
- 1058B：んー
- 1059A：ほしてー あの 丘の上へ 上がると， インパールの町が 見えるっちゅうとこまで 攻め込まあったんや。
- 1060B：んー。
- 1061A：ほったら そこは 向こうは 考えとったんやね。

1062B：んー

1063A：だら ほれが あのー インドだけでないん。 英領インドー ちゅって

1064B：んー。

1065A：英国が インドを 支配しとったんや。

1066B：んー。

1067A：上にちゃーんと 機関銃 据えて

1068B：んー。

1069A：###で 待とったんや

1070B：ほーん。

1071A：ほいたら お前， 折角 しやんまに積んで

1072B：んー。

1073A：食糧やら 弾やら 積んで

1074B：んー。

1075A：行かあったんやけど， うしゃー《牛や》馬は あんな 横這いみたいな道は 行  
っころんに。

1076B：んー。

1077A：ほー， 馬は ヒヒーーンて 落ってまいよる。

1078B：あー。

1079A：折角 あのー みな 弾やら。 ほいでまた， うしゃー ものも言わんと 落っ  
てまいよったて

1080B：はー。

1081A：はーん， 書いたーんねやねー。

1082B：はーん。

1083A：ほいと もー 折角 次から ほいで， みんなが 手分けして， ほれを ##  
# 行かあったらしいけど。

1084B：ん。

1085A：ほなもん もー 人間の力でも しまったるがやん。

1086B：んー。

1087A：ほーん， ほいで 行ってー 上がってったら， ブワーダッダッダーーと， #  
##を 上から 落ちよったがや， 頭## 落ちかけてから 落ちよったら た  
まったあんねや， あれ。 ダッダッダッダーと 落ちたしと《人》， 下敷きにな  
ったしと， また 落ちる。

1088B：あー。

1089A：もー はや 登る人は ない。 みな 絶えてある。

1090B：んー。

1091A：うん。 ほいて ほの 下りしなーに

- 1092B：うん。
- 1093A：あの一 熱病， あ の に， あ の 栄養失調ん なってきてー
- 1094B：んー。
- 1095A：暑さと
- 1096B：んー。
- 1097A：ほいて 戦争のつらさ えらさで
- 1098B：あー。
- 1099A：は一ん， 熱射病を ちゅうん…。 で ほいで ほれ マラリヤやら
- 1100B：んー。
- 1101A：腸チュフシュ《腸チフス》やら
- 1102B：んー。
- 1103A：あ の ほういう ほ の ひでえ， ん とりあえず 熱が 40， 度のよんに なる  
んやて。
- 1104B：んー。
- 1105A：ほって まー， 2 日かそこらで 死んでまうらしいわ。
- 1106B：あー ほうか。
- 1107A：うん。 ほれで ほんで 今の あの一 ほれは あの一 今の ヤマノヤのしと  
がー
- 1108B：んー。
- 1109A：こっちから 行って
- 1110B：んー。
- 1111A：丁度 あの一ー 敦賀連隊から 出たんや 言うてあんたんやけどー
- 1112B：んー。
- 1113A：あの一 50 人あった， 知ってる人が 50 人ほど あったんやて。
- 1114B：んー。
- 1115A：50 人 行ったらかて， もんて《戻って》来たのは たった 3 人だけやで。
- 1116B：あー ほうか。
- 1117A：うーん。 ほら あ の チナミ港で 飯食てるときに
- 1118B：んー。
- 1119A：ほの話が出て， わしが 言うたんやで。
- 1120B：あー。
- 1121A：あー このしとは 頭のええしとやし
- 1122B：んー。
- 1123A：やー あら 優秀なしとやし。
- 1124B：んー。
- 1125A：「A さん， お前も 長い事 御苦労はんやったね。 あー おまあん ほんでも，

あの一 優秀な人やで、兵隊では ほこ 結構 偉いもんになっであんねやろ」  
てって、 わい ちょっと言うたんや。

1126B：うーん。

1127A：「ん、 にゃーにがー」てって、 吐き捨てるように。 「あほらして 言‘ゆ’えん  
ねやー」って。

1128B：は一。

1129A：怒ったある なんやねんって。

1130B：んー。

1131A：ほう言うたら、 ほーんなもん 階級のくそみたいな、 もー 食うだけで もー  
んーなもの

1132B：あー ほっか。

1133A：そない 話やってやねん。

1134B：あー ほっか。

1135A：ほしてー、 わしらは 情けないことに、 もー みんな バタバタ バタバタと  
も あの インドから やられて

1136B：んー んー。

1137A：逃げしなに

1138B：んー。

1139A：みんーな 倒れてしもて、 ほんで また ほの 死なあった兵隊さんを

1140B：んー。

1141A：道のへらへ 退けるだけが やっこらせーやて。

1142B：あっ {笑い} ほーか。

1143A：んなー 暑いのに、 ひー《火》みたいな の 焚けんがねー。

1144B：ほー

1145A：ほんで ##### よう 焚くと#に 力もねえし、 ほんで 穴 掘って 埋  
めるっちゅのは ほんなもん 出来んし

1146B：んー。

1147A：せめての事に、 ほやって 退けるだけが、 並べて 退けるだけが 関の山やっ  
てんで。

1148B：あー。

1149A：ほいっと あの一 ひー、 死にかけやあると、 蠅が メイメイメイメイメイ  
イ こう たかるん。

1150B：あー ほうか。

1151A：もう 死にかけやあっと たかりかけよんねやで。

1152B：あ ほうか。

1153A：ほって、 死なあると もー ギシーッと来る、 いっぱいや。



1154B：ほー

1155A：ほいて， 明くる日くつと， うじで ギシーッと いっぱいやて。

1156B：あー ほん...

1157A：ほって， 3 日目になると， ほのー うじを ほの 取るのんに， みな つつこ  
ん《突く》のやて。

1158B：ほー。

1159A：え ごど よーおも 突いてまいやんの， 裸にして。

1160B：ほー。

1161A：ほいて 骨だけ， 骸骨とがー 残るのや。

1162B：あ ほうかー。

1163A：おーん， ほなもん ##もしやへん 言うてあった。

1164B：なーんとなー。

1165A：ほーん。 腐ってまうねんて， 両方で。

1166B：ほー。

1167A：暑いどこやった。

1168B：暑いどこやったなー。

1169A：おー， 40 度からやで。

1170B：ほーーん

1171A：ほん なんつとも しょがないんやて ###。

1172B：うん。

1173A：ほーん， これで ほんで 結局

1174B：んー

1175A：あの一 今の サノさんらは， あの こやって 世話だけしてー， ほんで ま  
だ わしらは あーの一 まだ ほの 死なあったしと《人》の 靴をそろーつと  
脱がして

1176B：んー。

1177A：手前の靴が， あばあばやて。

1178B：あーん。

1179A：で， 針がないで， ネジんぼ かけてたんやて。

1180B：はーん。

1181A：ほいで， はく 履か， あの人の 履かして

1182B：あー。

1183A：替えてもて， 洋服でも これええと思うと， みな。 んー インドはね， #  
#####んやて。 なんか 着て出られへん。 破れてくると も しょーがな  
い， ほの人の みな もろたんやて。

1184B：あー ほうか。

1185A：おー、 なっさけない は... も 人に言‘ゆ’えんねや っちゅうてやあん##。

1186B：よざ よざりは、 さむなる#。 ほんだけー ひ 昼は暑いのに。

1187A：ほーかちゅって、 ほれで

1188B：んー。

1189A：あの一 6万人たらやけど、 3万人 死んでまあったんやと。

1190B：んー。

1191A：うん。 ほの話を

1192B：うん。

1193A：あの一 まー ちょっと 今は いつでも 言うてんねんけど

1194B：んー。

1195A：あの一 あの一

1196B：いやー {笑い}

1197A：なんやの↑。

1198B：ん、 頑張ってって。 {笑い}

1199A：あ

1200B：頑張ってるにーゆて 言うてきやあった。

1201A：あーあー。

1202B：{笑い}

1203A：あの ほの話をね、

1204B：んー。

1205A：ちょっと あの一 あー 今 今度はね、 親の

1206B：んー。

1207A：みなに 言うたろと 思てね、 ほの

1208B：あーあーあー こ 今度の##で、

1209A：ほいで 実際に 行ってやあった人に 聞いてきたんやし

1210B：はー。

1211A：ほして 新聞に 載ったったのは、

1212B：うん。

1213A：あの一 え 今 あの一 親子関係は ほれで 分かってたんやでね。

1214B：あー。

1215A：ほーん。 ほいで ほの ○○○という じょうと兵《上等兵》が 可哀そうに、  
原の先に来て、 脇をずーっと。 ほんで やっぱ あのどきに、 ほんで なけ  
なしの米を置いて

1216B：ん。

1217A：ほんで ほの時には あの一 今の 小隊長が 山から おーくれて下りて来とたら  
や。

1218B：ん。

1219A：4人 居たら、あの一 分隊でねえ《ない》、分隊は 今、1分隊は おんなし 同年兵くらい 4人くらい 居るわいねー。

1220B：うん。

1221A：ほんで、おんなしー しと《人》らーが、んで、かいて《背負って》 下りて来やあったんや、わーるて、わーるて 倒れやあったもんやで。ほいたところが、あーめが降ってたんやで。

1222B：ほーん。

1223A：ほーた、インドの雨 おまえ、こーんな雨

1224B：は、大粒か。 {笑い}

1225A：おー しと《人》の お 大人の あ 親指より まだ いかいんやて、足の。

1226B：あー おー {笑い}

1227A：ほれが また、ヨシズを 流したほどやて##。

1228B：はー。

1229A：ほんでも 今まで カラカラね 山が。火山灰ケイ土やろ、

1230B：んー。

1231A：ぬかるみに なってもて

1232B：んー。

1233A：ほた こんだ も、足がみんな 抜けんよんなってもて、

1234B：{笑い}

1235A：ほんで も、だんれも《誰も》 ほの たがを替えて おりよしと《下りる人》、なかったんやね。

1236B：あーん。

1237A：で、弱ったなーちゅうて、これ 小隊長が パーッと下りてきて、「そんなもん 捨ててけー」ちゅうて、んー。「お前らは こやって 捨てんとー 皆死にすっぞー」て、ブオーッと 手前 下りてまいよってんや。

1238B：んー。

1239A：ほいたら みんなが、もー かく気が 全然ないわいね。

1240B：うん。

1241A：手前 逃げるのが よこっこらせやで。

1242B：んー。

1243A：ほんでー あの一 今の アキタっちゅう じょうよ じょうと兵《上等兵》が みんなの 灰の中 さまえ 搜して

1244B：んー。

1245A：なけなしの米 ちゅうてねー、

1246B：んー。

1247A：ほれを炊いてー， ほて 置いておかあった。 ほんで ほんで あの晩に あの  
兵隊に行くとなー， あの 敦賀連隊 行くとねー， この 靴下にね， 軍足に  
ね

1248B：んー。

1249A：「臭う米くれよ」んねや。

1250B：はー {笑い}

1251A：はー あの 戦地いた， 戦地い立つ時には。

1252B：はー。

1253A：ほいとねー，

1254B：あ

1255A：ハイノの 両脇に ちゃんと こうやって こう

1256B：んー。

1257A：で， 中へ あの こうゆうふなのんに， あの 畳んで入れては あかんのやて。

1258B：はー。

1259A：こう 畳んでね。

1260B：んー。

1261A：ほて これを こやって キリキリキリっと ま 丸めんねん。

1262B：あー。

1263A：ほで 棒にして チョンチョン チョンチョン 入れとくんや，

1264B：あー。

1265A：あん中へ。

1266B：あー。

1267A：ほいとなー あの もー 重たいんや， 25キロぐらい あんねやね。

1268B：はー。

1269A：つと， ほれを やめると ちょっと こうなんのや。

1270B：はー。

1271A：ほで， こんなこと できんねや。

1272B：あー。

1273A：で， ちょっと みんな 腰かがめてねー，

1274B：はー。

1275A：はー， あの あれ， ほれ あれ それの ほの米が 余ったるのをー 捜さあ  
ったんやがね， なけなしの米ちゅうのは。

1276B：ほーん。

1277A：ほんで おれ おまえー あの一， 敦賀連隊で 今日 ほれーして， ちゃーん  
と おまえ あの 鉄兜を ほー あの一 背中の上に置いて

1278B：ん。

- 1279A：はんご《飯合》 負えねて、  
 1280B：ん。  
 1281A：ほっで 出すもん なけー《中へ》入れて、 おー ほんて ほて 消毒して、 ほ  
 いて キメ神社へ めえんね《参るねん》。  
 1282B：んー。  
 1283A：みんなね。  
 1284B：んー。  
 1285A：ほいて 小隊やつもね、  
 1286B：んー。  
 1287A：あの一 さたがえー ツドーンと {笑い} あ の キビ神社へ してくんや。  
 1288B：んー。  
 1289A：ほいと 神主さんが いきやい###で、 ウエッ ウエッと 清めてくれやある  
 ねや。  
 1290B：は一。  
 1291A：ほいと ほれ済むと、 いー ダーダッタッタッ 出てくるんや。 ほんで また  
 次 ダッダッダッダッ へい。 で、 よさんの 11時に出ても あ の 敦賀のほ  
 の 駅をね。  
 1292B：んー。  
 1293A：出るのが 朝の5時間や。  
 1294B：んー。  
 1295A：ほんだけ 掛かってまうんや。  
 1296B：あー ほうか。  
 1297A：あーの #### 明日 は###というと。  
 1298B：ほーーん。  
 1299A：ほん。 ほいて、 朝5時過ぎに一 あの一 1番列車に一 あの一 丁度 うち  
 らの 虎姫 とった《通った》。  
 1300B：んー。  
 1301A：うん。 {笑い} ほいたら おまえ 川ん中で、 ○○○さんが ほお被りして、  
 1302B：んー。  
 1303A：拝まんねや 軍用列車を。  
 1304B：ほー。  
 1305A：ほいと、 おもしえー《面白く》 あの一 言っとーいくれやんと。 「おーい、  
 手前ら よう見てくれよー。 おまんま 食ったから もー 終いやほん」ちゅっ  
 て {笑い}  
 1306B：{笑い}  
 1307A：わや 言いよんねや。

1308B：は一。

1309A：はら みんな 「ほらほうやー」ちゅうて

1310B：{笑い}

1311A：{笑い}「####たら 終いやでよー」ちゅって。 ほれ よう 言‘ゆ’った。 あ  
の

1312B：俺らの あ 老人会は 大勢いやある。

1313A：おー， 50 人

1314B：もー ん... ろくじゅ《60》から 入ってあるんか， みんな。

1315A：おっ↑。

1316B：60 から 入ってあるん。

1317A：ほうや ほうや。

1318B：60 から 入ってやあるん。

1319A：入ってある。

1320B：ほー。

1321A：おーん， ほんで はえーらへんと《入らへん人》も やんすし。

1322B：あー ほやわなー。

1323A：んー。 ほやけど たえーがえー《大概》 みな 錢 納めてやあるん。

1324B：あー ほうか。

1325A：うん。

1326B：あーん。

1327A：あの一 ねんかーん《年間》 あれあー 2 千円かな。

1328B：あー ほうか。

1329A：うん。

1330B：うちらは もー 自由や， 自由ちゅ事ないけどー， みんな はえーる《入る》  
よん なったんねやけどー， はえーらん子があるー で， もー ま 入ってる  
もんだけで ほんでもー う う 上は， あの... いかんねん。 在所だけで や  
ってるねん。 あの あの 七尾やら， あの一 長浜市の老人会へ 行くと， 役  
やか代わり 行事に 出んならんやろ↑， ほれがかなわん ちゅ言‘ゆ’わんすで。  
うちら ほして 小さいで， おー 佐野だけであかんで， 南池と一 両方でや  
ってるやろ。 で もーなー かなわんし， も 何年か前に もー や... ほの  
上へ行くのは やらん。 も 佐野だけにしよーちゅって。 や や

1331A：けど， ####は ほれー， みんなー 入れっちゅねやん。 ほのね，

1332B：うん。

1333A：あの一 みなが 損するねや。

1334B：ほやわなー。 どんな

1335A：なーんか するやろ，

1336B：んー。

1337A：行事を。

1338B：んー

1339A：ほら ほんなー 入らへんよなもんは あかーんちゅのや。 えー

1340B：んー， ほうや， うちらも 宮さん掃除は するんやけどなー， ##や

1341A：いつやら， {笑い} いつやら おまえ， あの一 もっと 昔のしとは， あ  
の一 くちやー《口は》悪いさかえーやけど，

1342B：んー。

1343A：入らあるしと 「てめーら 多いから 出てけー」って {笑い}

1344B：{笑い} ほうや ほうや。 {笑い} ほうや

1345A：「出てけって」ちゅよったって 怒っとなったんやけど，

1346B：うーん。

1347A：言うてる者が 悪いんや。 やっぱ 1回 入らなあかんねや。

1348B：ほうや。

1349A：ん。

1350B：ほら ほや。

1351A：でー まー あの一， わしらなんかでも なったら， もー ほんま 行く事い  
らへんねやけど，

1352B：んーんーんー。

1353A：わーしゃ もー， 行けるだけ 行こうと 思てる。

1354B：んー。

1355A：あーん な， 死ぬまで 行こうと 思てる。

1356B：んーんー。

1357A：んー 行けたら↑。

1358B：ん。

1359A：行けな あかんけど↑。

1360B：んー。

1361A：んな， 邪魔んなるよな事は ないけど， まだ 掃除ぐらい すっさかい《する  
さかい・するから》。

1362B：あー。

1363A：あーん。

1364B：ほや，

1365A：あーん。 /少し間/ ほいでも いつでも わしゃ かなわん。 乾杯の 挨拶  
を みな い いつつつでもやがな。

1366B：ほー

1367A：寺の キモヨリの あ の 寺の あ の 寄り合いも， あ の ほーゆ 総会のなに

やらも みな、 わしが 乾杯の あの、 物食うときは みな わしが乾杯や。

1368B：{笑い} もー ほんで

1369A：乾杯。

1370B：もー ほんで ないんやろ。 ほんだけの歳んなると、 ほんだけ 元気のある人  
が ないねやろ。

1371A：あーや、

1372B：なっ、

1373A：あー。

1374B：みんな まー あー や... あのー やあっても、 ほんだけ なんやか もー  
ん... ものもなー、 言‘ゆ’えんよな もー 元気がないと、 ほらー なんや。

1375A：ほー ほいて みんな こうやったら あんた 喋る＃，

1376B：あーあー。

1377A：いーえー ちゅうて。

1378B：うーん。

1379A：みんな 似たような。 {笑い}

1380B：んー。

1381A：んー。

1382B：ほんで 余計 弱ってってまうんやけど。

1383A：なにつ、

1384B：ほんで 余計 弱ってってまわんねやけど。

1385A：ほー はや、

1386B：なう...

1387A：{笑い} わしだけや。

1388B：ん

1389A：どったら こったら やったら、 んま 平気

1390B：あー ほうか。

1391A：おー、

1392B：んー。

1393A：「かんばーい」や もー、

1394B：んー。

1395A：んー。

1396B：んー。

1397A：なんやら ほの ん 丸受けーや、 {笑い}

1398B：んー。

1399A：まー ほんでも、 あれやねや。 こやって ほうゆこと言‘ゆ’えたり、

1400B：んー。



- 1401A：ほいてー まー こやって 喋れるさかいねー。
- 1402B：ほやな。
- 1403A：あーん。
- 1404B：とー なんやんか， 思案したり↑，
- 1405A：あーん。
- 1406B：新聞でも 見てー なんやしな↑。
- 1407A：おーん ほやほや。
- 1408B：んー。
- 1409A：おーん， ほんで， これ あのー よそへ 行ってー， 喋れんと これ 具合  
悪いんや。
- 1410B：んー。
- 1411A：うん。
- 1412B：んー。
- 1413A：んー， あんまり おの え あーんで， 政治やなんやかや， あんま 喋れる  
と， 具合悪い。 {笑い}
- 1414B：{笑い}
- 1415A：せ ほういう事 考えてへん。
- 1416B：{ため息} ほんでもー あのー なんやね， 安倍さん 今度は ちょっと 続く  
かも知れんね。
- 1417A：ほうや ほや。
- 1418B：あのー 吉田総理でも， やっぱー に 2 回目やらあった時は， だいぶ もー  
良かったらしんや。 初めの経験が生きて。 総理大臣でも やっぱ 2 遍目やと  
ほら， {笑い} なっ↑。 んー。 {笑い} んー。
- 1419A：今は ほいて むつかしどきや。
- 1420B：んー， なっ。 ん。
- 1421A：ほな あのー んて まーまー あのー 日本‘にほん’も， あー ま 一旦負け  
て， も せんちゅよんかったのも， ほれ 今頃ちょっと あの え 今のー
- 1422B：{笑い}
- 1423A：あのー 「国防」んたらいうて
- 1424B：んー。
- 1425A：なんぼか せん方がええんにやけど
- 1426B：あー。
- 1427A：んー， 「うちは 戦争はしません」と
- 1428B：ほうや。
- 1429A：あーん， わしらは ほう思うけど
- 1430B：んー。

1431A：あんまり やってやっど、 やられても 具合 悪いし

1432B：んー。

1433A：あー。

1434B：やられて、 い

1435A：まー ほいて また あの 支那も、 結構 今みたいな あーんなどこへ、 あ  
の 支那の区域へ 入るぐらいやね。 ほれを また やさあるねや、 ##。

1436B：ほうや。

1437A：んー。

1438B：{笑い}

1439A：あんなもな あの

1440B：んー。

1441A：あの一 五島列島の

1442B：なっ、

1443A：ずーっと 続きやで一、

1444B：んー。

1445A：んー。

1446B：なにきや なにきや ええ資源があると思うと、 ねろてきよんねや。

1447A：ほうや ほや。 {笑い}

1448B：ほんまに なんちゅ事はない、 なー。

1449A：ほんなもん あるやら ないやら 分からん、 海の下のほう。 んー。

1450B：ほーん。 なー、 /少し間/ まー あの ほんでも あの一 なんちゅのや、  
メイ メイド イーン ジャパーンいうてー

1451A：あーい。

1452B：土曜日に あの ドラマやっどったやろ↑。

1453A：あー

1454B：あれ、 2 回やった。んか。 今度 最終回かな、 ああゆの あるんやな やっ  
ぱ。 日本‘につぼん’から、 え あの一 え

1455A：はいはい。

1456B：技術を 取られてもて、 なー。 向こうで あの 折角 日本‘につぼん’が 考  
えてなー、 んー、 ほった 向こうが 安うでこしらえよると、 ほれに もー  
日本が 企業が 負けてまうちゅう、 んー あの ド あのだらまは まー 3  
回で やりよんねやけど、 ああいうことが ほら、 あ あることは あるんや  
ろ ほら、 んー

1457A：あー。

1458B：あー。

1459A：弱い 弱い国は、 ほら一 どっちにしろ 押さ 押される、

1460B：んー。

1461A：んー。

1462B：なー。

1463A：／少し間／ あー うちの兄貴が 言うと思ったが、 満州あたりは んーなもの  
支那人 支那人ゆて、 あのー 「ニーコ ニーコ」 ちゅうて 言うたんやて。

1464B：ほーん。

1465A：んーな もの あ ろくな生活しとりゃへん。 風呂みたいな いっこたると な  
いやつが いーつ、 みな いっとらへんで《入っとらへんで》， {笑い} ほい  
で

1466B：あー。

1467A：ほら ほうやわ。

1468B：ほー。

1469A：んー， くーさーいーいの《臭いの》， くそなえーの《臭くないの》ってって，

1470B：{笑い}

1471A：も 連隊へ 入ってきよったら もー ブーッと 臭いがするちゅ，

1472B：はー。

1473A：うーん， あんな 騎兵隊は みな あの， 馬の餌をー へー 軍隊が買いよる  
んやて。

1474B：はー…

1475A：ほいとー， ん 入ってきよるんやて。 ほの まー みな も 子供は 連れて  
来よるやら， ほんた また 人間の子供だけなら， 牛や 馬のこーまで 連れ  
て来よるねん。

1476B：{笑い}

1477A：ほいて， ダヤーーっと ズーーっと 入って行きよんねんやて。

1478B：へー。

1479A：ほいと， も 山へ もって 入って来よ##。

1480B：あー。

1481A：ほいと， あの ちんこい《小さい》 あのー 牛やったら， 馬に あの こう  
みな マスク掛けんねや。

1482B：ほー。

1483A：つかーめえる《捕まえる》のやて， {笑い} 捕まえるねやて。 ほいっと 逃  
げたあるしな。

1484B：ほー。

1485A：ほれ ひぼ《紐》が 付いてるんやで ###んで， ゴウナイで 買うて来よっ  
とる やっちゃで。

1486B：おまんどこ あのー 屋根に 上げたやろ↑， 太陽光。

1487A：おーん。

1488B：あれは ええきやい《良いかい》。

1489A：ええ。

1490B：ずーっと 毎月 なんぼか ほんでー あのー 電気 売ってー 自分とこ つこ  
てー、 まだ 銭が もらえるくらやーか。

1491A：ほや ほうや。

1492B：ずーっとな↑。 何月が 1 番 貰えるんや。

1493A：なに、

1494B：ほん 真夏も あんまりあかんとは 聞いたんや。

1495A：いやーー ほんなほとない。

1496B：ずーっと。

1497A：あのー 真夏は ほのー 暑さかの 割にはいうて、 んな 普通は よ あの  
今はねー

1498B：んー。

1499A：1 月、 んー 1 月、 まー 今 ん... うち は 知らんけど、 なんやら うち  
は 統計とって、 うちの あーのー なにや、 かれこれ いけるわ。

1500B：はーん。

1501A：はーん。

1502B：あ

1503A：ほんな ひでえ銭 要らんで。

1504B：で 電気代は 出すこと いらんか ま。

1505A：ほうや ほや。

1506B：ほいで ま、 冬向きは ちょっとー 少ないわな。 どう どうしたって。

1507A：ほうや ほや ほや。 夏で ちょっと た 高いどこがあるで、 バランスとっ  
て これで。 ほんな 多さーに 足し要らんで、 電気代。

1508B：んー、 あー な

1509A：ほんな 多いときは 3 万 8 千から つづく。

1510B：じゃ ほんだけ うー で... あの 関電から 来たっちゅうことか↑。

1511A：おー うちらが あのー 電気を 使いよるのが、 来たーるのが。

1512B：あー。

1513A：ほら おまえ辺り かなわんわね。

1514B：んー。

1515A：4 つ 部屋したら、 4 つに みな エアコン入れとくこと しやんねー。

1516B：あーー。

1517A：ほんな 贅沢な人ら、 うち一行ったら 暑いどこに いよんねや。

1518B：んー。

1519A：もー わしらー 年寄りらは んなに 暑い日には もー でけへん。 せえへん けどねー。

1520B：{笑い}

1521A：んー かまいよらへん あいつらは。

1522B：ほや、 あのー ○ ○○ちゃんどこも 上げとくわいな。

1523A：ほーん。

1524B：○○ちゃんどこも 上げやーんした。 佐野でー まだ ○○ちゃんだけや。 上げとかあるん。 あの おー, ○○＃

1525A：あやーつ《あいつ》も あやーつも, んで あのー 上げよったんや なんやら, みな 兄弟 うちあ あげとっこるや。

1526B：あー ほうか。

1527A：んー, ほいて うちない うちないって しまあんした。

1528B：ほー。

1529A：うん。 お お... あーのー, 色々やっとなのやけどー

1530B：あら。

1531A：ほらまー ほんでも あのー やっときゃー 元手は 取れるーちゅて いいよった。

1532B：んー。

1533A：ほんで あの じぶんー, 息子が言‘ゆ’った。 10年まやー ちゃんと元が取れるって ゆった。

1534B：あー ほっか。

1535A：うん。

1536B：んー。

1537A：あの 「ほんなも どうもあらへんやん」 ちゅった。 「あー こら しとかなあかん。 とうちゃん言うた, ええ事言うてくれた」 ゆて, もっといい もっとようけ しとくと 良かったんやで。

1538B：{笑い}

1539A：悪いことやったらや, 「おー 自分とこ しとくと良かったねー」ちゅうてあった。

1540B：{笑い}

1541A：って, 瓦が入ったーるが。

1542B：あー ほうか。 い 屋根の 葺き替えしようと思うと, 大変やわな。

1543A：なに,

1544B：屋根の 葺き替えしようと思うと

1545A：んー。

1546B：ちょっと 大変やわ。 ほんで まー 屋根が しっかりしたれば, ええやろけ

どな。

1547A : あー, ほんでー {笑い} みんな 屋根 あかんって言わあったよ。 どうも  
あらへん あんなもん,

1548B : んー。

1549A : あれしてもたら, もー 雨が漏れへんて {笑い}

1550B : {笑い}

1551A : はー。

1552B : ほー, え えらい 来やれんな。 ちょっと 見てこ

1553A : おーん。

談話 6

会話参加者：男性 2 名（A：1942 年生（70），B：1942 生（70））

参加者同士の関係：友人

文字化時間：1 時間 20 秒

会話収録日：2013 年 2 月

1A：まあ ガンガイ寺も もうほんとに 9 件 なってもたけど うん、 まあ どっかの寺へ え... 属するつもりやで

2B：いや まだ ほんで もう なんにもない、 1 遍 ばあさんの

3A：うん。

4B：ひちかいき《七回忌》 去年 一昨年 去年か、 うちい 今年 ばあさん 10 年目やし、 んーま したって

5A：そう。

6B：はや 10 年や。

7A：あ ほうか ほうか。

8B：ほんでー ひちかいきのどきにー、

9A：うーん。

10B：もー ほのときには もー 元々やったんやけんどー、

11A：んー。

12B：あの ○○○○〈B の親戚〉もー 良くなって ##### わしゃー

13A：ん。

14B：あ ほんで 考えて、 ほして 後ろでは ○○○〈B の妻〉と相談して、

15A：うん。

16B：ほんなら あのー 泉小の

17A：うん。

18B：あのー ○○○○さん〈B の親戚〉。

19A：うんうんうん。

20B：○○ちゃん〈B の親戚〉。

21A：うんうん。 うんうん。

22B：あれは つい 若いときに、

23A：うん。

24B：あのー 家‘いえ’へ 遊びに来てやんしたんや。

25A：あー ほうかー、

26B：あー わしの ちいさーい、 5 つか 6 つのどきに、

27A：んー。

28B：○○○○○ちゃんやか

29A：んー。

30B：あの一 ほうでねー， な あの 会所があって，

31A：んーんー。

32B：ほこへ あの ホウラク寺やったか， もー ヤワラのどこから 若い子が来てやあ  
っと。 冬は うちんどこで 遠距離で と， あの 下宿してやんしたんや。 ノ  
ムラから， ノムラの人やから，

33A：う どー あーれ ヤマシナさんがか↑。

34B：ちゃう， ほの あの ほの ○○○さんやか， みんな 仕事に行っとるところ  
の

35A：お おーおーおーおー

36B：あの一 ホウラ ん ホウラク寺やかー，

37A：おー おーおーおー

38B：あーの一... カノウ

39A：おー おー

40B：ちゃうん， あ ん ノムラ

41A：おー おー

42B：ん あそこら辺のしと《人》がー 旅行でー 行くのがええ。

43A：うーん

44B：も 昔は も 雪でー

45A：んーんー。

46B：で 出来んやろ↑。

47A：んー。

48B：ほんでー 下宿を どっか 探してくれー っちゅう事で，

49A：んー。

50B：あの一 うちんどこで えんきょう， 5人ほどが んな

51A：ほー。

52B：してやんした。

53A：ほうか。

54B：ほんで ほの ほこへ ○○○さんやか， ○○ちゃんやか， おんなし会社やで

55A：○○○さん，

56B：あん， ○○○。 も 昔は あれ ○○○○でなしに ○ ○○○て， あの一 お  
もしよい《面白い》おば お母はんが いやあったやろ， おばあ おばあ。

57A：あの 寺にか↑。

58B：おーん。

59A：お こ...

60B：○○ちゃんの ほんで おー おー お母さんやけど

61A：おーん。



- 62B：向こうで 「へへへへへ」と言うてー
- 63A：おー。
- 64B：もー 喋らあるんよ。
- 65A：おー 面白い {笑い}
- 66B：もーもー 気楽な おばはんやった。
- 67A：んーんー。
- 68B：ほんでー んーんー... ほんで ほの おばはんが ○○○ちゅう姓を
- 69A：んー。
- 70B：名乗ってあったんかな。 ほんで わしらは ○ あの ○○○○さんて、 こない  
だ 知らなかったんや。
- 71A：んー。
- 72B：○○ちゃんーん ○○ちゃんーん 言うて、
- 73A：んーんー。
- 74B：ほんでー ○○○○○ちゃんやか、 ん
- 75A：ん。
- 76B：○○ちゃんやか、 晩なると うちんどこへ えんかやい 遊びに来てやんした。
- 77A：ふーん。
- 78B：ほのどきにー、 あのー ぼ ん うちのばあさんやかー
- 79A：んー。
- 80B：わしの おふくろがー
- 81A：んーんーんー。
- 82B：あのー お茶を い あ も...いや あの 持ってったり なんやかや、 ほんで「お  
ばやーん おばやーん」ちゅって
- 83A：んーんーん。
- 84B：ちこうしたんや。 ほんで、 カマちゃんは もー あれじゃ、 ほんで 葬式のど  
きに、 ○○ちゃんも 来てくれよったやろ↑。 ほんときに一
- 85A：んーんーんー。
- 86B：○○ちゃんが 「あー 今日は 親父、 来られてよかった ○○やん。」
- 87A：んー。
- 88B：「ん、 おかやんには 世話んなってくっでー、 あのー ふん、 こうして ご縁も  
あって 良かった。」ちゅうて
- 89A：ん。
- 90B：言うてくれやんしたんや。
- 91A：ん。
- 92B：ほんで、 ななかいきこきも《七回忌の時も》、 も こら あれやし、 こら ○○  
○ 地元やけんど、 うんうん

93A : んー。

94B : ○○ちゃんに 待ってもらおうと思て。

95A : うーん ##

96B : ほんで ○○ちゃんに, 「おい ○○ちゃーん, 待ってくれへんかえー」言うたら,  
「いやー ○○○ッさん 門徒の, あそこへ わしが行くちゅのは, おかんや  
あれやけんどねー, けんどー おばやんとは 付き合い 付き合いがあるでねえー」

97A : んー。

98B : 「ほーん ほ 折角 ほう言うてくれるんやったら, わし ほなら もー あの一  
{笑い} ○ ○○○○さんが怒りよってもええで ま んな 待ったるわ」ちゅう  
て

99A : んー。

100B : 待ってくれよったんや。

101A : んーんーんー。

102B : うん, ほいぜー きちんと おっとめ《おつとめ》をして

103A : おー。

104B : おい しょー まだあと, んー... うちの6人 孫が いよるやろ↑

105A : おーおー。

106B : 孫らをな, ん ○○ちゃん

107A : うーん。

108B : あの一 ん 孫, 今日は 孫 孫, おまんどこの ○○やんどこの 孫らーと  
一緒に喋るさがえに

109A : んーんー。

110B : あの一 も お話を あの して, 説教がわりに さしてもらうんやさけい ち  
ゅうて

111A : んー。

112B : {笑い} 孫らになー

113A : んー。

114B : なんやたら かんやたら言うて

115A : んー。

116B : あの一 説教しくれやんしたんや。

117A : んーんー。

118B : ほーんで わし えー

119A : んー。

120B : あの一 七‘なな’回忌やったな ーと思て。

121A : ほー。

122B : んもー も ほんで, 親類は呼ばへん, も ただ もー 身内だけでー

- 123A : ん, んーんー。
- 124B : ちょこちょこっと やってもたんやけんどー
- 125A : んーんーんー。
- 126B : ほんで もー もー も も, ○ ○○ちゃんは い ん... ほんで, ほのあと  
もー ○○○○寺 やめたちゅう話してたらー,
- 127A : んーんー。
- 128B : ○○ちゃん自身は もー もー もー, 1年か 2年 ほとぼりが 冷めたらやね
- 129A : んーんーんー, ん。
- 130B : なんやったら うちんどこのー
- 131A : んー。
- 132B : 門徒はんになっても ええで一つと
- 133A : んーんーんーんー。
- 134B : 息子には 言とくさかえー っちゅうて
- 135A : んーんーんー。
- 136B : も 息子も もー も, だいたえー《大体》 もー, もー ええ ご縁さん な  
つとるんや。
- 137A : おー あの一 ここに いやあんのんかいな 息子さんは。
- 138B : いやある いやある おん。
- 139A : あー ほうか。
- 140B : いつでも 住職んなる あの一 もー 研修も受けて
- 141A : もー
- 142B : ちゃんと しとかある。
- 143A : もー しょだい《所帯》 持ってやあるん。
- 144B : まだ 所帯は 持ってやあらへんけんど。
- 145A : んーんーんー ん ん。
- 146B : うん。 ほんでー あの一 住職は 一応 あ の ○○ちゃんやけんどー,
- 147A : うんうんうん。
- 148B : いつでも もー わしゃー ころっと 死んだらー,
- 149A : うんうんうん。
- 150B : あの一 ど 息子に一, 住職を一
- 151A : うん。
- 152C : あの子 どこ 行 ‘いか’ あんたん。
- 153B : おっ↑。
- 154C : どこ 行かあったん。 トイレかな。
- 155B : んー んー, ちゃんと
- 156A : いんや もー

157C : ん。

158A : ん ど どか 町ん中 歩いとるやん。

159B : んー。

160C : ふーん。

161A : うん。

162C : あっ あっ これや, あん {笑い} ろく ### の あそこか。

163A : ん。

164B : お {笑い} ほんでー んー ほういう事でー, いや ま ひょっとすると ○  
○ちゃんどこへー あー い... 昨日 この ○○○○さんどこは 少ないやろ↑  
あれ 門徒が。

165C : あっ。

166A : あー ハシモトの や えー ○○○○さんは

167C : むじ ごかん #####

168B : も 2 軒かー

169C : ほんまやで

170B : にじ 2 軒か 3 軒‘げん’やろ↑。

171A : うーん うーん,

172C : うん うん

173B : ほしてー あのー ○○○がねー

174C : うん。

175A : うん。

176B : ○○○○寺 門徒やったけんどねー

177A : うん うん

178B : わしがー 薬師やってたときにー

179C : うん

180B : ○○○が ご縁さんに あの 法事をー

181C : うん。

182B : を したえさかえいに《したいさかいに》

183C : うん。

184B : あの もー 待ってくれや っちゅうて

185A : ん。

186B : あれ ○○○が 頼みもったんや。

187A : うん。

188B : ほんならな, 「あ も 分かりました」と ##### する。

189A : うん。

190B : ほのかわりー わたしも 法事は あんな 3 万ぐらいでは

- 191A：うん。
- 192C：うん。
- 193B：よいて《よせて》もらわんさかえに
- 194A：うんうん。
- 195B：普通の 法事やったら {笑い} 5万円
- 196A：うん。
- 197B：あの一 包んで うん もらわんとあかんねん っちゅうて
- 198A：うんうんうん。
- 199B：え 言いよってん。
- 200A：うーんうーん。
- 201B：あんなー ○○○○ー ○ッちゃんが、 ああいうー
- 202A：うん。
- 203B：ん ちょと あれも きついやっちゃーで。
- 204A：あーあーあー
- 205B：ほんな 馬鹿なごどないやろーんど、 お布施やろうがー 言うて
- 206A：んーんーんー。
- 207C：うん。
- 208B：な↑。
- 209C：うん。
- 210B：なんぼ包めっちゅうん お前から ほんなごと言うの おかしやないか言うて
- 211A：うーん
- 212B：結局 喧嘩してまいよってん。
- 213A：あー ほうか、 ほんなようなか。
- 214B：ほんで もー ○ ○ッちゃんが 門徒やめるって
- 215C：門徒やめるて↑。
- 216B：いうて 言いよったんやけんどー，
- 217C：うん。
- 218B：ほん やめたかって， んー 次ん んー あの 行く寺がなえがな。
- 219C：あーん。
- 220B：ほんでー あーの ○ ○○○○さんどこへー
- 221C：うん。
- 222B：あんだ せんや おまえ， あー 門徒に なるように
- 223C：あー。
- 224B：頼んでくれんやろかーっちゅうて
- 225C：あー ほんまー。 {笑い}
- 226B：## 言いよったでー，

- 227C : うーん。
- 228B : わし こっちの ご縁さんに
- 229C : んー。
- 230B : 内緒で一
- 231C : うん。
- 232B : あの ○○, あーれ ○○○○さんに
- 233C : うん。
- 234B : どうか すまんけんど
- 235C : うん。
- 236B : こういう事情やで一
- 237C : うん。
- 238B : あのー ん おまんどこの 門徒になりたえ言うとり んで
- 239C : ん。
- 240B : どうか 頼めんやろかと。
- 241C : んー。
- 242B : 言うて 頼んで。 ほんでー ほんら も まー あのー うちの門徒になっても  
らう ちゅて, ○○○は
- 243C : うん。
- 244B : あのー ○○○○さんの
- 245C : うん。
- 246B : 門徒ん ならあんしたんや。
- 247C : あ ほうかー。
- 248B : うん もう,
- 249C : んーんー↑んー↑。
- 250B : ほ けんど 話 聞いてると, 今は 2, 3 軒‘けん’やーっちゅうことは 聞いてた  
で一, ん で ま しょうが
- 251C : あの 本門徒‘ほんもんと’やろ↑。
- 252B : うんうん。
- 253C : なー。 ほんもんとー, ほんで み にわまえりはー してやあるけーどもー,  
あーん。
- 254B : 今は にわまえりも ほん, 本門徒‘ほんもんど’も もー 門徒‘もんど’ひとつや,  
もんどーだけやのに
- 255C : あ ほうかね。
- 256B : にわまえりちゅなもん ないやろ。
- 257C : あ ほうか↑。
- 258B : あー。

- 259C：ほいでもー あの ○○○さんどころはーはー
- 260B：んー。
- 261C：あの一。
- 262B：お前んどこは どこやん。
- 263C：親元↑ は、 あの ほや も 1つに してまあんた。 長浜だけ。
- 264B：ちゃ あーん、 長浜の はん 門徒は
- 265C：うん、 本門徒よ、 も ##。
- 266B：おまんどこ。
- 267C：うん。
- 268B：んー。
- 269C：うん。 ○○○さんどころでも、 本門徒は あの 長浜で、 ○○○○寺さんや。
- 270B：うん。
- 271C：うん。
- 272B：んー。
- 273C：ほんでー、 あの一 {咳払い}
- 274B：ほいや いいぞ わし。
- 275A：いや おまえ 今日 来とる。{笑い}
- 276C：なんにも あらへんや。{笑い}
- 277B：えー ほうか。 ほんでー あ お お前んどこは、 わし ぶっこそ ん あの  
ころー ん こっちがわー
- 278C：あー。
- 279B：あそこからと
- 280C：西、 西の方の お寺やと思たーん↑。
- 281B：うんうん。
- 282A：##### ちょっと おまえ ###。
- 283C：あ お一きに。
- 284A：###で 旨い###。
- 285C：んー
- 286B：ほんまや もー すまん。
- 287C：ほんでー
- 288B：ほんほんほん
- 289C：あの一 前から↑、 あ ぶ、 ○○○○さんは 関係ないんやー。
- 290B：あー ほうか、 んー
- 291C：んーんー。
- 292B：けど、 えーえ ご縁さんやで 気楽なー。
- 293C：あの 今の あ 同級生さん↑。

294B : ちゃうーん, こっちの一

295A : ちゃうん, あのー ○ ○○○○のんやろ。

296B : ○○○○の

297C : あー あの人は気楽な いい人や。

298B : ねー

299C : んー, いい人や ほんまに。

300B : んでー お前 うーんで, いっせつー あの 今だに

301C : うん

302B : あのー とあれ, うちの前を とお, 軽トラで あ けい けいで, 通らあん  
すやけんど,

303C : あ んふ ん

304B : わし 家の前に いると

305C : うん。

306B : 止まって

307C : うん。

308B : 「おえ どうしてるー」 ちゅうてー

309C : んー。

310B : はなしてー

311C : んーんー。

312B : 一緒に

313C : ほうやなー。

314B : ほんなことで。

315C : あの 人 ほんま 前からな, あーん 親切なっていうんか, あ な

316B : んーんー。

317C : 馴染みやすい, うんうん。

318B : ほうや うん。

319C : 有難いことに, うんうん。

320B : んー ほんでー, あー だいぶ 歳は違うんやけんどー, まー んー

321C : うーん, あーあー。

322B : もー, 80

323C : 歳が だいぶ違うん。

324B : お↑。

325C : あ 80 かな。

326B : 80 いくつ

327C : うん。

328B : なってやんすやろうと思うで↑。



- 329C：んーん、 ほれ ひ、 ほの割りには わこ《若く》見えるな。
- 330B：んー ほうか。
- 331C：んー。
- 332B：えー、 む 息子が ほが、 ほえ えーえ も そんがやーのに
- 333C：もー とくど とってはるやろ↑。
- 334B：んーんー。
- 335C：ん ん。
- 336B：ほんで、 あれやけんど
- 337C：ん ん。 どうか上がっておくれやす。
- 338B：いやー あー ん、 あー んー。
- 339C：なにも あてがないですけど、 ん
- 340B：も ほんまに。
- 341C：んー ほんまに、 んー
- 342B：ん しゃ も 喋らんならんと かなあん。
- 343C：あー {笑い} ### 喋りゃんなん。
- 344B：喋ってまうと、 いろいろと、
- 345C：んー。
- 346B：喋らいでも〈喋らなくても〉 ええ事まで 喋ってまう、 ほんまー。
- 347C：いやいや {笑い} ほんとに。 ほな、 内容は あれなんや。 喋ってる 湖北の  
方言がー あんの やっぱーな、 あたしらは
- 348B：あー。
- 349C：当たり前やと 思ててもー、
- 350B：うん。
- 351C：やっぱ あの
- 352B：珍しいんやろ。 んー
- 353C：## うん めず、 向こうから見ると 珍しいとこがー、 ちょいちょいと
- 354B：うん。
- 355C：あの あるどころが
- 356B：で、 おまはんらやか、
- 357C：うん。
- 358B：あの ○○、 あの ○○○○さんやらか、
- 359C：うん。
- 360B：んー んな こうして 喋ってるとこも 録画すると、 も 方言が よう
- 361C：ほう {笑い}
- 362B：余計 出てまう。
- 363C：方言が で。 ほんまやなー。

- 364B : なー。
- 365C : ほうげ 方言がー
- 366B : あー。
- 367C : ほんで ま, 気楽な同士は よけ《余計》 方言がで ん
- 368B : んー。
- 369C : 出るやろなー。 ###
- 370B : 女のしと《人》は よけー ほいて 出るやろな。
- 371C : んー {笑い} ほんまやー。
- 372B : あー。
- 373C : んー。
- 374B : けんどー
- 375C : なー んー
- 376B : 女のしとは なかなか ほの 気楽に喋るしとが 案外
- 377C : ほんまや, 少ないなー。
- 378B : 少ないらしいでー, んー。
- 379C : 少ないなー んー, ○○○さんは ええ人やけどもー。
- 380B : んー。
- 381C : なかなか, あっ あのー 趣味で 一緒にしてる人↑。
- 382B : うーん。
- 383C : うん, は 言うのは あれやけど,
- 384B : んな んな ん...
- 385C : ほんつまに 心通じるしとは, ん 中々なー
- 386B : 中々な,
- 387C : 少ないなー, うんうん。
- 388B : いや, ほい 男やかて ほうやって。
- 389C : 男やてか ほや。
- 390B : あーん。
- 391C : うん。
- 392B : もー やっぱー わじ やっぱー
- 393C : {笑い}
- 394B : ○っちゃん〈A〉とは やっか, ん 気楽になんでも 言‘ゆ’えるけんど, おんなじ 同年でも
- 395C : うん。
- 396B : ほなー
- 397C : うんうん。
- 398B : んなー おんなしようには ゆえん, 喋れんね↑。

- 399C：んな ほんまな一。 どこか やっぱ一 な↑
- 400B：ん一。
- 401C：うーん， 考え方が一
- 402B：あ一。
- 403C：ん一。
- 404B：けんど 来年は また ○○○て ○○○やか 付き合いせんならんで，
- 405C：あ一 ほっか， あ一 ほっか。
- 406B：ほの代わり おまあん，
- 407C：あつ， あん ふん。
- 408B：○○○来たで， ○○○
- 409C：ふん。
- 410B：○○， あれが 出て#####， おまえ ###。
- 411C：ほんまやな。
- 412B：ほんな， うちの○○○が
- 413C：うん。
- 414B：○○○○さんや ち言うてたら一， あ一 可哀そう どう
- 415C：ほんまやて。 場を 仕切ってまんすやろ， あの子， な一。
- 416B：ん一。
- 417C：ほんで わたしも， 婦人会んどき 弱ったんや も， うーん。
- 418B：ほやろ一。
- 419C：ほんっまに 弱った一， あの
- 420B：ほんで も一 も一
- 421C：うん。
- 422B：も， じぶ一んの
- 423C：うん。
- 424B：おっもうように
- 425C：うん。
- 426B：やってまいよるしね。
- 427C：あ一 あのしとはね。
- 428B：寺でも ほうやった。
- 429C：あ↑， 寺でも。
- 430B：寺でも わし そ 総代やってやろ。
- 431C：うん そーそー， そーそー， うーん そやそやそや， うん
- 432B：ほんで一， わしが 総代やって
- 433C：うん。
- 434B：ほいぜ， ○○○さんが 副総代

435C：うん うん。

436B：してもろてたで一，

437C：うんうんうん。

438B：あ ほんでー あー ###， お お 女の世界では

439C：うん。

440B：わしが

441C：うん。

442B：あの あれして，

443C：うん。

444B：あの一 会長で一

445A：おい，{トントントンと何かを叩く}

446B：うおー， お なんや。 {笑い}

447A：いーかいのウジやろ， こえ なー。

448B：んー。

449A：○○○○のしとが 漬けやあったんやな。 3年越しに 漬けとかあるんや。

450B：ほうれの一 おー

451A：こん こっんな いかい。 {笑い}

452C：こいで， こいで なんやで， いかーい。 {笑い}

453A：ん な フナムシや， も 米かと思うくらい。 {笑い}

454B：ほんでー あれやろ↑。

455C：うん。

456B：ほんで ○○○さんどこの ○っちゃんやな↑。

457C：うん。

458B：○っちゃんは ええー子やな↑。

459C：うーん， ええこー《子》やなー， んー。

460B：ほんで， うちの○○○が あの こんなどきに 会計が ○○○さんなったみたい。

461C：あー そうかー。

462B：んー。

463C：んーんーんー。

464B：ま ほんで まー， 最悪やわな。

465C：うーん

466B：ほんでー， ば あの 年末の 除夜の鐘のこしらえやか， そばのこしらえする

467C：うん。

468B：まー 女のしと同士が，

469C：はいはい。

- 470B：ほんでー あれ， ほんでー あれやけんど， ま あのしと もー， もー そう  
ぞう 総代の嫁さんみたいなんだけど，
- 471C：あー。
- 472B：「こうする こうする こうする こうする， 買いもんに行って こうするー」ち  
ゅような， みな
- 473C：うーん。
- 474B：うん。
- 475A：あー， ○○○○○さんの嫁さんがかー，
- 476B：んー。
- 477C：うーん， ほんで 老人会の一
- 478B：今度 役員さんや。
- 479C：役員さんに 入らあるんやって，
- 480A：うん。
- 481C：んまー ほら 仕切られてまうわ。 {笑い}
- 482A：{笑い}
- 483B：ほんで ゆいこっちあるな， うちの○○○〈Bの妻〉が言うとした。
- 484C：んー。
- 485B：○○○さん 言うこっちゃろなー
- 486A：うんうん。
- 487C：うん， まーあ， ほいで
- 488B：ほして 南では ○○○○んどこの ○○○やわ↑。
- 489C：あ ほっかな， ふんふん。
- 490B：あれやで一の↑。
- 491A：{笑い}
- 492C：あ， あのしとも 知らんぷり みたんな。
- 493B：ん もー
- 494C：なんか， {笑い}
- 495B：ほんでー 南が ほやろ↑。
- 496C：うん。
- 497B：南が わしと
- 498C：うん。
- 499B：○○○。
- 500C：うん。
- 501B：ほんで 西でが ○○○○さんとー
- 502C：とー， うん。
- 503B：お ん お...

504C : ○○○○ー, ○○○さん↑。

505B : ○○ちゃんー

506C : うん。

507B : ん おまんー, ほしてー もう 1 人 だれやった, あの○○○○か いや,  
もうひとりー 男のしとやー, 3 人 西では,

508C : あー

509B : 女のしとも まー 1 人や。

510C : あー ほうか ほうか。

511A : んーんー。

512B : んー, で 北で まー, あのー ○○○○○ちゃんー, ほんで あの ○○  
○さん,

513C : んー。

514A : んー。

515B : そんなして まー ほんでー, あの ○ッちゃんー

516C : うん。

517B : ほっと もう一人 女のしとは 誰やった。 /少し間/ あん

518A : {咳払い}

519B : 誰やったな 忘れてもたな, 誰や 女のしと。

520C : んー。

521B : あ ほんで もー こら もー ○○○さん。

522C : まっ, あ へ

523B : 来年##けど もー 夢 追いよるわ。

524C : {笑い}

525B : 言うてたら, ○○○やで, うへへっていうて

526C : で, あの

527A : {笑い}

528C : お寺で 一緒やで よう知って, 知りつくしてやあるわ。 {笑い}

529B : 知ってる 知ってる 知ってる 知ってる んなもん おー

530A : んー。

531C : まー あーの, そうでったら ええんやろけども, {笑い} 先輩がおっしゃる,  
ただでもな,

532B : うーん。

533C : うーん。

534B : あらもー, たえした《大した》もんやで, あー

535A : んー も ほんまや, あのしとに 中々 逆らえんなー。

536B : も, もー ん

- 537A : ○○○さんの嫁さんには。
- 538B : あー おまあんとこ 仕事に 行っとったん ちゃうんかい。
- 539C : ちょっとだけ
- 540B : い いちご,
- 541C : うーん いちご,
- 542A : うん。
- 543C : あんの ほいや ○○ちゃんが,
- 544B : うーん。
- 545C : あーん, ○○ちゃんが ひっか ひっぱん ひ, あの 引っ張らあんなやろ, 隣やで。
- 546B : うーんうーん。
- 547A : うんうんうん。
- 548B : まー んー まー ん。
- 549C : ん。
- 550B : ほんで わしー もー
- 551C : やっぱ しととの かん
- 552B : ○○○○寺のどきには, ま いっせつも うちんどこへも 来‘く’んしたんや あ の嫁さん。
- 553C : ほんま。
- 554B : ダーッと 2階へ 上がって 来‘く’んでや。
- 555C : ほー。
- 556B : あー しえんも あの うちの あの御飯を, あーん 食べるのどこでも あ タ バコ ペッペッペッペッ 吸うて,
- 557C : あ, ペッペッペッペッ {笑い}
- 558B : よー ほんま あれ, 喋りたおすんや。
- 559A : あーあ, あの やってな,
- 560C : ほれ ほこ
- 561A : ほんまな。
- 562B : よばれよ。
- 563A : 3年越しに 漬けとかあるで, やっぱりー あのー 漁師やってやあんねやわ。
- 564B : ん, これ おいしい。
- 565C : ほんで, なーんせ 1回に 樽に こ 幾つも 漬けるんで##。
- 566B : ほー。
- 567A : んー。
- 568B : ほんなもん おまえ,
- 569A : うん。

570B：高いこっちゃ。

571A：んなものは ほうよ， んなもん 買うたら， お こん こんな えがい ね。  
{笑い}

572C：#####， #####，

573A：{笑い}

574B：んー これは なにも なに#####， なもなか

575C：なんやろ，

576A：あー。

577B：○○○さんらー， あっか 魚 釣ってきよる。

578A：んーんー。

579B：あの一 ん フナやろ。 ニゴロではないやろ。

580A：ニゴロでは ないやろか。

581B：ほなもの こんだけ いかかったら，

582A：んー。

583B：分からん， 分からんけんど。

584A：んー。

585B：んな おいしいな。

586A：んー。

587C：ほうかな↑。 んー， 3年越しやって，

588B：あー。

589C：うん。 {笑い}

590B：んー。

591C：ほん， ほんでも どうゆーの， 硬いや

592A：いや も ん えー， カンカンと， 口の中で 噛んでたら

593B：あ ほうや， /少し間/ #####さん〈Aの母親〉 元気になってもたんねー。

594C：ちょっと 元気なってくれあつたんなー， ありがたえい うん

595B：んー。

596C：まー 飲ますんは 飲ましてんるんやけど， ん ん ん

597B：んー。

598C：んー 一時‘いちじ’なー， 弱ったんやで， うん。

599B：うん に にんにく 食つとるでか。

600C：あー にんにく {笑い}

601A：んー ほうかも分からん。

602C：うん。

603B：ねー。

604A：うーん。



- 605B：あの わしも にんにくを あれから  
 606A：んー。  
 607B：ちょいちょいと。  
 608A：うんうん。  
 609B：けんど、 あのー おまあんに もろーたやつを、 あん とばかみの おばはんに  
 610A：うん。  
 611B：1つか2つ  
 612C：あん。  
 613A：うん。  
 614B：弱つとるぜ。  
 615C：あん あん、 うん。  
 616A：うん。  
 617B：食わしたる あの ほっと 元気なりよるで一ちゅて、  
 618A：うん。  
 619B：〇〇〇〈Bの妻〉 持ってって 食わしよったら、  
 620C：うん。  
 621A：うん。  
 622B：あれー よばれたら、 ん に ほんまに 元気になったちゅうて、 電話してきよ  
       るで、  
 623C：あえっ、 電話できるの↑。  
 624B：んーで ち ちょっ、 うーん、 おんで お前  
 625C：ほっかー。  
 626B：もー あ、 にんにくの ああいうもんもあると、  
 627A：うーんうーん。  
 628B：買うては もー 持ってやらしてるんや。  
 629C：んー。  
 630B：ほんで、  
 631A：んー。  
 632B：95やけんどー おばあさんがな。  
 633C：立派やなー。 ###や ふん  
 634B：んー 昨日も、 あのー  
 635C：ふん。  
 636B：ほんなら 正月も、 あ もー 家 なぶってるでー。  
 637C：うんうん そー。  
 638B：も 施設 行けんし、  
 639C：んー。

- 640B : ほー もー 正月から こっちい も、  
641C : ふん。  
642B : あー あー ご無沙汰しとったやん。  
643C : うん。  
644B : ほんなら ### へ ○○○が、  
645C : うん。  
646B : 「姉ちゃん なんするー」ちゅうて、 ほして もー 本人も電話や、  
647C : うん、 ん ん。  
648B : 「○○○〈B の妻〉 今度 いつ来とくれるねん いつ来てくれるねん」て  
649C : んーんー あー。  
650A : んー。  
651B : ほんで まー 昨日  
652C : 電話が かけられる こ 結構なことやん。  
653B : うん、 ほんで なんや あのーー こないだ 日曜日に、あん 孫を  
654C : うん。  
655B : 家の孫を  
656C : うん。  
657B : 3 人 来とったで。  
658C : うんうんうん。  
659A : んーんー。  
660B : 孫を 連れて、  
661C : うん。  
662B : 一遍 行ってこーちゅうて  
663C : んー。  
664B : ○○○が一、  
665C : あー ほう、 つわー  
666B : あの 連れて 行こったんや。  
667C : 長‘ちょう’やもんね。  
668B : んな、 ばあさん 喜んで 喜んで。  
669C : うーん。  
670A : {咳払い} んー。  
671C : 孫の顔 見るのん 一番喜びや、 ほんーまに。  
672B : んーんー、 ひん ひ孫を、 ### なー  
673C : うん ひ孫や、 あん ほや ほっか おばあちゃん ひ孫んなるわ。 んーんー  
女の子やで 良かった。  
674B : ほんなら このまえー あれー だいぶん前やったけど、 外孫の方が

675C：うん。

676B：あ あの来て， うん 画用紙にな， ダーッと えー《絵》描いてな。

677C：うん。

678B：ほやって 「ばあちゃん 100 歳まで あん 頑張ってー」ちゅうて

679C：うん。

680B：あ えー描いて， ほしてー とばかりに 持ってこってー

681C：うーん。

682B：んー ###ら ほれを見て， ばあさん

683C：ん ん。

684B：喜んで，

685C：ん。

686A：んー。

687B：もー 孫が お 言いよるんやでー，

688A：あー

689B：も どうしてでも 100 まで生かれ， 生きんならんさか こっち， こら やっぱ  
気や，

690C：やっぱ きー《気》が

691B：気が んー

692C：ん ん 気が んー

693B：もー 生きんならんさかいつちゅう あれでー↑。

694C：んー ん。

695B：もー 元気んならあったんやーちゅうて 言うとったんやけんど。

696C：んー ほうか やっぱ きーやで， んー

697B：んー， けんど 正月

698C：あれ。

699B：に なんやな，

700C：ん。

701B：くる， くるまー

702C：うん。

703B：押してて， あ えー ひっくり返‘がえ’ってー，

704C：うん。

705B：{笑い} ほして いち 一時， もー あえ あのー

706C：庭 すぐ 出らあったん。

707B：ん ん ん そー， 外へ 出やあるんやー， んー

708C：あー。

709B：車押して， あの

710C : そうか。

711B : 生協の なんやか 貰いに行ったり,

712C : あっ

713B : 行かいでもええのんに。

714A : んー。

715B : うん。 ほんで あれやの,

716A : ん。

717B : ほんで あれやけど, 一時 弱ってやあったんやけど, けんど また うちの  
孫が行ったら, もー 喜んで。

718C : んー。

719B : ほん 元気ん 取り戻しまったーちゅうて, ほい ○○○ (B の妻) 言うとった  
で。

720C : ほーいや, ほて 女の子やで, よけ あんたー あの かわいいげなー, ま  
余計にな。

721B : ほうや。

722C : 男の子やった, そうも なつかんけんど。

723B : あ ほんで ほういうもん 描いらしたっでゆなー,

724C : かー おん, 描いたり うん。

725B : ほらー あの

726C : うん。

727B : しよと, やっぱ 年寄りっちゅうのは もー すぐ

728C : 嬉しいんや, んーんー。

729B : 嬉しいんや, ん そのー。

730C : うん うん うん, ほんで ほれが 分かるんやはかい。 あんた 自分ばかり  
飲んで,

731B : なかなかー,

732C : うん, もー おっかあ おばあちゃん, 立派なもんやーなー, ん

733B : 95 やでなー,

734A : んー。

735C : 95 で ほれでは あんた, 電話 掛けられる。

736B : うん, どー どや

737C : うちのおばあちゃん, も ぜーんぜん ほんな 電話みたい 掛けられんかった  
で。

738B : あー ほうか。

739C : うん, もー 94 ぐらいからな, ちょっと やっぱり あれやったけどもー,

740B : けど もー

- 741C：うん。
- 742B：ん もー 落ち着いたやろ， おばやん＃。 やっぱー 思い出すか おばやん。
- 743C：いやー けっ あっ，
- 744A：まー ほうやな。 あーーー。
- 745B：ほいで， い い やっぱ 今だに やっぱ， あのー おかやんの 思い出すぞ。
- 746C：んーんー， ほらな。
- 747A：んー んー ほらー ほらー…。
- 748C：〇〇ちゃん〈B〉は やっぱ 情が深いで， んー
- 749B：んー いー。
- 750A：んー いやー ほらー もー 思いだして 当たり前や， ほら 時々
- 751B：うん。
- 752C：言‘ゆ’わあれンだけで， んーんー。
- 753A：んー。
- 754B：んー ま やっぱ， なんちゅうと おか《おかあ》ばっかり 夢へ 出て来よる  
な。
- 755C：んー。
- 756B：嫁さんは ちょっとも 見よらん。
- 757C：あーあー ほらほやな， うん ほやろ。
- 758B：んー。
- 759C：うん。
- 760B：ほんで おかしなもんやねー， で
- 761C：うん。
- 762B：で もー んー あの 死ぬ前 1か月 入院しやあったときに
- 763C：ん
- 764B：もー わし ひとつつも 喋らなんだ。 喋ってくれよらなんだんや もー 〃〃，
- 765C：うんうん。 うんうんうん。
- 766A：うんうん。
- 767B：ほんで 看護婦さんが みんな 弱ったあんね。
- 768C：うん。
- 769A：んー。
- 770B：「〇〇〇〇さん お尋ねしますけど」 っちゅ， 看護婦さんが言うよんねん。
- 771C：ん。
- 772B：「なんですえんな」 ちゅうて
- 773C：なんですえんなって，
- 774B：あのー この おばあさんの あのーー よ 娘さんの
- 775C：うん。

776B：ん ごようっさん《ご養子さん》ですかー、 あー あ て

777C：{笑い}

778B：ほんで ○○○〈Bの妻〉が もー 娘やーと 思て、

779C：あー いつも 行きどおしで、 うんうんうんうん。

780B：ほんなもんや。

781C：うん。

782B：ほんで まー あの、 わしがー あ 見舞いに行くと、 ぼっと横向いてまあった  
しな一。

783C：あー ほうか。

784B：あーら もんで、 まー ほんで 1か月入院しやったけど、 一遍も「すまん  
ね」ひと言 言われなんだしー、

785C：あー ほうかね# #

786A：んーんー。

787B：ほ んー、 ワーッて 横 向いてやあった。

788A：んー

789B：けど やっぱ 今だに もー 10年経ったかて、

790A：んー。

791B：ほかの夢は まだ いっせつ 見るねえと思うて、 ほんで お前も も、

792A：ん。

793B：ま そやって もー わする《忘れる》、 わするっちゅうことは できん、 でき  
んやろ。

794A：ほうや ほうや、 んー

795B：あー。

796A：ん やっぱな一、 ほら {咳き込む} なにかにつけて おん 思いが 強烈なんの  
は、 親父の方が

797B：うん。

798A：遺書を 残しといてくれたしー

799B：ん。

800A：あの一 遺書を 思い出すわ。

801B：んー。

802A：んー、 あ... あの 思い出が

803B：ほんで一、 こ こないだ一

804A：んー。

805B：いや あの一 ん 家潰したやろ↑、 隠居を

806A：ほーほーほーほー

807B：ほんなら あの、 潰しとる時 あの一

808A：ん ん。

809B：お 表で ○○○○のお父さん 喋ってたんや。

810A：ほーほー。

811B：これな、 建てた時に わーしゃ 銭がのうて

812A：んーんー。

813B：ほのー あ は 新しい や さらの ゆ 隠居でなしにー

814A：んーんー。

815B：ま とにかく 結婚せんならんで

816A：んー。

817B：あのー 1つ家にはー ほか 居られんし、 前の おおばあさんも いやあるし

818A：んー。

819B：ほんで おっかあと おおばあさんとが 言ってくれあるように、 ま 小屋やけ  
んど、 あー んー なんやろうか、 あのー ###つつ ハシモトのそうやに  
頼んだら

820A：んー。

821B：あの ○○○○さんがー、

822A：んーんー。

823B：あの小屋をー 潰してー、 あ... あの ほのまま も 持ってって 建てたらえ  
えぐらえのー

824A：んーんー。

825B：あれは あるで、 ほれー 「頼んでみたうかー」ちゅうてー、 そうやに 頼んで  
もろて、 ○○○○さんの小屋を

826A：あー ほうかー。

827B：うん、 ほんで ほのどきにー、 あのー 建てたんやけんどー

828A：うん。

829B：ほんで ○○○○のじいさん、 あー あのー 建てに来てくれやあったんや。

830A：んー。

831B：ほんどのきのお おまはんどこの おっさんが

832A：うーん。

833B：まーいにち 来てくれやあったんや。 ほして、 おっさんがー あのー たん 田  
んぼで 土を

834A：うーんうーんうーん。

835B：あのー。

836A：こんな 壁土をー、 おー

837B：はー はめてもろうて、 みな おっさんに してもうたんやでー。

838A：んーんーんー。

839B：ほしてー 藁切ってー， や こ あ こねてー

840A：んー。

841B：ほしてー あのー あ 壁土

842A：うーん んー。

843B：おっさんに 塗り方も 教えてもらうて

844A：うーん んー。

845B：ほして わしも塗り， おっさんが ほとんど こゆふうに してもてやって

846A：んーー

847B：ほん， ほんで 覚えてるんや。 ほんで こないだ 潰すときに， え 喋ってだ  
んや お父さんに。

848A：んー。

849B：これは わしが 銭がねえどきに

850A：んー。

851B：無理して まー 建ててもうた， ほんどきに ##のおっさんが， まいーにち  
てつどうて《手伝って》くれあったんや， ほんで お陰さんで 建ったんやけど，  
ほれを また これ， わー わし 元気で 今度は ほのー 隠居をやなー

852A：んーんー。

853B：この 壁土を 落とせるんやと。

854A：んー。

855B：わしやー

856A：んー。 {笑い}

857B：喜ばなあかんなー ちゅうて

858A：うーんうーん。

859B：んー おっさんに 喋ってたんやー， お父さんにー。

860A：うーんうーんうーん。

861B：ほーら おめでたいこっちゃーでー ちゅうてー。

862A：んーんーんー。

863B：んー。

864A：あれー あのー お... ○○○さんから もろてったー あ あ い 隠居つつう  
のは， なんげん《何間》に なんげんぐらいの大きさやった↑。

865B：うーん， 3げんにー 2けん，

866A：おー， ほーほー。

867B：2けんに 3げん。 お ほんで， ばあさーん やー 1人はー

868A：おーおーおー。

869B：あのー ん... らーくに《楽に》 ふた部屋あったんや， うん。

870A：ほら， ほらー ほら ほうやわな。



- 871B：けんどー 前のばあさんがー
- 872A：うんうん。
- 873B：あ ほんで、 ほっちい行っつけー 言うたんやけんどー
- 874A：うんうんうん。
- 875B：ほんなどこ わしゃ一行かーん ちゅうて
- 876A：うんうんうん。
- 877B：あの一 こっちの {笑いながら} 母屋の方
- 878A：んー。
- 879B：座敷で一
- 880A：んーんー。
- 881B：あの一 ###んせんであつた。
- 882A：おー。 {笑い}
- 883B：ほんで わしらーは で 新婚か、 2階の部屋で
- 884A：んー。
- 885B：寝てたんやけんどー
- 886A：んーんーんー。
- 887B：うーん、 ほんで おっかだけは も 隠居へ 行ってくれよつたんや、 んー。
- 888A：んーんーんーんー、 んー。
- 889B：ほんで あーの んん、 まー おれ はや10年やが、 けんどもー やっぱ な  
んにも ないようになると 淋しいなと思って
- 890A：んー。
- 891B：思てたん。
- 892A：んーんー、 {咳払い}
- 893B：あんたとこの おっさんには ま 色々世話んなつたわい。
- 894A：ん、 ほんたな、 まー
- 895B：きめざきにー
- 896A：んーんー。
- 897B：お前、 よう知っ 知っててくれるやろー。 あの一 トバかにー
- 898A：おーん。
- 899B：##らんならんでー
- 900A：んー。
- 901B：あーん あれやら あれしたら、 まー もーのすのう《ものすごく》 大雪やっ  
てん。
- 902A：おー。
- 903B：今日 キメザイケやっちゅうのに。
- 904A：ほーほーほー。

905B : ほんならー おっさんが,

906A : んー。

907B : あのー あれや こ 雪が おおて《多くて》, もー 今日は ちゅう《中止》を  
もー 決めたって も, 「もー やめなしょうがないねー」ちゅうて やめてたぐ  
らいやに

908A : んー。

909B : おっさんは あん時は オートバイで 来てくれやあったんや。

910A : んー。

911B : ほんで 「これから 行ってくる ###があるに」っていって

912A : ほーほーほー。 ほら ほー。

913B : あんとき おっさん 行ってくれやあったんや。

914A : あー ほうかー。

915B : けんどなー

916A : んー。

917B : あのー あそこまで, ホンジョウまでは 無理にオートバイで行けたって。

918A : んー。

919B : もーー ほっからー

920A : ん。

921B : 行いけんで。

922A : ん。

923B : んもー ホンジョウにー

924A : ん。

925B : オートバイ預けて 行って

926A : ん。

927B : トバ###まで

928A : んー。

929B : 雪ん中を ま 歩いてー

930A : うんうん。

931B : もー ざ 酒だけ持って

932A : {笑い}

933B : 行って来たんやて。

934A : ん。

935B : ほんなら, もー あー #####で行っただけに, も 雪ん中へ あれや ド  
ボドボやって, 下が。

936A : んーんー。

937B : ほんならー ○○○○のばあさんが

938A：んー。

939B：折角 来てくれやあったんやでー、 上がってもらわなあかんでーちゅうてー。

940A：んー。

941B：あの一 ○○○○のじいさんの

942A：んー

943B：あの さらの バッチやか なんやかん みな下着を 出して

944A：んんん。

945B：ほして 「これを とにかく 着ておくんないや」と言うてー

946A：んー。

947B：ほんで おー あー ○○○○のじいさんの

948A：んー。

949B：パンツまで さら あ

950A：んん。

951B：は は 履き替えさしてもろうて

952A：ほー。

953B：ほして キメザイケ して来たんやっちゅうて、

954A：{笑い}

955B：うん。

956A：ほーかー。

957B：ん ほれを一 お前んどこの おっさんが 言うてあった。

958A：んー

959B：「まー ひどえー天気やったわいや」っちゅうて 言わあった。

960A：{笑い}

961B：んー ほんで。

962A：おまんは一 あー いん えー 昭和 17 年、 んーの はや あーん 午‘うま’ど  
しー いー 早生まれんもんなー。 2 月かえ 3 月

963B：にん 2 月や 2 月

964A：2 月の何日やった。

965B：2 日‘ふつか’。

966A：あ 2 月 2 日か。

967B：うん、 2 月 2 日。

968A：おーん。

969B：生まれ 17 年の

970A：おーんおーん。

971B：○○○○○○○○さんが

972A：うん。

973B : 16 年の

974A : うん。

975B : 2 月 2 日や。

976A : あ ほうかー。

977B : ん ひとつ違うんやったで。

978A : わしがー 1 月 21 日やで。

979B : あー。

980A : もー ま 10 日‘とおか’ほどの違いやなー {咳払い} うん。

981B : ほんでー, あのー あれや

982A : {咳払い}

983B : んー。ほんなら 家の 家壊しのどきに

984A : んー。

985B : ほいたら, あの 前の 祖父さん, わしの祖父さんや。

986A : うんうん。

987B : あ ほんだ 写真が出てきたんや。

988A : ほうほうほうほう。

989B : でー こら これだけやなっちゅ, ほうら ま 話やも

990A : んー。

991B : ほいたら ○○○○の これ うちの わしの祖父さんや。

992A : んーんーんー。

993B : んでなー これなー 確かなー, あの 死ぬ前に 撮らあったんや。

994A : ん。

995B : ほんで 昭和 17 年‘じゅうひちねん’にー, あん 撮らあったんやけんどー。

996A : んー。

997B : ほんで ほのどきのー あのー 祖母さんから 聞いてる話も, ○○○○のお父  
さん 死んだんや↑。ほんならー あのー この写真 撮る前にー, あのー ま  
元気が 良かったどきに, おん わしは 2 月 2 日や, お前は 1 月 なんぼ い  
つやでー。

998A : 21, おんおん。

999B : ほして お前が はじーめて

1000A : うん。

1001B : あのー 南の うちの家へー

1002A : んー。

1003B : あ 天気が 良かってー

1004A : んーんー。

1005B : あのー おばやんが つ, あん 抱いて 連れて来やあったんやて。

- 1006A：んーんーんー。
- 1007B：ほんで うちの祖父さんに、 こやーって
- 1008A：ん。
- 1009B：あの一 見せる為に。
- 1010A：んー。
- 1011B：ほんだら わしが 生まれたときでー、
- 1012A：んーんー。
- 1013B：うん あの 祖父さん 喜んでー
- 1014A：んー。
- 1015B：「うわー もー」。 ほの ほんでー、 ほの あの 「〇〇〇〇が 今日は 来てくれたで、 〇〇〇〇が 来てくれた」 っちゅうてー
- 1016A：うん
- 1017B：んー もー、 まーご《孫》をー
- 1018A：んー
- 1019B：抱きー、 ほいて わしを抱いて
- 1020A：うん
- 1021B：ほして 喜ばあったって、 あの 祖父さんが。
- 1022A：祖父さん お前、 〇〇〇〇〇さんやろ。
- 1023B：〇〇〇〇〇さん。
- 1024A：〇〇〇〇〇さんが、
- 1025B：ほー。
- 1026A：ほー、 んー。
- 1027B：で、 「今日は 〇〇〇〇が来てくれたんや、 来て、 よう来てくれたんや」 ちゅうて
- 1028A：うーん。
- 1029B：喜ばあったんやっちゅうて、 あの一 ん 祖母さん 言うとったで。
- 1030A：うーん。
- 1031B：あ ほーおか、 ほんで 「あのどきの写真やな」 っちゅうて
- 1032A：んー。
- 1033B：喋ったことあるんや。
- 1034A：んーんーんー。
- 1035B：ほんな もー ん ガリガリでな一、 やーもー
- 1036A：あ 〇〇、 あ 〇〇〇〇〇が↑
- 1037B：〇〇 〇〇が、 おーん
- 1038A：おーおー。
- 1039B：うんも うんも、 丁度 ほんでも ヤマシナの あの おばあ、

1040A：んー。

1041B：あの一 お前の お前のおばあ、 になるんかな あのしとは。 おばやんの一お  
っかあやで、

1042A：ん。

1043B：お〇〇さんたら いいよった。

1044A：んんんん。

1045B：あ一のしとに よう似た あの 顔立ちのしと。

1046A：お〇〇さんは おまんどこから 行ってやある し しと《人》やろ↑。

1047B：うん。

1048A：うんうんうんうん。

1049B：ほんで一 ほれの 兄‘あに’さんやねん、

1050A：んんんん。

1051B：せえな一 あのしとがな↑。

1052A：〇〇〇〇〇さんがな↑。

1053B：うんうん。

1054A：うんうんうん。 うーん。 /少し間/ ほんで おら一

1055B：ほんで

1056A：〇〇〇 〇〇〇〇〇さんは、 んな おまんどころ 大事に してやったけど、 あ  
っとの 今のこー《子》は ほういう関係も 知らんさへんやろ。

1057B：んー。

1058A：十分 知らんさへんと思うわ。

1059B：けんどねー

1060A：うーん。

1061B：あの一 あれや あの一 〇 〇〇〇の、 ん あの

1062A：ん 〇〇〇ちゃん、 ん

1063B：〇〇〇ちゃんなんかは も一 今だに ん あの一 電話してこんきで。

1064A：んあーあーあーあー。

1065B：ほして一 まだ あの、 まー ちは 娘が いやで。

1066A：うーん。

1067B：あの一 あ 〇〇ちゃんも いつやら一遍 うちの息子に えー 嫁に 来てくれ  
んかーちゅうて。

1068A：んー。

1069B：嫁さんと一緒に 話しに 来てくれよ。 き

1070A：うん。

1071B：行きよったの 知ってるしー。

1072A：うんうんうん。

- 1073B：んー けんど ほうらま， ご縁がなかったで。
- 1074A：ん ん...
- 1075B：{笑い}
- 1076A：{笑い}
- 1077B：はー。
- 1078A：{笑い}
- 1079B：そんなに ### なあかん。
- 1080A：###， 硬いな。
- 1081B：ほんでー あれやけんどー， けんど ○○しゃんなんかは， ほらー やっぱ，  
よう知っとる。 ○○○ちゃんも 千葉 あのー ハタマチ， あ 嫁に行かあん  
してからー。
- 1082A：んんん。
- 1083B：泊めてもろうたの 覚えてるしー。
- 1084A：あー ほうか。
- 1085B：千葉へ。
- 1086A：んー。
- 1087B：あん， 東京の ほんでー あのー お おっさんがー， おっさんの ん こー  
《子》や， ん 今 言うてる ○○ ○○○○○さんの
- 1088A：うん。
- 1089B：弟っちゅうなん ま 東京へ お あ...。
- 1090A：ん。
- 1091B：行ってあったんや。
- 1092A：うん。
- 1093B：ほの人のこー《子》が 死なあったときにー。
- 1094A：うん。
- 1095B：あのー んー 香典を もー 送ろまいか言うたけんど。
- 1096A：んんん。
- 1097B：○○○○の あのおっさんが， あーゆう 固いおっさんへ
- 1098A：んんん。
- 1099B：「あかん
- 1100A：んんん。
- 1101B：葬式が わざわざ 連絡が来たんやでー，
- 1102A：うん。
- 1103B：行かなあかんねや」 ちゅうて，
- 1104A：んーんー。
- 1105B：いや おっさん 言わあってん。

- 1106A : うん んー。
- 1107B : ほんで あのー ○○○○のおじいと
- 1108A : うんうんうん。
- 1109B : ほして あのー 大阪の
- 1110A : うんうん。
- 1111B : おっさんも
- 1112A : うんうん。
- 1113B : あんー このー 東京, あほえ 駅で 会おうちゅうて,
- 1114A : うん んー。
- 1115B : いうことで, おっさんも 来やあったんやしー。 ほして あのー
- 1116A : {咳き込む}
- 1117B : ○○○○ ○○○○さん。
- 1118A : うんうんうん。
- 1119B : ○○○○さん。 ほして わしと
- 1120A : うん。
- 1121B : 4 人が ほの 葬式に 行ったんや。
- 1122A : ○○○○さんは ん まだー あ, いやあるわな↑。
- 1123B : ん, いやある いやある。
- 1124A : {笑い}
- 1125B : うん。
- 1126A : あれーの うちの 祖母さんの 葬式のときには 来てくれやあったさかい。
- 1127B : んー。
- 1128A : もー もー
- 1129B : 葬式のときにも 来たんかなー↑。
- 1130A : ほうやな。
- 1131B : んー。
- 1132A : あえ あーのー
- 1133B : どーおしても 行くっちゅうて
- 1134A : ほうやもんがな。
- 1135B : 行かあんねやった。
- 1136A : ほんま まー いやー 寄してもらわんならんさかい, ###。
- 1137B : ほんでー ほんでー 行ったら, 東京は まー あのー ああいうことで, よ  
うけー あれやと 火葬場がいっぱいやで。
- 1138A : うん。
- 1139B : 葬式を 延ばしたりしよるんやもん。
- 1140A : うん。



- 1141B：ほんで お前 行って， ほして 東京の あのー 葛飾区やーで。
- 1142A：うんうんうん。
- 1143B：明日 葬式や 言うてたら
- 1144A：うん。
- 1145B：いや， 火葬場の 関係で あさってに 葬式やっちゅう話や。 ほんで， こん  
なー だー 葬式やっちゅうて バタバタしとるどこで 泊まる訳にいかんしー  
ほんなら ○○○○の おっさんが
- 1146A：うん。
- 1147B：ここまで 来てるんやったら， あのー 大阪のおっさんに
- 1148A：うん。
- 1149B：あの 千葉の ○○○○を
- 1150A：うん。
- 1151B：ほんで 泊まろうと。
- 1152A：うん。
- 1153B：ほっと ゆくりして， あれやで，
- 1154A：{咳き込みながら} うん。
- 1155B：ほって。
- 1156A：うーん。
- 1157B：ほんで 電話せえっちゅ， ほんで 大阪の おっさんが 電話したら
- 1158A：うん。
- 1159B：出てきねえーと。
- 1160A：んー。
- 1161B：ほんで お前， 最終 {笑い}
- 1162A：んー。
- 1163B：電車に 乗ってなー， ほしてー あ...
- 1164A：あーの， 京都の ○○○○○○さんが 死なんしたのは， 知ってるん。
- 1165B：ううん ちゃうん， ほれを 一遍 聞こうと 思ってたん。
- 1166A：あー あ， こないだなー， んー ほのー ほの 葬式の朝に 電話 掛かって  
きたんや。
- 1167B：ん。
- 1168A：で も， はよーに 死んでやんしたんや。 で， あーのー
- 1169B：き きけ きみ き ○○○ちゃん。
- 1170A：○○○○○ ○○○○○さん， ○ ○○○さんは一
- 1171B：んー。
- 1172A：○○○さんは一 元気なやかやー。 {笑い}
- 1173B：あの なんか 体が ちょっと

1174A : ほーやほやほやほや.

1175B : ほじゃ ほの兄貴やろ↑.

1176A : あっ.

1177B : お お前の い 嫁の 貰いのどきに 一杯飲んで, どこやら 小屋ん中へ は  
い 入ってもて.

1178A : {笑い}

1179B : えー いつも###なー, え 元気なー.

1180A : ほーやほやほや.

1181B : んー, ほんで ほ ほの子は ほんで, どう どうしてるんやろな, 一遍 ○  
○ちゃん〈A〉に聞こうと思て, 思ててん.

1182A : あー, もーな, あーのー 筋肉が 委縮する病気が なんちゅんやな.

1183B : んー.

1184A : あー メニヘルちゅう病‘びょう’でない. {息を吸い込む} えー, ほれで ま  
あの 山登りーを, をー やってやんした あの子が,

1185B : うんうん.

1186A : だから だーっと やってやんしたんやー.

1187B : 阪急 行ってた子やろ↑.

1188A : ほやほやほや. ほんでー えー この いっ, 1月のー

1189B : うん.

1190A : 10 日に 亡くならあんしてー, んで 13 日のー まー 「今日 お葬式をやる  
んや」って, あーの このー 三河の○○○ちゃんから 電話があんねや. ほ  
んで「わたし行こうと思ってるんやーが, ちょっと お お知らせだけしとくわ」  
っちゅことで.

1191B : ほんで お前

1192A : おい.

1193B : 行った, 行ってたん.

1194A : 行ってたんや ほんで,

1195B : うーーん ほうか.

1196A : ほんでー, あの ○○ちゃんどことー

1197B : ん.

1198A : あーの ○○○○さんどこはー, 知らしとかんと あーの あこまいちゅうこと  
でー.

1199B : んー.

1200A : えー ま ○○○さんが 言うもんやでーちゅことで,

1201B : ん.

1202A : ん 電話くれやんしたけど, で ○○○さんがー 迎えに 来てくれやんしたも

んやで まー 行ったん。

1203B : んー。

1204A : で、 なっ あー ふた、 ふつかあるんやけんども、 普通やったら ま 今日午前中に 死なあったら、 あ あ... あくるひー《日》に 葬式みたいなもんやけど、 お ほれ もー あの う... 葬儀じょ《場》、 あのー 火葬場‘かそうじょう’が 足んねやなー。

1205B : んーんー。 {笑い}

1206A : 市営の 火葬場やでー、 その順番

1207B : ねー。

1208A : 順番待ちやー。

1209B : んー。

1210A : ほんで、 ひっどいしと《人》は も、 4日‘よつか’も 5日‘いつか’も いっしゅかん《1週間》も 待たあるしとが あるらしいで。

1211B : ほー。

1212A : {笑い}

1213B : ほら。 ちゃうん、 ほかの お お もー そ この前の お前どこの 葬式のどきにー

1214A : んんん。

1215B : あのどきに 家‘いえ’ いんでー《帰って》、 うちの〇〇〇〈Bの妻〉に 喋ってたんやんか。 京都の 姉妹‘きょうだい’を 女姉妹を、 ミカ始めー あのー なんやら、 火葬場‘かそうば’へ行ったあともー、

1216A : うんうんうん。

1217B : 5人 寄って、

1218A : んー。

1219B : ほんぜー あのー なにやらに あん わしの傍‘はた’へ 行って 喋って やったけんどもー。

1220A : んんー。

1221B : 〇〇ちゃんやか 〇〇〇ちゃんは、

1222A : んー。

1223B : 顔が みーに、 見なんだでー

1224A : んん。

1225B : あんの ほんで まー い 葬式 いんでー《帰って》、

1226A : んん。

1227B : うちの〇〇〇に 「女ばっか来たなー 姉妹‘きょうだい’ばっか来とったけんどもー、  
どんなやろな 思うぐらい 〇〇〇ちゃんらーは

1228A : んー。

1229B：あの一 ん 付き合いなやで一。

1230A：ん一。

1231B：もう 死んで い一， も一 死んでまわあしたんかな， どう どうやろうな一，  
一遍 ○○ちゃんに 聞かなあかんね一」ちゅうて

1232A：ん一

1233B：ほやかて あの一 わしとは 1つか 2つ上やろ↑。 あの一

1234A：○○○さんは 2つ上で， ○○○さんが1つ上や。

1235B：あ一 ほやろな一。 んん一。

1236A：ん一 年子や。 あ一 ほんで， ○○○さんの方が 元気ななってやんすで 今  
は。

1237B：あ一一。

1238A：は一は一。

1239B：体が ちょっと 不自由やったで あの子は

1240A：ん一ん一ん一ん一。

1241B：ん一， けんど一 あの一 元気のええ子やったで。

1242A：ん ん...

1243B：うん， ま一 ここえら ## #せすぎて一

1244A：ほうやな。

1245B：ま一 ね一， お前の嫁も なんやのできでも ま一 賑やかで， ○○○さんと

1246A：{笑い}

1247B：やっちった も一 {笑い}

1248A：ん一 /少し間/ ほれが ほの も一 葬式の どきに一， これ どこの あ  
一の 嫁入りの 写真や 分からんねやけど ちって， ほの 息子の ○○○○  
っちゅうこ一が こんな写真ブックを 出して来よったんやがな。

1249B：うん。

1250A：見たら なんのとない， ぼくの一

1251B：嫁はん貰いやろ。

1252A：ほの一 荷材料さんと一， に ん に... 荷受けのどきの

1253B：あ一 {笑い} 写真か。

1254A：行列の 写真やね。

1255B：あ一ん あ一ん あ一。

1256A：ほ一こで ほら一 あ一 ○○○さんは も ちこ一しよう {笑い} 一升を こ  
一して ラッパ飲みしながらよ。

1257B：{笑い} お一お一お一。

1258A：ほれが 出てきたんや。

1259B：ほら。

- 1260A : {笑い}
- 1261B : {笑い} やっとったでー。
- 1262A : うーん。
- 1263B : ○○○○も よう 行ったけど、 あの頃は どっちかいうと、 ○○○○の方が  
よけ来たやろ。
- 1264A : ほや。
- 1265B : な↑。
- 1266A : あーのー やっぱー あの お袋がな
- 1267B : んー。
- 1268A : あー ばあさんの 存在が
- 1269B : おばさんやでなー。
- 1270A : 大きかった。
- 1271B : ほして おーっさんがー
- 1272A : んー。
- 1273B : おーとなし人やで、 ほんな だ#や ごちやごちやとー
- 1274A : うーん。
- 1275B : いわあれん人やったでー。
- 1276A : んー。
- 1277B : うーん。 ほんで わしらも、 ほんなもん 又従兄弟っちゅなもんは、 ほんー  
まに あれやけど、 けど あの頃やども みな お おも 思い出があるも  
ん。
- 1278A : んー。
- 1279B : 小さいときになー。
- 1280A : んーんー。
- 1281B : ○○○○の ○, あ ○○ちゃんやか
- 1282A : んー。
- 1283B : ほんでも もー, 懐かしいしなー。
- 1284A : んー。
- 1285B : /少し間/ けど こないだ おまあんどこの 葬式は、 顔が 見なんだでー。
- 1286A : んー。
- 1287B : 他へ寄って、 京都の あの一 女のしとらーに、 聞く訳にもいかんしー。
- 1288A : {笑い} んー。
- 1289B : ほんなら こないだなー, ジャスコへ 買いもんに行ったら、 三河のな
- 1290A : んーんー。
- 1291B : あの一 なんや あの一 あ おばやんが
- 1292A : きょう###。

1293B：息子と 買いもんに 来てやあったんや。

1294A：おー。

1295B：息子が 連れて来て。

1296A：うん。

1297B：あの ### おばやんを 連れて，

1298A：うんうんうん。

1299B：あの一 買いもんに 来てやんしたんや。

1300A：んー。

1301B：ほんなら あの わしが まんだーな， ほの 息子の ん さんがな一，

1302A：うんうん。

1303B：「こんにちは一」ちゅうて。

1304A：うんうん。

1305B：言うてくれあった。

1306A：うんうん。

1307B：わしに

1308A：うんうん。

1309B：んで あ 覚えてやあるんやなー， んで あの んー ○○○○経理事務所の

1310A：んー。

1311B：あら あの その 死なあったときに， あの一 あと##やね わし， 言っ  
ったんやわー。

1312A：んーんーんー。

1313B：ん わざわざ↑。

1314A：んー。

1315B：ほのどきに あ一の 息子さん， 会うて

1316A：んんーんー。

1317B：喋ったで。

1318A：んー。

1319B：ほーん ほえで覚えてやあったんやろな。

1320A：んーんー。

1321B：ほんか， このしと 固いしとやなーと思て，

1322A：んーんー。

1323B：まだ おばやんは 元気にしてあった， あの 歩いて 買いもんしてあったで一。

1324A：おー あ一のー やっぱりなー， 乳母ぐるまー ないごとには 杖がないごと  
には

1325B：んー。

1326A：あ あ... あかんよなったけどなー， あの ○○○○ちゃんも。

- 1327B: けんど 押してない, あの 散歩で 歩いてるのは, あのー 京都の あの こ  
 っちい も 来てるわな, あの
- 1328A: あーあーあー, ○ ○○○ちゃん
- 1329B: ○○○か。
- 1330A: ○○○, うん。
- 1331B: どっか こくら辺 ### やろ↑。
- 1332A: シンジョウ, 寺にいるよ。
- 1333B: ほんで あーの あくる日の なんか, も 祭りかなんかしたときに, 「だえ  
 ーこ《大根》もろてくわー」ただ言うて
- 1334A: おお おーおーおーおー…
- 1335B: だけい 来とったが。
- 1336A: おー ほやほや。
- 1337B: ほんで どっかここーらに ん, ほんな 散歩で あ 歩いてるんよ。
- 1338A: ほうやほやほや。
- 1339B: ○○○○とも。
- 1340A: うーん, 女のしと 3人と 一緒に
- 1341B: ん。
- 1342A: 歩いてやんすーよー。 んー。
- 1343B: ん ほんで わしー 畑へ行くとなー
- 1344A: お。
- 1345B: ときたま 向こから ずーっと こ, #### な
- 1346A: んんん。
- 1347B: きやすんやけんどー
- 1348A: んんん。
- 1349B: あーの もー もー しゃ 会うと, し 喋らんならんでー
- 1350A: んーんーんー。
- 1351B: かなわんさかいにー {笑い}
- 1352A: {笑い}
- 1353B: はや もー ちょっと ざー, 畑の方へ 走っててまうんやけんどー
- 1354A: んーんーんー。
- 1355B: あの子も しゃ 喋りかけると 長い子やで。
- 1356A: いや ほんまなー。
- 1357B: おっ↑。
- 1358A: 喋りかけると ###。 {笑い}
- 1359B: 「ご機嫌さーん」ちゅ#### 話になってたらー
- 1360A: {笑い}

1361B：うーん。

1362A：んー。

1363B：ほうかー， あんー こっちに 居やんすんやな。

1364A：んー /少し間/ あー

1365B：中々， あのー あれや。 けんど ○○ちゃんも あんまー すっとせなんだら  
しいけんど ねー。

1366A：うん， ○○ちゃん↑

1367B：うん。

1368A：んー， ちょっとな 耳が 遠なってやんすしなー。

1369B：んー。

1370A：でー 喋ってる事が うまいこと 通じたるんかどうか， 分からんよんなってきたやある。

1371B：けんど おまは おまはんどこの 葬式のときにはー

1372A：うーん。

1373B：来てやんしたでー。

1374A：んーんー。

1375B：やはえ 結構 言うとったで。

1376A：{笑い}

1377B：「○○○○では こんな事するんかえー」たら言うてー。

1378A：ほうか。

1379B：うん。 ## #受けのときに， こっちい あのー ○○○○と

1380A：うんうんうん。

1381B：うづされて， ○○○○ 言うで こっちい 座ったあんねん，

1382A：うんうんうん。

1383B：ほのどき お前ら こっちい 座ってたけんど，

1384A：おーおーおー。

1385B：座布団 ひかなんだ。

1386A：おー。

1387B：ほんでー ほんでー んー こー あの ○○○○が

1388A：んー。

1389B：わしらはー あのー ん 座布団 ひけるさけーに

1390A：んー。

1391B：ひこーゆーて。

1392A：んー。

1393B：えー 2人が ひいてから

1394A：うーん。



- 1395B：○○ちゃん、 お前 足が 悪いのに  
 1396A：んー。  
 1397B：わしのどこへ 出てきよった。  
 1398A：ほー。 {笑い}  
 1399B：だーと。  
 1400A：おー。  
 1401B：ほしてー  
 1402A：んー。  
 1403B：怒られてもてー  
 1404A：うーん、 座布団  
 1405B：「おまえー ○○○、 いくらなんでもー  
 1406A：ほー。  
 1407B：来る人も あー あのー お前ら ほんな、 おーん 悔やみを 受けるのに  
 1408A：うーん。  
 1409B：座布団みたいな ひくんかい。」  
 1410A：{笑い}  
 1411B：ほしてー  
 1412A：んー。  
 1413B：### 文句言いに行きやんしたでー。  
 1414A：んー。  
 1415B：ほんなも ○○ ○○○○が 「わしらは、 あ んー 隣の お手伝いというこ  
 とで、 あ 座ってるんやさかいに  
 1416A：うん。  
 1417B：ん 座布団はひけるんやー」 ちゅうて  
 1418A：{笑い}  
 1419B：言わあったら、 「ほうか、 まー ほれ以上 も一言わんとこー」 たら言うて。  
 1420A：{笑い}  
 1421B：あら けんど、 あ 相変わらず ○○ちゃんも 言うわーと思て。  
 1422A：○○ちゃんもなー、 もー 手が 震うよんなっだやろ、 こー。 {笑い}  
 1423B：んー。  
 1424A：んー。  
 1425B：んー。 で やっぱ、  
 1426A：うーん。  
 1427B：んー、 けんど このごろ あのしともな、 ○○ちゃんの嫁さんも 変わらんし  
 たで。 まえー《前》とはね。  
 1428A：んー。 あーの ん...、 まー クールなこー《子》やで 前から。 {笑い}

1429B：んー ほーか。

1430A：んーんー。

1431B：ほんで

1432A：んー， あー。

1433B：中々ねー， あのー ん もー ほんで 全然， 前は あそのの ○○○○の お  
っさんの 葬式のときには， もー わしとー あの ○○○○○○○○さん

1434A：んーんー。

1435B：あっと ##の ##### んー...， 呼んでもらえなんだんやでー。

1436A：あ ほうかー。 ん ほれ んはー， ん...， なんか ほ 他の事で もまいし  
たさかいかー《もめたからか》。

1437B：ちゃうちゃう。 あの， みーんなー 呼びなあるかって 隠居のところにー， あ  
の ○○○○さんと わしと。

1438A：うんうん。

1439B：ほして あの 死なあった ○○ ○○○○の○○○○さんも

1440A：うんうんうん。

1441B：いやあったんや。

1442A：うんうんうん。

1443B：けんど みんながー， ○○ちゃんは ほらー 世襲やで， も も もー 盆梅  
しとるぜー。

1444A：んーんーんー。

1445B：あれやけんど， ○○ちゃんやか みんな 来よったんや。

1446A：んーんーんー。

1447B：あ ほんでー 座るときよ， ○○○○さんには 言‘ゆ’いに 行きよったんやけ  
んど。

1448A：んーんーんー。

1449B：あの わしと○○○○には

1450A：んー。

1451B：あのー 「あとイスやさかい 座っとけ」 っちゅうて 言われなんだや。

1452A：んー。

1453B：言われなんだし ほして あれやで， ○○○○さんは， 「ほんどこへ えー  
行くもんでねえ も， 呼びに 来てくれやあったら 行くんやー」 ちゅうて，

1454A：んー。

1455B：機嫌が， ○○○○さんは。 あの子 も ありやー もー ○○○のおじと一緒に  
やんか， なんから###。 あ ほんで， ん「行ったらあかんねやっ うち」  
ちゅうて言わあったでー， もー ほんで「ほんなことは あらー んなもん， も  
ー ○○ちゃんは 盆梅しとるで， ほなもん 上がってよばれてったらええんや

- で、一緒に飲めんやけい」言うたら、「あかんねやっ」ちゅうて
- 1456A: {笑い}
- 1457B: ○○○○さん怒りよるで、ほんでも お付き合いせんならんで
- 1458A: んー。
- 1459B: 困ってたんやけんど、
- 1460A: んー
- 1461B: もー 結局 ほんで まー 呼んでもらえなんだで、ほんで あとで
- 1462A: あ ん、ほんで 隠居の方に 居る人に 気付かあれなんだんやな、みんなが。
- 1463B: うん。ほんで もー あのー ま 腹減らして
- 1464A: うん。
- 1465B: もんでた《戻っていた》。
- 1466A: {笑い}
- 1467B: うん。 ほんでー ○○○○さん、 今だに 言いよる。
- 1468A: んー。
- 1469B: いや「わしらがのー、 ま 葬式のどき、 あれだけは 残念なこっちゃー」ちゅうて。
- 1470A: {笑い}
- 1471B: けんど あの ○○○○さんも もー だいぶ弱ってるやで。
- 1472A: んーんーんー。
- 1473B: んー。
- 1474A: ほらまー、 うちい 抱えられるようにして
- 1475B: んー。
- 1476A: 前の日 来てくれやあったけど。
- 1477B: んー。
- 1478A: うーん、 ん。
- 1479B: けんどー
- 1480A: {咳き込む}
- 1481B: ほん ほんで もー あれから わしも、 もー ○○○○のおっさんは、
- 1482A: ん。
- 1483B: え ○○○○のおっさんの むつかしさは、 あら なにもかも 分かったって、昔かたぎみたいな あれで。
- 1484A: んー。
- 1485B: あの おん お前んどこ 法事ん参りに 来ててもね。
- 1486A: うんうん。
- 1487B: はい、 よう ほこで わ わし こうして わしゃ 行儀が 悪いでー、 ほいと 傍‘はた’へ おっさんが 来やあると

1488A：んー。

1489B：あのしとは きちーっと 座らあるやろ↑。

1490A：うんうん。

1491B：ほして みーんなに 分からんように、 わしのほこを パーン。

1492A：{笑い}

1493B：あー 行儀わるー 座ってると

1494A：うん。

1495B：ほんで 何べん叩 かれた 分からん。

1496A：{笑い}

1497B：ほの 柱の どこで。

1498A：{笑い}

1499B：うーん。 ほんで しょうがない、 座り直さんならん。

1500A：んーんーんー。

1501B：んー、 で ほういうなー なにもかも 分かってあったんや。 ○○○○さんも  
やっぱ ちょっと あのー んま んま... 分からんかなー。

1502A：んー。

1503B：あいらも 子ーやけんどー。

1504A：んーんー。

1505B：けんど あらー 賢いのは賢いで、 んー。 固い。

1506A：{くしゃみ} 固い。 {くしゃみ} んー、 んまー 息子も 高校の先生で 固  
いやろ あの子は／。

1507B：かたえー《固い》やろ。

1508A：なー。

1509B：んー。

1510A：んーんー。

1511B：まー けんど

1512A：まー あっこも ん ま、 嫁さんが 1人 {笑いながら} 喋らある方やで、  
ほんま。

1513B：あら おばはんが も 元気なもんやで。

1514A：あー。

1515B：けんど もー ほんで、 うちんどこらーも

1516A：んー。

1517B：あれやけんど あのー うちの祖母さんが 悪かった一どきに、 死んどるどきに

1518A：んー んー

1519B：もー ご機嫌を 損ねてまあったんや。 あのー ○○○○さんが。

1520A：おー。

- 1521B：ほんで なんや言うど、 祖母さん悪いけんど。
- 1522A：んー。
- 1523B：入院しよったけんど。
- 1524A：んーんーんー。
- 1525B：ほんな もー ん... 祖母さん 「〇〇〇〇さん どこへ 連絡する」っち言いよ  
ったんやけんど。
- 1526A：んーんー。
- 1527B：わしゃー 「するな」言うたんや。
- 1528A：んーんー。
- 1529B：ほんなー もー， ん あー あれやで。
- 1530A：んーんー。
- 1531B：あ ん... したらー， また お み 見舞いに 来てもらわんならんしー。
- 1532A：んーんーんー。
- 1533B：んって ほんなもん んな まー ええさかえに。
- 1534A：んー。
- 1535B：ほんで 「するな」っちゅうて。
- 1536A：んー。
- 1537B：ほして 祖母さん死んなってから
- 1538A：んー。
- 1539B：電話したんや。
- 1540A：んー。
- 1541B：あー ほんだら 〇〇〇さん 怒りよってん。 〇〇〇〇さんと。
- 1542A：うーん。
- 1543B：「ん いやー 1 番 おー も しんじんやのにー，
- 1544A：んー。
- 1545B：こんなもん せ， お前はおかしい」と。
- 1546A：んー。
- 1547B：うん， で ほう ほ ほうかね。 けんど 今の 時代やでー もー なにも 知  
らせなんだんや。 ほんで もー ほれから まー 〇〇〇さん いつも 言わ  
言わあんした。 ほんで もー うちの もー お父さんが ん わ わるて，  
いっせつ 入院もしてあるらしい。
- 1548A：んー。
- 1549B：けんど， あのー その 〇〇ちゃん， おまあんも ほうゆうよに したんやさ  
かいに， ほんで うちも あのー うちのおっさんが わるて。
- 1550A：んー。
- 1551B：あれでも もー えー 電話はせんわな。

1552A：んー。

1553B：ほんで 死なあったら あのー おまんに やっぱ1番に もおいてもらわんなら  
んで、 あのー 連絡はして 1番にするけんど。

1554A：んー。

1555B：あのー えー 生きてやあるうちは せんさかいにっちゅうて。

1556A：んー。 {笑い}

1557B：言わあった。

1558A：{笑い}

1559B：ほんかー 言うて。 ほんでは きー《気を》つけて ごー してるんやけど。

1560A：んー。

1561B：んー けんど ん もー ん けんど いっせつに 日赤い 入院してあるらしい。

1562A：あーあー ほうかい。

1563B：〇〇〇〇さんが。

1564A：まーまー 近いどこやんねんなー ほら。

1565B：んーんーんー。

1566A：んーんー。

1567B：んー ほんでー まー 〇〇〇〇が

1568A：んー。

1569B：「ん おじさん もー こらえて ご無沙汰するけんど

1570A：んー。

1571B：んー まだまだ けんど、 あのー 親父 死んのったときには

1572A：んー。

1573B：〇〇ちゃん〈B〉には お世話んならんならんで、

1574A：んー。

1575B：どうか 頼むわ」ちゅうちょって 言うて 言うとるでー

1576A：んー。

1577B：わあった《分かった》ってって 言うて、 言うてはいるんやけんど。

1578A：ほのどきは 言うてー。 わー うちも 来てもろとるさかいにー

1579B：んー。 {笑い}

1580A：行かんとあかんで。

1581B：んー。

1582A：んー。

1583B：ほうやー。

1584A：んー。

1585B：んー けんど 〇〇ちゃんなんかでも、 もー あのー や や 〇〇〇〇さんど  
このあれは なんやかや 言うても来てくれよるでなー。

- 1586A：んーんー。
- 1587B：ん あーの ご丁寧なもんやー ほなー ねー。
- 1588A：んー {咳払い} ん
- 1589B：／少し間／ けんど あそこの あの いや 若い嫁が リュウゾウの嫁が あれや、 あの一 ここの先生ではあるけんど。
- 1590A：んー。
- 1591B：あれ あの 米原の ニシヤマっちゅうどこから 嫁に 来てるんかなー。
- 1592A：ふーんー↑。
- 1593B：おんなし 高校の先生で 音楽の先生 してるんや。
- 1594A：ふーんー↑。
- 1595B：けんど 喋らんこー《子》や とにかく 学校の先生してても。
- 1596A：{笑いながら} 喋らん子ーか。
- 1597B：しゃべれらん わ 挨拶もしよらん。
- 1598A：{笑い}
- 1599B：もー ほんで うちんどの ○○○○の 嫁もらいのどきでも
- 1600A：んー。
- 1601B：んー 弱ったん。
- 1602A：んー。
- 1603B：んー もー ん... もー こん... 祖母さんも ああいう 喧しい祖母さんやで  
○○○○と 2 人が 来てくれるんやけんど、
- 1604A：ニシヤマつって、 旧サントウ町‘ちょう’か。 サントウ町のニシヤマか。
- 1605B：あの一 米原の交差点ね。
- 1606A：あーあー。
- 1607B：あ んー、 下からやから こっちい くろーっと
- 1608A：んー。
- 1609B：米原か 行くわ。
- 1610A：んー。
- 1611B：どっか あそこら辺に ニシヤマっちゅうて ニシヤマとか
- 1612A：あそこら辺は一 サイエン寺。
- 1613B：あっ ほ サイ あー あほこか。
- 1614A：んー。
- 1615B：んー ほ ほこか。
- 1616A：ニシヤマは ずーっと
- 1617B：あーあー。
- 1618A：ナガ ナガオカに近い方や。
- 1619B：あー ほうや。

1620A：んー。

1621B：ほっと こっちや。

1622A：は一は一は一。

1623B：あの一 米原の あの交差点 どこや。

1624A：んー。

1625B：んー あの一 ほっから 嫁さん 来てやんすやけんど。

1626A：んーんーんー。

1627B：ほんで わしは あの一 ほの嫁さんのおとつあんも↑。

1628A：んー。

1629B：あの一 なんかんー んどきには 一緒に お付き合いしてるでー

1630A：んー。

1631B：あれやけんど。 まー あー あの一 嫁さんは あんま 喋らんせんこー《子》や。

1632A：ほーんほーほー。

1633B：けんど 高校の先生でー 音楽の先生やでー。

1634A：んー。

1635B：けど 子供がなえーもんなー。

1636A：あーあー。

1637B：わし もうええわ。 もえ もえ

1638A：いや ちゃう ま ま もう1杯だけ。

1639B：あの一 子供がなえで かわいそなー。

1640A：んー。

1641B：んー。

1642A：ほうかー。 そら さみしないなー。 んー。 /少し間/ これ ようーけ こー《子》が詰まったーるやろ 腹に ほんま

1643B：これ ひとつ ひと切れで もー

1644A：{笑い}

1645B：卵だけで 結構やで。

1646A：んー。 /少し間/ やっぱ 漁師さんしてんと こんな あれがな。

1647B：こないだなー。

1648A：んー。

1649B：んー あそこ、 あの一 ん ○○○屋の はたのへんにある ○○○○。

1650A：○○○○， おー おー。

1651B：あそこに わしの 同級生のこー《子》も いやんすんや。

1652A：あー あー， ○○ー

1653B：ほんで あの



- 1654A : ○○ー○○でない ○○○○でない ○○○ーかー, 女の子やろ。
- 1655B : うーん。
- 1656A : うーん。
- 1657B : どっか ○○○かどっか
- 1658A : あの子はな, どっか ○○○○○か なんか あっくら辺でなかったかな。
- 1659B : んや。
- 1660A : おー。
- 1661B : けんど 田舎の お おばあは, ###
- 1662A : ほやほやほや。 うんー。
- 1663B : んー んでまー, ほんで ちょいちょい 行くんや, ほいでー 年末も, んー いや あのー 鴨 を はー, ウヲサンで 買おかなーと思たんやけんど,
- 1664A : んー。
- 1665B : あの フタ, あそこどこ ○○○○
- 1666A : ん。
- 1667B : んで うちも してるんやけど 「うちで買うて一な」って 嫁さん 言うよんねん。
- 1668A : んーんーんー。
- 1669B : 「ほなら 買おか」 っちゅうて 買うたんや。
- 1670A : んーんー。
- 1671B : ほんで おら, ほれから ちょいちょい 行つて
- 1672A : んー。
- 1673B : あの 川魚をかうて
- 1674A : んんん。
- 1675B : ほんなら, こないだから こんなもの あの 鮎, こう 小さい鮎か
- 1676A : うんうんうん んー。
- 1677B : 鮎を あの 8匹‘はちひき’ほどね
- 1678A : うん。
- 1679B : あの 串に 刺してー
- 1680A : あーあー。 {咳払い} うんうん。
- 1681B : で 塩 わーっと 焼いたやつ
- 1682A : はいはい。 んーんーんー。
- 1683B : ま あー ええ具合。 5切‘いつきれ’か, い あの 5本ほど 入ったるやつが 500円ほど
- 1684A : わー はーはーはー。
- 1685B : んー ほんで あれが あのー しゅわしゅわっと 焼いて
- 1686A : んー。

1687B：ほって 二杯酔にすると

1688A：んー。

1689B：酒の肴なるで。

1690A：んーんー。

1691B：ほんで 帰りに 行ってるんや、 ちょいと ##### の一。

1692A：{笑い}

1693B：ほんで あ あそこは ほういう なん、 ほんなら 鮎鮎も

1694A：んー。

1695B：あの一 同級生の子ーが

1696A：んーんー。

1697B：「ん も... ○ ○○ちゃん〈B〉、 鮎鮎は おまはん 食べへんのか」ちゅゆわ  
んす。 食べんことはないけど、 高いやで 食べんねや。 {笑い}

1698A：{笑い} んー。

1699B：ほして わしの 鮎鮎は好きなんやけど すいぞる《酸っぱい》から。

1700A：んー。

1701B：「や うちの鮎鮎は ほんな酸いことはないで」つとは 言うてやんしたんやけど

1702A：んーんーんーんー。

1703B：買おかなーと思ったんやけど まー 高い。

1704A：高い んーまに 買うてまでは もー ほっでも。 {笑い}

1705B：ほんで、 あそこが 1番安いわ わし、 あの 浅井町のな ○○○にね

1706A：うん。

1707B：あの一 お なんちゅうのや、 あの一 んー 野菜を一採って 売つとるところが  
あら あの一

1708A：『○○○○○○』か↑

1709B：『○○○○○○』のところで

1710A：お、 おおおおおお。

1711B：あの一 お 直売所ちゅーうんか。

1712A：お おー 直売所。

1713B：あそこに 売とっころんや 鮎鮎を。

1714A：ほー。

1715B：ほんで こんなぐらいのやつ ま 普通の、 値ごろやろなー。

1716A：おーおーおー。

1717B：あれー えやー す 1000 円 んー もーあるし 1500 円 ぐらいで。

1718A：あつ あれはなー。

1719B：ん。

1720A：○○○○○○の通りにー

- 1721B：ん。
- 1722A：あーの一　〇〇〇〇って
- 1723B：うん　あー。
- 1724A：あーん　ガラスやら　サッシやらやってやあった。
- 1725B：あー。
- 1726A：ほこの　おっさんがー
- 1727B：ん。
- 1728A：漬けてー　出してやあるんやろ。
- 1729B：あー　ほうか。
- 1730A：ほんで　真空パックにしたるやろ。
- 1731B：おーおーおー。
- 1732A：んまー　ほこへ行くと　まー，　こ　いかい樽が　裏に　ようけ　並んだる。
- 1733B：{笑い}
- 1734A：ほしてー，　米でも　このー　いい《飯》にする米もー，　70俵‘びょう’かー　ち  
　　ゆて言うてやったかな。
- 1735B：おー。
- 1736A：よーさん　おまえー。
- 1737B：おー　ほうか。　案外　安いんやで。
- 1738A：ほうやほやほや。
- 1739B：おー。
- 1740A：おーおー。
- 1741B：ほんでーは，　もー　ほんでー　やろ，　ん　〇〇〇んどこへ　行くと
- 1742A：ん。
- 1743B：傍‘はた’やでー
- 1744A：んーんーんー。
- 1745B：ほんで　あそこへ　〇〇〇《Bの妻》と「寄ってこかー」言うて
- 1746A：おーおーおー。
- 1747B：ほいて　まー　鮎鮎やか　買いに行くんやー。
- 1748A：おーおーおー。
- 1749B：ほえ　魚は　まー　鮎鮎だけやけんど
- 1750A：おーおーおーお。
- 1751B：だ　あと　こつとし《今年》はー　あの　カボチャを
- 1752A：んーんーん。　やー　か
- 1753B：あの一　かぼちゃでもなー
- 1754A：あー　あ。
- 1755B：あの　長細いな。

- 1756A：んーんー。
- 1757B：あのー なんとらいう むにゅーっと。
- 1758A：あーあー。
- 1759B：ヘチマーみたえな
- 1760A：はーはーはーはー。
- 1761B：あの カボチャ。
- 1762A：あー あ。
- 1763B：あれ 美味しいんやも。
- 1764A：ほーほほ。
- 1765B：ほの変わり 高いよ。
- 1766A：ほーおー。
- 1767B：1つ 普通の丸いカボチャが 300 円ぐらいやったらー。
- 1768A：んーんーんー。
- 1769B：あんの むにゅーっと すとる《しとる》 あれはな
- 1770A：ん。
- 1771B：んー 倍ぐらいする。
- 1772A：おー。 {笑い}
- 1773B：あそこに よう 売ったんねや。
- 1774A：んーんーんー。
- 1775B：ほんで あそこへ 買いに行つて
- 1776A：んー。
- 1777B：あの カボチャ買うてって
- 1778A：んー。
- 1779B：ほいでー まー カボチャ炊いて あそこで あのー 買いに行くんやけんど。
- 1780A：んーんーんー。
- 1781B：みんな ほんでー あそこは あの あれやし なんやか もー こういう あの  
採って 売りに 出てやある。
- 1782A：ん。
- 1783B：出して子 おるし。
- 1784A：んーんーん。
- 1785B：畑芋でも お前 あのー 安うであるしな。
- 1786A：んー。
- 1787B：うん。 なかなかー あのー 新鮮で、 ほんでー あれやて言うて
- 1788A：んー。 /少し間/ {咳払い} んー あー。
- 1789B：ようけ よばれたわ。 もー おまえ、 #####やねえか、 上等やで。
- 1790A：#####やでや。

- 1791B : お↑。
- 1792A : もひとつー こ こ これも あるさかい まー
- 1793B : もうええ もうええ。
- 1794A : まー 2人でやったら。
- 1795B : ま ほうや。
- 1796A : このぐれえー。
- 1797B : もうええ。 もうええ。
- 1798A : いるなと思ってん。 んー。
- 1799B : あの一 同年会を 一遍 し したらどうやと思ってんねや。
- 1800A : いやいや, あの一 ○○ちゃんも言うどったんや。 み ○○ちゃんど ○○ちゃん〈B〉ど わしと 3人で やろかーっちゅて, 一遍 言うてたんや。
- 1801B : ほーうや。 ほんで ○○ちゃんを一。
- 1802A : んー。
- 1803B : 言うてると あかんわ, 出来んわ。 ほやて ○○ちゃんの事 考えたると。
- 1804A : んー。
- 1805B : も 同年会も 出来んし。
- 1806A : ○○ちゃん 今 どうしとるんや。
- 1807B : ほんでー あの一 うちんどこの 隣に 駐車場 借りてっくるやろ↑。
- 1808A : んーんーんー。
- 1809B : ほんで ほんで あ 息子も 下りてこず ○○○○も。
- 1810A : んーんー。
- 1811B : けんど この頃 見てると ○○ちゃんの車になー ちょっとも 出んでなー 家に いよるんやろ。
- 1812A : {咳}
- 1813B : ほんでー あの一 去年の 暮なんかは ま 3時ごろから ぱーっと 出よるんや ○○ちゃん。
- 1814A : んーんーんー。
- 1815B : ほんでー やっぱー あの一 錢儲けに行って
- 1816A : あー。
- 1817B : いこーるやろなー どっか あっちあ, ん 2, 3時間 行ってきよるやろなー。
- 1818A : んーんー。
- 1819B : んー, けんど 息子が あの一 自動車を 置いとるでな, ほて あーの この む息子が よう喋りよるやつで
- 1820A : {くしゃみ}
- 1821B : 「おとつあん どうしたん」 ちゅたら 「家にいやあんす」。
- 1822A : んーんー。

1823B：ほんで あー あの「悪いことはないのか」 っちゅって いつやら言うたったら

1824A：んー。

1825B：「わし 親父と ちょっとも 喋ったことないもん」。 「んなもん

1826A：ほっ

1827B：んなもん なー おやじー↑。

1828A：んー。

1829B：んー 寝とるんか。 なに しとるんや↑。

1830A：んー

1831B：ほんや 喋った事もない 知らん。」 言うとるでー。

1832A：んー。

1833B：あの一 おんなじ 家ん中には いよるんやけんど

1834A：んー。

1835B：あの一 ん... 「おとつあん 御飯 一緒に 食べようか。」とか

1836A：んーんー。

1837B：んーゆ あれは 生活は ないやろねー。

1838A：ほーかー。

1839B：んー。 ほんでー あの一 籍は もう ぬ 抜いてもてっこるでー、 あの 家の  
あの一 ま 前の 籍 あの 表札は

1840A：んー。

1841B：○○○○○○○○とも書いたるんしー

1842A：ん。

1843B：息子やかは 前の 嫁さんの 親元の

1844A：ん。

1845B：表札が あが 上がったるがな。

1846A：んーんーんー。

1847B：んーんー。 ほんで も 離婚は したっちゅうて、 ほれは 嫁さん言うとった  
死んどーる前に。

1848A：んー。

1849B：あの ハンワリしてくれーちゅうて 言うもったとき

1850A：んー。

1851B：2 3 遍 行ったんやー。

1852A：んー。

1853B：んー ほんでー あの一 嫁さん 喋ってたんやけんど。

1854A：うん 離婚して 嫁さんは 子供は みな、 母親の方へ 行ってもたんか。

1855B：もう 自分の方の 籍にして

1856A：んー。

1857B: 言うて###。ほいて ○○ちゃんだけ ○○○○。あ に ○○ちゃんと ○○ちゃんの お おかやん いやあったやろ↑。

1858A: あーあーあー。

1859B: あの あ ○○○○やて。

1860A: あー, おっかんの葬式 さんしたんかいなー。たい

1861B: なー, しよったんか。

1862A: {笑い} んー。

1863B: ○○○○○○○さんどこへー。

1864A: んー。

1865B: おかが 死んどったーでー。

1866A: ん。

1867B: あのー まー, ん あのマ 早く言やー「銭 貸してくれー」という, あれも言ったや, ほして 「ずず《数珠》を貸してくれ」っちゅって えー まー ○○○○○さんどこへ いっこったってや。

1868A: あー はー {笑い} ほー

1869B: ほんで, ずず1つ ないのやちゅうて

1870A: {笑い}

1871B: まず ○○ちゃん 言うとったでー。

1872A: あー。 {笑い}

1873B: おん。

1874A: ほーか。

1875B: ほんでー ほういうて 言うとったーでー。

1876A: ん。

1877B: あ ほんで, どうしとるんやろなーと思うわ。 けんど もー あれら ほうか言うて 自動車を 置きに 来ても も 会うたかて

1878A: ん。

1879B: あのー 喋らんせん↑。

1880A: んー。

1881B: あーんま。

1882A: んー。

1883B: ほんで 時たま もう がーんと会うと

1884A: んー。

1885B: 「おい 久し振りやね, どうしてるー」ちゅて 「ほーん まー ん ぼちぼちやー」ちゅうて

1886A: ん。

1887B: ほんで 終いや。

1888A : んーんー。

1889B : ほんで あの子と あえ やっぱ, 同年は 出来んわ。 あの子と お付き合い  
してたら, もー 同年 わしらは もー 同年会も も せずじ。

1890A : {笑い}

1891B : ほんで もー 終わりやで。

1892A : んー。

1893B : ほんで ○○ちゃんに言うてたんや, こんな事であかんと。

1894A : んー

1895B : ほんで ん 前 ○○○が

1896A : んー んー んー

1897B : ○○○も あの子も あの

1898A : ここ, ん どうぞ どうぞ。



談話 7

会話参加者：女性 2 名（A：1948 年生（64），B：1951 生（61））

参加者同士の関係：友人

文字化時間：1 時間 13 分 46 秒

会話収録日：2013 年 2 月

1A：あ ほ ほんでー

2B：{笑い}

3A：あの なんか あのー あの 盆梅 あのー 盆梅

4B：あー

5A：行ってはるんやて。 んで 毎日は あのー えらいんやさかいに。

6B：あ んーんー そうやろな わたしも

7A：ほんで 朝の

8B：うんうんうん。

9A：あ 朝 こない あの こないだの料理のどきにー ほれ あの

10B：うん。

11A：メニューをー

12B：うん。

13A：あの もーちょっと 分からんで 聞こうと思たんやけどー

14B：うん。

15A：あの もうはや 朝 行ってもってやったん。 8 時

16B：あー。

17A：半ぐらいに 電話したら。

18B：あー すんません。

19A：あ ほや

20B：ありがとうございますー。

21A：これ どうぞ、 これ、 ほんで あのー 行ってもうてはったんやー。

22B：うんうん。

23A：ほんさかいに あのー ほんで 後から 夕方き あの 夕方 あのほれ 会うたんやー、 買い物'もん'行ってて。

24B：うん。

25A：ほって あのー 「悪かったなー」って言うて 言うてはったやーん。

26B：うんうんうん。

27A：だら 朝早よーから 行ってあるでー。

28B：うーん

29A：結構 の えらい 言うちやあんだ。 た 立ち場 立ちー

30B：ん 何してやあるん。

- 31A : 立ち仕事やの。 あの お土産 さ とか 売ってはるみたい。
- 32B : あー。
- 33A : うーん。
- 34B : 前 あの ○○○○さんとの なー やってたな あのしと《人》
- 35A : ほん 行ってはった ほんほん。
- 36B : ふーん。
- 37A : 行ってはった あのー あれなんやで。 ほんで 今 も ほれ, あのー あそこ
- 38B : 頂きまーす。
- 39A : もー やめやあったさかいに。
- 40B : うん。
- 41A : あっちの あのしと《人》は も 行ってやあらへんの。
- 42B : ふーん。
- 43A : 9 年 行かったらしいで。
- 44B : あー ほんな 長いて 行ってはったんか。
- 45A : ほうん。
- 46B : 長いこと ほうん。
- 47A : ほんでー あのー あのー ひとかった あの あれやて, 頼んど 頼んどかあん  
たやろな。 ほんで
- 48B : ほうん。
- 49A : ほんで あ 1 日‘いちにち’が 長いんや。
- 50B : あーあーあーあー そえはなー。
- 51A : あー 1 週間に ほら 何回か 行ってやんすんやろけど。
- 52B : うーん。
- 53A : ほの 毎日ではないんやろけど。
- 54B : うーん, そっか そっかー。
- 55A : 1 日が長いで, けっこ《結構》 しんどいと 思うわ。 うーん。
- 56B : ほうやなー。
- 57A : うん。
- 58B : あっそこは ん 土, 日は 夜してあるんかいな よるー。
- 59A : あっ なんか もー
- 60B : や まえ ねー。
- 61A : も してはるんやなー。
- 62B : んー。
- 63A : ナイトー
- 64B : ナイターみたいな。
- 65A : あのー うーん

66B：うーん。

67A：あの一 ナイターみたいな してはるみたい。

68B：そうやん。

69A：ほーん。

70B：んー すんません。

71A：食べて↑。 {包みを開ける音} /少し間/ んで あの一

72B：そうや一。

73A：おーん。 /少し間/ 大変やけど， ほでも あそこの ほんでも あの一 盆梅  
展の え お土産なー。

74B：うん。

75A：あの一 も一 大量でなくて ちょっとずつ 売ってはるで。 あの まえ な 良  
かったで。

76B：あーあーあー。

77A：あの一 結構

78B：あん 量が少ない いうこつとや。

79A：おーん。 長浜の

80B：んー。

81A：お土産が 結構 買えるんや。

82B：ほーん。

83A：ほんな あの ほの一

84B：あー やっぱりね。

85A：普通やったら一

86B：うーん。

87A：あの ほの， あそこの 最中‘もなか’が おいし《おいしい》とか ちょっと 分  
かるやん。

88B：うんうんうん。

89A：でも ほんな一 あの一

90B：んー一。

91A：ん あの 5つぐらいが なんか 買いに

92B：あ一。

93A：いかいんことはないけど一

94B：うーん。

95A：行きにくいけど一

96B：うーん。

97A：ほっで一 あの ちょっ ちょつとずつ 買えるん。

98B：あーあ一。

99A : ほんでー あのー

100B : ほういや 前 行った時, なんか ちっさい《小さい》箱に一なー

101A : ほー。

102B : あの ちょぼちょぼっと 入ったよん《入ったよう》なー。

103A : ちょ おーん ほって

104B : 5, 6 個ぐらい。

105A : あのー あの 最中やったら 5 個とかー

106B : うーん。

107A : ほれから お餅やなんかでも 1 個ずつから 売ったーるんや。 ほんで 好きなだけ。

108B : ふーん。

109A : うーん。 ほんで あのー ちょっとー あの あれするのに ええなと思うんやけどー。

110B : んー。

111A : あのー 裏から 入る訳に いかんやん。

112B : ほうや。 やっぱ 表からあ, んーんーんー。

113A : ほう, 入ら んーんーんー。 ほんで ちょっ

114B : ほんと お金 いるし。 {笑い}

115A : おーん お金... {笑い} わりびっけん《割引券》が

116B : 300 円でも

117A : あってもなー。

118B : ほうよ。

119A : うーん。

120B : 1 回行ったら, なんぼやろ

121A : あそごの あのー あの 慶雲館の庭って あの 小さいとき《時》は よー《良く》 あそこへ入って どんぐり拾‘ひら’いとか 来てた 行ってたんやけどー。

122B : ほー。

123A : で 今は もーなー あのー ま 大人人なって

124B : へー ほんなこと 出来たんや。

125A : ほーん。

126B : ふーん

127A : なんか もー もっと あのー 開放的 って言うんか, ま ほんな 今みたい に 綺麗に しとかはらへんかったで。

128B : あ あー, なんか 草がぼうぼう生えたったやろ↑。 うーんうーん。

129A : おー 生えたったわ おーんおーんおーん。

130B : 今は 綺麗に しとかあるけど。

- 131A：綺麗が... おーん。 ほんで 入りにくいけどー。
- 132B：んーんーんー。
- 133A：昔は もっと あれやったもん。
- 134B：ほーん
- 135A：うん
- 136B：ほうや なんか 鬱蒼と したったやろー あそこら辺。
- 137A：うん。
- 138B：うーん。
- 139A：あの 天理教のー
- 140B：あーあーあー
- 141A：丁度 裏 つかわぐらいに あのー 茶室みたいなどこ《とこ》が あったやろ↑。
- 142B：んーんーんー。 なんか 家が 建てたん
- 143A：あそこ 下へ 降りられて
- 144B：うんうん。
- 145A：あの 降りらるとこ あ あるやん。 今でもあるかいな 階段。
- 146B：あーん、 今でも あるーかな。
- 147A：階段の 跡か 知らんけど
- 148B：そーそーそー。
- 149A：石段の。
- 150B：うーん。
- 151A：あそこ ほんで あそこへ 行って か 川に 川やってん あそこなー。
- 152B：あー ほーん
- 153A：うーん。 川
- 154B：なんか あそこまで なんか 海が 来たったんやろ↑。
- 155A：ほうや サンロクボリてー↑。
- 156B：うーん。
- 157A：ほんで 堀が あったさかいにー。 ほんで
- 158B：あー。
- 159A：丁度 今で言うたら {息を吸う} あそこから 何処やろ。
- 160B：あー そこまで 堀やったん。
- 161A：ホールの辺まで、 うん。
- 162B：ほーー。
- 163A：堀やったんや。 サンロクボ サンロクボリやったかなー ん 名前 忘れたけど  
ずーっと 堀やったんやー。
- 164B：ほーー
- 165A：ほんで 昔の 長浜城の堀やろなー。

166B : あー、　へー　あそこまで　あったんや。

167A : うん。　ほんでー　あの一

168B : んー。

169A : 今である　今のテニスコートな、

170B : うんうーん。

171A : テニスコートが　とか　テニスコートのもうちょっと　こっちや、　どっちか言う  
たら　{息を吸う}　んーっと　までは　また　畑があったんやで。

172B : んー。

173A : あ　お　今の　ハウコウエンのそこは　そのまま

174B : んー。

175A : あの一　地面やったんやさかにー　{息を吸う}　今で言うたら　何処んなるんや  
ろ　あの一

176B : あの一。

177A : 湖岸道路の

178B : あーあーあー。

179A : 湖岸道路の　ぐらいまでは　畑があったんかなー。　ほっからこっちは　ぜ　堀や  
ったんや、　あの　慶雲館までは。

180B : ほー。

181A : んで　大きな観光船が　あそ　ずっと　昔　あそこへ

182B : へー　なー。

183A : あの一　おん

184B : 聞いてるけど　じゅー　全然　知らんわ。

185A : あ　丁度　ほんで　今　天理教の辺に　来たったんかな。

186B : あー　なんか　乗場やったとか　言うてなー。

187A : おんおん、　汽船乗場やったん。

188B : うーん。　ほんで　あそこに　駅が　あったんやろ↑。

189A : ほーん。

190B : 駅舎がな。

191A : おわ　ほやほや。

192B : うーん。

193A : あそこから　こっちー　も　昔なー。

194B : んー。

195A : うーん。

196B : んー。

197A : ほんさかいに、　ほんで　あの一

198B : あの頃はー　こっち側へ　来たことないわ。　よう　あの　花見になー

- 199A : ほー あ ほん。
- 200B : 行ったんや ちっさい時, 公園。 ほって あの 向こうの あのー 踏切から  
渡ってくんやわ。
- 201A : あの 向こうの方からや。
- 202B : イワイ町‘ちょう’の あの ###きた。
- 203A : うんうん。 そ, あの まず
- 204B : うんうん。
- 205A : あそこ ## あそこで ずーっと あの
- 206B : あそこから ずーっと 行ったかな。
- 207A : あのー 長浜城の 本丸みたいのやったさかい。
- 208B : あっ そー。
- 209A : 橋もあったなー。
- 210B : うんうん。 橋があって
- 211A : あ 今 橋ないなー。
- 212B : もー ないー。
- 213A : あれ 埋め立てられたるんや。
- 214B : あの辺 なんか あのー
- 215A : なんか 橋渡って行ったもんなー。 う
- 216B : んーんーんー。 あの 石のはしー《橋》 やろ↑。
- 217A : うん, 石の橋やった。
- 218B : 石のなー。
- 219A : うーん。
- 220B : うーん。
- 221A : あれ ど 今で言うたら 何処ん なるんかなーと思うけど, もう ないなー。
- 222B : どうや。
- 223A : 道路んなったるんやなー。
- 224B : んー あれ 何処やろ。 どっこ, ほんでも あの ずーっと 入ってくやろー。
- 225A : おん。
- 226B : 北の方から 入ってくところがあるやろ。
- 227A : ほー, 入ってくる。
- 228B : あーの辺が 違うん。 あの辺が 道やったんちゃうん。
- 229A : ほーやと思うわ。 ほーやと思うわ。
- 230B : んで あそこの どっ (+か) あの辺 あの汚い か
- 231A : おんおん。
- 232B : ん あのー なんか どぶ {笑いながら} みたいになってる 最後は。
- 233A : おー 分かるで。 だって 堀やってんやさかい。 堀かなんかやったで。

- 234B：んなー。 それから もー
- 235A：うん どぶみみたいなとこやったで、
- 236B：うーん、 もう 水が全然 なー。
- 237A：ほー。
- 238B：流れてなかったし もー。
- 239A：どぶみみたいなとこが
- 240B：んー。
- 241A：あったんやー おん。 ほこの ほこに橋があったんや。
- 242B：あ そーやー。
- 243A：ほーん。
- 244B：ほんほん。
- 245A：ほって もう 1つ 向こうの あの
- 246B：よう あのー がまがえるが {笑いながら} 鳴いとった。 {笑い}
- 247A：あ ほう {笑い} ほやと思う。 ものすご あの ほんまの
- 248B：ほうやでー。
- 249A：あの 城跡ってゆ 感じやったやろ。
- 250B：んー そーそーそー。
- 251A：うーん。
- 252B：あのーころー《頃》なー、 も じゅー
- 253A：んで、 野外ステージ 知ってるー。
- 254B：んー あったあった。
- 255A：あったなー。
- 256B：うーん。
- 257A：あの時分でも みんな 花見に 行ってはったも (+ん) なー。
- 258B：あ ほーやー。
- 259A：なー。
- 260B：あーそこで よう なんか 若い頃は バンドしてやんたの、 わたしらーの若い 時になー。
- 261A：あー そーなんか。
- 262B：んー バンドや
- 263A：ほっで あのー
- 264B：ほんで 見に 行った事あるし。
- 265A：この頃 花見て 行かんわ。 昔は 行ったなー。
- 266B：もう 行かへん。 行った事ない。
- 267A：寒かったやん、 わりかた。
- 268B：ほーや ほーや。



- 269A : うーん。
- 270B : なんか 昔はもう 親と 一緒に 連れてっててもろて、 あそこでねー。
- 271A : だ、 あの ゲッチュウさん どやった。
- 272B : ゲッチュウさんも 来たなー。
- 273A : テッチュウさんの ほな サーカス 来てやったの 知ってる。
- 274B : あーあーあー 知ってる。 丁度 中学生ぐらいかなー。
- 275A : うん。
- 276B : うーん。
- 277A : あれもー サーカスが きゃあれんよーなってから 大分‘だいぶん’やなー。
- 278B : ほや まー んな
- 279A : もう なんにも ほれ あのー
- 280B : すぐ終わって、 何年ぐらい 来てやった、 10 年も 来てあれんやろ。
- 281A : ほーん。 ほって
- 282B : んーんー。
- 283A : なんか 色んなもんが 来てやったなー。
- 284B : 色々あったー。
- 285A : ほんで 今でも ゲチュウさんがあるのはー
- 286B : うーん。
- 287A : あのー 露天商だけは 来てはるけどー。
- 288B : あーあー。
- 289A : 露天とか ああいう
- 290B : そーそー。
- 291A : ふしみせって言うんかなー
- 292B : うーん
- 293A : ん 来て 来てあるけど、 あのー ああいうも (+の) は ないなー。
- 294B : なー。
- 295A : 今は 駐車場に してはるで、 なんやろか。
- 296B : うーん。
- 297A : サーカスとか 来てやったの
- 298B : ほーやなー。
- 299A : 覚えてる。
- 300B : ほーや、 あそこに し...
- 301A : それから お化け屋敷とか あったやん。
- 302B : そーそーそー あったー。
- 303A : うーん。
- 304B : あの 蝋燭を なんか ガーッと 口に 垂らして ブーッと 吹く #るなー

- 305A : あ あー あー ほんな おーん す...
- 306B : あんなん あったで一。
- 307A : ほーん, よう... {笑い}
- 308B : うーん うち 覚えてるわー。
- 309A : 結構 あのー みんな 来てはったなー。
- 310B : うーん。
- 311A : おーん。 あのー どゆ
- 312B : んー ほうやなー。
- 313A : ゲチュウさんとか ほうやな, 昔は 結構 あのー また ち
- 314B : 賑やかやったで もう。
- 315A : 賑やかやったなー。
- 316B : まーいん《満員》で 歩けんかったもん, む なー, 昔は
- 317A : もー。
- 318B : もー ほの お化け屋敷とかなー。
- 319A : お化け屋敷あったなー, お化け屋敷。
- 320B : そーそー。 お化け屋敷 1 回 入ったけど, もー 2 度と 入らんと思った あの時。
- 321A : {笑い} 怖い
- 322B : 怖かったー。
- 323A : {笑い} 怖かったんやろー, ももも...
- 324B : もーのすご 怖かった。
- 325A : ほうや お化け屋敷も あったなー。 もー
- 326B : てなん やっぱり ちょっと あの 体の不自由な人らー
- 327A : あーあー
- 328B : 見せもんに してやあったなー。
- 329A : あーあー。
- 330B : ああいう人らは。
- 331A : ほうやな ほうやなー。
- 332B : うーん
- 333A : ほーやなー。 今では ほんな事は 考えられんけど。
- 334B : あれは もう 出来んやろーけどなー。
- 335A : ほー あんな事は あんま ええ事でないも (+ん) なー。
- 336B : ほうよー。
- 337A : ほーん。
- 338B : あの 蛇をなー。
- 339A : うん。

340B：頭から 食いちぎってなー。

341A：あー こわ。

342B：ほいて あの なんか やってあったで一。 なんや へる↑。 蛇を 食べる女と  
か {笑い}

343A：あーあー。

344B：なんか 女の人になー。

345A：うん。

346B：頭から 食いちぎってなー。

347A：あ ほれ 見た事ないわ。 うち サーカスは 行ったことあるけど。

348B：んー もー。

349A：も。

350B：あれ 見てから もー なんか 気持ち悪いで。

351A：ああゆとこ もー もー こわ こわなるやろ そんなん。

352B：もー 行‘い’けん。

353A：うーん。

354B：うーん。

355A：サーカスなんかは いいけどなー。

356B：なー。

357A：うーん。

358B：むかし###

359A：ゲイチュウさんとか 結構 色々 行事があったなー。

360B：ねー うーんうーん 全然。

361A：今とは また 違っ， て 「戒講‘えびすこう’」って言うのを

362B：あーあー あった あった。

363A：結構 あのー 盛んに やってやった も 思うわ。

364B：年末にやろー↑。

365A：おーん。

366B：おーん。

367A：11 がつー《月》の末。

368B：ほうやほうや。

369A：ぐらいかなー， 「戒講」結構 あれやったなー。 今は あんま

370B：んー。

371A：ちょ あのー してやはれえんけど。

372B：もー しゃはれんけど， あれも 絶対 買いにきたもんなー。{笑い}

373A：おーん。

374B：いっつも なにか

375A：あの 「戒講」 のどき《時》， あの ほれ

376B：安売りやしー。

377A：お面とか よう くれやはったやん。

378B：あーあーあーあー。

379A：あの一。

380B：ほいやほいや。

381A：えび あの一 サンタクロースのお面と

382B：えびっさん《戎さん》。 {笑い}

383A：えびっさんのお面と， なー。

384B：ほいや もろた。

385A：んー。 ほ ん 大きな行事やったら

386B：んー。

387A：昔は そうやったかなー。

388B：ほうやなー。

389A：ほん， 盆梅は そんな 盛んでなかったやん。

390B：盆梅は 知らんわ。 わたしらは

391A：盆梅って ほんな じ あの 盛んにし...

392B：ここへ来て 初めてなー。

393A：おーん， あの一

394B：あの なんか たい... うん うん

395A：盛んに してはれんかったもん ほんなん。

396B：ほうやて。

397A：うん。

398B：ここへ来て わたしは んー

399A：盛大っていうかなー。

400B：結婚して初めて

401A：ほって あの ほの一

402B：なんか 知ってったわ。

403A：あそこの 今の 古い駅舎がってー

404B：うーん。

405A：あの一 あの ほれまでは なんか あの 駅の 物資部とが《とか》みたいで なんか

406B：あー。

407A：あの一 売店みたいなのが あったもん。

408B：ほー。

409A：今 綺麗に 整備しやはるまで。

- 410B : おーん あそこに↑。
- 411A : おんおん あの
- 412B : へー。
- 413A : あの一 なんか うちら あたしらの 小さいときに, {息を吸う} よう あの  
ほれ あの 物資部って言うて
- 414B : んー。
- 415A : あの なんか 安かったんやわー。
- 416B : あーあーあーあー。
- 417A : なんか ほんなんような 覚えがあるわ。
- 418B : で, 今の 慶雲館の前の あそこか↑。
- 419A : おん あそこ。
- 420B : ほーーん。
- 421A : あの ほんで なんか。
- 422B : んー。
- 423A : 駅で なんか 作ってはったんやろな。 ほれから あれ あん 盆梅といっしょ  
ー《一緒》のぐらいかなー, あれ 綺麗に
- 424B : んー。
- 425A : しゃー しゃあるようになったの。
- 426B : ほいやほいや。
- 427A : うーん ほやな。
- 428B : うん。
- 429A : 昔は昔で 色々な あの けっこ《結構》 行事あったなー。
- 430B : なー。
- 431A : ふーん, ほやな。
- 432B : あの一, よう あの一 子供は 小さい時は あれしたやん。 長浜祭りか。
- 433A : ほー。
- 434B : ん 長浜踊りか, ちゃん なー。
- 435A : ほー, ほや, 踊りやんかも あったやん。
- 436B : 踊りも出たしー, えきも...
- 437A : し, ほってから おみこっしさん《お神輿さん》も したがな。
- 438B : そーそーそー。
- 439A : ほー。
- 440B : 作ってー
- 441A : ほーん。
- 442B : ほいやー
- 443A : あの あの時分 結構 みんな, あの一 子供の一 あれ

444B：うーん。

445A：行事とか みんなーで やったなー。

446B：みんなえ なー。

447A：おー。

448B：みんな 集まったも（+ん） なー。

449A：ほー。

450B：い しょっちゅう 集まって なにか

451A：子供が 多かったっていうことも

452B：あー。

453A：あるかも知れんけどー， いや 結構 みんな あれやったなー。

454B：うーん。

455A：ほやけど， あの時に あのー ああやってしてー あのー みんな集まって

456B：うーん。

457A：どうゆたやな《どういうたんかな》， したさかいに 今でも こやって

458B：そーそーそー。

459A：か あの

460B：思う， うーん。

461A：気軽に 声 かけられるんやと 思うわ。

462B：あれ なかったらー ちょっと みんなと こんなに 親しい 出来んかったと思  
う。

463A：こんな 親しいな... ほって， あのー みんな あのー

464B：子供のお陰やわ。 {笑い}

465A：ほうやな。

466B：ほんまなー。

467A：忙しいときはー

468B：うーん。

469A：あのー あかんけどもー， あのー 忙しかただけど ちょっと こ， ふっと  
このー この年齢んってー ふ あのー

470B：んーんーんー。

471A：なったときに， 声かけやすいが。

472B：あーあーあー そーやなー。

473A：うーん。

474B：ほんまになー。

475A：ほんで ああいうのは 一緒に した時に 今 きやんせんけど ど あんた あ  
んどき 一緒に したやん。 しょ あのー

476B：あー。

477A : また しょーなー 《しようなあ》 とかて

478B : んーんーんーんー。

479A : 言‘ゆ’えるやん。 うーん。

480B : ほんまやー。

481A : うーん。

482B : まー あれがなかったら, わたしらは あんまり 表へ出るー あれーじゃなかつたり

483A : あ あのー いろいろー あったのに

484B : 誘い, なー。

485A : おーん。

486B : 誘い出してくれやあったで, なー。

487A : おーん。

488B : 出られたけど。

489A : ○○○さんが もー あの

490B : あの人なー。

491A : ようしてくれやあんなー。

492B : ほうやほうや。

493A : あのー あの子が

494B : いっつも あの人に 誘われて

495A : おー ほやんなー

496B : 出て来てん わたし。

497A : ええ子やったもーん。

498B : うーん。

499A : んー。

500B : ほうや, きがーる 《気軽》 になー 喋ってくれやあったで。

501A : うーん。

502B : うーん。

503A : ほんで みんな 誘いおうて みんなー なー。

504B : そうやてー。

505A : ふーん。 ほうやなー, あれが あったさかいに。

506B : なー。

507A : だから 今からでも 今でも また 誘えるも (+ん) なー。

508B : で ほいやー, うーん。

509A : 「あんた どーしてるーん」とか言うて。

510B : なー。

511A : んー。

512B : ほんまや, きらーくに《気楽に》 喋れるわ。

513A : んー。

514B : みんなと。 ほんまやなー あの人も 2月の27んち《日》やったんやなー。

515A : 23日。

516B : あ 3日‘さんにち’やったかな。

517A : もうじき, うーん, だから あのー {息を吸う} 23日やさかいに あのー

518B : なんか し, いつも なんか してる↑。

519A : うちあ あの ほら あ わたしはー

520B : うん。

521A : あの ほら あのー おんなし《同じ》会社ん 勤めてたしー。

522B : あー はーはー

523A : ほっで あの 友達がー

524B : うん。

525A : あのー ほの あのー ○○○さん どこ あそこのを

526B : うんうんうん。

527A : どこへ あの 仏さん参りたいんやけど。

528B : あーあーあー

529A : ほの 丁度 1周忌になったときかなー

530B : うーん

531A : 仏さん参りたいんやけどー,

532B : んー

533A : あの 嫁さんに わりー《悪い》さかいにー。

534B : あーあー んー

535A : あ んで あの お墓まゐーり《参り》しょーと思うんやけど どうやろーって あ  
の ちょっど 何処や聞いてって 言わあんとん。

536B : んーんーんー。

537A : 何処の。 よそのをさが おは あの

538B : んーんー。

539A : お墓を 拝んでたら あかんさかいに。

540B : {笑い}

541A : ほんで, あのー

542B : んー。

543A : 聞いたんや。

544B : うーん。

545A : ○○○ちゃんに聞いたら

546B : うん。



- 547A : ほんなら、 あの一 あの一 あ 「おばちゃん ほなこと言‘ゆ’わんと一、 あの一 あの一 うちい《家へ》 あの お参り来てくれやって《来て下さって》 いいで一」言うて
- 548B : あーあーあー んー。
- 549A : おーん、 ほんで あ
- 550B : ちゃ うちも もう あれから 1 ね (+ん), もう 2 年目やろ↑。
- 551A : いや もう 3 年 終わったさかい。
- 552B : や もっとか 3 年か。
- 553A : こん (+ど) よー よん 4 回目。
- 554B : 4 年目か。
- 555A : 21 年に 亡くならんたで。
- 556B : あっ、 あー そーか。
- 557A : うーん。
- 558B : ほや 20, ん ちゃうん 今日 何気なしな
- 559A : ん。
- 560B : 昔の ほの ノート見てたんやん。
- 561A : ほん。
- 562B : だ 書いあった一さかいな
- 563A : ほん。
- 564B : あれ も ほや もー あの人の あれなんやー ん 何年目やろ一て思て 考えてたん。
- 565A : おー, ほんで一
- 566B : うーん。
- 567A : 21 年やさかいに一
- 568B : うーん。
- 569A : もー さ きょねーん《去年》
- 570B : お 5 年やでな一 今は
- 571A : 5 年やな一 うーん。
- 572B : んーな一
- 573A : ほやな一 20
- 574B : 4 年経ったんや。
- 575A : ふーん。
- 576B : んー一。
- 577A : ほんで一 あの一 ほの一 友達が 聞いてて 言‘ゆ’わあんたさかいに一
- 578B : うーん。
- 579A : ○○○ちゃんに 聞いたら一

580B：うーん。

581A：ほしたら あの一 「おばちゃん んな一 あの一 ええで、 うちい《家に》 あ  
の き、 あの一 みんな来てもろて一」言うて

582B：あー。

583A：言わはったさかいに。

584B：うん。

585A：ほんで あの一 連絡して

586B：うーん。

587A：ほんな ん 何人もでないけど

588B：うーん。

589A：ほんで一、 あの一ー あの一 行ったんや。

590B：うん。

591A：ほって、 ほって ほの子らは一 あの一 わたしは一緒に行った 行って、 ほ  
こを

592B：んー。

593A：ほこで お参りして 喋ってて

594B：うーん。

595A：ほっで あの一 ほの子らは一、 みんな一 あの一 ほれ あの一 お墓の場所 聞いて

596B：うんうん。

597A：あの一 行‘い’かんたわ。

598B：あー ほうか。

599A：うん。 どっか あそこ 南のあれなんやな。 ○○○○寺の 近くのどこは な  
んか

600B：○○○○寺か↑。

601A：ほれ こう ずーっと こう 下りてくるやん、 湖岸道路から。 下りて来る左  
手に

602B：あーあー んーん。

603A：あそこら辺や 言‘ゆ’わんたで。 あそこに

604B：あー。

605A：お墓 たくさんあるゆて。

606B：んーんーん、 あるよ。

607A：うん。 ○○○○寺の中じゃなくて

608B：うーん。

609A：ほこに あるて、 ほこやって言‘ゆ’わんたで。

610B：あー ほんまー。

611A : うーん。

612B : へー。

613A : ほんで、 あのー 分かりやすいって 言うてやんたさかいにー。

614B : あー ほんまー。

615A : ほでも あの子の あのー わたしー あの 感心したのは、 あー やっぱー あの  
の ○○○さんが ええ子やったし、

616B : んーんーんー。

617A : ちゃんと あのー しとかあんたさかいと 思うんやけど。

618B : うんうん。

619A : あの ちゃんとなー あの わたしら 行く言うてた ど あの お供えも あ  
あの あの くだもん《果物》が ええと あの 気楽なさかいに

620B : んー。

621A : くだもんとか ええん お菓子が ええんか どっちがええ とか 喋ってたんや  
ー。

622B : んーんーんー。

623A : ほったら あのー ちゃんとなー。

624B : んー。

625A : あの おため 用意しといてくれやあんだ。

626B : へー。

627A : おん、 あの子が。

628B : へー。

629A : あの ほんで ○○○さんで いつも 結構 ちゃんと しゃんすこー《子》やっ  
たやん。

630B : うーん そーそーそー。

631A : だから あん、 あのー あのご《子》 ちゃんと あれ し しとかあんたさか  
い、 ほういう事は ちゃーんと あの あれなんやな、 なろとやんすや。

632B : あー 奥さんが↑。

633A : おーん。

634B : ま なー、 また ちゃんと 引き継いでやあるんやなー。

635A : おーん。 ほんでー まー

636B : んー。

637A : ほっで あのー あ ん... 元気なつてゆんか、 遊びに 行ったときも え よ  
う やあんだしなー。

638B : んーんーんーんーん。

639A : ほんさかいに《そうなので》， んで ほうなんやなーと思て

640B : んー。

641A : ほれから後は い あのー

642B : あー ほうか。

643A : あのー 行ってない。

644B : んー。

645A : おーん。 ほんで、 あのー 「どうや」とかて 喋るのは喋ってるけどー。

646B : んー。

647A : おん。

648B : んー。

649A : ほんさかいにー あれなん。 あっ ほって あのー 普段から あの あん や  
っぱ 悪いやん、 せわしのう《忙しく》 してやんすのに、 行っていいか。

650B : そうやー、 こん... な、 小さいしなー。

651A : ほーん。

652B : うーんうーん。

653A : ほんでー、 あのー あんまー 行ってへんにやけどー あのー ほやって 言う  
ててくれやあんたさかいにー

654B : んー。

655A : あのー

656B : ん ん ん わたしも あと なんにも ほないしてへんさ(+かい), 1回なにか。

657A : おん, ほんで わたしも 行ってへん。 あのー

658B : そーそーそー, なんかね。

659A : 行って 迷惑かなんかなーと。

660B : そーそー なー。

661A : うーんうーん。

662B : なかなか 行けへんしなー。

663A : うーん。 ほ あのー, 地藏さんの

664B : んー。

665A : ひー《日》やおー《やろう》って 覚えてたさかい, 多分 23日やと思う。

666B : あーん。

667A : うーん。

668B : うーん んー んー。

669A : /少し間/ ほんまや ええ子 あのー いてくれやんたさかいなー。

670B : ほんまやー。

671A : うーん。

672B : いつも 先頭に 立ってなー

673A : うーん。

674B : あれへん なにか し, 家に 来てくれやあったし。

- 675A : みーんなで あの あれ してたのに あれやなー, なかなか もー
- 676B : ほんまやなー。
- 677A : うーん。 忙しさに 紛れて
- 678B : あ ほうやー, みんな 働きに 行ったりなー。 すると もー
- 679A : ほう, みんな そうなんや。
- 680B : バラバラんなって
- 681A : うーん。 まー また
- 682B : ほうやー。
- 683A : あの これから そろそろー ぼちぼちー
- 684B : んー, これからやもんなー。
- 685A : んー。
- 686B : また。
- 687A : んー。
- 688B : みんな もー 家に ほとんど 居るようになったら
- 689A : んーんー。
- 690B : また あれしてなー。
- 691A : ほっで, あの 今まで あのー あれ どういうたええやろ, あれ 婦人会と  
かー まま 婦人会は
- 692B : んーんー。
- 693A : 無くなったけど 町内のー 事をー あのー ほれ あのー したけど あの お  
祭りの事なんかは, 男のしとー《人》
- 694B : んーんー。
- 695A : だけで, わたしら い 一切
- 696B : んーんー。
- 697A : ノータッチ。
- 698B : そーそーそー。
- 699A : タッチして えんか《良いのか》 分からなかったけどー。
- 700B : んー
- 701A : あのな この頃なー あの あれなん, あのー あの よそから 来ててくれは  
るやろ みんな
- 702B : んー。
- 703A : 応援に。
- 704B : んー。
- 705A : だからな 結構 あの 着付けに あの 着付けがな いるん。
- 706B : あーー ほうか
- 707A : うん。

708B : んー。

709A : ほんでー あの一 去年 1 遍だけな。

710B : うーん。

711A : あの一 講習ってゆんか あの一 上手な人に

712B : あー なー やってし してくれやあったなー んー

713A : うーん。 来てもろて ほんで

714B : んー。

715A : ほんで やっぱ あの一 ん ど 言うたん。 時が 変わると

716B : あーー そえてが。

717A : そういふなんも 変わってくると 思うわ。 おん 今まで

718B : ほやな。 時代がなー 時代が そう。

719A : おーん てつどうて《手伝って》 てつどうて

720B : ほーや。 男だけが あれやったでなー んー。

721A : 悪いんかなーっていう。 おーん。 なんか しゃしゃり出てるような 感じやさかいにと

722B : そーそー。

723A : 思ってたけど。 あの一 そうなんや。 あの一 ほんで だんだん こ 時代が変わってくるんやなー。

724B : んー。

725A : んー。

726B : ほんまやなー。

727A : んー。 また これから あれやん、 あの一 ほ ほれなりに 楽しめるやん。

728B : あ ほうやなー。

729A : こないだかてー

730B : うん。

731A : あ の こ あの一 したとき《時》かてー

732B : うん。

733A : あ の ほれ あの一 どの 人や 分からへんけど まー しゃべ

734B : あーあーんー。

735A : 喋っててー ほって ちょっと 知ってる人やけどー

736B : うんうん。

737A : あの一ー あの一 ほれ, 「あ そうやったんか」というて こー 親しく

738B : んー。

739A : 喋れるような。 あ え あの一

740B : ほうやな。

741A : ここの 町内じゃなくて よその町内。

742B : あーん, ほんな ええな。

743A : だ, フナ町‘まち’の人, 来ててくれやあった人 知ってる↑。 し あのー

744B : うち

745A : 顔を 見たよう (+や) けど, どこー どの人やかは 知らん わたし。

746B : うちも あんまり 知らん。 {笑い} あの, ○○○○さんの奥さんぐらいしか  
知らん。

747A : おん あーそーか。

748B : うーん。 あーとーはー

749A : あのー。

750B : どっか ほの辺の人だけ きゃ 来てはれん↑ 奥さん。

751A : うん。 ほ

752B : あの フナ町の も ここの 裏ぐらいの人。

753A : あの あのー, ○○○○さん, 来ててくれや, あっ この ほ ほこの 裏ぐ  
らいの人やとかも 知れんわ。 いつも

754B : ふーん。

755A : ほのー ほのし (+と) 《人》 どのしと ほの家のしとがー

756B : うん。

757A : ていうことが 分からなかったけどー

758B : うーん。

759A : フナ町の人 2人‘ふたり’来ててくれやあったで。

760B : あー ほうか。

761A : うーん。

762B : どっか なんか ほの辺に 住んであるんでないかなーって いうような

763A : あー ほうかも知れんわ。

764B : かわらん なー

765A : うんうん。

766B : なんか ちょっと おも

767A : あ 顔見てるけど, 喋ったことないっていう人やろー。

768B : あ そーそー もか

769A : 挨拶してんの うん。

770B : んーんーんーんー。

771A : ほ キタムラの人がって こないだな。

772B : ふーん。

773A : あの 初めて 来ててくれやあったしと 《人》 な。

774B : うーん。

775A : あのー 名前とか よう知ってるんや。

776B：ふーん。

777A：ほんな　うちの　主人の　会社へ　行ってはったしと《人》や、

778B：ふーん。

779A：もー　うちら　もー　もっと　偉いさんやったさかいに　あれなんやけどー。

780B：んー。

781A：あの一　ほたら　あそこの　ほこの　奥さんやったん。

782B：へー。

783A：で　向こうのしと《人》　向こうも、　名前は　知っててくれやあったけど。

784B：うーん。

785A：喋ったこと　なか　ないやん。

786B：うーん。

787A：で　こっちもー　あれなんやん。

788B：ふーん。

789A：ほんで　あの一　こないだ　あの一　〇〇〇〇さんに　喋ってたら

790B：うん

791A：「うーん、　け　あたし　結構　友達なんやー」って言うて。

792B：あー　ほんま。

793A：うーん。

794B：んー。

795A：なんか　ほの　ほかの　どうゆったやな　お寺かなんかの　サークルかなんかでー

796B：あーあー。

797A：一緒や　言うてはるんやー。

798B：んー。

799A：ほんで　あの　ほやってして　知ったしと《人》があった（+ら）、　また　来てくれ  
はると思うわ。

800B：うーん。

801A：うーん。

802B：あー　しとりは《1人》　あそこやろ↑　〇〇屋さんの

803A：おん　ほん

804B：奥さんやなー　あの人は　んー

805A：うん、　あのしと《人》　〇〇屋さんの。　あのしとは　もー　お、　あのしと...

806B：あの人も　今　なんか　しては

807A：あー　ほっでも　なんやら　来年　還暦やとか　言うてはったん違うん。

808B：ほーん。

809A：「わたしも　もうじき

810B：わたしも　もう



- 811A : 還暦やわー」とか言うて、 もー
- 812B : あー そっか。
- 813A : 来年 かい、 か あの 還暦やて 言うてはった。
- 814B : あー ほんと 59 か。
- 815A : ほーん。
- 816B : ほやなー んー。
- 817A : 還暦やていうことはー、 ほと (+ら)
- 818B : かん
- 819A : 今年 還暦のしとは いくつ あのー 何年‘なにどし’やいな↑。
- 820B : うちの 下いう (+たら)
- 821A : どうえ、 みー《巳》か。 辰、 うー《卯》、 辰、 みーか。
- 822B : お。
- 823A : 蛇の人が
- 824B : ほうや。
- 825A : ほいと 還暦かやな。
- 826B : そーそー。
- 827A : 数えとして いうんやな、 還暦いうたら。
- 828B : ほうや、 辰か みー、 みーか。
- 829A : 辰か みーやな。
- 830B : 今年、 みーの人が、 今年 還暦になる。
- 831A : ほうやなー。
- 832B : ほうやなー。
- 833A : ほと あのしと 午‘うま’どしか。
- 834B : どんなんやろ。 いやー あの人は ひと、 あと 2 つぐらい下やなー
- 835A : ほうか。
- 836B : わたしらより。
- 837A : ほーん。
- 838B : うーん。
- 839A : 「もうじき もう 還暦やわー」って 言う
- 840B : ほーー。
- 841A : 言うてはったさかい 来年って 言わあったかなー。
- 842B : ほやて あの 人 いくつぐらいかなー思て
- 843A : ほーん。
- 844B : 見てたんやけど。
- 845A : おんおん。
- 846B : ふーーん。

- 847A : ほんでー あの ほの あのー もう 1 人 ほれ, あのー ○○○○つあん 来てやって《来てはって》, ○○○○つあんて いや いやったやろ↑ ○○屋さん。
- 848B : あの ほこにー 向こっかわに 座ってあった人か。
- 849A : おーほー。
- 850B : あの 若そうな人やけど。
- 851A : おーほー。
- 852B : 58 か 9'く' 言わあったん。
- 853A : あっ, わたしらの ゆ い, あのー ほれ 「あんたとこー お雛さん 飾ったかー」て 喋ってたん。
- 854B : あー はーはーはー。
- 855A : うん あのー しゃ 「飾ったー」て言うてあんた うん。
- 856B : あー あのしとや うーんうーん。
- 857A : あのしと ほれ あのー あのー うちんどこらも あそこ 灯油やか《なんか》持って来てもうてるで, よう知ってるんや。
- 858B : ほーん。
- 859A : おーん。 ほんでー
- 860B : あー あそこ ○○○○の ほーー
- 861A : おん ○○○○。 ほんでー あのしとが
- 862B : ほん。
- 863A : あのー 誘ってってくれはったんやと思う。
- 864B : はー。
- 865A : あの子が さ, あの子が 誘ってって くれやあんたやと 思う。
- 866B : はー。
- 867A : あの あの 仲よう してやんすさかいに ほの
- 868B : ○○屋さんとか↑。
- 869A : ○○屋さんと。
- 870B : あーあーあーあ。
- 871A : うーん。
- 872B : ふーん。
- 873A : ほんで あのー あの 来てて くれやあるんやと 思うわ。
- 874B : んー。
- 875A : 「来てな」言うて 一緒に うーん。
- 876B : ほんで ほの人は なにか 役してはるん。
- 877A : 誰が。
- 878B : ほの い 今の ○○○○さんは。
- 879A : あ ○○○○つあんは 民生員《民生委員》してやある。

- 880B：あー 民生員してあるん。
- 881A：あん 向こうの↑。 うーん。
- 882B：ほんで ○○屋は 関係ないんか。
- 883A：関係ない。
- 884B：なんにも してあれへんの。 んー。
- 885A：うん。 けど お友達やさかいにー。
- 886B：あー ほっか。
- 887A：うーん そやけど あのー あのしと あのしとんどこら あの ほれ
- 888B：うん。
- 889A：あのー 今 あの 祭りで しとがないとか よう 言うてあるやろ。
- 890B：んーんーんー。
- 891A：あの あれ 何年ぐらい前やろ もう ほいでも 5年ぐらいなるかなー。
- 892B：んー。
- 893A：ぐらい前から あのー 警護やかに 出とってくれやあるん 祭りだけ。
- 894B：あー ほーんまー。
- 895A：おーん。
- 896B：ふーん。
- 897A：おーん ほんでー あの だ
- 898B：んー。
- 899A：だから あの ほの やっぱ 着付けがいるん 誰か
- 900B：あー。
- 901A：ほ こ、 みんな 来てくれはるけど。
- 902B：んーんー。
- 903A：おーん、 ほんで 今までは そんな あの ほれ、 家からみんな 着てきはったさかいに。
- 904B：んー。
- 905A：着て 行ってくれはったで。
- 906B：んーんー。
- 907A：ほんで あのー うちらが ほんな
- 908B：ほうやわなー。
- 909A：触っていいんかしらんと 思って。
- 910B：あー。
- 911A：ほれもあるで。
- 912B：んーんー。
- 913A：みんな あの、 来たろーって言うて 思ってくれやはる人は あるんやけど こ  
触っていいかなーとか 思うんや。

914B : んー。

915A : え あのー

916B : ほやなー。

917A : 思う。 うん ほんで

918B : んー。

919A : ほんで 今度 あのー あそこ あの ○○屋さん。

920B : うーん。

921A : ○○屋さんどこの 孫さんが いやんすんやー。

922B : ふーん。

923A : ほんで し 知らんかったん 幾つや。

924B : あーんふーん。

925A : うん。 ほんで いやんすんなーと思ったら あの 娘さんの子供さんやで。

926B : うんうん。

927A : うん。 ほしたら あのー あのー あれやて 出たい あのー あん どうやら  
いうたら、 出たいんやって言うて。

928B : あーんー。

929A : 言うててくれやあったで ほんで 今年 あのー 出てくれやあるん。 お祖父ち  
ゃんが 出てくれやあるんやろか りょ ほこんどこは 分からんけど。

930B : まっ、 ちっさいんか↑。

931A : お祖父ちゃんでも 誰でもいいんや。 あっ ほ↑。

932B : 小さいんか↑。

933A : ### もち

934B : あーん、 ほいと まだ かわい なー、 小さい んー

935A : おん おん、 んー ほんでーや ほれにー あの あのー 出てくれやあるん。

936B : あーーへー。

937A : で ほういう繋がりも あ

938B : うんうん あるなー。 んー。

939A : んー できるやん。 んーんーんー。 ほんで

940B : ほんまやー。

941A : だいたい 元々 あそこ、 一緒の組やったやでなー。

942B : そうやなー。

943A : なんで

944B : 橋から もう向こうは きやはらへんよに なってもてんやろ↑。

945A : おーん。 なんで ほんで ほ ほれも 分からんやん。

946B : んー。 {笑い}

947A : わたしら 女やさかい なんにも 分からんけど 男の

- 948B：なんか やっぱ あったんやろかなー。
- 949A：あったんやろなー。 {笑い} ほんで きやはらへんよん なったのはなー。
- 950B：んーんーんー。 {笑い}
- 951A：なんでや 知らんけど。 ほっでも
- 952B：昔は なんか 難しかったやろー↑。
- 953A：色々あったなー。
- 954B：色々あったんやろー↑。
- 955A：だから ふんでー わたしらが
- 956B：んー。
- 957A：口だ ちんば， てっ てっとうて《手伝って》
- 958B：到底 もー
- 959A：手伝いに行っても
- 960B：んー。
- 961A：んー なんか 触っても 怒られるよな 感じやったやん。
- 962B：ほうやて。
- 963A：うん。
- 964B：もー とても い， あのー 傍‘はた’い 寄れるー 雰囲気でなかったやん。
- 965A：おん， お 雰囲気でなかったやろ おーん。
- 966B：もー ヤマでも もー 触ったら 怒られそうな感じでなー。
- 967A：おーんおーん。 んーんー。
- 968B：ほーんまに 絶対に なんか
- 969A：おーん。
- 970B：シキヤマ〈曳山〉でも もー 家ん中から {笑いながら} こう 見てる感じ
- 971A：お 感じやったやろ↑。 ふーん
- 972B：もー 出るのも 怖かったわ。 {笑い}
- 973A：今は あんた あの ここへ
- 974B：んー。
- 975A：ほの ヤマ出して きやはるやろ↑。
- 976B：うーん。
- 977A：ほいっと みんなが 修理とかあんなんに 手伝いに行くやーん
- 978B：うーんうーん。
- 979A：しつけとか せんならんで。
- 980B：うーんうーん。
- 981A：ほだら 2階からよ。 {笑い}
- 982B：{笑い}
- 983A：{笑いながら} けっか ### ###

- 984B：ほや ほや、 あれ を見下ろしたらあかん 言わあるもんない。
- 985A：おんおんおーん。
- 986B：んーんー ほんまやなー。
- 987A：ほやけど い あのー あそこの あのー ここのヤマじゃなくて ほれ、 あのー オタビの おみこ、 あの お神輿さん ほれ、 しはるどこなー。
- 988B：あっ はーはーはーはー。
- 989A：あそこへは わたしかて あのー 上がった事ないで。
- 990B：あーあーあーあー。
- 991A：男のしとは 上がってやはるし、 男の子は
- 992B：んーんーんー。
- 993A：上がってやはんすけど うん。
- 994B：ほやろなー。 やっぱー なー。
- 995A：ほーん。
- 996B：女は あんまり 今でも やっぱり ちょっとなー。
- 997A：おーん、 ほっで ほれ やっぱ
- 998B：んー ヤマいうのは
- 999A：やっぱ ほれは 大事やさかいなー。
- 1000B：覚えてるもんない。
- 1001A：子供に やっぱ
- 1002B：そーそーそー。
- 1003A：教えとかんと あかんなー。
- 1004B：んーんーんー。
- 1005A：んー。
- 1006B：ほうやー。
- 1007A：あのー あの ○○○さん、 あそこの あの 春まつ はるーは、 もー おそなるさかい あれやけど、 秋祭りにー
- 1008B：んー。
- 1009A：お神輿さんがー
- 1010B：んー。
- 1011A：お神輿さんが あの ほれ あの オタビ所‘しょ’から あのー 八幡さんへ 帰らあるの 見に行かあった事ある。
- 1012B：ん オタビから
- 1013A：から
- 1014B：八幡さん。
- 1015A：八幡さんや。 秋 秋のどき。
- 1016B：いや 滅多に、 んー

- 1017A : 10 月 15 日。
- 1018B : 滅多にないわ。
- 1019A : あん 薪能とか しゃはるときに一
- 1020B : ふん。
- 1021A : ほれ しゃ, ほれ いいで。 あたしも いつ, に 2 遍ぐらいか 2, 3 遍 見  
に行ったこと あるんや一。
- 1022B : ん一一。
- 1023A : ちょっと おそなるけど一
- 1024B : うんうん。
- 1025A : あのー こっち, あのー オタビ所から一 あのー ほれ 担いで みんな, あ  
のー
- 1026B : ん一一。
- 1027A : 八幡さんへ 帰らあるのに一,
- 1028B : うーん。
- 1029A : ほれ み... あの 12 の ほの 12, あの うちいやさかい 13 やわな一。
- 1030B : ん一。
- 1031A : 13 の あのー ヤマぐみが みんな あの, 提灯を みんな あの し, あの  
ー ほれ, どういうたんやな。
- 1032B : ん一。
- 1033A : ずーっと お神輿さんの後‘あと’に 付いてって
- 1034B : んーん一。
- 1035A : ほって あのー 最後に こう, 米 撒いたり お米 撒いたり しゃあるわ。
- 1036B : ほ一一ん。
- 1037A : ほういう ぎよ (+うじ), ほんなん 知らんやん, 普通 みんな うん, ほ  
うゆ。
- 1038B : ん一一。
- 1039A : ほんで みんなで
- 1040B : んな 初めて聞いたわ。
- 1041A : 拾ってたりしたことあったわ。
- 1042B : へ一一。
- 1043A : ふーん。
- 1044B : ほいで え あの ん んま
- 1045A : あっ, 近所の人とも 行ったことあるわ わたし。
- 1046B : 祭りが 終わってからか↑。
- 1047A : あの ほのー 4 月の祭りも おんなし事。
- 1048B : ん一。

1049A：しゃはるん かは， ほっ これは 分からんにやけど。

1050B：うん。 あっ

1051A：4月の祭りは 自分どこの ヤマが帰ってくるしー

1052B：んーんーんー。

1053A：ほって わたしが せんなんで いけんけど

1054B：んーんー。

1055A：あの 秋

1056B：ほー。

1057A：秋 あのー 八幡さんで 薪能とか しゃはる。 あと，

1058B：んー。

1059A：お神輿さんが あの オタビ所から 帰ってきはって

1060B：へー うち ほんなん 行ったことないわ。 {笑い}

1061A：あー ほうか， また 行こうなー。

1062B：うーん また 言うて。

1063A：前 1遍なー， みんな

1064B：うーん。

1065A：あのー みんななー， あのー

1066B：うーん。

1067A：行こかって 言うてたこと あったんやー。 ほって

1068B：んー。

1069A：あのー 行ったこともあるんや。

1070B：んーんーんー。

1071A：きよ あの， ほった ほの 行こうて言うてて あの お葬式の一

1072B：んー。

1073A：あの ひ ひずで みんな行ってー

1074B：うんうん。

1075A：ひずに 行って

1076B：あー。

1077A：ほんなも（+ん） ふんな日に

1078B：ほ ほうやなー。

1079A：やっぱ あんま ようないやーん。

1080B：んーんー。

1081A：たまたま それが

1082B：あん時は

1083A：あのー

1084B：ほうや。



- 1085A : あの 別に あのー わたしら 参加した訳では ないけどー。
- 1086B : んーんー。
- 1087A : はいでも やっぱー あんま ようないやん。
- 1088B : んーんー。
- 1089A : で 「今日は やっぱ 止めとくなー」 言うて
- 1090B : あー ほうか。
- 1091A : 今日の おまつ (+り)。 うーん ほんで
- 1092B : んーんー。
- 1093A : 行かんかったん。 んー あの あれ, あの ええで
- 1094B : んー。
- 1095A : うん。 ほんで
- 1096B : わたしは ほんなん ある事も 知らんわ。
- 1097A : あのー あの
- 1098B : へー。
- 1099A : 春, あの 春の あの お神輿さん 帰らあるん, 見やったことある↑, オタビで。
- 1100B : オタビから 向こうへ 行かあるのんだけは 見たことあれど,
- 1101A : あの 中々 帰らあれんやろ↑。
- 1102B : うんうん そーそーそー。
- 1103A : おーおーおー。
- 1104B : 最後まで 見に
- 1105A : おーもー
- 1106B : 1 回 最後まで いてたことあるわ。
- 1107A : 3 遍ぐらいは あれやな, 出たり入ったり 出たり入ったり しはるわ。
- 1108B : んー。
- 1109A : ほやけど あの 秋は
- 1110B : あの時は
- 1111A : 割り方 静かな
- 1112B : あー ほうか。
- 1113A : 割りかし もっと く, もっと 暗いんやん。
- 1114B : んーんーんー。
- 1115A : こう ヤマぐみ, あのー ヤマの電気が。
- 1116B : ヤマが ないわなー。
- 1117A : ないさかいに おーん。
- 1118B : おーんおーん。
- 1119A : でー なんか

1120B：おー。

1121A：ヒチゴウとか ほうゆなんの なんかー， ほうゆなんが 主体かなー。

1122B：へー。

1123A：うーん， ほれも おんなしよな 感じやけど。

1124B：うーんうーん。

1125A：うーん。

1126B：へー うん また 言うてー

1127A：また 行こな。

1128B：うーん。

1129A：また みんなで 行こう。

1130B：ねー。

1131A：あの一 あの ほんなこと あの一， 行ってる間 なかったやん わたしら 今  
まで

1132B：んーんーんー。 ほー 全然 知らんし。

1133A：夜 おそなるし

1134B：ほー うちも とてな一 ほうや

1135A：夜 おそなる。 わたしも ほんで

1136B：んー。

1137A：あの一 ずっ あの ずーっと ゆ， あの 行くよーんだったのが， 10 年ほど  
前ぐらいかな， 知ったの。

1138B：あーあーあー。

1139A：知らなかったわ そんなも。 そ あの ほれまで

1140B：ほー。

1141A：ほんなん 行ってるまー《間》 なかったって言うんか。

1142B：んーんーんー。

1143A：んーんー。

1144B：やっぱーな一 ほんーま 仕事に行っまうとなー。

1145A：ほーん。

1146B：もー ほういう時間が とれへんのや。

1147A：ほっで あの一 お祭りかっでー

1148B：んー。

1149A：あの 自分どこで もー あれしてもっで， ほんな

1150B：ほいやほいや。

1151A：あの 疲れてもて 行かへんやろー。

1152B：見に 行かへんしな一 もー。

1153A：うーん。

- 1154B：あ ここ 出て行かあったら、 もー さーっと 家へ帰ってきてなー。
- 1155A：おー ほんまや、 おーんおーんおんおん。
- 1156B：色々したいしよ。
- 1157A：おんおん。
- 1158B：ほんまやー。
- 1159A：ほんで あの ほの時分はー
- 1160B：んー。
- 1161A：あの ほれ、 あのー わたしらの若かった時分は、 お客さんもあったけどー
- 1162B：んーんーんー。
- 1163A：{笑い} この頃 あの ほれが 無くなったやん。
- 1164B：あ そーそーそー。 もー ん... なー
- 1165A：んー。
- 1166B：ほとんど うちら 娘でも もー 仕事やったら きやんせんでなー。
- 1167A：おーんおーん。
- 1168B：もー 長い間
- 1169A：ほと 違う日に 呼んだりするやん。
- 1170B：んーんー ほうやなー、 ほんまや
- 1171A：あの Bさん、 あの あの もっと ずーっと あのー あの どういうたやな、  
子供んぐらいんどきにー
- 1172B：んー。
- 1173A：お祭り言うたらー
- 1174B：んー。
- 1175A：あのー あの 包み団子しやあったの 知ってる。
- 1176B：あーんあーん ほれは。
- 1177A：こやってして したなー 昔。
- 1178B：あーん。 あれは もー お正月となー。
- 1179A：ほーん。
- 1180B：4月は 絶対 作らあんたわ。
- 1181A：し しゃ、 ほうやなー。
- 1182B：んー。
- 1183A：ふんでー、 ほれを こないだー あの
- 1184B：んー。
- 1185A：子供の あの 仲良しクラブのどきにー
- 1186B：んー。
- 1187A：あのー あれを あのー あの し
- 1188B：あー、 1回 なんか して

1189A：○○○さんが してくれやあったん。

1190B：ほー。

1191A：こな， あのー 仲良しクラブってゆのは 子供ば 子供さんばっか

1192B：んーんー。

1193A：寄せるクラブのどきにー。

1194B：んー。

1195A：あの あのー ほれを お餅を ほの こう 包み団子っていうの してくれやあったんや。

1196B：んー。

1197A：ほんで これ あー あのー みんなーの あれなん， 4月の祭りんどき したな一言うて。

1198B：んーんーんー。

1199A：あ うーん。

1200B：昔は もー， お餅いうたら も あれは 絶対 作ったもんなー。

1201A：あれしか きし， 作ったもなー。

1202B：んーんー， うちらも ほれしか 知らんわ。

1203A：んで

1204B：あんまり ほの のし餅とか も ### 全部 包んでまあんたわ。

1205A：包んだやろ。 あの

1206B：小豆を

1207A：ほーん。

1208B：んー。

1209A：ほって ほのー あの 結構 みんなー このー 歳があれでも 大体 みんなこう 経験があれ

1210B：んー。

1211A：おんなしなんやろな。

1212B：んー。

1213A：70代のしと 60代のしと

1214B：あー。

1215A：あんたんみたい もー ほん 60っていう人とかも

1216B：んー。

1217A：で， ほって もうちょっと 下のしとでも あの あれやな， 結構

1218B：あー。

1219A：あのー 昔からの 習慣やったんやな。 ほんでー あの

1220B：あ ほうやろなー， んー。

1221A：ほって みんな これ あの あのー 火鉢に くべたな 言うて。

- 1222B：そーそー。 {笑い}
- 1223A：ほってー
- 1224B：あー。
- 1225A：あの 皮の薄いのと， あの
- 1226B：んーんーんーんー。
- 1227A：あれのあって バーン なー， パーンと
- 1228B：ほうやほうや。
- 1229A：膨れてくるのとか あったやん。
- 1230B：んー ん。
- 1231A：んで ほれを
- 1232B：あれは 美味しいんやけどな。
- 1233A：美味しいなー。
- 1234B：あの 下のよ，
- 1235A：おー。
- 1236B：こ（+う） 重ねたところがよ，
- 1237A：おー。
- 1238B：こう ツッて。 {笑い}
- 1239A：おー そやそやそや。 んー
- 1240B：小豆がないし。 {笑い}
- 1241A：{笑い}
- 1242B：ほこ 食べんのが 1 番嫌やったけどな。
- 1243A：おーん。 ほんで あのー
- 1244B：んー。
- 1245A：こないだー ほの あれ 簡単な 餅つき機でー
- 1246B：んー， あー
- 1247A：あのー 餅ついてー
- 1248B：そー うんうん。
- 1249A：ほって あの あれ 誰
- 1250B：ほうやー。
- 1251A：〇〇〇〇さんが 千切ってくれはったんかなー。
- 1252B：ほーーん。
- 1253A：ほしてー あの ほの
- 1254B：うんうん。
- 1255A：ほんど ちょっとやで。 子供さ
- 1256B：んーんーん。
- 1257A：子供んが。 ほってー あのー あの 餡は ほの ほれ， 買って来はったん。

1258B：んーんー。

1259A：ちょっとやさかいに。

1260B：んーんー。

1261A：うん。 ほして あのー

1262B：んー。

1263A：よもぎは 冷凍しといたらー

1264B：あーー。

1265A：あのー 使えるさかいに

1266B：うんうん。

1267A：ほんでー あのー

1268B：ふーーん。

1269A：ほ ほれを 持ってってくれはったんや。 で、 あん 昔は よもぎいうたー、  
灰汁ぬきしたり なんやら してたやろ↑。

1270B：うーん。 なんか あれも、 あの

1271A：うん。 なんか してあったやろ↑。

1272B：蒸すんかなー あれは。

1273A：おん。 なんか そんなん

1274B：む、 ほいで

1275A：加工してあったと思う、 うん。

1276B：うん、 あの なんか ほれ、 も 餅を

1277A：ほれだけ ちょっと 搗いたりしてやあったなー。

1278B：うーん、 蒸す時に なんか 一緒に パーッと入れてやあんだかなー。 なんか  
パイッとしてやんたような 気がするけれど。

1279A：ほんでー あのー 今 機械やさかいにー

1280B：んーんー。

1281A：ほれー あの、 パーッと あの 混ぜてまわら

1282B：あーー。

1283A：混ぜてもて、 まー ちょっと 刻んだかとか、 ほうん ちょっと 分からんけ  
ど。

1284B：んーんー。

1285A：んー。

1286B：最初 あのー 先 ほれを ほうや 杵で潰してから、

1287A：あ 搗いてや 搗いてやったなー。

1288B：うーん。

1289A：してやったなー ほれ。

1290B：で ぐちゃぐちゃに 綺麗になー

- 1291A：おーん。
- 1292B：もー ぐちゃぐちゃにしてから、こ あの 餅入れてー 一緒に なんか 搗いてたんかやなー。
- 1293A：ほ 搗いてやあったな、ほうやなー。ほ
- 1294B：んー。
- 1295A：わたも ほれは 最初に ちょっと
- 1296B：んーんー。
- 1297A：してやあったなーっていうどこ 覚えてるんや、うん。
- 1298B：なー。
- 1299A：んー、ほんで このあいだ 餅つき機でな、ほれ あの してくれやはったん。
- 1300B：ほーん。
- 1301A：うん。ほんで
- 1302B：ほやなー。
- 1303A：あの一 うちらでも 久し振りやのにー
- 1304B：んーんーんー。
- 1305A：あの一ー ほんなん 子供の子らや 知らんせんやん。
- 1306B：ほらほうや、知らあれんわなー。
- 1307A：ほーん。
- 1308B：買てきたら まー 売ったるけどー。
- 1309A：うーん あの一
- 1310B：滅多に ほいでも
- 1311A：い 家で作ったのと 全然 違うもなー。
- 1312B：あれ 違う。
- 1313A：なー。
- 1314B：美味しいわなー。
- 1315A：美味しいなー んー。
- 1316B：あの一 皮も やっぱ 味があるもんなー。
- 1317A：おーん。
- 1318B：んーんーんー。
- 1319A：ほんさかい 今度 あの一 ほれ あの一
- 1320B：んー。
- 1321A：よもぎを 採りに 行かんと あかんなーっていう 話になってー。
- 1322B：{笑い} おーん。
- 1323A：でも よもぎって あの どこでもあるけどー、あの
- 1324B：あれも 違うんや。なんかなー
- 1325A：おー。

1326B：よう 似たのが あるやろー。

1327A：おん， あるあるある。

1328B：うーんうーん。

1329A：うーん。 きー付けんと ん

1330B：なんか あんまり 今のん， 匂いがせんやろ。

1331A：ほーん。 ほっで あのー ほれ， お 変などこ

1332B：なんか 昔は もー 匂いがしたで。

1333A：もっと 匂いがしたで。

1334B：んーんー。

1335A：ほっで あのー あれ け かなんやん， 奇麗などこでないと。

1336B：そーやー やっぱり なー 山手の

1337A：おーん。

1338B：ああやって， 奇麗などこでないとなー。

1339A：おーん， 奇麗などこでないと， んー。

1340B：んー。

1341A：ほって 割り方 あのー あ あのー ほんで， わたし 友達に聞いたんや。

1342B：んー。

1343A：ほんで どうやろうって言うて き， ほの よもぎ 摘むのに 言うたら

1344B：んー。

1345A：あの 新しいうちやとー

1346B：んー。

1347A：そんなー 灰汁ないさかいにー

1348B：あーー。

1349A：あの さーっと， さーっと ゆ 湯がいて

1350B：あーー。

1351A：ほして あのー 冷凍しといたら どうもないって 言うてあんたわ。

1352B：あーー。

1353A：ど どうもないわ， んー。

1354B：ほーー。

1355A：ほんで こないだ 良かったさかいに

1356B：んー。

1357A：また は， あの は， もー あれやな， もうちょっとしたらやな

1358B：ほうや。 もう そろそろ

1359A：摘みに 行こかって 言うてはったで。

1360B：あーあー。 あったこなって《暖かくなって》 来るとな。

1361A：うーん。



- 1362B：もう そろそろ， 天気のいい日なんか
- 1363A：畑なんかにあるのん ましやろ↑。
- 1364B：ほいやほいや。
- 1365A：畑とかあるのあるのはええけど，
- 1366B：んー，
- 1367A：土手とかって
- 1368B：あの たん， 田んぼの ほんでも 土手やかは どうもないやろ。
- 1369A：あん ほ， ほえやったら ええと思うわ， うーん。
- 1370B：うーんうーん。
- 1371A：ほんさかいにー
- 1372B：ほうやー。
- 1373A：あの また ほれ するとええな一言うて。
- 1374B：あーーん。
- 1375A：うーん。
- 1376B：ほんまやー。
- 1377A：あの 今度の 4月にでも， ほのー あの おやつに それ してくれあると ええな。
- 1378B：{笑い}
- 1379A：なー。
- 1380B：お餅を↑。
- 1381A：うーん。
- 1382B：んー。
- 1383A：ほって あの
- 1384B：ほんまや， なー。 ここらで
- 1385A：おん
- 1386B：年寄りさん の人に こやって してもろて。
- 1387A：おーん， みんな みんなで， あの よう 知ってはると思う。
- 1388B：そーそー。
- 1389A：てー《手》が
- 1390B：んー。
- 1391A：こう 馴染んだるて言うか。
- 1392B：そーそーそー。
- 1393A：うーん。
- 1394B：なんか こう， こいして ちょっとだけ， うー するねんなー。
- 1395A：こやって そ， やって したな。 こやってして こうしてたな。
- 1396B：あ そーそーそー。

1397A：ほって こうして こうして やってったなー。

1398B：{笑い}

1399A：おんおんおん。 あー けっこ《結構》 みんな

1400B：んで， 「ここは あんまり 重ねたらあかんで」 とか

1401A：あーあーあー そやそや。

1402B：言われてなー。

1403A：おんおん。

1404B：もー 「うす《薄く》しときな」いうて言われてな。

1405A：結構 ほったら 昔， あのー

1406B：んー。

1407A：け おのー

1408B：やっぱ

1409A：してた あの あれー あの， 経験者って多いなー それ。 結構

1410B：あれ いるねー

1411A：してたなーというしと《人》や あるなー。

1412B：ほいや， もー わたしらの ほんで もー じゅっ， ねー， 5つ 6つしたー  
ぐらいの人は もー 全部知ってあるやろ。

1413A：知ってあるなー ほんな んー。

1414B：んー。

1415A：家でしてたらなー。

1416B：んー。

1417A：みんな うーん

1418B：田舎の人は もー 今でもなー

1419A：ほーん。

1420B：作ってやあるんやで。

1421A：あ 今でも 作ってはるか。

1422B：んー。

1423A：今でも ほったら ほの あの

1424B：今でも ほら し

1425A：あのー 祭りやと してはるんやろか。

1426B：うーん， ほんまに

1427A：ほんま。

1428B：田舎へ行くと やっぱー あの 作らある人は 作らあるで。

1429A：あー そーか。

1430B：うーん。

1431A：うーん。

1432B：やっぱ、あの 年寄りが やると〈居ると〉 食べたい 言‘ゆ’わあるんやてー。

1433A：うん。 た 食べたいん。

1434B：うーん。

1435A：今は わたしらも 食べとなったなー。

1436B：ねー。

1437A：ほーん。

1438B：ほうやて

1439A：しとり《1人》では かなん《かなわん》さかいにー

1440B：うーんうーん。

1441A：あの みんなで 一緒に せんと。

1442B：そーそーそー。

1443A：あの おはぎは もー 簡単に 出来るようになったんや。

1444B：あーあー ほうやなー。 今 おはぎ ほうやー。

1445A：あの一。

1446B：炊いて なんかなー。

1447A：おんおん。

1448B：してあるところもあるし。

1449A：ここでも あ あの あの したわー。 あの

1450B：ふーん。

1451A：みんなで あの ほれ、 炊いてー

1452B：んー。

1453A：ほって あの一 すりこぎで あの 潰してー

1454B：ほーーん。

1455A：おーん。 ほって あの一

1456B：あーあーあ。 おはぎか。

1457A：あんこ 炊いてってくれやあんで、 んーんーん。

1458B：あー ふんふんふん。

1459A：ほって あの きな粉と

1460B：んー。

1461A：うーん。

1462B：ほや。 あれも あ 簡単やもんな。

1463A：簡単 簡単。

1464B：うーん。

1465A：ほいでも あの一 ほの 包み団子っていうんかな。

1466B：あれは 手間 要るねんなー。

1467A：ほれは あの 手間要りやろ↑。

- 1468B：やっぱ 餅 搗かんならんでなー。  
1469A：あ ほーん。  
1470B：蒸して、  
1471A：おーん。  
1472B：ほれが なー みんな 嫌なんやー。  
1473A：ほんで あの こないだは  
1474B：んー。  
1475A：餅つき機で してくれやあったん。  
1476B：あー あれ、 ほうや あれがあったら  
1477A：ほれも あんま沢山すると、 ほんで  
1478B：うーん。  
1479A：あの一 何人もやと すぐ出来るやん。  
1480B：あーんーんー。  
1481A：あの あの 餅が かとならん《硬くならない》までに  
1482B：そうやー。  
1483A：せんならんさかいに。  
1484B：うーん。  
1485A：うーん、 かき餅 しゃあった↑。  
1486B：うち あんまり  
1487A：むか (+し)  
1488B：作らんせんかったんやけどなー。  
1489A：あー ほうか。  
1490B：んー、 ほうや みんな あれも しゃあったんやなー。  
1491A：かき餅、 おーんおーん。  
1492B：うーん。  
1493A：あの 今は ほいでも あの あの 土曜日の日もな、 かき餅  
1494B：んー。  
1495A：ほった このー 焼くもんが ないんよ、 焼くどころが。  
1496B：あー。  
1497A：ほって ほこの ストープの上でー  
1498B：んーんー。  
1499A：あの アルミで しはったけど あかんの。  
1500B：あーー。  
1501A：もっと あの ご 弱火の どいったやな、 昔の  
1502B：あーあー 炭火のなー ほらー  
1503A：炭火の もっと 弱み〈弱火〉で

- 1504B : うーん。
- 1505A : ゆっくり こう ひっくり返して せんとあかんねやなー。
- 1506B : あー そうか。
- 1507A : ふん, 中が あの 硬いんよ。
- 1508B : あー あん。
- 1509A : おん, 中まで じんわりと こ, ああいうの
- 1510B : そーそーそー。
- 1511A : うんうん。
- 1512B : あの まえー 伊吹のなんか, 伊吹で いつも しはるやろ。 伊吹のなんか, あれ
- 1513A : あっちの方は しはるやろ。
- 1514B : 秋でな, 秋に なん, あのー なんか バザーとか 色々したりしゃあるんやわ。
- 1515A : おーんおーん。
- 1516B : ほれに も きよ, おととしぐらい 行ったかなー。 ほんときに あの ほのかき餅をなー
- 1517A : うん。
- 1518B : 焼いて 食べさしてくれあるんやー。
- 1519A : 美味しいなー。
- 1520B : ほんで もー ほいや 火鉢になー
- 1521A : ほん。
- 1522B : ほれは じんーわり 焼かなあかんねんて。
- 1523A : ほうやろと思うわ。
- 1524B : もーのすごい 時間かけてなー
- 1525A : おーん。
- 1526B : 焼かあるん。
- 1527A : おーん。
- 1528B : ほいと もー ほんーま パリパリのなー
- 1529A : おーん。
- 1530B : 美味しいのが 出来る。
- 1531A : あの 絶対 あの ほういう あのー
- 1532B : んー。
- 1533A : どういうたやな, ストーブなんかは あかんもなー。
- 1534B : あかん。 きゅう
- 1535A : も 硬かったやもん。
- 1536B : きついやろ, ひー《火》が

1537A：おんおーん。

1538B：ほんで いっぺんに焼けてなー

1539A：電子レンジで しょー《しよう》言って しゃはったけど、 ほれもあかんわ。

1540B：あー ほんまー。

1541A：もー も， 火鉢がなかったら あれかなーって言うてた。 あの

1542B：んー。

1543A：あの一 天ぷらみたいに 油ん中で

1544B：あー。

1545A：ほれ なんか ものすご

1546B：あっ， アンニンふうのんか。

1547A：バーンっと こう 伸びるやん。

1548B：そーそーそー。 {笑い}

1549A：ほん ほん

1550B：んー。

1551A：ちょっと 油っぽいてんけど。 あー そーか， ほの 火鉢でしてやはったんか。

1552B：うーん 火鉢でなー。

1553A：んー。

1554B：火 火をおこして

1555A：うん。

1556B：ほれ 田舎やで まー， ひ ひ， なー

1557A：うん。

1558B：いっぱい ほゆなんがあるでー。

1559A：ふーん。

1560B：ほん もー， あの あそこの なんか ホールがあるやろ， 伊吹に

1561A：あの一。

1562B：なんとかホールか。

1563A：あの一 ジョイ伊吹か。

1564B：あーあー そーやー， あそこやったかなー。

1565A：あーん。

1566B：ほこでー

1567A：あそこの しゅんさいの森も 色々なも（+ん）あるなー あそこ。

1568B：あー

1569A：あそこ 結構 品揃え いいなー。

1570B：しゅんさいの森は どこやな。

1571A：どっか あの一 あの一 伊吹ハムとか あそこら辺の近くやと思うわ。

- 1572B：あ あー， あのー そばの横か。
- 1573A：おーん そうかも知れんわ。
- 1574B：あのー 野菜やか 売ってあやる
- 1575A：うん。 売ってあるどこ。
- 1576B：あーあー あそこか。 あそこ なんか
- 1577A：あそこー いつも 品揃え ええなと思うわ。
- 1578B：うーん， うちも あそこ 結構な
- 1579A：うん。
- 1580B：行くんや。
- 1581A：あそのの あのー あれが好き あたし， あの あの 梅じゃなくて 大根のほ  
うの ドレッシング。
- 1582B：ほーー。
- 1583A：大根やったかな， 確か 大根やと思う。 玉ねぎでないわ 大根やったと思うわ。
- 1584B：へーー。
- 1585A：あれのドレッシング 美味しいで。
- 1586B：おろしで 入ったるんか。
- 1587A：おん おろし， ん おんおん。
- 1588B：ほーーん。
- 1589A：ど， 梅は ちょっと， 梅 ほんとは 体には 梅のほ（+う）が ええんかも知  
れんけど。
- 1590B：うーん。
- 1591A：酸っぱいけど
- 1592B：酸っぱい。
- 1593A：大根のほれ
- 1594B：あーあー。
- 1595A：なにん掛けても おいし（+い）で，
- 1596B：ほーん。
- 1597A：うーん。 あの ドレッシングも ちょっと ええなーと思て しときで， あと  
に 余ってくると思うわ。
- 1598B：うーん。
- 1599A：最後まで 使き切れんていうんか。
- 1600B：ほうや ほや
- 1601A：うーん。
- 1602B：いつも なんか 最後 ちょっと
- 1603A：おんおん。 なってしまう。
- 1604B：余って ほのままに なってまうもなー。

1605A：うーん。

1606B：でも ないとー なー。

1607A：おーん。

1608B：あれも ないとあかんねや。 ## 絶対に なー。

1609A：ないとーな。 うんうん。 そうやな。 ん。

1610B：1本は 買うとかんならんし。

1611A：あそこの あー， あの 品揃え あるなーと思たん。

1612B：んー。

1613A：だ ほれはな， あのー

1614B：あそこは一杯あるー。

1615A：ある， あのー いつ行ったかなー。 あのー JA のー あのー 柿の収穫体験て  
いうのを

1616B：あー。

1617A：友達と 行ったんやー。

1618B：ほー。

1619A：ほったら あの ほの 申し込んどいてー。

1620B：んーんー

1621A：で， あのー あそこ 伊吹の なんか し スンジョの小学校の まだ向こうや  
ったわ。

1622B：ふーん。 んんん。

1623A：あの こっから ## ずーっと まっすぐ行って，

1624B：あーん。

1625A：まっすぐ行ってゆて， 馬車道‘ばしゃみち’のどこ まっすぐ行って，

1626B：うんうん。 そーそーそー。

1627A：おーん。 ずー

1628B：こっち 曲がって

1629A：おん ほん

1630B：うちも ○○○が あっちの スギヤス スギサワに いやんすきかいに，

1631A：あ， ほ おん。

1632B：で よう行くんやわ あっちの方な。

1633A：ほったら あそこ あの

1634B：んー。

1635A：ほら ほ スギサワっていうの， ほこから まだ まっすぐ行くん。

1636B：ほいで こう， あそこ 突き当たりまで 行くやろー，

1637A：おーん。

1638B：馬車道。



- 1639A : ほーん, 突きあ
- 1640B : ほれを一 ほんで 右へ だーっと, ほや もう だいぶ 向こうへ い 行くわ。 あれー どこまで行くんやー, なんか 小学校まで ずーっと 向こうまで行くと
- 1641A : あ 小学校へ 行く あるやろ。
- 1642B : んー。
- 1643A : 小学校が あるやろ。
- 1644B : あのー 上は あれ, おー 横断の
- 1645A : ほん, あるある。
- 1646B : あるやろ。
- 1647A : おー., ほー
- 1648B : ほれ 越して まだ 向こうへ 行くと
- 1649A : ほん。
- 1650B : お 小学校 あるやろ。
- 1651A : ほん, あるある。
- 1652B : あそこ。
- 1653A : あー そうなん。
- 1654B : あそのの まだ 向こうなんやーん。
- 1655A : ほったら
- 1656B : うちの 小学校。
- 1657A : うちら 行ったどこ, スギサワっていう所やろか。 あの 柿のー あのー
- 1658B : あー。
- 1659A : 選別やか してあったところが あったで。
- 1660B : ほーーん。
- 1661A : ほこへ みんなで しげ
- 1662B : ほんで ほっから まだ うえー 上がるんやろ↑。
- 1663A : お, うえー 上がってった。
- 1664B : うーんうーん。
- 1665A : あのー なんか あのー 歩いてー
- 1666B : うーん。
- 1667A : ほで もー, いっぱい 柿がー
- 1668B : あー。
- 1669A : あるどこにー
- 1670B : あるー。
- 1671A : んー。
- 1672B : 富有柿‘ふゆがき’か↑。

1673A : ふゆ, や し

1674B : ん。

1675A : 知らんねや。 なんや

1676B : ふーん。

1677A : 平種柿‘ひらたねがき’か やろか。

1678B : ほーん。

1679A : ほんで あのー す

1680B : ほん。

1681A : あの あれするのにやで あのー, あれ 大体 渋柿やさかいにー

1682B : うーん。

1683A : あのー あまーくするのに なんか どこ こう, あのー ほういう倉庫みたい  
どこー 行ったんやー。

1684B : ふーん。

1685A : ほこで 集結やったんや。

1686B : ほーん。

1687A : ほして これから い 行きます, わたしらは あの 吊るし柿 するのにー。

1688B : あー。

1689A : 吊りんぼっていうんか。

1690B : あーは一は一。

1691A : 吊りんぼするのにー。

1692B : うーん。

1693A : ほれに 行ったん。

1694B : ふーん。

1695A : ほったら なんか 去年は一

1696B : うーん。

1697A : あんまー あのー なんか 慣れとーしとでないんか知らんけどー

1698B : あー。

1699A : あの 1人何キロって 決まったったんやん。

1700B : んー。

1701A : あ おととしは あの 結構, あれして え あのー

1702B : あー そうか分からん。 うち 前 仕事 行ってたときに

1703A : ほん。

1704B : あそこ よう分かるんやわ。

1705A : ほん。

1706B : 渋柿が 2本 きー《木》があるんやん。

1707A : ほん。

- 1708B：ほいで ほうや， 去年は ほとんど 出来てなかったわ。
- 1709A：あー そうなんか。
- 1710B：ほんなもん， おとしや
- 1711A：うーん。
- 1712B：も一のすっごい いっぱい出来たった。
- 1713A：ほんで あの
- 1714B：柿が。
- 1715A：あの一 毎年やなくて あの一
- 1716B：んー。
- 1717A：あれなんやろ， ほんで
- 1718B：やっぱり こう なー，
- 1719A：うーん。
- 1720B：1回 出来たら 次の年は 出来んみたいななー，
- 1721A：おーん 出来ん。 うーん。
- 1722B：んーんー。
- 1723A：ほんで一， あの一
- 1724B：そうやて。
- 1725A：ほんで あんま ほの 買え， あの一 欲しかったけど あの かれん， 買え  
んかってんや 自分らで ま いちお《一応》 切って， 何キロまでいうて
- 1726B：んー。
- 1727A：計らあるで そこで
- 1728B：んーんーんー。
- 1729A：採ったもんを
- 1730B：んー。
- 1731A：うん， ほって ほれも 採り方も一
- 1732B：うん。
- 1733A：あの一 向こうから きやはった人 あの， あの なんちゅうどこやったかいな  
ー， なんか オシミズのしとで 知ってるしとで， よう なー
- 1734B：あーはーはーはー。
- 1735A：持ってってくれやあった し， ことが あったんやけど。
- 1736B：あー。
- 1737A：ほのしとなんかは 自分どこの 柿の木やさかいに
- 1738B：んー。
- 1739A：ちゃんと こういう ほれ 股にして一， つうちょうに し
- 1740B：あーん Tのじー《字》に
- 1741A：おーん。 ほして

1742B：こちら　ながにやろ↑。

1743A：おんおん。

1744B：おーん。

1745A：ほったら　ほれしてくれやあるとー

1746B：んー。

1747A：来年の　めー《芽》が　もー　出たるのにー

1748B：うん。

1749A：あの一　ほういう切り方　せんといてほし（+い）　言わあるんや。

1750B：あ

1751A：ほっと　こう　採って下さい　言わあったん。

1752B：ほーん。　もう　軸なしに。

1753A：おん。　軸なしに。

1754B：ほーーん。

1755A：なんか　採り方が　あるんかも　知れんけど

1756B：あー　そうかー。

1757A：十分　聞いてんかったんやー。

1758B：へーー。

1759A：ほんでー　ほれー，　ほんで　まー　あの　していってー，　あの一

1760B：んー。

1761A：知らんけど。　上手いこと　ほら　ど言うたらや　あの　ほの，　くくってもー

1762B：うんうん。

1763A：あ　わたしや　くくり方　下手やさかいに

1764B：{笑い}

1765A：こう　折ってまう時　あるわ。

1766B：うんうんうーん。

1767A：うーん。　ほいでも　やっぱ　あそこの柿　美味しいわ。

1768B：ほーん。

1769A：あの一

1770B：あれも　ほんで　みー《実》のほこへ　ぶすーっと刺すんやろ↑。

1771A：うっ

1772B：ちゃうんか。

1773A：いや　あの一，　あの一　さ，

1774B：ほれは　しゃーれんかな。

1775A：わたしは　枝　枝のどこを　ぐっと　くぐってった《くくってった》。

1776B：あー　ほうか。

1777A：まー　落ちないのもあるんや。

- 1778B：んーんー。
- 1779A：でも こう 上手いごと くぐってないと、 おち 落ちてまうのんも
- 1780B：あーあー。
- 1781A：あの こう
- 1782B：よう。
- 1783A：股にしたんのは どうもないよ。
- 1784B：なんか き
- 1785A：あー、 ほら ほうがも ぎ
- 1786B：ここに ぶすーっと 刺してまうどき あるんやー。
- 1787A：おーん、 ほ ほれのが ええかも知れんわ。
- 1788B：うーん。
- 1789A：それやったら 間違えないやで。
- 1790B：うんうんうんうん。
- 1791A：あの一。
- 1792B：んー。
- 1793A：前は一 昔は あの 吊るし柿 軒い吊るしたん どうもなかったんど、 この頃  
は一 あの一 カラスとか ああいう、 もー あれ
- 1794B：あー そうそう。 {笑い} みんな 言うてはる。 {笑い}
- 1795A：言うてはるやろ。 だっから もー
- 1796B：んー。
- 1797A：もー ほれの ほれの 見張りしてんならんさかいに一。
- 1798B：そうやてー。
- 1799A：おーん、 ほんで あんま 来ないどこな、 ほんで
- 1800B：うんうん。
- 1801A：軒の深いとことか ###。
- 1802B：うんうん。
- 1803A：ほって ほうか言うて あの一 風通しが いいとこでないと
- 1804B：そーそーそー。
- 1805A：あかんねやし、 んー。
- 1806B：ほって 雨が 掛かったら あかんやろ↑。
- 1807A：おーん あかんやろ、 あかん。
- 1808B：ふーん。
- 1809A：うーん、 はいでも あそこの あの 柿は 美味し (+い) わ。
- 1810B：ふーん。
- 1811A：ほんでー、 ほの あの一 欲しかったけど あんま なかったでー、 ほの一
- 1812B：んーんー。

1813A : 友達が 一緒に 連れてってくれ, ほの子と 一緒に ほこの しゅんさいの森  
へ行って来て,

1814B : うーんうーん。

1815A : ほったら あったん。 いくつか ちょっと,

1816B : ほーん, ほーん。

1817A : ほんで ほれー あのー 買うて来てー

1818B : ほーん。

1819A : んでー したわ。 おんなしするのに ちょびつとでは あれやん。

1820B : ほうやなー。

1821A : ほーん。

1822B : えー

1823A : はいでも, あそこの やっぱ

1824B : んー。

1825A : あのー 美味しいわ。

1826B : あーあー。

1827A : だって 種が 全然ないやろ↑。

1828B : ほーん。

1829A : うーん。

1830B : 種なしや。

1831A : うーん。

1832B : へー。

1833A : ほんでー あのー あれなんやけどー, 美味しんやけどー。

1834B : ふーん。

1835A : あのー。

1836B : あれも 世話やさかいに。

1837A : 世話やなや。

1838B : これて やるんやろー。

1839A : おーん。

1840B : もんでー, うーん

1841A : ほってー, あの 今までは そんなん 剥いて そんなぐらい 大してやけんど  
も, 今度 鳥対策, あの と 鳥に あんだ 取られん あの

1842B : あーあー そうやて。 {笑い}

1843A : ちゃう。 昔は そんな 思わなかったけどー。

1844B : んー。

1845A : 今, 鳥インフルエンザとか 色んなごと 言わはるとー

1846B : あーあー。 {笑い}

- 1847A：ん かなんと思うわ。
- 1848B：ほーん。
- 1849A：なー あの ほれ
- 1850B：んー。
- 1851A：あの一 もし なんか
- 1852B：ほうやわなー。
- 1853A：あった あの あったときに
- 1854B：んーんー。 ほんまやー。 ほ 鳥の口から うつるわな。 {笑い}
- 1855A：ほーん。 だから ほんで
- 1856B：おーん。
- 1857A：ちょっとでも こう， ちょっと 穴あけたりすんの かなんやん。
- 1858B：んー。
- 1859A：んーで， あの
- 1860B：へー。
- 1861A：鳥にも きー《気》つけんならんし。
- 1862B：んーんー。
- 1863A：んー， カ カラスだけで
- 1864B：せっかく作って
- 1865A：小さいあれやな， 鳥も 結構 来るな。
- 1866B：あ ほうやろ。 ほらーなー。
- 1867A：うん。
- 1868B：美味し (+い) もんなー。
- 1869A：うーん。 ほっで ほれが
- 1870B：んー。
- 1871A：あの やっぱ， と 鳥も 賢いな。 あの一 青いときは 来ないんやわ。
- 1872B：{笑い}
- 1873A：ちょうど
- 1874B：そーそー。
- 1875A：{笑い}
- 1876B：ええ加減の時の あまなった
- 1877A：おー ええ加減んどき， ほーん。 おーん。
- 1878B：やっど これから 食べようと思う時に 来るんやろー。
- 1879A：おーんおーん。 おー
- 1880B：ほうやてー
- 1881A：ほーん。
- 1882B：全部 下へ 落ちてもたるて。 {笑い}

1883A : ほうやほや。

1884B : 鳥に 食べてもうたる。 {笑い}

1885A : ほや ほうやろー。 {笑い} 落ちてもたるやろー。 ほーん。 ほーほー

1886B : ほうやて, よう 屋根の上に ボトボト ボトボト 落ちたーるねや。

1887A : {笑い} ほーん, ほうやろー。

1888B : ほーや。

1889A : ほれも あるんかも。知れんな。

1890B : うーん。

1891A : みんな この頃 しゃあれんていうのは。

1892B : そうやわ。

1893A : ほって, あのー あのー 部屋ん中では あかんねやわ, いくら 風通しが い  
(+い) ゆうても, あの

1894B : あー そーそー。

1895A : 冷たい風を ちょっと

1896B : んーんー。

1897A : あれせんとなー。 んー。

1898B : やっぱ ほうやてー。

1899A : んー。

1900B : かつ, 冷たーいなー

1901A : ん。

1902B : あれ 北の方か, 北のほの

1903A : 北側て, ほうやろなー。

1904B : 風ん 通しの ええとこやなー。

1905A : うーん, ほうやと思うわ。

1906B : ほんかで, 南の方は あかんねやなー, あれ

1907A : んー。

1908B : ひー《日》が あんまり 当たっても あかんねやなー。

1909A : 当たったら あかんねやさかいに, うーん

1910B : ほや, 北 の方で, かと 風通しがようて

1911A : うん。

1912B : 雨が当たらんところー, ほいで 庇のなー

1913A : おーん。

1914B : こ こうなつて

1915A : おーぐ, おーん

1916B : こっち側になー。

1917A : ほだ, そー そういうどこ, ほーん



- 1918B : うーんうーん。
- 1919A : 雨が
- 1920B : そうや。
- 1921A : 当たらなくて、 あんま ほやほや そー
- 1922B : そーそー。
- 1923A : うーん。
- 1924B : 雨 当たると カビてまうし。
- 1925A : おーん。 ほって か
- 1926B : うーん。
- 1927A : あの 風が あるどこでないと あかんねやし。
- 1928B : あー あーあーあー。
- 1929A : ちゃう, ほっ うん, なんて 作ろかってこと なったの。
- 1930B : ほうや。 むつかしんやわ。
- 1931A : ずーっと昔 ほの子も作って, まー けっこ《結構》作ってやはった人は みんな やはったんやけど。
- 1932B : あーあーあーあー。
- 1933A : やあるんやけど なんでしょーか思た (+って), ほの ほの前の年にー
- 1934B : うん。
- 1935A : あの みんなで ちょっと あのー 1 ぱくーの 温泉旅行かなんか
- 1936B : うんうんうん。
- 1937A : ちょっと行ったらな
- 1938B : んー。
- 1939A : ほったら ほのー 結構 田舎の方やったさかいに, ほの 売ったったんや。
- 1940B : うんうん。
- 1941A : ほたら う, すごく高いやろ↑。
- 1942B : ほうや。
- 1943A : 高いやろ↑ 売ったーと。
- 1944B : あれは 高いー。
- 1945A : だ ほって ほんまに
- 1946B : んー。
- 1947A : 国産やさかいに。
- 1948B : んー。
- 1949A : ええのやさかいに。 もー こないやったら やっぱ 作ろうかって{笑いながら} いうことになたんやー。
- 1950B : {笑い} ほー。
- 1951A : ほんでまー あのー 作るのは あれなんやけど, ほのー どういうたやな。

- 1952B：ほいでも 生の柿も 高いんちゃうん。 結構するやろー。
- 1953A：ほいでも あれ
- 1954B：柿 買うて来る。
- 1955A：なんき 何キロやったやろ ほんな 無茶苦茶 たこ《高く》なかったわ。
- 1956B：ほんまー。
- 1957A：うん。
- 1958B：ふーん。
- 1959A：ほら あの
- 1960B：ほんな
- 1961A：だって あの 作った一んのやったら あの一
- 1962B：ん
- 1963A：1 連ていうんか，
- 1964B：んーんー。
- 1965A：2 つ 付いたっても なん百円でするやん。
- 1966B：うーん するー
- 1967A：うーん
- 1968B：ほーもなー あれ， 10 個ほど 入ったったら， ものすん《ものすごく》 高い もんなー。
- 1969A：高いやろー。
- 1970B：ほんま 欲しいけど， 買えへんやん。 {笑い}
- 1971A：ほって ほれも あの一 やっぱ 国産でないと かなんやん↑。
- 1972B：うーん。
- 1973A：うーん， やっぱ あそこの
- 1974B：なー ほらほうやわな。
- 1975A：伊吹の柿は 美味しいわ。
- 1976B：あーあーあー。
- 1977A：うーん。 で また したいなって
- 1978B：んー。
- 1979A：あの一 思うけどー。
- 1980B：んー。
- 1981A：ほんと 今度 ほたら あれなんか， あの一 よう成り年‘どし’やさかい 今年 は，
- 1982B：うーん ひょっとしたらー やっぱ 交互になるんかなー。
- 1983A：んー。
- 1984B：ほうや おととしは もー， ほんま 鈴なりー 言うんやなー， 枝
- 1985A：言うことは， 枝が 折れそうなぐらい。

- 1986B：そうや。 うーん。
- 1987A：うーん。
- 1988B：もー ほんま 奇麗になー
- 1989A：ふん。
- 1990B：付いたったー みー《実》が。
- 1991A：うん。
- 1992B：おっきいのがなー いくつも。
- 1993A：うーん。
- 1994B：だーっと 付いたったけど。
- 1995A：だ ほれ ど， あの しゃーれんの↑。
- 1996B：いや ほんでも， ほれは 作っ， あのー 採っとかあったわー， あと。
- 1997A：おーん， あー そうか。
- 1998B：で いつも あのー， ほこ ちょうど 駐車場なんや
- 1999A：あ ほーほー
- 2000B：あそこのなー。 ほんで {笑い} あのー あれ 書いたる。 なんやら， 「採らないで下さい」 ってなー。
- 2001A：あー， ほら ほやろなー。
- 2002B：採ったら罰金 どんだけとかな。 {笑い}
- 2003A：あーおーおー。 あっ ほうゆな。
- 2004B：ほうやて， 色々書いたるんやでー。
- 2005A：ほうゆな やっぱ あるんや。 ほーほー。
- 2006B：ほうよー。
- 2007A：ほーん。
- 2008B：採らある人が あるんか 知らんけど。
- 2009A：んー。
- 2010B：なー。
- 2011A：んー。
- 2012B：もー ほんま 2本の木になー いっつも いっぱい出来る ほこの木。
- 2013A：あー そうか。 ふーん。
- 2014B：ふーん。
- 2015A：ほんで あれなんやな やっぱ ほの
- 2016B：ほんま。
- 2017A：ちょっと もろとくっていうしと《人》， やはるんやろなー。
- 2018B：{笑い} あるやろーな。
- 2019A：うーん。
- 2020B：なー ほんで ほれ 採れるでなー。

2021A：おーん。

2022B：低いところに こ もー この こゆに《こういう風に》 採れるんやでなー。

2023A：おーん， ほって こんなー

2024B：ほうよー。

2025A：あの一 もったいないなっと思おも（+ん）なー。

2026B：うーん。 うん。 ほんでも やっぱり ちょっと 時期が くと， 全部 きれーん《奇麗に》 採っとかあるわ。

2027A：あー ほうか。

2028B：ほの ほこの 柿のしとが。

2029A：時期を よう見てはるんや。

2030B：ほうやでー。

2031A：ふーん。

2032B：ほんでー

2033A：あー そうか。

2034B：やっぱ 作ってやあるんやろー。

2035A：おーん。

2036B：うーん。

2037A：あの一 あの一 ほの 柿はあれやけど， よう ほれ， うちい あん 向こうへ あの 前の サントウ町‘ちょう’の方へ行ってあったとき なんか

2038B：うん。

2039A：あの ほれ， 林みたいなどこにあると， あの

2040B：うん。

2041A：タラの芽であるやん。 あの

2042B：あーはーはーはーはー。

2043A：タラの芽っていうんか 春

2044B：んーんー。

2045A：ほれ よーお みんな ほって してく。 あの この ほれ

2046B：{笑い}

2047A：こう， ん あーの一 雑木林みたいな どこあるで， みんな こやって してと 採っとかあるいで， 雑木林では ないんやけど まー

2048B：うんうん。

2049A：畑みたいな あの あれ

2050B：うんうんうん。

2051A：もー みなー 適当に あの

2052B：{笑い}

2053A：思い思いに 採っとかはるって 言うてはったわ。

- 2054B：あーあーあーあー。
- 2055A：タラの芽。
- 2056B：ほうやー。 あれもなー， 美味し（+い）もなー。
- 2057A：うん。
- 2058B：天ぷらやか するんやろ↑。
- 2059A：うーん。 天ぷらにすんのんなー。 うーん。
- 2060B：うーん。 ほうやてー， ###。
- 2061A：タラの芽は知ってるけど， 香味‘こうみ’とかは ああいうのは知らんわ， うっ  
売ったっても。
- 2062B：あーん うちも知らんわ。
- 2063A：使ったことないわ。 ん
- 2064B：香味， あれも なんかで 切ったるんか↑， こんなんか↑。
- 2065A：こう なんか ぜんまいみたいな なったるんやわ。
- 2066B：あーは一。
- 2067A：あん ほれ どやってして 食べるんか ほれも分からん。
- 2068B：ほーーん。
- 2069A：山菜は ちょっと知らんわ， 分からんわ。
- 2070B：ねー。
- 2071A：んー。
- 2072B：うちも あんまり 知らんわー。
- 2073A：ん。 ほったら あの
- 2074B：やっぱり 山の人 は よう知ってあるけどなー。
- 2075A：おーん よう知ってある。 ほのー
- 2076B：んーんー。
- 2077A：保存方法とかー
- 2078B：そーそー。
- 2079A：料理の仕方もなー。
- 2080B：ほうやでー。
- 2081A：ん。
- 2082B：ほれをまた 美味しい炊かあるんやてー，
- 2083A：ほうや ほの
- 2084B：上手になー。
- 2085A：それが むつかしいんやなー。
- 2086B：うーーん。
- 2087A：ほなら あの ほれ
- 2088B：なー ほれに

2089A : あのー ほの ずーっとむかしー, あん あん (+た) どこ あのー ちまき  
いうの しゃあれなかった。

2090B : あー なん,

2091A : あの こないだ ほの

2092B : ほんな しょっちゅうは しゃあんでなかったけど。

2093A : ほの な あのー 仲良しクラブで

2094B : なーんか やか

2095A : こないだ 去年 したんや 1 遍なー。

2096B : あーうーんうーん。

2097A : ずーっと あのー 前の記憶を あのー ほれ

2098B : あー。

2099A : たどってー。

2100B : あーん。

2101A : ほっでして ほったら あの ○○○○つあんも 知ってる 言わあんたわ。

2102B : ほーーん。

2103A : ほんで 昔 しゃはったんやと思うわ。

2104B : あーあー。 ほうや みんな なんか 色々, あのー がらたてのなー

2105A : ほーん。 がらた, ほーん。

2106B : お餅 作ったりなー。

2107A : が

2108B : 葉っぱ 採って来てなー。

2109A : 葉っぱ あるなー, あそこに。

2110B : そーそー。 がらたての葉。

2111A : あ これが がらたての葉っぱやて

2112B : んーんー。

2113A : ほんで一, わたしらやったら こう なんか 蒸した色しか 知らんけど

2114B : うーん。

2115A : ほんとは 青いんや ありゃー,

2116B : そーそーそーそー。

2117A : 青々したるの 採ってってー

2118B : うーん。

2119A : ほしてー あれーをー あのー 挿んで 蒸さあるんやなー。

2120B : あーーん。 ほうやほうや。

2121A : ほんで なんか ちょっと ほら, あのー

2122B : あー。

2123A : こー 茶色いような, 茶色では ないんやけど

- 2124B：あ　ほうや，　色が　変わってもてー
- 2125A：変わってもたるん。
- 2126B：黒っぽい色やわなー。
- 2127A：おーん，　ほんで　あのー　こんな色かなーと思ってたけど，　あれは違うんや。
- 2128B：んー。
- 2129A：青々したのを　採ってくるんやなー。
- 2130B：あーん。　そうやろなー。
- 2131A：がらたてのはー《葉》ていうの　あるんやなー。
- 2132B：ほんで　あの　ほら，　桜餅でも　ほうやわなー。
- 2133A：おーん，　桜の
- 2134B：塩漬け　しとかあるんやろ↑。
- 2135A：あ　ほーん。　あ　ほうやわ。
- 2136B：なー。
- 2137A：ほんで　色が違うも（+ん）な。
- 2138B：あれも　色が　{笑い}　汚い色やけど，
- 2139A：おーん。
- 2140B：実際は　綺麗な　葉っぱやも（+ん）なー。
- 2141A：うーん，　ほんで　ほのー　あのー　あのー　ちまきしたんやけどー。　昔はー　あの　ほの　山へとつ，　採りに行（+つ）てきたん。
- 2142B：あーん。
- 2143A：採りにいて　な　ハチジョウ山‘やま’へ　採りに　行ったことあったわ。
- 2144B：あーん。
- 2145A：1 遍か　2 遍　行ったわ。
- 2146B：ほー，　ほうや　なんか言うた　あの辺の山や。
- 2147A：あのー　ほの　こ　あのー，　笹も　こんな細いのじゃなくてー，　この　幅の　広いのがいるやん。
- 2148B：んー，　熊笹やろ↑。
- 2149A：熊笹って言うんか。
- 2150B：笹↑。
- 2151A：うーん，　笹の　この　こう，　あのー　こんなぐらいの長さでー
- 2152B：あー。
- 2153A：この　幅が　広いの。
- 2154B：あーんあーんあーん。
- 2155A：うん。
- 2156B：ふーん。
- 2157A：ほんで

2158B：あれ 熊笹， じゃないんか。

2159A：なんや 知らんねん。 なんか

2160B：ふーん

2161A：分からんにやけど それに 行ったことあるわ。

2162B：ふーん， なんか 今 ほこに 一杯 出来たるやろ， 熊笹。

2163A：うーん， らしいなー。

2164B：うーん。

2165A：ほんでー， ほの あのー ほの 笹をー

2166B：んー。

2167A：あのー， 今 あの 料理に 使わあるで， 笹を 売ったるんや 普通のところ  
で。

2168B：あー ほんまにー， うち あんま知らんわ。

2169A：あの 小売店とかいうどこに。

2170B：ほっか。 ほんま

2171A：あのー ほう， フタバ屋さんに 買いに行ったんや。

2172B：ほーーん。

2173A：ほこに あったんや。

2174B：んーんー。

2175A：ほたら ほれ あの

2176B：んー。

2177A：足らんと あかんさかいに 言うて ほの あのしとが あのー あの

2178B：うん。

2179A：〇〇〇〇さんに頼んでー， あのー えーっと ほ， なんか あ， ほこら辺に  
あるらしいなー。

2180B：んーんー。

2181A：わたしもー 知らんねん。

2182B：どこに。

2183A：見に行ったことない。

2184B：結構なー， なんか ああいう

2185A：うん。 結構

2186B：石垣みたいなところから ひょこっと 出たーるんやで。

2187A：結構 割り方 あの あれやったで。

2188B：うーん。

2189A：あのー は あー これ 割り方 幅広いやなと思った。

2190B：うーーん。

2191A：ほんで ほれ， ほれを 採って 持ってってくれやあった。



- 2192B：あー ほうか。
- 2193A：うーん。
- 2194B：ふーん。 なんか ほこに 一杯あるみたい。
- 2195A：ほったら ほれ あのー ほれー あのー やったの。 ほったら あのー 餅  
餅ばっかで わた、 餅のこー《粉》ばっかで わたし してたんやー。
- 2196B：うーん。
- 2197A：ほったら あのー みんな やり方があって、 あの 普通の うるち米‘まい’と
- 2198B：んー。
- 2199A：の こ 粉‘こな’とー
- 2200B：んー。
- 2201A：なんか 合わせて するんやで。
- 2202B：んー。
- 2203A：も 大体 餅 餅粉が、 まー は(+ち) 7‘しち’か8 ぐらいが いいんや。
- 2204B：ほーーん。
- 2205A：ほれに あと うるち米の粉‘こ’
- 2206B：んー。
- 2207A：こー《粉》と合わせてな。
- 2208B：んー。
- 2209A：ほっだら 長いことしてへんやろ↑。
- 2210B：うーん。
- 2211A：ほだ もう あの どう言うたやなー あの、 あのー 耳たぶぐらいのー
- 2212B：んー。
- 2213A：あれやて、 軟らかなりすぎたんよ 水 入れ過ぎて。
- 2214B：あー。 {笑い}
- 2215A：ほんで また 足してよ。 も
- 2216B：{笑い}
- 2217A：ほしてー、 ほって あの こやってして、 あの このぐらいの こう 箱みた  
いにしてー
- 2218B：うーん。
- 2219A：ほって こう あのー こういうの 折りたたんでー、 ほって
- 2220B：あーー。
- 2221A：あの た 畳のな。
- 2222B：うんうん。
- 2223A：あんたとこへ わたし 貰いに 行ったことあるで、 ずーっと昔。
- 2224B：あー、 あのー 括るのにか。
- 2225A：いぐさ。

2226B：あーはーはーはー。

2227A：畳の端。

2228B：あー，　よう　なんか　みんな

2229A：お祖母ちゃん　やある時分

2230B：来てくれやあつ　ね　き，　んーんー，　なんか　ほういう時　あつたみたい。

2231A：ほんで　ほの時分は　してやはったわ。

2232B：んーんー。

2233A：あんたど（+こ）　あの　みんなし　家で　してはったんやと思うわ。

2234B：あーあーあー。

2235A：うーん。　ほんで　いぐさをー

2236B：んー。

2237A：ほんで　あの　貰いに　い　行ったんやー。

2238B：うーん。

2239A：ほんで　あの　あんたどこ　行ったことあるわ。

2240B：{笑い}　ほんと。

2241A：お祖母ちゃんが　あの一　やはったときに。

2242B：あー　そうか。

2243A：ほーん。

2244B：ほーー。

2245A：ほんでー　あの，　今　どこへ貰いに行ってい（+い）　分からんやん↑。

2246B：うーん。

2247A：ほんで　あそこの　粉‘こな’をー　してやはるどこでー，　あの

2248B：んー。

2249A：喋ってたらー

2250B：んー。

2251A：あの　イマイ畳屋さんにー

2252B：んー。

2253A：やってはるわて，　ほの　ほの　畳屋さんが　どこや　分からへんねや↑。

2254B：{笑い}

2255A：ほしたら　あの一　あそこの一　オタビから　ずーっと真っすぐ　北へ　行った方  
や。

2256B：あー　ほうやほうや。

2257A：ほーんほーん。

2258B：うーんうーん。

2259A：ほったら　「すんません」て言うたら

2260B：うん。

- 2261A：あの 「ちまきするんかー」 と言わあって ###。 {笑い}
- 2262B：{笑い}
- 2263A：ほんでー あの も， ほんで 青々したーるんや。
- 2264B：あー。
- 2265A：ええ匂いが したるし。
- 2266B：あーあーあー。
- 2267A：青々したる。
- 2268B：ほうやー。
- 2269A：うん。 ほー
- 2270B：さらの畳やもんなー，
- 2271A：おーん。 ほれでー あの したんや。
- 2272B：んー。
- 2273A：ほんなら あの， あのー ほれを蒸してな。
- 2274B：んーんー。
- 2275A：してー もー あの 子供の子やさか， もー 無茶苦茶よ。 無茶苦茶でもいいんや。
- 2276B：んーんーんー。
- 2277A：そんな あの 大人がするよに せん。
- 2278B：んーんー。
- 2279A：も みんな も... あのー して， ほいっと 小さいさかいに 早く 蒸せるやん。
- 2280B：んーんー。
- 2281A：蒸し器で。
- 2282B：んーんー。
- 2283A：ほって 蒸し上がったとっから みな 持ってってー
- 2284B：んー。
- 2285A：ほって きな粉付けて 食べてやん。
- 2286B：あーー ほんまー。
- 2287A：きな粉付けて。
- 2288B：んー。
- 2289A：うーん， きな粉に ちょっと 砂糖 入れて。
- 2290B：ふーん。
- 2291A：うーん。 ほんで ほれで
- 2292B：あー， ほ ほうやなー， あれは 何にも 入れへんやん。
- 2293A：入れへんやん。 うーんうーん。
- 2294B：なー ぐるぐーっと なんか 細長う 巻いて

2295A：ほーん。 細なごして、 ほーん。

2296B：ふーん。

2297A：ほんで ほれ、 結構 あのー ほれ

2298B：へー。

2299A：あのー 良かったで。

2300B：あーあーあー。

2301A：あの 京都なんかは こう 細う こう しゃあるやろ↑。

2302B：うーんうーん。

2303A：ここら辺は こんな マッチ箱みたいにして。

2304B：四角いんか。

2305A：おーん。 四角うしてー。

2306B：ほーーん。

2307A：ほって くっと こう あの リボンみたいに 真ん中を ほの ほの いぐさで  
包んでー。

2308B：あーー はーはーはー。

2309A：ほって あの、 あのー 釣りんぼと一緒に。 あのー

2310B：うん。

2311A：反対もして、 この ほれで 1連にして、

2312B：ほーーん。

2313A：こうゆにして

2314B：うんうん。

2315A：ほって あの ほれ、 蒸すん。

2316B：ほーーん。

2317A：うん、 片っぱだけじゃなくて、 ほっ

2318B：うんうん。

2319A：まー 人のやり方は 色々あるやろけど。

2320B：うんうん。

2321A：うん。

2322B：よう あの 細なごして ぐるぐるーと こうなー。

2323A：うん してはる。 うん してはる。 うんうん。

2324B：うん。 巻いたるなー。

2325A：うーん。

2326B：ふーーん。

2327A：あそこにも あのー あのー ああ ここ、 やー してはるなー思たの 何処や  
ったかな。 あのー カワジュウさんの隣の あの おまんじゅう屋さんが

2328B：〇〇〇〇さん↑。

- 2329A : ○○ー○○さんや。
- 2330B : ○○○○さんか,
- 2331A : うん。
- 2332B : あー。
- 2333A : あそこでも してはったで。
- 2334B : うーんうーん。
- 2335A : うん。
- 2336B : あそこは 色んなお餅 作ってはるもなー。
- 2337A : あの 昔ながらの あれ やってはるんやで。
- 2338B : んー。
- 2339A : かき餅も してはったな。
- 2340B : ほーんー。
- 2341A : うん。
- 2342B : ほや。 結構 長浜は ああゆなん 作ってあるし。
- 2343A : 作ってあるどこ あるなー。
- 2344B : うーん。
- 2345A : うーん。
- 2346B : ほうやー。
- 2347A : ほいさかいに あのー あー
- 2348B : んー。
- 2349A : ほんで ほれも あのー しゃあったん, よ あれ 良かったで。
- 2350B : んー。
- 2351A : んー。 またまた ほやって ほ あのー みんなと 一緒に したときに,
- 2352B : んー。
- 2353A : 1人では ん 雑作‘ぞうさ’ないやろ↑。
- 2354B : ほうやてー なー
- 2355A : うーん, みんなで また
- 2356B : やっぱりな 1回, こやって 来るっとは お 来られるんやけどなー
- 2357A : うーん
- 2358B : 来るまでのあれが また雑作ない。 {笑い}
- 2359A : お そら ほうやと思う,
- 2360B : 誰か 誘いに来てくれやあったら
- 2361A : うーん。
- 2362B : 行こかなーと思うけど なーんかなー。 ほで 丁度 仕事がある一時も あるし。
- 2363A : うん ほれはそや。 みんな ほんで
- 2364B : ほんで なかなかなー

2365A：無理はせんとこなー 言うてるん。

2366B：うーんうーん。

2367A：あの一 あの、 あの 無理 あん 無理すると、 あの 嫌んなってまうんや。

2368B：うーん。

2369A：うーん。

2370B：ほうやー。 /少し間/ やっぱー ほってー， それと もひとつは こう な  
ー， 少々 失敗してもよー， こう 和気あいあいと

2371A：うん。

2372B：こう 出来るっていいけど， ほの事に 対して また こ 言わあるとなー。

2373A：あーそーそー。 ほんま んー。

2374B：もー 来られへんしなー，

2375A：うーん。

2376B：ほで もー みんなに

2377A：ほんで あんま カ， あの一 ほんな あの一 カロリーとかー

2378B：んーんー。

2379A：あの ほって なんやとかー， もー

2380B：んー。

2381A：考えんとかー言うて。

2382B：あーあーあーあー。

2383A：もー あの ほら あの

2384B：ほうやわなー。

2385A：せ あの {笑い}

2386B：その

2387A：ほんなこと言うたら 可笑しいけどー。

2388B：{笑い}

2389A：子供には 考えんならんけどー。

2390B：うーん。

2391A：もう ええがなー言うて。

2392B：ほんまやー。

2393A：うーん， もう 美味しかったらええがなーて 言うて。

2394B：{笑い}

2395A：んー。

2396B：ほやー， 特別 ほの 辛いもんとかなー。

2397A：うーん。

2398B：あんー 特別 甘いもんとか ほんなに せんかったら

2399A：うーん。

- 2400B：ある程度なー。
- 2401A：うーん。
- 2402B：やっぱり 張りがないと 美味しくないし。
- 2403A：うーん。
- 2404B：なーんー。
- 2405A：ほんで あのー 秋なんかやったら あの、 さつまいも持ってってくれはる。
- 2406B：あー。
- 2407A：あのー ほれ、 持ってってくれやあって
- 2408B：んーんー。
- 2409A：ほれで一、 あのー わたし 今まで した事ないけど あー これ美味しなーと  
思ったのはー
- 2410B：うん。
- 2411A：あの ホットプレートで一
- 2412B：うんうん。
- 2413A：あんたどこ あのー 小さい時 焼き芋とか せんかった 家で。 あの 蒸した  
んじゃなくてー、 あのー
- 2414B：はー、 うちは よう 蒸してたさかいに
- 2415A：あのー フライパンで こう あの、 あの
- 2416B：あー、 なんか よう言うてあった。
- 2417A：うーん。
- 2418B：うーん、 聞くのは聞いた。
- 2419A：こんなぐらい こう 薄く切って。
- 2420B：うんうんうん。
- 2421A：ほって ほれをー あの ホットプレートで あのー
- 2422B：うん。
- 2423A：してー
- 2424B：ほん
- 2425A：ほんで、 わたしらは そのまま食べてたけどー、 あのー お醤油 付けてなー。
- 2426B：ほー。
- 2427A：食べるの ちょっと 美味しいで。
- 2428B：へー。
- 2429A：んー、 ほってー あのー
- 2430B：んー。
- 2431A：こないだ ほの あのー この 包み団子したときもー、
- 2432B：うん。
- 2433A：あの それをー あのー 包み 包むやろ↑ みんなと。

2434B：んーんー。

2435A：ほんな ま 軟らかいやん。

2436B：うん。

2437A：ほいと ほれを一 ホットプレートの 上へ 乗せてー

2438B：うん。

2439A：ほって 焦げ目 つけはるん。

2440B：あーん。

2441A：うん。 ほれー あのー

2442B：ほれ また 香ばしいわなー。

2443A：うーん。 ほっ あっ

2444B：焼くと

2445A：こういう食べ方もあるんやなーと思った。

2446B：あー。

2447A：んー。

2448B：ふーん。

2449A：ほんで あのー, ほれは ほれで 美味しかったで。

2450B：んーんー。

2451A：ほって 普通の丸餅な↑。

2452B：んーんー。

2453A：あのー あの ほれ

2454B：白い。

2455A：何にも 入ってないの。

2456B：うんうん。

2457A：うん。 それもー あの

2458B：うん。

2459A：焼いてー

2460B：ほー。

2461A：ほんで ほれは お醤油 付けたりしてー,

2462B：んー

2463A：あのー あの 食べてやあった。 ほんで

2464B：んー。

2465A：餡, あのー 餡子の 入ったのんもー

2466B：うん。

2467A：ほやって して あの やい 焼いてな

2468B：あー。

2469A：あー こういう食べ方があるんやなーと思った。



2470B：ほーん。

2471A：んー。 結構 ほんな あのー ようけ よ， あのー 子供は 子供の頃は ても ほんなん わたしらでも あんま 知らへんのに， あのー 忘れてもうてんのに あれ， 「美味し 美味しい」 って言うてあんたで。

2472B：あーん。

2473A：おん。 こういう 家で ほんな え， 中々そういうもん 出来んやな。

2474B：ほうや。 ほんなもん 出来ひんも (+ん) なー。

2475A：うーん。 ほって

2476B：買うて来てー 買うー なー。

2477A：うーん。

2478B：やっぱ ちょっ， たまーに 買うぐらいやしなー。

2479A：うーん。

2480B：ふーん。

2481A：ほれも あの さ， あの あれの 吊りん棒と 一緒に

2482B：ん。

2483A：も 自分が つ 吊ったら もっと あれやさかいに

2484B：{笑い}

2485A：正月まで

2486B：やすなるわなー。 {笑い}

2487A：おーん， あの 自分どこで出来るし。

2488B：うーんうーん。

2489A：ほや。 ほやけど ほれも 少人数では あの ちょっと あれやけど。

2490B：ほうやー。 うーん。

2491A：大勢ですなのやと

2492B：ほうやほうや。

2493A：ええわなー。 んー。

2494B：あんま 家で すると また 食べられへんしなー なんかー。

2495A：ほうやほや。 も 嫌なっまうんやて。

2496B：うーん。

2497A：自分 一所懸命すると。 うーん。

2498B：おんなじもんばーっか {笑いながら} 食べてんならんさかい。

2499A：これ 食べて。

2500B：あー。

2501A：えらい よう，

2502B：おおきに。

2503A：うーん 食べよ。

2504B：ほうや一。

2505A：ん一。

2506B：うちは よう あのー， 餅は あれなんや。 油で 油引いて焼くんや。

2507A：あー。 ほんで

2508B：うーん。

2509A：ほれも 美味し（+い）と思うで。

2510B：で， 砂糖じょうゆー《醤油》で 食べるん。

2511A：ほーん。 おーん。

2512B：いっつも。

2513A：ほれ 美味しと思うで。

2514B：もー 1 番 なんか ほれ 好きやわ。 {笑い}

2515A：あの よう あれもあるやん。 こ あのほれ， あのー たくさんじゃなくてー，  
あのほれ

2516B：うん。

2517A：貴船さんの お下がりとか。

2518B：ほいやほいや一。

2519A：ああゆんなんが あるやろ。

2520B：あんな。 あるやろ一。

2521A：ほ一。

2522B：ほいと も一， すぐゆん どうかなってまうでな一。

2523A：おーん。 もー あのー

2524B：もー 油で 焼いたりして 食べてまう。

2525A：神さんに 上がったもん あのー

2526B：んーん一。

2527A：ここら辺 結構多いなー。 貴船さんも あるし ほれから

2528B：お ほうや一。

2529A：あのー 祭りもあるやん。

2530B：祭りにも おか， な一

2531A：おー ほーん。

2532B：くれやあるし一。

2533A：ん一。

2534B：ほうやて一。

2535A：／少し間／ ほうやな。 結構 お餅の

2536B：ん一。

2537A：お餅の文化で 結構あるなー。 ん， うち

2538B：うちも よう あそこ， お参りに 行ってるとな一

- 2539A : ほん。
- 2540B : つきなみさんえのひー《日》に　くれやあるんやん。
- 2541A : うん。
- 2542B : うーん。　ほんで
- 2543A : あー　そうか。
- 2544B : よう　ほんで　もうてくるさかいに，　溜まってくると　ほやって　も　全部　油  
で揚げて，　{笑い}　焼いてまうんよ。
- 2545A : うん。　美味しいと思うわ。
- 2546B : うーん。
- 2547A : ほったら　ほういうなんは　あの　どういうに　この，　乾餅‘かんもち’で
- 2548B : ほうや。　おっきいままで
- 2549A : うん。
- 2550B : どーんと　お供えされるで
- 2551A : うん。　ほって　ほれを
- 2552B : ほれを　切って
- 2553A : 切らあるんや。
- 2554B : うーん。
- 2555A : うーん。
- 2556B : ほれ　切らあるさか (+い)。
- 2557A : ほったら　ほれ，　あの　ほうやって　誰か　ほて，　切る専用のしとが　いやあ  
るんやろ。
- 2558B : んー，　あの一　お手伝いさん，　の人が
- 2559A : あー。
- 2560B : お手伝いに　行ってる人がー
- 2561A : んー。
- 2562B : みんな　切るん。　んー
- 2563A : あそこの　あの一　貴船さんも，　昔は　ほの組　ほの組で　切ってやあったやん  
結構，　包丁　持ってってー。
- 2564B : うーんうーん。
- 2565A : この頃　あの　あそこへ　みな　行ってるんや　あの一　持ってたあるんやなー。
- 2566B : ふん。　ほんま。
- 2567A : 餅吉つつあんへ。
- 2568B : あーあー。　前は　うちらもー　なー，
- 2569A : してたなー。
- 2570B : 今年は，　ほうや　今年は　持ってたあったんかなー。
- 2571A : わたしも　知らなかった　ほんなん。

2572B：うーん。

2573A：前は してたでー。

2574B：ほうやー。

2575A：自分どこの 包丁持って

2576B：んも いっつも い， 切ってはった みんな。

2577A：切ってはったなー。

2578B：ほんで うちらー あのー， 畳みの包丁あるで。

2579A：おん。

2580B：よう 貸して 言うてなー。

2581A：ほやったなー。

2582B：うーん， 持ってきた， 持ってたあつたわ よう。

2583A：んー。

2584B：んー。

2585A：みんな 借り合いしてたも (+ん) なー あれ。

2586B：んー。

2587A：ん この頃 あれやな。 餅屋さんへ持って 切ってもらねんな。

2588B：あー ほうかー。

2589A：んー。

2590B：んー。 ほんな 今年 持ってたあつたんかなー。 ほんな 切ってあるように 思わなかったけど。

2591A：去年 うちは 持ってたあつたわ。

2592B：んー。

2593A：ほんで 何個っていうのは あれなんやろ↑。

2594B：あん 個数， ほうやほうやー。

2595A：うーんうーん。

2596B：みんなに 言うてー

2597A：奇数は あんま あれやな， 偶数でなー

2598B：んー。

2599A：4‘よん’で 割れる数字でないと

2600B：んー。

2601A：切りにくいやろしー。

2602B：あーあーあー。 んー。

2603A：／少し間／ 今まで いる。

2604B：あの 魚でも ほうやなー， 持ってた 平和堂へ 持ってたはったで。 {笑い}

2605A：うちらも。 ほんで 持って あのー

2606B：あーほうかー。

- 2607A : んー。
- 2608B : 前は あの ○○○っさん よう さばいてあったけど。
- 2609A : んー。
- 2610B : んー。
- 2611A : さばいてくれやある人が あると え (+え) んやけどー。
- 2612B : んー。
- 2613A : んー。
- 2614B : 中々 ないーでなー。
- 2615A : んー。
- 2616B : んで 後が 大変や, あの 掃除するのがなー。 {笑い}
- 2617A : んー。 んで 春は
- 2618B : あれ さばくと,
- 2619A : あの 春のどきはー,
- 2620B : んー。
- 2621A : ほれ 持ってってー, あのー あらめやけど こう お刺身に ほれ, しても  
らあったけど。
- 2622B : んー。
- 2623A : あのー ほれ, 秋は あの 暑いやろ↑。
- 2624B : んーんーん。
- 2625A : あのー 暑いっていうんか, あの まだまだ
- 2626B : んー。
- 2627A : こう, 9月ぐらいやったら あれやさかいにー。
- 2628B : なー。
- 2629A : ほんでー あのー ほんな あ もう お刺身には 出来んて 言わはったんやー  
もー
- 2630B : あー。
- 2631A : ほらほうやんなー。
- 2632B : ほうやー。
- 2633A : もし なんかあったらやん。
- 2634B : やっぱ いちんちー《1日》か 2日‘ふつか’ 置いとくでなー。
- 2635A : んーんー。
- 2636B : んー。
- 2637A : まー 冷蔵庫に 入れとくっていうものー。
- 2638B : んーんー。
- 2639A : はいでも ほうかいうて もったいないやん。
- 2640B : ほらほうやー。

2641A：ほんでー

2642B：んー。

2643A：あの どうしたか言うたらー もー あのー みんな 自己責任やでー 言うてー

2644B：うん。

2645A：あのー ほのー みんなに 分けたんじゃないくて うん。

2646B：うん。

2647A：当番してるもんだけー。

2648B：うん。

2649A：ほんで あのー あそこへ 持ってって さばいてもろてー。

2650B：うん。

2651A：あの 鯖そう， あの 鯖素麺と 一緒に

2652B：うん。

2653A：あの 鯛素麺したん。

2654B：あーん。 それは

2655A：ほれ 炊いてー

2656B：うん。

2657A：あの ほの， あ もう よう 充分 ひー《火》入れといたら どうもないんや

2658B：うんうん。

2659A：生じゃないで。

2660B：うんうん。

2661A：うん。 ほって ほれに 素麺でしたん。

2662B：ほー。

2663A：美味しかったで。

2664B：あー ほうか。

2665A：ほんでって， みんな た， あの 食べるって言うこー《子》だけしか あれや  
で。

2666B：うんうん。

2667A：よろしって言わあったしとは， ふん

2668B：ふーんふーん。

2669A：うん。

2670B：うち も いつも あの 味噌汁の あれ，

2671A：おん あれも ほんで

2672B：あーん， 汁にしまう。

2673A：要するに もう， ひー《火》入れんと かわんわなー。

2674B：そーそー。 んで ま

2675A：あんて， あんたどころは ほな 人数が あれやけど， うちら ものすご

2676B : {笑い}

2677A : 人数 多いやん。

2678B : んーんーんー。

2679A : んー, ほんで 別のもんして。

2680B : ほんまやなー。

2681A : うーん。

2682B : うーーん。

2683A : 今まで 6 年に 1 遍やったのに, 今度 5 年に 1 遍ぐらいん なるんやろ↑。

2684B : んーんーん。

2685A : お す う... そうやな↑。

2686B : ほこの 2 つ なったやろ↑。

2687A : おーん。

2688B : んー。

2689A : で, うちら 2 つに 分かれるん。

2690B : んーんーんー。 んーな

2691A : まだ 増えるやろ。

2692B : んーなー。

2693A : んー。

2694B : んー。

2695A : /少し間/ ほうやなー。 わたし

2696B : こっちは 減る方やし あっちは 増えるわな。

2697A : ほーん。

2698B : んーんーんー。

2699A : 組長 してた時にー 3 軒‘げん’か 4 軒 増えたで 1 年に。

2700B : んー。

2701A : んー。

2702B : 今年も 2 軒ぐらい 増えるんやろ↑。

2703A : 増えると思う。

2704B : なー。

2705A : うーん。 ○○ちゃんとの隣とー

2706B : んー。

2707A : うーん。 ほうやなー, もー 2 軒は ふ, 今, 現在 建ててやある家が 2 軒  
あるもん。

2708B : ほーーかー。

2709A : んー。

2710B : すごいなー。

2711A：んー。

2712B：ほや 広いもなー あそこ 土地が ず... なー， 全体に

2713A：うーん。

2714B：ずーっと ほら あんだけ 家建てたら

2715A：あの 不動産屋さん

2716B：すーごい。

2717A：言うてはったもん。 この あのー こんな 駅の近くでー，

2718B：うん。

2719A：あの こんだけ 畑のあるどこの... 少ないて， 無いて 言わあったもん。

2720B：んー。

2721A：あのー うち お地蔵さんの関係で， 不動や 不動産屋さん 来てくれやあつ，  
あのー ほれ

2722B：んー。

2723A：うちい 何してたんやろ。 あ 組長してたんかな。

2724B：んー。

2725A：あのー ほのー あの ほのー あ， 入らある人が 今度 お地蔵さんまで， あ  
のー 自分どこで 守ってってくれやあるんや。

2726B：あー。

2727A：引き受けてくれやはったん。

2728B：んー。

2729A：有難いわ。

2730B：んー。

2731A：んー。 ほんで あのー ほの時に あの 喋りに 来てはってな， あのー あ  
の

2732B：うん。

2733A：言うてはったが， 「こんなーどこ 少ない」言うてはったもん。

2734B：んー

2735A：あの こんな あの 駅の近くでー

2736B：あーあーん。

2737A：あのー こ あのー

2738B：畑やかなー。

2739A：畑とか この ほの

2740B：うんうん。

2741A：うん， 要するに まー あのー ほうやなー。

2742B：うん。

2743A：こんな 広い土地っていうんか あ...



- 2744B：うんうん。
- 2745A：畑とかも。
- 2746B：空き地が↑。
- 2747A：おんおん。 空き地が
- 2748B：んー。
- 2749A：あるっていうどこ あの 少ないって 言うてはったで。
- 2750B：ほーん。
- 2751A：んー。
- 2752B：ほんで みんな 買いに きやはるんや ここの
- 2753A：そうやなー。
- 2754B：ほうゆ 不動産屋さんが 入らあるんやなー。
- 2755A：おーん。 ほんで みんな 言うてはる。 あの ほら
- 2756B：んー。
- 2757A：あの一 ここの 団地は 聞きに 来はるけど↑ ほんなこと 迂闊に 言うて  
かなんやん。
- 2758B：ほーん。
- 2759A：うーん。 でも ほの一人は ほう言うてあったわ。 あの一
- 2760B：んー。
- 2761A：あの 「少ないわー」言うて。
- 2762B：あー。
- 2763A：ほんで 売れてないどこは ほの 値段が 合わないんやと思うわ。
- 2764B：あー。
- 2765A：んー。
- 2766B：ほや、 うちらでも あそこ 駐車場に ちょっと 空いたるやろ。
- 2767A：うん。
- 2768B：で あの、 ○○○工務店が いっつも 入れとかあるんよ、 空き地を
- 2769A：あー。
- 2770B：まー 売ってくれ いう感じで。
- 2771A：あー あんたとこの あの 隣か。
- 2772B：{笑い} うん。
- 2773A：あっ ほれは 言うてあったな、 あの一
- 2774B：うちもなー、 あの
- 2775A：あの 不動産屋が さんが 言うてはったのは一
- 2776B：んー。
- 2777A：あの 昔は一 ものすごく大きな あの あれなんやけど いまー
- 2778B：んー。

- 2779A : あの一 50 坪までのん よう売れるんやて。
- 2780B : あーん。
- 2781A : ほんで ほれを ほれも 言うてはった。
- 2782B : あー, ほって 丁度 ほんなもんなんや。
- 2783A : うん。
- 2784B : 5, 60 ぐらいやー。
- 2785A : うちの 古い家の方も あの 訪ねて来はったもん, 隣で聞いて。
- 2786B : あー ほうかー。
- 2787A : ほーん。
- 2788B : あ ほうやわ。 あそこもなー ほらー。 {笑い}
- 2789A : ん お...
- 2790B : 空き地に なってまうもんなー。
- 2791A : おーん。 隣に あの一
- 2792B : んー。
- 2793A : 隣の, 人に き 聞き 聞いて
- 2794B : あー ほうか。
- 2795A : 寄せてもらいまいた 言うてー。
- 2796B : あーあー。
- 2797A : うん。
- 2798B : ほーん。
- 2799A : ほんで ほの 「どっかないやろか」 って 言わあるさかいに
- 2800B : んー。
- 2801A : 今現在 家 建ったーる家でー
- 2802B : んー。
- 2803A : ほっで もー 空き家っていうの あるやん。
- 2804B : んーんー。
- 2805A : あの一 ほの一
- 2806B : あー。
- 2807A : 空き家っていうのが あるさかいにー。
- 2808B : あーあー
- 2809A : ほんで ほれ ほの「ほれを 建てやあったらどうですか」 って言うて
- 2810B : んーんー。
- 2811A : ほれは 言うたんやけど。
- 2812B : んー。
- 2813A : あと 何にも 言うてきゃあれんで。
- 2814B : んーんー。

- 2815A: あの一　なんか　折り合いが一　って言うんか　ほの　中に　荷物が　入ったった  
ら、　なかなか　ほれ
- 2816B: あ一　ほれを
- 2817A: 整理も　出来んと　思うわ。
- 2818B: 崩さんならんしな一。
- 2819A: お一ん。
- 2820B: ほの　ほら一、　崩したりするのも　お金掛かるで。
- 2821A: かるし一　ん一。
- 2822B: ほうや一。　ほら　丁度　空き地でな一
- 2823A: ほ一。
- 2824B: も一　すぐ　ぱっと
- 2825A: 空き地ねの　ん一
- 2826B: 建てられるろとこならな一　ほら
- 2827A: ん一。　あんたどこの　ほれ、　手頃なんやで。
- 2828B: ん↑。
- 2829A: ほれは　言うてはった　手頃なんや。
- 2830B: あ一。　{笑い}
- 2831A: うん。
- 2832B: ん一。
- 2833A: 50 坪以下や　言うてはった。
- 2834B: あ一　丁度　入るんや　ほえ。
- 2835A: ん一。
- 2836B: 道端やし
- 2837A: あ一　ほやほや。
- 2838B: 角地やでな一。
- 2839A: 丁度ええんや。　う一ん。
- 2840B: う一ん。　ほや　丁度
- 2841A: でも　あんたどこ　あれがなかった (+ら)　不便やろ↑。
- 2842B: ほうやて一　やっぱ　あそこがないとな一
- 2843A: 駐車が　ないな一。
- 2844B: ん一。
- 2845A: 自分どこが　駐車場　あれ
- 2846B: ほうよ。
- 2847A: 借りんならんやん。
- 2848B: ほって　あんなとこ　家建てたら　うちい　も一　両方共　光が　入らへんのよ。
- 2849A: あ一　そう、　ん一

2850B：西も 日が 南も

2851A：ほれ あるやろなー。

2852B：あかんやろー。

2853A：んー。

2854B：今も あのアパートで 全然入ってこ（+う）へんね ひかりー《光》。

2855A：あー そうか。

2856B：ほんーまに、 もー 真ん中の部屋 真っ暗やで、 いつも。

2857A：あー そうなんか。

2858B：あの アパートの あれで、 もー あれ 古いで、 もー 何とか{笑いながら}  
してくれはらへんやろかと思うで。 思うけど

2859A：思うわ。

2860B：んーま もー

2861A：あん、 何人 入ってあるん。

2862B：ん↑。

2863A：何人 入ってあるん。

2864B：2 軒。 もー... ん↑。

2865A：あん ま ええか うん。

2866B：んー。

2867A：ん。 2 軒入ってあるんか。

2868B：んーんー ほうやろ。

2869A：うちどこも 関係者やで、 たまに 行くんや わたし。

2870B：ん↑。

2871A：か、 うちどこも 関係があるで、 たまに

2872B：あーあーあー。

2873A：訪ねて ゆう

2874B：あの 下のしと《人》か。

2875A：うーん。

2876B：うーーん。

2877A：上も やあるんか。

2878B：上は一、 ほうや わたしらぐらいの人が 1 人 住んであんのかな。

2879A：あー そうなん。

2880B：もうちょっと 若いかなー。

2881A：ん あー そーなんか。

2882B：んー。

2883A：んー。 あのしとら《人ら》自身も ほうやろなー あんま 光 入らんやろなー

2884B：いやっ、 あの人らは 入るわ。 こっちい 南 ものすごいんや もう。

- 2885A : あー。
- 2886B : あっ 下は 入らんわ。
- 2887A : ほうやなー。
- 2888B : うーん 下は 全然入らんわ。
- 2889A : ほうやなー, あっ 2階のしとは あの あれなんや。
- 2890B : うん。 2階は よう入る。
- 2891A : んー。
- 2892B : ほんま おら あれなかつ あん, なー, なかったら
- 2893A : ん。
- 2894B : もー ほんーま まるーぼ ほん 光が入ってくるけど 今はぜんーぜんあかんで。
- 2895A : あの一 うちの組でも あるで。
- 2896B : んー。
- 2897A : そういーなん。
- 2898B : んー
- 2899A : あの一。 大っぴらには 言わあれんけどー。
- 2900B : んーんーん。
- 2901A : あの一 うちで 今まで 畑やったやん 沢山。
- 2902B : あー。
- 2903A : ほっで あれで, あの 結構
- 2904B : んー。
- 2905A : あの一 光が 入ったったけどー。
- 2906B : んーんー。
- 2907A : こんどー あの一 建てはるとー
- 2908B : んー。
- 2909A : こう 建てはるよう なってきたらー
- 2910B : もう アパートは もうなー。
- 2911A : うん。
- 2912B : あの一 うちら みたいや 普通の家の あれやと やっぱー 全然 光入らんな。
- 2913A : んー。
- 2914B : ほんで
- 2915A : ほんで ほれは 言わあるわ。
- 2916B : 反対む, こう向きなら 丁度ええんやけどな。
- 2917A : あーん ほーん んー。
- 2918B : こうこうは, なー。
- 2919A : んー。
- 2920B : 南, ほんで 西東‘にしひがし’に 建てでれるとー, 全然 入ってこんのやな。

2921A : んー。 西東 ほんほん。

2922B : んー。 南北ならなー

2923A : うん。 そうやな。 あー

2924B : んー。

2925A : 南北なら そうなんや。

2926B : 入ってくるんや。

2927A : 入ってくるんや。

2928B : んー。

2929A : うーん。 ん そやな。

2930B : んーで、 まー しょうがない。 ほうれは もー {笑いながら} 初めからの  
あれやで。

2931A : うーん。

2932B : なー。

2933A : んー。

2934B : もー うちほ しょうがないけどー。

2935A : ほんで ほれは あのー あのー うちの組でも あ あのー ほのー

2936B : んー。

2937A : 大っぴらには 言わあれんけどー。

2938B : んーんーんー。

2939A : うん。 ほれは 言うてはる。

2940B : んー。

2941A : 段々 今まで どうもなかったところが あれやろ↑。

2942B : あーん。 そーそー。

2943A : うーん。 ほれは なる。

2944B : うーん。

2945A : んー。 うちの家かって そうやな。 ほんで うちらかって 今はいいで。

2946B : んーんーんー。

2947A : んー。 けど 将来的には 分からんやん。

2948B : んーんー。 なー。

2949A : んーんー。

2950B : ほうやー。 ほんで うちら 周り 西に もし なんか 建っ ん なー, 自  
分とこ あそこ 売ってもたら, やっぱ も 家が 建つんやでなー。

2951A : お ほーん。 うーん。

2952B : ほって も 西からも 今 光ん 入らんかったら。

2953A : ほれ あんた あの 平屋ならいいで 例えの話が。

2954B : うんうんうん。 そうやわ

- 2955A : ほんな 3 階建てでも しゃはったら かなわんやん。
- 2956B : んー, ほんなもん とっても かなわんわ。
- 2957A : あんたどこの 前 前へな。
- 2958B : うん。
- 2959A : あんたとこの ほの 前は あれ どうしてあるん。
- 2960B : どこ, ○○○さんか↑。
- 2961A : いや 違うんや。 あの ほれ
- 2962B : ん ○○○○さん↑
- 2963A : あの ほの あのーー あの
- 2964B : ○○○○か↑。
- 2965A : ○○○○ ほん。 まだ ほんで あのこ あのまま 持っではるん。
- 2966B : あー あのー ○○○○さんの隣か↑。
- 2967A : おん。
- 2968B : おーん。 ほや あそこのもんやろ↑。
- 2969A : あー そうなんか。
- 2970B : あのしと《人》 誰やいな,
- 2971A : んーと なんちゅ名前やったやろ。
- 2972B : なんちゅしと↑。
- 2973A : ○○○○さんや。
- 2974B : あーあー。
- 2975A : うん。
- 2976B : ほうやほうや。
- 2977A : ほったら 畑やか してはるんか。
- 2978B : うん, 旦那さんが はたけーだけは 来てやある。
- 2979A : あー そうなんか。
- 2980B : うーん。
- 2981A : んー。
- 2982B : ほんまやわ。
- 2983A : あそこ ほっでも
- 2984B : ほんでも あの 家も もう だいぶ 傷んだるやろなー。
- 2985A : もう あかんわ。
- 2986B : もう つこてないで。
- 2987A : うん, うちのどこも 長いことなー。
- 2988B : えーえ家‘いえ’やと思うけど。
- 2989A : あのー ながーいこと うちい つこてんかったやろ↑。
- 2990B : んー。

- 2991A：ほったら あの一 あの一 表は どうもないんやけど。
- 2992B：あー。
- 2993A：裏の方に 屋根がな
- 2994B：うん。
- 2995A：屋根が 抜けてもた。
- 2996B：ほーー あー ほうかー
- 2997A：おん。 ほんで あの 電気だけは 切ったんやー。
- 2998B：んーんー。
- 2999A：あの ほれ、 みんなに 迷惑かけるし。
- 3000B：んーんー。
- 3001A：で、 もう 潰さんかったら あんた あの一 地震が 来たときに あの 隣と  
かにしたら
- 3002B：あーー。
- 3003A：また かなんやん。
- 3004B：倒れ込んで来たらー。
- 3005A：うーん。
- 3006B：うーん。
- 3007A：ほいでも 家を 潰すてこと、 潰すっていうんか
- 3008B：なー。
- 3009A：大変やわ。 中の 整理の
- 3010B：そうやてー。
- 3011A：まだ 出来たらへんねやで。 わたしんどこ 家‘いえ’の
- 3012B：あーー。
- 3013A：古いどこの あの一 小屋とか。
- 3014B：まだ 物が あるんか。
- 3015A：違うどこへー
- 3016B：んー。
- 3017A：あの一 移動して行って
- 3018B：んー。
- 3019A：もっぺん《もう1遍》 あの チェックせんならんていうんか。
- 3020B：んーー。
- 3021A：お祖父ちゃんとか お祖母ちゃんとか、 もうひとつ前のしと《人》のとかでも
- 3022B：んー↑ー↓。
- 3023A：おん ふ、 捨てるもんにしたかて、 1遍 見てみんと あかんと 思うわ↑。
- 3024B：んーんーんー。
- 3025A：んー 造作なわ。 {笑い}



3026B：ほーん。

3027A：なんか あのー あれ、 あのー あの 背中が あれ なりそうなの、 あの ど  
う言うたええん、 あの ほの 古いもんやさかい

3028B：{笑い}

3029A：ほん、 自分どこの 家ん中では ないんやけどー。

3030B：うーんうーんうーん。

3031A：うーんうーん。 ほんと。

3032B：ほんまやなー。

3033A：おーん。 ほんと。

3034B：{笑いながら} ちょっとー

3035A：おーん、 ぞっと あー こう あの 昔の

3036B：ずっと しっと し そ...

3037A：分かるやろ↑。

3038B：{笑い}

3039A：昔の 長持の人は

3040B：あー。

3041A：あ あれやか あるやろー。 ん ん

3042B：んーんー。

3043A：昔の長持 し、 あのほれ

3044B：あの。

3045A：こういう ガバーッと開けるの。

3046B：うーん あるある。

3047A：うん あれあれあれ。

3048B：うーん。

3049A：うーん。

3050B：あー、 ああいうなん あるんか。

3051A：うーん、 ほんで お祖父ちゃ

3052B：ほー。

3053A：わたしの母とー

3054B：うーん。

3055A：ほれから もひとつ お祖母ちゃんのと。

3056B：ふーん。

3057A：うーん、 どうなったるんやろ

3058B：{笑い}

3059A：ほれ せんならん。

3060B：明治かー {笑い} 大正か

3061A：ほうやな。 明治

3062B：ほれぐらい なってまうやろ↑。

3063A：あ お あのー 明治かなー。

3064B：んー。

3065A：お祖母ちゃん 嫁入り 来やあったの。

3066B：ほーー。

3067A：明治の終わりぐらいやったかも知れんなー。

3068B：ほーー。

3069A：お婆さんが たい 大正 3 年に 生まれて あっ 大正

3070B：ほら なんか ええ骨董品が 出てくる。 {笑い}

3071A：ちゃう。 骨董品ならええけどやで。

3072B：んまー。

3073A：あんたが

3074B：{笑い}

3075A：かなんやん あんた。 もう 虫だらけんなら ええけどやで

3076B：あー。 {笑い}

3077A：もーー

3078B：んー。

3079A：マスクして 行かんとあかんわ。

3080B：{笑い}

3081A：んー

3082B：もー もーや。 んー なー。

3083A：でも

3084B：ああいう 整理は 大変やなー。

3085A：大変。

3086B：んーー。

3087A：うーん。 もう 無茶苦茶 出来んし。

3088B：うーん。

3089A：んー。

3090B：ほんまやー。 んー。

3091A：お祖母さんの あれだけは あの 家に 置いとくん。 あのー うちの お祖母  
さんにはないやけど、 もひとつ前の お祖母さんの あの 花嫁衣装っていうん  
か。

3092B：ほえー 置いたあるん。

3093A：花嫁衣装やけど。

3094B：うん。

- 3095A：今みたいなもんで ないんやで。
- 3096B：あの 黒いやろ。
- 3097A：おん。
- 3098B：なー。 黒いの。
- 3099A：あの 家式‘うちしき’の一
- 3100B：うん。 うんうん。
- 3101A：あの 仏さんの一
- 3102B：うん。
- 3103A：家式みないな感じ。
- 3104B：あー。 ほいで
- 3105A：家式みたいのは
- 3106B：下は あれやろ↑。 あのー こんな 綿が入って
- 3107A：お ほ そーそーそーそ。
- 3108B：こう なー。
- 3109A：うーんうーん。
- 3110B：うーんうーん。
- 3111A：で なんかのー
- 3112B：んー。
- 3113A：あの ほれ， 展示会とかあるやん。
- 3114B：あーあー。
- 3115A：展示品とか あれんきに も あれやで
- 3116B：ほんまやなー。
- 3117A：一応はなー 残しとくんやけどー。
- 3118B：ふーーん。
- 3119A：おん。 ほうやで 黒いのやで。
- 3120B：うーん。 黒やろ↑。
- 3121A：ほんな 今みたいのん 違うで， うん
- 3122B：ほいでも あの 襟とかなら 赤いんやろ。 裾なんかも。
- 3123A：あー ほうや。 ほ おん ほうや。 赤。
- 3124B：赤いしなー。
- 3125A：ほ， そーそーそーそー。
- 3126B：ほんで 帯だけが なんか 綺麗ななー
- 3127A：ほーん。
- 3128B：帯しやるんや で。
- 3129A：なんか あのー あの ほれ あの， 仏さんの一
- 3130B：うん。

3131A：あの 家式ってあるやん。

3132B：あー。

3133A：あー あんな感じ。

3134B：はーはーはーはーはー。

3135A：あー あんな感じやなと 思たん。

3136B：あー。

3137A：ほの 華やかじゃないんよ。

3138B：そーそー。

3139A：うん ふん。

3140B：黒でー。

3141A：おーん。

3142B：まー ほんでも

3143A：割り方

3144B：落ち着いて また 昔のあれも まー ええんやけどなー。

3145A：うーん。 ほんでー

3146B：うーん。

3147A：あの これ また あの ほれ あのー なんかの てい 明治のとか あんどきのー

3148B：あー。

3149A：あの 展示会だけでも 出せるかなーと思て。

3150B：ほらー 売ったらええな。 {笑い} なー。

3151A：ほんまやな。

3152B：ああいう 京都のなー。

3153A：おーん。

3154B：ああいうとこへ 1回 頼んで

3155A：あー ほうかも知れん。

3156B：見てもらうと いいんや。

3157A：あのー。

3158B：ああいう 着物やかは。

3159A：古道具屋さーんの ほれ、

3160B：そーそーそーそー。

3161A：うん、 あのー 聞いてたら、 あそこに あのー

3162B：んー。

3163A：同級生なんやー。

3164B：んーんー。

3165A：あのー ○○○○○○○堂さん、

- 3166B : んー↑。
- 3167A : うん。 ほんでー
- 3168B : んー。
- 3169A : 喋ってたらー
- 3170B : んー。
- 3171A : あの ほの一, ほれ 家のどきやで。
- 3172B : うんうん。
- 3173A : ほしたらー あの一, 着物はー
- 3174B : うん。
- 3175A : あの一 明治か 大正やったら, あの
- 3176B : あー。
- 3177A : 買うわって 言うてはったわ。
- 3178B : ほーん。 ほら えー。
- 3179A : うん。
- 3180B : あれやわ, 1回 見せやあると ええんや。
- 3181A : うーん。
- 3182B : なー。
- 3183A : でも 分からんやん。 長いこと見てんで 虫だらけで もー
- 3184B : {笑い}
- 3185A : ほれに。
- 3186B : 分からん。
- 3187A : 当たらんかや。
- 3188B : うーん。
- 3189A : うーん。 ふんでー あの一
- 3190B : んー。
- 3191A : 買うわって言うてはったんや。 や 明治とか 大正は ほんで やっぱ ほうい  
うなん なるんやろな。
- 3192B : ほうやろなー。
- 3193A : うーん。
- 3194B : うちの あの一 親戚の おばさんがなー。
- 3195A : うん。
- 3196B : あの一 結婚式の 写真 うちん 親元には あったんやー。
- 3197A : ほん。
- 3198B : ほたら, ほや し 白のあれ 角隠し してなー。
- 3199A : ほん, して, ほん
- 3200B : ほで, 襟と 裾はなー なんか 赤いんやわ。

3201A : ほん。

3202B : あのー 綿が ここに 入ったってーよ↑。

3203A : ものすごー 綿が はったる《入ったある》やろ↑。

3204B : で、 んー ここに

3205A : お ここに 出たるんや。

3206B : んーんー。 あ ほんで、 あー 打ち掛け

3207A : 今の あの

3208B : 打ち掛けと 一緒や。

3209A : おーん 打ち掛けや。

3210B : うーん。 裾が。

3211A : おーん 打ち掛けや。 おーん。 ほうん。

3212B : 綿が すーっと 入ったってー

3213A : ほうん。

3214B : ほいで

3215A : ものすご 出たるんやろ↑。

3216B : そーそーそー。

3217A : す 後ろが。 おーん。

3218B : うーん。

3219A : あの 今の ほれ

3220B : 黒でー

3221A : 祭りの衣装。

3222B : あー そーそーそーそー。

3223A : あれ ### っちゃんの 衣装みたいなもんやな。

3224B : んーんー。

3225A : うーん。

3226B : あれやー。

3227A : うーん。

3228B : ほいで あれがー 赤と 白か。

3229A : うん。

3230B : ほんで 上は 黒やし。

3231A : うん。

3232B : 次 赤でー

3233A : うん。

3234B : 次 白

3235A : あー そんなんやと思うわ。

3236B : うーん。

3237A：もう ほんな 立派かとか 分からんども

3238B：んー いや

3239A：掛け下っていうのも あるで。 し 白いの ほれ 白い 着物を 着て 打ち掛けなんや。

3240B：あー。

3241A：そんで 上に ほの、 ほの

3242B：あーあーあー。

3243A：ほういう ご、 あ ごわーんとしたのを 着てやあったん。

3244B：んー。

3245A：うん。

3246B：ごわーん。{笑い}

3247A：うん。 ごばーんとな こういう人が ほー ほや

3248B：{笑い}

3249A：んー。

3250B：ほうや。 {笑い}

3251A：んー。

3252B：んー。

3253A：だ 昔は ほったら 貸衣装ではなかったんか。

3254B：あ ほんまや、 自分で あれ しゃはったんかなー。

3255A：なー、 どうしてあったんやろなー。

3256B：ほんでも やっぱ、 ほんでも ほんなん 持ってやある人 やっぱり ほんだけ、 やっぱ い 家の 家柄が あるんやで。

3257A：そらー どう

3258B：普通は そんなもん 買えへんで。 なんか

3259A：ほやろか。

3260B：うーん。 結構

3261A：ほんでも ほんな 立派なもんで ないで 昔のもんやで。

3262B：うーん、 でも なかなか 花嫁衣装 作るようなもんは やっぱり ある程度の

3263A：順番の みーんな、 みんな順番に 借りてくるか なんかかも知れんなー。

3264B：んーんー。

3265A：んー、 うちの ほんで 母の 時代は 違うで。

3266B：うん。

3267A：わたしらの 母の 時代は一

3268B：うん。

3269A：写真 のったる 残ったるんやけどー

3270B：うん。

3271A：あの ああいう ほれ、 あのー 今の あの 留袖みたいなの。

3272B：あーほー。

3273A：写真、 あの ほれ 黒のー

3274B：んー。

3275A：あの とめ 留袖みたいな 感じやったと 思うわ。

3276B：ほーん。

3277A：あ 今も 結婚式で 引き振袖とかいうの ほうやなー。 あ まー

3278B：へー。

3279A：色も 色々あるけど。

3280B：んーんー。

3281A：振袖 着やるの ほれ

3282B：あーあーあー。

3283A：あーん。

3284B：なんか 今 かわっ、 色んな形に あるもんなー。

3285A：変わったの しち してあるなー。 うーん。

3286B：うーん。

3287A：ほって 頭 しゃあらへんやん。

3288B：ほうやほうや。 自分の 髪だけで なんか こやってなー

3289A：おーん。

3290B：簡単に 付けてー

3291A：してやあるんやな。 やってはるなー。

3292B：うーん うん。 もう 昔は 結婚式いうたら 絶対な。

3293A：ほーん。

3294B：文金高島田 結うなー あれやな

3295A：ほったら あの あれなんやろか。

3296B：んー。

3297A：あのー わたし 中 見てへんにゃけど。 あの ほの こ こういひに《こうい  
う風に》 ほれ 綿帽子みたい 被さある し

3298B：あーあーあー。

3299A：下も ほったら あれか あのー 髷か。 髷じゃない じ 自分の髪やろか。 い  
や 違うなー、 ほいでも

3300B：いや ほんでも ほれ 下にー

3301A：あんだけの ボリューム 出んな。

3302B：下にやったら、 まー ほうれも あるやろうしー。

3303A：だけど ボリュームーで あのー あれやもなー 出んもんなー。

3304B：昔は 絶対 なー。



3305A：うん。

3306B：あれ一の

3307A：してあったなー。

3308B：うーん， 島田に結うてなー。

3309A：うーんうーん。

3310B：あれ 被ってあったけど。

3311A：ほっで ほんな 綿帽子みたいなん 無かったもん。 あんた ほうやった↑。

3312B：うーん。 よう

3313A：違うなー↑。

3314B：あれーは 人によって 被らんすこー《子》と 被らんせんこーがあるけど

3315A：あー そうなんか。 うん。 まー ほうか。

3316B：ほうやなー。

3317A：普通の こうい（+う）なんやなー。

3318B：うーん。 うちらは 角隠しやもんなー。

3319A：ほうや。 角隠しやなー。

3320B：んーんーんー。

3321A：角隠しっていうの。 ほえ えーえ名前やなー。 {笑い}

3322B：{笑い} ほんまの 角を隠すて。

3323A：ほんまやなー。

3324B：女の角を。 {笑い}

3325A：なー。

3326B：なー。 結婚したら

3327A：ん， あっ すんませーん どうも



談話 8

会話参加者：女性 2 名（A：1954 年生（59），B：1946 生（66））

参加者同士の関係：友人

文字化時間：59 分 14 秒

会話収録日：2013 年 2 月

- 1A：田根学区の方の　なんか　年寄りの人のな　なんかに　行ったら  
 2B：うん。　うんうんうん。  
 3A：ほいなら　夕方なって　もう　閉めんし　せんなんして　言わあってんて。  
 4B：うん。{笑い}  
 5A：閉めんし　せんなんちゅうのは　わからんなんだゆうてあった。  
 6B：うーん。  
 7A：もう　わたし　閉めんし　せんなん　や　ちゅわあった　言うて。  
 8B：うんうん。　なあ　普通に　しゃべっていることが　{笑い}  
 9A：{笑い}　そたら　あの　そた　その子が  
 10B：うん。  
 11A：面接のときに  
 12B：うん。  
 13A：いや　ちゃ　面接て　もう　採用は　決まったんや。  
 14B：うん。  
 15A：ほて　まあ　何日から　出勤　ま　4月1日やけどよ。  
 16B：うん。  
 17A：あの一　注意事項ちゅうか　あの一　たぶ　上履きは　あの　向かいの　ほんな若い  
 　　子　なんやで　んな　昔のことでないんやけど  
 18B：うん。  
 19A：上履きは  
 20B：うん。  
 21A：夏は　足が　蒸さるので  
 22B：うん。  
 23A：あの　さ　すだ　スリッパがいいでしょう　とか　なんか　書いたってんって。  
 24B：うーん　うん。  
 25A：足が　蒸さるのでって。　{笑い}  
 26B：{笑い}  
 27A：ほんなことまで　丁寧に　書いとかと  
 28B：おーおー  
 29A：うちら　んなもん　もらった覚えはないけど  
 30B：うん。

31A：なんか はてして。

32B：うん。

33A：書いて それ 注意書きが あってんて。

34B：あー ほーなんやー。

35A：足が 蒸さるっていう 意味が わからなんだちゅうてやった。 {笑い}

36B：おー {笑い} ほんまやー。

37A：ほら ほんな ほ 蒸さるって方言かなー 言うてたんやけど。

38B：ほんまやな。

39A：うん。

40B：おー。{笑い}

41A：いやでも 親切な注意書き もろたんやねー言うて

42B：{笑い}

43A：しゃべってたんやけど。{笑い}

44B：ほんまやー。{笑い}

45A：上履きの 心配まで してくれやったーん言うてたんや。

46B：ほうかー。

47A：{笑い}

48B：ふーん {笑い} さっき〇〇ちゃんも い さっき あそこで 言うてやってんけど け けつまづくってよ。

49A：うん ああ。

50B：けつまづくって 方言かいねって 言われて。

51A：つまづくやな ほんで ひょう あれが

52B：うん んで けつ が付くやろ。

53A：ほうなんやなー。

54B：けつまづくって。

55A：うん けつまづくや ほやなー。

56B：うん けちくさいで けつまづくやろかって

57A：{笑い}

58B：ああいう 〇〇〇先生らと しゃべってやったけど。

59A：ああ。

60B：うん。

61A：ほうやなー。

62B：ねえ けつまづく。

63A：ほや けつまづく #なー

64B：〇〇〇〇さんが こけやんた話から

65A：{笑い}

- 66B：けつまづかんたんやって。{笑い}
- 67A：ほうや ほうや ほうんなるな。うん。
- 68B：うん。
- 69A：ほう 言うてたらな。
- 70B：つまづくがほんで 方言やな。{笑い}
- 71A：ほったら こないだな あの小谷とな 小谷
- 72B：うん。
- 73A：じゃないが 今日 小谷や
- 74B：おう。
- 75A：あの田根と
- 76B：うん。
- 77A：あの 上草の 合同やったんや。
- 78B：ほー ほー ほー。
- 79A：ほんで まー う もう スタッフは 5人くらいやった。 ほったら ○○○さん  
とこの嫁さんがな
- 80B：うん。
- 81A：あの一 外郎を
- 82B：あー。
- 83A：やっぱ 地元の子やし
- 84B：よう＃
- 85A：まあ 人数も少ないで。
- 86B：うん。
- 87A：ほんだら ○○さんが今日はね
- 88B：うん。
- 89A：みんな サプライズで
- 90B：うん。
- 91A：おいしいもんが 用意して
- 92B：うーん。
- 93A：あるんやで 言うてな んて
- 94B：うん。
- 95A：出してくれやったん。 ほた まあ
- 96B：うーん。
- 97A：上手に 作っとかった。
- 98B：うーん。
- 99A：美味しいんやけど あたしらも呼ばれてた。
- 100B：うん。

101A : ほしたら もう次一 家事部屋へ 見学に 行くさかいに

102B : うん。

103A : みんな食べ終わってねー って言わんたんや。

104B : うん。

105A : ほたら もう美味しいて ちょびちょび 食べてる

106B : {笑い}

107A : ちゅわんすんや。

108B : うん。{笑い}

109A : ちっちゃいの おい ちょびちょび ちゅわんすで。 {笑い} てか。

110B : {笑い}

111A : ちょびちょび。

112B : あー。

113A : てーなあ やっぱ い 使わんすんかなあ 思て。

114B : あー やっぱ 年寄りが

115A : うん。

116B : やある 家はな

117A : ほうやって

118B : 聞いてやんすんやで。

119A : ちょびちょび 食べてるんや ちゅわんすんや。{笑い}

120B : うん。{笑い}

121A : すぎ かわいらしいな一言うてた。

122B : よう ○○○さんとこの嫁さんすごいね。

123A : ほうやって ほんで

124B : いつも

125A : ○○○さん

126B : うん。

127A : 言うとかんか これは 明日は

128B : うんうんうんうん。

129A : 上草###で。いや、そのー 大体の スケジュールは 言うとかけど。

130B : あー。

131A : 明日 作ってくれよっちゅうようなことは

132B : 言うてない。

133A : あのー わしが 作るんでないで

134B : おー よう

135A : 言うてんけど。 ほんでー ほうやて

136B : 気いつけてー。

- 137A : で もう も 来年は またわからん #て  
138B : おう ほらほら ほよー  
139A : 年いってござったし て言うてやったけど。  
140B : ほら ほよー。  
141A : うん。  
142B : もう すごいな一 気遣いが。  
143A : ほうやって  
144B : ほう。  
145A : 喜ばん。た ほんで  
146B : ほらほうやろー。  
147A : {笑い} やって  
148B : そら ほんまに びつく  
149A : ほんで 人数が まあ  
150B : うん。  
151A : 少ないでなあ  
152B : うん。  
153A : あれやけど。  
154B : うーん。  
155A : うーん。  
156B : ほうやったんや。  
157A : ほうやで。  
158B : 東学区の子ども はってやんたで 余計やな。  
159A : {笑い} やな。  
160B : ほー ほうなんかー。  
161A : うーん {笑い} なかなか 食べさせてもらえん なあ。  
162B : うーん 食べさせてもらえん そんなことはね。  
163A : ほんまや。  
164B : ふーん。  
165A : B さんも でもあれやろ あのー 日赤保守団 まだ 総会やらで 忙しいやろ。  
166B : うーん 忙しい。  
167A : うん なあ。  
168B : もう 嫌。  
169A : これが 今, や 一年け↑。  
170B : 一年。  
171A : もう 一年。  
172B : 総会が 終わって一年。

173A : あー なあ。

174B : よう お姉さん してござった と思って。

175A : いやいやー な 大変やね 二年て。

176B : にね 一年で ええな。

177A : うーん。

178B : うーん。

179A : B さん 忙しいやろと思う。

180B : ちらは ほんまに ついて歩く だけ やはかいに

181A : うーん ほやけど なあ。

182B : うーん でも

183A : やっぱ 役員 やったら 顔出さん わけに いかんでな。

184B : いかんなあ で やら この新聞の じ 一人ずつ なんか 一項目ずつ 受け持  
って 言わんた 百字で

185A : あーあーあー そうか。{笑い}

186B : まあ 百字やけど 難しいんや {笑い}

187A : ほうやー また まとめんなわね。

188B : うーん。

189A : うん。

190B : ほんま。

191A : 大変やな。

192B : ようも 大変や 長に ならある人はなー あの人 ○○○○さん ちゃんちゃん  
ちゃんちゃんちゃんちゃんと やっぱ先生してやったやろ。

193A : あー 慣れてやんやな

194B : もう ほん＃

195A : 段取りが

196B : どうしましょ でないんやで。

197A : ほー。

198B : もっと 違うんやで。

199A : あっ ほうかほうか。

200B : ほう 自分で 80 パーセント 決めて もう ぐっぐっぐつと いってまう。

201A : はー 姉ちゃんのときはな。あの一 あそこ○○○○の○○さんて

202B : うんうん。

203A : あの お寺の人。

204B : いやる お。

205A : あの人やら まえ あの いやったやろ ほたら あの あの人らは また ああ  
しまししょう こうしまししょうて



- 206B : あ。
- 207A : ものすごい あの人らが 活発やってんて。
- 208B : あー。
- 209A : ほんで ものすご ほんで 動いてくれやあってんて。
- 210B : あーおー。
- 211A : うん。
- 212B : ほうやったんやー。 ##
- 213A : ほんで もう 分担を 決めたんやけど
- 214B : うん。
- 215A : 自分らで き 企画しては うん ものすごい ほの ほ 積極的やったんやて。
- 216B : ああ そうかそうか。
- 217A : うん ほんで ほれは ありがたかった 言うてやんた。
- 218B : ほうか うちら みんな ついて 歩いてる感じ。
- 219A : あー ほーか ほら どっちかや ほら なあ
- 220B : ○○○○○さんもなあ おとなしいんや。
- 221A : はあー。
- 222B : あの○○○さん 下側のほうやし。
- 223A : あー ほうかほうか。
- 224B : うちら まあ 口出しせん。
- 225A : ○○○○さん ほうか ほういう
- 226B : うん。
- 227A : リーダー的なところが あるんや。
- 228B : りー うん。
- 229A : ほうか。
- 230B : ほで あの一 ○○○○の掃除 草むしりも 去年 増やさあったやろ。
- 231A : うーん。
- 232B : ほやけど みんな 団員は よ や やめたい。
- 233A : ほうやほうやほうや。
- 234B : #####ばっかやけど もう 今年は これで いきますって 言いきって  
まあるしな。
- 235A : ああ ほうなんか。
- 236B : うんうん。 ほで まあ ちょっとー 団員さんの 気持ちも 大事やで アンケ  
ート とらあたたら どうやって。
- 237A : {笑い}
- 238B : {笑い} 言うてたんやけど。
- 239A : おーおー。

240B：今度 総会に。

241A：おー。

242B：どう みんなの 気持ちがね。

243A：ほうやってー。

244B：あーんま 強引に していてもて 離れていってもってもねえ。

245A：ほうなんや。

246B：うーん。

247A：うちらも ほうやで もう

248B：うん。

249A：やっぱな

250B：うん。

251A：みんな 辞めていかあるで。

252B：うんうん。

253A：うちも 来年は ほんで 字の

254B：うん。

255A：世話方っちゅうか まあ

256B：うーん。

257A：字 知れたんねんけど。

258B：うん うんうんうんうんうん。

259A：連絡係みたいなもんやで。 ほんで あれやけど もう も やめとって かなわ  
ん。{笑い}

260B：そりゃあ Aさんのまた 長 来るで。

261A：いや ほんなん も かなん。もう。

262B：ほんま ほら来るわ。

263A：じゅう##

264B：うん。

265A：やめたいなって 思っ て ## ## た。

266B：長が 来る前に みんな やめてまあるわんで。{笑い}

267A：{笑い} ほんまや ## ## もって ならばあつたら かなん もう。{笑い}

268B：かなん {笑い} ほんまや 息子みたいに。

269A：なかったことに。{笑い}

270B：なかったことにしてほしい ちょっと やめてほしい。 {笑い} いや ほんま  
たいへんよ。

271A：うん ねえ。

272B：○○○○さん ほんま まめっちゅうんかな。

273A：あそこのもう 孫さん 大きくなってまあたんか もう。

- 274B：今 あの一 ○○○ちゃんと 一緒の子が 下や。
- 275A：あー。
- 276B：まあ 中学校と 小学校と。
- 277A：あー ほうなんか ○○○さんどうなんや# な いえ#
- 278B：ほんでも 嫁さん 先生やで ご飯ごしらえしてやんねやで。
- 279A：ほうかー。
- 280B：うーん。
- 281A：ほりゃあ 大変や。
- 282B：ほて あの 一時半には もんでごんすで ほの時間は 絶対あかんしな
- 283A：ほりゃ ほうや。 ###はよーから
- 284B：孫ちゃん 迎えて。 ご飯ごしらえして。
- 285A：は一 ほー。
- 286B：んで 送ってくる 家の中してやんよ 今でも 薪で 風呂 焚かあんねやって。
- 287A：えー。
- 288B：旦那さんが。
- 289A：は一。
- 290B：あの こだわりで。
- 291A：ほれ あー ほら 寒い#
- 292B：ほで やあれんと 自分 また 薪で あの一 風呂も 焚かんなんし。
- 293A：ほー ということ。
- 294B：大変て # こだわりやて。
- 295A：ほんまや。
- 296B：ほんでな うちが こないだなー あの 役員会で ご飯を 炊いたので
- 297A：ああ。
- 298B：あの パックで 取って
- 299A：はあ。
- 300B：ご飯は 自分で 炊く 炊いたんよ 薪で。
- 301A：あーあーあーあー。
- 302B：んで ま 慣れてるで するわ言うて
- 303A：あー。
- 304B：ほたら 割れ木 持って来やあったらな
- 305A：うん。
- 306B：火付け用の薪と ほで よう 燃える 堅あー木と
- 307A：あー ああ。
- 308B：ほんで 先生やで お 旦那さんも
- 309A：好きちゃう。

310B：研究して この木は 堅いで よう燃える 真ん中 ほて はじめは やわこい木  
で

311A：あー。

312B：燃えつきのいい やおこい木で 始め 炊いて

313A：はあ。

314B：ほんで 今度 これ燃やしてって もう 研究## {笑い}

315A：#### {笑い}

316B：何が 何で どう 突っ込んでんのんと 違うんや。

317A：やどめに ごみが あったら 燃やすし こっちらなあ。

318B：ほうやって ほうやって。

319A：このへんなあ うん。

320B：で こないだ

321A：うん。

322B：うっかりな うちも 味噌炊きしたんや。

323A：うん。

324B：ほて あの あの ナイロンをな ひい うめたいでもて ちょぼっとやで ほた  
釜がな 磨こ 思たら つるつる。

325A：ああ ほんなことに ええ 影響が 出るんや。

326B：で 洗うてな。

327A：うーん。

328B：どうしたんやろう ぴかぴかの すすもないんやで。

329A：は一。

330B：ぴかぴかの なー あの 釜の裏や。

331A：は一。

332B：ほんで ちょっとぬる一っと したるんや

333A：うん。

334B：油まい 油したみたい

335A：うん。

336B：ほで あれ 化学繊維のようなの {笑い}

337A：{笑い}

338B：ビニール燃やした。

339A：あー。 すすが 付かんの はええけども。

340B：うん。 ほな ふわふわーとした すず でねーんよ もう こぺーっとな。

341A：あー。

342B：釜自体が ぴかぴかの 真っ黒け。 禿げ頭のなんか 光ったような。

343A：あー {笑い}

344B : {笑い}

345A : もう 味噌つぎ してもた。

346B : してきた

347A : ほうか うち 今度の 日曜日や。

348B : あ。

349A : うん。 日曜もね うちの お父さん あてにしてたらよ。

350B : あー。

351A : ○○○さん 行く # 言わあった ほらー まあ

352B : ほうや まだ たいさい やけ

353A : 奥さん 早起きして

354B : あのー 紋付。

355A : モーニング うちや

356B : もんちや

357A : モーニングやけど。

358B : ああ モーニン うん。

359A : うん。

360B : 言うてあった。

361A : うちや ほんとは 早起き おきして

362B : # # # # #

363A : ま 豆潰すのだけは てつどって《手伝って》もらわんとよ

364B : うん あの

365A : # # # で

366B : うち 買ったでなあ あの 一年近く 四升したんや 豆に。

367A : 四升ってまえやー。

368B : 娘 やらんので ほたら 一日がかり思て もう ほんぶごたつのとこで

369A : うん。

370B : もう一日がかりで ここでしようと思って 新聞

371A : あーあーあーあー。

372B : じゃーっと ひいてよ。 ほて あの プロセス型 前に 三十年前に 買うたの

373A : {笑い}

374B : あれ 出してきて。 ほたら 二時間で できた。

375A : おー。

376B : うん。

377A : これときら きれいに 潰れるわなあ。

378B : うん。

379A : なあ。

380B : ほんで 二升ずつ 分けて 豆

381A : うんうんうん。

382B : ほて 米麴も 塩も 半分ずつ して。 ほて 半分ずつ混ぜて

383A : うん。

384B : うん。上手に 出来たわ。

385A : あー。 ほうかほうか。 うち ほで あのー かつこでて ゆてたやろー

386B : うんうん。

387A : ほたら 隣の人もな 若い子なんや 今

388B : うん。

389A : 年寄り やあれんで

390B : うんうん。

391A : ほたら もう いらん さかい やろう ちゅうて くれやんて ちょうど。

392B : うん。 ほた

393A : ほんで ま 一つは もう ここへ 置いてもおうと 思うんやけど。

394B : あー うんうんうん。 良かったねえ。

395A : うちも ほんな いえー ほうよ おんなじような 形やでな。

396B : あー 良かった良かった。

397A : うん。

398B : あれ なんやら こうやって ## ややこしい あんま セッ セットしたこと  
ないで ここでは。

399A : あー 簡単な 部品なんやけど。

400B : うーん。

401A : うん ほんで ちょうど まあ ほんな ちょうどい 寄付して いうて いうて。

402B : あーほうか。

403A : 餅じゅう 一つと つけてくれやんたんや。

404B : うん。

405A : うん。 ####

406B : A さん 今度 説明したって ○○○○さんに やらんす

407A : ほんで てってーに

408B : 来るで。

409A : あの ○○○○さんは 来てくれやあるんやけど。

410B : ちょうど なー

411A : うん。

412B : あのー あえたるんよ あけとけ

413A : ほうか。

414B : 味噌づくり と 書いてあった。

415A：頼むで一 うん。

416B：うん。

417A：で ぶたじるを 豚汁'ぶたじる'っちゅわん まあ 豚汁って 去年 ゆわんすんや  
けど

418B：うん。

419A：やっぱ 味噌汁を 炊いて

420B：うんうんうん。

421A：こういう 美味しい味噌が

422B：ほうやな 味噌 うん。

423A：うーん。

424B：ほうやな。

425A：ほんと ちょっと なあ

426B：ほで なあ

427A：せわしないで。

428B：あの ○○○○さんの レシピ 見たらなあ 一キロの 豆に 一升の 塩って  
したってやろ。

429A：うん ああ。

430B：ちゃう あの い い 何合やて さん 一キロや。

431A：うん。

432B：ほたら あの 麴屋さんで 聞いたら。

433A：うん。

434B：あの一 八百五十グラムみたい。

435A：あー ほうか。

436B：うん うまいんやて。

437A：ほんで 豆 一キロやろー

438B：豆一 を 四 豆はなあ

439A：ああ

440B：五升 用意してたやけど

441A：うん。

442B：麴 五升持ってったら

443A：うん。

444B：豆は 四升に しな 言わあった ほーと 美味しいでって。

445A：ほで 麴は まあ 五升 やったら ほれ 増えるやろ もっと。

446B：増える 増える。

447A：ほして 豆は 四升でか。

448B：ほんでもな 麴屋さん 抜かあるんやと。

449A：あーあー。

450B：米を　それが　麴屋さんの　儲けんなる。

451A：あー　ほんでも　ほら　四と　五やはけに　ほら

452B：うんうん。

453A：麴は　多いわなー。

454B：ほうや。　多い多い。　多い多い。

455A：うーん。

456B：ほて　塩も八百五十グラム。

457A：あー　ほうか。

458B：うん　うん　ほで　前に　お

459A：は　は

460B：ほた　姉ちゃんらは　あの一　農協で　してやんすのは

461A：うん。

462B：うーんと　さんじょうに　五升の麴　やって　豆　さんじょう

463A：ほーりや　美味しいわな。

464B：ごてごてや。

465A：うん。

466B：ほて　塩も　もっと　控えやんねん。

467A：ほれで　もつん　ほの　いち

468B：もつんやて。

469A：ほうか。

470B：ほでな　あれやで　もう　梅雨前に　なったらなー　冷蔵庫へ　入れてまんす。　小  
分けして

471A：あー　なるほど　ほーやろなー。

472B：おお###

473A：うん。

474B：うーん。

475A：ほうえ　なんな　ちょっと　なあ

476B：うーん。

477A：不安　あんまり

478B：うーん。

479A：薄いのも　不安なんよ。

480B：うちも　父さん　五パーセントが　ええか　四パーセントが　ええかって　聞かあ  
ったんや

481A：うーん。

482B：ほたら　あの　ごてごての　麴は　嫌や　ゆわあったで。



- 483A : うん。
- 484B : 五パーセント 言わあったら 八百五十や。
- 485A : あーほうか。
- 486B : て 言わあったわ。
- 487A : ほんでも ○○さん やっぱ○○○○さんの
- 488B : あーそうそう。
- 489A : レシピで しゃんすんやと思うんやけど。
- 490B : うん ほて 美味しいし。
- 491A : うん。
- 492B : # # # # #
- 493A : ちょっと ほら 塩辛いけど。
- 494B : ちょっと 塩辛い。
- 495A : うーん けど まあ ほら 味噌汁するときに
- 496B : うーん。
- 497A : 控えたらええんやで。
- 498B : うーん うんうん。
- 499A : うーん どっちが # # #
- 500B : あれで ええほう 今まで通りで いこ
- 501A : ええやんな # いうて ○○○○さんなあ
- 502B : うん。
- 503A : 急に ころっと 変えてまうねんもんな。
- 504B : ほうや 悪い悪い。
- 505A : 悪いもんなー。
- 506B : ちなー ほんで ほの○○○○さんの 探さなんだんや
- 507A : うん。
- 508B : ほて 仕上がった麴 ちょっと 舐ってみたん 塩を
- 509A : ほう あー。
- 510B : あの一 味噌を。
- 511A : うん
- 512B : しょっ辛いんよ。
- 513A : うーん。
- 514B : すたてやでかしらん うわー どうしようと思ってよ。ほで一
- 515A : 馴染んでいくんやろうけどー。
- 516B : う うーん。 ほで一
- 517A : ね 発酵して
- 518B : ○○○○さんの レシピ探したら 一升に一キロと したったで うん まだ少な

いほうやで こんで一。

519A : うん。

520B : うん。

521A : ほれがねー いま 今は 塩はいとか 言わるわね。

522B : うん ほやな。

523A : 作ったときは うん。

524B : ほで 麴やら 吸いよるで

525A : うん ほてー な。

526B : うん。

527A : 発酵していくと

528B : うん ほやな。

529A : まろやかになる。

530B : ほんでも 安心したよ。 しもたーと

531A : ほうや。

532B : 思ってな。

533A : ほんで

534B : 四升も

535A : 味噌ってな。

536B : うん。

537A : あの 開けてみるまでがなー。

538B : ほんま ほんま。

539A : ほのときでは あかんね 味見したかて

540B : ほて やっぱええ塩 つこたんよ あの 伯方

541A : やっぱ 伯方のあれ。

542B : うんうんうん。

543A : 私も 今日 かえ 帰りに こうてこうと

544B : {笑い}

545A : 思いよう。 {笑い}

546B : 麴屋さんは 味噌屋さんは ほなもん 塩 関係ないで 言わあんねやけど。

547A : うーん。

548B : いやー。

549A : うちも ほで れいぶつうのやったんや ほれもー。

550B : うーん。 食塩ちゅうの こうてたや。

551A : んで ○○○○さん はて

552B : うん。

553A : これを 使わな あかんでって 言わあつたで一。

- 554B：うーん。
- 555A：去年から ほれに したんやけど。
- 556B：ほやな やっぱ うまいもんな。
- 557A：ね うん。
- 558B：うん。
- 559A：まあ
- 560B：漬けもんも ほんで 塩が だけの あの 調味料やで 「ええの使えない」て
- 561A：うん。
- 562B：教えてくれやあったしな。
- 563A：あたしも んで ほれよ ほんで
- 564B：うん。
- 565A：たくわんとかも どーんと あの
- 566B：うん。
- 567A：保存食で
- 568B：うん。
- 569A：あの一 なに 炊いて 食べる ぜいたく煮用の たくわんは もう
- 570B：うん。
- 571A：普通の塩。
- 572B：塩 おーおーおー。
- 573A：つこうてるんやけど うん あの
- 574B：ちょっと
- 575A：白菜とかな。
- 576B：うん。 ああいうのは
- 577A：うん。 ああいうのは ちょっと 伯方の塩に。 {笑い}
- 578B：{笑い} ほで Aさんも あれやで あの一 あめの できるやろ 豆の
- 579A：うーんうん。 あれ
- 580B：汁。
- 581A：うん 固さ どんなくらいにした↑
- 582B：ほんでな 耳 耳たぶよりな
- 583A：うん。
- 584B：ちょっと やおこうした うちは。
- 585A：あ やわらこした。
- 586B：うん。父さん
- 587A：あー そうか。
- 588B：固いと 発酵が しにくい知れんて ゆわあって
- 589A：うん。 ほったらなー あの一 本やら 読むとよ ほの 味噌玉を 作って

590B : うん。

591A : 投げつけるんやって。

592B : うんうん。

593A : ほて 空気をつて。

594B : うんうん。

595A : けど うちの 場合は ぽとぽとぽとっと 落ちるわねー。

596B : うんうん。

597A : ほで 投げつける よなことできんしよ。

598B : うーん。

599A : うん。 ほんで 空気が 入らんわな うちの 場合 いわんで

600B : ほうや。

601A : ねえ。 ほであれば ほとんど あめが 少ない人なんやろうねー。

602B : ほんで 昔は一 桶やろー

603A : うんうん。

604B : ナイロンがないし ほんであのー 麴 入れる 前までに あのー 味噌のな 固いの。

605A : うん。

606B : 味噌だけを ちゃう 豆 豆だけを 潰したのを こう 塗り付けやあってんやわ 土壁みたいに。

607A : はー。

608B : ほの 底の この ここに。

609A : はー。

610B : ほて ほやけど あのー 樽やさかい 隙間が あるわな。

611A : うん。

612B : ほで こう 投げつけやあったんちがうかと

613A : うーん。

614B : 今はもう ポリにナイロン

615A : うんうんうん。

616B : してもうてよ。ほで 空気抜きて 書いてあったで うちも ほんで 上から こやって 押さえた。

617A : あー ほうか。

618B : うん。

619A : ほで 塩座布団したんや。

620B : あー ほて 塩座布団した 一日置いといて

621A : あー。

622B : て ラップして

- 623A : うんうんうん。
- 624B : ナイロンをこう折って
- 625A : あ
- 626B : ほて
- 627A : でも
- 628B : 塩ざぶ
- 629A : あー #か
- 630B : 塩はった かなわんで。 うーん。 {笑い}
- 631A : ほうか もうしてまったんやな。
- 632B : うん。
- 633A : {笑い} うち
- 634B : 楽 楽なかったんや。 て 初めてな 前に いっぺん これでした 覚えがあん  
ねやわ。
- 635A : あー。
- 636B : これ 見た後に。
- 637A : あー ほうかほか。
- 638B : うーん。
- 639A : うちも ほうや もう 今 家のやけど ここで うち ほんまに 説明 く ち  
ゆうたかて まあ ほんなには なあわな 説明 ###
- 640B : うん
- 641A : 責任者みたいに 言うて 言うてくれやんすんやけど
- 642B : うーん。 許したって
- 643A : そのうち わかなんで ほんまに。
- 644B : 始めは なあ まあ 説明 こうやって 作らあったんやいうことから。
- 645A : うーん。
- 646B : 炊いた。
- 647A : うーん。
- 648B : つけて 炊いて こやって するんやて。
- 649A : たのんます。
- 650B : ほて
- 651A : ほんで 八時半くらい
- 652B : ○○○さんと ○○○さん#。
- 653A : 八時半くらいに 来て。
- 654B : うん 八時半な うん 炊くのからやでな。
- 655A : 柔らかさ ほんで みて ほれも な。
- 656B : うん。 見る見る。 うんうん。

657A：たのむわ。{笑い}

658B：これより ちょっと ちょっと やおこいくらいやな。

659A：ほうやったか。

660B：うん。 生活改善センターらで しもてたの 固いんよ。

661A：固かった うん。

662B：持っても 来てくれやあっても。

663A：ほうや。 かた ほど

664B：#めー

665A：もらいに行くときにな。

666B：うん。

667A：麴が もう一つ 吸うとるでな。

668B：あー。

669A：もひとつ 固かった。

670B：あー そうやな 吸うとるな。

671A：出来立てよりか まだな。 ぽやった。

672B：ほて あめ 残ったのな うちも 編みもんにつて おばさんに 教えてもうて  
前はな あめ

673A：うん。

674B：自分とこで 残ったら すぐ 糠漬けの

675A：あー。

676B：糠どこ 作ってもうたら かびるやろ。

677A：ほうやね。

678B：あの一 漬けるまでに。

679A：うん。

680B：ほたら ほの ほれを ラップのな いくつものに小分けしてー 冷凍してまう。

681A：あー。

682B：あめを。

683A：ジップロックで ああいうのか あー。

684B：うん。ほど 賢いうち ほんで 冷凍したんや。

685A：あー。

686B：ようけも 残らなんだけど。

687A：あれ 美味しい 言わるわな。

688B：うー 全然違う。 まろやかな。

689A：あー 冷凍か。

690B：うん 冷凍。

691A：なるほど ふーん。

- 692B : みんな 賢い いろいろ 教えてくれやある。{笑い}
- 693A : ほんまやなー。 {笑い}
- 694B : {笑い} ほんまほんま。
- 695A : ほうや。
- 696B : うん。
- 697A : うん。 ほて あめやらな あのー あのー 洗う時でも お母さん ほんな ほええ加減なところへ 流したらあかんとか 言わあった。
- 698B : うんうん。
- 699A : 洗いもん するときでもなー。
- 700B : うん。
- 701A : あの そや もう
- 702B : うちらー
- 703A : 片づけるときに
- 704B : A さん してもらえなんだが しらんけど あめでなー あの シャンプーってなかったやろ うちの小さいとき。
- 705A : あー。
- 706B : 味噌の あめで 頭やでー 一年にいつぺん あのー
- 707A : ほのときー↑。
- 708B : ほのとき。
- 709A : ほう。
- 710B : く#も できたら すぐ 頭洗い。
- 711A : えー。
- 712B : シャンプー代わり。
- 713A : 泡は 出んわなー。
- 714B : 泡は でーへんけどなー。
- 715A : うん。
- 716B : なんか こう 髪の毛の質が 良うなる。
- 717A : なんか それ タンパク質 が なんか こう
- 718B : {笑い}
- 719A : 入ってく 感じでー。
- 720B : ほんでもう 味噌つき《味噌作り》のあとは もう すき焼きやら まめ ちらし寿司で みんな し っ て とってくれやった。 人 呼んだあとは
- 721A : あー。
- 722B : 夜 頭 洗う。 {笑い}
- 723A : {笑い}
- 724B : きまったった。

725A : ほんまー 初めて聞くわ。 {笑い}

726B : ほか 前 東学区の人に 聞いたら ほんなもん 知らんって 言われ。

727A : ほやろ うーん。

728B : ほらほらで 栄養が。

729A : でも ほら 体 ちゃ 悪ないやろうけどー。

730B : うーん。

731A : うん。

732B : この 髪 の 質 が 良うなる 言うて してくれやんた。

733A : ほんな感じやなー ほら。

734B : {笑い}

735A : えー。 {笑い}

736B : ほんで みんな どうする 言わんで 糠どこ するんや 言うたら

737A : うーん。

738B : ほれも ええ みんな 良かったんゆて

739A : ほうやね。

740B : 教えてもらいたいゆて。

741A : うーん。

742B : あんた しとり《一人》 知ってやって ほの 旬まで 冷凍しとくんやで って言  
わあってん。

743A : あー。

744B : あ ほれも 勉強や。 {笑い}

745A : ほりや ほうや ほや 今してまわんと も うまあこと 盛りが できんとねー。

746B : うん。 ほうや。

747A : うん。

748B : 必ず 上 かびたる。

749A : ほうやろな。

750B : ちょっと 塩

751A : うん。

752B : 効かしといてもね。

753A : うーん。

754B : うーん。

755A : うーん。冷凍か 冷凍庫も 結構 でっかいのがいるね。 {笑い}

756B : いるいるいる。 うん いるで。

757A : 糠 入れんならんで。

758B : おー {笑い} 餅も い はったるしな《入っているしね》。 {笑い}

759A : {笑い} ほうやで ほうや ほーんまや。



760B：山椒が 入ったるしな。

761A：あるある。

762B：あー。

763A：ほうやって う

764B：うん。

765A：姉と 言ってんねん ほんま もう あれ 食べてまわなあかんで もうじき ま  
た 山椒が 出るほ

766B：ほうやほうや。 {笑い}

767A：##てる# ほうよ。

768B：山椒の葉あ。

769A：うん。

770B：ほんまや。

771A：{笑い}

772B：高級やのにねえ。

773A：そうや ほか あの一 姉とな一 道の駅やら 行くの 好きやでな一。

774B：あーあー。

775A：春先 な一 おい こんなけで 山椒

776B：おー。

777A：高いとか言って

778B：高いろ。

779A：ほん ねー うちらも持ってきたら 高う 売れるねえ ちゅって。{笑い}

780B：{笑い}

781A：ほんなこた一せんけどよ。

782B：ほんまや 花山椒なんか ちょぼっとやもんね。

783A：ほーよ あなもん 炊いたらしょぼしょぼやんな一。

784B：うーん。しょぼしょぼや。

785A：うん。

786B：ほんまや。

787A：田舎は ほんで 言うてるんや 姉と 豊かやねえちゅうてんよ。 もう

788B：{笑い}

789A：だだくさにしてるけどー だ ねえ 当たり前

790B：ほんまや一。

791A：ほうよ。

792B：ほうやー 野菜も ただみたいにな 使こうて。

793A：ほうや。 大根も もう 食べきれんわ。

794B：うん 食べきれ。ん

795A : また 穴掘って 埋めんならん。{笑い}

796B : # てて ちょっと 半分 しなびたの 捨ててるもんな。

797A : ほうか ほうやほうや。{笑い}

798B : {笑い}

799A : うち 嫁入りしてきてな一。

800B : うん。

801A : 初めて 味噌汁をな一

802B : うん。

803A : 今日は かぶらの おつゆ 炊いとくれ ゆわあつてよ。

804B : うーんうん。

805A : かぶらのおつゆ ほんなら 葉っぱ 捨てたんよ。

806B : あ

807A : ほた 「なにさんすいね」って お義母さんに。{笑い}

808B : {笑い} 怒られた。

809A : うん. こんなもん いっぺいあるのにと 思ったけど。

810B : うんうんうん。

811A : うん ほのかわり

812B : うん。

813A : あの 冬な

814B : うん。

815A : あのー にん 人は あの 冬 さ のくとう あの するために く きばって  
るんやで

816B : あ あ。

817A : ほんで のくとうさん って言って ストーブをな一

818B : あ一。

819A : 足元へ 持ってきてくれやあつたんや。

820B : うん。

821A : ほやて しゃあなーけど かぶらの葉っぱ 捨てたのは

822B : あ一。

823A : 何 さんすいね {笑い} って 言わあつた。

824B : ほで もったいない 大事にするとこと一。

825A : ほうなんや。

826B : ほて ほやて一 体のために 冬

827A : ほ一よ。

828B : すごい お義母さん 賢い お義母さんやったな。

829A : うち## ほてかて な一 ようけ 葉っぱ い

- 830B：何もかもが けちんぼやったら 冬よ。
- 831A：ほーやって うち ほで
- 832B：ストーブも ほなもん
- 833A：ええとこへ もろてもろた 思うた。
- 834B：ほう。
- 835A：うちも 寒がりやったでな一。
- 836B：ほんまや一。
- 837A：うん。
- 838B：すごい。
- 839A：ストーブ おじいさんがな 足元へ 持って来て くだあった かつてもと《台所》。
- 840B：ほうかて 何もかも だだくさに せんように 言わあったんやな一。
- 841A：ほうなんよ。ほうよ。
- 842B：すごい 賢けえな一。
- 843A：か かぶらの葉っぱを ええ
- 844B：{笑い}
- 845A：何で こんなんも 怒らあるん いくらでもあるのにと
- 846B：おーおー。
- 847A：思ったけどな一。
- 848B：おー。
- 849A：ほれは 言わあった。
- 850B：あーん 賢い お義母さんやと思うわ。
- 851A：いや 賢い。{笑い}
- 852B：{笑い} いや ほんま。
- 853A：いや ほんま。{笑い}
- 854B：使い分けがな。
- 855A：さっきの 男が 賑やかになりましてとか みな 一から 教えてくだあったで。
- 856B：{笑い}
- 857A：{笑い}
- 858B：あ あ ほうか。
- 859A：こやして 今日 言うんやほん ちゅうて あの
- 860B：あ。
- 861A：嫁入りに 行くな。
- 862B：あ。
- 863A：うちは あの 新屋と 母屋やで
- 864B：うん。
- 865A：お義母さんも 行かあるけど うちも

866B : あ

867A : 新屋として

868B : あーあーあー。

869A : 行かんなんやろ。

870B : うんうんうん。

871A : ほた 挨拶はこうするんやで てな一。

872B : あ 男の人 場合は 男。

873A : うん。 おと うん。 男が うち ほんで 男がて ほら ほんま

874B : ##### 思ってた。 ほー ほうか。

875A : 男ばしりやろ ほんまは。

876B : うん ほりゃあ 挨拶には ほうやろ。

877A : ねえ とことこ。

878B : ほれも 入ったるやろうけど ほでも 挨拶は ほれやろ。

879A : ## お義母さんとしてくだあった。 男##

880B : うーん ほやな。

881A : {笑い}

882B : {笑い} ほやな。

883A : ほんまやわ。

884B : でもな。 ほんまやー なーやけど 教えてもろうて いこ なってって

885A : ほうや。

886B : ほで 教えん側に 側になってもって。

887A : {笑い}

888B : {笑い}

889A : 教えられんやろ ほんでも 言えんやろ。

890B : あー ほうやな

891A : うん 姉やらも 言うてやんす。

892B : おー。

893A : もう 何にも 言わんでー ちゅうてやんす。

894B : おう おう ほうや ほんだら 聞かんすことは ほの 挨拶は なあ 自分が  
やっぱ 失敗すつとかな 思ってたな。

895A : ああ ほうか あっちから 聞かんすか ##。

896B : 聞かんすんよ。 息子も 聞かんすんよ。 {笑い}

897A : {笑い} ほうや。

898B : あとはなー。

899A : うーん。

900B : ## 何にも うーん。 {笑い}

- 901A : やっぱな 昔の人は 上手に 挨拶さあるもん。
- 902B : うん さある。
- 903A : ほん ほの場 ほの場で なあ。
- 904B : ○○○さんが ほで 丁寧な まだ
- 905A : あー ほうか。
- 906B : あそこ まだなー あの 嫁入りしてやんす うちに いとこの子 おる あの  
おやさんにも 言ったけど あの 自分の弟にも もんで来て も 両手ついてな  
あ
- 907A : あ。
- 908B : 「おにいさん ご機嫌よろしゅうございます」から はじめやんすで。
- 909A : あれ ほんまー。
- 910B : うーん {笑い} ○○○○ いっと ## 行ってやんす ○○○ちゃんのな
- 911A : うーん。
- 912B : ほんま 正座して 両手ついてな 「おにいさん ご機嫌よろしゅうございます」っ  
て。
- 913A : あれ ほうか。うちら
- 914B : ぶ 武家時代から
- 915A : 姉さん いつも すんませーんって うちらほんだけで ええんやで。{笑い}
- 916B : おー。{笑い}
- 917A : うちもね うちら ほんまに 姉さんが年上なんや。
- 918B : おう。
- 919A : で 姉さんて言うんやけど。
- 920B : あ一言える##。
- 921A : あっちは あっちも うちのこと 姉さんっていうてなあ。
- 922B : あーあー。言うて あー。
- 923A : ほんま 「いつも すんません」程度やけど
- 924B : うーん うん。
- 925A : なんか ご機嫌。{笑い}
- 926B : ご機嫌よろしゅうございますか。{笑い}
- 927A : まあ しょっちゅう 行ってるさかいに ご機嫌よろしゅうも ないんやけど ほ  
うか。
- 928B : うん。 もう
- 929A : なんか ほんな あれやんなー。
- 930B : ほんま ほんま 丁寧。
- 931A : やっぱねー な お年寄りの人が 厳しかったんか やっぱ ほういうことには  
ねえ。

932B : ほうやなー。

933A : ねえ。

934B : うん もう ほうや ○○○○ ほて 特に 挨拶が 仕方が

935A : ほうか。

936B : かどぐちで あのー ごめんくださいって かどぐちで

937A : あ あのー 年寄りの人 かどぐちでなー。

938B : ほうやて。

939A : あの 敷居に

940B : うんうん。

941A : もう ほん

942B : ほうやて。

943A : ## 入っとくないーって

944B : うん。

945A : 言うんやけど

946B : うん。

947A : ほゆ人 いやるなー まだ。

948B : ほれが ○○○○ 多かって

949A : あー。

950B : 嫁 に ござった人 びっくりしやあったんや。

951A : ほうやなー。

952B : 嫌や こんな部落 言うて {笑い}

953A : {笑い}

954B : 何時代やって {笑い}

955A : {笑い} ほんまや ほうや ほんと ###とき やあるけどー。

956B : うん。

957A : ほんなん もう 汚れてまうさかい 入ってーてゆってー

958B : うーん。

959A : 言うけどな。

960B : ほて ふしん でも 道端に みんな 一服してあっと 女の人 通れん 言うて  
なー。

961A : うん。

962B : ほて も 草履 脱いでなー 前を すいませんって こうやって はいろー。{笑  
い}

963A : {笑い}

964B : うちの きた あのー こー いき おー

965A : ほうかー。

- 966B : 住んだ 時分。
- 967A : あー。
- 968B : {笑い}
- 969A : ほれは なかったなー。
- 970B : おー。
- 971A : ほうか。
- 972B : すごいもの そんな
- 973A : ほうな。
- 974B : とこ 男の人のねー。
- 975A : ほー。
- 976B : {笑い}
- 977A : {笑い} 草履 脱がんなんてか。
- 978B : うん。
- 979A : うーん。
- 980B : ○○○ちゃんとか ほんで うたしも《歌敷も》 丁寧な方やったんやろなー。 挨拶も おかあさんの挨拶 かなんって言わあって
- 981A : あー。
- 982B : あの一 おにいさんの嫁さん が もー せんの。
- 983A : あー ほうかほうか。
- 984B : ## あ よう 来てなって 旦那の家でも
- 985A : ほうや ほうやな。
- 986B : あわさんと あのおかあさんと 付き合っていていかなとか。
- 987A : ほら ほうやほうや。
- 988B : {笑い}
- 989A : いや ほて 今の子 ほな ほれもないでー ほんまに一 うん
- 990B : おうおうおう。 うん。
- 991A : なあ もうちょっと あの一 なあ よ 呼ばれて来たんならよ 「今日は ありがとう すいません」くらい
- 992B : うんうんうんうん。
- 993A : 言わんすとやけどなー 黙って ちゅちゅちゅっと上がって
- 994B : {笑い}
- 995A : はよ 座って こたつ入ってやんすがな つーと。
- 996B : {笑い}
- 997A : ねえ ほんまに。
- 998B : ほんまや。
- 999A : うん。

1000B：なあ。

1001A：ほら ほで こんなん 挨拶せんなら と 思わんすだけでも す（+ご） ええ  
やん。

1002B：ほうやな ほやな。

1003A：うん。 ねえ。

1004B：うん。 でも ちょっとは 嫁さんも してもらわんとねー。

1005A：ほうや。

1006B：なんか ねえ。

1007A：ほうやて うん。

1008B：お茶 くんでやんたでねー ほんまや。

1009A：ほうか。{笑い}

1010B：{笑い}

1011A：いろいろ ある。 この間もな あのー 姉とな

1012B：うん。

1013A：うちは一 あの子がな 蟹が 好きや ほで 一年に一回はな一

1014B：〇〇〇〇の姉ちゃん

1015A：ちゃう あの もう一人の 真ん中

1016B：〇〇〇〇の姉

1017A：うん。

1018B：うー うん。

1019A：で 越前へ 蟹を 食べに 行くんや。

1020B：おーおー。

1021A：で 姉と うちら夫婦とな。

1022B：おー。

1023A：ほたら あのー 迎えに 来たんや 朝。

1024B：お うん。

1025A：ほたら かい《鍵》 閉めやんすんや。

1026B：うん。

1027A：あれ 「おまえ 若い子は いな」

1028B：うーん。

1029A：言うたら もう どっかへ 出てもたんやて これも。

1030B：うん。

1031A：息子も 息子やけど。

1032B：うん。

1033A：嫁も 何にも 言わんねや。

1034B：あー。



- 1035A : どこで
- 1036B : うー 行き先も。
- 1037A : おか 私も 今日は 出かけるで かまへんねやけども。
- 1038B : うんうん。
- 1039A : おかあさん 私らも こうやって
- 1040B : うんうん。
- 1041A : ここ 行くさかいに
- 1042B : うん。
- 1043A : て い あの て ちょっと 言うてくれたら 堪能するのに。
- 1044B : そうそうそうそうそうそう。
- 1045A : 何にも言わんねや」ちゅーてよ。
- 1046B : {笑い}
- 1047A : ほで ほりやあ まあ 携帯が 今 あるさかい。
- 1048B : うんうん。
- 1049A : 何かごとに 連絡つくけど 昔やったらなー。
- 1050B : うん。
- 1051A : あの一 ない。
- 1052B : なーい。
- 1053A : うん。 息子さんに 連絡しとくない 言わったときに どこ行ってるんや わからんねや。
- 1054B : ほやほや。
- 1055A : ちゅうようなことは みつともないがー。
- 1056B : ほやーほやー。
- 1057A : ほんなんもん 許されんことやけど なんで 今の子は 言葉 一つ 足らん。
- 1058B : ほうやねー。
- 1059A : ほうよ。
- 1060B : ほうや。 ちょっと 言うてかんすと
- 1061A : ほうよ。 ほで ほれを 早くも 車に 乗るなり 姉が こぼんすんや。{笑い}
- 1062B : {笑い} そら 聞いてもらわんなおもて。
- 1063A : ほうよ。{笑い}
- 1064B : 昔は 親さんが
- 1065A : ほうかほうか 言うて
- 1066B : お伺いしてから
- 1067A : ねえ ほうよ どか お互いに 出るし 私も なんも なんや また 行くんかい と ほんなこと 絶対。言わへんのに一。
- 1068B : ほうやほうや。 ほうやほうやほうや。

- 1069A：ほうや で ああ ほうなんか ほな 気一つけて 行かあり  
1070B：気一つ あー  
1071A：くらいしか 言わんのに。  
1072B：うん。  
1073A：何で あれが 言えんやろ ちゅうてな  
1074B：ほうやー。  
1075A：思わんすんや。  
1076B：ほう 携帯が あるでやろか。  
1077A：あー。  
1078B：いつでも 連絡できる おも  
1079A：息子も 息子や 言うて。  
1080B：ほでも あれやで一 ○○○○もやで一。 あの 二泊三日で 行かんやけど  
け あの 出てもてから 携帯で {笑い}  
1081A：{笑い}  
1082B：行くねんて {笑い} かけやんす。 けど 行く前に 言わあれん {笑い}  
1083A：ほんまやねー ほんと 納得するのに一。  
1084B：うーん。  
1085A：ほうやて ###でなー。  
1086B：ほんまやね 時代の流れで  
1087A：ほんで ほんなんやでな。 こて こっちは かえって 気いつかうんやしなー  
1088B：うん。 なー。  
1089A：ほうやって。  
1090B：うちらも ほんで 気楽に なあ。  
1091A：ほうなんや。  
1092B：うん。  
1093A：ほん。  
1094B：{笑い}  
1095A：ほんで ○○○○さんから聞いた↑。 なんか○○さんの  
1096B：うんうん。  
1097A：ほんで もー 男の人ちゅうて言う と なかなかやで一。  
1098B：あー な やっぱり。  
1099A：女だけで  
1100B：うんうん。  
1101A：送別会ちゅうか  
1102B：うん 謝恩な  
1103A：食事会を ちゅうて。

- 1104B：うんうん。 ほうしょ。 しょ。
- 1105A：ちょっと 何か 思いついて。{笑い}
- 1106B：ほんまや。 何か 花束か 花。
- 1107A：花な一。
- 1108B：何か 残るもん。
- 1109A：ちょっとして
- 1110B：うん。 して。 うん。
- 1111A：なんか ほんでも 『〇〇〇の会』として
- 1112B：うんうん。
- 1113A：会員としては また
- 1114B：うん。
- 1115A：参加してくれやんすらしいけど
- 1116B：うんうんうんうん。
- 1117A：で もう あの人 会長したらええし {笑い}
- 1118B：{笑い} うんうんうんうん。
- 1119A：会長に 万年会長に 備えて
- 1120B：うん {笑い} なんか 男の人は やっぱ 言う 〇〇〇さん
- 1121A：いや 言うても いいんだけど まだ一
- 1122B：うーん あの 〇〇〇さんから どうやろって言わあれんか。
- 1123A：あの人 全然 言わあれんな一。
- 1124B：あー うんうんうん。 ほんなら うん。 女性だけでいいな。
- 1125A：ま で 二十三日の今度の
- 1126B：うん。
- 1127A：歴史講座で 一回
- 1128B：うんうん。
- 1129A：ほりゃあ しょうって 言わあったら ほら
- 1130B：うん。
- 1131A：せんならんし一。
- 1132B：うち ほの日 ごめん 来られへん。
- 1133A：あ ほなんか
- 1134B：うん きられん。
- 1135A：一回 あれで 言うてみて。
- 1136B：うんうんうん。
- 1137A：うん で ほなもんまあ て 言わあったら 女だけで一
- 1138B：女だけで。 ほやな。
- 1139A：ね。

1140B：もう あれせんと。

1141A：ね。

1142B：うん ほうしょ ほか ○○○○さんら また どうたら 言わあんと。

1143A：ほうや。{笑い}

1144B：#####

1145A：かなんね。

1146B：うん。 で

1147A：うん 雰囲気は わるなると かなわん。

1148B：うんうん。 かなんかなん。 ほうや。 どうかして ほんでも 若い人が 入って  
くれやあるような 感(+じ)やねえ。

1149A：もう 決まったんか。

1150B：いや わからんけど。

1151A：うん。

1152B：募集してやあるなー。 今 卒業さんすー子ー ##

1153A：ほうやな。

1154B：募集##

1155A：ほて ほんの子らも 一から 勉強してもらわんなんでー。

1156B：うーん。

1157A：ほら ○○さんほどの あんなんは できんわなー。

1158B：できんな。 うん。 ほんまやー どうなるんやろ わからんな ちょっと。

1159A：わからん。 いや ほんで ほらな 指定管理者ちゅうのも。

1160B：うん。

1161A：避けたいけど。

1162B：うん。

1163A：ほら 人 ここの 職員さんに よって うちらもなー。

1164B：うん。

1165A：なんか 熱の 入れようが #####ねえ。

1166B：ほうや ちが こーんや。

1167A：変わってくるでー。

1168B：おやおやおやおや。 ○○○○さん やで かわらんところ と思うけど。

1169A：ねえ。

1170B：あと わからんもんな。

1171A：ねえ なんか んなもう ○○○○のほうから 来やあった人やったらねー。{笑い}

1172B：うーん。

1173A：もう

- 1174B：ほんまや一。
- 1175A：＃一ん。
- 1176B：う一ん。
- 1177A：かなわん。
- 1178B：なー。
- 1179A：どうなるかわからんで　ほんま　ここな。
- 1180B：なあ　ほんまや　どう　変わってく　わからん　うちらも　いつ　ぼけてまうわかんし。{笑い}
- 1181A：{笑い}
- 1182B：頭が
- 1183A：わーからん　ほんまに。　ほや　昨日も　〇〇〇〇へな
- 1184B：うん。
- 1185A：あの一　味噌つきせんなんで　割り木をなー
- 1186B：うん。
- 1187A：ちょっと　やっぱ　しっかりした
- 1188B：あーあーあー。
- 1189A：割り木　欲しいで　で　もらいに　まあ　はようから　頼んどいたんやけど。
- 1190B：うん。
- 1191A：で　き　あの　〇〇〇さんで　一合　買うて
- 1192B：うん。
- 1193A：ほて　ほれを　まあ　これが　交換で
- 1194B：うんうん。
- 1195A：ちょうだい　ちゅうて。
- 1196B：うん。　ほ
- 1197A：でも　雨が　降ったで　まあ　よう　もろうて　帰って来なんだんやけど。
- 1198B：うんうん。
- 1199A：ほたら　母が　あれ　これ　お前　こんな　高いもん　持ってきてくれたんかいね　一ちゅうて
- 1200B：うんうんうん。　うん。
- 1201A：ほうら　ええ　立派なので　ゆうてやんた。
- 1202B：うん。
- 1203A：ほて　ほ＃　おかんた　と思うて
- 1204B：うん。
- 1205A：ほて　ふと　また見て
- 1206B：うん。
- 1207A：誰が　くれやあったんやろ　こんなええの

1208B：あ あーあーあー。

1209A：今 言うた。{笑い}

1210B：{笑い}

1211A：もう

1212B：〇〇〇〇さんは わかあんねやろ。

1213A：わかあんねん。 ほれは わかあんねやー

1214B：ほりゃあ よかったやんー。

1215A：みなさん あのー

1216B：ほー。

1217A：子供は 見分けられるんやで。

1218B：ほー うら##

1219A：うん。

1220B：まだ 大丈夫や。

1221A：てか あのー もう 今の 新しいのは もう 全然 頭に 入ってかんねやな

1222B：あ ああ

1223A：うん。

1224B：ほれは もう 上等や。

1225A：まあな。

1226B：なあ。

1227A：うーん。

1228B：ほな もう 自分の 我が子もよ。

1229A：ほうや。 ほれはないんやて。

1230B：ほら わたし おまんみたいなもん 生んでませーんて {笑い} 言わるおかあさんが やあると 情けねえって。

1231A：{笑い} やねやね。 ほうや。

1232B：うーんうーん。

1233A：ほうや。 ほれはな んで ぼ 認知症ちゅうか まあ

1234B：まだ

1235A：老化や。

1236B：うん。

1237A：老化現象や。

1238B：ほらほうや もう 九十 超えてやんねやろ。

1239A：超えてるんや。 うーん。

1240B：そうやそうや。

1241A：ほうや。 これ 誰が くれやあったんやろ こんな うちやろ 今 {笑い}

1242B：{笑い} 今 持ってたばっかやろて。

- 1243A：うちが 持ってたやろ 言うて。
- 1244B：〇〇〇〇先生も 昨日 行ってきたんや。
- 1245A：うーん。
- 1246B：ほだー しっかりしてやあったけど ちょっと ぼけかけ
- 1247A：あー ほうか。
- 1248B：あー しっかりは してあるけどな。 もう あのー 九十六
- 1249A：もう でも いまだ 整理やら 行ってやろ 姉ちゃん。
- 1250B：あ
- 1251A：{笑い} いろんなもん 整理に 行ってやあんの。
- 1252B：うん。 整理っていうか もうな 整理はないんよ もう。
- 1253A：うーん。
- 1254B：あの ご飯 一緒に 食べる ほんいき《雰囲気》
- 1255A：あー ###やろか。
- 1256B：ほんで 掃除して
- 1257A：うーん。
- 1258B：掃除が だーれも できんで ヘルパーさんは やっぱー ご飯 ごしらせだけや。
- 1259A：あー 時間が ちゃんと決まったるでなあ。
- 1260B：一日 #ん さん 三時間 はい さん 三回 入ってやるわ 帳面見ると。
- 1261A：ほー。
- 1262B：ほで もう 掃除機かけて あの 拭き掃除して ずーっと 座敷から
- 1263A：うーんうんうん。
- 1264B：ほて 先生の部屋も 掃除して ほて もう 家から みな 茶碗やら もう み  
な 持ってってよ ご飯。
- 1265A：うんうんうん。
- 1266B：先生とこの わからんし めちゃくちゃ。
- 1267A：{笑い} いくらでも あるやろに。
- 1268B：{笑い}
- 1269A：あー ほて 話し相手にか
- 1270B：ほて 二時間ほど 三時間もか ご飯 食べながらしゃべって
- 1271A：うん。
- 1272B：ほんと くたびれやあるで 先生も。
- 1273A：うーん。
- 1274B：九十六や 言ってやったて あともう 疲れた 寝るわ ないわ と もんでくる。
- 1275A：あーあー。
- 1276B：ほで もう 昨日も 三時頃か 十時頃 行って 掃除し 二時間ほど 掃除して。
- 1277A：うーんうんうん。 ほな お風呂やはら どうしちやあるん。

1278B：息子さんがなー

1279A：うん。

1280B：あの一 ○○○○の教授してやんねやけど 月に 二遍ほど もどって 入れてや  
んねて

1281A：うん ほれ##なん 月に 二遍しか にけんし なに 入らあれん##。

1282B：月でねえ 週

1283A：ああ しゅ あー

1284B：ほて シャンプーも ちょんとして

1285A：あー。

1286B：ほてほて 洗濯して あの一 雨の かからんところに 干して

1287A：あーあーあー。

1288B：また もんでて 取り入れてやる。

1289A：あー よう してあるなー ほんでも。

1290B：ほんで もう一人 長男さん ○○○○で 博士 取った人やで

1291A：あー。

1292B：ほなもん もう 戻らん。

1293A：賢いと やわなー。

1294B：ほろ ほんで 先生もな 嫁さんは 一遍も のぞかあれんで。

1295A：あー #####。

1296B：で ほれを やっぱ 雰囲気とか で この一 いつも 一人で ご飯 呼ばれて  
るで一 こやって一 賑やかに 食べる なんにも おにぎり 一つでも ええ  
さかい。

1297A：あーあーあーあー。

1298B：たまに ちょく もっと ちょこちょこ 来て##。

1299A：{笑い}

1300B：ほで こー 昨日 行ったらな わたしが 死んだら よとぎに来て

1301A：うんうん。

1302B：ほて みんな あの一 なんにも 持って来んでもええけど わたしの 死んだ周  
りで しゃべってって言わある。

1303A：ふーん。

1304B：ほういう 家庭的な あたたかみが 無しで 過ごしてもたで

1305A：うん。

1306B：ほで もう 最期は こうして な 賑やかに みんな しゃべってなって 言わ  
ある。

1307A：あー ほうか 思い出話を。

1308B：うーん。



- 1309A：うーん。
- 1310B：で もう できるだけ よせてな とは。 {笑い}
- 1311A：{笑い} あれ ほんまか ほーう。
- 1312B：うんうん。 ほれを もう ほんで もう 最後まで やっぱ 言わあるな。
- 1313A：ほうか。
- 1314B：まあ もっと こう 一緒に 嫁さんと
- 1315A：あー。
- 1316B：暮らしたかった。
- 1317A：ほら やっぱ 離れてるとな一。
- 1318B：一年でも ええで 暮らしたかった 言うて。
- 1319A：うん でも 旦那さんは 早うに 亡くなってあるんか。
- 1320B：旦那さんな一。
- 1321A：うん。
- 1322B：## 四年ほど前 ほうや
- 1323A：ほう そうか。
- 1324B：旦那さんが 死なあったで一。
- 1325A：うん。
- 1326B：ほんで いきかけたんや。
- 1327A：あー ほうか一。
- 1328B：ほんで 姉ちゃんが こう お悔やみに 行って 「先生 なんか 困ったことが あったら あの 言うてって」 言うて。
- 1329A：うんうん。
- 1330B：電話番号 置いてこんたやろな ほたら
- 1331A：ほたら さみしいさかいに
- 1332B：学校の ほうや
- 1333A：あれやな一。
- 1334B：学校の 一番 気になった 最初にして 言わったのは 成績表やら 残しとかあったんよ。
- 1335A：あー。
- 1336B：で ほれを死んで もし ば一っと
- 1337A：ほれはあかん。 うーん。
- 1338B：どっか ちらばると かなわんで ほれを あの 燃やしに あのー 長浜まで
- 1339A：うん。
- 1340B：軽トラに いっぱいよ みな 残しとかあったで。
- 1341A：あれー ほうか。
- 1342B：うん ほで うちの成績表が 出てきたら 姉ちゃん。 {笑い}

1343A : {笑い}

1344B : もう おまん 見んとくれな。

1345A : いち

1346B : 言うて {笑い}

1347A : ほんまや。{笑い} まあ ○○○○科の 先生やさけえなあ

1348B : ほうや。

1349A : あの人はねー。

1350B : でも 難しかった ○○○○科でも 先生の宿題。

1351A : {笑い} あの ほうやったかな。

1352B : あの宿題 うん うん うち かなんだ。

1353A : うちなー。

1354B : うん。

1355A : 一回なー。

1356B : うん。

1357A : あのー 宿題 なんか あのーなー。

1358B : うん。

1359A : 何日までに してかんなんちゅうかな。

1360B : おーおー うんうん。

1361A : あの ○○○○科 た あれのなんか どうも 忘れたんでねー

1362B : うん。

1363A : なんか あの ぎこう室 なんちゃ 技術こう###室

1364B : うんうんうん。

1365A : ほのガラス 窓がな まあ ああいう あの鍵やったやろー。

1366B : うんうん。

1367A : で 女のもう一人の友達とな

1368B : うん。

1369A : 二枚 一緒にはずしてな

1370B : おー。{笑い}

1371A : ほな ここが # かいなって はずせんやろ なんせ。

1372B : おー はずしてもたんや 窓自体を。

1373A : で 廊下から 二枚はず#て ほで 二人で なあと はずさんわなー あのー  
に

1374B : 持てん。

1375A : お前 一枚

1376B : あー。

1377A : こっちに 一枚持って

- 1378B：おー。
- 1379A：はずして
- 1380B：うん。
- 1381A：ほして 入って
- 1382B：うん。
- 1383A：で なんか 道具を とって なんかなー
- 1384B：うん。
- 1385A：何が 足らなんだやろなー
- 1386B：あー。
- 1387A：取りに 行ったことあるわ。
- 1388B：おー ほなか。
- 1389A：##### まあ こわごわ。 {笑い}
- 1390B：おー。
- 1391A：見つかったら 大変や。
- 1392B：見つからなんだ。{笑い}
- 1393A：{笑い} ほういうことあるわ。
- 1394B：ほうかー。
- 1395A：うん。
- 1396B：ほー。
- 1397A：覚えてるなー。 なんか 廊下がっ
- 1398B：ほうかー。
- 1399A：教室の間の ### を あれ はずしたな。
- 1400B：ほう ○○○○先生 あれやなー あの ちょこちょこみんな 生徒さん行ってや  
んすんよ。
- 1401A：ほうかー。
- 1402B：うん。
- 1403A：あの人 ほんでも きつかったでー。
- 1404B：ほうよー。
- 1405A：うん ほんまに。
- 1406B：けっこう ぼーんって 言わあったし。
- 1407A：ほうや。
- 1408B：ほの し なんやら こう 結婚したあとちゅうか 生活に せんならんことを  
ぎーっと 真剣に 教えやあったやろ。 あわ こう つば つつとばして。 {笑  
い}
- 1409A：{笑い} ほうやほうや。 あの {笑い}
- 1410B：ほてな 誰がどこ お嫁に 行ってやんすて す ほとんど 覚えてやある。

1411A : あれー

1412B : ほう ほて

1413A : ほう。

1414B : ○○○○からなー あの ○○川 行ってやんす子も あの #####○○ちゃん  
も こないだ 三人と 一緒に 来てくれやんたんや 言うて この 牛乳パッ  
クで作った椅子が

1415A : あーあーあー。

1416B : あれ 持って。

1417A : ほう。

1418B : あの ほて ほんわらも けっこう も一とかあるしな。

1419A : ほうかー ほら けっこう 慕われてやんねやなー。

1420B : {笑い}

1421A : {笑い}

1422B : 生活してみて

1423A : うーん。

1424B : 先生の なんか 教えが こう よみがえるとか言って。

1425A : あの人なー あの せねどしょさがらって言わあったわ。

1426B : なに な なんて。

1427A : せねどしょさがら ちゅうのは

1428B : うんうん。

1429A : 例えば 今日は 掃除するとしたら

1430B : うん。

1431A : やっぱり ほの 服装を 整えて エプロンするなり

1432B : あーあーあー。

1433A : あの

1434B : ほれは かなり 大事やー。

1435A : そう。 あの

1436B : うん。

1437A : せねどしょさがら と# わたし ほんな がん なんちゅうか

1438B : ほう。

1439A : ほら する仕事の

1440B : うん。

1441A : あの一 する せんはなー どのくらいするせんは 別として

1442B : まず 格好から

1443A : まずは 格好 ほれの ふさわしい格好 せなあかんちゅうて

1444B : うんうんうんうん。

- 1445A：せねどしょさがらって言わあったわ あの人の。
- 1446B：ほー んで やっぱ
- 1447A：ほの言葉は 覚えてるわ。 で うん。
- 1448B：うち 先生#の 言葉は 覚えてへんけどな
- 1449A：うん。
- 1450B：あの一 お嫁に 行くときに 父がな 農作業するときは 汚れても ええ格好  
まず 身なりから こてはめて
- 1451A：ほらほうや。
- 1452B：ほう しやすい格好から入れって。
- 1453A：ほらほうや。
- 1454B：ほで 先生
- 1455A：ほと ほれ けがもないしな。
- 1456B：うんうんうん。
- 1457A：うん。
- 1458B：一緒よ で 二重生活は あかんで 教えやあったし。
- 1459A：{笑い}
- 1460B：洋服と着物と 持ってく なあ タンスの肥やしに なる 言うて。
- 1461A：おう。
- 1462B：ほやけど 嫁すとき やっぱ 着物を お おかあさん 作ってくれやんすしよー。
- 1463A：ほうやほうや。
- 1464B：あー こ あのまだ 先生の教えも 耳に はあったるときやろ 二十一で 嫁入りするんやで。
- 1465A：ほうや。
- 1466B：おー 先生 言わあんだのと 一緒にはならんで
- 1467A：{笑い}
- 1468B：親#の 言うことも 聞かんならんし
- 1469A：ほらほうや。 ほうや。
- 1470B：うん。 思ったわー うん。
- 1471A：ほうやなー あの人の せねどしょさがらは 覚え### あの人の 言わったなー。
- 1472B：せねどしょさがらって。
- 1473A：うん ## ふさわしい服装を せなあかんで。
- 1474B：すごいなー。
- 1475A：まずは 服装をちゅわったな。
- 1476B：ほうかー。
- 1477A：{笑い} うちも うちああの 技術は あかんねやわ。 に 苦手やった。
- 1478B：最初に スカート 縫わさあったやろ。

1479A：あった。

1480B：制服の スカート 一枚しかないで。

1481A：フレアスカートか なんな あ ほんな スカート 制服のスカート。

1482B：ふん。

1483A：ええ。

1484B：制服ってなあ。 いち 上一枚 下一枚やろー。

1485A：ほうや。

1486B：スカートは あの やっぱ こう おしりで ピカピカになるで。

1487A：なる。

1488B：一番 最初に 制服のスカート 作らさった うちら。

1489A：えー ほやった。 あ

1490B：これ 間に合う。

1491A：ほんえ あるかしれんなー あったかしれん。

1492B：うん 自分で ほて 作ったスカートと

1493A：はあ。

1494B：おんなじ きれで

1495A：うん。 あ あ

1496B：うん。

1497A：ほうやったかしれんなー。

1498B：最初の一 スカート ええか ほうや

1499A：ほうや うちらの にけえは あの プリーツやったでな

1500B：おう そうそうそう。

1501A：うん。 ここに こう あるだけの。

1502B：うんうんうん。 ほれ 作らさった。

1503A：あ ほうかしらんなー。

1504B：うんうん。{笑い}

1505A：ほうやった。 おお ほんな感じやな。

1506B：うんうん。 ほでな

1507A：ほんで

1508B：恥ずかしいんやけど うちは一 あの 家 建てやんたときで 貧しかったでな。

1509A：うん。

1510B：ほの しみず しめず言うんか この

1511A：うーん ああ 下な

1512B：なかった。

1513A：うん。

1514B：ほんで し ししゃく えー し 試着して

- 1515A : おう ええ 測ら一のう
- 1516B : うん 仕上がって 先生が 見てもらうのにな あのー あの みんなは こう  
やっぱ カーテンの中へ入って
- 1517A : うんうん。
- 1518B : ほんで もう あったんよ ひぐる＃しに
- 1519A : あー うん
- 1520B : ほて 先生 なんも スカートの中に 手ー 入れて まさぐらあるんや。
- 1521A : うん。
- 1522B : ほて ほん しみず をな ちょんちょんと しょうと思わあったんやろな。
- 1523A : うん。
- 1524B : はいてなんだんよ。
- 1525A : うーん。
- 1526B : 上の 半分の 下着だけで。
- 1527A : うんうん。
- 1528B : ほで あ どうしよ 先生 しみず 探してってくれやあんねやっと思ってな も  
う 顔から 火ーがでるくらい
- 1529A : うーん。
- 1530B : 恥ずかしてよ。
- 1531A : うん。
- 1532B : ほでもな 黙ったもた わたし もう
- 1533A : うんうんうん。
- 1534B : 先生も も もう 止めやあったわ。 ほで このこのー 先生の ところへ 行く  
ようになって ほれ 言うたんやー。
- 1535A : ああ。
- 1536B : 先生 まだ しっかりしてやあるとき 先生に一つ 言わんなことがあるんやけど  
先生 い あのー 初めて スカート 教えてくれやって はいたときに あの  
この うまいことできたか こう スカートの中に 手ー入れて しみずを ち  
よっちょっとな しょうと 思ってくれやったんやと 思うんやけど わたしはほれ  
を もう はい まだ 持ってなんで 買うてもらえなんで 着てなんで 先生  
あのとき あーと思ってくれやったやろ一言うたらな あのー うまいことな  
ほんなことな ほんなことやったかって うまいこと 言うてくれやったけどな  
ー 絶対
- 1537A : 覚えてやったんやろか。
- 1538B : 覚えてやったと ような感じやった。
- 1539A : ほら ほんなも 先生も あっ ともうね。
- 1540B : うん。

1541A : これ以上 言うたら あかんと。

1542B : うーん。

1543A : 思わあたんやろな。

1544B : 思わったで。

1545A : そんなときは。

1546B : 賢いでな 黙ってもって ほんと。

1547A : ほりゃあ んで 他にも やんたんやろうけど。

1548B : あなた しみず はいてないのって言わった。{笑い}

1549A : ほんまやー みんなの前で 聞こえるように。

1550B : 言わあったらどうしようと。

1551A : うん。

1552B : 思ってたー うち もー ほんまに 心臓が どきどきして 顔がもう かーっと  
なってるよ。

1553A : ほー ほりゃほうやわなー

1554B : 恥ずかして 恥ずかしてなあ うん まだ 家 建てやんで すぐやったで

1555A : まあ ほて ほて ほんなときに ほのー ほれが わかってまうちゅうことは  
おもてんしなあ あのー

1556B : おもてんし おもてんし。

1557A : まさか 試着して うん

1558B : おもてんし。 もう うちも 授業料も 姉ちゃんの 給料が 役場 行かんて  
あの時分 七千円やったんよ。

1559A : ほんなくらいやろ ## うん。

1560B : ほで うちの 二千円もろた。

1561A : うーん。

1562B : で 学校 ほんで うちはない 学校 行くのに ○○ちゃんゆう子は おやっさ  
んにな 授業料もらう あの もの そうゆう目にあわんたんやけどよ。

1563A : うん。

1564B : わたしは 姉ちゃんがら もらうでな。

1565A : あー。

1566B : ほで 二千円 ほんとは 千六百円で 今でも 家計簿 持ってるんや。

1567A : ほほ おう。

1568B : 書かさあったやろ 黒いこんな大きな。

1569A : うん。

1570B : ほんで 千六百円を 事務所に はろうて 自分で 払いに 行くんやんな。

1571A : うん。

1572B : 千六百なに あとのな 三百円か四百円をな。



1573A：うん。

1574B：あの ノートとかな。

1575A：うん。

1576B：全部 かい 書いとく と〇〇〇〇先生に 必ずな お姉さまに 感謝しましょう  
て書い

1577A：あーら ほんまやなー。

1578B：姉から 二千円と 書くやろ で 千六百円か 千五百円 じ 授業料 書くんや。

1579A：うん。

1580B：で あとな パンもこう 食べて アイスcreamも 食べとくわ けっこう。{笑  
い}

1581A：{笑い} 前にあったでな 店が。{笑い}

1582B：ほれでな 五円かな ゼロになるときも。{笑い}

1583A：あー ほうか。

1584B：うん。 ほれ ほん

1585A：姉ちゃんさまさまやな。

1586B：さまさま。

1587A：ほんまにな。

1588B：ほーんまに。 ほで もう ほの このくらい大きい 黒の なあ 買って ほ  
で # これは もう わたしの財産や思てなあ 姉ちゃんの思い もう忘れん  
ようにな 嫁に 持って来やんや。

1589A：ほー。

1590B：ほんで 先生に ほれも しゃべってた。

1591A：ほう ほうか。

1592B：ほやって 教えてもうたけど 先生に 今 家計簿は 付けてません言うた。{笑  
い}

1593A：{笑い} もう いる もんは いるや。{笑い}

1594B：もう 商売してたら 家計簿な。

1595A：ほりゃあ。

1596B：何円からしてたらなー お父さん 交際費 何万円て とか言われてもな あほら  
しなってもてな やめーと 思って。{笑い}

1597A：{笑い} ほらまあ でー 仕事関係のほらー あれやけどほらなー。

1598B：うん。 もう 商売屋の家では こんな家計簿 嫁さんが付けてたら ほんなもん  
やってけんとおもた。

1599A：ほらほうや。

1600B：もう 腹が立って。

1601A：うーん。

1602B：けちけちけちけち してな

1603A：ほらほうや。

1604B：＃＃一円まで計算してよ。

1605A：桁が 違うわなー。 出てくる ほんだけ。

1606B：違う違う。

1607A：ほうや。

1608B：もー あそこへ こんだけ 何万 何万とか な 飲みに 何万とか 言わあると  
よ。

1609A：うー うーん。

1610B：もう止めた。{笑い} もう ほんでも

1611A：ほんまや。{笑い}

1612B：ほんでもな ほの 高校のときは 真面目に 毎月 提出せんなん。

1613A：あー ほやったんかー。

1614B：で 先生が 感想文で 必ず 「お姉さまに感謝しましょう」 って。

1615A：ほうかー。

1616B：ほで み みど み わたしの〇〇〇様 親もとやー。

1617A：うん。

1618B：〇〇ちゃんが 高校 行かあんたときに あのー 毎月 お父さんに 授業料が  
明日 い 明日 何日かに いるでって 頼まあんのを見てて で 妹の 私と  
一つ上の 〇〇〇ちゃん おるいうて 行かへなんだ。

1619A：ありやまあ。

1620B：ほれが 嫌で よう出来やんたのに。

1621A：ほーう。

1622B：ほんな 時代やうちら。

1623A：ほんでも ほら 姉ちゃんもよ やっぱ 親も 承知で 高校へ 行かさあったん  
やのに。

1624B：そうや。

1625A：ほれを 遠慮して 授業料っちゅて。

1626B：うん。

1627A：言わんなんのか。

1628B：うん。

1629A：親も わかったるわな

1630B：おー。

1631A：いるっちゅうことは。

1632B：わかったあんやけど 百姓だけやったで

1633A：あー。

- 1634B：お金がねー。 やっぱ ほんで 早めに 言わんすんやろ 頼まんすやろ ほ 手  
えついて。 {笑い}
- 1635A：うー ほうやなー。
- 1636B：かたえこ
- 1637A：ほうか うちらも もう 百姓やったさかい
- 1638B：うん。
- 1639A：あの一 一年に 一回しか 現金は 入らへんでなー。
- 1640B：うんうんうん。
- 1641A：米代。
- 1642B：うんうん。
- 1643A：ほで ほれを ばあちゃんは まあ やりくりしてやんたんやろうけど。
- 1644B：うーん。
- 1645A：あの 昔 学校で 子供 貯金っちゅうか あの一
- 1646B：あー あったんか。
- 1647A：知らんか。 農協の人がなー
- 1648B：うんうん。
- 1649A：まとめて 集金に 来やあるんや。
- 1650B：うんうん。
- 1651A：ほで こちらは あの一 こういう 封筒があるで
- 1652B：うん。
- 1653A：ほれに こう 今月分 まあ
- 1654B：は一。
- 1655A：うちらんとき 百円 二百円やったけど
- 1656B：あーあー。
- 1657A：ひと月に
- 1658B：あーあー。
- 1659A：百円とか書いて 封筒 入れてー ほんで ほれを 学級委員が 先生が 集めや  
あるんかな。
- 1660B：あーあった。
- 1661A：せや#。
- 1662B：学校に
- 1663A：ほと 先生は 農協へ ほれをみな 預けやあんねんけど。
- 1664B：あ あった 学校貯金や # # # #。
- 1665A：ほう。 んで うちら 百円 二百円やったけど ま 十円二十円ちゅう子も や  
んたわ。
- 1666B：あー 持ってか# #。

- 1667A：ほう で うち は あ うち は ようけ し てる ん や なー と思 った。
- 1668B：うん うーん うん。
- 1669A：うち は # 金 持 ち と は 思 わ な ん だ け ど。
- 1670B：うーん うん。
- 1671A：で あ ま た ー も ら え ん 子 も や ん す ん やー と思 った。
- 1672B：うん。 うん うん。 ## うーん で A さ ん ら ま だ 幸 せ や っ た や ろ も う  
十 円 二 十 円 か ら や っ た か も し れ ん
- 1673A：あー ほう か。
- 1674B：う ち や も う 家 を 建 て や あ っ た ん や お 金 も ね え の に
- 1675A：あー。
- 1676B：お 金 も な い の に つ て わ か ら ん。
- 1677A：ほ で ほ れ は 親 元 の 家 や ろ あ の ー
- 1678B：う ち の 今 の 住 ん で た。
- 1679A：ど っ ち の。
- 1680B：あ の ー ○○○○ 家 の
- 1681A：あ ○○○○ 家 の 家 や ろ。
- 1682B：うん。
- 1683A：ほ っ た ら B さ ん 自 分 と こ の 家 建 て た と き や ら も ー
- 1684B：うん 苦 し か っ た。
- 1685A：ほ れ も 大 変 ロ ー ン あ っ て 大 変 や な。
- 1686B：ロ ー ン が あ も う も う お く 奥 に 家 が あ っ て
- 1687A：うーん。
- 1688B：工 場 ‘こ う ば’ も こ の ○○○ さ ん と こ に あ っ た ん や。 ほ れ を 工 場 を あ  
の ー い か い ト ラ ッ ク で 土 や ら 瓦 出 さ ん な ん で 道 が 傷 む で 村 の 人  
が 言 わ あ っ て。
- 1689A：うーん うん うん。
- 1690B：昔 の 土 の
- 1691A：ほ ら ほう や。
- 1692B：今 み た に も う ア ス フ ェ ル ト で な い
- 1693A：掘 れ て ま う あ なー うーん。
- 1694B：砕 け て ま う ち ゅ う 苦 情 が 来 て こ っ ち 出 や あ っ た や ろ。
- 1695A：あー。
- 1696B：工 場 ほ だ ら 何 年 か し て わ た し が えー 嫁 に 行 く 前 の 年 に 家 も ほ ん な  
う つ 移 ら ん と こ な ん なー。
- 1697A：あー ほ り や ## な うん。
- 1698B：通 わ な ん で 夜 中 に か ま た き と か あ る で。

1699A：見てかんなんな。

1700B：ほで ほで もう マイナスよ。 マイナスも ひどいマイナスからの スタート。

1701A：うーん。 ほりゃあ でかあやろな 工場みたいな あんま いかい工場 建てて。

1702B：ほでも 土地は まあ 土地同士の交換で さあったけど。

1703A：うー うーん。

1704B：ほんで もう 工場の 借金の残り 母屋は もう 借金で 出たやろ。 #で  
おじいさんは うちら 父さんも 子養子やし わたしも もらい嫁やで 二人  
とも他人みたいなもんやもんなあ。

1705A：あー。

1706B：おじさんと 言うても ほで 次々 さあるんよ。

1707A：あーあーあー。

1708B：自分の 思ったように もう 会計 関係ないんよ。 うちらがきばって返すだけ  
のことやで ## 納屋建てて。

1709A：やれやれと思ってる間ない。

1710B：そい建てて 庭してて もう 次々に 会計も 相談なしに。

1711A：ほー。

1712B：ほで もう ずーっと 平成の

1713A：おじいさんの代に あの みな建ててまわったん。 今 屋敷の いろんな たち  
まい

1714B：ほうや あたしの ほんで 行ったときは

1715A：母屋と ##

1716B：母屋だけやって。

1717A：うん。

1718B：ほんで うちら 結婚してから 返すのはうちらや。

1719A：あー。

1720B：もう 結婚した わたしから あの 前の年に 建てやあつて。

1721A：あー。

1722B：ほで もう ほで ずーっと ほで 母屋だけの 借金返してるでない 次々 借  
金 増えていくやろ。

1723A：ほうやなー。

1724B：ほて 工場

1725A：ちょっとこんなけ 減ってきたちゅうあれが なあ

1726B：ないないない。

1727A：##新たにできる。

1728B：ほんでも 全然 田んぼも い 一緒に 作ったけど 現金で 見たことないし。

1729A：あー。

1730B：ほんで まだ ずーっと 借金が 残ったで 平成元年に

1731A：うーん。

1732B：父さんが こんな 工場では まだ ほんな 経ってないへど《けど》な一って

1733A：うーん。

1734B：お父さん 言ってやって にじゅう ねん 経ってない ほど こんな工場では  
止めるか つぶれ ちゃう 止めるか するかに せんと 食っていけんって言  
われて。

1735A：うーん。

1736B：今の いかい 工場するって言わったで 一億くらい 近い借金を 見積もっても  
らったら ほんで 怖かった ほののときは

1737A：ほんまやねー。

1738B：ほど 自分 父さん じいちゃんが さあった 工場 みな 潰してまわったやろ

1739A：うーんうん。 ほらほうや。

1740B：怒らあってな一。 一歩も 今の い 工場 入ってやあれんで。

1741A：{笑い} ほやけども こっちの 借金やは なして いったんやでな一。

1742B：ほや一。

1743A：おじいさん

1744B：ほやで一。

1745A：ほん なあ。

1746B：ほんで も一のすごん はたらい お金 返さなんで 働かなんだもんな。

1747A：うーん。

1748B：むちゃつくちやな 生活やったわー 今 ようやく ほんで ほの 時代も 助け  
てくれやあったんよ。

1749A：まあ ほんな

1750B：バブルで あの みんな 建てやるときや。

1751A：ほうや ほうや ほういう 建築ラッシュがあったで一。

1752B：仕事があったで。

1753A：うーん。

1754B：ほんで ほんで 今みた一に 仕事なかったら もう ほんな 夜逃げや。

1755A：ほら ほらほうやわな。

1756B：悲惨なことになってまうわ。{笑い}

1757A：{笑い}

1758B：#ま

1759A：いや ほんでも ま Bさんの よう ほれを して来やあったで ほんまに 今  
今 今が あるんやわな。

1760B：ほい 今 しあわ ほんでな一 些細なことでも 幸せやって感じられるで一。

- 1761A：うんうんうん。
- 1762B：あの 平穏な 普通の 日々が ものすごい 幸せに 感じられるで。
- 1763A：うんうん。
- 1764B：ほやけど ほんまに 辛かったわー。
- 1765A：いや うちらも みたがって 工場 してやんすやろー。
- 1766B：うん。
- 1767A：ほんで 始めは なあ まあ
- 1768B：うん。
- 1769A：倉庫 倉庫を 倉庫業ちゅうか
- 1770B：うんうん。
- 1771A：なんか 倉庫として
- 1772B：うんうん。
- 1773A：貸すちゅう感じで 話があって
- 1774B：うん。
- 1775A：ほら ほんで なくなつたて 急に まあ こうやって 工場 工場になったでな。
- 1776B：うん。
- 1777A：たちまいが もの 高いんよ。
- 1778B：あ うんうん。
- 1779A：倉庫業やで。
- 1780B：倉庫業やと。
- 1781A：今 工場の 仕事しとるのには あんな 高いの いらんのやけど。
- 1782B：あー。
- 1783A：ほんでなー あの 寒いわな 冬は。
- 1784B：うんうん。
- 1785A：ほて 姉ちゃん なんで あんな高い建物 建てたん
- 1786B：{笑い} うんうん。
- 1787A：もったいない 高いになー。
- 1788B：うん。
- 1789A：ほの しょ まだ 借金 残つとるんかなー。
- 1790B：うん。
- 1791A：まだ なしてやんすんやと思うわ。
- 1792B：うんうんうんうん。
- 1793A：いや 倉庫業やはけ あんなに また あれや ###。
- 1794B：リフトやら 使うでねー。
- 1795A：ほうよ。
- 1796B：うん。

1797A : ほんで ほれだけでなー。

1798B : うん。

1799A : あの子らも で まだ 借金が あるんちゃうんかな # ほかにも

1800B : 今 あの 仕事やったら あんな いきやい た 長い 高い たてまえは いら  
なんだんや。

1801A : いらんのやけど。

1802B : うん。

1803A : ほういうのでなー。

1804B : ## ところ。

1805A : いかい 借金しとかんすしなー。

1806B : うんうん。 つらいなあ。

1807A : で

1808B : うん。

1809A : 姉ちゃんの ほで もう まあ 今の 息子はー あれやけど 次の孫は もう  
こんな 仕事は ささんちゅうてやんす。

1810B : うんうんうん。 うちも ほんとよ。

1811A : もう 一代も あたしも あの お金の なあ

1812B : うん。

1813A : 工面を

1814B : うん。

1815A : もう してきたで あーて こーしよ あーしよ ちゅうの。

1816B : なあ。 うちらも ほんで

1817A : もう商売は かな ## し。

1818B : 平成元年に あの 工場 建ててさあ あの かまも 移動さしてよ。

1819A : うん。

1820B : 初めての火 入りやあたときに 爆発させたんよ。

1821A : あー 言うてたなあ。

1822B : もう ほんで 地獄やで もう 窓ガラスも 全部 割れてまで 鉄骨 えがんで  
まうよ。

1823A : うーん。

1824B : もう なあ 直下型地震みたいなもんよ これ お父さん 怒ってやるやろ。

1825A : あー。

1826B : お父さん おったら ご飯 食べててな あ 爆発させよったって言わあったんや。  
違う いま ## あそこの公園 あそこの水路の ## から ぬく 水路の

1827A : ふーんふん。

1828B : 岩盤を 今日は するって 言うてやったでって もう 早う なあ 外へ 飛び



出したい気持ちを 抑えて 父さんだけ なだめてよ。

1829A：うーん。

1830B：飛び出たわよ。 ほーたら 父さんが 飛び出てござった もう 窓ちゅう窓から  
こんな 黒煙や。

1831A：うーん。

1832B：ほやけど 死んでまあた 思ってるわな。

1833A：ほらほうや。 ほっちを 心配やわなー。

1834B：うん もう 工場みたいなん どうでもいい

1835A：まずは Bさんにしたら

1836B：父さん ほたら あの か### 出てござったでな。

1837A：うーん。

1838B：ほな 走れたんよ ほでなあと うちも ふーとなってもて

1839A：ほんまやなー。

1840B：怖い目に おうとく。

1841A：借金は 残る 旦那さんも もしも けがなー。

1842B：ほうやて。 ほうやて。 はって て

1843A：大けがかなんかやったら 大変な。

1844B：ほーやってー 三人 いやんすしな。

1845A：助けてくだあった。

1846B：うん。

1847A：ほんまやなー。

1848B：もう も なんちゅう人生て あれやろ もう 始めは 六年間 子供なしで 苦  
労してよ。

1849A：ほうよ 新婚旅行 帰って来た時から いつまでもちゅうて 怒らあった 言うて  
たわね。

1850B：ほうやて もう じご おかあさん 病気やったでな ガンや #かいことおいで  
言わって。

1851A：ほれが 親類の家やが ま 言うた (+ら) おじさんの家にねー。

1852B：おじさんそこへ うん。

1853A：うーん。

1854B：ほんま ひどい話やで。

1855A：ねえ ほんまやな。

1856B：ほうで まあ 遠慮してちゅうか 怒られて こう 生活してな。

1857A：うん。

1858B：でも まあ 仕事に 逃げたんや うちら。

1859A：あー まあ。

1860B：おじいちゃん。

1861A：ほっちで

1862B：家から ぱっと 出られたで ###。

1863A：ほらほやなー ほの ずっと顔 突き合わせたらな あれかもしれんけど。

1864B：ほで まあ二人が

1865A：で こっちの仕事 えらあけど

1866B：仲良うできたのも じいちゃんのおかげや 今思うたら。

1867A：かもしれんな。

1868B：夫婦げんか で す

1869A：結束できたんかもしれんや。 ほーな。

1870B：夫婦げんかしてる そばでねー おとうさんと戦わな。

1871A：お互い 慰めおうて。

1872B：ほうや ほで きばらな し おー 借金が 追いかけて来よるしよ。

1873A：うーんうんうん。

1874B：もう ###。

1875A：いや んで 商売 うちらは ようせんわ。

1876B：うーん。

1877A：商売った 順調に 行ったらええけどね。

1878B：ええけど。

1879A：うん ###。

1880B：今も ほで 日本が わら離れしたるさかいに。

1881A：うーん。

1882B：どうさんすやろと思うて わたしも ほしいも また 思いがけず 寝られん日があるけど。

1883A：ほら まあな まあ けど また 息子さん ほう##ねー。

1884B：ほて まあ あの

1885A：気い 抜けて かんすやろけど。

1886B：職人さんが 少ない 大工さんほどないで。

1887A：ほうやほうや。

1888B：うん。 ほで

1889A：うん。

1890B：違う仕事 考えてやんすんや ちょっと。

1891A：ああ ほうか。

1892B：うんうん。

1893A：まあ でも

1894B：ほういう 場合

- 1895A：もしも やったら 利用して ああいう あのよ。
- 1896B：うん よう似た 粘土質のな なんか ほんで ほんなに 収入は ないけど 毎月 コンスタンスに。
- 1897A：ああ。
- 1898B：冬場 仕事 お金が か ないんよ。
- 1899A：ああ なるほど。
- 1900B：作るばかりで。
- 1901A：##ほうやなー。
- 1902B：ガス代も 上がってきたしたなー。
- 1903A：外で できんような。
- 1904B：うん。
- 1905A：ほうやなー。
- 1906B：まあ この世は この世で まあ おさまるんやろうけど。
- 1907A：いや うちも こないだな
- 1908B：きのさか
- 1909A：あの一 ほの 姉がよ。
- 1910B：うん。
- 1911A：〇〇がよ。
- 1912B：うん。
- 1913A：あの一 ちょっと 仕事にな 波が あるんやわ。
- 1914B：うんうんうんうんうんうん。
- 1915A：忙しいときと もう 暇なときと ほて 忙しいさかいちゅうて 新しい人 採用してると。
- 1916B：うんうん。
- 1917A：暇なとき ほの人 遊ばさんなんやろ。
- 1918B：うーんうんうん な 辞めてとも い
- 1919A：辞めて言えんし。
- 1920B：言えんし。
- 1921A：で おまんら わたし その 真ん中の姉 おまんら いるんやったら
- 1922B：うん。
- 1923A：助けてくれんかつちゅつゆわんで。
- 1924B：うんうんうんうん。
- 1925A：ほんでなー ほんなら うちらも ボランティアの こ 体験も あるし
- 1926B：うんうんうん。
- 1927A：行けるときには
- 1928B：うん。

1929A：ほんなら 声かけてくれたら 行くさかいちゅうて。

1930B：うん。

1931A：ほで 行ってた まあ ほれも ほんで うん ゆっくり 来てくれたらええっち  
ゆわんだで。

1932B：うんうん。

1933A：もう 朝九時半ぐらいから 行くんや。

1934B：うんうんうん。

1935A：ほいて #も 三時頃にな。

1936B：うん。

1937A：ちょっと もう と 仕事は ちょっと 落ち着いたでー

1938B：ほ。

1939A：なら もう ええ あのー

1940B：うんうんうん。

1941A：帰ってもうてもええわー 言わんすと。

1942B：うん。

1943A：ほんなら もう 帰るわーって ばえーっと いんでまうんや。

1944B：うんうん。

1945A：で もう

1946B：気楽に 言える人らやで ええわ。 無理を うん。

1947A：ほうや。 ほんで ほれが たすかる さかいに

1948B：あー。

1949A：助けてくれ 言わんてなー。

1950B：あー。

1951A：行ってたんや。

1952B：うん。

1953A：ほんで ほたらなー 始めのときになー

1954B：うん。

1955A：なんか こう まあ あの まあ ああいう 住宅のな

1956B：うん。

1957A：あのー 今 なんちゅうか

1958B：うんうんうんうん。

1959A：簡単に 建つ 住宅の ほういう あの 部品を

1960B：うん。

1961A：ビニールの なんか いかーい まあ 袋が あるんやか ほで 梱包していくん  
やわ。

1962B：うんうんうん。

- 1963A: ほと ほの一 うち ほとら あの 端っこを こうしてな ここ て こう ぱ  
ちっ ぱきんと折ってな。
- 1964B: うん。
- 1965A: ほと ホッチキスで 留めるんやけど。
- 1966B: うんうん。
- 1967A: あの一 こう ただ こう折ると
- 1968B: うん。
- 1969A: 二か所 留めんなんけど
- 1970B: あーあーあーあーあー。
- 1971A: こう ## すぼめてからしてくれると
- 1972B: 一本で 済む。
- 1973A: ホッチキスが 一本で 済むでちゅわんすんや。 え ほんなことも。{笑い}
- 1974B: 数やでな。
- 1975A: ほうやて。
- 1976B: は一。
- 1977A: なんせ ほればっかを していくんやでな。
- 1978B: うん。
- 1979A: ほんで こうしてくれると ホッチキスの針が 一本で 済むさかいつちゅわんす  
んや 姉ちゃんが。 ああ わかったわ 言うてな。
- 1980B: あー。
- 1981A: ほで うちも ほりゃあ やっぱ みー やでな
- 1982B: うん。
- 1983A: ほりゃあ ちょっとでも一
- 1984B: ほうやほやほやほや。
- 1985A: ほれが ひつ ねー いらんようにと思って
- 1986B: 倍いるわね。
- 1987A: ほうよ。
- 1988B: うん。
- 1989A: あーん か## こんなもん こんで こんな いかいもん あそこでもう ホ  
ッチキスの針 一本 かてもてよ。
- 1990B: ほうや ほやほやほやほやほや。 ほんなもんよ。
- 1991A: 会社って ほんなもんやなーと 思ったわ。
- 1992B: ほりゃ ほやー ほんなもんよ。{笑い}
- 1993A: ほうよ。{笑い}
- 1994B: ほんま 商売は も一 嫌と思うたが。
- 1995A: ほんま ほうやて ほんで ほら 姉ちゃんらも 大変やな 思ったわ。

1996B : 大変やな。

1997A : うん。

1998B : うん。 ほや で うちも 新しい事業で まあ ほんなに 投資も いらんし  
収入もないんやけど。

1999A : うん。

2000B : 雇うと あれやで。

2001A : ああ。

2002B : 父さんと 母さんが 頑張ってくれんかって もうて。

2003A : ほうや ほで 姉らも 言ってやんすや。

2004B : ほやな。

2005A : 姉も 兄さんも 行ってやんねや ほで。

2006B : ##こう ○○○さんも あれも せん###こも 済んだで

2007A : {笑い} や ほで もうこのごろ 声は かからんねや また 一週間 暇に な  
ってと

2008B : また。 {笑い}

2009A : 思うて ほうやで。 {笑い}

2010B : な ほんまや。

2011A : ほうや。 でー おと うちの人が お前 無理せんなんよー 無理せんなんよー  
言うて。

2012B : あー ああ。

2013A : けど ほんな 重たいもん 持たんなん ことはないんや。

2014B : うーん うん。

2015A : うん。

2016B : うん。

2017A : ほんで わたしも 家に こもっててもー

2018B : おー。

2019A : しょうがない。

2020B : 兄弟の 家やで 気楽なし。

2021A : ほうやって。

2022B : うんうん。

2023A : ほでな な 身内っちゅうことは 黙ってー

2024B : あ あ。

2025A : あの一 けど あかんねやけど ほら なんとなく わかってまうで。

2026B : わかってまうで。

2027A : うん 「なんか ご親戚の方らしいですね」 言わってな。 はあー 言う。 {笑  
い}

- 2028B: {笑い} ほうか ほんでも うまいこと 仕事 な あるで ええね。
- 2029A: まあ ほやけども #
- 2030B: うん。
- 2031A: なん なんせ ほんな 加工賃だけやでな。
- 2032B: あー うんうん。
- 2033A: 自分とこの なんか 独自の 製品を 作ってるっちゅうんでないで。
- 2034B: うんうんうん うんうん。
- 2035A: 材料が 来て ほれを 加工賃だけの
- 2036B: 加工賃やで。
- 2037A: 収入やでな。
- 2038B: ほらほれ ホッチキス ぼってせんならん
- 2039A: まあ ほういうことよー。
- 2040B: うーん うん。
- 2041A: なるべく 経費がな かからんように
- 2042B: なあ うちらも 今 ほんで パート パートしか 雇ったらあかんで言うてたん  
やー。
- 2043A: うーん。
- 2044B: あの一 きゅう あの 給料 正 にすると ボーナスやら ###かん。
- 2045A: ほうやほうや。 んで 保険やら。
- 2046B: ほんと もう 年寄りを 使わ なあ うちらみたいな。
- 2047A: ほうなんてー。
- 2048B: もう 今 最近 #で 七百五十円たら ほで うちらも もらわなんで 八百円  
せなあかんでゆて。 {笑い} 息子に。{笑い}
- 2049A: {笑い} うちもや。 ほんで 八百円 言わあんた 時給八百円で。
- 2050B: やっぱりな。
- 2051A: 来てくれるか 言わんた。
- 2052B: ほうやな うんうん。
- 2053A: うん。 で かまへんよ ほれは。
- 2054B: うんうん。
- 2055A: うちらもー。
- 2056B: 三時間でも
- 2057A: うん。
- 2058B: まあ一食 一日分の
- 2059A: まあ ほうや。
- 2060B: 食事が できるや。
- 2061A: んで 言うててん。

2062B：うん。

2063A：真ん中なっ 遠い かて ふらふらと 外へ 出ると。

2064B：うん。

2065A：いらんお金 使うてまうけど。

2066B：{笑い}

2067A：ふく 行ったら。

2068B：ほうや 一食ぶん

2069A：ほて

2070B：たすけて

2071A：ほと やすても ちょっとは くれやんすんやで一。

2072B：うーん うん。

2073A：うん。 ほで あの まあ

2074B：うん。

2075A：考えようやわなー。

2076B：うんうん。

2077A：言うてるんや うんうん。

2078B：うちも どのくらいの 量になる わからんけど 仕事の量が

2079A：うんうん。

2080B：今まで ちょっと 三年ほど ぼーっとして 暮らしてたでよ 畑だけで。

2081A：{笑い} うーん。

2082B：うん。 お父さんも もう 嫌やて 言わあるかもしれん。ほんと 誰か

2083A：ほうや。 ほんで

2084B：姉ちゃんやら #。

2085A：うーん で 兄さんらのほう いち (+い) てやんすのも ほんな ぴっしりで  
ないんやわ。

2086B：あ ほうか。

2087A：んで わしも これで ええんや。

2088B：うん。

2089A：気晴らし程度 やはけーに ちゅうて。

2090B：姉さんが ほで 事務してやるん。

2091A：ほや 経理もしよ。

2092B：あ 経理して。

2093A：ほて プレスも ときどき してやんすし。

2094B：うんうんうーん。

2095A：うーん。 ほんで もう 経理を

2096B：うん。



- 2097A : もう 若い嫁さんに。  
 2098B : ほうやな。  
 2099A : うん。  
 2100B : うん。  
 2101A : 若い嫁さん 結婚前は ほういうの してやんたらしい。  
 2102B : あー。  
 2103A : けどー  
 2104B : うん。  
 2105A : あんまり 好きでないんやと。  
 2106B : あー。  
 2107A : ほんで あの子ね 今 美容師してやんす。  
 2108B : うーん。  
 2109A : うん。  
 2110B : 人と 接する。  
 2111A : ほうなんや ほて ほんけど まあ もう わたしも やっぱ 目も うとなって  
 きたし。  
 2112B : うんうんうんうん。  
 2113A : うん。 で  
 2114B : ほうやね バトン いずれは。  
 2115A : うん。 ##してほしいと 思ってるんや 言うてやんす。  
 2116B : うちらも きゃあるなり 渡してもた。  
 2117A : {笑い}  
 2118B : ほんで もう 工場からの ほな お金ちょっと もら  
 2119A : ほで 嫁さんがしてやんのか。  
 2120B : うん。  
 2121A : まあ 息子さんも ほら てつどってやんねやろうけど。  
 2122B : 嫁さんだけ ##してやんす。  
 2123A : ああ ほうか。  
 2124B : うん。  
 2125A : うん。  
 2126B : で まあ 知れたるで 件数が。  
 2127A : あー ほやけど。  
 2128B : ほやけども ほの ちょいところ お金を 抜くとか。  
 2129A : {笑い}  
 2130B : ほや 最近の し 心配もいらんし。  
 2131A : ほらほうや ほうや。

- 2132B：給料 ゼロや 今 うち
- 2133A：おー。{笑い}
- 2134B：{笑い} 年金だけ。
- 2135A：ほらまあ けどな 楽なわな。
- 2136B：ほうや。
- 2137A：年金だけで やってたら ええんやさかい。
- 2138B：うん 年金だけで。
- 2139A：うん ほうやほうや。
- 2140B：気楽な うん もう お金はな まえ 始め うちはおかあさん 給料が 足り  
ません 借り入れてもいいですか。
- 2141A：{笑い}
- 2142B：もう なんにも 聞かさんといて もう 一代 ほれで 苦しんできたで もう  
好きなようにして。{笑い}
- 2143A：{笑い} ほうやな。
- 2144B：借りたら ええで 足らなんだら 借りたら 貸したる言うてくれやんねんで ま  
だな 銀行も。
- 2145A：あーあーあーあー。
- 2146B：貸したらん 言われたら おおごとやけど。{笑い}
- 2147A：{笑い} ほうや。 ほやって 今 銀行 貸して 借りてくれって来やある言うて  
やったな
- 2148B：うん。 借り かえ かえ 返す 借りてって 言わあるときは まだましなんや  
と 商売
- 2149A：ほら ほうやわな。
- 2150B：もう 危ないとわかったら
- 2151A：みむ おう 見向きもさあれんわな。
- 2152B：もう ひいてまある。 うん。
- 2153A：うん。 ほうやほうや。
- 2154B：使うて 使うて 言うてくれやあるで。
- 2155A：ほらほうや な。
- 2156B：まだ ええんやな と#
- 2157A：うーん。
- 2158B：ほて もう 去年も やっと か あの ちゃ 今年の暮れや やっと 黒字にな  
りそうや思うて やれやれや。
- 2159A：あー ほうかほうか。
- 2160B：やれやれ。
- 2161A：いや うちらも ね ほんま 姉ちゃんどうなんやなーって もう一回 借金 終

わるや もう いて いつ終わるん。{笑い}

2162B：うーん ねえ。

2163A：ほんまなー。

2164B：うちらも 月 八十万ずつ返してった。

2165A：あー ほうか。

2166B：うん。

2167A：うちらは ほな ほこまでの内容は 知らんけどもなー。

2168B：うんうんうん。

2169A：うーん #だった。

2170B：ほら もう

2171A：ほで も一え 言うてやんたで。

2172B：うん。

2173A：あの えらーときは もう 自分らの 生命保険やらも もう 解約しようかと  
思ったちゅうて。

2174B：うんうん。

2175A：ほの 掛け金も えらーし。

2176B：うんうん。

2177A：ほて 今まで 解約すると 戻ってくるが。

2178B：うん そうそう。

2179A：ほれを 充てようかと 思ったけど。

2180B：うんうん。

2181A：商工会の人が

2182B：うん。

2183A：ほれしたら もう 最後やで あかんちゅゆわあったんやて。

2184B：あー そうかそうか。

2185A：ほれなら まだ 銀行に 借りなおして。

2186B：借りて。

2187A：借りて。

2188B：うんうんうん。

2189A：ほの もう さ## 自分の ほの 保険まで 解約して ほれを 充てんちゅこ  
としたら

2190B：そうやな。

2191A：ほんなのは も一

2192B：そうか。

2193A：最後の 最後や 言わってた。

2194B：うんうんうんうん。

- 2195A：えー ほんなことまで 考えるんか。
- 2196B：ほー＃。
- 2197A：言うてたんやけど。
- 2198B：毎年 来年 仕事あるやろか どうやろて もう ほの心配からやろ。
- 2199A：あー。
- 2200B：父さん ほで 一年に 商売してて 頭が 休まるのは 二日だけゆわった。 大晦日と正月だけやわ。
- 2201A：うーん ＃＃ まあ ほでも じきにねー まあ どっか 片隅には あるんやろけどなー。
- 2202B：ずーっと 商売のこと ほんまに。
- 2203A：ほんまやな。
- 2204B：うんうんうん。
- 2205A：いや ほらんで 言わんす サラリーマン ベント さえ 持ってったらー 一日す＃てったら。
- 2206B：へまさえ せなんだらね。
- 2207A：ほうよ ほ＃ ちゃんと くだあるんやで。
- 2208B：真面目に 行ってたらね うーん。
- 2209A：商売は 頭は 休まらんちゅうて。
- 2210B：うーんうん。
- 2211A：うちらも あの母親のなー おじさんちゅう人らがな 高山から 裸一貫で出て
- 2212B：うん。
- 2213A：大阪で 商売してやあって。
- 2214B：うー うんうん。
- 2215A：で もー 今 息子に 譲ってあるけど。
- 2216B：うん。
- 2217A：商売みたいなものは あのー するもんでなあ {笑い} ちゅうてな。
- 2218B：うんうんうん。
- 2219A：もう 絶対 頭＃＃＃。
- 2220B：うまいこと当たると
- 2221A：ほうやって 休まらんでな ちゅうて。
- 2222B：母さんら バブルで 仕事がぎょうさん あったとき 面白かったやろって。
- 2223A：{笑い}
- 2224B：息子が この間 言わんすで。 ほらー 仕事が あった さかい ええけど 母ちゃんら お金を 手に したことは ないんやで。
- 2225A：＃ん な
- 2226B：全部 借金で で おまんらに 家も 工場も 借金ゼロに して 渡したんやで。

- 2227A：うーん。
- 2228B：頑張ってなー いうて ##。
- 2229A：ほうやな。
- 2230B：何にも 借金 今 な 工場は ほら 運 転資金は 借りやんすやろけど。
- 2231A：うんうんうんうん。
- 2232B：たてまえやらの 借金は。
- 2233A：ほうやわな。 借金ゼロで 渡せたら 上出来や とか 言わあるわね。
- 2234B：上出来や うーん。
- 2235A：うーん。
- 2236B：で 家もなー あの子らの ちょーんと 住まわすところ また 改造してよ。
- 2237A：ほうやほうや。
- 2238B：ほて ### きれいにしてよ。
- 2239A：ほうや でー 今 なんや あの 子供の きょう# 教育資金によ。
- 2240B：ほうや。{笑い}
- 2241A：おじいさんが 贈与するの 千五百万か。
- 2242B：ほうよ。 ### て
- 2243A：どこの話や。{笑い}
- 2244B：{笑い} うち ほんでなー お嫁 お嫁さんが 来やんた 結婚さあんたとき 嫁さんにな うちが こうやって してー あの 向こうから 出てきて なんか かなして 家屋敷を と 工場は ある 残ったけど お金は ないでって
- 2245A：うん。
- 2246B：言うてもった。
- 2247A：{笑い}
- 2248B：ほたら ほの方がいいですって 言うてくれやっただ。{笑い}
- 2249A：{笑い} ほうや。
- 2250B：ほで なあと思って。{笑い}
- 2251A：ほうよ。 ほんで あんた こないだも
- 2252B：うん。
- 2253A：子供の上が 車を まあ 買い換えたんや。
- 2254B：うん。
- 2255A：ほたら まあ 自分の貯金でな。
- 2256B：うん。
- 2257A：まあ ほれは 払うちゅうて
- 2258B：うんうんうんうん。
- 2259A：ほな まあな もう 構わんけど。
- 2260B：うん。

2261A : ほたら あのー 郵便局へ あの子は 給料の 振込みしとかんすで。

2262B : うんうんうん。

2263A : で 郵便局のお金 出しに行ったら

2264B : うん。

2265A : あの あの子な ## 貯金とかほういうことなー

2266B : うん。

2267A : 財テクとか 全然 気がない子なんやわー。

2268B : うーん。

2269A : うちも 前々からな

2270B : うん。

2271A : 普通 ## 利子は低いけども

2272B : うん。

2273A : 定期的に しない しない 言うてたけど

2274B : うんうんうんうんうんうんうん。

2275A : なまー なーんにも せなんだ子がなー。

2276B : うん。

2277A : あんた 郵便局で 窓口で

2278B : うん。

2279A : ちょっと 定期的に 回してもらえませんか {笑いながら} 言わあったで。

2280B : うんうん。

2281A : まあ したんやて。

2282B : うん。

2283A : ほて おかあさん 僕 まちごうたんで ないかと思ったて。

2284B : うん。

2285A : この利率 なにちゅうたんや。

2286B : うん。

2287A : れいてんれい れいてんれいにかい。

2288B : うんうんうんうん。

2289A : な## 今

2290B : 今はもう ## うん。

2291A : ほうよ。

2292B : れいてんいちも あ## ええほうや。

2293A : ほうよ 僕 まちごうてやるんかと 思うたって おまいよ おまい 今 初めて  
定期したさかい。

2294B : {笑い}

2295A : 気が付いたんかしれんけど 今 ほんなもんやでちゅうんや。

2296B：うー うーん。

2297A：ほで も けどー ほんなら おかあさんら どうやったん 家を 建てたとき  
て ほうや あのー 利率も 良かったけど 借金の利率も 高かったで 言う  
てたんよ。

2298B：ほんまやな。

2299A：ほんときは やっぱなあ。

2300B：うんうん。

2301A：バブルのときは ほな ほれも

2302B：ほうやほうや うん。

2303A：んで あの ローン 返してたかて ひとつつも 元金は 減らなんだ 利息ば  
っか 返してたっちゅうんや。

2304B：あー。

2305A：うん。

2306B：あの ええときは ほんま 十年 預けやあたら

2307A：ほうやて。

2308B：倍になる 言わったな。

2309A：うーん。

2310B：うーん。

2311A：ほうなんよ ほれが今な。

2312B：##### 定期で 一円も ないさかいよ。 {笑い}

2313A：{笑い} ほうや ほんで せわぬんなあ ほんで 銀行も 借りてくれちゅう感じ  
で ほんで うち もう で も 一切あの なんか 繰り上げ償還するって言  
うたら

2314B：うん。

2315A：どうしても しゃありますかって 言わあったんやて。

2316B：あー。

2317A：ほらな ようけ利息 かえさ も 払うんやでな一。

2318B：ほれの方が 得やもんな りん# 銀行な。

2319A：ほうよ どうしても 返しゃありますかって 返すわいな もう。

2320B：{笑い}

2321A：こんな いつまで たっても 元金しまえんし いやわい。

2322B：A さんらも 自分で 返さあったん

2323A：ほうよ。 ほんで おばあ あのー おじいさんがなー。

2324B：うん。

2325A：ま 土地は ほら

2326B：おーおーおー。

2327A：もともとの土地やけど。

2328B：うん。

2329A：あの　じもりして

2330B：うん。

2331A：ほして　基礎までは

2332B：うん。

2333A：わしらが {笑い} 出したろ言わあって。　ほんで　基礎は

2334B：はあー。

2335A：家の　基礎は　大事やで。

2336B：はあ。

2337A：っちゅうて

2338B：うん。

2339A：ほんで　あの一　基礎工事だけは

2340B：出してくれ

2341A：出してくれやあった。

2342B：ほう。　で

2343A：ほで

2344B：あとは　二人で

2345A：ほうよ。

2346B：ほうかー。

2347A：ほて　兄さんが

2348B：うん。

2349A：長男さんが

2350B：うん。

2351A：お祝いとして

2352B：うん。

2353A：ほれは　百万円　くれあったん。

2354B：うんうんうん。

2355A：＃　百万円は　ほんでなー　あの一

2356B：うん。

2357A：屋根瓦の職人さんに　払えたわ。

2358B：うんうん。　あー

2359A：瓦代と　職人代　さんね

2360B：うんうん。

2361A：百万　できた。

2362B：あー　うん。



- 2363A：うちは ま# いかい家 でもなかったで。
- 2364B：いやいや ほんでも 一からで家 ねえ。
- 2365A：ほて あとは あのー #だん うん
- 2366B：うんうんうんうん。
- 2367A：ほれでも うちは え# えらかったで一。 {笑い} ほらー
- 2368B：ほらほうや。
- 2369A：うん けっこうな。
- 2370B：ほらほうや うん ローンが あるっちゅうたら えらい
- 2371A：ほたらな 親元のじいちゃんがな
- 2372B：うん。
- 2373A：あの まあ めったにない あれ もう 年金もろうてやあんたんやろか どうや  
ろ。
- 2374B：うん。
- 2375A：こく にいちゃんも じいちゃんらも 国民年金やでな #たけど
- 2376B：うんうんうん。
- 2377A：小遣い 一回くれやんたわ。
- 2378B：あー。
- 2379A：ほう こりやあ もう えらい目におうとると
- 2380B：あー 家 建てて 大変
- 2381A：思わあたんか 知らんけど ほんまの 小遣い程度やで。
- 2382B：うーん 。
- 2383A：ほれは くれやんたな。
- 2384B：ほうかほうか。
- 2385A：うん。
- 2386B：{笑い}
- 2387A：いや {笑い} ほんな あんた
- 2388B：いや
- 2389A：大した家でないんやけど うん
- 2390B：いやいやー
- 2391A：#かった
- 2392B：やっぱ 一軒の家 建てようと 思うのはね。
- 2393A：んで あれや {笑い} もう ほんま 基礎までは するっちゅわったけど。  
{笑い}
- 2394B：{笑い}
- 2395A：ほんま きれいなもんや。{笑い}
- 2396B：{笑い} ほや 仏壇も 買うた 言うてたもんね。

2397A : ほうや。{笑い}

2398B : うん うん ねえ なにもかも もう 整えやあったんやねー。

2399A : うーん ま＃

2400B : ＃＃＃＃さん えらいて 言わある ほんま。

2401A : うーん なあ

2402B : なあ 二人が まだ 勤められる時代やで 良かったけど 担保してて わかりや  
もんな。

2403A : ほうやて まあ ほんと かわり え 見てもろうたでな一。

2404B : うんうん。

2405A : ＃＃ 子供をな一。

2406B : ほうやほうやほうや。

2407A : うーん。

2408B : 見てもろうたんやで。

2409A : ほうや。

2410B : 勤められてもな。

2411A : うーん。

2412B : ほんまや なあ。

2413A : なあ。

2414B : うちらも ほんま 大変やったけど 振り返ったら なんやら 楽しかったねって  
父さんと ほれも。

2415A : {笑い} ほうか。

2416B : うん。 こないだも 振り返って

2417A : やっぱ で 健康で 今 いられるさかいやね。

2418B : そうそう うん。

2419A : ほうやな。

2420B : で 二人 喧嘩せんと 夫婦 仲良う

2421A : うんうんうんうん。

2422B : 子供といわれたし ありがとう。

2423A : もう とりとめない 話やで。{笑い}

談話 9

会話参加者：男性 2 名（A：1938 年生（74），B：1940 生（72））

参加者同士の関係：友人

文字化時間：1 時間 2 分 49 秒

会話収録日：2013 年 2 月

1A：はい どうも。

2B：え。{笑い}

3A：かなわんな。

4B：や こ この おこない。

5A：うん。

6B：今のな 郷土史。

7A：おう おーう。

8B：郷土史でね。

9A：調べた↑。

10B：今 でー しょーか ちゅー ことになって

11A：ふーん。

12B：でー 今 昔の行事とは 全部 今は 変わって しもたるもんで。

13A：ほんまやなー あー。

14B：で 今の やつを ま 一応 今 やってる やつを

15A：おう 整理して。

16B：調べて。

17A：おう。

18B：整理して。

19A：おう。

20B：ほして これから 以前は どうやった ちゅーことを あがっていったら どうや  
ろな。

21A：あ なるほど なるほど。

22B：ちゅー ふうな やり方をな。

23A：うんうんうん。

24B：これ 今。

25A：うん。

26B：しよかつちゅー。

27A：うん ほっか ほれええなー。

28B：ゆー。

29A：わしも タ##ショウ 歴史の会もな

30B：うん。

31A：さー 次 何しよかな ってな。

32B：{笑}

33A：おこない って話も 確かにあったんやわ。

34B：うん。

35A：ほういう しゅ やり方でってのも

36B：うん。

37A：おもしろいわな。

38B：ほんで まず まず ま 日にちの 問題

39A：あー。

40B：昔は もう 固定日。

41A：そうそうそう。

42B：まあ 北の郷でしたら もう 12日に 決まってたんやけど 今はもう 日曜。

43A：日曜なっ##。

44B：日曜日に 変わる 日曜 日曜日に かわって。{笑いながら}

45A：ほんでも ほれは うちらは あの 神主さんの あの ご意向でやな

46B：うん。

47A：日が 重なるさかいゆうて あんまり 日曜に なるちゅのは 認められてんみたい  
なとこあん##。{笑}

48B：私んところは あの {笑} 残念ながら

49A：ほだから 日曜ばっかりに なっとう。

50B：日曜ば ほんまに 日曜ばっかしやで。

51A：#### 忙しい。

52B：うん。 で

53A：うん。

54B：ところが まあ 北の郷は あの 岡高神社の おこないじゃ ないもんで 薬師堂  
の おこないやで

55A：あーあーあー。

56B：うんうんうん。 ほんで 私は まあまあ

57A：や## 仏式みたい#####

58B：ほうやほうや。

59A：ふーん。

60B：ほんで 醍醐寺の北さんが お参りにきはる。{笑}

61A：なん#

62B：ほれで まあ 私は あのー 直接的な お勤めを するわけじゃないもんで けど  
も おこないぐみには はっとるもんで。

63A：あー ##### ほら ほーやな

64B：実は あのー 今年 今年や。

65A：うん 宿せんな##↑

66B：今年 その おこないぐみ おこないぐみの番なんや{笑} で 来年の正月 セ 接待せんならん口なんや。

67A：あー。

68B：うん。 ところが ほんで わしは その 今 日曜日に 変わってしもたもんで。

69A：うんうんうん。 今度は いつも

70B：わしは その 日曜日の日に 他の字が よん よんか 四か所かな {笑} あるんやわ。

71A：あー。

72B：ほんなもん とても ほの だいたい 10時にやってんやねや#

73A：あー。

74B：10時の## とんでもない もう 8時 9時 10時 11時か {笑}

75A：あー。

76B：ほら とってもじゃないが #### ## ほれを はじめから ほう ゆ ゆう てたんやけどな。

77A：あー。

78B：わしは ほら

79A：ほと ほんでー

80B：ほの 変わるときにもう

81A：ど どの在所にも もうおこないは あるんやな。

82B：全部ある。

83A：全部ある。

84B：全部ある。

85A：ほで 全部あつて 全部 この 1月か 2月か

86B：もうもう 1月ばっかし。

87A：1月ばっかし。

88B：あのー

89A：に 2月は

90B：ん 2月 なし。

91A：あ ほうかー。

92B：んで 一番 遅いのがね

93A：うん。

94B：一番 遅くっても あのー 24日‘にじゅうよつか’。

95A：あー。

96B：1月の24日 一番早いのが

97A : うん。

98B : 9 日‘ここのか’。

99A : 9 日 あー。

100B : 9 日やから 24 日まで ゼーんぶ

101A : ほこへ はってる。

102B : は は はってしもて #

103A : いや ほしと ほの間な

104B : うん。

105A : 土日へ はいったある。

106B : 集中 うん したるのと ほんで 今は もう 固定日で やってやる のは 南池だけや。

107A : あー

108B : あとは もう 日曜日 ゼーんぶ {笑} なってしもた この間の {笑}

109A : # うちの ほで 高畑は

110B : うん。

111A : 固定日なんや その字ときた

112B : うん ほんで 高畑は ハギノさんじゃなくて 若宮さん

113A : 若宮さん 若宮さん

114B : も やってあるんやな↑

115A : ほう ほーや。

116B : ほんで ハギノさんの おこないちゅうやつはないんや。

117A : ないないないない。

118B : な。

119A : うん。

120B : ほうやな。

121A : おー ないです。 ないです。

122B : 両方とも あの一

123A : み 氏神さんと おこないや。

124B : うん ほんで 上許曾さんも ないみたい。

125A : は一は一は一は一は一は一。

126B : 上許曾 じ で ただ あの 湯次神社は 明日なんやけども ほれは

127A : 合同 合同みたいな感じ # #。

128B : うんうん。 ほれは ある # # # # # #。

129A : ほ一と 在所ごとののは ないんやろか。

130B : あの 大路‘おち’ 大路の 大路の おこない。

131A : は一。

- 132B：大路の 明日は あっち 大路の おこないなんやわ。
- 133A：大路の おこないと
- 134B：うん 記念祭と
- 135A：湯次神社の おこないとが一つになったるんか。
- 136B：うん。
- 137A：ほんだ 他の ところは どうなったの あのー 三田'みた'とか
- 138B：ま ##んで ばら ばらばら。
- 139A：ばらばら。 あー。
- 140B：ばらばらで ほれは それぞれ やってる。
- 141A：ほーん。
- 142B：あそこ {笑} うん
- 143A：まあ たまたま ####や {鼻をすする音}
- 144B：ほんで 湯次だけはまあ 湯次神社のおこ おこない
- 145A：うん。
- 146B：おこ おこないちゅったって まあ 大路 あの 大路村の おこないやないけど
- 147A：うんうんうん みたいやな。
- 148B：ほんで あのー ほんで あとは ほんで わたしんところは まあ あの ジュウ  
ゴカザの 総社やけど ほんで ハギノさんでもそうですやろ↑
- 149A：あー そうそうそう。
- 150B：上許曾でもそう。
- 151A：うん。
- 152B：ほんで 意外に あの あそこ 草野にも お宮さん ある 八幡神社あるし
- 153A：はいはいはいはい。
- 154B：あれ 実際 あそこの 本殿は 高山 らしいんやけど。
- 155A：あー ほら そらそう。
- 156B：高山らしい##
- 157A：えらい 変な話や。
- 158B：##### あれ 高山のいちまんじ だ そうですんやけど。{笑}
- 159A：なる。
- 160B：ほんで 高山のほにも お宮さん あるやろ↑
- 161A：うんうんうん。
- 162B：で それぞれの やってやんねや。
- 163A：うん。
- 164B：で 今はもう 高畑でも ほと
- 165A：ほー
- 166B：はい あの 若宮神社の

167A : ほーですね。うんうんうんうん。

168B : おこない やってやるっちゅうことは 若宮 あのー 高畑の お宮さんが ある  
っちゅう。

169A : ほんで まあ ハギノさんは ほったらかしと

170B : うん {笑} で ところが 北の郷には

171A : うん。

172B : 岡高神社以外に お宮さん あらへんもんで 薬師堂なんや。

173A : あっ あー 薬師堂か。

174B : 薬師堂なんですんや。

175A : ほー あ は は ほんでー そうか あー 北の郷は もう 氏神さん ていう  
のはなくて

176B : な ない。

177A : 岡高神社さんが 氏神さまを 変えて

178B : そうそう。 下の うん ほて 東のも

179A : うん。

180B : あの 氏神さん なかったんや。

181A : あー。

182B : 明治以後に 愛宕神社を あの 京都の 愛宕さんから

183A : あー。

184B : 勧請して

185A : あー。 あ

186B : ほして しあったもんで

187A : はー。

188B : で 東のも もともと 観音堂

189A : あー。

190B : な おこないなん。

191A : おこないさん。

192B : い 今

193A : おこないさんは 神さんとか なんとか 関係ないんやな。

194B : ない ほのー 北の郷は 薬師堂やし 東のは おこない そ あの の おこな  
い。

195A : なるほど。

196B : ほんで それがね 今はもう ほんで ところ ま 東のなんかは 明治以後

197A : うん。

198B : お宮さん あの

199A : つれてあがった あー。



200B：勸請してきて 新しくできたもんで

201A：あー。

202B：ほれは 昔は 若い衆が やってあったんや ほやで 今は もう 若い衆 なくなつてしもたもんで。

203A：はいはいはいはいはい。 うーん そや。

204B：字 全体で #####と ゆーことで もう あのー おんなじ も もともと は ちごたんよ。

205A：うん。

206B：えーと 東のはね 13日や ん↑ 13日 14日‘じゅうよつか’か。 14日と そして  
ーー お あの 観音堂の おこないは 18かに

207A：うん。

208B：やってあったんやけども。

209A：うん。

210B：も 今は 一緒にやってあるん。

211A：あーー ふーん。

212B：そういう ほんで ほ 他にもあるんやで 北池なんかもね

213A：うん。

214B：北池も あの 池本神社と 観音堂と おんなじ形態に

215A：あー あー まあ普通ね。

216B：両方あるんですや。 あるんです。 ほんで 先にま お宮さん#

217A：ほんで 両方しやるんか

218B：##### お宮さんの方へ お参りして ほのとき 私は いきます。{笑}

219A：あっ あ なるほど。

220B：で 今度 で 終わって 帰ってきて

221A：うん。

222B：そして 私が 帰るしばた だーっと

223A：#####

224B：観音堂へ {笑} だーっと 観音 観音堂に みな いかあるんですよ {笑}

225A：まあね。

226B：ほうゆうふうな やりかた やってある。

227A：ふーん。

228B：うん ほんで 両方 ほういうの ほんでね あのー 飯山‘いやま’なんかは 地藏  
さんや。

229A：ふーん。

230B：おんなじ形態 地藏さん

231A：ほら やっぱ 研究しても いろいろ あって ええな。

232B：うん。 ほんで お宮さん あの お宮さんと ほの 地蔵さんと 同時に ほれ  
また 同時に

233A：あー できる。

234B：で してやる。 うん 同時に あの いわゆる あの 大鏡を お供えして

235A：あー。

236B：## お神酒を お供えしたり ずいぶん もう 地蔵さんも お宮さんも 同時  
に もっていかある。

237A：あー なるほど なるほど。

238B：うん。 ほんで 私は 地蔵さんの方 全然 ノータッチで

239A：{笑}

240B：お宮さんだけしか しやえへんけど {笑いながら}

241A：あーなるほど なるほど なるほど。

242B：うん。

243A：高畑は ほんで いわゆる 固定なんやけど

244B：うん。

245A：ま 前にも 時々 話あってね。

246B：うん。

247A：やっぱり 土日に したほうが えーでって話が あっても

248B：うん。

249A：まー あの ○○○○○○さんがやな

250B：{笑}

251A：「や そらあ 祭りというもんは」って {笑}

252B：ゆうて {笑}

253A：まあ 生きてあるうちや あかんわ## ゆう話が あって

254B：うん。

255A：まあ ただ 高畑は あの 参るのが

256B：うん。

257A：早朝 っていうかね。

258B：うん。

259A：勤務時間までに お宮さん みんな 参って

260B：な 何時 ま 参ってあんの

261A：7時かな。

262B：7時か。

263A：あー 7時に 参って‘まって’

264B：うん。

265A：鐘 叩いて 宮 参りますやろ↑。

266B：うん。

267A：ほれも ほないに ##### 神主さん あんなようけ まってあれんけど まあ  
とにかく 参って ほで

268B：今 今日 きの きの 昨日でしたんか。

269A：昨日 昨日やったんね 18 日

270B：昨日や。

271A：うん。

272B：ほ一。

273A：ほんで 参らあって して うちら 息子が もう だあーい《代》 継いどるで  
いきよるやろ。

274B：うんうんうん。

275A：ほんで まあ 参って ほで うちの息子も あれ は 7 8 時前に 帰ってきよ  
ったな 先 皆 帰ってきあるまで

276B：うんうん。

277A：##### は おそう 帰ってきたけど。

278B：うん。

279A：ほで 式 ほの 時分 終わったるさかい 先 帰るもんは 帰って 勤務 行っ  
てもあって

280B：行って うん。

281A：ほで 昼の間は なんにもなしで

282B：うん。

283A：2 時から 撤饌’てっせん’で まあ 参る人は 参って 下げると ほして 直会’  
なおらい’は

284B：うん。

285A：もう 6 時とか 7 時とか

286B：ゆう 夕方 あみ## いって 仕事 かかかかかか 帰ってきて 帰って来て  
間に合う###

287A：だから 勤務時間 ### ほんで 土日でも どっちでも い 一緒 {笑}。

288B：{笑} なるほど。

289A：ほういうことになったさかい

290B：うん。

291A：高畑は まあ

292B：うん。

293A：固定しといても↑

294B：うん。

295A：今んとこ ほんなら 皆に いか 休んでっちゅうことはないわな↑

296B：うん。 ないない うん。

297A：ほんで まあ ほれで いったるということ

298B：うん。

299A：で よそ在所みたいに 一斉に みんな 在所中 みんな 集まってきて

300B：うん。

301A：お あのー 親も 子供も みんな なんとかとか

302B：うん。

303A：ほういうふうに なったあると

304B：うん。

305A：ほんなこと いけ##

306B：うんうんうん。

307A：やっぱ 土日に せんな さん↑ うちのは 異常に あっさりした やりかたで  
はじまったもんやから↑

308B：うん。

309A：だいたい うちらは 昔 明治やら その 時分には おこないさんが なかった  
か 止まったったかね。 昔 なかったらしいで。

310B：へ↑ {笑}

311A：ほんで 火事が いって なんやらで 高畑も ほんなことしてて ばちが あた  
ったんやと。

312B：うん。

313A：ゆうことで えー おこないさんができて

314B：うん。

315A：ほして ほのおこないさんも いわゆる 若い衆がね

316B：うん。

317A：するだけ まあ ほら 昔は みんな ほうやな。

318B：うんうんうん。

319A：うん 若い衆が するってゆうふう なった。

320B：そや。

321A：ほのうち なんやったえ。 ほのうち ほんで ほれも 若い衆に 任せとったら  
あかんちゅうことなって

322B：うん。

323A：若い衆に やらしといて あとは 知らんちゅうようなことは あほにも

324B：{笑}

325A：タカサン ##からとか ほんでも ほんで ほんなことは あかん さけ 各組  
に 分かれて しょってなって

326B：うんうんうん。

- 327A : もう ほれは 僕が はたちか ほこらへんぐらいかな まあにじゅう さんじゅうぐらいかな ほこらへん。 で 今の いわゆる 分かれた おこない なったんや。
- 328B : うーん。
- 329A : いわゆる おこないらしい おこないに 在所がや。
- 330B : うんうん。
- 331A : で おこないらしい おこない なっても 組が あの 6組あつて
- 332B : うん。
- 333A : やりかたは 各組 自由と あの お上さんだけは 揃えても
- 334B : うん。
- 335A : そないやけどね。
- 336B : あ 6組 6で 組おこないか ほないたら
- 337A : 組おこないです うちは。
- 338B : ほで あ 字 全部が なおらえ するわけでは ないわけ ないのか
- 339A : まえ 朝 参る ないない 参るときは
- 340B : うん。
- 341A : ほんでも 参りますわな。
- 342B : うん。 ほれは 鐘たたくで
- 343A : #####。 うん。 うん そうそうそう。
- 344B : 各組から だーって 行くけども
- 345A : ほう ほう。 ほで 帰ってきたら ほの
- 346B : うん。
- 347A : お上 一つ もろてきて もろてきてて 組で
- 348B : うん。
- 349A : あ お上で おくれやんすさかい ほれを 宮 あの 松本へ もって行って
- 350B : うん。
- 351A : つ ついてもろて↑
- 352B : うん。
- 353A : んで ひとつづつ 供えんのやけど
- 354B : うん。
- 355A : ほんで ほれを 6組ある中で うちの組だけは 施主の
- 356B : うん。
- 357A : 男一人が 集まって
- 358B : うん。
- 359A : 一杯 すると
- 360B : ふん。

361A : ゆう

362B : ほの 当番の家 組の 当番の家 行って

363A : 当番の家へ 行って

364B : するわけやな。

365A : うん そうそうそう。

366B : あー

367A : んで 女の人も やあるさかい

368B : うん。

369A : 女の所帯も あるさかい

370B : うん。

371A : ほれは ほこは 女の人 きゃあるけど

372B : うんうん。

373A : ほれで ていうのは うちの組だけやったと 思うよ。

374B : うん。

375A : あとは 夫婦で いかあるとこ 家族全部で た #

376B : うん。

377A : ハブラは ふ 家族全部で 行かあったんちゃうかな

378B : ぜんぶ # ほー

379A : ほでー 施主と 誰か 嫁さんか なんか 知らんが 行かある ちゅうのがあつ  
たり

380B : うん。

381A : あって 6組だけやんね みずくせーことしとる # わしらんとこだけ

382B : {笑}

383A : なんちゅうこと しといで # # あかんわいゆう 話やってん。

384B : うん。

385A : ほらほや 家族みんな 子供も 学校から 帰って いえばな↑ ほんで ほうやっ  
て やってあったんやけどな。

386B : ほー。

387A : 今 どことも 6組のやり方が 一番 ええ {笑}

388B : {笑}

389A : 一番 先 うちらが あの

390B : うん。

391A : 前 あってたりね

392B : うん。

393A : ほれは 6組方式やけ 真似してもろたら あかん。

394B : {笑}

- 395A : ほで ただ ほんで 今でも まあ 6組も
- 396B : うん。
- 397A : 各家を 回ってますわな。
- 398B : あー。
- 399A : ほんで 会館が ある 近くの組
- 400B : うんうん。
- 401A : 3組と 4組が
- 402B : うん。
- 403A : 時には ほんで 3組は いつも もう 会館を使う。 うん。
- 404B : そや＃。 あー。
- 405A : ほういうふうに なってる。 ほら ほんで 家族も 全部 集まるさかい 家で  
は 狭いということもあって
- 406B : あー。
- 407A : やってあって。
- 408B : うん。
- 409A : 今でも ほこを 借りて
- 410B : あー なるほど。
- 411A : 隣の組も ほん あー あそこだけ ＃＃ いつも 会館 使って もう あかん  
あかん ほんな うちもって
- 412B : {笑}
- 413A : 二組‘ふたくみ’ やらあった時 あったけど なんや ごちゃごちゃしてきてもうて
- 414B : {笑}
- 415A : あー
- 416B : ほれやったら 高畑は
- 417A : うん。
- 418B : あの一 そ 若宮さん い 以外に と お寺 あり ありますわな。
- 419A : うんうんうんうん。
- 420B : お寺 いっか にか
- 421A : 二冠者。
- 422B : 二冠者のな。 それ以外に
- 423A : うん。
- 424B : あの いわゆる
- 425A : あ 観音堂。
- 426B : 仏教系 観音堂やとか 毘沙門とか
- 427A : あーあーあーあーあーあーあ。
- 428B : さんとか あの一 いわゆる 薬師堂やとか

429A：小室は ようけ あるけど ## たー 高畑は ほんで 観音堂が あって

430B：うん。

431A：あと 名田川神社とか なんや あったんやけど みな 合祀してますかな

432B：### うん 一緒にした。 うん。

433A：あの ね あの 明治の時

434B：はいはい。

435A：だから もう 堂として のこったあるのは 観音堂が あるだけです。

436B：# ほな 観音堂のおこない っちゅうのはないの。

437A：ほれ ないです。

438B：ないの。

439A：ええ もう。

440B：ほー。{笑}

441A：正月は で 彼岸と 秋 春の 彼岸に ほこで 法要がありますわ。

442B：うん。

443A：あ 正月は まんな。

444B：うん。

445A：お坊さん 呼んできて↑

446B：うん。

447A：うん あの ほれだけ あるけど おこないさんは ない。

448B：あー ないの。

449A：観音さん うん。

450B：あれー。

451A：うん。 しん#して

452B：へー {笑} ほうか わしんところは あのー ほの 毘沙門 毘沙門は 真言の家

453A：あー ふーん。

454B：ごけ 5 軒で やってやんねけど

455A：あー。

456B：ほれは ほんで あのー お祓い やってあるで 5 軒で 真言 し 真言の 醍醐寺のもと

457A：あー ほら ほやね。

458B：## 醍醐寺のもと 真言## あそこだけで 5 軒 だけで やってある

459A：ほな ほな ほの一族は あの 醍醐寺から

460B：うん。

461A：別に わけ 分けてもろて ちゃんと やってあったんやろ ほのー 信徒で

462B：{笑} ### けども

463A：あのー あそこ



- 464B : うん。
- 465A : あの 木尾のね
- 466B : うん。
- 467A : あの ダイリョウ #####や ほこは 佐治一党が 住んであんねん。
- 468B : うん。
- 469A : 佐治が
- 470B : うん。
- 471A : 佐治家が
- 472B : うん
- 473A : まあ 佐治家は あちこち いったあるけど まあ 一応 ほこらへんは 佐治で  
固まったるんやけど
- 474B : 佐治は ちゅうのは あの 北のほう
- 475A : 北の方 北の 大名ちゅう
- 476B : だいたい## 北のほうの方の
- 477A : うん そうそうそう。
- 478B : うんうん。
- 479A ; で あそこに いま いわある
- 480B : うん。
- 481A : 観音堂が ありますわ。
- 482B : うん。
- 483A : ほんで ほこは そこだけで おこないも なにもかも みなしてる 言ってあつ  
た
- 484B : あ ほ一か。
- 485A : うん。 #####
- 486B : やっぱ 佐治 佐治一党で やってある。
- 487A : 伝統や 伝統。
- 488B : サジ一党で やってある。
- 489A : それは ほんで 昔から
- 490B : うん。
- 491A : 侍さんの時代から 何時代から #####いうて
- 492B : {笑}
- 493A : 下々は ほっちで せえよちゅよ一なもんや。
- 494B : {笑} あー 観音堂が あるんやな やっぱ
- 495A : うん。
- 496B : あー ほうですか。
- 497A : うん。

498B：うん。 で

499A：あ そっか ほうすると # ほれを もとに ずっと 現代のを 整理して

500B：うん。

501A：そして その

502B：ほんで

503A：うん 歴史を

504B：ほれで ほんで まあ まず 日にち # でしょ

505A：うんうん。

506B：ほして あと ## どういうふうな 変遷していったかつちゅう

507A：うん。

508B：ほして あとは それ それぞれの いわゆる 組おこない。

509A：うんうんうんうんうんうん。

510B：何組あって 組おこない してやんのか く 組 なくて で なくて もう 在所 一つで やってやんのか。

511A：やって### あーあー。

512B：そういうところも

513A：あーあーあー##。

514B：調べ ほして あと たべもんや たべもんが どういう風に ##

515A：あの あれか 料理 あ あ ほうやわ あるわな。

516B：たべもん 今はもう パックにした なんや。

517A：### そうそうそう。

518B：#### ちごたもんでね。

519A：ほやほや。

520B：##

521A：なんやら よう あの

522B：うん。

523A：こんにゃくと ごんぼと なんやは たいぶ あれや。

524B：そうそうそう。

525A：あーん。

526B：うん ほの いわゆる あの 精進料理的なもの

527A：あー。

528B：んー で 焼き豆腐 に ごんぼーの あ 白和え とかね。

529A：うーん。

530B：ほして なんやったかいな た あご#のたたきもあったか

531A：あー。

532B：ほういうのが

- 533A : なるほどなー。
- 534B : ほして おまけに 強い箸‘しいばし’があった
- 535A : なに↑
- 536B : しあ 強い箸って しらあれへんれへん↑
- 537A : 知らん 知らん。
- 538B : ごはん ごはんを こういう お しいるわけ 強いばちで
- 539A : あ こう たべ 食べな 食べな
- 540B : ごはんを ものすごく 食べなさい 食べなさいって 言って あのー
- 541A : うん。 はじめ
- 542B : ごはん茶碗に 山盛り うえーと ほんで ## お 御櫃 持っていて も  
もろて
- 543A : ちょっと 食べ出したところにか↑
- 544B : ### か おかわりちゅわあった。
- 545A : あー。
- 546B : おかわりちゅわあったら
- 547A : あー。
- 548B : ほこへ ほんで あの いわゆる 水つけながら
- 549A : うん 山#さん。
- 550B : 山盛りに す する。
- 551A : ほんな はじめも ようけ つんだあんのか。
- 552B : あ はじめは ほんな ようけ な ふつうのやつや # 普通 普通なんや。
- 553A : あー。
- 554B : で、おかわり ちゅわあったら もう のせ こう {笑}
- 555A : ゆうたら 大事じゃな。
- 556B : ## ほれを 食べてやったんやで みんな 昔は
- 557A : ほー。
- 558B : うん。
- 559A : あ ほういうのがな。
- 560B : ほの ほんで 行番‘おこないばん’は ほ ほの 強いばちの おー ご飯つぎ
- 561A : つぎ##
- 562B : ご飯つぎするのが なかなか 難しいんや。 こう ぐおーとこういうふうに 盛  
らんな ならんで。
- 563A : 練習しとかな。
- 564B : 練習しとかな。 ほんで あの しゃもじと 水とで
- 565A : あー。
- 566B : 水つけながら こう 持っていくわけや。{笑}

- 567A : ええけど ご飯が 水くさてまうんちゃう。{笑}
- 568B : ほうゆう ほ あ ほれはな
- 569A : ないない ##### ほんで
- 570B : ## なかった## 北の郷は あったけど 昔# 今は もう やめてます 今。  
{笑}
- 571A : ほんで おこないも
- 572B : うん。
- 573A : その エイユウシャちゅうか ほの ね いわゆる
- 574B : うん。
- 575A : 青年団の おこないに
- 576B : うん。
- 577A : かわったある時に
- 578B : うん。
- 579A : ま 普通の ほの 料理や よそ在所あったら
- 580B : うん。
- 581A : で ほんなんも あれ しとかあれんわな。
- 582B : うん やらへん。
- 583A : 普通 青年団が 飯 食べる時の
- 584B : うん。
- 585A : あの あしらいに なったるはずやから ほで 組が 組おこないに なっても
- 586B : うん。
- 587A : ほんな ほの 過去の歴史が ないわな とだ 明治から 途絶えたあるさかい
- 588B : あー。
- 589A : ほんで ほんな うちらは ごんぼのとか こんにやくとか そういう なにもあ  
らへん。 うちらのおこないも そやったけど
- 590B : 東も
- 591A : #####に あの ナヤゼンから↑ あの
- 592B : いぜ<+ん> ##ところ こ 子供の時分
- 593A : おー 子供
- 594B : 子供の時分でも もう
- 595A : もう
- 596B : お父さん### お父さん #####
- 597A : ##### 行ってたんや おう。
- 598B : #てやったで ## わからへんか。
- 599A : 子供ゆうても もう 二十いくつ やったんやけど。
- 600B : うん。

601A：ほんで 僕ら ほんで メイユウシャで おこないを してきたんやな ま 一応

602B：うんうん。

603A：青年団で。

604B：青年団で。

605A：ほんで 途中から もう すぐ もう いわゆる 在所の おこない なったんや。

606B：うん。

607A：ほんで ほの時でも もう 組ごとの 料理やから↑

608B：うん。

609A：まあ なんや 三品'みしな'ほど 取って

610B：うん。

611A：一品'ひとしな'の ほの えー あのー あの 刺身は

612B：うん。

613A：あの 鮎の こまめしと

614B：#####

615A：いうの ほれ##### こうてきてね。

616B：うん。

617A：それで ずーつといって 何も

618B：あー

619A：特別料理は なかった。

620B：なかった うーん。

621A：#####

622B：ほんなら お酒

623A：うん。

624B：お酒の

625A：うん。

626B：一献 差し上げますとか 二献目 差し上げます という 挨拶なんかは↑

627A：ほんなも 全然 ない。

628B：ない。

629A：うん。

630B：北の郷は ほれ やってた。

631A：ほー。

632B：うん で

633A：ちょっと 北の郷は ほんで

634B：うん。

635A：あの 字は 全体の おこない↑

636B：うん。

637A : あー。

638B : ほんで 組は 六つ あるんや。

639A : はいはいはい。

640B : ほんで むつつ 6組あって

641A : うん。

642B : ほの 一組'ひとくみ'が いわゆる

643A : あ 組 あの せ せ 接待###

644B : お く せ せ 接待 接待組が 一組

645A : ほんで 宿は 宿はどこ

646B : や 昔は 会議所 なんて なかったで

647A : うん。

648B : ほんで 会議所あっても

649A : うん。

650B : あっても

651A : うん。

652B : あの 個人の

653A : あー

654B : ほの 組の 中の

655A : あー えっと 家で

656B : その 宿で やってた

657A : ほと ろっく 6年に いっぺん 回ってくるけど

658B : ほう。

659A : 6年に いっぺん 回ってくると どっかの 家は 順番に こうまわって

660B : そうそうそう。 ほんで 6年に 1回は その 働き番の 組が 回ってきて

661A : うん。

662B : で 自分とこの 宿するのは まあまあ 30軒ほどや 30年に 1回や。{笑}

663A : ##### そうそうそう。

664B : 30年に 1回しか 回ってこうへんけども 宿するのは。

665A : ほう ほやね ふーん。

666B : 宿するの

667A : ほんで 今 ほれは 会館 なったんすか。

668B : 今 今。

669A : あー。

670B : で 北の郷は 昔から あの まあ 戦中一 時分に あの あの 蚕さんの 地  
産飼育場ちゅうことで

671A : あー。

- 672B : 作って
- 673A : はあはあはあ。
- 674B : それが まあ 北野の集会場みたい なったん #。
- 675A : あー なるほど。
- 676B : ほれがね 昭和 17 8 年時分に 作ったんかな。
- 677A : ほー。
- 678B : # # ほれが ま ずーっと 今の 新しい あの
- 679A : 会館 # # うん うん。
- 680B : 会館 作るまでは
- 681A : 使わうわね。
- 682B : あの一 それ それで そこ 北の 会議所やったんやけど。
- 683A : あー。
- 684B : あと # ゆう 会議所 あっても そこじゃ おこないは やって なかった。
- 685A : 宿舎でないや # # # な。
- 686B : こう い い 個人の家で やっとった ずっと。{笑}
- 687A : あー ほやね。
- 688B : で 北の郷 新しい会館 できて んなやったら もう すぐじゃなかったな 数年 たってからや もう ぐ 3, 4 年 あ ひとめぐり し ほんで
- 689A : あー # #。
- 690B : ちょうど 1 番組の時に ちょうど ふんなやったら もう 個人の家で せんと
- 691A : やめて # うん。
- 692B : うん。 やめて ここに しょうか ちゅうことになって ちょうど も ほんで ほれが 六年。
- 693A : うん ひと回り 回ったぐらいですか。
- 694B : ちょうど 6 年の 7 年前か 6 年前か 7 年前 ちょうど 私ら 2 番 2 番やで
- 695A : うん。
- 696B : ほれぐらいや。{笑}
- 697A : あー。
- 698B : 2 番組やで。
- 699A : # # # # ほと 広々したとこで
- 700B : うん 今は やってる。
- 701A : ほで 今のお酒の 一献たら いうのは
- 702B : うん。 それは 昔と。
- 703A : うん。
- 704B : あの はじめ 今 一献だけは 昔のまま やっとるけどね 昔は
- 705A : ほれ ほれ ほれどやって どうやって どうやって

706B : 三献まで 挨拶する。

707A : どやって どうやってする どういう

708B : ほんで あの 宿の 主 ほの 組の 組の

709A : 組長が

710B : だい 代表のもんが

711A : うんうん。

712B : あの 扇子もって

713A : うん。

714B : 下座で

715A : うんうん。

716B : 只今から

717A : うん。

718B : お神酒を

719A : うん うーん。

720B : 第一献 あの 差し上げますので

721A : うん。

722B : よろしくお願いします。

723A : うんうん。

724B : ちゅーて 挨拶や。

725A : うん。

726B : ほうすると 給仕のもんが だーっと 出て行って

727A : うん。

728B : ざーっと

729A : うん。

730B : ほして# どうぞ お召し上がりください ## ####。

731A : ふーん。

732B : ほして ほんで ## # ## ## ## あの 大葛 わって

733A : うん。

734B : で 二献目 差し上げます

735A : ほれ もう ひ

736B : ほう いうて。

737A : ひ 引き続いてぐらいに↑

738B : うん まあ ちょ ちょっと ちょっと

739A : あー。

740B : あ そない 引き続きくらいじゃない ちょっと時間 あいだ

741A : あるんか。



- 742B：ちょっと 食事 # しょく 食事
- 743A：ほの間 またこう 食べたり 隣と ちょっと 交わし
- 744B：それはない。
- 745A：ないの。
- 746B：それはない。
- 747A：ふんふーん。
- 748B：で いわ いわゆる あの 三献 するまでは 隣同士
- 749A：あー ほらほや ほや。
- 750B：盃の 盃はないの ただ 食べるだけ 食べる方は いいんや。
- 751A：あ ほれで ほの間 時間は ちょっと あ 取ったあるんや。
- 752B：うん うん {笑い} というふうな
- 753A：ほで ほれは もう 完全に 神さんに
- 754B：うん。
- 755A：供わったった。
- 756B：うん。
- 757A：お神酒で
- 758B：そういうこと
- 759A：やって ほで 冷‘ひや’でやな。
- 760B：うん。 冷 もちろん 冷で。
- 761A：冷でね うん なるほど なるほど。
- 762B：うん。
- 763A：ほで いっぱい なってったら もう爛していること
- 764B：うん。そういうこと うん。
- 765A：うん。
- 766B：うん で あ き あの 切調子 切調子 ていうて で これ あの 最後の  
あ その 三献目 切調子 ちゅうて
- 767A：うん。
- 768B：これから あとは どうぞ というふうに
- 769A：あー 終わり 終わりは
- 770B：いいやって ほんで 爛を 爛したお酒が 出てくるし。
- 771A：うん。
- 772B：盃は お隣同士 行き来する。
- 773A：あー。
- 774B：{笑} ##。
- 775A：なるほど。
- 776B：うん。

- 777A：なるほどねー みんな やっぱ それぞれ 工夫して やっとるわけや#。
- 778B：ほれも 本来の やり方は やってませんで↑
- 779A：ほれも 各 各在所 ほうなったあるか なってないか おもしろい とこしね↑
- 780B：うん ほでね それが 今でも ちょっと やってあるんは 北の一と トウメイ
- 781A：ふーん。
- 782B：だけ
- 783A：ふーん。
- 784B：それ やってあるんは。{笑} ちょっと あい 挨拶するのは
- 785A：あー なるほど。
- 786B：挨拶するのは 挨拶しやるのは
- 787A：あんな 面倒くさいこと やめとけ も 挨拶するのも かなわんし てなもんや。
- 788B：{笑} で トウメイは あの 私も 毎回 行っとった いつも その 直会 出と  
るんです↑
- 789A：あー 直会 出て ふーん。
- 790B：で ## #### ##### ほんで 一献ずつの 挨拶 してやった
- 791A：ふーん。
- 792B：ふん あそこ 今でも ほんでね
- 793A：ちょっと 待ってこない↑ ほの 直会に 神主さんとして 招待されて どっかで  
宴会 出りやあるわけ↑
- 794B：うんや その その あの と トウメイはね ま 昔から
- 795A：うん。
- 796B：あの 集会場 で やって
- 797A：あー はいはいはい。
- 798B：集会場 昔から あったもんで 私の 知ってる 範囲では
- 799A：うん。
- 800B：集会場で やってるんですけどね。
- 801A：うん。
- 802B：うん ほんで 今
- 803A：ほんで ほこへ 神主さんを 呼んで
- 804B：## ## そやで ## 祭り 終わってら 終わったら もう すぐに
- 805A：うーん。
- 806B：もう あの 祭典されて 帰ってきたら もう すぎに 直会ですわ。
- 807A：あー。
- 808B：うん。
- 809A：ほな いかにも 神さんの 祭りごとらしい#。
- 810B：うんうんうん。

811A：高畑みたいに 下げるのは 下げといて どっかに 預かっといって 夜は 集ま  
ってきて で 組やったら んな 神主さん きてもらえへんし↑

812B：うん。

813A：うん。

814B：で あの おまけに 今 と トウメイは 今でも # 北のは もう なくなっ  
たんやけども

815A：うん。

816B：昔通りに かな かなづ の さ 楓の ひさげに あの ん 味噌汁の 豆腐を  
三角に切って

817A：あーあー

818B：んで お椀も あるもんで 出して

819A：あーあー。

820B：受けてもらって あれ 給仕するのも 大変やけどもな

821A：おー ほれまあ ほやな

822B：ほして あ## ## #####と ほ ほれを 今でも トウメイ やっ  
てやる。

823A：あれ 用意しとかな あかんわけや。

824B：ほーや。 あの

825A：ふーん。

826B：どうせ あの ひさげ ひさげ # #

827A：ほやほやほや ##### やったね そやった

828B：あ あれ もう もう 北の郷も 昔も やってた ほれ

829A：うーん。

830B：うん。 ほれを 今 ##### トウメイだけですや それ やってある##。

831A：昔 ほんで 普通の 普通の おめでたの時でも 最初 つゆは ほやって して  
ね。

832B：そやね そうそう おめでたの時も してた。{笑} してたけども

833A：#### 正式に やってあったんやな。

834B：ほんな やってましたんでね。

835A：いや ほれ ほんでも テーマとして 面白いなー あの おこないについては

836B：うん。

837A：もう 湖北のおこないとか あっちこっち 書いたあるけど ほの でたる ほん  
でも もう どっかの 在所 ひとつだけ とったあるさけな↑

838B：ほやほやほや。

839A：なんにも みな 違うんやない それぞれ。

840B：ほうやほうや。

841A：ほんまの もっともっと 言うと

842B：うん。

843A：みな 違うさけ。

844B：うん。

845A：ほら ほういうの 皆 集まってくると 面白いし。

846B：うん。

847A：今 とめとかんと もう いつか わからへんくなるし↑

848B：うん ほうや{笑} ふんで 今の で どういう どう はじめ どう どうしよ  
ちゅうて みんなで 相談しとる。

849A：うん。

850B：ほんなやったら もう 今やってる やつを 一番 げ げ 現状を 先して

851A：えーや ###

852B：ほれから あの それぞれの

853A：さかのぼって

854B：項目を さかのぼって いこうと。{笑}

855A：わかることだけを あれ したらええやな。

856B：うん。

857A：ほんと 体系的に きちりしたもんで はじめから かえってくると なんや も  
う 分からんと

858B：わけ分からない# うん という

859A：ほんまやな。

860B：項目ごとに もはや 分けていって

861A：うーん。

862B：ほの 項目の 変遷は 順番に つかえていこうと。

863A：うーん。

864B：年代 上がっていこうと。{笑} うん。

865A：ほら なかなか

866B：ほういう ほ ほれで しょ しょちゅうて

867A：ほんで ちょっと 待っとくない↑ あのー 下草の の 歴史研究会は

868B：うん。

869A：今まで ○○○さん きてもろて

870B：うん。

871A：やってあったんやろ↑。

872B：うん。

873A：ほんで一

874B：今も ほーや。

- 875A : 今も ほーか。
- 876B : うん。
- 877A : ほして
- 878B : うん。
- 879A : あのー あのー 講演料 講師料は
- 880B : うん。
- 881A : 結構 ようけ はろてやある とかいう話
- 882B : うん 一回 い 一万。
- 883A : 一回 一万やろ↑。
- 884B : うん。
- 885A : ほして ほれ
- 886B : うん。
- 887A : で
- 888B : うん。
- 889A : 何回 来てもらうの↑。
- 890B : んで 毎月や ふんで あのー 去年はね
- 891A : うん
- 892B : あのー 西浅井の
- 893A : うん。
- 894B : 菅浦文書。
- 895A : ほうほうほう。
- 896B : あれを
- 897A : ふん。
- 898B : よ 読んで
- 899A : うん。
- 900B : ほして 解説を してもらう。
- 901A : してもらう。
- 902B : ほら もう ○○○先生 先生 来てもらわんことに
- 903A : おー。
- 904B : なんとも しゃーないもんで。
- 905A : うんうん。
- 906B : ん 先生 都合悪かったら
- 907A : うんうん。
- 908B : あの この月 やめーとか
- 909A : うん。
- 910B : 日にち 変えたりと## して やっとったんやけど。

911A : うん。

912B : んで その前は あのー 各字の 景観情報ちゅーて。

913A : んーあー ありますね。

914B : あのー 景観情報を 調べよー と

915A : あー。

916B : ゆうことで それーが 結局 な 6年 6年ほど かかった。

917A : 景観じょ あ 景観じょ 作りやな↑ あー そうそうそう。

918B : 景観じょ うん を作るのに お これも 6年ほど かかって

919A : あーあーあー。

920B : ま 1冊の本に できたんやけども。

921A : あーあーあーあー。

922B : ほんで それんときも ○○○先生

923A : ○○○先生

924B : ま あのー

925A : らしいな。

926B : ## あの 毎月は ほのときは 2か月に 1回くらい

927A : あー。

928B : は 来て

929A : あー。

930B : や これは こうした方が いい ゆうて 指導 指導を受けたって。

931A : ほで 菅浦文書は↑

932B : 菅浦文書は 先生 来やれへんことじゃ # できひんもん##。

933A : おー できんし きゃーあったら 一万は 払うと。

934B : うん そうそうそう。 ほんで まあ でもんで 景観情報の 時でも あの き  
やあったら はら 一万は 払った 月ごとに。

935A : おたくは 会員 今何人。

936B : 今 じゅうー 11人か。

937A : 11人で

938B : 11人。{笑}

939A : 一万円の き あれを 払うとしたら 毎月 大変な お金やんか。

940B : ま ま 毎月 千円 の 会費で ま 年間 1万2千円や。{笑}

941A : 1万2千円かー。

942B : 千円や。

943A : 田根はな。

944B : うん。

945A : いや ほんで 年間で 年間会費は 5千円なんや。

946B : うん。

947A : な

948B : うん。

949A : ほれ いかんなんから 大変なんやけど。

950B : うん。

951A : あのー ほれがね。

952B : うん。

953A : あの 下草は ようけ はろてあるゆうことは 知ってるんや。

954B : うん。{笑}

955A : 知ってるんやけど ほでも 下草も だいぶ 弱つとると。

956B : うん。

957A : ほんで もう 回数も 減らしてるって いうふうに 聞いてるとかいってゆうて あったで↑。 ほんなことない↑。

958B : ほん ほんな ことは ない# せ 先生の方が い あのー 忙しかったもんで 来やれなんだ ちゅうことが 多かった。

959A : ほーですか。

960B : うん。

961A : いや ほんで

962B : ところが あの 菅浦文書は 先生が 来やあれんことには 開けへんで

963A : できひんわな うん。 そうそうそう。

964B : ## 来やあったけども。

965A : うん ほんで うちら ね。

966B : うん。

967A : あの この前 前は あの 五先賢の館が あってな↑

968B : あーうん。

969A : あそこへ ほの ○○○ッさんて

970B : うん ○○○ あー はいはい。

971A : あのひと あそのの 直で ついてあったんや。

972B : うん。

973A : で 五先賢やし 北学区のことやし。

974B : うん。

975A : 北学区の歴史 特に ほの時期やっぱ けいすかん 情報 やってた時やったから。

976B : うん。

977A : ほの あのの人に 来てもろて やってん で 謝礼も なんやら わかったような わからんような 年の 終わりに いくらか 持ってくとかって してあったんや。

978B : あー ほうかほうか。

- 979A：ほだら ほの人が どっかへもう 転勤やら なんやで #####いって  
まったんや## なが
- 980B：うん 今 曳山博物館や。
- 981A：うん。 ##### まあ ほんで やらさ やらされたわけで## 行って
- 982B：うん。
- 983A：ほして もう 絶対 ほこへ ここへ 指導に 来たら あかんって 言われとっ  
たんや。
- 984B：え。
- 985A：ほやで↑。
- 986B：ほうかー。
- 987A：うん ほ一で ほたら 中も なんや ○○○さんとの この #####。
- 988B：#####わからへん。
- 989A：で 結局な 結局 あの人は 京都の なんやら 文化博物館か どっかの じょ  
教授か なんか しらん ### 行ってもて 京都へ か 行ってまあった##  
○○○○さんは
- 990B：え 今 ほんなとこに
- 991A：やあれん やあれん もう。
- 992B：ひ 曳山博物館 いやあれへんの。
- 993A：いやあれん いやあれん。 もう はように あれ はように もう やめてもう  
て 行って#####。
- 994B：あれ ほうか わし #####。
- 995A：ええとこが 次 見つかって 行って やめてまあった。
- 996B：ほうか。
- 997A：ほんで もう ほんな もう なんでて けったくそわりいっちゅう感じ やった  
#。
- 998B：ふーん。
- 999A：ほして ほ一ずっと あの人の やあれんなったわけや。
- 1000B：ふーん。
- 1001A：ほしたら もう 誰に どうする 分からへんやん。
- 1002B：うん。
- 1003A：ほん時の ほんで 会長 やったら ○○○○○○さん。
- 1004B：○○○さん。
- 1005A：あんの人が 苦労してー
- 1006B：うん。
- 1007A：講師を 代わって しゃあってん。
- 1008B：うん。



- 1009A：ほんで ちょうど 博覧会の 時期なとったから
- 1010B：うんうん。
- 1011A：ほんで シンチョウコウキを どっかか ネットから ひろてきたり なんかして  
毎時間 毎時間 こ 前に まいし 月 毎月 あの人が 講師し して
- 1012B：〇〇〇〇さんが してやったん。
- 1013A：しやあったんや。
- 1014B：〇〇〇さんが。{笑}
- 1015A：ほんで ほれを 次にな 誰に 交代するにしても もう 種が ねえんなもん
- 1016B：うん。
- 1017A：個人が せんなんで。
- 1018B：うんうん。
- 1019A：えらいこっちゃ えらいこっちゃ こんなもん 絶対 〇〇〇〇さん やってくれ  
# 「A さんして A さんあの ネットに ブログに 作っとくの あれ やって  
くれたら ええさけ」 って### 言ってや# まかしとうと おもっとたんや。
- 1020B：{笑}
- 1021A：こんなもん 絶対 してられん こんなもん やったら お前 ほして みんな  
眠たそうな顔して こうやって 聞いているしね
- 1022B：うん
- 1023A：で #### と思ってもう
- 1024B：{笑}
- 1025A：ほして 〇〇〇〇さんは もう 体も 悪 さかいやか 知らん まあ や やめ  
代わってほしい ちゅうことなつて。
- 1026B：うん。
- 1027A：で 〇〇〇〇さんに 代わった##。
- 1028B：〇〇〇〇 誰やな。
- 1029A：〇〇〇〇〇〇〇さんゆうて 〇〇の人。
- 1030B：〇〇の人
- 1031A：うん ほんで ほの人に 代わるときに あの 相談に いかあったらしいわ
- 1032B：うん。
- 1033A：あの 長浜城へ。
- 1034B：うん。
- 1035A：ほしたら 今まで 〇〇〇ッさんやってもうたけど か こ こういうことなつて  
きたし
- 1036B：うんうん。
- 1037A：そないかったら ほしたら あのー 出前講座みたいなものが ある##
- 1038B：あー はいはいはい あるある。

1039A : ああゆう 感じで うちの 職員を わりあててて

1040B : うん。

1041A : 行ってもらように しょっちゅう ことに なったんや。

1042B : ふーん。{笑}

1043A : ほして えー ま 講師料は っていうことやわな

1044B : うん。

1045A : ほしたら もう 公務員やし

1046B : うん。

1047A : いらんて ま 一応いわある。

1048B : 一応や。

1049A : 一応。

1050B : 一応。

1051A : 一応 ほう いわあって

1052B : うん。

1053A : ほんでー ほやけど まあ あかんで ちゅう話で

1054B : うん。

1055A : 2 千 ちゅう話 あったんやけど

1056B : お車代ちゅうやつ お車代 ##

1057A : うん 2 千円で やっぱ 出すにしても 2 千円だ あかん ## ちゅって 3 千円  
つつんで。

1058B : うん。

1059A : ほれで 順番に ふた 2 回ずつ ## さん きやあったり 誰やら きやあった  
り

1060B : うん。

1061A : 順番に 来てくれやって。

1062B : うん。

1063A : まあ うち 10 回だけですけど↑

1064B : うん。

1065A : あの 冬 やめるさかい

1066B : うん。

1067A : 10 回だけ ほんでも してくれやって。

1068B : ふーん。

1069A : ほんで この 1 年 楽やったんすわ。

1070B : ほー。

1071A : 若干この 北学区に 関係の あるようなことを ちょっといれたりね。

1072B : あー。

1073A：してやってくれやあって。

1074B：ふーん。

1075A：ほんで いつも 聞ってるだけで まあ 一応 ほれ 進んで ほして さあ この次 どうするか ちゅう話や 来年な。

1076B：うんうん。

1077A：んで もうちょっと 中野区ともしたいってゆう 話も えらい 言ってあって しまったけど。

1078B：うん。

1079A：ふんっ そんなめんどくさいこと したるかいなちゅって。

1080B：うん。

1081A：や ○○○○さんが長で わしが 一応 副になったある。

1082B：あーほうかほうか。

1083A：ほんな もう こんなええ やり方で 長浜城が 応援してくれあって で 3千円で あの 下草は 1万円やのにな 3千円で こらえてくれやあるということ を 考えるとやで こんな ラッキーな あの 形は ないさかいに。

1084B：ねー うん。

1085A：こっちから 崩す必要ないと。

1086B：うんうん。

1087A：あの うちらの方からな やめてもうて うちは

1088B：ほうやほうやほうや うん。

1089A：これで 来年 してくれって 頼みに行つて いやー あれもね なかなか ## が 難しなつてきましたから とか いわはつたらね。

1090B：うん。

1091A：金額が 足らんねやと。{笑}

1092B：{笑}

1093A：ほんで なんとか いっぺん 様子うかがいに いこゆうて こないだ ほんで あの ○○○○さんと 二人で 行つた

1094B：うん。

1095A：ほしたら ああ 分かりましたよ ほんなん やつたら もう あの 来年も おんなじように 計画したら ええんですね 二人ずつ 割り当て↑

1096B：うん。

1097A：あそこの 埋蔵文化センターの人もいれて

1098B：うん。

1099A：ほんで 割り当てますから ちゅて

1100B：ふーん。

1101A：わしらは もし 受ける側やつたらな まあ 頼むのはええけど

1102B：うん。

1103A：どういう テーマが してほしいとかな。

1104B：うん。

1105A：希望が あるんやとか こういう 分野のことが 書いてから 来ないな って言うかもしれないけどな。

1106B：うん。

1107A：なんにも 関係なしに

1108B：あー ほうか。{笑}

1109A：ほんで もう 二人で 帰って来て おい、あれ 3千円で 充分や。{笑}

1110B：{笑}

1111B：今は 会員さん 何人やの

1112A：じゅう一 4人か5人か

1113B：14人 ほんで あー ほうか。{笑}

1114A：ほんで えらい あのー もし あの 形が 変わると↑。

1115B：うん。

1116A：あの し 下草さん も ほうやし#。

1117B：あー なるほど。

1118A：ほんで もう ##### ちょっと 言いにくいな。{笑}

1119B：{笑}

1120A：あんた やめてちゅう わけにいかんや# うん なー いわあったな どうも 会計 いきまへんちゅうわけに いかんわけやな。

1121B：うん あの 金わね。

1122A：うん。

1123B：あんがいと あのー 潤沢に まわったってね。

1124A：なんでやの。

1125B：ほんでー え あの もう どうもないんやわ ほんで。

1126A：よっぽど なんか ためた 金 あんの。

1127B：うん ほの前 前からの やつもあったし。

1128A：うん。

1129B：ほして ほの 本作って。

1130A：あ。

1131B：寄付ー やったか。

1132A：あー。

1133B：ほういうので ま あったし ちょっと あ あま あまった ほ ほういう金もあること あんねん。

1134A：ふーん。

- 1135B：## あの 1万2千円以外の金 1万2千円以外の 金があるもんで。{笑}
- 1136A：なるほど 金持ちなんや。
- 1137B：{笑}
- 1138A：で 金に いとめを つけやれへん。
- 1139B：うん ほんなんなで 今 やっとんねんやけどな。
- 1140A：ふーん あーほうか ほな 11人で。
- 1141B：うん。
- 1142A：一万円の講師料 はろてると。
- 1143B：はろてると ほら ほや ほれだけやったらほんと と とてもじゃないけど。
- 1144A：自分らの なんかも せんなんやしの↑。
- 1145B：うん。
- 1146A：あ ほうか ほんな ほんで 金持ちやから ほんで なんとかなってる。
- 1147B：{笑}
- 1148A：ほうですか。
- 1149B：うん。
- 1150A：ほんな いや ほんで 下草の人 それ いっぺん 聞いてみて
- 1151B：うん。
- 1152A：こういう やり方が一って 言って い 冷やかしたろと思って。{笑}
- 1153B：{笑}
- 1154A：あーあー。
- 1155B：なるほど うん。{笑}
- 1156A：誰やら 誰やったかな ここらへんの おこないを 調べてる人が いて↑。
- 1157B：うん。
- 1158A：この人にも 来て 喋らしましょかって ちゅって ゆうてあったのは ほーいや。
- 1159B：あ ほんま。
- 1160A：うん。
- 1161B：ふーん。
- 1162A：○○○さんに言うと
- 1163B：うん。
- 1164A：あの一 その人が ### 紹介してくれやるかもしれんね。{笑}
- 1165B：おこないは 一番よう やってあんのは ○○○○さんや 前の館長。
- 1166A：あー。
- 1167B：{笑}
- 1168A：ほや うん あの人やな。
- 1169B：うん。
- 1170A：あの人の ことやったんやろか。

1171B : ○○○○さんは。

1172A : あ　なんか　あの人のことやったかな。

1173B : うんうん。

1174A : なんか　違う人みたいに　思ったけど　あの人のことやったんか　なるほど。

1175B : うんうん。

1176A : あー　ほやほや　ほして　あの　あれな　あの一　あそこの　ハウグの岩谷　岩穴  
あの一

1177B : あん↑。

1178A : あ　ホングウの

1179B : あ　あー　あの一イキオクのか↑。

1180A : イキオク。

1181B : イキオクのか　ほーほーほー。

1182A : うん　あれを　研究してある

1183B : も　も####　守屋さんの隠れたっちゅう　わ　洞窟↑　洞窟。

1184A : 守屋　うん　うん　ほんで　あ　あれを　研究してある

1185B : うん。

1186A : 人が　いやあんねやって。

1187B : うん。

1188A : 洞窟の　中を　調べたり。

1189B : うん。

1190A : ほれが　どっか　どっか　安土のけん　じょ　###館かなんか　どっかの

1191B : うん。

1192A : あの　人やっちゅうてあった　僕は　おこないは　ほうや　○○○○さんやな

1193B : うん。

1194A : うん　勘違いした。

1195B : {笑} うーん

1196A : ほで　ついでに　きあった時に

1197B : うん。

1198A : ○○○○さんがな

1199B : うん。

1200A : いま　この話　してくれて　○○○○さん　ここへ　きあった時な　いろいろ　喋  
ってくれあったのは

1201B : うん。

1202A : ええねんけど　あの　も　も　物部守屋の↑。

1203B : うん。

1204A : 伝説があるけど

- 1205B : うん。
- 1206A : あんなものは まったくの 嘘っぱちで↑
- 1207B : うん。
- 1208A : あの 大阪で 死んでるので↑
- 1209B : うん。
- 1210A : あの そういう 俗説が ありますがって ばーって いうてんわ。
- 1211B : うん。{笑}
- 1212A : ほんで わしも むかついて
- 1213B : うん。
- 1214A : いや そら いろんな説があるし それぞれんところで 話しがな
- 1215B : うん。
- 1216A : あるんで あの 一概に そう 言い切ること できんし あのー 影武者が む  
こうで 落ちて
- 1217B : うん。
- 1218A : ほの 本人は 逃れて 暮らしたってことも あるしやな なにが なんか 歴史  
は 分かんしって ちゅってんけどね なんやら は一っとしたた 顔しやって
- 1219B : {笑}
- 1220A : ほんで あと みんな ようここへ きて こんな話を 長浜城が しよんでちゅ  
うて
- 1221B : 後からの話や
- 1222A : みんな ぶつぶつ ぶつぶつ
- 1223B : ぼろくそやろ
- 1224A : ほや ぼろくそや なんちゅうやっちゃ ていうて いうて 来年から もう 頼  
むなって。{笑}
- 1225B : なんちゅう奴や。
- 1226A : ちゃ ほんで もう こう むかっぱらの 立ちついでにな
- 1227B : うん。
- 1228A : あの むこうへいって
- 1229B : うん。
- 1230A : 行ったときにな。
- 1231B : うん。
- 1232A : ○○○さんに ○○○○さん ご指導いただき 物部守屋の 話が でてきたから
- 1233B : うん。
- 1234A : ほれ ほんで あの 安土城か だれか 調べようと してある人も いやあんね  
んやから
- 1235B : うん。

1236A：やっぱ ほの人は 嘘で や なんや なんか 一応 調べ

1237B：うん。

1238A：ほんで この機会に 言わなあかんと思って ○○○○さんが きてくれあった時に↑ もう てんと 相手してくれあれんで なんやら 地元は 馬鹿なもんを 信じてるみたいに {笑} 言い方 しゃありましたって 言いつけたった。

1239B：{笑}

1240A：なんちゅうことを 言う。{笑}

1241B：{笑}

1242A：ほんなもん ○○○さんでも 郷に 関してやな 嘘やと 思ってながら みな あの {笑} #####

1243B：○○○さんでも

1244A：なあ ほれが 歴史家やのにやね 自分で 決めた顔して あほなこと いうてって いうて ああ ○○○さんも あの えらい ## て ちょっと お 怒ってあった か## の #####しれん。

1245B：地元 行って なにを いうねんて ### 地元 行って何を #####。

1246A：ほうや 殺されてもうで ほん。{笑}

1247B：{笑}

1248A：ほんで いっぺん あの ○○○○○○さんに 聞かしたって {笑}

1249B：{笑}

1250A：あーあー おもしろい うん #####は あれは あの 発掘のほうに 行かんたな。

1251B：ほうや 遺跡発掘のほうが

1252A：ね。

1253B：主と。

1254A：うんうん。

1255B：ちゃうかいな あの人は うん。

1256A：ほやな ほんで あの人の ここにも 来やあった時も よらあってなんだっけ↑。朝 どのの あ どっか旅行に 行ったっけ 来てもろて 喋るとな。

1257B：うん。

1258A：あの 私は これを 本職でないから これは 私は 本当の あれでは ないさか あ ○○○○さん や# #####。

1259B：うんうんうんうん。{笑}

1260A：○○○○さん ##### 自分で 刀のことは て ##### ##いわあんねやわ。 発掘でなんや 発掘を やってましたので↑。

1261B：うん。

1262A：歴史のことは あんまり 詳し ンなん 黙ってたら ええねん。



1263B : {笑}

1264A : やって 正直なんかね 聞いてるもんは だんだん 退屈なってきて #####  
んー。

1265B : や あのな わしは あの の ○○○○さんは 五先賢の館で 去年の 夏やっ  
たかな。

1266A : うん なんやら ありまし

1267B : 拓本 あ あの 拓本

1268A : あ 拓本か。

1269B : 拓本作り。

1270A : あー へー。

1271B : 拓本作り。

1272A : あー。

1273B : ほの時 い 行ったら

1274A : ほー。

1275B : ##### ○○○○さん# #####

1276A : あーそうか。

1277B : ## #####

1278A : うまいこと やらありました↑。

1279B : うん 拓本作り##

1280A : うん あそこで # 何を 拓本 しあったん↑。

1281B : 拓本で##### #####んや ちゅうて うん↑。

1282A : 何 何を た 何を 材料に 拓本

1283B : あの あの むこうに あの 五先賢の館に 灯籠と

1284A : うん。

1285B : ほして 石柱に まあ 文字が はったるの

1286A : うん。

1287B : で ほして 地蔵さんみたいなん ちょっと 御蔵の 石も

1288A : うんうん。

1289B : あそこに 南側に

1290A : ほー 外にあるの

1291B : ほれを うん 外にあるやつを

1292A : うんうん。

1293B : こうやって するんやっちゅうて

1294A : #

1295B : 一応 はじめは 講義して

1296A : あー。

1297B：後は で 実地や ちゅうて

1298A：あー そうですか。

1299B：うんうんうん。 で

1300A：今年も するかもしれんとか いうてあったからやけど けど。

1301B：うん↑。

1302A：俺 去年 いったんさかいに

1303B：あー。

1304A：ふーん

1305B：ほれ ## 行きました ## ほんで # で ○○○○さん はな 話した。

{笑} うん。

1306A：がつくりきた。

1307B：{笑}

1308A：あー。

1309B：うーん。

1310A：いやー あの ぶん ぶん

1311B：うん。

1312A：あの あー ほや 文化協会からも 金が はじめ いったんやろ↑。 あの  
ー れき 歴史の会に。

1313B：あーうん。

1314A：あの時分は ようけ金が あった 時分やから。

1315B：うん。

1316A：ほで 特にあの 文化協会の 予算も

1317B：うん。

1318A：ほの一 ぶん 教室の人が 自分で つこてまわると。

1319B：うん。

1320A：つこてまわることに つかある場合は あんまり 金は 出さんとこと。

1321B：うん。

1322A：ところが 村のひ 村というか 町民を 集めて 講演会やら

1323B：うん。

1324A：ちゅうかたちに ほれをつかあると。

1325B：うん。

1326A：たくさん 金 出そうってゆう なったあったんや。

1327B：うん。

1328A：ほんで 結構 下草のは ようけ いったって あの一

1329B：あの ふるさと講演会ちゅうのを

1330A：あー ふるさところ 名前がついてあった。

- 1331B：うん ふるさと講演会 で  
 1332A：うん。  
 1333B：ほれは まあ ○○○さん  
 1334A：うん。  
 1335B：もう 専属や。  
 1336A：うん。  
 1337B：うん ○○○さんに  
 1338A：うんうんうん。  
 1339B：あの あの 来て  
 1340A：うんうん。  
 1341B：年に3回。  
 1342A：うん。  
 1343B：やっと思ったん。  
 1344A：うんうん。  
 1345B：ふんで そやけど  
 1346A：ほんで。  
 1347B：ずーっと  
 1348A：うん。 こう  
 1349B：ほれがほんで もう 20 去年で 最終 22 か 23 か 2回やったか 3回や そ  
 の  
 1350A：ふーん。  
 1351B：続いたのかな↑。  
 1352A：ふーん。  
 1353B：うん ふるさ ふるさと講演会ちゅうやつを やったん。  
 1354A：ふーん。  
 1355B：うん。  
 1356A：ほや ほして  
 1357B：ほれで 一応  
 1358A：ま##  
 1359B：あの一 郷土史の 名前だけでは いかんもんで。  
 1360A：うん。  
 1361B：公民館の名前と りよ  
 1362A：うん。  
 1363B：きょう 共催の ような形で  
 1364A：ふーん。  
 1365B：下草の公民館と 下草の郷土史研究会とで。

1366A : あー なるほど。

1367B : りょ 連名で#で ふんで それは チラシは もう あの まあ あの く 区  
長に だーっと もう 各 は あの 配布っていうことで。

1368A : あー。

1369B : うん で その 印刷なんかは まあ 公民館で やってもらうつう ことで

1370A : うーん。

1371B : したんやけど。

1372A : ほんで あと 販売は どうしあったん↑。

1373B : あ 本か↑。

1374A : うん。

1375B : 本はね 下草のみなさんに 会員が あの もってあげた。

1376A : もってあげた ちゅうことは ただで。

1377B : うん ううん 千円。

1378A : せ 千円。

1379B : 千円 千円で。

1380A : ふーん なるほど。

1381B : 千円で 売って歩いた。

1382A : あー そっかそっか。

1383B : うん。

1384A : 田根 の 景観情報は わりに ざーっと したもんやったんやけど。

1385B : うん。

1386A : ○○○○さんが ほの パソコンの ね

1387B : うん。

1388A : あの 写真やらなんかを

1389B : うん。

1390A : CD に 焼いたりすんのは 得意中の 得意なんや。

1391B : あー ほうか。

1392A : ほんで ビデオ撮ったやつを

1393B : うん。

1394A : ほんで ずっと まわったりって とらあったやつを 上下 2 巻の CD に 焼  
き付けて。

1395B : うん。

1396A : ほして ほれを 2 枚つけて。

1397B : うん

1398A : ほして あの ほの 冊子と 一緒に 配らあった。

1399B : ほー。

- 1400A : ほやったら 千円にしても ええゆうてるのに。
- 1401B : うん。
- 1402A : 売るのは 500 円でええって。 CD は ほら 一枚 90 円 #####。
- 1403B : ##### 安もんや 安いもんや。
- 1404A : ##### やくのは が ## 手間いるしね ほやけど ほれはもう ええさかい ゆうて。
- 1405B : うん。
- 1406A : 本代も いくらとは なってないやってな 本も 印刷は どっかの 紙は 文化えー 城の紙 つこてるんかな↑。
- 1407B : あー ほうかー。
- 1408A : うん ふんで 表紙は 昔の 上草ののは ガチーンとした表紙やったけど。
- 1409B : ##### ほうや。
- 1410A : もう はじめに はじめに 何 ゆうたかゆうたら ファイルに 綴じると
- 1411B : うん。
- 1412A : あの
- 1413B : {笑}
- 1414A : 印刷はもう 城が してくれるさかい ほれを ファイルを こうてきて。
- 1415B : うん。
- 1416A : それに 綴じて パチンてして するんや ほんなもん せっかく 本を 作ってきてー。
- 1417B : #####。
- 1418A : ほんなもん 本でないで そんなものは いって バラバラなってまうし 言うて いっぺん ほんな ほんでも ほれ ほれ以上のことは もう 長浜城は してくれよらんで 話やったんやけど#。
- 1419B : うん。
- 1420A : ふんで ま 交渉したら
- 1421B : うん。
- 1422A : あの 一応 あの 一番 やくざなんで ええさかいうたら 学問 き 研究物やら 刷るときに 学校の中の 研究物したり 子供の 作文 刷るときでも # それでも ええ
- 1423B : {笑}
- 1424A : ほんな もう せんといていうて ほで した いったら ああ ほれやったら もう さすさかい いうことで 予算でたから
- 1425B : うん。
- 1426A : まあ やけど ほれでも いかいなもんやから。
- 1427B : うん。

1428A: んで ほれを 500 円 ちゅうことで

1429B: うん。

1430A: ## ## 売るちゅ ことになった。

1431B: ふーん。

1432A: ほんで こっちから あまり 収入は 入りまへん。

1433B: {笑}

1434A: ほんかわり ほんで あのー 皆 売ってもらう いて

1435B: うん。

1436A: あれ 同窓会にな

1437B: うん。

1438A: あの ○○○○さんが ほの 自分の 同級生 集めて 同窓会を どっか 菅谷  
か どっかで やらあってん。

1439B: うん。

1440A: ほんとき ほれ もってって 売らあったんや。

1441B: うん。

1442A: あのー

1443B: ほー。

1444A: こういうもんが できた ほら 遠い所の人は 喜ばあるわいな。

1445B: ほら ほうや。

1446A: ふるさとこと 書いてある地図が あり 写真が あって 500 円やから ##。

1447B: うん。

1448A: わしも 大阪で 同窓会 しょった時に

1449B: うん。

1450A: 5 冊 持って あんま ようけ 持っても 売れんと 悪いと思って。

1451B: {笑}

1452A: 5 冊 持ってったら あの ちゃんと 売れた。

1453B: おー。{笑}

1454A: うん 商売しま ##。

1455B: 商売 {笑} あーなるほど。

1456A: んー。

1457B: へー あの し あの CD 2 枚っちゅうのおは 中身は ものすごい 量は 多  
い 写真は 多いんですかね↑。

1458A: ほうやね。

1459B: しゃ 写真 写真の数にしたら な なん

1460A: ああ。

1461B: 何百枚ちゅう くらい 量に なるの。

- 1462A: ほうわやな 何百枚で 知らんけど 全部の 本の あの こう あれ なったる  
のを 写真を 撮って 歩いとかあり な↑。
- 1463B: うん。
- 1464A: 写真一は 出てくるのかいな。 映像が 出てきた##。
- 1465B: 映像が 出た#。
- 1466A: うん。
- 1467B: ほー ほうか。
- 1468A: で まあ 撮って 歩いとかある#####でな↑。
- 1469B: あー。
- 1470A: けっこう ほれだけでも 値打ちなんや。
- 1471B: おー ほ ほら ##### ほー。
- 1472A: 自分のとこしか 見とかんけど。{笑}
- 1473B: {笑}
- 1474A: あー ほんで 上草の 上草の の あの 文化協会で あの どこへ いくら  
配るかっていうの やってるときね↑。
- 1475B: うん。
- 1476A: 下草のは なんや これはもう 講師先生の 講師を してあるだけ だけに 請  
求したる わけやろ↑。
- 1477B: {笑}
- 1478A: ほんなものに 金 出すんかいな 文化協会 ないでちゅう 話やったんや はじ  
めは。
- 1479B: {笑}
- 1480A: ところが だんだん ほの 文化協会だけで 金 つこてると あかんちゅうこと  
なってきた
- 1481B: うん。
- 1482A: みんなに 還元することに 金 つこたのに
- 1483B: うん。
- 1484A: ようけ 金を 渡そって いうこと なった##。
- 1485B: あー ほうやったん。
- 1486A: ほんで うん。 ほんで
- 1487B: うん。
- 1488A: 下草のあたりの あれは あの い 一番
- 1489B: ##
- 1490A: 平等割りで いくら 渡し
- 1491B: うんうん。
- 1492A: 会員割りで いくら 渡し 活動割りで いくら 渡すちゅうふうにして 計算し

- て 配ったあんねん ## あの 金額は
- 1493B : あー ほんで おるりるのか ### あれは。「笑」
- 1494A : ほんで あの 普通の とこと 比べると 多いんで。
- 1495B : 多いんや {笑} あー なるほど。
- 1496A : ほんで ほんで うちのな あの 卑怯な 陶芸
- 1497B : うん。
- 1498A : 僕らの 陶芸もな
- 1499B : うん。
- 1500A : なるべく この ちゅうことで
- 1501B : うん。
- 1502A : あの か う ##### わな。
- 1503B : う。。
- 1504A : 選挙の 事務所の 選挙事務所 あ # 投票所に なったときに
- 1505B : うん。
- 1506A : あの ほこの 投票所に 並べよんねん 茶碗を。
- 1507B : あー。
- 1508A : ### 焼いたもんを。
- 1509B : うん。
- 1510A : ほーと ほれで 展覧会やろ。
- 1511B : うん。
- 1512A : ほーと 民間の人 みんなに###。
- 1513B : 見て 見てもらえると。
- 1514A : ほいで 一回
- 1515B : うん。
- 1516A : いくらとか 言うて
- 1517B : あ 今 あの 陶芸 やってあるの。
- 1518A : うん。
- 1519B : あれは あん ○○○さん。
- 1520A : ○○○さん。 ○○○さん。
- 1521B : ○○○さん 講師を タキオさんでやってやる
- 1522A : うんうんうんうん。
- 1523B : で 今 め メンバー 何人ほどで あれ やってやるん。
- 1524A : 今 いっつも いってるのは えーっと 今は ほか 二人 増えたから 5, 6 人やな。
- 1525B : 5, 6 人でやる。
- 1526A : 5, 6 人。



- 1527B：で あの一
- 1528A：###
- 1529B：公民館で。
- 1530A：公民館で。
- 1531B：な あの 七尾やさかい 田根の 公民館で やってる。
- 1532A：田根の 公民館で。 うん。
- 1533B：ふーん。
- 1534A：で 今から 12 3 年ま ま ぶ 文化協会が できたときに できたんやから
- 1535B：あ ほんなーに。
- 1536A：##で ほんで もう 10 年 ##こえた。
- 1537B：ほんなら もう 10 もう 10 15 6 年なるんや 15 6 年。
- 1538A：はいはい うん なった## 15 6 にはならんけど。
- 1539B：じゅう##ならんのか。
- 1540A：ほんで
- 1541B：あ ほうか。
- 1542A：ほんときに
- 1543B：じゅう あれ 平成じゅう うーん
- 1544A：いつやら 10 周年が あったんや。 うん。 もう
- 1545B：じゅう ううん じゅう 平成 10 年か 11 年か 10 10 10 に あ 12 ね  
12 3 年か。
- 1546A：ほうや。 ほうや。
- 1547B：12 3 年ぐらいやな 文化協会 できたのは。
- 1548A：ぼくが
- 1549B：ほうやほうやほうや。
- 1550A：教育委員会 よせてもろて
- 1551B：うん。
- 1552A：ほの時に ○○○○さんが
- 1553B：うん。
- 1554A：文化協会が いっぺん 実行委員会 作ったけど つぶれてもうたっと。
- 1555B：うん。
- 1556A：あんたは それを もう一度 つ。{笑}
- 1557B：#####。{笑}
- 1558A：難しい人らが なんやら ごちゃごちゃなって
- 1559B：うん。
- 1560A：つぶれてもうたんで 今度 ほれを 作るのと あの 上草の 中学校の 統合が
- 1561B：あー。

1562A：ふた一つの 問題やで。

1563B：あー #####。{笑}

1564A：ほんで ほや が 12 年ぐらい。

1565B：あ 12 年。 あー ほうやな。

1566A：なるほどね。 ほんで ほん時に ほの時がな あのー 20 人余り 会員が いた。

1567B：ほー。

1568A：子供も 含めて

1569B：あ 子供も。

1570A：うん 子供は まあ 二人だけやったけど↑。

1571B：ほー。

1572A：二人だけやったけど

1573B：うん。

1574A：ほれも 皆 ろくろがいるんですわ。 自分で 8 千円ぐらいの。

1575B：あー。

1576A：これが 大変やった ## 皆 まあ 一応 買わあって 20 人ぐらい ###。

1577B：ふーん。

1578A：ところが どんどこ どんどこ どんどこ どんどこ {笑} 子供も 中学校 行きよると もうできんとかね。

1579B：うん。

1580A：大学に 行きよる 短大 行ってまいよった。

1581B：うんうんうん。

1582A：あー もう 就職 しょったで 終わってもたし。 ほんで 奥さんらでも やってあって人 みな やめてもて 結局 もう 残ったん その時 残ったのは ぼくと 北 野田に 一人と 上 上野に 一人と

1583B：うん。

1584A：ほんだけ なって もうたんや。

1585B：ほー。

1586A：ほんで ○○○さんと 4 人。

1587B：うーんうん。

1588A：もうひと もう一人 ○○○○○○さんも 名前だけやねん ほんで まあ 講師 5 人や 5 人でないと あの 文化協会の 金が あたらんねん。

1589B：うん あー ほうや。

1590A：一応 5 人なんや 今は 二人 入って。

1591B：うん。

1592A：一人 きやあって ○○○さんが きやあったけど ほの人は 嫁さんと いろいろ

ろなって やめてまあったんで まあまあ また 7人ぐらいやな のべで

1593B：ふーん。

1594A：7 6人やな。

1595B：ほの ろくろ は

1596A：うん。

1597B：手で 回すん 電気で 回すん。

1598A：手で 手で 手で。

1599B：手で 回す。

1600A：みんな 手の上の こんな ちっこいやつ。

1601B：手 手 手の上で。

1602A：はい。

1603B：ずーっと 回して #####。

1604A：## そうです そうです そう##。

1605B：あー ほうか ほうか {笑} なるほど 手で 回して というような やつやな。

1606A：うん。

1607B：は一。

1608A：ほんで 今 いや ほんで 電動のろくろも

1609B：うん。

1610A：最初 20人ぐらいいんに

1611B：うん。

1612A：あの ○○○○○○さんて 知ってあるやろ↑。 あ か ○○の公民館の館長 した人や。

1613B：○○○ ○○

1614A：○○○○○○ ○○○して ○○ 黒部の人やけどな あ ○○○○○○○ (野球選手) の○○ちゅう字。

1615B：あー。

1616A：まあ ほの人が 公民館

1617B：あー。

1618A：館長 やってあった時にな 公民館のなんか ほれも なんか 予算が どっから おりてきたんかな。

1619B：うん。

1620A：ほいで 電動ろくろを 買わあったんや。

1621B：うん おー。

1622A：な はじめは 電動ろくろやって。

1623B：うん。

1624A：で 電動ろくろゆうたかて 一台しかない#####。

1625B：うーん。{笑}

1626A：20 人 いるやろ。

1627B：#####。

1628A：ほんな もう ##### ないねん ほんで もう 使わんと ほったら  
あ ほったらかしで。

1629B：###。

1630A：もう 今 4, 5 人になったらな

1631B：うん。

1632A：使うと ええねんやわ。

1633B：うん。

1634A：ところが 自由 できんさけ もう めんどくさいだけ もう こうやってして

1635B：うん。

1636A：一日に 一つ 茶碗が できるという。

1637B：あー。

1638A：うん。

1639B：ふーん。

1640A：# このごろはもう

1641B：いや あの こないだの 文化祭 出品 しとかあったでしょ↑。

1642A：あ。{笑}

1643B：うん。 あれ なんか 立派なもんや#と どーっと##。

1644A：## 恥ずかしいもん####。

1645B：いや #####。

1646A：これが もう 他の

1647B：ほで わしは あれ はじめ え わーしゃこんなことやってんで えー すご  
いなー##。{笑}

1648A：あれ ろくでもないもの ## あの 10 年あまって できたって いうふう  
にしては あかんねん あれは もう。

1649B：{笑}

1650A：週に 1 回だけやしね。

1651B：あー

1652A：週で 2 週間 つ 月に 2 回や##ね。

1653B：月に 2 回やってあんのんか。

1654A：うん あんな 全然 で あれも 自分で 焼いては いないの。 あの

1655B：あの ○○○さん。

1656A：そうそう ##。

1657B：も 持って帰って や や#。

- 1658A：うん 色も つけるの みんな や やってあ＃。
- 1659B：あ 色つけ もか↑。
- 1660A：ほんまは 色付けも 僕ら せな あかんねん。
- 1661B：色付け やってあらへんの 色。
- 1662A：やってない。＃＃ ま ほんと 形だけ 作って わた＃。
- 1663B：あー ほんまかー。
- 1664A：ほうですやん もう 内緒に 言うと。{笑}
- 1665B：＃＃＃＃＃＃ 焼くのは まあ ＃＃＃＃＃。
- 1666A：＃＃＃＃。
- 1667B：当然や 色付けは 当然 やってるやろと。
- 1668A：うんうんうんうんうんうん。 まあ まあね。
- 1669B：ばかり 思とったんやけども ちゃうの。
- 1670A：ほんで ろくでもない色 付けるさかい しゃくにさわるねん。{笑}
- 1671B：あらま あの 色付けしようと 思うと まあ
- 1672A：うん。
- 1673B：あ もういっぺん
- 1674A：＃＃ ＃＃＃＃＃＃＃
- 1675B：うん もう もう 2回せん
- 1676A：そうそう。
- 1677B：2回せん 2回せんならんね。
- 1678A：ほうです。
- 1679B：なんやけども
- 1680A：ほんで それぞれ 考えるなりして デザイン考えて。
- 1681B：うーん。
- 1682A：まあ でもー
- 1683B：うーん。
- 1684A：あの人もね 本職 あれや いいながら
- 1685B：{笑}
- 1686A：歌うたいやら ほんなん ばっか やってあるんや。 長浜で あの ＃＃＃＃＃  
＃＃＃＃＃
- 1687B：ほうや。{笑}
- 1688A：おばあはん 90 の人が 歌 歌いに きてやるとかいうて ＃＃＃＃＃＃せん ＃  
＃＃＃＃＃＃＃＃ 陶芸教室として 純然と ひらいたあるのは うちの あれ  
しか ないはずやで あの人の。
- 1689B：ほんまかいな。
- 1690A：うん ほんま ほんま 誰も 教えたらへん かるうじて わしら ならてたるだ

け##。

1691B：ふーん。

1692A：ただ ○○○学校の 講師かなんかで いってやんすさかい。

1693B：あー よう。

1694A：ほこで ね。

1695B：うん。

1696A：あの 実際 指導してあ いやある。

1697B：うーん。

1698A：陶芸家としての 仕事は これしか ないんやぞっていうて

1699B：{笑}

1700A：いうてたあるんやけど。

1701B：{笑}

1702A：あーあ。

1703B：ふーん ##か。{笑}

1704A：ほれが あのー 僕も 田根村 ちゃう うち あそこで 住んでなんだがな。

はよう やめてる ○○公民館の前ですやろ うちの家。

1705B：おー。

1706A：ほんで

1707B：あそこ 昔から おたくの家と ちゃうの。

1708A：いや 違う ちゃう あそこに あそこに 住んでなかったら。

1709B：あ 住んでなかったらか。{笑} あー すん 近くやで 公民館

1710A：近くやからな。

1711B：うんうん。 行けるっちゅうて。

1712A：ほんで みんなが きゃあるやろ↑。

1713B：うん。

1714A：ほんで ちょっと 今日は 都合悪い いうて 車 置いとって 行かんは いかんねや。

1715B：{笑} ほらほーや。 あ

1716A：あ。

1717B：都合 悪い ちゅうて 車 あるんかい みたいなもんや {。笑}

1718A：ほんで かえ 帰つとるの# わかる わかってまうやろ。 ほんで もう しょうがない しょうことなしに 行つて

1719B：{笑}

1720A：ほんで 残つて まあ おる 二人はな 結構 好きやから 残つとる奴や。

1721B：うん。

1722A：な。

- 1723B：あーほうか。
- 1724A：## 結構 上手に しよるは ほんで。
- 1725B：せや。 うん。
- 1726A：わしは なんやら 付き合いだけで 残ってた んー。
- 1727B：{笑} いやいやいや。
- 1728A：あー 恥ずかしなってくる。
- 1729B：うーん。{笑}
- 1730 /少し間/
- 1731A：ほんで あの 文化協会で あの あの 冊子も↑。 うちらも 作ったのは で  
あれを どう これから あとな 活用してくかっちゃうか。
- 1732B：うん。
- 1733A：ま 作っただけでも ほんで ほんで もう 終わってってまうのはな。
- 1734B：うん 今 私の もの なし。
- 1735A：なし。
- 1736B：全部。
- 1737A：うん。
- 1738B：全部 は はいてしまった。
- 1739A：あ はいてまあったん。
- 1740B：はえ##
- 1741A：あー なるほど うちんところ もうちょっと
- 1742B：全部 売れ まあ キッソウした<寄贈>。
- 1743A：うーん そう それあるわな。
- 1744B：全部で ごひゃ 500 部 作ったん。
- 1745A：あー そうかそうか。
- 1746B：で キッソウが ひゃ
- 1747A：500 部 つくらあったん。
- 1748B：うん 500。
- 1749A：うちらは 200 か ほこらへんやったと思うで。
- 1750B：500 つくって キソウが 100。
- 1751A：うーん。
- 1752B：あ あそこへ がばっと 渡したで 小学校に。
- 1753A：あー。
- 1754B：小学校に 20 冊 25 冊か。
- 1755A：うーん。
- 1756B：うん というの 教材として これ つこてください ちゅう
- 1757A：あーはいはいはい。 うん。 ほれは ええなー。

1758B : こと ぜ なにかのときに 全員 い

1759A : 一生に 使える。

1760B : いっぺんに 使える ちゅうので 25 冊やったかな。

1761A : ふーん。

1762B : うん 25 た たぶん うん ほで ほんれもう 含めて 130 ほど キソウした  
かな。

1763A : あー あ なるほどね。

1764B : で あと ほんで 全部。

1765A : うーん。

1766B : あの 有料です。

1767A : で 千円やと。

1768B : うん。

1769A : ちょっと 儲かったあんな↑。

1770B : うん ほや。{笑} うん。

1771A : ほな ほんで 後に な

1772B : 今は ほんで もう 全然 在庫 ぜろ。

1773A : あー ほうかほうか。

1774B : 在庫 ゼロです。

1775A : ふーん。

1776B : うんうん。

1777A : いや ほらー 将来 あーゆうふう

1778B : うん。

1779A : いったん まとめとくと 値打ちやと 思う。

1780B : うん。

1781A : ほらね みんな てんでん ばらばらで ##### 時に 前も ゆうたけど  
あの 在所の まあ 昔の ねー 古い 話を

1782B : あー ほうや。

1783A : 隣に 誰が 住んであったとか どこらへんに どういう家が 建ったあったとか  
ね。

1784B : うんうん。

1785A : あそこらへんと の なんや あの 鳥居の 腐ったのが あったんやったら #  
# あったら いうてあるんの あった ほれをちょっと メモしとかな あかん  
のやけど##。

1786B : {笑}

1787A : あとは

1788B : ほれが なかなかできんね。



- 1789A: ねー それしとかな あかんのやけどな ほれさえ ほれしとくと ちょっと 面  
白いんやけどね 残るのはね。
- 1790B: いや あのー 第一線 今は 時間的な 余裕が 出てきたもんで。
- 1791A: あーせやせや。
- 1792B: いくらでも で しょーと できるんやけども 前は ほれがな 自分する じ  
時間的余裕が なかった##。
- 1793A: #####。
- 1794B: 唯一 ほれやな。
- 1795A: ほうよ うちの 隣の ばあさんが 頭の ええ人でな。
- 1796B: うん。
- 1797A: なんでも みな 頭 受けとかあったんや。
- 1798B: ほー。
- 1799A: ほんでね ほの人と いつやら 一晚 喋って 一晚ちゅうか 一晚ではないかな。  
えー 夕方 喋って まあまあ ふなもん 10時ごろまで 喋ったやろ。
- 1800B: うんうん。 うんうん。
- 1801A: ほれを ほの こう ノートに メモしとくんやけど いかい 字で 書いたある  
はけい もう あれ
- 1802B: あー。
- 1803A: ノートの半分まで いかんけど けっこう いったんや。
- 1804B: ほー。
- 1805A: いかい字# いかい字でもう 1ペーしも ま これぐらいの字 書いてある##  
# しねやけど まあ どこやらの じいさんが やあったとか どやったら こ  
やったら あの人の歌が うまかったとか おまんこの じいさんは 柿の木か  
ら おって《落ちて》 あの 怪我 しゃあったもんやけ 歩きたんびに 足が い  
とて あいたたー あいたたー て###
- 1806B: {笑}
- 1807A: 言われたとか ##### ほんな あだ名までやらねえ して 誰や  
知らんが なんや しゃあったら ほこの家の ###に来る あの 黒い ##  
#できれいに つくらあったら こ# なんやらし なんやらで 落書きしよって。
- 1808B: 誰 {笑}
- 1809A: この 歌の 文 ##### 昔は ほんで さっきの話で  
ないや。
- 1810B: うん。
- 1811A: あの 情歌みたいなんを 作らんした やんすさかいに ほこの 主人を 冷やか  
すような
- 1812B: うん。

1813A : ほの 情歌を 作って

1814B : つくって。

1815A : ほの 壁にかけたらしいわ。

1816B : うん。

1817A : 壁っちゅうか ## ###に ま おそらく ###ていうか あの 杉の焼き  
板のどこへ 釘かなんかで かけたんちゃうかと 思うんやけど ほだ ほの歌の  
文句を ちゃんと 覚えとかあったんや。

1818B : ほう いや さっきも ほの あの おたくの 竹冠の うん の ## ###  
さんも 竹冠やし。 ほれは ほんで あのー 結婚式のときに

1819A : あ そう 余興に

1820B : よ よ 余興に つ 作らある。

1821A : 作ってくれやある。

1822B : つく ## ##

1823A : うん。

1824B : たいしたもんやな ほんでも

1825A : いや ほんで いま ほら 頭で 前もって 考えとかあるんやろと 思うで。

1826B : {笑}

1827A : あと #####こというたら 筆を 出してきて

1828B : うん。

1829A : ほれを ほうやって ここへ 書かあんねん 紙に

1830B : はあ。

1831A : ほして はらあるんや。

1832B : ほお。

1833A : ほして 宴会が 宴たけなわに なってくると うしろへ さがって。

1834B : うん。

1835A : ほの人は ほれを 吟じやある ##。

1836B : はあ へえ。

1837A : で 声もええ。

1838B : 声も。

1839A : ##### あの 作るのは 作らあんねや。

1840B : ああ。

1841A : ほんで ほの中に 歌うのの うまい人 ##。

1842B : うん。

1843A : で だれだれさん ほれを いっぺん よんどくないって いわあねん。

1844B : はあ。

1845A : ほと 二人の まあ 出しもんになるわけ。

1846B：ほお。

1847A：ほれ けっこう 昔 流行ってましたえ。

1848B：へえ。

1849A：わしら としөөたら どうするかな 思った。

1850B：うん。

1851A：で ##

1852B：いや 結婚式でっちゅ ゆわある# えーー まあ 高尚なことを 田根は や  
ってんねんなど 思って びっくりした。

1853A：いや む 昔は ほうでしたて ほんで

1854B：えー。

1855A：もはや もう 恥ずかしいことやけどな。

1856B：うん。

1857A：僕の 今言った 僕は ほの や ほれを 竹の冠 作った人は あの 郵便局長  
やった 僕より 3級か 4級 ○○○○○○さんの 同級生の人や。

1858B：あー。

1859A：ほんな上でも ないわな ほの人 作ってくれやって ほんだら 僕の 結婚式に  
わしの し 一級下のやつが 作りよったん#。

1860B：ああ ほうほう。

1861A：ほんで してくれよったん# ほの 一級下のやつが。

1862B：{笑} うん。

1863A：ほいつの 結婚式が くるがな お礼を せなあかんがな。

1864B：{笑} 払ったらええんや。

1865A：弱ってもうて ほんで ほん時 まあなんにも 自分でね 人に 作らわすわけに  
はいかん##。

1866B：うーん。

1867A：自分で 一応 原案みたいなのも 作って

1868B：作って うん。

1869A：ほんで 親類の おっさんに みてもろて {笑}

1870B：{笑}

1871A：あー 読むのも 誰かに 読んでもろたと 思うけど↑。

1872B：おー。

1873A：ほやほやって ほういう つきあい

1874B：ほー ほんななったら 結局 ほんな もう 結婚式やで まだ 若い時やんか。

1875A：うん。

1876B：ま 二十歳代やん。

1877A：おー そらそやな。

1878B：なー。

1879A：二十歳そこらじゅう うん。

1880B：若い時 若い時。

1881A：連れおびに きゃある人や#ね。

1882B：そやな。

1883A：また ほら ほんなかでも

1884B：うん。

1885A：としいった じいさんみたいな人が 分かった わしが 一つ 作ったろ とかい  
うて つくらあるしね。

1886B：## ## ほん ほれも あ なかにはある。

1887A：うん うん うん ほんで ほんな 何人もが しゃーるわけ ないけど。

1888B：うん。

1889A：ああ この結婚式は 行っても なんにも ぶらさがるもの なかったな とか  
思ってる時も あるしね。

1890B：ああ あほうか。

1891A：親類に あの ほういう人 やあれん ちゅう感じで。

1892B：いやー うん。

1893A：うん。

1894B：## わしには ほれ あの 家 家での 結婚式 い# 行ったけど。

1895A：あー。

1896B：ほーれは なかったなー。

1897A：なかったですかー。

1898B：ほんなのはー 北の郷には ないわー。{笑}

1899A：ほんと あの ふつう

1900B：あれは ないわ ##### さっき ### ええ なんと まあ 高畑は  
すごいなーと 思って なんと。

1901A：{笑} ほん ほんなことはない#。

1902B：高尚なことや 結婚式に ほうこと よう やってんねやと 思って。

1903A：まあ まあ や やったなー ほんとは ほの ##### 式 式の中へ のり  
つけて ペたっと

1904B：####

1905A：###。

1906B：ふーん {笑} へー。

1907A：まあ あの ばあさんとも ##### ちゅう ばあさんやけど あのひと もっ  
と よけ 喋っといたらね もっと。

1908B：うん。

- 1909A : ほの ほれ 見たら 昭和 40 年の 10 月何日て 書いてあんねやわ。  
 1910B : 40 年。  
 1911A : 40 年。  
 1912B : あら まあ。  
 1913A : わしが 教員に なってね  
 1914B : うんうんうん。  
 1915A : 教員なって 4 年目一や。  
 1916B : あー。  
 1917A : ちょっと 忙しなりかけた時期や。  
 1918B : うんうんうんうん。  
 1919A : また これ また 教えて また 聞くで 聞くで いうて。  
 1920B : うん。  
 1921A : ほれから 10 年もっと 生きてあったけど  
 1922B : うん。  
 1923A : 全然 行くこと 無かったわな。  
 1924B : {笑}  
 1925A : 割合 忙して あんとき もっと 聞いといたら  
 1926B : うん。  
 1927A : な いろいろ  
 1928B : うーん。  
 1929A : あったはずなんやけど。  
 1930B : ほうやほうやわ。  
 1931A : うーん。  
 1932B : # # #  
 1933A : んで 今 うちのばあさんが 暇にあかして 書きよった ノートが けっこう  
 あるんやな。  
 1934B : あるん。  
 1935A : あるんや 今。  
 1936B : あ # # # 早くから # # # # #  
 1937A : ちがう # 在所に中のこと  
 1938B : あ 在所の中の 出来事を  
 1939A : うん。  
 1940B : や とか そういう 昔の  
 1941A : 在所の  
 1942B : 在所の  
 1943A : 形式 式やら なんやら。

1944B : うん。

1945A : やの みな 多いの だいたい あの ○○○○○○さん 作っとかある ねえ  
ごっつい

1946B : うん。

1947A : あれが ありますやん ああいうので だいたい どこでも 一緒やけど。

1948B : うん。

1949A : ほれが まあ なんやら いろんなこと 含めながら 書いたあんねや。

1950B : ふーん。

1951A : 機織りを してたら 隣の井戸で ばーんと 音が したはけ 走ってったら あ  
のー 池ーへ 子供が はまってもうとったんやて。

1952B : ほー。

1953A : ほんで つるべに のせて あげようと すんやけど あがらんねやて あれ。

1954B : ほうほうほう。

1955A : もう 手が もう 手貸しとったら 離れてまいよって

1956B : ##### うん。

1957A : ほんで どうしよと思って また もういっぺん して 二へんめか 三べんめし  
たら ほしたら ようよう あの あがらんで

1958B : で あー。

1959A : ##### やんちゃな 子やっただけ って ## ほやった ##。

1960B : なーるほど。

1961A : ほんで そうこうしたら それと 同じ話を こっち 嫁いで来たら うちの前の  
ばあさんが

1962B : うんうん。

1963A : えー あれは 誰やしらん ○○ちゃんたら いう子か 誰かが 池へ はまらん  
た ほれを 助けるのに 憂い目に おうたって おんなじ 話が あるっちゅう  
意味のことが 書いてあったんやで。

1964B : あー ほう ほうか。

1965A : ほして

1966B : うん。

1967A : そうかと 思うと ほれは まあ ほやけど 在所の 東の 端から ずーっと  
一件一件のことについて

1968B : うん。

1969A : だいたい 一ペーしくらいずつ かいたある。

1970B : 家 い 各 家の #####

1971A : だれ どのとか# ほんで さん さん

1972B : よう ようまあ 調べや 調べやったな。

- 1973A：三代ほど前 よう 覚えてることだけ。
- 1974B：おぼえて うん。
- 1975A：で 三代ほど前 この人は どこへ# 来やあった。
- 1976B：うん。
- 1977A：この人は あん
- 1978B：##### うん
- 1979A：どっから 来やあったとかね ○○○○んどこでも 昔は あの 明治のどっかに  
来やあった##
- 1980B：####。{笑}
- 1981A：来やあって 酒屋さんを してやって
- 1982B：うん。
- 1983A：どこどこから 嫁さん きて
- 1984B：うん。
- 1985A：二人 子供は できて 一人は どこいって と どうやった。
- 1986B：うん。
- 1987A：ほして 次は 今
- 1988B：うん。
- 1989A：もう 若嫁さんは どこから 来やあって 子供は 何人で
- 1990B：うーん。
- 1991A：ずーっと はしっこに 書いてある 表題が。
- 1992B：は一。
- 1993A：ほんで ほこに ずーっと ほれから あと。 だぁーと 書かれてあんの 何が  
あるか
- 1994B：は一。
- 1995B：さっきの あの ○○○○んこの 四男やで。
- 1996B：{笑}
- 1997A：微妙ーなことも 書いたあんねや。
- 1998B：{笑}
- 1999A：ほれ以上もっと 微妙なこと 書いたあんねん。
- 2000B：うん。
- 2001A：ていうのは その
- 2002B：{笑}
- 2003A：あの 病院 入院してるうちに
- 2004B：うん。
- 2005A：すごい 女の人と 仲良くなって#。{笑}
- 2006B：{笑} あんなことまで かいとるか

2007A : ほんで 公開できん も この かぞ あの人は もう 知らん顔して もう  
暮らしてあるはずやでね。

2008B : うーん。

2009A : もう 今は かろうじて覚えてるけど あとになると みな 忘れやある。 ##  
## ### 消えたあるはずなん それがあるばかりに その家には そう  
いう {笑} おどろおどろしい 歴史が 残ってまうという。{笑}



談話 10

会話参加者：男性 2 名（A：1924 年生（88），B：1942 生（70））

参加者同士の関係：友人

文字化時間：28 分 46 秒

会話収録日：2013 年 2 月

- 1A：まあ 子どもんときの 遊びはな もー いわゆる 町中の 商店街 いろいろ あ  
ゆ 遊び道具は 売ってなかったでな。 ま 自分で 作って 自分で 遊ぶ 遊ぶ  
程度やでな↑。
- 2B：うん。 そうやな。
- 3A：まあ いわゆる 竹馬とか
- 4B：うん。
- 5A：な あのー 今の いろんな あのー
- 6B：昔はな。
- 7A：昔は カルタでも あったけど。
- 8B：うん。
- 9A：なー ありましたけどねー。
- 10B：竹馬も ほやなー。
- 11A：な。{笑い}
- 12B：竹で あのー
- 13A：そう##
- 14B：こ 竹で 自分で みな 作って。
- 15A：つく 作って あれ
- 16B：それと もう一つは
- 17A：うん。
- 18B：あのー あれやな， あの 竹とんぼ。
- 19A：そうそそう。
- 20B：竹とんぼー 削って
- 21A：んー そうそそう。
- 22B：小刀で 削って
- 23A：#### 削って
- 24B：削って ほで あのー これも
- 25A：# ###
- 26B：親父に 教えてもうてな。
- 27A：うん そうそう な ##
- 28B：親父に 教えてもうて あの
- 29A：やったな。

30B：あの こう # 飛ばして 飛ばしあっこしたもんな。

31A：な。

32B：ずーっと

33A：そう。

34B：遠くへ 飛んだほうが

35A：で 僕らはね 小学校の 校庭でな

36B：うん。

37A：## 広っぱやで

38B：うん。

39A：そこで 竹馬とか いわゆる そういう 遊び それから あの けんぱーち なん  
か こう こやって 足で ぽんぽん 飛んで やる あー あの あれ

40B：あー けん（+ぱ） うんうんうん。

41A：けんぱーち いうたんか↑。

42B：うん。

43A：そんなん やったりな。

44B：ほうやな。

45A：あの一 小さい時は↑。

46B：それと あの一 僕らの一 時は あの 田んぼでな 田んぼが もう 稲刈った後  
な↑。

47A：おー

48B：あの クニサシ ちゅうて

49A：おー。

50B：やられませんでした《やられませんでした》。 あの

51A：おー。

52B：しゃあれんかった クニサシで この

53A：うん。

54B：あの一 あの 陣地を 取っていくっちゅうかな。

55A：おー。

56B：これを 線 引いてって

57A：おー。

58B：田んぼが もう

59A：うん。

60B：あの ちょんぼ が できて あの

61A：うん。

62B：その あの一 田んぼが かとなるでしょ《固くなるでしょう》。

63A：おー。

- 64B：と ほこ 中へ 入って 子供の 時分に  
 65A：おー。  
 66B：あの クニサシ て。  
 67A：うん。  
 68B：ほんで 線を 書いていく  
 69A：あー。  
 70B：そんなことを やられたことない↑。  
 71A：ぼ 僕ら あの 私 神田やな↑。  
 72B：うん  
 73A：ま 神田で ま ずっと 育って あの一 おったもんやけど。  
 74B：うん。  
 75A：まー 小さい時は 神田あたりでは だいたい 校庭 よってで みんなはな。  
 76B：うん。  
 77A：ま けんぱしたり ま 竹馬とか ほから あの一 坊主のあて な あー そうい  
 うこと やって。  
 78B：坊主のあて な。  
 79A：なに んー でま も あ#### あの一 案外ね うちの小学校はね 昼間  
 休みの日曜でもね あの一 せんせ（+い） 当直の先生が 部屋 かしてくれある  
 もんやで。  
 80B：うん。  
 81A：みんな 寄ってきてな その中で あの一 かるたとか いろいろ すごろく とか  
 いろんな。  
 82B：うん。  
 83A：で かるも はやしたよ。  
 84B：うん。  
 85A：ほんで 部屋で  
 86B：かるも あったね。  
 87A：うん やって##  
 88B：家中‘いえなか’の遊びは かる## とかね。  
 89A：うん。 ## かる## やった やったりして  
 90B：うん。  
 91A：そういう遊び しましたわ。  
 92B：うん。  
 93A：もう そうせんとね やっぱり  
 94B：##  
 95A：な あの一 案外 田舎の 小学校は 生徒の 少ないやろ 神田あたりは

96B：うんうんうん。

97A：僕ら 行っとったのはね 僕らの お 6 年生でも 20 人ほどやもん。

98B：うん。

99A：一組 高等部は ## 昔は 高等が いちりん##### も ちゅ まー 今の  
中一やな。

100B：うん。

101A：もう 15 6 人や 先生の方が ほんでー 楽やけど 我々も 遊ぶいうたら そ  
ういう あんま 高尚な あそ（+び） 素朴な 遊びや。

102B：うん。

103A：なー 高尚なな↑ んなー 遊び セーへんね。 ま ほうゆーことで やってたわ  
な まー 遊びと 遊びは↑ まー たまには ほな 運動会前は↑ あの一 走る  
練習とか↑

104B：うん。

105A：いろんな練習を しましたけどねー。

106B：うーん。

107A：でー ねー ま そんな 遊び ねー ゆーのは もう 子供の遊び# だいたい  
決まってるでね。

108B：決まってる うーん 今は 変わりましたな。

109A：かわ 今の子は な 遊びとか しやんせんやん。

110B：あん### も ほんな 遊び 今の子は ### よね。

111A：もう もう 家で これやったり↑。 {笑い}

112B：{笑い}

113A：なー。

114B：パソコンやって ゲームやったり↑。

115A：テレビゲームやったり やって やり そんで

116B：やってあるもんな 僕らの 時は もうね だって

117A：そら なー

118B：A さん いわあるように

119A：外へ 外へ 遊び いく いうことは なかったでな#

120B：なー。

121A：むか 今の子は 僕らは もう

122B：僕らは もう 外ばっかやったもんね。

123A：あ 外ばっかよ。

124B：外ばっかよ。

125A：うちら 雪が 降ったて

126B：うん。

- 127A : 1メートルぐらい あの ### 振り回したけど  
 128B : うん。  
 129A : 雪遊びで もう ## もう 雪だるま 雪だるま 作って  
 130B : ねー。  
 131A : 家の一 な あの一 今の いう 神田公民館のな↑。  
 132B : うん。  
 133A : 向こうが 広っぱや さかい あっこで や, やりましたわ。  
 134B : あの一  
 135A : うんうん。  
 136B : 昔は 雪が 多かったでね↑。  
 137A : おお 多かったす《多かったです》。  
 138B : はいでも一 あの 滑り台を つくってね↑。  
 139A : ねー。  
 140B : ほで あの そり そりを 作って 竹を あの 切ってきて  
 141A : あー。  
 142B : ほんで あの一 両端に  
 143A : あー。  
 144B : みかん箱の なにを あの一 利用してね↑。  
 145A : そうじゃがな。  
 146B : あの一 そりを したでしょう。  
 147A : な あー。  
 148B : そりを 作って 上から だーっと。  
 149A : # やりましたな。  
 150B : ほんで もう 家ん中に こもってる ちゅーのは もう 正月の  
 151A : うん ## な。  
 152B : あの一 ねー クリスマスやとか ほの 時だけです ゆーぐらい  
 153A : だけですなー おー お祭りとか  
 154B : あれやけど もう ほとんど 外で 遊んでたもんね。  
 155A : うん もう 遊びましたわね。  
 156B : ほんで 銭‘ぜに’は 使わなかったもん。  
 157A : {笑い}  
 158B : なにも 自分たちで みな あの 遊ぶもの 作ったもん。  
 159A : な 自分 作り## ほんで うちらでも なんや 竹 取ってきてな↑。  
 160B : うん。  
 161A : 竹を ひいで《火で》 こう ぽっと 曲げて  
 162B : うん。

163A : ほで スキー 自分で 作って↑。

164B : スキー 作って。

165A : で うちら ちょうど 裏に 神田山で 山あるで↑。

166B : うん あ 山あるもんな↑ あそこから。

167A : あー あっから↑《あそこから》 するすとな あの一

168B : うん 滑り台 作らんでも あの 山手でや さかい ずーっと もう ね

169A : ##### ふんで スキー やってましたわ。

170B : うん ほやな。

171A : うん。 # 冬はな ま 冬は 冬なりの まー 夏は 暑いけど まー 外で↑

172B : うん。

173A : いろんな↑ あの一 ま ま な 時代が 変わったで

174B : ほん、でも まだ だい あの一 時代が 変わったさかい。

175A : なー。

176B : なー。

177A : んで 昔の遊びは そういう遊びや 特にな

178B : うーん。

179A : やっぱ 子供は あの一 自分で 考えて 自分で やってた#####

180B : うーん。

181A : 今は もう 物は 売ったり それによって あそ 遊ぶように

182B : みな 売ったる うん。

183A : 今はな。

184B : うん。

185A : #####

186B : うん あー

187A : あの一 ゲームでも そやろ↑。

188B : うん

189A : ## わしら そんな ゲームちゆなも あらへんから 自分で

190B : ただ ほれだけ ほら あの あの 頭 あの 使うさかい ええか 知らんけど

191A : ええよな。

192B : {笑い} ええか 知らんけど。

193A : わし まあ まあ ほわ↑

194B : 僕らの時代 全然 違うもんな

195A : なー いや 時代が 違うと コロッと変わってくる そういうことを 遊んでた  
わな。

196B : うん 全然 ちゃう。 ほうや。

197A : なー もう もう ほれは な ま 長浜の祭りは あの一 B さん ご存知のよ

うに↑

198B : ま 長浜の

199A : あの 昔からの # な↑

200B : うん。

201A : いろんな形で えー 大変やったけど

202B : 昔からの 祭りで ねー

203A : ま 僕とこはねー 何が ##### 一番 一番 たいしょの《大将の》 山組でね 僕と

204B : あー。

205A : ほんで あの 八幡さん。

206B : ほ# Aさんとは あの なに山‘やま’ ち 言いますんやろか。

207A : なにがた# 《長刀：曳山の型の名前》

208B : あの一 なぎだ なぎがたか《長刀か》

209A : なにがた《長刀か》 長い刀の 山 よ

210B : あー。

211A : 山組#

212B : ね。

213A : それがやね 一番 たいしょ《大将》やねん。

214B : あー。

215A : ほんで 八幡さん 行ってもね↑ あの一 各 山から 来やある 出てやる。 あの ふたにちでは 出てきやあね。

216B : うん。

217A : ほんで 僕とこは 一番上や。

218B : うん。

219A : 一番 上座やねん。

220B : あー 上座や。

221A : んで 5時で 招集してあったらね 4時半には 僕らが 一番には 座ってやらんだらね。

222B : ほう。

223A : # ちょっと 具合 悪いねん。

224B : あー。

225A : で 僕ら 一番に 座って 後の人 順番に こう来てね。

226B : あー。

227A : お、 おそから《=遅くから》 行くと やっぱ 具合 悪い

228B : ほんで じ やっぱ 序列が あるんや。

229A : あー 序列が ある。

230B : {笑い}

231A : ### 一番前 座ってね ほで 一番に 当番委員長が 『長刀』さん こういうことが このことには あのー よろしいですか」と 一番に 聞かあんねん。

232B : あー。

233A : ほで それも あれや 意見 聞いて ほんで みんなに こう 計らあんねん。ほんで 最後は 「なんやったら 今の 皆さんの 意見 こうゆうに《こういう風に》 集約します これで よろしいですか」 って

234B : うん。

235A : で 我々が 「はい」 って 言ったら ほんで 決まるんです。

236B : あー。

237A : そやけども ###も #####な。

238B : うん。

239A : ## たいした あの そういう #####は 今から ゆ一たら 原理的な 人間しか 怒らあれへん。

240B : うん。

241A : 「なんで 5時に 招集で なんで 30分も はよ《早く》 1時間前に 行かんらん」 てな

242B : うん。

243A : 今の 若い子は ゆわあんねん, # ちょっと 行ったら ええんやけど で 別に 『長刀』さん ほんな 上の手を みんなと 同列に 座ったらええ。

244B : うーん。

245A : 行った 順番にな↑

246B : うん。

247A : ちやく 着席を うちらは もう 上‘かみ’ 決めてるさかいに いま 八幡さん そして 決まったんねん。

248B : あー。

249A : なんで そんな 旧態の まー かた かたい ちゅうか そういう しきたりが ずっと きとるでね。

250B : うーん しきたり。

251A : ほんで やっぱり んで うちら 山組な もう 家が ## だ一れも 買われへん。

252B : うん。

253A : もう 3軒も 売りに 出たるけど

254B : あー。

255A : だ一れも 買われへん。

256B : あの そういう あの



- 257A：うん。
- 258B：なんや 山組のとは あれ あれか あの やっぱり。
- 259A：ほーや # 売れへん。
- 260B：売れんね。
- 261A：で うちらが 全部 し あの 死に絶えて で 息子は もう もう 遠くで  
住んどるやろ↑。
- 262B：あー。
- 263A：家 こっちやろ↑ ## ##### 帰ってやあれへん。{笑い}
- 264B：あーあー。
- 265A：もう 空き家で 置いとかな しゃーない《置いておかないと仕方ない》。
- 266B：あー。
- 267A：おー そういう 山組のとこで やっぱり あの ##### ### お祭りが
- 268B：ほんで この話 あのー
- 269A：{笑い}
- 270B：長浜市の 広報に 出ましたかな。
- 271A：あー。
- 272B：あの 長浜市、の 旧市内の
- 273A：おー。
- 274B：あのー 家が
- 275A：うん。
- 276B：がら、 ま ぼつんぼつんと あのー がら空き なってきたさかえ
- 277A：あー そうそうそう。
- 278B：そこへ 移住してくれはる 人を 募集しますと
- 279A：あー そうや 書いてある。
- 280B：### 載ってましたやろ↑。
- 281A：えーえー。
- 282B：だから そういう あの なんじゃ 祭りの なに 今 Aさん 言わあるように  
なんさん あの いろいろな しきたりが。{笑い}
- 283A：あー しきたり ## ##
- 284B：嫌で 嫌でなー もう あの 出て行かあるのも あるし
- 285A：ほんでー
- 286B：ほんでも 好きな人も いやあるよ。
- 287A：またな ## ## も おったり
- 288B：好きな人も いやあるさかい ほんで ほうやって あの 長浜市が 募集して
- 289A：うん。
- 290B：ね そうやって

291A : あのー で うちの #

292B : してくれはることは ええ事や

293A : うちの 山組でも ま 毎年や うちはな↑。

294B : うん。

295A : ま 芸はねえやけど

296B : うん。

297A : 毎年 その 13 14 15 16 4日間 こ ぴちっと 会社 やす 休まんならん

298B : うん。

299A : ほんで ま 今日びの 会社は 祭りやねんから おまえ 休みでって くれよらんちゅうで。

300B : うん。

301A : な↑ あの ### 土曜 日曜 #####

302B : {咳} だから あの {咳} 仕事の関係も

303A : あるさけ

304B : あるさけ だいたい 14 15 16 ちゅうたら

305A : うん。

306B : あの ま 日曜日に かか

307A : {咳}

308B : 土 日曜日に かかれば ええけどもな↑。

309A : かかれたらね。

310B : あの {咳} 普通の日が だいたい 多いやん。

311A : で うちらでも

312B : ほんと あの なんやわな あの 休まな

313A : ほや ほや で 会社

314B : 会社を 休まんならんな。

315A : 会社が なかなか

316B : そう 休み 最近の なんやは 金曜も 難しいし ほんな

317A : そうそうそう でな↑。

318B : あの {咳} その 祭りの だけに ほんな 休み やれん ちゅうことなるとあれやね なかなかね。

319A : ## ### できんでな で みな どうしても

320B : あれは ほんでも 日曜日とか いうことは もう 全然 あの 土日やとか ほういうことは あの 絶対 変えられんもんですか。

321A : あのね あの あの 八幡さんで それも 出たんや。

322B : うん。

323A : 会議でね あのー 日曜祭りに しようと。

- 324B : うん。
- 325A : そやけどね それは ひじごう《七郷》 ち言うてね。
- 326B : はい。
- 327A : 八幡東は それは #####
- 328B : はい。
- 329A : 七つの ごうが あんねん。
- 330B : はいはいはい。
- 331A : 八幡さんを 守ってやある。
- 332B : はい。
- 333A : その人が あの 別にね↑。
- 334B : うん。
- 335A : 狂言は 神さんに 奉納するんや と。
- 336B : はいはいはい。
- 337A : 別に お客さんと やあれんでも ええねん と。
- 338B : あー。
- 339A : うん。
- 340B : あー。
- 341A : 絶対 日は 変えたら あかんと。
- 342B : あー。{咳}
- 343A : うん で お客さんと や、 やあれんでも 神さんに 芸を 奉納するんやさかい
- 344B : うん。
- 345A : 別に この お客さん だ一れも《誰も》 #####
- 346B : あ あ
- 347A : ええねんやて。
- 348B : はー ほういう 物の 考え方か。
- 349A : セやけど か も ##### 観光協会は 人を 寄せたいから 日曜に したいわな。
- 350B : あー あー
- 351A : 土曜 日曜やったら お客さん 多いわな↑。
- 352B : うん。
- 353A : ほんで 宿泊も あるし。
- 354B : うん 難しい ところやね ほんでも そういう ところへん
- 355A : {笑い}
- 356B : 観光で やっぱり あの 少しでも 知って 長浜の 曳山祭り 知ってもらおう  
と いうのと

357A：お# # # おー

358B：やっぱり 利潤永泰 ゆうのと

359A：おー。

360B：ねー そういう 引き続き 曳山を あの 存続させていく ちゅーのと。

361A：そうそう。

362B：ま それなんで まず 神さんの 神事はもう ほら

363A：うん。

364B：あの 芸を あの {笑い}

365A：{笑い}

366B：神さんに 捧げるん ちゅーか ほーゆうもんと まー なかなか ほれは 合体  
する ことは 難しいな。

367A：ほんでな 絶対 どっちも 譲らあれん。

368B：あー。

369A：あの 会合で 僕らもな あの ま# # #の 役員でね

370B：うん。

371A：八幡さんの 役員に 何回も # # # # #

372B：あー ほれで 日にちが もう ずーっと 昔から ほの 14 15 16 の。

373A：おー ほんで 僕らはな あのー 「土曜 日曜祭りに せえ」と 言うたんやけどね。

374B：あー。

375A：八幡東やったかはね あの # # # # # # # # # # # # # # # #

376B：うん。

377A：うん あーゆー一人らはね 「むか、 昔からの しきたりやで

378B：うん。

379A：もう それは Aさん 無理や」と

380B：ふーん。

381A：で 八幡さんら 宮司さんはね どっちも 言えんねや。

382B：うん。

383A：あ 最後にな うん ほの

384B：ほーですか。 ほんな 僕も なんや 長浜市 居てて ほの どう どうも 14  
15 16 は

385A：うん。

386B：あのー ほんなん 観光で あの お客さんを 呼ぶんやったら 日曜 土日やとか  
ゆー したら 方が ええやん。

387A：そうそうそうそう。 そうや ほうや ほや ほや。

388B：ちゅーて《て言って》 あの なんか ほれで どうしても あれ らしいなー

て言うて

389A：ほんで 土曜 日曜してもうたら 観光協会 喜ばある##。

390B：喜ばある な↑。

391A：おきや お客さん 増えてね

392B：どこどこ 神さんが シャットアウトや

393A：神さんの前で 神様 守ってる 八幡さんら 郷の 郷社寺のところが 判定しゃあ  
んねん

394B：あー そうか

395A：あー ほんで

396B：ほんでか。

397A：ほんで なーにも この おー 4月の 昔は 10月 やったんやで

398B：あー そうですか。

399A：ん 10月の15日 お祭りやってん

400B：4月じゃなくて 10

401A：あ ほれを 4月に しょったんや

402B：あー そう

403A：4月の方が お客が ま ま 多い ちゅーて 観光協会が ええゅーて

404B：あ そうですか。 10月#

405A：## # 日だけは もう 13 14 15と 16 ###やわな。

406B：それは 僕 初耳や。 ほら

407A：あー 10月にした。

408B：な 僕 ここ 長浜に

409A：うん。

410B：ね 60

411A：じゅ じゅ 10月でしたよ

412B：あ そうですか。

413A：これを 4月に うん こう なに してきよったよ。

414B：へー。

415A：うん ほんで やっぱり しきたりがね で あの どうしてもね あのー 封建  
的

416B：うん。

417A：祭りが。

418B：な

419A：んで 在所が 長老がな 長老

420B：がんとして ゆーこと あ あれやろ。{笑い}

421A：ちょ 長老が で 祭り ずーっと やっていき この ま ま 長‘ちょう’でね

子供から ずーっと 育ててきた あの 長老がね やっぱり あの 幅 きかして  
てる。

422B : 幅 きかして

423A : 幅 きかして こうやって こう

424B : {笑い} 座るとこも↑。

425A : はいはい。

426B : あー。

427A : うん あーー もう な

428B : {咳} うーん。

429A : ## 祭りは もう しきたり。

430B : まー ほんで もう 祭りの 事っちゃ# ほやけども

431A : 民主的にな

432B : 長浜の 昔も 長浜も 変わりましたな↑。

433A : 民主的な 祭りを やれ ゆーて ゆーた#

434B : あー。

435A : そんなね 封建的な な↑。

436B : うん。

437A : 古い しきたりを 守ってんと これを ある程度 改革してよ しきたりも 守  
んのも ええけど あ あまり 締め付ける# ## な↑ 例えば うちの #  
## ##### あの 13 14 15 15 は絶対出てこいと

438B : うんうん。

439A : 町‘ちょう’が 大事か 会社が 大事かて そうゆー# ## 会社のが 大事やわ  
な。

440B : うん。

441A : # そやけど それは 分かつとる 町‘ちょう’の そーゆー あるで

442B : うん。

443A : やっぱり なんとか 会社に 頼んで↑ 休んで 出てこい ちゅーよる《ていいよ  
る》

444B : うん。

445A : 僕ら ほんで # #JR 行っとったやん↑ その時分な↑。

446B : うん #####

447A : もう 一週間 ぼーんと 休んだ#。

448B : うん。

449A : まあ JR 幅効いたさかい。

450B : ちゃう ほんで あの ま ゆーたら A さんら なに 国鉄 行ってあった時は  
そやって 休み と 取れるとこと 取れんところが あるがな↑。

451A : そうそう あかんねや。 ほんで ほんで

452B : あの

453A : ほんで そうすつとな↑ あの 「A さん お前は なんで え 理由書 書いて 持ってこい」 ちゅー

454B : うん

455A : # # # 会社 自分 書いて 会社の課長とか 部長の 付記を つけてなあかんねん。

456B : あー

457A : 「うちは こういう理由で この A くんを 休ますことは できません」と

458B : うん。

459A : それだけ もうてこい ほんなもん かなわんわな。

460B : あー な↑。

461A : 会社へ 頼み

462B : {笑い}

463A : # そんな ことまで # #

464B : なに せんならんのやな。

465A : # そんな # # # # 拘束するな ちゅーに。

466B : ほやな。

467A : 縛り付けんな # # ゆーんやけどな。

468B : 縛り付け

469A : どうしても いけなんたらな あの 祭り 人が # # # できなんたら 長浜市で 応募 公募せー ゆーてんねん わしは

470B : うん そやな。

471A : そして こんだけ 長浜の # 長刀組が どうしても 運営できなんたらな↑ 何人か やっぱり 長浜市で 絶対 # # # # # 祭りの 好きな人 # # # 来てくれある ゆーに

472B : うん。

473A : うん それは あかん ちゅーんで たに, 他人は あかん ちゅーよる

474B : うん。

475A : な

476B : なー あれやな 昔の 長浜の 昔の # # # よそも だいぶん 変わった 昔は 長浜病院が もう 一番 僕は 知ってるけど あそこの あの 平和堂の こっちの

477A : おた おたび おたび

478B : おたび

479A : はい。

480B：長浜病院　ちゅーのは　こっちに　ありましたんちゃん↑。

481A：あ　ありました　ありました。

482B：な↑　こっちの方に

483A：あ　今の

484B：あの一

485A：ありました。

486B：平和堂の　ま　前に　裏手の　前に　ありました。

487A：ありましたよ。

488B：ね。

489A：＃

490B：あら　だんだん　あともう　あそこ　あって

491A：あの　あ　昔はな　案外な

492B：郵便局も　あそこの　駅前に　あったんや。

493A：そうそうそう。　＃＃＃＃

494B：なー。

495A：で　昔の　祭りはな　案外　町‘ちょう’の　人もな　やっぱり　あの　案外　勤め人  
が　少なかったんや。

496B：うん。

497A：自営業で

498B：うん。

499A：融通が　きいたで。

500B：うん。

501A：で　案外　締め付け　きいた　今は　もう　若い子は　もう　全然　頭　違うもん。

502B：うん。

503A：祭り　ちゅーもんな　こんな　長浜祭りじゃ　我々　こ　長期的なな　伝統的な  
祭りで　長浜の祭りで　誇りを　持ってるけどな　若い子は　んなも（+ん）　祭り  
て　なんやねんて。

504B：うん。

505A：あんまり　あの一　あれや　あらへんね。

506B：うん。

507A：な↑　ほんで　もう　なかなか　祭りも　死んで

508B：まあ　な　もう

509A：田舎　田舎の祭りはな　なにも　ないわな。

510B：うん　ほうや。

511A：うん　これは　あの　あ　長浜の　昔の　様子　ゆーたて《言ったって》

512B：うん。



- 513A : そう 変わった ところ あらへんやん。
- 514B : うん。
- 515A : ただ 長浜の 昔は あんた 町名‘ちょうめい’が 変わってるわな。
- 516B : 町名‘ちょうめい’はな↑。
- 517A : 今の 浅井町
- 518B : 浅井な
- 519A : ごと 後藤町 後藤町はな な。
- 520B : 変わったな 昔は あの 栄船とか。
- 521A : 栄船 北船 南船な。
- 522B : な 船町 な。
- 523A : シモタ # シモタマチ ナカタマチ カミタマチ。
- 524B : で コンヤチョウもあった。
- 525A : コンヤチョウ。
- 526B : な↑
- 527A : # コンヤチョウ ちゃうね あれ ###
- 528B : これが みな 朝日町 なったんやな。
- 529A : 八幡東でもな。
- 530B : 八幡ひが (+し)
- 531A : で ほんで ただ あの 昔の ### かじ あの # ### ちゅーことは  
鍛冶屋町‘かじやちょう’ ゆーて 鍛冶屋さんとか あったらしい な。
- 532B : あー そう。
- 533A : うん ほんで あの 呉服町。
- 534B : うん。
- 535A : ## 呉服屋さん 多かったんやて。
- 536B : あ ほうやな↑。
- 537A : ###
- 538B : あの一 オオテ通りやとか あーゆーなの クリハラ 呉服屋とか
- 539A : あー うん
- 540B : な カシワ##屋とか。
- 541A : うんうん。 ね 呉服屋さん 多かったんやと。
- 542B : ほで
- 543A : そういう 関係で ### ## ね
- 544B : 昔 昔は ほら
- 545A : ほんで な
- 546B : あの 浜縮緬の 産地 やったでな↑。
- 547A : ## ほんでな やっぱり もう そんなん ##

548B：今は もう なんやな あの 縮緬も なんか あかん ような #####。

549A：で それでもな きゅ 旧町に あの 戻せ とゆー まー いろいろ あったんやけど。

550B：うん。

551A：もう 郵便屋さん 弱ってもうて。{笑い}

552B：{笑い}

553A：あー。

554B：うん。

555A：で まー そうゆー 形 なってんねんけど まー 長浜も ま だいぶ 変わってきたでね。

556B：変わってきたな。

557A：あの一

558B：まあ ほれは ##

559A：旧長浜だけん時はな 案外 スムースに いっとったけ##### 合併したやろ↑。

560B：合併した。

561A：今 あの びわ町と 浅井と してる場合は よ よかったんやけど。

562B：うん。

563A：で もう

564B：もひとつな 広なるんやな。

565A：# あ なったやろ↑。

566B：広なった。

〈中略〉

596B：ほんま 駅

597A：な もう ただ #####も 今は 黒壁の 関係で ちょっと お客さんがな↑。

598B：はい

599A：あー あれ ま ちょっと にぎや (+か)

600B：昼間は↑ 賑やかやけど↑ でも

601A：あ なー 昔は あんた 犬 犬が 歩いとった。{笑い}

602B：{笑い}

603A：な もう

604B：な

605A：ほんまに 町中‘まちなか’も そうね 昔も そう 「昔の様子」て 書いたるけど  
ま 昔の 様子は もう そうね↑

606B：うん。

607A：なんか ただ

608B : あんまり

609A : ただ ただ 人通りが 少ない な↑。

610B : 人通りが 少ないやね↑。

611A : うん ま 昔はな やっぱり あの こんだけ じ 車 なかったで 自転車 歩  
いてる 人が 多かったわな。

612B : うん。

613A : なー 車の 時代と ちごた《違うかった》から 自転車か 歩いてる人が 多か  
ったな。

614B : 歩いてる人やとか 自転車の ね↑ 多かった。

615A : 多かった 今みたいに 車の 時代 ちゃう《違う》

616B : 今 車の 時代や。

617A : うん。

618B : ま どこでも 一緒やけど ##

619A : ## な↑

620B : な↑

621A : うん。

622B : どこでも 一緒やけど。

623A : 長浜も おもそー 旧長浜も まだ 僕ら か あの 神田から 長浜へ くる  
# のは 自転車やし↑。

624B : うん。

625A : な もう イワイチョウと アゴキョウゴクが ありましたわな↑。

626B : うん。

627A : えい 映画館 あったで。

628B : あの 神田の あの ど どころへんに いやありましたの あの

629A : ## あ 北町

630B : 北町↑ ちゅーことは あの 神田の 郵便局

631A : # 今の 郵便局 昔の 郵便きょ (+く)

632B : 今 昔の 郵便局は もひとつ 西に あったやん

633A : ## あの あ あの 川の 伝いの

634B : 川伝いの

635A : うん ○○○さん ## ○○○さん ###

636B : ##

637A : ### こっち ##### 今は こっち 出てきてる#な。

638B : あ こっち 出てきてある。

639A : #

640B : ほんと

641A：あの あの 北部ちゅー

642B：あ 北部ちゅー

643A：神田も 東西南北 あった あった

644B：ね ありますわな。

645A：あー うちとこ 北部 やったんや

646B：ほしたら

647A：うん。

648B：あの ずっと 元の 郵便局から 西 行った ところに

649A：うん。

650B：あの なんか 寺が ありましたやろ

651A：あ クントク寺。

652B：クントク寺。

653A：僕とこ 門徒やで↑。

654B：あー そうですか。

655A：うん。

656B：あそこを ずーと Aさん 多いもんな↑。

657A：多いです《多いです》。

658B：ね。

659A：ほんで あっこ うち クントク寺で うちら 門徒でね。

660B：うん。

661A：門徒 門徒で

662B：うん。

663A：# あれ もうちと 行くと ナカノトヨモントよ↑

664B：あ

665A：ま 近いの おったな

666B：あ

667A：##### な で

668B：あそこらへんに ○○○○○○ちゅの おったんちゃうかな

669A：##### ○○○○○○は あの クントクさんの お 東の

670B：あー ほうか ほうか。

671A：うん。

672B：うん ○○○さん。

673A：も あれも 県会議員 出て あ はよー《早く》 亡くなってたんや。

674B：あれな。

675A：県会 一期やってな。

676B：な

- 677A：うん ほんで あ あっこの兄弟はね 信用金庫 行った 弟も 死んでもたやろ  
↑。
- 678B：うん
- 679A：一番 あにーこ《兄子↑》は ##### 死んだやろ↑。
- 680B：うん。
- 681A：で 二番目 が 今の○○○やろ↑。
- 682B：うん
- 683A：三番目 ほこの CM あるわな↑。
- 684B：うん。
- 685A：○○○店 やってた 3人 男 ばばばーと 死んでもうたんや。
- 686B：うん
- 687A：3人 男な↑ うん ###
- 688B：神田も 大きい 在所やでな↑
- 689A：## ま 200 えーん ##
- 690B：や もう 300 ありましたよ。
- 691A：今 今町‘いまちょう’と こっち さ あの 栄町が できた#
- 692B：うん サカイマチができた うん
- 693A：ほんで 300 くらい あるやろ。
- 694B：あるやろな うん あれは 神田も
- 695A：今 で# 長浜でも 今 もう 商店街が ね ぽつ、 ぽつ、 ぽつと
- 696B：ぽつぽつとな。
- 697A：できた、 で ね
- 698B：ほんで 今 あの 若い あの あの て、 店舗ちゅーんか わ、 若い人が 店  
舗を 築いてやあるもんね。
- 699A：今は ほんで ええ方や。
- 700B：いろいろ
- 701A：今の ○○ ○○○布団屋の 息子とか↑。
- 702B：うん。
- 703A：な あっこらへんの 若い人が 気張ってやる。
- 704B：気張ってあるな。
- 705A：うん。 あの
- 706B：代がわ（+り） 代がわりしてな。
- 707A：そうそうそう。 あの み## ○○○
- 708B：おー ○○○
- 709A：{笑い}
- 710B：○○○くん 頑張ってる#。

711A : {笑い} あら やけど あの こっち##

712B : しょっちゅう あの 市役所で ま しょっちゅう 行ってやるが。

713A : あ そうか ##

714B : うん。

715A : で こっちは いきや《行けば》 ○○○○ちゅー お茶屋

716B : あー

717A : それから ○○○○の

718B : あー

719A : 息子は 祭りの セ 振り付け 先生 やっとる。

720B : あー

721A : ○○○○な↑

722B : ##

723A : で あの ○○○○ちゅー 魚屋は これや。

724B : うん。

725A : うん な ま

726B : あそこらは 宮町通りは ほんなに

727A : 宮町通りは もう ###

728B : 変わってないな

729A : な あっこは ○○○○ちゅー 花 花屋。

730B : な 花屋な↑ 変わってないな。

731A : あの # 昔 ○○○○○ ちゅー うどん屋 あったわな。

732B : あ そやそやそや。

733A : 今 あの あれ なってもうてるけど。

734B : うん。

735A : な↑ で ##の あの ○○○○ って 前に ○○○○ちゅー

736B : うん ○○○○が あった。

737A : あ あ あ あ ありましたね。

738B : ありました。

739A : あの 金‘かね’やら 作っとった。

740B : あ はいはいはいはい。

741A : な お金やら ほんで あの当時は 変わってるのは な あのぐらいで 宮町通りやな↑。

742B : うん な。

743A : もう ちょっと

744B : もう ほとんど ちょっと

745A : ま これは もう 祭りの 通る ところやさかい↑。

- 746B : もう
- 747A : ね
- 748B : こころ ちょっと もう 北へ 行くとさいが ○○○○さんて あの 医者があったけど。
- 749A : あー あれあれ あれ お医者さん
- 750B : あれ マンション なって もうたるな↑。
- 751A : も ## 単身赴任のため
- 752B : な
- 753A : ワンルームに マンショ (＋ン)。
- 754B : ワンルーム なったある#。
- 755A : うん マンション。
- 756B : な。
- 757A : 『#####』さんね↑。
- 758B : あれから ずーっと あれや 西 行くと もう イワイチョウ通りへ 入る
- 759A : そうそそう。
- 760B : 入るんやけど
- 761A : イワイチョウも たい 昔の ○○○で ##### あったけど
- 762B : あったな
- 763A : もう 西 行ってまったやろ《行ってしまっただろう》↑。
- 764B : もう 西 行ってまったな。
- 765A : な あの な
- 766B : うん あれ ##### は 貸しとかあるんやろ あれ
- 767A : あ あれ ##
- 768B : あの 貸して ほんで 自分ところは 西 行かあったんやろ。
- 769A : い 行かあったんや。
- 770B : な↑。
- 771A : うん。
- 772B : なんか あの アンティークの あの あ 品物を 売ってやある
- 773A : ## うんうん。
- 774B : 売ってやあるところは ○○○で ゆー 商店やったんや うん うん。
- 775A : ##### な でまあ ##### 町中‘まちなか’も
- 776B : 町中‘まちなか’も
- 777A : # ある程度ね やっぱ あの 商いが 変わってきて
- 778B : 商い 変わってきたな↑。
- 779A : な
- 780B : 商いは

781A：今までに もう 商いは あの あの 外商と ゆーか 通販

782B：うん。

783A：通信販売。

784B：うん。

785A：やから もう あの

786B：###な

787A：インター インターネットで

788B：インターネットで 買い物‘かいもん’ できるでな。

789A：うん で そういう 方向で

790B：今は

791A：昔は 昔は 呉服屋さんでも ウィンドウ自体 あれ 飾ってなかったもんな。

792B：うんうん。

793A：# あの 着物を で # ほで ##### ###わな

794B：うん あれも ###

795A：そんなん ゆーたら 女性でも 服を こうこう ウィンドウに 飾ったけど 今  
全然 でも して あらへん。

796B：ほうやな。

797A：な

798B：ほんで 今は ほうゆーなん ウィンドウで こう 華やかで

799A：## ##

800B：こやって 見てた 昔は 見てたけどな ほんなもん 全然 ないがな。

801A：ない あらへん。

802B：で 土産物‘みやげもん’ ばっかやな 今 う（＋って）

803A：そう ### {笑い} ####

804B：あそこら ずらーと 歩いてても

805A：土産物屋↑。

806B：なんか ほら

807A：うん。

808B：もう 観光客用 なってもたんよ。

809A：ほや ほやほやほや。

810B：うん。

811A：もう ね あの 呉服町の ### きやんすさかい↑ いろいろなん あるけど  
##

812B：うん



談話 11

会話参加者：女性 2 名（A：1950 年生（62），B：1950 生（62））

参加者同士の関係：友人

文字化時間：1 時間 3 分 45 秒

会話収録日：2013 年 3 月

1A：私は

2B：{笑い}

3A：なんか もう

4B：なかなか一。

5A：なんか わたしはまあ あんた あんたんこの 猫が 好きやったわ。

6B：ああ 猫 うつとこ いつも こだったなあ じいちゃん。

7A：なー いつも あ 行くと

8B：うん。

9A：膝の 上に ちゃんと 乗ってきはって。

10B：ほうや 猫 #ってたしな。

11A：うーん。

12B：昔のな みんな ほれでも まあ

13A：大学 行くとかって ちょんって 寄ったさかい

14B：で 昔さ ほんで どよ あのー どのの 家でも 遊びに 上がったやん。

15A：あ ほやなー。

16B：うん。

17A：よう行ったなー うんうん。

18B：なあ どこでも今 いたら こんにちはー 言うて 行ったら

19A：うん。

20B：あの 上がり 上がりーちゅうて ほて

21A：あー そうそうそ。

22B：けど 今は みんな もう ほら 玄関で ストップやん。

23A：うーん 上がれん。

24B：上がれんや。

25A：上がれんなー。

26B：うん。

27A：うーん。

28B：ど 大人んなっても 上がれへんやん 全然。

29A：上がれん あー。

30B：別に 思ったよりな。

31A：うん。

32B：うちの 子供な。

33A：た 上がったら あかんみたいな 感じやんなー。

34B：そうそうそう。 もうもう 玄関で

35A：うん。

36B：用事が 済んだら 終わりっちゅんで。

37A：うんうん。

38B：昔は こんちはー 言うて ほで 言うて あねー ゆて ちょうど 横に ました  
ら なー。

39A：あー。

40B：ご飯間に 座って。

41A：あー うん。

42B：もう 一緒に いつの間にやら おばちゃん いやあるわーって 感じやったやん。

43A：あーそうそうそう。

44B：ほれ あんな 子供でもな。

45A：うん。

46B：昔はな あん なんやらちゃん 遊ぼーって 行くやん。

47A：うん。

48B：ほたら あ なんやらちゃんも 来てやんすさかい 上がりーちゅ つつてくれや#  
て。

49A：うんうんうん。

50B：今の子ーらは あの ぱっと なんやらちゃんと 遊んでやあるで またなつて帰ら  
はる。

51A：へー ほうなんや。

52B：うん 昔は ほれこそ もう 年上も 年下も

53A：うんうん。

54B：一緒に なつて

55A：うんうん。

56B：ほんで 家 行っても おばちゃーんって言うか 言わんうち 上がったたで いう  
て。

57A：うん。

58B：あん なんやらちゃん 今 きてやんすさかいねんけど 一緒に 上がりーちゅつて  
ほんで。

59A：うんうん。

60B：もう ほれ ないで

61A：うん。

62B：今は なんやらちゃんと 約束してたさかいに で い

63A：あ　ほうやな。

64B：そう　うん。

65A：で　今の子　ほやって　忙しいんちゃうん　行くところいっぱいあるが。

66B：ほうやって　もう　ほて　家で　自分　ゲームしとる　何とか言うけど。

67A：うーん。

68B：ほうや。　ほんで　全然やで　今の子。

69A：うんうん。

70B：うーん　もう　昔　だってなー　正月　言うたら　あっちでこっちでー　あれ

71A：うん。

72B：みんな　お　親子で　全部ゲームやらしたやん　かる　かるーとか。

73A：あーあー　そうそうそうそう。

74B：トランプとか　なー　あの

75A：あーあー。

76B：あの一

77A：坊主めぐりとか。

78B：百人一首　とか坊主　ほやって　そやけど　ほれが　ないでな　今。

79A：うん。

80B：よその家　行って　あのあの　なんだ　大きなところで

81A：うん。

82B：あの　あ　友達同士で　行って　帰ってきやーせんっていうのは　あるけどよー。

83A：あー。

84B：ほやけど　昔は　近所で

85A：うん。

86B：お正月とか　もう　どぼす　借りて

87A：うん。

88B：遊んだ　もう　おそなって　帰ったっていうことは　ようあったけど。

89A：うん。

90B：今の子　ほれが　ない。

91A：うーん。

92B：うちらとも　むか　ほら　路地　路地っていうか　あれやったさかい。

93A：うん。

94B：向かいの　〇〇ちゃんやか　めやんで

95A：うん。

96B：もう　ぼこっといつてもうたら

97A：うん。

98B：ほこで　もう　ほれこそ　おっちゃんも　おばちゃんも　兄弟も

99A：うんうん。

100B：上も 下も 一緒になって 遊んだやろう。

101A：うんうん

102B：ほれが ないが一。 今は あの家で たまって 遊ぶっていうとこ

103A：あー ##。

104B：変な子らの たまり場は あるかもしれんけど。

105A：{笑い} ほやね あー。

106B：昔は ほんなもん うちら

107A：ほかに 遊ぶことが いっぱいあるで ちゃうんか。

108B：ほれも あるかも わからん。

109A：ほんな なんか ゲームセンター い 行きたいとか ほ##なかったよ。

110B：うん。 ほして ほれ ほのゲームも あるやろ。

111A：うーん。

112B：ほんで かしら ほりゃあ まあ 今は 前は 家に テレビ 一台やし。

113A：うんうん。

114B：なあ ほこで みんな 集まって してたけど。

115A：うんうん。

116B：ほりゃ 今 みんな ばらばらやもんな。

117A：うーん なんかさー あの ほの あのー どこやったつけ えー おお おおて  
ちょう

118B：おおて うんうん。

119A：おおてちょうの寺で なんかし して

120B：あーあー なんちゅって いや ちゅん あのー あのー あ あれは 親子 え  
ーとー したしたしたした あの 青年会したときに

121A：も したが。

122B：うん。

123A：あそこ ほてて

124B：うん で うん あのー あのとき うちが 何か もろうて やくものか知らん  
けど。

125A：うん。

126B：でかーい さいころ作って

127A：あーあー。

128B：ほてー あのー おっきーな すごろく作って

129A：あーあー。

130B：行ったんやって

131A：あー。

- 132B：あの一あれ 青年会したときに。
- 133A：あー。
- 134B：そやそやそやそや。 やったやった。 うん。
- 135A：あー やった いろんな 遊びしたな。 劇いって
- 136B：うん で 青年会 作ったときは
- 137A：うん。
- 138B：これも したし
- 139A：うん。
- 140B：ほて あの一 手芸もしたやん してに してに 出して
- 141A：あん あー した 出したなー。
- 142B：うん ほで ほれも あれでしょ あの にゅうせいして
- 143A：したしたした。
- 144B：公民館に 額 作ってくれやって
- 145A：もう あんたんとこの 家で あれ 作ってたが 一所懸命。{笑い}
- 146B：うん 一所懸命に で あやってな どういうのか。
- 147A：うん。
- 148B：ほんま いえいえ いよって
- 149A：あー。
- 150B：気楽に でき ほで
- 151A：うん。
- 152B：あの ほれ 影絵したときもな うっとこの家で
- 153A：あ やったなー。
- 154B：あ うと よう考えたら
- 155A：##うち
- 156B：うっとこの家でー
- 157A：うん。
- 158B：こっちっかわで 録音して
- 159A：うん。
- 160B：むこうっかわで 作ってたやん。
- 161A：うーん ほうや。 だって あの うちな あの一 あんときー 京都まで 本を  
探しに 行った。
- 162B：あ もちもちの木や。
- 163A：あー。
- 164B：そや ほんで あれを そ#
- 165A：うち おかんも 言った。{笑い} 覚えてる。
- 166B：で あれを 探しに 行ってくれやんだときに

167A：うん。

168B：わたし 行けんかってん。

169A：あー ほっか。

170B：うん ほんで

171A：ああ ああ。

172B：ほや 行っててくれやって

173A：ああ。

174B：ほやほやほや。 で よう うっとこの家に 来てくれてた。{笑い}

175A：ほっほえ よう 行った もう。

176B：なあ。

177A：おう ほんで 猫と 仲良うして。{笑い}

178B：{笑い} ほやほやほや。

179A：うーん。

180B：みんなが なんぼや

181A：うーん。

182B：ほやほや あの時は 座敷で

183A：あー。

184B：作ってるもんと

185A：あー。

186B：こっち ろ 録音してるもんと。

187A：あー うんうん。

188B：やけど あんときの方が 面白かったな みんな。

189A：面白かったわー。

190B：気楽に。

191A：ほて なんでも しょうって言うたやろ。

192B：ほうやな。{笑い}

193A：やから 月々に なんか ひと月に一回ずつ

194B：うん そうそうそ。

195A：＃っから ほれも 。覚えてんねな

196B：うん。

197A：へーでなー なんかな ただのスポーツ ば バレーボールしようっていうときに  
あってよ。

198B：あーあー。

199A：あったんだ。

200B：うん。

201A：ほたら みんな 仕事してから 来るんやさかいに

202B：うん。

203A：腹減ってるやろーって

204B：うん。

205A：ほったら ほん 当番の人が おにぎり 作ってくれやった。

206B：あー ほうやったかな。

207A：なあ 覚えて# ほれ なーんか 食べるものと ほういうことしか 覚えてねーだよ。

208B：うん。

209A：ほしたら あの ほの 当番と 男も 女も 入れてたやん。

210B：うん ある。

211A：んで あのー こんなな 爆弾みたいな まっ こう 海苔をべた一つと

212B：あー こんな でかいやつ。

213A：なんか こんなのとかな こんな 小っちゃいのとかな。

214B：うん。

215A：もう も ものすご 形が色々なやつ {笑い} 作ったったなとか。

216B：ほや ほうやなー。 ほんな

217A：うん。

218B：あの時が 一番 面白かった。

219A：なー。 でも あの キャンプ 行けんかったさかい言うて あの ○○○君とこで

220B：おー ほうやほうや ほや。 あそこで

221A：だから あの 家の中で キャンプした こ。{笑い}

222B：ほや。{笑い}

223A：ほいて

224B：え うち あそこ あ ほんで あれんときに あのー あれ したやん あのー ほれ 演劇したやろ。

225A：あー した 演劇も したなー。

226B：したやろ。 したやろ。

227A：うん。

228B：ほんで ○○○くんは ほれ 家で 畳 してあったやろ。

229A：うんうん。

230B：で うち 毎日 行ってな

231A：うんうん。

232B：あそこの 仕事場 してやんす 横でな

233A：あー。

234B：一所懸命 あのー あれ やんか あのー 台本 書きしてたんやんか。

235A : あー あ。

236B : ほしたらな よその人がな もう ほの頃 もう ほれ せいじ してるやん。

237A : うんうん。

238B : 嫁さんに なろうと してんと 思うてくれやんてんな。{笑い}

239A : {笑い}

240B : 毎日 来てやからな。{笑い}

241A : {笑い}

242B : て 言うてくれやってん。

243A : ああ。

244B : だい 一生懸命 ああ## 仕事してやんす横で 一所懸命 台本 書きしよった。

245A : ほうか。

246B : うん。

247A : うーん。 なんか 何でもかんでも したな あんときは。

248B : ほうやな。

249A : こえなんが。

250B : 演劇もした ほやも 全部 上手に できんだったやん。

251A : あー まあ なんとかできたわ。

252B : あ うん。 あの

253A : うん。

254B : 影絵かて あれ

255A : うん。

256B : 色 着けたん 初めてやん。

257A : うんうん そうやな。

258B : うん。

259A : できたなー。

260B : うん あれ

261A : やればできるんやー。

262B : できた。

263A : {笑い}

264B : ほうやて ほうやて。

265A : おーおー。

266B : もう ほうや。 まあ 影絵って 真っ黒 黒と 白 やったけど

267A : うんうん。

268B : あのと き 色 着けて なあ。

269A : うん 色 着けて やったなあ。

270B : うん。



- 271A：うーん。
- 272B：やったしなー。
- 273A：できるんやなーと思って　ちょうど　今の　演劇　したのも　覚えてるで。
- 274B：うんうん。　そうそう。
- 275A：でな　雪が　降らんかって。
- 276B：うん。
- 277A：ずーっと　その日だけ　降ったのは　覚えてる。
- 278B：うん　####いな。
- 279A：んで　で　雪山の　演劇やったやろー。
- 280B：そうそうそうそ。　ほんで
- 281A：さぶい　とか
- 282B：さぶいて　ほて　公園まであの　音録りに　行っただ。
- 283A：{笑い}
- 284B：びゅーっていう　風の音　録りに　行ってよ　でやって　ほんまに
- 285A：あー　なあ。
- 286B：なあ　あのときは　みんな　なんか知らんけど
- 287A：うーん　で　交流会とかな
- 288B：うん。
- 289A：し　して　#　他のところから　来はったけどな。
- 290B：いや　よその　うん　よその
- 291A：だら　ほうしたらな　一回ほれでー　なんか　鳥取かなんかの子ーと
- 292B：うんうん。
- 293A：なんか　交流会したいつつて　ほて　よく　あの一　で〇〇〇君が　よう　あの  
八ミリを　流したやん。
- 294B：あーあーあー　あの子　全部　はっきり　録ってはって。
- 295A：####入れて##
- 296B：うん。
- 297A：ほんで　ほれで　なんか　わーって　交流会の　ときに　やーって　やって　で  
しばらくしたら　あの　手紙くれやあった　ことある。
- 298B：あー　ほうなん。
- 299A：うん。
- 300B：すごいな。
- 301A：すごい。
- 302B：うちーは　木之元の
- 303A：うん。
- 304B：が　来たことあるわ。

305A：うん、　よう##なるな

306B：そそそ　ほで　あー　せい　うちらは　青年大学だって

307A：あー。

308B：あー　うん。

309A：そうそうそう。　ほれへも　行ってたよ　わたし

310B：いつ　うん　それに行ったときも　あっちやら　こっちやらの　子らと　全部　一緒やったし。

311A：うんうんうん。

312B：わー　ろうわの子もいやんたしー

313A：うんうん

314B：あのころは　よう行ってたな　ほやけど

315A：そやな　ほたから　あの時代ちゅうのは　あの　大都市は　儲けるんやさかい

316B：うん。

317A：今の子が　いろんなこと　やってやんすのも　ほんな　変わらへんのやで。

318B：うーん　けど

319A：違っても

320B：うーん

321A：まあ　ただ　ちょっと　やり方が　違うだけでなー。

322B：おうや。　んで　なんかー　なあ

323A：うーん。　きっと　一番　できる時期　時期ちゃうかな　例えば　ほのぐらいのとき

324B：うーん。

325A：がい　あー　外国　行って　ちょっと

326B：あーあー　そうそうそうそう。

327A：世界一周　行って来るわーって　言わんすやろ　うん　一緒や。

328B：今ん子は　外へでも　ぼいっと　行かんすよ。

329A：あー。

330B：うちらは　もう　外へ　行けんかった　さかいにやけど。

331A：あーあー。

332B：まあ　ほんでも　みんなとなー　そこらじゅう　ほでも　あれ　青年会　作って　ほして　みんな　いろんな　こう　よって

333A：あー。

334B：ほて　また　ほの　交流会で

335A：あー。

336B：あっちこっち　出てったやろ。

337A：あーあー。

- 338B : ほしたら ようけ どういうの 友達ちゅうんすか
- 339A : あー できた なー。
- 340B : いっぱい できたもんなー。
- 341A : あー できた できた。 あー #で
- 342B : ほて しゃべるように なってったやろ あたし。
- 343A : あー。
- 344B : よう しゃべらんかったんやけど。
- 345A : あー。
- 346B : ああいうとこ。{笑い} 出て行って なんかかんか したやん。
- 347A : うん。
- 348B : ほんで やっぱ 言お 言うたりして ほりゃ で しゃべれるように なったん やって。
- 349A : うん。
- 350B : 昔は ほんと しゃべらんかった。
- 351A : なんよ ないと やっぱ 出てかんし。
- 352B : うん。
- 353A : そうやな。 あの なん ほんなに 言うところ うん
- 354B : ほや ほうやな ほんで 私が 関わったの だって 二十歳ぐらいから 関わって
- 355A : ほうか。
- 356B : あの 市役所の あとへ 土木台の 公園の とこの 埋め立て しはったときに
- 357A : あーあーあー。
- 358B : 事務所に 行ってた。
- 359A : そこ 事務所に 行ってたんか。
- 360B : 行ってたんや。 行ってた。 ほんで
- 361A : うーん うん。
- 362B : そしたら 市役所の人が うちんここに いやんすなー 事務員さんが
- 363A : うん。
- 364B : しゃべらんせんのか。{笑い}
- 365A : {笑い}
- 366B : 真面目だけで ひとつつも しゃべらんせんねやって言って ほで 隣にほれ はんばっていうか あれ
- 367A : うんうん。
- 368B : 仕事してやんねん ほの子。 女の子は うちよりも ちょっと上やったさかいに ようしゃべらんすし ばっばっばとしてやる {笑い} で で 行って#ー ぼやいてやったらしい うち

369A : あー

370B : ほんまに しゃべらんせん。{笑い}

371A : 埋め立て してやあって あれ 作ってやる時やったんやな。

372B : うん そうそう。

373A : 詳しいなー ほんなら。

374B : ほんで ほうや。

375A : うん。 でも #ち

376B : ちょうど ほんで あそこに

377A : うんうん。

378B : あの市役所の のー 土木課の事務所が できたときー

379A : うん。

380B : うち 入ったんや。

381A : うん ほうか うち 中学校んときに あのーあそこ あのー 明治山の うーん  
こっ こっち側っちゅうんかなー あの

382B : うん。

383A : 今 公園 抜ける あの道

384B : うんうん。

385A : あるやんか。 あそこんところは あの が 船 船来たったで まだ。

386B : ほうや。 で ほで

387A : 埋め立てて やあった

388B : うん。

389A : うん。

390B : ほで 明治山の ほんをー 細い道の ほん ほんほこ にー

391A : うん。

392B : あのー あのー 事務所と ほして あのー ほのー 仕事してやある人の はん  
ば と ほて こっちっかわに あのー し 寄宿してやるっちゅんか

393A : うん。

394B : 泊まってやるとこと あってんか あのときに どぼんしゃんてんて 女のかた #  
#

395A : なに 病気か。

396B : ちゃうちゃう わからんけどー。

397A : うん。

398B : えーっと 飛びこまあた っつって

399A : うん。

400B : 言うてやった。 ほんで 搜索してやってんよ。

401A : うん。

- 402B：ほんで うちら ちょうど 事務所から 見えるんやんかー。
- 403A：うんうん。
- 404B：ほこへ ほしたら 黙一ってして。
- 405A：うん。
- 406B：ほしたら 上がった 上がった一って言わって で う みんな 見に行かあった  
けど 嫌やか なんか ほしたら ものすごい きれいなんやてな
- 407A：あ ほの
- 408B：あの 蠟人形みたいな ば一って はってもて
- 409A：えー だいぶ 経ってからか ほったら。
- 410B：どやろ まる
- 411A：だいぶ 浸かってやったんか。
- 412B：ほやろなー。
- 413A：うーん。
- 414B：確か 七日やったかなー そん ものすごい 捜査してやって。
- 415A：うーん まさか うちの 近所の子でなーやろうな し 逝かあった人 いやあた
- 416B：あ ほんまに
- 417A：うん でも 歳が 違うか あらなー
- 418B：いや でも お
- 419A：年代が 違うか。
- 420B：女の子で 女の子やったか。
- 421A：ほうか ほの人は あの まれ んーと なんか 産後鬱やって
- 422B：あー ほう。
- 423A：うん。
- 424B：ほんでも ほんでも あのとき 成人式 二十
- 425A：あー ほたら 違う 年代違う。
- 426B：違う。
- 427A：ずっと ずっと 後やわ。
- 428B：あー ほうか。
- 429A：うんうん。
- 430B：なんかな 多分 あそこ 工事してやったときに
- 431A：うん。
- 432B：なんか 女の人
- 433A：うん
- 434B：またってやってって 探してやって。
- 435A：うーんうーん。
- 436B：で 出てきはって ほしたら みんな みんな わ一って ああいう人らやで

437A：あー。

438B：みんな ほら 元気やさかい いかん。

439A：あーあーあー。

440B：きれいやねーって ぱーんと ほや 蠟人形みたいやーつつって 怖かったけど  
なみ＃た。

441A：うちも 血だらけは たくさん見たけどなー。

442B：あー ＃ ＃ 。

443A：＃ ＃ 病院で やま 山ほど見た 血だらけぐらいは。

444B：わたし あー 血ー みら ねー 今 おばあさんもな

445A：うん。

446B：あの一 介護してるやん。

447A：うん。

448B：ほで なんして＃けんな あの 床ずれが できたんや。

449A：あー 床ずれ かなんなあ。

450B：うん。

451A：うん。

452B：床ずれができて

453A：うん。

454B：ほて こう い 右半身は あかんねん 左半身

455A：うんうん。

456B：こう かきむしらあるんよ。

457A：あー。

458B：ほんでなー

459A：うん。

460B：今 手袋 作って はかして＃

461A：うん。

462B：ほだら ほれ あんた あの あ あかむけ↑

463A：あー。

464B：あかんねん 見る。

465A：あー。

466B：ほりおし あの一 しえ 洗剤で

467A：＃ ＃ ＃ ＃

468B：毎日 洗うて したってって 言われる。

469A：あー。

470B：ふたて ごめん できんって言う。 {笑い} でやけど もう ほんなん しゃあ  
ないで一

- 471A : あー
- 472B : しゃあないでっていうか せな あれやさかい。
- 473A : ほうに 痛い#んで あれ。
- 474B : ほやろ。
- 475A : うん。
- 476B : でも しゅる あのー ほやけど 今は ええもん あるよなー さんのか#って 絶対に うって ほ# 全然 傷口につかんの。
- 477A : あーあーあー。 そうそうそうそ。 普通に 市販した されたあるのもあるで。
- 478B : うん。 ほて
- 479A : うん。
- 480B : ぴたー ほんで ほれ ずるむけで
- 481A : うん。
- 482B : あれ した#けど ペたーっと 貼っとっても 全然。
- 483A : うん。
- 484B : 昔は ほれ びーって
- 485A : うーん はぎよったらなあ びーも 一緒に ついて来よるちゅうよな。{笑い}
- 486B : ## 全然 ##なら もう
- 487A : あれ う うちの父親が あの 馬に 蹴られて
- 488B : うん。
- 489A : 馬に 蹴られて 死んでもうたんやけどよ 死んでへん 生きて 生きてたんやけどー
- 490B : うん。
- 491A : な 長浜来た# ど のが もともと それからや 来たんや さかいに
- 492B : うん。
- 493A : もととな えーっと 馬に 蹴られよってん。
- 494B : うん。
- 495A : で 蹴られて 引きずられて
- 496B : えー こわ。
- 497A : ほんで えっとー 片っぱ こう 引きずられて 手綱をこう 握ってたさかいに。
- 498B : あー ほんで 離しゃあ 良かったのに 持ってやったんか す#。
- 499A : うん ちょっとの間 持ってやった#な。
- 500B : あー うん。
- 501A : ほんで まあ 途中で 離さざるを得んかったやろうけど。
- 502B : うんうん。
- 503A : ほて ほんときに 馬に 蹴られて んで 馬車に 轆かれてやんす で ほんと きに んで 片方の耳が もうなかったん。

504B：うわ こわっ。

505A：びやーっと どっかへ 行ってもうて。

506B：うわー。

507A：ほて あのー ほして あの 背中んとことか もちろん ずるむけもええとこや  
っ#。

508B：おやおや #ん。

509A：ほんで ほんでな

510B：うん。

511A：ほのー これと言って ほんでー こう 骨折は してないんよ。 でもな

512B：あー。

513A：脊髄損傷やった。 脊損で ここが も もう動かんかったんや。

514B：うん。

515A：ほんで まあ 頭も打ってたし。

516B：うん。

517A：で で 昏睡状態が 二十日間ぐらいあった。

518B：うん。

519A：でも す えらいもんや 目覚めやある 昔の医療って あの あんまりな あー

520B：うーん。

521A：長いように

522B：うん。

523A：### 目覚めやってんやで。

524B：うん。

525A：ほの 今みたい のうこう医療 なんかしてやらへんのに。

526B：あー はー。

527A：ほいで

528B：強かったんや 体がつていうか。

529A：ほうやろなー。

530B：神経が

531A：まだ若かったんやろなー。

532B：うん。

533A：五十 四十代

534B：あー。

535A：ぐらいやったさかいに ほんだら 背中が あんな 背中 すごい損傷が ひどか  
ったさかい こーんな 大きな穴が 空いてしまった。

536B：うわー 怖い。

537A：ほたら 床ずれもええとこやん ずーっと。 {笑い} ずーっと 毎日 毎日 交



換やで ちょっとずつ。

538B：うん。

539A：ちょっとずつ ちょっとずつ ちょっとずつ ちょっとずつ ちょっとずつ こう  
やっぱ 小そうになっていく。

540B：あーあーあー。

541A：ほいでー やっぱ 最後は あん なか なくなってるやけど ほいでも あのー  
あれ 火傷の皮膚みたいに 薄ーい

542B：あー ちゅーちゅ あーあー。

543A：皮しか 張らんかったんやけど ほれでも ほれで 五年間 ほんな 状態やった  
で んで うーん。

544B：はあ。

545A：うん 五年後に 死んだんやけど。

546B：＃ー

547A：あのー ほれで ずっと 見てましたわ わたし。{笑い}

548B：いや て そう

549A：見てただけやから。{笑い}

550B：ほれ なん み おう せんでもええで。{笑い}

551A：せんでも ええ。 {笑い} せんでも ええさかい。

552B：うん 今 わたし ほれ せんなんや。

553A：あー。

554B：ほーやで けど まあ なあ あんけど でも あー なあ

555A：うーん。

556B：あれやわ でも

557A：大変や うち うちのはは うちの母ちゃんも

558B：うん

559A：やっぱ あれなー 床ずれできるのは い 夜 夜中に あっちゃ向けたり こっ  
ちゃ向けたり あっちゃ向けたり こっちゃ向けたり

560B：うん そうそう。

561A：あれな。

562B：うん。

563A：頻繁にしてたら できんねやで。

564B：ほやで ほんで やってるわいなー。

565A：うん ほやけど やっぱなー ちょっと こういうとこ ちょっと

566B：うん。

567A：ぐーっとしてたら こころへんが ちょこっと できたりとか するん。

568B：あんなー。

569A：うん。

570B：今 わかったんやけどな うちのばあさん ずー もうこんなん 何年 寝てやん  
ねやろ。 けど この 足の付け根から

571A：うん。

572B：上は

573A：うん。

574B：肉があるな。

575A：うん。

576B：やっぱ

577A：あー。

578B：足っちゅうのは 全然 使わんやろ。

579A：動かさんと 弱っていく うん。

580B：ほて 足と お尻の 後ろ

581A：うん 筋肉が なくなっていくんやろ。

582B：そうそう。

583A：うん。

584B：筋肉 もう 足なんかな。

585A：うん。

586B：こっから上見たら 全然 普通の人なんやんか 足 見たらもう ほんまに もう  
骨についた

587A：うんうん。

588B：ほて お尻もな。

589A：うーん。

590B：やっぱし 肉が おってくるでな この この 尻尾のな

591A：あー

592B：ぼち 尾てい骨。

593A：うん。

594B：あそこだけ ぽこーっと 骨が 出てくる

595A：あー

596B：ほで どんなけ

597A：ほで ほこがー やっぱり こう 触るさかいやな

598B：そうそうそ どんだけ。

599A：うん。

600B：動かして

601A：うん。

602B：ほして あの 柔らかいやつでして ##

603A : こんな マットが 今 あるやろ。

604B : うん。

605A : ベっこん ぼっこん した

606B : ほしてなー 今 今 あのー こう 時間でな

607A : うん。

608B : こう 動かしてくれるようなやつ。

609A : うん。

610B : ほれに してるんやけど ほんま。

611A : あー。

612B : ちゃ やっぱ ちょっと 病院 行ってやったさかいに ほの間に やっぱ 柔らかい言うても ほの 動かす回数は 少なかったで やっぱ むけてきてん。

613A : うーん まあまあまあ 大変やなー 今でも うち うちも ほんなー もんや 長生きは しやれんかったけど

614B : うん。

615A : うちの母親な。

616B : ほやけど おばちゃん 元気やったもんなー。 よう うちも おまん ところ行って

617A : いや

618B : 家 上がらしてもろうて。

619A : 子供が

620B : うん

621A : あの しょって よう あれ よう うち うち なんか 死んでから い おまんとこの おまん おまんとこのなー へいわぞいな

622B : うん。

623A : よう 子供 後ろに 背負ってなー {笑い} よう見たわーって よう言わんすさかい。

624B : あー。

625A : ほー。 {笑い} どうや 子供なー {笑い} よその子やけど。 {笑い}

626B : あー ほーやなー。

627A : うーん ずーっと ほの子が 大きくなって 大きくなって まー 遊びに 来とった。

628B : あー。

629A : あ 違う 一緒 あん 連れて来よってん。 {笑い} あんたんとこの子。

630B : すんまへんなー。 {笑い}

631A : {笑い} なーに しに来たんやろー ほたら

632B : あ あ そうか ○○○は

633A : 一回だけ 来よったわ 来はったわ。

634B：ほう ほんで〇〇〇は ほでも し 同級生つつなー 知らんやんなー つつただ

635A：うん。

636B：連れて いや まあ あの あの子 連れて行ってもらんだ。

637A：うーん。

638B：だけやさかいな

639A：幼稚園ときか。

640B：あーあーあーあー。

641A：面白い子やってんなー

642B：ほうや。 あの子がなあ ほんでもな 今 助けてってくれる 今。

643A：あー ほうか あ あの子も今 山組 入らんで

644B：ほで 山組

645A：うん。

646B：で 今 ほで一 え 何年前やあな あの くしとりしはって

647A：あー ほうか。

648B：ほて 今 も もう三十七歳かいね 今 ほんで 今年は なんやな あの まか  
ないと

649A：うん。

650B：役者がたと

651A：うん。

652B：なんたら かんたら 当たったって うろうろしてやんす。

653A：ほうか 大変や。 若い 若いの 使われるわな。

654B：ほんまやて。

655A：うーん。

656B：んだ ほれでも 山組 いやあるさかいに 昔の 昔の うちの 時代と

657A：うん。

658B：おんなじような 感じで ほら 縦の

659A：うんうん。

660B：年上の おっちゃんから 若いの 自分が 若いのから 全部 付き合いが 一緒  
やろう。

661A：うんうん。

662B：で うちらも 昔は ほれ 怒られるのも よそのおっちゃんに 一緒に

663A：うん。

664B：怒られたやん。

665A：うん。

666B：ほれと 一緒に 今 ほんで あの子らーにとっては 幸せやった も#

667A：うん なあ。

668B：うーん。

669A：ほうや 繋がりがあある。

670B：繋がりがああるで で ○○ちゃんって言う 下から ○○ちゃんって 言われやん  
す子ーと

671A：うんうん。

672B：で 上から ○○○って言われ {笑い} やんすのと。{笑い}

673A：そうそう うん。

674B：でも ほんで おんなじやもん ほで やっぱ

675A：うん。

676B：あいつも ええ た やっぱり

677A：あーうん。

678B：縦のあある方が ええわ。 で みーんな 幸せや うーん。

679A：あの

680B：うん。

681A：ちょっと 話 変わるんやけど

682B：うん

683A：あの一 あれ 行ってた。 あー あの 青年会やったときに

684B：うん。

685A：えーっとなー 駅前通りに ○○○○さんって

686B：ああ いやんた いやんた。 い

687A：○○屋さん あったやろ

688B：うん いやんた いやんた。

689A：あそこの ぼん どうしはった 知らん。{笑い}

690B：ぼんっていうのは 何↑ んで

691A：ぼん。

692B：あの一

693A：一緒に 入ってた子 いねえ

694B：あー 男の子やろ。

695A：うん 男の子。

696B：で うち 写真クラブ してたとき 一緒やってん。

697A：あー ほう。

698B：ほんで あの子が

699A：うん。

700B：あの子は 写真は 好きやったさかいに

701A：あーあー。

702B：んで あの子 あの一 で ○○○○さんと うちと

703A : うんうん。

704B : ほして あの 女の子 あのー ○○○○さん

705A : あーあーあー。

706B : ○○○○くんと

707A : うん。

708B : ほして 女の子 誰が 入ってたんやろ。 うん 写真してたで でー あそこの  
家も 行ったことあるわ。

709A : わたしも 一回 行ったことあるんや。

710B : うん。

711A : うん。 んで

712B : あやけど あやけどな

713A : うん。

714B : あとあと 女の子はなー むじ#ったわ

715A : うーん。 ちゃ あのな

716B : うん。

717A : ○○○○さんって あの ほの 今は あれ うーん

718B : 家ないやろ もう んで

719A : あそこと 関係あるん違うん あのー ほのー ○○○○○○ 出たところの 角の  
家が あるやろ

720B : あー あのー

721A : ○○○○さんっていう 家が ある

722B : あのー あの あそこ

723A : ばあちゃん 一人 住んでやる。

724B : あの ○○○屋 前 ○○○屋さん #

725A : やってやる#。

726B : あーあー なんか 親戚っちゅやったもんな。

727A : あ ほうなんか。

728B : うん。

729A : でも あの ○○屋んところはもう なくなってるもんなー 形がない。

730B : ほで あ

731A : 店そのものが ない。

732B : ないし ほで あの頃は とこーかみたい#な

733A : うーんうーん。

734B : あそこ もう 女の子が 二人だけ ###て

735A : なんか ほのー 山に 出やんとときの

736B : うん。

737A : 写真が あったの 覚えてるわ。

738B : あー ほな。

739A : 可愛いらしい子やったさかい

740B : あの子が 確か うちのお父さん と 旦那と 同級生やったもんな。

741A : あ ほうなんや。

742B : なんか うん。 なにかなー

743A : うーん。

744B : 中学校のときにな おんなじ 撮っとかんす 写真があったわ。

745A : ふーん。

746B : うん ほでー ほら しゃ おー 青年会してたとき してて 写真クラブしてた  
ときに

747A : うーん。

748B : 写真は 兄弟とか

749A : うん。

750B : 嵐山の よう 撮りに 行ったときは あんな 仲良しやったんやわ。

751A : あー。

752B : けど ほれが 終わって

753A : うん。

754B : ほやな 結婚しやんすぐらいから もう 町でおうても

755A : うん。

756B : あの子だけは もう 全然。

757A : あ ほう。

758B : 声かけやーせんかったし うちも 声かけんかったし。

759A : うんうん。

760B : なんか なんかちょっと 付き合いづらかった。

761A : うん #か うーん。

762B : うーん。

763A : でも ほうやな うちの近所になー あの一

764B : うん。

765A : 二人 男の子が まだ

766B : うん。

767A : いやんすで ○○さんのが 出やんすしな。

768B : ○○くん んな

769A : ○○さんじゃなかったかな あの子 ○○さんでない ○○○○やったかな

770B : ああ ○○○○君は ええやつや。 さ

771A : いやんすなー。

772B : よう いって

773A : うん。

774B : あの子は ほん 草津のすごい家 建てやんす ええーって 言って

775A : あ へー ほうか。

776B : あそこから 入って ほん 入って ええーつつって

777A : あーあー ほうか。

778B : ほうや あの子は まだ 今でも

779A : うん

780B : あの #ーって 喋るし

781A : あーうんうん。

782B : うん よう 喋ってくれやんす。 ほで ほうやで 一回 青年会のときに あー  
同窓会しようやーいって 言うてんけど

783A : あーあー。

784B : なかなか ほれでな あのー ○○さんが ほて ○○ちゃんと 結婚しはったや  
ろ。

785A : あーあー。

786B : ほで ○○君は ええんやけど ○○ちゃんは なんか 知らん##

787A : 私 あの ま ○○ちゃん まだ 山 いやんすのよ↑。 も やあせんやろ↑。

788B : あんなあ いつつやったか 知らん 年賀状にな

789A : うん。

790B : おことかい↑。

791A : こと↑。

792B : こ こ おことか 二人いた なんかわからんけど

793A : 来やんすか↑。

794B : なんかの 名前で 来たった。

795A : ほか。

796B : なんか あの子ー 前はな ずーっと 前 もう この頃は わか ずーっと前は  
な 四年に いや あの 祭りごとにな あのー 私 戻り山が 好きなんや 祭  
りの。

797A : あーあー。

798B : 曳山の芸よりも

799A : あー。

800B : で それに 行くと あの子 ○○君は 必ず 来てやったやんか。 んで 一年  
に一回は 会えるなあ つつって 言うてたんやけどー もう会わんよなったな。

801A : あーほうか。 んで んー なんか みんなと おうたのがー

802B : うん。



- 803A : もう 最後の あの一 ○○○君の 葬式どきぐらいで
- 804B : あ ほうか。 えー
- 805A : あのとき あのとき あんたんとも 相談に行ってん
- 806B : あー き
- 807A : 家 行ったの 覚えてるわ。
- 808B : うん。 あー 来てくれて ほど
- 809A : なー。
- 810B : 行ったーや。
- 811A : しゅうい しゅう 宗派が 違うさかい どうするんやって 言うてたや。
- 812B : うんうん。 そうそうそう。
- 813A : たまぐしとかって言うて なあ
- 814B : うん そうそう かー あの あそこは ○○○教 さいの これやったから
- 815A : あーあー
- 816B : パンパンやって ほやほや あれから あれから おうてんのかい↑。
- 817A : うん。
- 818B : みんな
- 819A : おうてへんと 思うで。
- 820B : うん。
- 821A : うん。
- 822B : んな いったらな ○○ちゃんはな
- 823A : うん。
- 824B : ちょっと 雰囲気が 変わって まうてん
- 825A : あ そうなん 私 ○○ちゃんは ○○○○に いやあたときにー
- 826B : うん。
- 827A : ほの一 なんか 患者さんを 連れてきてやあたのを
- 828B : あー。
- 829A : ちらっとだけ 見たことある。 ほれだけしか もう 覚えがない。
- 830B : ほでな 同窓会もな ほんで い 一年に一回ずつ 同窓会してるやん。
- 831A : あー ほう。
- 832B : うん で あんたも来な い 言うたよ 言うたことあるやん 前 一回
- 833A : うん ○○中のか↑。
- 834B : うん ○○中の。
- 835A : ○○中の同窓会。
- 836B : 前 一回 誘わんかったか 言うたやん。
- 837A : あー ほうかもしれんなー。
- 838B : 言うたやろ。

839A : うん。

840B : で それでな ずっと 来てやったんや。 ほんで 始めのうちは どうもなかったんやわ。

841A : うん。

842B : なんかな ほんでな そや やく んで 同窓会の役が あたった。

843A : うん。

844B : なにか 知らんな。

845A : うん。

846B : なんや ちょっと みんな みんなが 雰囲気を 害するような 感じが あったんや。

847A : あ ほうか。

848B : あの子の 態度がな。 ほ＃か ほれから 全然 来やせん。

849A : あ ほうなんか。

850B : そうて ほで ○○○さん。

851A : 体 悪うしはったわけではない。

852B : うん なんかな うん ではないと思うわ。

853A : ふーん。

854B : なんか なんか なんかな なんか 雰囲気が 変わってまああった ほんで ○○君も もう あ 後ろ ひげ ＃＃

855A : いや ほの 同窓会。

856B : うん。

857A : なー 同窓会。 うち あの 高校んときの 同窓会が一

858B : うん。

859A : 五年に 一回ずつ くらいずつあって。

860B : うん。

861A : そことー ほの そこのところに まあ 行方不明者が やあって。

862B : うん。

863A : ほしたら ほの 行方不明者が あの ○○中の 同窓会の {笑い} ところに 載ったったさかいに おりっとったった。

864B : 誰よ。

865A : ○○○○って

866B : ○○○○○○○か↑。

867A : うん。

868B : いやんすで。 まいつ 毎年 来てやんすで一。

869A : ほんま。

870B : うん。 何でよ

- 871A : やっぱ ほれに 顔うつさんと わからんな うち うちの高校んときのが あの  
行方不明に なってやんす。
- 872B : うそや もう。
- 873A : ほんまやって。
- 874B : うん もう セや ほんで ずーって 三年〇〇組〇〇〇〇〇〇〇〇っちゅって 言  
ってたも 来た
- 875A : ほんまー。
- 876B : ものすごい きら うん
- 877A : やっぱ 高校は 行きにくいんかなー。
- 878B : あー。
- 879A : ばうれい しゃんたさかい 途中から
- 880B : あーあーあーあー。
- 881A : 岐阜かなんか す 住んでやんすやろ。
- 882B : うん。 今 今 名古屋 岐阜か で ずっと〇〇〇〇屋さんやってん。
- 883A : あー。
- 884B : で やってやんてー うん ほて もう ていでん 定年じゃないけど もう た  
い 辞めやって ほして 去年も 来たで 確か。
- 885A : あ ほう。
- 886B : で 始めのうちは あの ほで 仕事で来てやるんで ほのー 従業員の子に な  
んや あの バイトさして ほんで うん あれ 飲むさかい 運転さし 来てや  
って ほて 帰ってやったんやけど ここ何年か 奥さんも 来て ほんで  
〇〇〇〇ホテル泊まって
- 887A : うん あ ほう。
- 888B : そして うん。
- 889A : ほうか。
- 890B : うん ずー ずーっと 来てやんすでー。
- 891A : うーん。
- 892B : ほや ほれ。
- 893A : うーん。
- 894B : まあ まあ 今度 会った時に 言うたろ うん。
- 895A : 高校は 行方不明に なってや#。{笑い}
- 896B : あ ほう。
- 897A : 変やな。
- 898B : 今度 こ
- 899A : 変やな。
- 900B : 今度 確か 去年も 来はったでー え 去年は 来やんせんかったんか。

901A : ほうか。

902B : ずーっと 来てやあったんでな。

903A : あの あれやで あの 世話してやんす子ーが

904B : うん。

905A : うまいこと こう

906B : あー 探してやんせんのか。

907A : 探してっちゅうか 住所がな

908B : うん。

909A : 変わってもて やんす もう ほが わからんのかもしれん。

910B : ほや ほんでな この前な ほや 去年 え ○○○君もな ○○○君て みどま  
え なんと あのー きのくに# ○○○○さんの子やったけど。

911A : あー。

912B : ○○○君っていう 後輩がいやんす。{笑い} んでな あのー 誰か じゅう 知  
りませんかっていう中に 書いたってー ほで おま ○○○君 おい おまん  
行方不明 {笑い}

913A : {笑い}

914B : 連絡 あれやで一っちゅって やあんすで ほで いや 言うて やあせんのかな  
と思うたんやんか ほれ やっぱり こ 自分いろんなこと ああすさかいに ん  
で 言うてええんかなー とか 言ったら うん 今度 やあって来て {笑い} #  
##

915A : {笑い}

916B : 生きてやんすで この子 ここに いやあんすで いーにー

917A : {笑い}

918B : っちゅうて 言うぐらいやんか ほんで 今度 あんな この頃 遠いところあって  
○○○○さんも 来やんせんかったしな。

919A : あー。

920B : うん。

921A : あれ ○○○○○○○か。

922B : ○○○さん。

923A : あー。

924B : うん いやあせん。 んでな 前はな 一回だけ○○○○○○ちゃんっていう子  
あのー あの ○○○○商会 あのー ○○○の前の あれ 貧乏神 あそこの子  
も 来はったんやけどー うーん うん。

925A : いちようごの あれや あの 高校 まあ どこでも 一緒やと 思うけど 高校  
のやると。

926B : うん。

- 927A : あの 中学校の時の子が ちょっとやっぱ 混じってやんすさかいに。
- 928B : まあ 高校やと
- 929A : ほうやない↑。
- 930B : まあ あっちこっちあれや さか
- 931A : ああ あーあー。
- 932B : 私は 彦根やさかい もう 行かへんけどなー。
- 933A : あー うん。
- 934B : やっぱり 中学校 いや 一番 初めーは 中学校んとこ 行きにくかったんやんか 体型が 全然 変わってもうたさかいに。
- 935A : {笑い}
- 936B : {笑い} 誘うてくれやんても さ 誘うてくれやんても 体型が 全然 変わってほで いや ええわええわ 言うてたけど ばかっと思きかけたら まあ 慣れてもたらな ほの代わり みんなに 言われたで。
- 937A : 変わったなあってか。
- 938B : なんよ なんじゃこりゃよ。{笑い} どうしたん。{笑い}
- 939A : えや ふくがでる。
- 940B : いや。
- 941A : ふくよかに なりましたいう。
- 942B : ほんで い 一回目は まあ ほれで みんなにもう それで 印象付けてもうたさかいに もう 次から 行きやすうなったんやけど ほんでな ほうよ
- 943A : 先生って 来はるか↑。
- 944B : いや ほんで 六月はもう 先生 呼ばへん。
- 945A : あー。
- 946B : 先生が 来はるようになったら みんな 止めるって 言うてやんす。
- 947A : あ ほうなんや。
- 948B : うん。
- 949A : で き 先生は 来はらへんねや。
- 950B : うんうん。 ほんで
- 951A : ほらもう
- 952B : 本番の
- 953A : 死んでもうてはるんちゃう。
- 954B : いや ほんで 去年 おとしやったか 知らんに あの ほんで ○○○○○○さんと
- 955A : まだ生きてはったん↑。
- 956B : うん。
- 957A : あの人

958B : よく言う。

959A : うん。

960B : ○○○○○○さんと

961A : あー

962B : で ○○○○先生と

963A : うん あっ

964B : ほやて ○○○○○○っさんと

965A : まだいやあるん↑。 ○○○先生とか いやあるわ。 まだ 生きてはる あの人の。

966B : あんな ○○○せん ○○○せん あっ○○○先生も 来はったか えーい

967A : 来はった↑。

968B : ○○○先生も来てやで ##

969A : 打ち抜き あの人は ずーっと 知ってるで 私。

970B : うん。

971A : 最近 はでし #

972B : ○○○○○○っさんと ほしてー ○○○○○○さんと

973A : うん。

974B : ほしてー ○○○先生と

975A : あー ○○○先生 やあるんやー。

976B : ○○○先生 でなかったか。 ○○○先生 ○○○先生で ○○○先生。

977A : いやるかもしれんなー。

978B : うん。

979A : うん。

980B : とー ほして うん さいに

981A : ○○○○先生は もう 死んでまあたん あやしなあたよな。

982B : わきざ 女の先生やな。

983A : あー。

984B : あの人はな よう 店に 来て 買いものに 来てくれやったんや。

985A : あー ほうか。

986B : で 忘れてやあるかなと 思てんど 覚えててくれやっ。

987A : あー。

988B : この頃な ○○○○先生 ○○○ (教科) の

989A : あー あ

990B : あんま みんなに 嫌われてたやろ。

991A : 嫌われや。

992B : うん。

993A : はー。

- 994B：ほしたら ほですがなー。
- 995A：うん。
- 996B：年いってまあたな。
- 997A：あー
- 998B：この頃な
- 999A：うん。
- 1000B：鳩の餌。{笑い}
- 1001A：あー ほうか
- 1002B：毎回 買いに 来て
- 1003A：うん。
- 1004B：えー え なん あ 買う 買うて
- 1005A：まだ まー 意外と みんな いやあんねやな。
- 1006B：うん ほれ 持って。
- 1007A：〇〇〇先生は↑。
- 1008B：あの人は #たことないな。 ほれ 持って ほんで だいちゅうで 餌 やっから。{笑い} 鳩で
- 1009A：あー ほうなんや。 私 ほれでも 今 おうたら わからんやんなー 誰 みんな。
- 1010B：うーん。
- 1011A：うち うちの 近所に 小学校んときの 先生 まだ やあんねや。
- 1012B：うん。
- 1013A：〇〇〇〇っていう先生
- 1014B：##ー
- 1015A：小学校んときに もってもろたんやけど
- 1016B：あー 〇〇〇〇先生も うん なー
- 1017A：ほでな
- 1018B：うん。
- 1019A：あの えー まあ クラスは 持ってやなんだけど 〇〇〇（教科）のー
- 1020B：うん。
- 1021A：ほの 〇〇〇先生は
- 1022B：うん。
- 1023A：あの ずーっと つ つい最近まで うち ずーっとな
- 1024B：うん。
- 1025A：おうては 喋ってた。
- 1026B：あ ほんまに。
- 1027A：うん ほんでー

1028B：ほー。

1029A：あの 学校 出やってから ほてから で 私は あ##やろ。

1030B：うん。

1031A：ほれから しばらくして 仕事 行っただ 仕事すらすようになって あん人は。  
あの なんか こう 校長先生

1032B：うーん。

1033A：えーっとな どこやったかな ○○○○○小学校かなんかの 校長先生してやると  
きも

1034B：うん。

1035A：ちょっと 知り合いになって 県教委 いやあったときも 知り合いになって

1036B：うん。

1037A：出やあってからも 知り合いになって どこやら 行かあってからも 知り合いに  
なつて。{笑い}

1038B：{笑い}

1039A：あれで

1040B：あー

1041A：もう よう ずーっとやもん あの人は

1042B：んで 確か 確かね

1043A：うん。

1044B：○○○先生の娘さんが ピアノの先生と 違うたかな。

1045A：ほうか。 ほれは 知らん。

1046B：んで

1047A：息子は 知ってたんやけど。

1048B：ほんで

1049A：うーん。

1050B：うちの娘が 習うたと思うねん ピアノを。

1051A：あ ほうなん ふーん。

1052B：うん ピアノ 教えてもろうてたのが 確か ○○○先生の

1053A：うん。

1054B：娘さんやつたと。

1055A：うん ふーん。

1056B：うん 習いに 行きよつたの 確かやつたと。

1057A：あの人 あれやで こうざかやで ○○○先生は

1058B：あんな ど こ

1059A：かたま こう しゅう 集中 ##して

1060B：うんうん。 つだ あれたし



- 1061A：あーあー。
- 1062B：あの先生が 来やったんやろか。 ○○○先生やかかったろか ○○○先生 ○○○先生が 来はったやったやろか。
- 1063A：うんうん。
- 1064B：どっちかも ○○（教科）の先生 来はったわ。
- 1065A：うんうん。
- 1066B：うん。{笑い} うんでー 今は ほれ ○○君らが バンドしてるやろ。
- 1067A：うん ほ＃ー
- 1068B：で ほれ あの時も バンド 演奏しはったんやわ。
- 1069A：その あー ○○○君は {笑い} 八幡さんとこで 八幡さんちゃう ごこさんとこで やってやんて
- 1070B：うん そうそうそう。
- 1071A：あの一
- 1072B：ずーっと やってはったやろ。
- 1073A：うーん。
- 1074B：ほでー ほの時に あの 同窓会したときに
- 1075A：うん。
- 1076B：バンドしゃんって。
- 1077A：うん。
- 1078B：で ほのときに 校歌 えー 校歌やったかなんか 歌わはって。
- 1079A：うん。
- 1080B：たら ○○○ あの一 ○○○○○○○さん 音楽 全然や。
- 1081A：あーあーあー。
- 1082B：先生 音程外れ。{笑い} 先生 音程 ちょうだい。{笑い} ほやで ほやで
- 1083A：うーん。
- 1084B：うん。
- 1085A：うち もう ○○○君に びっくりした。
- 1086B：うわ＃の
- 1087A：○○○君 どっか どっか 行ってやんたんやなー
- 1088B：ちゃう ほんで
- 1089A：はあ。
- 1090B：市役所と
- 1091A：初め 市役所に きゃんたのはー あの
- 1092B：うん ほの ほれまでは
- 1093A：初めて ほんときに
- 1094B：うん。

1095A：気が付いてん。

1096B：ほれまではな

1097A：うん。

1098B：えーつとな どこやった な えーつと ○○○○○○〈企業名〉やったか

1099A：どっか そんな

1100B：ど うん。

1101A：きやった うん。

1102B：あの 電気の いだい あ んで あのー 青年会のと時から いやんたやろー  
あの子は ほのときは 電気屋さん 勤めてやんたや ○○○○○○〈企業名〉  
○○○ ん まあ あの時は ○○○○〈企業名〉 言うた んで いやんて ほ  
して 辞めて 終わって ほんで 市役所の ほんで

1103A：うーん。

1104B：あそこ 入らあったやろー。

1105A：うーん。

1106B：あの

1107A：ほのときに

1108B：うん。

1109A：あの 久しぶりやなー

1110B：うん。

1111A：って言う

1112B：そうそうそう。

1113A：うーん。

1114B：で 入らあんで ほして 辞めやんて 辞めやんて ほで ○○○○○○の ほれ

1115A：ほこの辞めやんた#な

1116B：館長さん ならんたら 合わんかった ども な

1117A：すぐ 辞めやあたみたいやな。

1118B：# あのー どうも あのー あれやて 体も 悪うにはなって。

1119A：うーん。

1120B：で 今 ○○○○君は

1121A：あ ほうか。

1122B：うん ○○ ○○○#

1123A：うーん ああな ああいうとこの 管理者も 大変や。

1124B：うん なんか もう だが いくつも こう あるらしい。

1125A：うんうん。

1126B：なんも 言わんせんけど。

1127A：うんうんうんうん。

1128B：ほれ こう 言うた 仕事場で 言わあせんけど ほれで あのー あれ やっち  
ゆって。

1129A：うん。

1130B：ほて ほれが終わってから あの あそこや あのー 浅井三姉妹

1131A：まだ どっか 行ってやんすか。

1132B：浅井 え つい この前 やったら 浅井三姉妹やな。 ちゃう 12月まであった  
のはなんや ついこの前。

1133A：えっとー

1134B：えー

1135A：戦国

1136B：戦国一なんやはく

1137A：{笑い}

1138B：うんうんうん。 そ それに 行ってやったんや あのー

1139A：あ

1140B：浅井か なんか 木之元## 向こうの方の

1141A：あー。

1142B：会場に 十二月まで 行ってやったんやけど ほれが 終わってから もう おう  
てないわ。

1143A：あー ほうか。

1144B：うん おう うん お で あの息子さんが ほんで 今 ソムリエ してやんす。

1145A：ほう。

1146B：うん。 あの ほんで ちょうど うつとこの こっちべらのとこの あれ 何て  
言うん あのー えーと 会員制の あの レストラン あーっとー

1147A：あん

1148B：〇〇〇町にあるやん この頃は 会員制言うても ねだ 値段やから やってやる  
さかいに あのー

1149A：うーんとー

1150B：ランチとか

1151A：何とか〇〇〇って言うところ

1152B：あー 忘れた うーん で ランチタイムも

1153A：あのー

1154B：やってやるさかい 普通の

1155A：前 前の あの

1156B：あの 〇〇〇〇さんの後

1157A：あー そうそう。

1158B：うん そうそうそうそ。

1159A : うん。

1160B : そこに

1161A : うん。

1162B : あのー 来てやんす。

1163A : ない 何とか○○○ うーん

1164B : うーん な 忘れたけどな んで ほこに

1165A : ○○○○○や。

1166B : あ ○○○○○ ○○○○○。

1167A : ○○○○○か あーあーあー。

1168B : で あそこではね 来てやんす。

1169A : うん。

1170B : あのー ソムリエで 来てやんすやんか。 ほんで ほの時に うちら婦人会で  
あそこ 長男やで つく で た で どうしてやんすっちゅったら

1171A : うん。

1172B : うん。 今は ほんで その せんごがつかへ 行ってます やー っちゅって  
なんか 悪いみたいやでっちゅって 聞いたで一ちゅって。

1173A : うんうん。

1174B : いや ほんで うん 今は 知ってますーちゅって。

1175A : うんうんうん。

1176B : ほんでー なんや この頃 前はな ○○○○君がな あのー

1177A : あ ほや あ ○○○○君 これやったやつちやうん

1178B : うん あの子は できたやな。

1179A : あ ほう。

1180B : うん。

1181A : うち 見ててな。

1182B : うん。

1183A : どっかで見たような こ ばっか やんすなー

1184B : んで

1185A : と思ったんや。

1186B : ほんで ○○○○君やろ。

1187A : うん。

1188B : ほてー えーっと ○○○○君やろ。

1189A : へてー なんか 亡くならあた人が 一人 いやあたな。

1190B : うん ○○君っていう人や。

1191A : ○○。

1192B : うん。

- 1193A : ○○さんな 役所にいやんて。
- 1194B : そうそう。 しやく ○○○課の偉いさん してはったやろ。
- 1195A : し#か ずっと いや うん ### あー
- 1196B : で あの子やろ。
- 1197A : あの人 亡くならあたんやな 確か。
- 1198B : うん ほして あの ○○ちゃんの ○○○君の
- 1199A : あー
- 1200B : 息子が あの ドラム してやんす。
- 1201A : ○○○君 まだ いやんす。
- 1202B : なんでや。 ○○○君 すぐ 死んでまあた すぐって ##ら。
- 1203A : いやー 飲み屋 やってやったんちゃう。
- 1204B : ちゃうちゃうちゃう。
- 1205A : あ ちゃうん。
- 1206B : ら ○○○君は
- 1207A : うん。
- 1208B : あの ああいう あの音楽の あの 何や 音響か してやって ほして あの子  
も で あそこ とつきやさん やったんやけど ほん もん な あれしても  
うて あの {声をひそめて}
- 1209A : あ ほうなんか。
- 1210B : ### {声をひそめて}
- 1211A : 息子さんが してやある。
- 1212B : で ほで
- 1213A : ちゃうちゃう。 今 ほの バンド
- 1214B : うん。 ほんで いや ほんで 音響してやんて
- 1215A : うん。
- 1216B : ほんで ほこー なくなってもうたさかいに ちょうど うつとこの 路地入って  
行ったとこんとこに 家を こう 家っていうか こどかった さかい
- 1217A : うん。
- 1218B : で ほこへ 引っ越して来やってん。
- 1219A : ふーん。
- 1220B : ほで ほのとき ほんで
- 1221A : 女の人 一人 混じってやあたで。
- 1222B : ほで は あの女の人 は あの ○○○○君の嫁さんよ。
- 1223A : ほうなんか。
- 1224B : んで 夫婦でやってやんせん。
- 1225A : あー ほで ほんなら ○○○君と

1226B：うん。

1227A：○○○○君が

1228B：うん。

1229A：私 わかっててん ほで ○○さんも 知ってたで

1230B：うん。

1231A：こう 見て えーなんか よう 似た 同年輩ばっか いるなーとか

1232B：ほして

1233A：思っ て 見てたんよ。

1234B：ほして し えーっと えーっと 一人 いやんた子ーが

1235A：うん。

1236B：誰やら え 誰やっかいな えーと 弟 うーんと 誰やらの 弟やって 誰やらの  
もう一人 いやんて なーんせ あのー ギターが 一 二 三 ギターが  
三人と

1237A：うん

1238B：ほしてー あの シンセサイザーが 二人やろ

1239A：うん。

1240B：ほて ドラムが 一人やったんや。

1241A：うん。

1242B：ほんで 一人の子は 誰の 誰の子やったや で ほの子は もう なんか こう  
合わんかって 辞めやって。

1243A：ほー。

1244B：ほて バンドー あの ドラムを で ○○ちゃんのお 息子がやらんせん で  
ほで あの ○○○君にもな あうた ほで うっとこの家の 親元のやつ 会  
うたんびにな 同窓会 おいでーや おいで 言ってんけど やー 僕は なあ  
とか 言うてやって。

1245A：うん。

1246B：ほして バンド んで ろうそうかいに バンド演奏 するっちゅわれたさか 音  
響で 出てきはったんや。

1247A：うんうん。

1248B：ほて 次の ほんで 学校の先生が 呼ばあた 同窓会も うち あんまり 行き  
たくなかったんやけど

1249A：うんうんうん。

1250B：んで あの ○○○君な 知ってるやろ ○○○○○○ちゃん 知らん↑。 うちら  
○○○○に いはった ちっちゃい子。

1251A：うーん。

1252B：うーん ほの子。

1253A：名前は き あー。

1254B：うん ほの子が うちら もう ほれこそ 一緒やって ずーっと ほや もう 全然 会えんかって あう おうてないさかいに きゃんすかなーと思って 今 い 行ったらちょうど 来はったんやわ。 もう で ほんで と思って 行った ときにも ほんで 演奏しはったさかい ○○○君も 来はって

1255A：うんうん。

1256B：ほで 後から お前 来てよかったやろ

1257A：うん。

1258B：同窓会 なー あれやで やっぱし 同級生は ええやろー って言うてた。

1259A：うん。

1260B：後 みっ えー 何日後やな。

1261A：えっ 急にか↑。 病気↑。

1262B：そうそう 急に。

1263A：病気やったん↑。

1264B：いや 病気じゃないと思う わからんのやけど。

1265A：うーん。

1266B：ほんで 朝一 息子が

1267A：うん。

1268B：お父ちゃん 起きて来やんせんけど

1269A：ああ。

1270B：まあ しんどいさかい 寝てやんすやろと おも ってやんて ほして 起こしに 行かはったら もう 亡くなってやんて。

1271A：うーん うち うちの 近所の人も ほやったでー 去年の暮れ。

1272B：ほう。

1273A：暮れ うん 五十三やで。

1274B：あー 若いやん。

1275A：ほんな 朝 起きたら 朝 起きて きゃ おんなじ おんなじ。

1276B：うん。

1277A：起きて来やらへん。

1278B：うん。

1279A：ほやで

1280B：き# どの人よ。

1281A：救急車で 運ばれやあたけど。

1282B：うん。

1283A：すぐ すぐ はた もう 四 五件先の人。

1284B：あー。

1285A：うん。

1286B：ほうか。

1287A：ほの人。

1288B：あ

1289A：バリバリ

1290B：〇〇〇〇 〇〇〇〇や あのー あのほら あの人やんな。

1291A：うん バリバリ あの人のな。

1292B：へー わ びっくりした うち あの新聞 見て。

1293A：うん。

1294B：〇〇〇〇〇〇〇〇〇さんや。

1295A：うーん。

1296B：な。

1297A：びっくりした うち あの おんなじ町内でな

1298B：うん。

1299A：あの 一人 八十いくつの人 死なあって

1300B：うん。

1301A：で 翌日また ほの人やったさかいに

1302B：うん。

1303A：ほの 通知がな

1304B：あつ。

1305A：ぺっぺ ペっぺ入ったさかいに

1306B：あーあー。

1307A：えー なんで 毎日 こんなんが 入るんとか 思て 見たら

1308B：うん。

1309A：びっくりした。

1310B：ほやって ほや。

1311A：うん 同じ組やったで。

1312B：あ

1313A：＃こさ びっくりや。

1314B：あそこ 〇〇〇組か。

1315A：うん。

1316B：あそこ ほんで 集金に あたし 行った＃。

1317A：あー ほうか。

1318B：うん あの いつ

1319A：婆ちゃん かわいそうにな お母さんよりも 息子の方が 先 逝ってまあてんな。

1320B：うん 上 逝ってまあてな おばあちゃんも 元気な人やけどな。



1321A：ほやなー。

1322B：うん。　ほんで

1323A：気の毒や　ほやなー。

1324B：んで　あれで　ほやて言われて　えー　##て　びっくりして

1325A：うんうん。

1326B：電話が　かかって来て　え　○○ちゃん　死なんだ　知ってるかー　言わんすから  
えーちゅって　へやけど　ま　あの　もー　ちょ　っと　こんで　長男になるけ  
ども　もー　あれやろ　いやんせんし　あれやさかい　ちゅって　じぶ　家族で  
しはったさかいに。

1327A：うんうんうん。

1328B：○○君が　行ったっちゅわんたかな　誰やろか　行ったけど。

1329A：うんうん。

1330B：あとの者は　行かんかったし。

1331A：うん。

1332B：んで　まだ　お母さんが　やるて　##

1333A：ほ　えーよ　もう　言うてて　お母さん　やあた　お母さん　毎日　毎日な　あの  
町内の　あの　ちょうさんところに　毎日　毎日　お参りに　行ってやある。

1334B：うん。　ちゃ　ほの　○○○君のも　お母さんも　いやるんやで。

1335A：あー　ほうか。

1336B：○○○君のお母さん　##。

1337A：若い　と#やなー。

1338B：ほやけど　お母さんは　もう　あの　あそこに　いやる　あの　せいじょへ　あの  
かんだのそこ　もう　全然　わからへん。

1339A：あー。

1340B：ほんで　結局　んで　あの　おばちゃんから　言ったら　孫やんか。

1341A：あー　孫に　ほんで　面倒見てやある。

1342B：見てやあるけど。

1343A：言うてある。

1344B：んで　息子は　まだ　嫁さん　いやんせん。

1345A：あー。

1346B：まだ　若い。

1347A：うん　###し。

1348B：んで　あの　姉ちゃんが　うちの○○○〈Bの娘〉と　同級生やで　今　二十六か  
んで　ほの子も　ほの子　ほんで　去年　おうたら　私　結婚したんやって　言  
わる　ほやけど　だ　婆さんは　病院　連れてかなん　誰か　家族は　ついてか  
なん　来てやんた。

1349A：うん。

1350B：んで おばちゃんを なあ ほや 今 預かっててくれやる と 言うでもな一。

1351A：ふ一ん。

1352B：う一ん お婆ちゃんもかわいそうや。

1353A：うん ほやな。

1354B：う一ん。

1355A：血压とか 高かったんやろ な一んかな一。

1356B：あ一。

1357A：歳食って 色々 ほういうこと 考えるな一。

1358B：ほうやて。

1359A：なあ。

1360B：うち 新聞 見るやん。

1361A：うん。

1362B：で 六十代で##。

1363A：新聞 見たら ほこの 欄が 一番に 目に 入る。

1364B：そうそう ##。

1365A：かなんな一。

1366B：そうそうそう。 ほやって ほして

1367A：かなんな。

1368B：八十とかな まあ 八十とか九十やったら まあまあな。

1369A：まあまあまあ一 気にせん。

1370B：あ一 どこもねんけ 六十代とか 五十代とか

1371A：あ一。

1372B：ほれでも しちじゅうって言うと

1373A：うん。

1374B：もう 気になるんよ。

1375A：あ ほうか。

1376B：ななじゅうって言うと

1377A：うん。

1378B：え もう あたし 何年 とか

1379A：あ一 ほて 私もな 八十いくつの人が ほで 新聞 ペって見てやで

1380B：うん。

1381A：どう どう 感じてやあるかなと 思って。

1382B：ほらまあ 順番 来るかなと 思ってやるんやろな。

1383A：あ ほた あ 明日は 我が身とか 思ってやる。

1384B：思ってやるんやろ。

- 1385A : ほんなこと 思ってやらへんやろ。  
 1386B : やろかなー。  
 1387A : うーん でもな  
 1388B : えっ 私らはー 今  
 1389A : ああ。  
 1390B : ほの 近くになると  
 1391A : うん。  
 1392B : やっぱし え  
 1393A : ほうか。  
 1394B : なんか え おい 私 今 いくつやな {笑い} とか思うで。{笑い}  
 1395A : あっ あー ながねしら  
 1396B : ほれにな  
 1397A : うーん。  
 1398B : あの一 ね 六十 ほんで 今 二 やろ。  
 1399A : うん。  
 1400B : でも 六十三 たら 六十なったら な。  
 1401A : うん。  
 1402B : な お父さんに 聞くんや。  
 1403A : うん。  
 1404B : あんた この人 知ってる↑ とか 言うて。  
 1405A : うーんうん。  
 1406B : 名前 知らーんとか 言わんす。  
 1407A : うん。  
 1408B : ほたら ほうか ほか やっぱし 近なって#と。  
 1409A : うーんうん。  
 1410B : #  
 1411A : そやな ほんで こうやって 誰かに おうて  
 1412B : うん。  
 1413A : あの一 喋ったら 何か 話題が ほういうところに ばっか来るさかいに  
 1414B : あー だんだん ## そうそうそう。  
 1415A : こないだ どこどこの 新聞 誰々 ど のった。  
 1416B : あー そうそうそう。  
 1417A : かなり ええことじゃなしに ほういうことばかりある。  
 1418B : ほうやて ほやけどな  
 1419A : か#ん。  
 1420B : 今のな ほんで 同窓会な。

1421A：うん。

1422B：暮れに 来るやろ。

1423A：うん。

1424B：あの 案外とな 私の 周りに いやんす子にな

1425A：うん。

1426B：ほの 家の 愚痴 言わんせん。

1427A：あー ほう。

1428B：ほんで 楽な

1429A：ほう ほうか。

1430B：うん で うちらでも 何も言わへんし。

1431A：うん。

1432B：ほで 介護してても ほな えー なんやかんやでも

1433A：あーあー。

1434B：えらいんや もう 嫌なんやって

1435A：あーあー もう

1436B：こういう 話が ないで。

1437A：うんうん。

1438B：ほれこそや あの 中学校んとき ほれや なんやら君 やんちゃばっかり した  
#けど

1439A：あー。

1440B：なんやらちゃんは あれ しやんたけど 今

1441A：うん。

1442B：どうやら こうやら してやんすわー とか ほういう話さかい 楽な気が。

1443A：あー そうやな。

1444B：ほやけど この前 一人 なんやったか 女の子がな あの 喋る い やん も  
う ほんで もう 自己紹介は ええって言うんや。 もう みんな わかっても  
うたるさかい ちゅって 言うたときに 私は 今 息子と二人で

1445A：うん。

1446B：幸せに 生きてるんやて。

1447A：うーん。

1448B：旦那は っていう ほれ いらんやて。

1449A：あー。

1450B：ほこで あの こう あほやなって言う 旦那は

1451A：うん。

1452B：親の介護

1453A：あー。

1454B：行ってやあるでー

1455A：うん ほうか。 うん。

1456B：えー 旦那 うちの旦那は 今 親の介護で あの親元にいやる で 私は息子と  
二人で

1457A：うん。{笑い}

1458B：なんやら 私は なんやら 新聞なんやら してー

1459A：うん。

1460B：息子と

1461A：うん。

1462B：気楽に 暮らしてるんですって 言わんたんや。

1463A：あー。

1464B：みんながな

1465A：しら一っとなってまう。

1466B：しら一って なるやろ ほら。

1467A：{笑い}

1468B：あの子 ほん 自分が 今 優雅っていうか

1469A：ああ

1470B：こう しあ こう

1471A：あーあー。

1472B：わーって 生活してるで あんたらと 違うって いう いう 意味で 言わんた  
んやと思うけど。

1473A：うんうん。

1474B：もう

1475A：うん。

1476B：あんなこと言うか↑。

1477A：{笑い}

1478B：誰も ほんなこと 言わんいや 旦那も 一人で 帰ってやる

1479A：あー。

1480B：世話しに。

1481A：あー。

1482B：でも 結局 ほの子の親 このまえ 書いたったって もう#。

1483A：##あたか。

1484B：### で ほんで 旦那の 親に 対して 自分の方が 親やと思うで あれ  
お母さんの名前 やったと わからんけどな 住所と ども みたい感じやけど  
な。

1485A：ほうなんや。

1486B：ちょ ちょっと なこと言うかーって。{笑い}

1487A：{笑い} ちょ 世代的に ほの 親が もう だいぶんな も

1488B：うん そう。

1489A：皆一 なー あの世へ 逝ってやあるか 逝ってやあれんか

1490B：そうそうそう。

1491A：ぐらいの と ぎりぎりのとこやろ。

1492B：うん。

1493A：ほで ほういう 話題に なってまあや。

1494B：うん。

1495A：でも ほれがもう ちょっと前やったら

1496B：うん。

1497A：あの まだ 子供が一

1498B：そうそうそ。

1499A：子供が お嫁に 行く前やったら

1500B：うん。

1501A：あの一 例えば 学生さん

1502B：うん。

1503A：とかやったら まあ ちゅ とう とう とか じゅ 十歳 十五年ほど もうち  
よつと こう###なると

1504B：うん あー

1505A：今度は と 子供が こう おつきくなって えーつと なんやったつけ 就職と  
か

1506B：うんうん。

1507A：あの どっか 大学から

1508B：うん。

1509A：就職とかて ほこらへんぐらいなると また ほの話題が ぷわーつと{笑い} 出  
るん違う。

1510B：ちゃ ほんでなー

1511A：うち 友達おったときに もう し ものすごい 喋られたで。

1512B：ちゃ ほんでな

1513A：ほれ うん。

1514B：うちなー 私は ほんなに あの 家のこととかな

1515A：うん。

1516B：ほら 自慢したい子は しゃんすで一。

1517A：うん。

1518B：うちの子供は なんやかんや

1519A：うん。

1520B：いやんすやろうけどもー 私の周りには 私も せんさかいやし 向こうも しゃんせんし

1521A：うん。

1522B：うち ほういう 話が 出たら 行かんと 思うわ。

1523A：あー ほう

1524B：うん たまにはな あの一 大学 どこやらの大学 入りましたねとか

1525A：ああ。

1526B：今 一芸ですいや とか

1527A：あーあー。

1528B：言わんす子も いやんすけど

1529A：あー。

1530B：うん。

1531A：でも ここまで 来たら

1532B：もー うーん。

1533A：一緒やと思うけどなー あーもう

1534B：ちゃ ほの時期 時期になー

1535A：うん。

1536B：おうて ほんで どうあの だ 自己紹介は いらんって言うんや。

1537A：あー。

1538B：ほんな もう 家の一 が どうなろうと こうなろうと

1539A：うん。

1540B：関係ないやんって。

1541A：あー。

1542B：今 言うてるときは 中学校んときの 友達で

1543A：うん。

1544B：中学校の時の話とか ほういう 世間話したいんや。

1545A：うん。

1546B：ほんでなー 自慢話 しゃんす子のところには 行かんことにしてるんや 私は。{笑い}

1547A：いや なんかなー。

1548B：うん。

1549A：あの一 ちょっと 行きづら いのは 例えば 仕事を しているときなんか。

1550B：うん。

1551A：やったら それぞれ ほの も まあ たす 例えー

1552B：うん。

1553A：同窓会であろうとも

1554B：うん。

1555A：どこどこの 会社の どっか なんとかさんとか

1556B：うんうん。

1557A：あー とか言うて みんなほれを せお 背負って こう 来てるわけやろ って  
いうか ほういう ほういうのが ぽろっと ちゅーか 出てしまうやん #  
と 子供の事とか 出てしまうんちゃうかなって でも 今 ほっから 抜けて  
しまあったんやで

1558B：うんうんうんうん。

1559A：このぐらいの うちらぐらいの歳は

1560B：そうそう。

1561A：というと もう一緒や もう みんな 言うたら 小学校 入ったのともう みんな

1562B：## 一緒 ほんで

1563A：ただ ただ もう 年齢が 同じですよって

1564B：うん。

1565A：もう 大体 みんな

1566B：そうそうそう。

1567A：ねー あの もう 仕事も 離れたしー。

1568B：うん。

1569A：って感じ まあ

1570B：うん。

1571A：ぼちぼち かもしれんけどなー まあ

1572B：ほな うん ほんで と思うわ うち うち は ほういう話とか 自慢話とか

1573A：うん。

1574B：子供の自慢話とか 家の話とか ほういうので 大っ嫌いなんや。

1575A：うーん ほらええ。

1576B：うん 大っ嫌いやさかいに あね あのー よう言わあで うちの子 なんやらが  
できる。

1577A：うんうん。

1578B：どうやら 今ー 学校で

1579A：うん。

1580B：なんやら し##んやとか 言わあるけど

1581A：まごの 孫の

1582B：そうそう。

1583A：##とか



- 1584B：だって 孫まで 言うなやってんや。
- 1585A：{笑い}
- 1586B：{笑い} ま
- 1587A：孫自慢しやある人
- 1588B：ほうなんな。
- 1589A：いやる。
- 1590B：ほうやで 孫自慢しやる。
- 1591A：うん。
- 1592B：もう ほの話してんな あのな もう 学校の話な 受験時
- 1593A：あーあー。
- 1594B：じけん じ なったときにな。
- 1595A：あー。
- 1596B：ほんなもんな どこの学校 受けようがな
- 1597A：うん。
- 1598B：ほら ほの子が 賢いか どうやら 知らんけど ほな 話 聞いても うち 絶対 話にな 入らんのやけどな 自分とこの子が ちょっと 賢いと 思うとな。
- 1599A：うん。
- 1600B：ここらへんの こうな ま 下げはるんやんか。
- 1601A：うん。
- 1602B：ほとな うちらの子供でも 学校 行ってるやん たら ほの 学校の名前でな あそこの学校は どうやったら こやったらて ほんなもんな
- 1603A：うん。
- 1604B：ほの子 ほの子に おうて 自分が 行きたいとこ
- 1605A：うん。
- 1606B：行ってやんすやさかいな。
- 1607A：うん。
- 1608B：ここばっかしが ええことないと 思うんやけど。
- 1609A：そうやな うーん。
- 1610B：それをな。
- 1611A：うん。
- 1612B：親も 自慢せるもんな。
- 1613A：うん。
- 1614B：ほの 婆ちゃんまで 自慢しはる人がや もう ほんでな一 学校の話 私 聞きたくない。
- 1615A：{笑い}
- 1616B：聞かんことにして で 相槌も 打たんことにし。{笑い}

1617A : {笑い}

1618B : ほでも なー

1619A : ほら # あー

1620B : なー うん 自分の子が どうしてやんす こうして で へて し まあ 自慢  
してやってもやで こっちで 聞いてやる人は うっとこの子 もっと あれや  
わー とか思うてやっても

1621A : あーあーあー。

1622B : ほんなんに 言わん もう 言いたい人は 言わしとかんかったら ほんでかこう  
いうこ

1623A : ああ。

1624B : 被せてったら えらいことに なるさかいに あーあーあー ほ ほうやな あー  
すごいなー 賢いなー ほら 大変やなー 立派やなーと 相槌は 打つけ っ  
ていうか

1625A : うん。

1626B : ほういうことは 言う ま

1627A : あーあーあー。

1628B : 知らん顔してたら あの子なんやら なー あれやけど。

1629A : あーあーあーあーあー。

1630B : あー ほうか ほう あ ほってやんせんな とか 言うけども

1631A : あー。

1632B : 決して ほれに 対して 言おうとは 思わん ほで ほでもな ほんま 気楽や  
で あのー 六月に

1633A : あー 気楽#し

1634B : おうてるのは。

1635A : あ ほうなん。

1636B : うん。

1637A : 六月って 決まってるん↑。

1638B : うん そうそうそうそ。

1639A : ふーん。

1640B : 六月って 決まってるのは 六月って 決まってるん。

1641A : ふーん。

1642B : ほんまはー 六月の第三土曜日やったかな ま

1643A : うん。

1644B : ほんまは。

1645A : うん。

1646B : やけど ほのー ややこしい ### さかい ちょっと 早うしたりとか さあ

んすで 去年は ちょっと 早うしはったら

1647A：うんうん。

1648B：やっぱし みんな 大体 ほのつもりで してやんすし

1649A：うん。

1650B：ほれこそ 施設へ 預けようと 思っやんす さか 三か月前に

1651A：あーあーあー。

1652B：ほれ 予約 取らなあかん。

1653A：言わなあかんなー うーん。

1654B：さかいに 大体 ほこらへんが 入るように

1655A：うーん。

1656B：取らんすんやけど ほれが なんか ばかっとなつてもうて よりが 少なかつたんよ。

1657A：あ ほうか。

1658B：うん。

1659A：うち うち 〃〃 話違うけど

1660B：あ

1661A：うち 去年やったか 一昨年か やったな。

1662B：うん。

1663A：同窓会 五年に 一回やのに なんで こんな 早う 始まったんかな 思うて

1664B：うん。

1665A：〃〃 ったらな。{笑い}

1666B：うん。

1667A：同窓会の 中の子が 市会議員でやんす。{笑い}

1668B：えー。

1669A：やったんや。

1670B：あー。

1671A：ほれで 最後 ほの話になって なるほどね。{笑い}

1672B：ほ あるで あるで。

1673A：ほ 〃 ない。{笑い}

1674B：あの 〃 〃

1675A：うまいこと使われて。{笑い}

1676B：あの子が もう いやる 時々な もう この 辞めやったさかいな もう ねー  
たやさん あの子のなー ちくずが なって 〃と みんながな あー

1677A：{笑い}

1678B：{笑い} あー まあええわ。{笑い}

1679A：{笑い}

1680B：ほんまや。

1681A：##たー

1682B：うん。

1683A：ほんな あったわ。

1684B：ほやでもな ほんまなー 自慢しゃー 少ないで

1685A：あー ほうか ほれやったら ええわ うん。

1686B：うん じま 自慢話ないしな っと 女の子かてな

1687A：なんか ほれか 駆け引き 無き 無しで 喋れるのが 一番ええな な。

1688B：うん そうそうそうそ。

1689A：やから あの さっきの おー 人の話じゃないけどよ。

1690B：うん。

1691A：ほの こう あい 話をするときに 相手に 気兼ねして 話すやん。

1692B：そうそう。

1693A：で ほんときに 昔 うち ゆ ち ようやったのはな。

1694B：うん。

1695A：あの一 学生が 小学校か なんか

1696B：うん。

1697A：小学校やったかな 高校やったかな 時間に

1698B：うん。

1699A：なー ころ この 宿題 ま 宿題 言うたら##かな これ これしたー↑。

1700B：あ 勉強

1701A：出来た 勉強 これ 出来てきた して来た

1702B：出来た ううん 全然ない うん して来たか

1703A：って言うた。

1704B：うん。

1705A：うんうん。 そんなん わからへんし 出来てへんとか 言いながらやで

1706B：うん。

1707A：嘘ばかり。

1708B：あー いた ##

1709A：ちゃんと しとかあった。{笑い} ほーれを どんだけ 騙されたか。{笑い}

1710B：うーん ほど あの子が いたら な。

1711A：うん。

1712B：○○○○君 あの子 よう 出来たやん。

1713A：あー ほうか うん。

1714B：よう 出来た らし よう 出来たんやけど あの子 やん やんちゃ坊主やったやろ。

1715A : あー やんちゃ

1716B : みんな ある程度 連れて わーっとしよったけど ば 晩 頑張っってやったらし  
いわ っって言う話やで。

1717A : うん。

1718B : 今んなって

1719A : うーん。

1720B : うん。

1721A : ほで なんか あのー 大人に なってからでも あ

1722B : そしたら あるあるあるある。

1723A : あらーなー う 嘘も方便みたいに こうやって こやって や ちゃんと ま  
まともに 喋ってる。

1724B : うん。

1725A : つもりなんやけど 向こう あの よくあるやん んー また いちの うちに  
遊びに 来てって 言ったら

1726B : うん。

1727A : うーん 実は 来たほしくないんやっっていう方がーあるっっていうな

1728B : うん うん あー うんうん そうそうそ。

1729A : ほういうの 一番 こ 私らも わからんのやけど。

1730B : うん。

1731A : ほういうのが ないのが一番ええわ。

1732B : うん 私も。

1733A : 話をして

1734B : ほういうのは 嫌い。

1735A : ねえ 全然 ほういうのは わからん。

1736B : 嫌い あの あの子が あのー のきせんな

1737A : うん。

1738B : はい 入ったとき 同級生だったわねーって 言われてなー。

1739A : {笑い} おう。

1740B : おまんのな

1741A : うん。

1742B : 小学校 子供のころから 知ってるんやで一。

1743A : うん。

1744B : 中学校な。

1745A : うん。

1746B : やし 高校にな 何してたか 知ってるんやでっっていう子がな

1747A : うん。

1748B：あの こう だ ほら じゅしがい まわったとき ほら

1749A：あーあー。

1750B：よう 来てやったやん。 あのー あの ○○○○とか ああいうところから 来て  
やったやろ。

1751A：あー。

1752B：ほと ほういう

1753A：よう 出来た子も いやんたかな。

1754B：ちゃ ほんで ほういうとこに

1755A：うん。

1756B：ほの子 ほんなに 出来たと思わんけど まあ

1757A：うん。

1758B：ほの子 ほういうとこに うま行ったら こう 所属していやんせん子

1759A：うん。

1760B：ほういうとこに 行きたい子 なんやんか したら んでー ちょうどね うえ  
のの ときに 学校 一緒や あの 子供 ○○○君 あの子と 同級生だった  
わねーって 言うて。{笑い}

1761A：{笑い}

1762B：あ #や ごきん おまんなー くしょかきたか {笑い}

1763A：{笑い}

1764B：知ってるんやで あんたが 何してたかっていう。

1765A：#

1766B：ほういう子ら もう 付き合いたくない。

1767A：なんか あのー よく えーと 転校して来はった子とか 女子なんかは よく

1768B：ほやほや。

1769A：父ちゃんのなー 関係で よく 来てたやんかな。

1770B：きは 来はった。

1771A：一番 よう 出来やんた子も 確か 樹脂の 子やったと思う

1772B：○○○さんか ○○そ

1773A：○○○○さんとかいう子 いやんたかな。

1774B：○○○君か。

1775A：うん。

1776B：○○○君は なんか 今 だいが え ○○

1777A：○○○さんが 確か 一番 よう 出来やあ 出来てやあたと思うで。

1778B：あの子かしらん 大学院 よつ なんか すごいもんになってやんす から#て

1779A：ほーか で あの子も じゅ お父ちゃん 樹脂で こう 転勤で 来てやあただ  
けの子やで

- 1780B：おー あんな ほれかしらん わからんけどな 喋ってやんすんによるとな 何人かはな すごいもん なってやんす。
- 1781A：ほーか。
- 1782B：ちょっと 今 よう 知ってるんで ○○○○君な
- 1783A：ほうや。{笑い}
- 1784B：○○○○○な。
- 1785A：うち クラブ活動 一緒やったんや あの子。{笑い}
- 1786B：うん ほたら この前な あ 新春でな
- 1787A：うん。
- 1788B：うーんと まん あんで ○○○○君とな
- 1789A：うん。
- 1790B：ほしてー あの
- 1791A：あんな どうしてたかなーとか
- 1792B：うん あんな ほれこそ 一流会社のな ほんま ほんまの 出て テレビでな 社長ばっかしで
- 1793A：うん。
- 1794B：や ほんまの あの 民間の
- 1795A：うん。
- 1796B：テレビ みや 民法でやってはって
- 1797A：うんうん。
- 1798B：喋ってやったんやけど
- 1799A：うん。
- 1800B：社長らしくない社長 っていうか んで あのー 名刺交換しはったらしいんや。
- 1801A：うんうん。
- 1802B：で 今 名刺って どうしてやんのさけ って あの子は 言わんす## なん 名刺 あ どこやったかな でも もう あん 二度と 会わんでしょう。{笑い} 連絡することも ないでしょうって ほういう感じ。
- 1803A：ほうかー。
- 1804B：うん。
- 1805A：一応 ファイルだけ 送るかーって なあ ○○○○さんが 一番最初に あの子 漫画描いてやんたやろ 最初。
- 1806B：そうそう 漫画 描いて
- 1807A：ほで
- 1808B：うん。
- 1809A：出たときにー
- 1810B：うん。

1811A：あの 普通 本屋で う 売ってやあるさかいって

1812B：うん。

1813A：なんかか どっかから ぱー 聞こえてきてー

1814B：うん。

1815A：で 買いに行った 覚えが ある。

1816B：あ ほうか

1817A：うん 一回 一回だけ で ほの一回だけが 出たって 見ただけで

1818B：うん。

1819A：も ほのあと 出なかったさかい。

1820B：うん ## ほんで 一番初め 漫画家になろうと思って 行かあんで。

1821A：#ー#ー

1822B：ほして あの 今の ほんで 六月の 同窓会 いうのが

1823A：うん。

1824B：始まったのが ○○○○君は トライアスロンに

1825A：出やんた。

1826B：何回か 出てやったらしい。

1827A：あ ほうなんか。

1828B：ほで 一番初め トライアスロンに 出やんすさかいに た みんなで 応援する  
のに

1829A：あー

1830B：集まろうかって言うて

1831A：あー ほうなん。

1832B：んで 集まらんたのーが

1833A：うん。

1834B：ほ い 第一回か ほで 何回か 出てやんすんかな ほで ほれの 流れで あ  
の子は もう 出やんせん

1835A：うん。

1836B：なくなってから ずーっと ほの流れで ほの六月に

1837A：あ そうなんや。

1838B：わーっと ほんで ほのままで ずーっと来て うん

1839A：あー だから に の 自転車で

1840B：うん。

1841A：日本一周する言うて 途中で 止めやった 止めやあたやろ。

1842B：あー ほうか。

1843A：うん ほやて ほれ 聞いたで

1844B：あー ほうか。



1845A：うん。

1846B：わからんけど ほんで トライアスロンは やってやんたらしい。 ほで ほれの  
流れが 今の 六月の 集いに な 同窓会とは 言わんねん 六月の集いって  
言う。

1847A：あー ほうかー。

1848B：うん。

1849A：あのな ほの 話は ちょっと ちょっと 違うんやけどな。

1850B：うんうん。

1851A：あの一 お家 引っ越しするときに

1852B：うん。

1853A：あの一 昔の ほの 文集とかが 出てきたで一 こうやって 見てた。

1854B：あーあー。

1855A：ほたらな ○○中のときの 一年生 あい 二年生とか言うて こうやって出たん  
や

1856B：うんうん。

1857A：何年 何年でな

1858B：うーん。

1859A：で しゃあ ちゃんと それが 残ってあったんや。

1860B：すごい。

1861A：びゃーっと 開けたら な 賢い人が 賢いなと思ったのが

1862B：うん。

1863A：ほの 中学校んときの 文集やで

1864B：うん。

1865A：ほで ほの なー 誰かが 誰やったかな そのときの先生が 書いとかあるんか  
な。

1866B：うん。

1867A：ほんなら えっと 先輩が ほの 学校を 訪ねて来ましてって 書いてある。

1868B：うんうんう。 うんうん。

1869A：な ほんで さ 皆さんの 先輩が

1870B：## あん

1871A：で 皆さん だから ○○中を 卒業した人が 訪ねて来ました。

1872B：いました うん。

1873A：で この人は 今 どこにいやあるかっていうと 東大に いやありますって 書  
いてある。

1874B：あーあー。

1875A：な ほして こう こう 言い い な この人は こうこうこうこうで 在学時

代は えらい 賢かった ような ずら一っと 書いてある。

1876B：うん。

1877A：誰のことやと思う↑。

1878B：ほれでも 先輩やで うちら かす あ じゃない

1879A：ちょっと ちょっと 上なんよ 誰のことやと思う。

1880B：うちらの上の子で 賢い子。

1881A：賢い子 と とても賢い人や 勉強 こうこうこうこう。

1882B：＃一

1883A：なんか ならな ちょっと前の市長 ○○○○さんやねん。

1884B：ああ ○○○○さんか。

1885A：ほの 人が ほうやったんやとか。

1886B：でも 一期だけやな

1887A：あー ほうやけど

1888B：うん あ そうそうそう。

1889A：大きい 大会社で やってはったんやね。

1890B：すごい うん すごい すごい あの人

1891A：あー。

1892B：そうそう。

1893A：ほの時から 出来る人は 出来るんやなー

1894B：あー。

1895A：思っ て びっくりした。 ほれが ほんときに ちゃんと びやー 〃〃 〃〃し  
て 書いてあるんやで。

1896B：あーあーあーあー。

1897A：うん。

1898B：ほや あの人 賢かったらしいな。

1899A：それ その あれ 書いてあるさけ いやー すごーい と

1900B：うーん ほんで あの人 が 市長になるために 長浜 帰って来はったやろ。

1901A：うん。

1902B：長浜へ 帰って来はってあれ ○○○○○の 裏の とこの 今の

1903A：あー {笑い}

1904B：あの 真ん中一 の 料理屋の あ ところに 住まあって ほで 選挙 出やった  
や あそこから。

1905A：うんうん。

1906B：ほたら ほの選挙 出はったときに 近所の人 がな ずっと いてくれやあるんか  
と。

1907A：あー あの で も いやあらへんが。

- 1908B : ちゃう ほんで  
 1909A : うん。  
 1910B : ずっと  
 1911A : うん。  
 1912B : いてくれやるんかっちゅって で ほれで 応援 しはったんやんか ほして 応援して あらなったら あれ ○○○かどっか知らんに  
 1913A : あー い  
 1914B : おっきな家  
 1915A : 建ててやあるな。  
 1916B : 家。 んで  
 1917A : うん。  
 1918B : 変わってまあて みんな 怒ってやるらしい。  
 1919A : あ ほうか。  
 1920B : さうすだい いまやって さうすだい ###して  
 1921A : あーあー。  
 1922B : ほして なったとたんに あそこの家 ところ まあ なあ して で ぱっと 移ってまあって ほて 一期か あの時代 一期か 二期か  
 1923A : 二期 一期 ああ  
 1924B : 一期だけやな で 辞めてまあって  
 1925A : うん。  
 1926B : うん だいぶ 応援しはった っていうか さされやあた人らは 怒ってやるらし。 んでも ほんで あの人が 出やるときに んで 同窓会みたいに 集められや あたらしいで  
 1927A : あーあーあーあー ほうか うちらと一緒にやな。  
 1928B : うん。  
 1929A : {笑い}  
 1930B : ほの ほら いうちゃんで セ あの ほらー あの人は 市会議員やけど あー 市長やけど  
 1931A : うんうん。  
 1932B : 議員 市会議員とか ほら あれ 出んのでも ん 同級生だけであって  
 1933A : うん。  
 1934B : なんで 同窓会とか で あの 友達が あんた 同級生やったさかいに なんやらして一のと かんやら 言うてくるなよって言わんす ##か あの○○○○君もな  
 1935A : うん。  
 1936B : あの子がな ちょうどな あの子が うちら 同級生やろ

1937A：うん。

1938B：ほて 嫁さんが

1939A：うん。

1940B：あの子の嫁さんが うちの あの 旦那のお姉さんと 同級生やって

1941A：あ

1942B：年上なんやって。

1943A：あー ほう。

1944B：同級生に

1945A：あー ほうなんや。

1946B：ほして うん ほして ほの娘が うちの上の むす 亡くならはんたからな。

1947A：あー。

1948B：あの子 かわいそうにな うちの上の娘と 同級生で 二人目に できやんた子が  
うちの 一番下の娘と 同級生なんやんか {笑い} ほんで {笑い} 来はるんよ。

1949A：ほー

1950B：よろしくお願ひし

1951A：＃ー

1952B：す き＃なん したくないけど あの＃

1953A：{笑い} あーしゃーない。

1954B：上がった途端に なあ。

1955A：なあ。

1956B：まー しょうがな あります。

1957A：ねー。

1958B：でも ま 気楽なのは 気楽なんねんで 一回

1959A：うん。

1960B：出てきや 今年。

1961A：うん ほうやな。 今年 ちょっと 六月は どうかわからへん。

1962B：うん。

1963A：ちょ 忙しいかもしれんでー。

1964B：あー ほうか。

1965A：うーん ちょっと 他のことで 今 六月に

1966B：うん。

1967A：イベントがあって それ

1968B：あー。

1969A：＃＃＃＃ ほで しょうもないこと＃ しょうもないつたら あれやけど なん  
かなー。

1970B：うん。

- 1971A: あの一 うら しばいも 趣味で あの一 趣味っちゅうか ちょっとず ちよつと ちよつと 折り紙を してるんよ。
- 1972B: あ いっぱい 家にあった 折り紙。
- 1973A: あった↑。
- 1974B: うち あの 裏のそこ ほれ 塀が あるさかいって。
- 1975A: あーあーあーあーあー。
- 1976B: あ ここまで かな ひゅつと 見たら
- 1977A: {笑い}
- 1978B: なんか うん
- 1979A: こないだ ちょ ####
- 1980B: あーあー 置いてあった 置いて
- 1981A: あー ほんでほれをな あの一 去年 一昨年 しがいんこ を展示したんや。
- 1982B: えー。
- 1983A: ほで ほんで まいと まで 次 去年も どうやって 言われたけんど えらいって 言わあったんよ みんな 私より
- 1984B: あ
- 1985A: 年上の人が#ったんやな。
- 1986B: あーあーあーあー。
- 1987A: あ ほうか もう えらいんやったら もう 止めとこかなーと 思っ ンで 止めたんやけど ほたら 今年 とってきはったさかいに また せんならん。
- 1988B: あ
- 1989A: ほれが 八月ぐらいかな。
- 1990B: あー。
- 1991A: あー。
- 1992B: よう 折り紙みたいな 目の細かいことするわ。
- 1993A: うん。
- 1994B: うち もう 見えん。
- 1995A: どうかかー あの ほ 企画 せんならんで。
- 1996B: あー
- 1997A: あの一 なんちゅうの
- 1998B: ええな いろんなことして。
- 1999A: おおたけっちゅうのは あれやけどなー あの一
- 2000B: ええな。
- 2001A: どういう風に するかっていうのを 考えてやんで
- 2002B: うちも 何かしたいと
- 2003A: もうめんどくさい ちゅわある さかい

2004B：したいなーと 思うけど 今は あかんけどな。

2005A：昼間はな 仕事 行ってた からな うん。

2006B：やし なー もう 晩は 疲れて ぐへー。{笑い}

2007A：{笑い}

2008B：ほんま

2009A：あー

2010B：いや ほら ほんまに ああやって 青年会とかなー して ま ほりゃ 家の用事は ないわなー。

2011A：うん。

2012B：親が いやあるんやさかいに もう。

2013A：あー そうそう。

2014B：時間 あー しち時 から 公民館やー。

2015A：うんうんうんうん。

2016B：ほれー

2017A：まあ 体が 持つで

2018B：ほうや ほて に い

2019A：もう やっぱ 今は だ 動かん。

2020B：に 日曜日 やったら 写真撮りに えー

2021A：ああ

2022B：行ってくるわー。

2023A：うん

2024B：なんやーっちゅって なあ

2025A：## あの おう えーっ 言ったかな あ あの しょ お正月に 多賀大社に行かんかった↑。

2026B：行った行った 多賀大社と

2027A：三人。

2028B：ほて あの たらこうさんと 行ったんや。

2029A：たらこうさんは 私 あんま 記憶に ないんやけど

2030B：あー 行った 行った。

2031A：多賀大社に よく 行って

2032B：うん。

2033A：帰りに パチンコして帰った。 ちゅうのが #か うち 何回か あったわ。

2034B：え パチンコ 私

2035A：いっつも 迎えに 来てくれやあって。

2036B：うん 多賀大社の帰り ラーメン食べに {笑い} 行ったこと。

2037A：あ ほうか パチンコに行ったの。

- 2038B：えー ほど
- 2039A：＃＃出んかった。
- 2040B：グループが ちごうた グループが ちごうたんちゃうんか ほたら。
- 2041A：ほうでもなー ○○ちゃんとか いやんたで。
- 2042B：あ ほんまに。
- 2043A：うん。
- 2044B：うちは あ あれは 青年 会 青年大学 してたときの
- 2045A：うん。
- 2046B：子らと
- 2047A：うん。
- 2048B：あの たらぼうさんへ
- 2049A：あ ほうか。
- 2050B：行ったんやんか。
- 2051A：うんうん。
- 2052B：あの 年越し参りで。
- 2053A：うん。
- 2054B：ほしたら 私 階段 苦手なんよ。
- 2055A：あー あかん あか
- 2056B：だー あれ 細いやろ
- 2057A：うん。
- 2058B：後ろ いっぱい ならば {笑い}
- 2059A：あ
- 2060B：ほと ちゃんと ようか＃だって ほて また だら一つと 行って あの あれ  
やったでな あそこへは 行ったことあるわ
- 2061A：うん。
- 2062B：うん うーん。
- 2063A：さめ で 行った ような ほんでも ○○ちゃんらと 一遍 行ったやろか。
- 2064B：うち ほれも わからん えー あの頃 みんなと
- 2065A：えー。
- 2066B：パチンコって 行ったことないわ。
- 2067A：じゃ ば ば な なぜか 帰り 誰か パチンコ 一緒 あの違うかな
- 2068B：何か 違う グループちゃう。
- 2069A：違うグループやろか 。
- 2070B：うん。
- 2071A：高校の時の子やろか とにかく パチンコの好きな子 やあって。
- 2072B：うん。

2073A：あ 高校の あっち あの 修学旅行のときに

2074B：うん。

2075A：長崎やったんやけど 長崎ちゃう 九州 北九州。

2076B：うん。

2077A：阿蘇とか えーっと

2078B：うちは 南と中やった。

2079A：あ うん。

2080B：うちらーの方は

2081A：えー 長崎が 最後やったけど

2082B：うん。

2083A：あの ほこでも パチンコしてやあたもん お姉ちゃんやで。

2084B：えー。

2085A：まんやで すごい。

2086B：だって 高校やろ 高校の修学旅行。

2087A：高校んとき。

2088B：で

2089A：無礼講 私らの 修学旅行は 無礼講。

2090B：えー。

2091A：だって 普通の 私服 来て 行かんすや 酒 飲まんすやろ。

2092B：え えー こう 高校 自分の 高校の ときの 修学旅行やろ。

2093A：無礼講。

2094B：へー あ そうかそうかそうか。

2095A：うん。

2096B：あー。

2097A：問題。

2098B：ほれでも もう おと ほの まあ 社会人の 一部

2099A：おう ##とかいやんす うん。

2100B：や じゃけど うんうんうん あー。

2101A：ほや 車ん運転も 出来た子は い 出来た一子は いやんすで へやけえ。

2102B：あー そうやそうやそやな。

2103A：うん うん 酒も 飲み 行かんす。

2104B：かー。{笑い}

2105A：すごいやろ。

2106B：すごいな。

2107A：うん。 いや

2108B：もう なんやら もっと 人数 多かったやろ ほんで やっぱし



- 2109A : んーな んで 四十人ぐらい。
- 2110B : おるやろ。
- 2111A : うん。
- 2112B : うーん あ そうかそうか。
- 2113A : うん。
- 2114B : うん ##
- 2115A : で あの パチンコ大好き お姉ちゃん いやあんでよ。
- 2116B : あー はいはい。
- 2117A : ほで ほの子が
- 2118B : あ ほと ほれや ほの
- 2119A : ほの子なんか 卒業してから ○○○○へ い えっと ○○ ○○○○↑ ちゃ  
う
- 2120B : ○○○○は
- 2121A : ○○○○○の
- 2122B : うん
- 2123A : あい 生まれが そこやで
- 2124B : うん。
- 2125A : そこへ 帰らあって
- 2126B : うん。
- 2127A : ほこの 保育所の 保育 うー 保母さんにならあって
- 2128B : うん すごい。
- 2129A : で 最後 うーんとー 園長になって
- 2130B : あー すごいすごい がむ よう 頑張ったやん。
- 2131A : ほの あれ 辞めやあん で 園長に ならんた とこらへんまでは 知ったかな
- 2132B : ほ でも すごいな。
- 2133A : うん。
- 2134B : よう 頑張らったなー。
- 2135A : 保母にならんた子は 何人かいてたで うち 同級生で。
- 2136B : あ ほうか。
- 2137A : 同級生って あの子は知ってる↑。 あの なんか あの 双子の ○○○○って  
いう #みだ ##
- 2138B : ○○○さんでなしにか。
- 2139A : 双子 ○○○○さん。
- 2140B : ○○○○さん。
- 2141A : 双子 いやんたやろ。
- 2142B : うん ○○○○さん おった

2143A : ○○○○ちゅうのも 双子が いたんや。

2144B : あー ほうか。

2145A : うん。

2146B : へー ほれは わからん。

2147A : ほの子の 片割れが あの ずっと うん

2148B : 保母さんしてた↑。

2149A : うん なが 長浜で #

2150B : ふーん。

2151A : うん # # # #

2152B : あんな もり えーっと あの子 なんちゅう子やったやろ ○○○○ぶんけの  
院長さんで 終わらあった子が うちらと 同級生のやったで。

2153A : あ ほうなん。

2154B : うん うーんと なんていう名前 やったかなー 忘れてもたなあ。

2155A : 同級生↑。 #も

2156B : うん 同級生の あの 背の低い 色の白い ぽちゃっとした子でな おおくな  
あの子 なんちゅう子やった。

2157A : ふな↑ 違う↑。

2158B : 忘れた。

2159A : 歳いくと 物忘れするやろー。

2160B : ぜーんぶ 忘れる。{笑いながら}

冒頭でも述べたように、本報告書に収めた 11 組の会話は、滋賀県長浜市内において 2011 年～2013 年にかけて収録したものである。会話の収録にご協力いただいた方々はもちろんのこと、これらの方々を紹介してくださった方々、収録場所を提供してくださった関係各所など、多くの方に大変にお世話になった。会話に参加いただいた方々には、自由に、普段通りの調子でお話しいただいたが、長浜市の昔の様子や、曳山祭り、おこないなどの伝統行事等を話題に会話してもらっている箇所もある。初めて会話を収録させていただいてから約 7 年の歳月を要してしまったが、長浜市のことばに関する研究のための資料としてだけではなく、ことばや会話の中からうかがえる長浜市の様子などを残し、伝えるものとして役立てば幸いである。個人情報保護の時代の流れでご協力いただいた方々のお名前を挙げることは適わないが、厚く御礼申し上げる。

2019 年 3 月



---

2014-2018 年度 科学研究費補助金 基盤研究(A)

「日本語の時空間変異対照研究のための『全国方言文法辞典』の作成と方法論の構築」

(課題番号:26244024・研究代表者:日高水穂)研究成果報告書

## 全国方言文法辞典資料集(6) 滋賀県長浜市方言談話資料

発行日 2019 年 3 月 10 日

編 者 方言文法研究会 (編者代表:酒井雅史)

連絡先 〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

関西大学 文学部 日高水穂

TEL&FAX : 06-6368-0570

E-MAIL : hidaka@kansai-u.ac.jp

---